はじめに

スタンダードレベル日本史にようこそ。この講義は，私大入試の土台づくりや、共通テストおよび基礎知識しか必要のない東京大学のような国立大学二次試験を受験する人に必要な知識をつけてもらうためのものです。高１・２生が受講しても全く問題ありません。文化史を含む日本史探究をコンパクトに解説していきます。講義の性質上，スピードは速く，板書も極力省いてあります。そのかわり，テキストは，このレベル設定においては他の追随を許さない詳しさです。

①受講の仕方

予習は必要ありません。そのままいきなり受講してください。「○○してから」等と言い訳をしているといつまでもスタートできません。

※とはいえ、それでも不安な人は、中学歴史講座を見直してもらう程度で結構です。高校教科書を一読してから、では決してありません。この講座はそれをやっていくに等しいレベル設定ですから。すなわち、一緒に教科書を隅々まで読んでいこう、ということです。

②板書について

基礎〔ベーシック〕を黄，応用〔スタンダード〕を白，発展〔ハイレベル〕を赤で。ただ，授業はあくまでも聞くものだと思うので，極力少なくしています。板書は、テキストにそのまま書きこんでください。特別にノートを用意する必要はありません。

※その時々で授業内で指示はしますが、多めの板書をテキストの空白部分に写してもらう際は、映像を停止して行えば焦りが取れ、知識の定着率がよくなります。

③復習について

最低限が、テキストをざっと見直す⇒確認テスト。理系や共通テスト以外必要ない文系の人はこれに過去問を加えれば十分でしょう。最大限が、テキストをざっと見直す⇒確認テスト⇒日を空けて教科書・参考書など読み物⇒問題集⇒日を空けて一問一答集⇒年代や将軍・内閣などの暗記⇒過去問などというのが一連の流れです。ただし、受験科目は日本史探究だけではないので、必要なものを選択し、なるべく効率よい勉強を心がけてください。

最終的に出来るようになれば何でも結構です。映像も何度も見直す必要はありませんし、倍速で見ていただいても結構です。そのためにわざとゆっくり話しています。

※覚えていないのに問題を解くのですか？　とよく聞かれます。すでに覚えてるなら解く必要はないですよね。解いてから覚えるのではなく，解いて，間違えて覚えるのです。

歴史は暗記科目ですから、覚えさえすれば必ずできるようになる科目です。効率のよい方法をこの講座が提示します。

怖がりすぎず、がんばってくださいね。

伊藤賀一

目　次

第１講	旧石器・縄文・弥生時代	p４
第２講	大和時代Ⅰ	p14
第３講	大和時代Ⅱ	p24
第４講	奈良時代	p36
第５講	平安時代Ⅰ	p54
第６講	平安時代Ⅱ	p82
第７講	鎌倉時代Ⅰ	p108
第８講	鎌倉時代Ⅱ	p124
第９講	室町時代Ⅰ	p144
第10講	室町時代Ⅱ	p166
第11講	安土桃山時代〔織豊政権〕	p190
第12講	江戸時代Ⅰ	p210
第13講	江戸時代Ⅱ	p236
第14講	江戸時代Ⅲ	p252

〈***Note***〉

第１講　旧石器・縄文・弥生時代

1　旧石器時代―“日本”のあけぼの―

①更新世の日本（約260万年前～約１万年前）

氷河時代ともいい，氷期にはユーラシア大陸北東部と陸続き。北方から**マンモス・ヘラジカ**，南方から**ナウマンゾウ・オオツノジカ**などの大型動物が渡来。

---

②“日本人”の登場⇒南方の古モンゴロイドがのち北方の新モンゴロイドと混血

人類は地球上に約700万年前に登場？　**猿人**⇒**原人**⇒旧人⇒**新人**〔現生人類〕と発展。

日本では**浜北人（静岡県）**，**港川人**・山下町洞人（**沖縄県**）など新人段階の**化石人骨**のみ発見されている。

☆戦前に発見された明石人（兵庫県）は原人ではなく新人説が強い。

☆日本語の語法はアルタイ語系とされる。

---

③旧石器文化

生産は行わず，**狩猟**・**漁労**・**採取**〔採集〕の**採集経済**〔**獲得経済**〕段階。**打製石器**〔**旧石器**〕を使用し，食糧を求め一定地域内での**移住生活**を営んだ。テント式の小屋や岩陰・洞穴などを利用した。

☆打製石器〔旧石器〕

楕円形石器〔握斧・握槌・ハンドアックス〕⇒**ナイフ形石器**〔石刃・ブレイド〕⇒**尖頭器**〔ポイント〕⇒**細石器**〔**マイクロリス**〕と発達。細石器を使用した時代を中石器時代という場合がある。

---

④旧石器文化の遺跡

金取（岩手県，現時点で日本最古級），**岩宿**（**群馬県**，1946年に**関東ローム層**から**相沢忠洋**が発見），**野尻湖**（**長野県**，**ナウマンゾウ発見**）など。

２　縄文時代―日本独自の新石器時代―

①完新世の日本（約１万年前～現在）

氷河時代が終わり，**気候の温暖化**により海面が上昇し，日本列島が現れた。針葉樹林にかわり落葉広葉樹林や照葉樹林主体の森林が形成され，**ニホンシカ・イノシシ**などの中小動物が増加。**弓矢**（矢じりは打製**石鏃**）が登場し，**落し穴**やイヌを使った狩猟がさかんに行われた。

---

②縄文文化（約１万6000年前？～紀元前５世紀？）

狩猟・漁労・採取の**採集経済**段階だが，**原始農耕**は存在。**晩期には九州北部で稲作も開始（福岡県板付遺跡，佐賀県菜畑遺跡）**。

道具として**磨製石器〔新石器〕**（石槍・石匙・石斧・石皿とすり石など）の他に，**縄文土器**（厚手で黒褐色）・**骨角器**（釣針・銛・やすなどの漁具）・網（**石錘**・土錘が出土）を使用。水辺に近い台地上に**竪穴住居**や貯蔵穴からなる環状や馬蹄形の集落を営んだ。集団の統率者は存在したが，原則的に貧富差・身分差のない**平等社会**であった。

☆共同墓地への**屈葬**，呪術に際する**土偶・石棒**の使用，**抜歯**・研歯の風習にみられるように，あらゆる自然物や自然現象に霊威を感じ，畏れ敬った（＝**アニミズム**〔精霊崇拝〕）。

☆**黒曜石**（原産地＝北海道白滝や十勝岳・**長野県和田峠**・東京都神津島・熊本県阿蘇山など），**ひすい**〔硬玉〕（原産地＝**新潟県姫川**流域），**サヌカイト**〔讃岐石〕（原産地＝大阪府と奈良県の境の**二上山**），アスファルトなどを広範囲で活発に交易。**丸木舟**で外洋に出ることもあった。

---

③縄文文化の遺跡⇒草創期・早期・前期・中期・後期・晩期の６期に区分

A　**貝塚**⇒ゴミ捨て場，当時の海岸線も判明

加曽利（千葉県），**大森**（**東京都**，1877年に**アメリカ人**動物学者**モース**が発見），夏島（神奈川県），**鳥浜（福井県）**など。

B　その他

亀ヶ岡，**三内丸山（青森県）**，大湯（秋田県，環状列石〔ストーンサークル〕），上野原（鹿児島県）など。

☆**年輪年代法・放射性炭素14年代法**など，さまざまな年代測定法が用いられる。

３　弥生時代Ⅰ―弥生文化―

①弥生文化の成立（紀元前５世紀？～紀元３世紀中ごろ）

春秋・戦国時代を経て，紀元前３世紀には中国に統一国家（秦・前漢）が成立。**稲作**や**金属器〔青銅器・鉄器〕**など，中国の高度な文化が周辺地域に強い影響を与え，朝鮮半島を経由して日本へ波及した。

---

②弥生文化の分布（九州地方から東北地方まで）

沖縄県の**南西諸島**は**貝塚文化**〔南島文化〕，**北海道**は**続縄文文化**ののち擦文文化やオホーツク文化（７世紀ごろ～13世紀ごろ）とよばれる**採集経済が残存**した。

---

③弥生文化の特色

A　**稲作の開始⇒湿田**（のち**乾田**）における本格的な**生産経済**のスタート

木製農具（木鍬・木鋤・**田下駄**・大足・木臼と竪杵など）や鉄製刃先農具，**石包丁**（稲の**穂首刈**に使用）や鉄鎌を使用して耕作・収穫。収穫物は貯蔵穴や**高床倉庫**に収められた。

B　**金属器**（**青銅器・鉄器**が同時に伝来）**の使用**

青銅器は祭器・宝器などの**祭祀用**，**鉄器は**武具・工具・農具などの**実用**。

C　**弥生土器**の使用⇒薄手で赤褐色

用途に応じ甕（煮炊き）・壺（貯蔵）・高杯（盛付け）・甑（蒸し）などに多様化。

D　機織り技術の伝来

糸を紡ぐ紡錘車や簡単な織機を使用。衣服は，おもに男性が袈裟衣，女性が貫頭衣を着用。

---

④生活の変化

水田近くの低地に**竪穴住居**や平地住居の集落を形成し**定住**。**青銅製祭器**（**銅矛・銅戈**＝九州北部，平形**銅剣**＝瀬戸内中部，**銅鐸**＝近畿・東海中心に分布，各地に**銅鏡**など）を用いた**農耕儀礼**を実施。

☆墓制は，共同墓地に屈葬や**伸展葬**（土壙墓・木棺墓・箱式石棺墓・**甕棺墓**・**支石墓**〔**朝鮮半島南部の影響**〕など）⇒**方形周溝墓**⇒**墳丘墓**へと，副葬品をともなう個人の墓に発展。

---

⑤社会の変化（集落〔ムラ〕の成立）

稲作の開始による共同作業・**余剰生産物の発生**などから**貧富差・身分差が発生**し，**階級社会**へと変化した。

☆**集落**〔**ムラ**〕内に，支配者である**首長**〔**ムラオサ**〕が出現。

---

⑥小国〔クニ〕の成立

用水・耕地・余剰生産物などをめぐる集落〔ムラ〕どうしの対立が激化，**環濠集落・高地性集落**の登場にみられるように**戦い**が繰り返され，各地に**小国**〔**クニ**〕が成立した。

☆小国の首長は**王**とよばれ，のちの豪族へと発展していく。

---

⑦弥生文化の遺跡⇒早期・前期・中期・後期の４期に区分

砂沢，垂柳（青森県），宇津木，**弥生町**〔向ヶ岡貝塚〕（**東京都**），大塚（神奈川県），**登呂**・山木（**静岡県**），朝日（愛知県），**唐古・鍵**（**奈良県**），池上曽根（大阪府），楯築（岡山県），**荒神谷**，**加茂岩倉**（**島根県**），紫雲出山（香川県），**板付**（**福岡県**），**菜畑**，**吉野ヶ里**（**佐賀県**），原の辻（長崎県壱岐）など。

４　弥生時代Ⅱ―小国の分立と地域連合国家―

①紀元前１世紀の日本―『漢書』地理志―

倭は**百余り**の小国に分立し，倭人は定期的に**楽浪郡**(前漢の武帝が紀元前108年に**朝鮮半島**に設置した４郡の一つ，現在の平壌付近)を通じ**前漢**に朝貢。
☆中国の**皇帝**に遣使し，ある地域の**王**に任命される**冊封**体制に組み込まれる。

---

②１～２世紀の日本―『後漢書』東夷伝―

A　建武中元二年(**57年**)
　倭の**奴国王**が**後漢**の都洛陽に遣使，**光武帝**から印綬を授かる。
　☆江戸時代，**福岡県志賀島**で「**漢委奴国王**」と刻まれた**金印**が発見される。

B　永初元年　(107年)
　倭国王帥升ら，安帝に生口(＝奴隷)160人を献上する。

C　桓・霊の間(**２世紀後半**)
　倭国大乱
　☆近畿・瀬戸内に高地性集落が登場。

---

③３世紀の東アジア

A　**中国**の情勢

後漢の滅亡(220年)⇒**三国時代**(**魏**・呉・蜀)⇒西晋が統一(280年)

B　**朝鮮半島**の情勢

あ　北部⇒**魏**の支配，楽浪郡の南部から**帯方郡**(現在のソウル付近)が分立。**高句麗**(中国東北部に建国，首都＝丸都)が，本格的に朝鮮半島北部に進出。

い　南部⇒小国家連合である三韓が並立

馬韓，**弁韓**，**辰韓**

---

④３世紀の日本―『三国志』の「魏志倭人伝」―

A　**邪馬台国連合**の成立(２世紀後半)

約30の小国連合が，**邪馬台国(女王＝卑弥呼)**を盟主とあおぐ。

B　位置(邪馬台国論争)

九州説〔九州北部説〕**vs近畿説**〔畿内説〕

☆**ヤマト政権の成立時期に関わる**，日本史学界最大の論争。纒向遺跡(奈良県)の調査などにより近畿説がリード？

C　統治

巫女としての卑弥呼の**鬼道〔呪術〕**による支配(＝**シャーマニズム**)。**大人**と**下戸**の身分制度，ある程度の統治組織や租税・刑罰制度も整い，市も開かれていた。

D　**魏との外交(239年**〔景初二年⇒景初三年の誤り〕**)**

帯方郡を通じ，魏の都洛陽に大夫難升米らを派遣。魏王から「**親魏倭王**」の称号と金印紫綬，銅鏡100枚(**三角縁神獣鏡**か？)を授かる。

E　動揺

狗奴国連合との抗争⇒卑弥呼の死(247年？)⇒男王が立つが混乱

F　再建

卑弥呼の宗女(＝同族の女)**壱与〔台与〕**が女王となり安定。いまだ**共立王権**の段階。

☆壱与による西晋への遣使(266年)以降，約150年間にわたり中国の歴史書から倭関係の記事は消える。

〈*Note*〉

第１講　確認問題

1　日本で初めて発見された旧石器時代の遺跡とは？

①岩宿遺跡　②野尻湖底遺跡　③上野原遺跡　④三内丸山遺跡

2　縄文時代，呪術に使用されたとされる，男性を象徴する道具とは？

①骨角器　②土偶　③石棒　④石錘

3　大阪府と奈良県の境の二上山や，香川県などを産地とする鉱物とは？

①黒曜石　②ひすい〔硬玉〕
③サヌカイト〔讃岐石〕　④アスファルト

4　明治時代に東京都の大森貝塚を発見した人物とは？

①相沢忠洋　②ナウマン　③モース　④田口卯吉

5　弥生文化の特色としてふさわしくないものを一つ選べ。

①稲作の開始　②金属器の使用開始
③機織り技術の伝来　④土器の使用開始

6　青銅製祭器のうち，銅矛・銅戈がおもに出土する地域とは？

①九州北部　②瀬戸内　③近畿地方　④関東地方

7　「弥生時代」という名称のもととなった遺跡がある都道府県とは？

①青森県　②東京都　③静岡県　④島根県

8　次のうち，環濠集落でない遺跡とは？

①大塚遺跡　②登呂遺跡　③板付遺跡　④吉野ヶ里遺跡

9　358本という大量の銅剣が発見されたことで有名な，中国地方の遺跡とは？

①唐古・鍵遺跡　②池上曽根遺跡　③荒神谷遺跡　④加茂岩倉遺跡

10　『漢書』地理志は，いつごろの倭のようすを書いたものか？

①紀元前３世紀　②紀元前１世紀　③紀元１～２世紀　④紀元３世紀

11　江戸時代に「金印」が発見された志賀島がある都道府県とは？

①長崎県　②福岡県　③島根県　④東京都

12　邪馬台国の女王卑弥呼が遣使した中国の王朝とは？

①後漢　②魏　③晋　④宋

解答

1	①	2	③	3	③	4	③	5	④
6	①	7	②	8	②	9	③	10	②
11	②	12	②						

第２講　大和時代Ⅰ

１　古墳文化（３世紀後半～７世紀）

①古墳文化の特色

Ａ　中国大陸・朝鮮半島の文化が，**渡来人**〔帰化人〕により伝来。

Ｂ　弥生文化から引き継がれた，日本独自の文化も形成される。

Ｃ　住居など，豪族と一般民衆の生活に違いがみられはじめる。

---

②古墳の変遷⇒前期・中期・後期の三期に区分

Ａ　前期（３世紀後半～４世紀後半）

畿内・西日本を中心に，**前方後円墳**・前方後方墳・円墳・方墳などが築造される。

表面には葺石や**埴輪**〔**円筒埴輪**・形象埴輪〕が並べられ，**竪穴式石室**や**粘土槨**内には，銅鏡（三角縁神獣鏡など），腕輪型石製品（鍬形石・車輪石など），勾玉・管玉などの**呪術的・宗教的な副葬品**が出土する（＝**被葬者の司祭者的性格**を表す）。

☆椿井大塚山（京都府），**箸墓**，黒塚（**奈良県**）など。

Ｂ　**中期**（４世紀末～**５世紀**）

畿内の平野部で前方後円墳が巨大化。周囲に濠や陪冢（＝従属的な小型古墳）を形成。古墳築造は上毛野（群馬県），丹後（京都府），**吉備（岡山県）**，**出雲（島根県）**，筑紫（福岡県）など全国に拡大した。表面には葺石や埴輪〔円筒埴輪・**形象埴輪**〕が並べられ，竪穴式石室や粘土槨内には，鉄製武器・甲冑・馬具・冠などの**軍事的な副葬品**が出土する（＝**被葬者の武人的性格**を表す）。

☆太田天神山（群馬県），**大仙陵**〔**仁徳天皇陵？⇒百舌鳥古墳群，世界最大規模**〕，**誉田御廟山**〔**応神天皇陵？**⇒古市古墳群〕（**大阪府**），五色塚（兵庫県），造山（岡山県，吉備氏の墓），男狭穂塚〔西都原古墳群〕（宮崎県）など。

C　後期（６～７世紀）

見瀬丸山古墳（奈良県）など畿内では依然として巨大前方後円墳が築造されるが，他地域にはみられなくなった。そして，各地に**小規模化**した円墳や横穴墓が大量に登場する（＝**築造者は有力豪族から有力農民へと拡大**）。**朝鮮半島から伝来した，家族墓的性格の横穴式石室**（羨門・羨道と玄室を備える）が一般化し，武器などの他に大量の土器・農具・工具など，**日常生活用の副葬品が増加**した（＝古墳を死後の生活の場と考える）。

あ　**群集墳**の登場

岩橋千塚（和歌山県），**新沢千塚**（奈良県），**吉見百穴**（埼玉県）など。

い　**装飾古墳**の登場

高松塚，**キトラ**（奈良県），**竹原**，王塚（福岡県）など。

う　その他の後期・終末期古墳

石舞台〔**蘇我馬子の墓？**〕，**藤ノ木**（奈良県），**岩戸山**（福岡県，**磐井の墓？**）など。

D　**古墳の消滅**（７世紀後半）

あ　大王中心の政治制度の整備（646年，大化の薄葬令）

※７世紀中ごろから，大王の墓は**八角墳**になる。

い　仏教思想の流入による火葬の普及

う　**豪族の権威誇示の手段が古墳築造から寺院〔氏寺〕建立へと変化**

③渡来人と大陸文化

A　応神朝(４世紀末～５世紀初頭)の**渡来人**伝説

王仁(**西文氏**の祖，漢字を伝える)，**阿知使主**(**東漢氏**の祖)，**弓月君**(**秦氏**の祖，養蚕・機織技術を伝える)など。

B　**品部**の活躍

錦織部(高級織物)，**韓鍛冶部**(冶金)，**陶部**(須恵器)，土師部(土師器)，鞍作部(馬具)，玉造部(勾玉・管玉)，**史部**(**文筆**)など。

C　**漢字の使用**⇒日本語表記の始まり

あ　石上神宮所蔵七支刀銘(奈良県)

☆４世紀後半？に百済の王から贈られたもの。

い　稲荷台古墳鉄剣銘(千葉県)

☆５世紀半ば，「王賜」銘あり。

う　**隅田八幡神社所蔵人物画像鏡銘(和歌山県)**

☆癸未年〔443年または503年〕。

え　**稲荷山古墳出土鉄剣銘(埼玉県**埼玉古墳群**)**

☆辛亥年〔471年〕，**「ワカタケル大王＝雄略天皇＝倭王武」**

お　**江田船山古墳出土鉄刀銘(熊本県)**

☆**「ワカタケル大王＝雄略天皇＝倭王武」**

か　岡田山１号墳出土大刀銘(島根県)

☆６世紀後半，「額田部臣」銘あり。

D　**儒教**・道教や医術・易術・暦法の伝来

６世紀に百済から**五経博士**や医・易・暦博士が渡来。

E　**仏教の伝来**

６世紀前半，**司馬達等**(鞍作鳥の祖父)ら一部の渡来人の間で私的に信仰されていた(『扶桑略記』より)が，公的には**百済の聖明王**から**欽明天皇**へと伝えられた。

☆**戊午説(538年，『上宮聖徳法王帝説』『元興寺縁起』)**と**壬申説(552年，『日本書紀』)**があり，前者の説が有力。

☆**蘇我稲目**(崇仏派・大臣)と**物部尾輿**(廃仏派・大連)の間で**崇仏論争**が勃発，対立は子の**蘇我馬子**と**物部守屋**に引き継がれる。

④日本文化の形成

A　**農耕儀礼**の成立

豊作を祈願(きがん)する春の**祈年祭(としごいのまつり)**，収穫を感謝する秋の**新嘗祭(にいなめの)**（天皇即位の年は**大嘗祭(だいじょうさい)**という）が行われる。

B　呪術的(じゅじゅつてき)風習の進展

禊(みそぎ)・祓(はらえ)（汚(けが)れをはらい災いを免(まぬか)れる），**太占の法(ふとまに)・亀卜(きぼく)**（占い），**盟神探湯(くかたち)**（熱湯に手を入れる裁判）などが行われる。

C　神祇(じんぎ)信仰の成立

あ　祭祀(さいし)遺跡

大神(おおみわ)神社（**奈良県**，**三輪山(みわやま)**をまつるわが国最古の神社），**宗像大社沖津宮(むなかたたいしゃおきつのみや)**（**福岡県**，**沖ノ島(おきのしま)**）など

い　神社建築

伊勢(いせ)神宮〔**内宮(ないくう)⇒天照大神(アマテラスオオミカミ)**，**外宮(げくう)**⇒豊受大神(トヨウケノオオミカミ)〕（**三重県**，神明造(しんめいづくり)），住吉(すみよし)大社(たいしゃ)（大阪府，住吉造），**出雲(いずも)大社**⇒大国主神(オオクニヌシノカミ)（**島根県**，大社造）など

D　氏神(うじがみ)・産土神(うぶすながみ)信仰の成立

E　**神話・伝承**の形成（６世紀半ば）

『**帝紀(ていき)**』（神武天皇以降の大王の系譜(けいふ)），『**旧辞(きゅうじ)**』（宮廷の説話・伝承）の編纂。

---

⑤生活習慣の変化

A　住居

豪族は環濠(かんごう)・柵列(さくれつ)をめぐらした**居館(きょかん)**を営み，支配・生活・倉庫群の場とする（**群馬県三ツ寺(みつでら)Ⅰ遺跡**など）。

☆庶民は竪穴住居・平地住居（炉にかわりカマドが発生）を中心とした，環濠のない集落を形成（**群馬県黒井峯(くろいみね)遺跡**など）。

B　土器

弥生土器の系譜を引く**土師器(はじき)**（赤褐色で日常生活用），**朝鮮半島の土器の系譜**を引く**須恵器(すえき)**（灰色で祭祀(さいし)用）が登場。

C　衣服など

豪族は絹(きぬ)の衣(ころも)と乗馬ズボン風の袴(はかま)（男），衣とスカート風の裳(も)（女）を着用。
庶民は麻(あさ)を使用。

☆髪型(かみがた)は男性が美豆良(みずら)，女性は髷(まげ)を結うことが多かった。

２　大和時代Ⅰ―ヤマト政権の成立と発展―

①ヤマト政権〔ヤマト王権〕の成立

大王を中心とする畿内有力豪族の連合政権。遅くとも**４世紀中ごろまでに**，九州北部～中部地方を統一。５世紀には畿内の平野部で**前方後円墳**が巨大化，勢力範囲も九州中部～東北の一部まで拡大。

---

②４～５世紀の東アジア情勢

A　**中国**（五胡十六国から**南北朝時代**へ）

中国の周辺地域への支配力が弱体化，朝鮮半島・日本で国家形成の動きが進展する。

B　**朝鮮半島**

313年，**高句麗が楽浪郡を滅ぼし**て南下。翌年，帯方郡も滅ぼし“三韓”を圧迫。４世紀半ば，馬韓から**百済**，辰韓から**新羅**が統一国家を形成するが，弁韓は**加耶〔加羅〕諸国**とよばれ，小国分立の状態が続く。

☆『**日本書紀**』では加耶諸国を**任那**とよび，「日本府」が置かれたとする。

---

③ヤマト政権の対外政策

A　４世紀の日本―“空白の４世紀”―

４世紀末以降，先進技術と**鉄資源の獲得**を目的に，倭人が朝鮮半島に進出。

☆高句麗の首都であった丸都（現在の中国吉林省）にある**好太王〔広開土王〕碑**には，**辛卯の年（391年）**以降，日本が**高句麗**と交戦し敗れたと刻まれている。

☆乗馬の風習がなかった倭人は，戦いを通じ騎馬技術を学ぶことになった。

B　**５世紀の日本―中国の歴史書に復活―**

朝鮮半島南部における外交・軍事上の立場を有利にするため，ヤマト政権の大王である**倭の五王〔讃・珍・済・興・武〕**が，中国の**南朝**に遣使して冊封される。

☆**男子による世襲王権制が確立**。

☆『**宋書**』**倭国伝**には，**昇明二年〔478年〕**，**倭王武〔雄略天皇＝ワカタケル大王〕**が，**宋**の順帝に上表文を送ったことが記されている。

---

④支配体制の整備―５～６世紀―

A　**氏姓(しせい)制度**

あ　**氏(うじ)**

同属の擬制(ぎせい)的な血縁(けつえん)・政治集団。**氏上(うじのかみ)**が**氏人(うじびと)**を統率。

い　**姓(かばね)**

氏のヤマト政権内における世襲(せしゅうてき)的な政治的地位を示す称号。大王が授(さず)ける。

☆**臣(おみ)**（おもに大和(やまと)地方の自立的有力豪族，葛城(かずらき)・平群(へぐり)・**蘇我(そが)**など），**連(むらじ)**（特定の職務(しょくむ)により大王に仕(つか)える有力豪族，**大伴(おおとも)**・**物部(もののべ)**・中臣(なかとみ)など），**君(きみ)**（有力地方豪族，**筑紫(つくし)**・毛野(けの)など），**直(あたえ)**（地方豪族）など。

B　政治機構⇒**大王を中心とする畿内有力豪族の連合政権**

あ　中央

大王――**大臣(おおおみ)**・**大連(おおむらじ)**（中央豪族）――**伴造(とものみやつこ)**――伴(とも)――**部(べ)**（**品部(しなべ)**など）

☆奈良盆地南部には，大王宮・皇子宮，中央豪族の邸宅が集中していた。

い　地方

大王――**国造(くにのみやつこ)**・県主(あがたぬし)・稲置(いなぎ)（地方豪族）

C　経済基盤⇒**私地私民制(しちしみんせい)**・部民(べみん)制

地方豪族は，支配権を保障される一方で，大王のもとに子女を舎人(とねり)・采女(うねめ)として出仕させ，特産物を貢納するなどした。

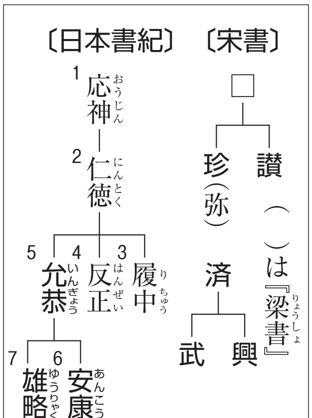
あ　朝廷

直轄地(ちょっかつち)として**屯倉(みやけ)**（**田部(たべ)**が耕作），直属民(ちょくぞくみん)として**名代(なしろ)**・**子代(こしろ)**の部を各地に設けた。

い　豪族

私有地として**田荘(たどころ)**，私有民として**部曲(かきべ)**を所有。

☆奴隷としてヤツコ〔奴婢(ぬひ)〕も所有した。



倭の五王と天皇

⑤ヤマト政権の動揺

A　**朝鮮半島経営の衰退**⇒高句麗・新羅が強大化

512年　ヤマト政権が百済に任那四県を割譲

☆大連の大伴金村が主導。⇒のちこれが原因で失脚

527年　筑紫国造磐井，新羅と結びヤマト政権に反乱。

☆**継体天皇**，大連の物部麁鹿火に命じ鎮圧させる。

562年　新羅により加耶諸国滅亡

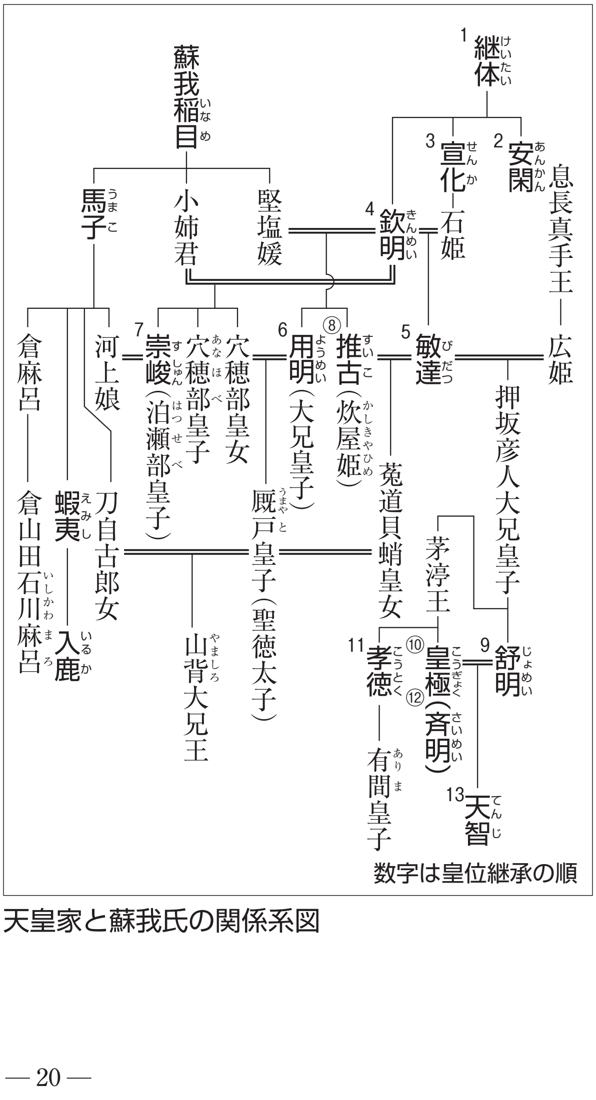
☆ヤマト政権は朝鮮半島経営の拠点を失う。

B　**蘇我氏の独裁**⇒三蔵〔斎蔵・内蔵・大蔵〕を管理，渡来人を組織化。

587年　蘇我馬子（大臣），物部守屋（大連）を滅ぼす。

592年　蘇我馬子，**崇峻天皇**を暗殺し**推古天皇（初の女帝）**を擁立。

☆二人は蘇我馬子の甥と姪。



天皇家と蘇我氏の関係系図

〈*Note*〉

第２講　確認問題

1　ヤマト政権の象徴とされる古墳の形式とは？

①方墳　②円墳　③前方後方墳　④前方後円墳

2　「卑弥呼の墓」という説もある，奈良県の纏向遺跡を代表する巨大前方後円墳とは？

①椿井大塚山古墳　②箸墓古墳　③黒塚古墳　④造山古墳

3　渡来人のうち，西文氏の祖で漢字を伝えたとされる人物とは？

①王仁　②阿知使主　③弓月君　④司馬達等

4　ワカタケル大王＝雄略天皇＝倭王武の名が刻まれた鉄剣が発見された場所は？

①石上神宮（奈良県）　②隅田八幡神社（和歌山県）
③稲荷山古墳（埼玉県）　④江田船山古墳（熊本県）

5　仏教伝来時の大王〔天皇〕とは？

①仁徳天皇　②応神天皇　③継体天皇　④欽明天皇

6　熱湯に手を入れる原始的裁判法を何というか？

①禊　②祓　③太占の法　④盟神探湯

7　４世紀半ば，馬韓から出て統一国家となった朝鮮半島の国とは？

①高句麗　②百済　③新羅　④加耶〔加羅〕

8　４世紀末以降，倭が朝鮮半島に進出したおもな目的とは？

①鉄資源の獲得　②騎馬技術の獲得
③冊封体制からの離脱　④貿易利潤の独占

9　『宋書』などにある「倭の五王」のうち，『日本書紀』で雄略天皇の兄の安康天皇とされる人物とは？

①讃　②珍　③済　④興

10　倭王武が中国南朝の宋の順帝に上表文を送った年とは？

①391年　②478年　③512年　④527年

11　ヤマト政権の諸豪族の私有地を何というか？

①屯倉　②田荘　③田部　④品部

12　527年に新羅と結びヤマト政権に反乱を起こした人物とは？

①筑紫国造磐井　②大伴金村　③物部守屋　④蘇我稲目

解答

1	④	2	②	3	①	4	③	5	④
6	④	7	②	8	①	9	④	10	②
11	②	12	①						

第３講　大和時代Ⅱ

1　飛鳥時代―中央集権国家の確立―

①聖徳太子〔厩戸皇子〕の政治―中央集権国家の準備―

A　**聖徳太子**の政治改革⇒蘇我馬子との二頭政治

593年　**聖徳太子**，叔母にあたる**推古天皇の摂政・皇太子となる。**

594年　仏教興隆の詔

603年　**冠位十二階の制**⇒徳・仁・礼・信・義・智を大小に分ける

☆身分にとらわれない人材登用と，世襲制の打破が目的。

604年　**憲法十七条⇒わが国初の成文法**

☆豪族に対し，朝廷の官人としての政治的・道徳的訓戒を示す

607年　斑鳩寺〔法隆寺〕の建立

620年　『**天皇記**』『**国記**』の編纂⇒蘇我馬子と共同で国史を編纂

B　**遣隋使の派遣⇒隋との対等外交をめざす**

589年　北朝の**隋**が南北朝を統一

598年　隋が高句麗征討を開始

600年　聖徳太子が新羅征討を計画（602年にも）

『**隋書**』**倭国伝**による第一回遣隋使

607年　**遣隋使**として**小野妹子**を派遣⇒『日本書紀』にも記述あり

☆**２代皇帝煬帝**，答礼使として**裴世清**を倭に派遣。

608年　小野妹子再派遣

☆**高向玄理・旻・南淵請安**らが留学生・学問僧として同行。

614年　遣隋使として**犬上御田鍬**らを派遣

☆これが隋へは最後の派遣となった。

②大化改新―中央集権国家の理想―

A　改新政治の背景

あ　東アジア情勢

644年，国家体制を整えた**唐**(618年成立)が高句麗征討を開始，周辺諸国に緊張が走り，中央集権の確立と国内統一の必要にせまられた。

☆倭は**630年，第一回遣唐使**として**犬上御田鍬を派遣**(舒明天皇)。

い　国内情勢

舒明天皇に続きその妻を**皇極天皇**として擁立した**蘇我蝦夷・入鹿**父子が強大な権力を握り，**山背大兄王(聖徳太子の子)**を斑鳩宮に滅ぼして古人大兄皇子を擁立(643年)。

B　**大化改新**

あ　**乙巳の変(645年)**

中大兄皇子・中臣鎌足ら，飛鳥板蓋宮で**蘇我入鹿を殺害**(蝦夷は自害)。

☆皇極天皇にかわり弟の軽皇子が**孝徳天皇**として即位，**年号〔元号〕**を**大化**と定め，大王宮を飛鳥から**難波**(のち長柄豊碕宮が完成)に移す。

☆**中大兄皇子は皇太子，中臣鎌足は内臣，高向玄理・旻は国博士**となる。

☆大臣・大連を廃止して阿倍内麻呂を左大臣，蘇我倉山田石川麻呂を右大臣とする。

い　**「改新の詔」(646年)⇒４カ条**

1　**公地公民制**の原則。有力豪族には**食封**を，その他には布帛を支給。

2　地方行政組織，軍事・交通制度の整備。

3　戸籍・計帳の作成，班田収授法。

4　統一的な新しい税制の規定。

う　**東北への進出**

647年　孝徳天皇，越後国に**渟足柵**を設置。

648年　孝徳天皇，越後国に**磐舟柵**を設置。

658年　斉明天皇，**阿倍比羅夫**に**蝦夷**と交渉させる。

③外政の失敗―白村江の敗戦―

A　孝徳天皇の死(654年)

翌年，皇極太上天皇が**重祚**し，**斉明天皇**として即位。飛鳥に大王宮を戻す。

B　有間皇子の死(658年)

孝徳天皇の皇子を謀反の罪で処刑。

C　**百済の滅亡**と倭の対応⇒朝鮮半島では，**新羅が唐と結び**統一に乗り出す。

660年　唐・新羅連合により**百済が滅亡**。

661年　斉明天皇，旧百済救援に向かう途中，九州で死去。

☆中大兄皇子は即位式を挙げず政務を執行(＝**称制**)。

663年　白村江の戦い

☆倭・旧百済連合が**唐・新羅連合に大敗**，倭は朝鮮半島から完全に撤退。

D　**国防の強化**

対馬・壱岐や九州北部に**防人**・烽〔烽火〕，大宰府北西に**水城**を設置。西日本各地に**朝鮮式山城**(**大野城**や基肄城〔筑前国〕・高安城〔大和国〕など)を築造。

☆665年には遣唐使も派遣。

E　**新羅の朝鮮半島統一**

668年　唐・新羅連合により高句麗が滅亡。

676年　**新羅が唐の勢力を追放し朝鮮半島を統一。**

☆このころから唐との対立のため新羅が倭に形式的に朝貢。

④内政の充実―天智天皇の政治―

急速な大王への権力集中は，豪族たちに深刻な不安をもたらした。

664年　甲子の宣

☆冠位二十六階制への移行，民部・家部とよぶ私有民を許可。

667年　**近江大津宮**へ遷都

668年　中大兄皇子が**天智天皇**として即位。

初の令として**近江令**を制定？

669年　中臣鎌足死去

☆臨終に際し**藤原**姓と大織冠を授かる。

670年　**庚午年籍**の作成

☆**最初の全国的戸籍，氏姓を正す根本台帳として永久保存が義務付けられる。**

☆徴税・徴兵は行いやすくなったが，公地公民が徹底していない時期だったため，地方豪族の不満は高まった。

⑤中央集権国家「日本」の成立

A　**壬申の乱（672年）**

天智天皇の死後，**大海人皇子**（**弟**，吉野軍）と**大友皇子**（**子**，近江朝廷軍）が**皇位を争い**，東国の中小豪族の協力を得て軍事動員に成功した大海人皇子が勝利。

☆大伴氏などを除く多くの大豪族が没落，大王の権威が高揚。

B　**天武天皇**の政治⇒翌年**飛鳥浄御原宮**で即位，「**天皇**」号の使用開始。

皇后・皇子〔親王〕を登用し**皇親政治**を展開。**歴史書の編纂を始め**，**富本銭**の鋳造も行うが，**遣唐使派遣は中断**。

675年　豪族の私有民を廃止

681年～　**飛鳥浄御原令の編纂開始**

684年　**八色の姓**を制定

☆**真人**・**朝臣**・**宿禰**・忌寸・道師・臣・連・稲置

685年　冠位48階制への移行

C　**持統天皇**（天武天皇の皇后）の政治⇒称制ののち即位，高市皇子が補佐。

686年　大津皇子の死

☆皇太子〔東宮〕草壁皇子の地位を守るため，自害に追い込まれる。

689年　**飛鳥浄御原令の施行**

690年　**庚寅年籍**の作成

☆６年＝１比として５比30年間保存，**班田収授法**が確立。

694年　**藤原京遷都⇒中国の都城制を模倣**した，初の本格的宮都。

☆畝傍山・耳成山・天香具山の大和三山を内包する，わが国最大の宮都。

☆藤原京跡からは大量の**木簡**が出土し，**郡評論争**に決着。

D　**文武天皇**（天武・持統天皇の孫，草壁皇子の子）の政治

701年　**大宝律令の制定**

☆**刑部親王・藤原不比等**が編纂した**初の律令**。

702年　遣唐使派遣の再開

２　飛鳥文化（７世紀前半）

①飛鳥文化の特色

A　大和国の皇族・豪族が担う，**わが国初の仏教文化**である。

B　**中国の南北朝文化**や朝鮮半島の百済・高句麗の文化の**影響が大きい。**

C　ギリシア・ローマ・ペルシア・インドなどの影響も受け，**世界性に富む**。

　☆**エンタシスの柱（法隆寺）**，**忍冬唐草文様**，**獅子狩文様**など。

---

②寺院建築（礎石建築の採用）

伽藍配置は，**飛鳥寺式⇒四天王寺式⇒法隆寺式⇒薬師寺式⇒東大寺式⇒大安寺式**と変遷。

A　**飛鳥寺〔法興寺〕**（大和国，**蘇我馬子が建立**）

　初の本格的寺院。のち平城京に移築され元興寺となる。

B　**斑鳩寺〔法隆寺〕**（大和国，**聖徳太子が建立**）

　西院伽藍（金堂・五重塔・中門・歩廊）は，**現存する世界最古の木造建築**。

　☆670年焼失という『日本書紀』の記述をめぐる法隆寺再建論争が展開されるが，**若草伽藍跡**の発掘（1939年）により，再建説が有力。

　☆**四天王寺（摂津国）**，中宮寺（大和国）も聖徳太子の建立。

C　太秦寺〔広隆寺〕（山背国，秦河勝が建立）

D　百済大寺（大和国，舒明天皇が建立）

　のち高市大寺→藤原京の大官大寺→平城京の大安寺となる。

---

③仏像彫刻（飛鳥仏）

中国の雲崗石仏・竜門石仏の影響。アルカイックスマイル〔古拙の微笑〕を浮かべる。

A　**北魏様式**

力強く端正で硬い表現，左右対称の幾何学的な衣文。

あ　**飛鳥寺釈迦如来像〔飛鳥大仏〕**

☆**鞍作鳥〔止利仏師〕**の作，**わが国最古の仏像**。

い　**法隆寺金堂釈迦三尊像**

☆**鞍作鳥**の作。

う　**法隆寺夢殿救世観音像**

☆明治時代に**アメリカ人フェノロサ**と岡倉天心が解明。

B　**南梁様式**

柔和で丸みのある写実的表現，自然な変化のある衣文。

あ　**法隆寺百済観音像**

い　**中宮寺半跏思惟像〔弥勒菩薩像〕**

う　**広隆寺半跏思惟像〔弥勒菩薩像〕**

---

④工芸

A　**法隆寺玉虫厨子**

須弥座絵・扉絵は，古墳壁画を除くわが国最古の絵画。

B　**法隆寺獅子狩文様錦**

C　法隆寺竜首水瓶

D　法隆寺伎楽面

E　**中宮寺天寿国繡帳**

聖徳太子の妃の一人であった橘大郎女が，采女たちに作らせたもの。

---

⑤学問

A　**三経義疏**

聖徳太子が著した仏教経典（法華経・勝鬘経・維摩経）の注釈書。

B『**天皇記**』『**国記**』（620年）

聖徳太子と蘇我馬子が共同で編纂した歴史書，645年に消失？

---

⑥渡来僧の活躍

百済の観勒が**暦法・天文地理**を，**高句麗の曇徴**が**紙・墨・絵の具の製法**を伝える。

※高句麗僧の恵慈は聖徳太子の師。

３　白鳳文化（７世紀後半）

①白鳳文化の特色

A　大和国の皇族・豪族が担う仏教文化である。

B　新羅や遣唐使を介した**初唐文化の影響が強い**が，西アジア・インド・高句麗の影響などもみられる。

C　**律令国家の建設期を反映した，明るく清新な文化**である。

---

②国家仏教の成立（朝廷による仏教の保護・統制）

飛鳥四大寺（**大官大寺**，飛鳥寺〔法興寺〕，川原寺〔弘福寺〕，**薬師寺**）などの**官大寺〔官寺〕**が設置され，僧綱制や僧尼令による統制も進む。

☆地方豪族も競って寺院を建立した。

☆伊勢神宮を中心とする神祇制度の整備も同時に行われた。

---

③寺院建築

A　**薬師寺東塔**⇒裳階つきの三重塔

　　アメリカ人フェノロサにより，「凍れる音楽」と称えられる。

B　山田寺回廊

　　山田寺は蘇我倉山田石川麻呂の発願により建立。わが国最古の木造建築遺構。

---

④仏像彫刻

A　**興福寺仏頭〔もと山田寺本尊〕**

B　**薬師寺金堂薬師三尊像**

C　**薬師寺東院堂聖観音像**

D　**法隆寺阿弥陀三尊像**〔橘夫人念持仏〕

E　法隆寺夢違観音像

---

⑤絵画

A　**法隆寺金堂壁画**（1949年焼損）

アジャンター石窟壁画（インド）や敦煌石窟壁画（中国）に類似。その焼損は**文化財保護法制定**（1950年）の契機となる。

B　**高松塚古墳壁画**（1972年発見）

高句麗の古墳壁画に類似。天文図〔星宿〕・男性群像・**女性群像**・四神〔東＝青竜，西＝白虎，南＝朱雀，北＝玄武〕などが描かれるが，朱雀は現存せず。

☆カビが発生するなど劣化が進み，石室が解体され壁画を修復。

C　**キトラ古墳壁画**

ファイバースコープを用いた石室内の調査により，天文図・十二支の獣頭人身図・四神などの壁画が発見される。

☆劣化が進み，石室内の壁画をはぎ取り修復。

D　上淀廃寺金堂壁画（伯耆国）

---

⑥文学

A　漢詩〔からうた〕　⇒皇族・貴族による中国的素養の受容

大友皇子･大津皇子らの作品が，奈良時代の漢詩集『懐風藻』に収録される。

B　和歌〔やまとうた〕⇒このころ形式を整える

有間皇子・**額田王**・**柿本人麻呂**らの作品が，奈良時代の歌集『万葉集』に収録される。

第３講　確認問題

1　聖徳太子〔厩戸皇子〕が建立した寺院としてふさわしくないものを選べ。

①法興寺〔飛鳥寺〕　②四天王寺　③法隆寺〔斑鳩寺〕　④中宮寺

2　聖徳太子が蘇我馬子と共同で編纂した歴史書とは？

①『帝紀』『旧辞』　②『天皇記』『国記』　③『古事記』　④『日本書紀』

3　630年，初めての遣唐使として舒明天皇が派遣した人物とは？

①小野妹子　②高向玄理　③旻　④犬上御田鍬

4　646年に「改新の詔」を発した大王〔天皇〕とは？

①皇極天皇　②孝徳天皇　③斉明天皇　④天智天皇

5　676年に朝鮮半島を統一した国家とは？

①高句麗　②新羅　③百済　④高麗

6　中大兄皇子が天智天皇として即位した宮とは？

①斑鳩宮　②難波長柄豊碕宮　③近江大津宮　④飛鳥浄御原宮

7　672年に起きた古代最大の内乱とは？

①磐井の乱　②白村江の戦い　③壬申の乱　④藤原広嗣の乱

8　694年，わが国初の本格的宮都である藤原京に遷都した女帝とは？

①斉明天皇　②持統天皇　③元明天皇　④元正天皇

9　明治時代にアメリカ人フェノロサが解明した秘仏とは？

①法隆寺金堂釈迦三尊像　②法隆寺夢殿救世観音像
③法隆寺百済観音像　④中宮寺半跏思惟像〔弥勒菩薩像〕

10　紙・墨・絵の具の製法を伝えた高句麗僧とは？

①観勒　②曇徴　③恵慈　④行基

11　次のうち，白鳳文化に属さない仏像を一つ選べ。

①広隆寺半跏思惟像〔弥勒菩薩像〕　②興福寺仏頭〔もと山田寺本尊〕
③薬師寺金堂薬師三尊像　④法隆寺阿弥陀三尊像〔橘夫人念持仏〕

12　1972年に発見され，女性群像の壁画が話題となった装飾古墳とは？

①高松塚古墳　②キトラ古墳　③竹原古墳　④藤ノ木古墳

解答

1　①	2　②	3　④	4　②	5　②
6　③	7　③	8　②	9　②	10　②
11　①	12　①			

第４講　奈良時代

1　律令（りつりょう）国家のしくみ

①律令の完成

律⇒刑法　**令（りょう）**⇒各種規定　**格（きゃく）**⇒律・令の補足修正　**式**⇒律・令・格の施行細則（しこうさいそく）

A　**近江令（おうみりょう）？**　（668年制定？**天智天皇**⇒編者は中臣鎌足，わが国初の令？）

B　**飛鳥浄御原令（きよみはら）**（681年制定開始，**天武天皇**⇒689年施行，**持統天皇**）

C　**大宝律令**　（**701年制定**，**文武（もんむ）天皇**⇒編者は**刑部親王（おさかべしんのう）・藤原不比等（ふひと）**）

D　**養老（ようろう）律令**　（**718年制定**，元正（げんしょう）天皇⇒編者は**藤原不比等**）

☆**施行は757年**，孝謙（こうけん）天皇（**藤原仲麻呂〔恵美押勝（えみのおしかつ）〕政権**）

---

②律令体制の政治機構

A　中央官制（**二官・八省**・一台・五衛府（ごえふ））

あ　**二官**

神祇官（じんぎかん）

☆神々の祭祀（さいし）をつかさどる。

太政官（だいじょうかん）

☆（**太政大臣**）・左大臣・右大臣・大納言（だいなごん）が**公卿（くぎょう）**〔議政官（ぎせいかん）〕として重要政務にあたる。その下（もと）で少納言・左弁官・右弁官が事務局として行政全般を管轄。

い　太政官の**八省**

左弁官

☆**中務省（なかつかさ）**（詔勅（しょうちょく）の作成など），**式部省（しきぶ）**（教育・文官人事など），**治部省（じぶ）**（仏事・外交事務など），**民部省（みんぶ）**（民政・財政など）。

右弁官

☆**兵部省（ひょうぶ）**（軍事・武官人事など），**刑部省（ぎょうぶ）**（裁判・刑罰など），**大蔵省（おおくら）**（収納・貨幣など），**宮内省（くない）**（宮中事務など）。

う　**弾正台（だんじょうだい）**

☆風俗取締りや官人の監察にあたる。

え　五衛府

☆**衛門府（えもん）・左右衛士府（えじ）・左右兵衛府（ひょうえ）**が宮城（きゅうじょう）などの警備にあたる。平安時代前期には左右衛門府・左右兵衛府・左右近衛（このえ）府の六衛府となる。

B　地方官制

国・郡・里〔郷〕制，左右京職・東西**市司**，摂津職，**大宰府〔遠の朝廷〕**・防人司・鴻臚館など。

あ　**畿内〔五畿〕**

大和国・山背国〔のち山城国〕・摂津国・河内国・和泉国

☆いわゆる首都圏。

い　**七道**

東山道・東海道・北陸道・山陰道・山陽道・南海道・西海道

☆官道でもあり地方行政区分でもある。

う　三関

東山道**不破関（美濃国）**，東海道**鈴鹿関（伊勢国）**，北陸道**愛発関（越前国）**

☆東国に向けた軍事目的の関所。

☆のち**逢坂関（近江国）**が愛発関にかわり三関の一つとなる。

え　地方官⇒中央集権の確立

国司（京から中央貴族を６年のち４年交代で**派遣）**，**郡司（在地の有力豪族〔かつての国造〕が世襲，終身官）**，**里長〔郷長〕**（里〔郷〕内の有力者）

お　**四等官制**

	長官	次官	判官	主典
省 ⇒	卿	大少輔	大少丞	大少録
大宰府 ⇒	帥	大少弐	大少監	大少典
国 ⇒	守	介	大少掾	大少目
郡 ⇒	**大領**	少領	主政	主帳

C　交通・通信制度

京と**国府〔国衙〕**を結ぶ駅路の約16kmごとに**駅家**を設置し，**駅鈴**により使用させる（＝**駅制**）。

☆地方では，駅路を離れて国府と**郡家〔郡衙〕**を結ぶ伝路が網目状に発達（＝伝馬制）。

D　身分制度

良民（貴族，下級官人，公民，品部・雑戸）と**賤民（五色の賤＝陵戸・官戸・公奴婢・家人・私奴婢）**に区分。

E　上級官人の特権

有力豪族が特権を得て，**貴族**（五位以上の官人）へと成長。

あ　政治的特権

官位相当の制（それぞれの**位階**に対応した**官職**に任じる），**蔭位の制**（五位以上の子および三位以上の孫に，父や祖父の位階に応じて自動的に一定の位階を与える）が適用される。

い　経済的特権

位階に応じて**位田**・位封・季禄・資人を，官職に応じて**職田**・職封・資人を給付される。

う　課役（調・庸・雑徭）と兵役の免除

え　減刑の特典

貴族・官人の場合実刑は少なく，免職や代償を納めることで済む場合が多い。

☆**五刑**（**笞**・**杖**・**徒**・**流**・**死**）の刑罰制度があったが，**八虐**とよばれる天皇・国家・尊属に対する重罪には，減刑の特典はなかった。

F　教育制度⇒式部省の管轄

京に貴族の子弟を対象とする**大学**，地方に郡司の子弟を対象とする**国学**が置かれたが，**官人養成を主目的とし，庶民教育は行われなかった。**

G　農民の編成

あ　**戸籍**

口分田班給のための基本台帳。

☆班田収授が行われる**６年ごとに作成**。

い　**計帳**

調・庸賦課のための基本台帳。

☆身体的特徴も記載し**毎年作成**。

H　**班田収授法**⇒唐の均田制にならう

６歳以上の男女に口分田を班給して最低生活を保障し，徴税対象を確保。

あ　**６年ごと**に国司が戸籍を作成し，公民・賤民に対し班田収授を実施。

死者の田は次回の班田を待ち収公。

☆班給面積は，**良民男子２段〔720歩〕**，**良民女子１段120歩〔480歩〕**。

賤民のうち，家人・私奴婢には良民の３分の１を班給。

い　**条里制**により田地を碁盤目状に区画

う　**口分田は売買禁止**，宅地・園地は私有を許され売買も自由。

☆**輸租田　（租を納める）**　⇒**口分田**，**墾田**，位田，郡司職田など

☆**不輸租田（租を免除）**　⇒**職田**，**寺田**・**神田**など

☆輸地子田（地子を納める）⇒**乗田**（**賃租**形式で耕作）

Ⅰ　租税と兵役

あ　成人男子の呼称

正丁　⇒**21歳～60歳**

次丁〔老丁〕⇒61歳～65歳

中男〔少丁〕⇒17歳～20歳

い　租税の種類

租（**地方**の土地税）⇒**田１段につき稲２束２把**（収穫の約３％）

調（**中央**の人頭税）⇒**郷土の産物**の一種を京に**運脚**

庸（**中央**の人頭税）⇒京での年10日の歳役にかえ**布２丈６尺**を**運脚**。

☆京・畿内はなし

雑徭（**地方**の人頭税）⇒国司の指揮で**地方の労役に年間60日以内**従事。

う　負担率の差異

租　⇒**男・女・老人・子供すべて一律**

調　⇒次丁は正丁の２分の１，中男は４分の１

庸　⇒次丁は正丁の２分の１，中男はなし

雑徭⇒次丁は正丁の２分の１，中男は４分の１

え　その他の負担

義倉⇒備荒貯蓄のため毎年一定量の**粟**などを納める。

出挙⇒稲の貸付け。のち強制となり租税化し地方の重要財源となる。

☆**公出挙**＝年利５割のち３割

私出挙＝年利10割のち５割のち禁止

仕丁⇒50戸に正丁２人の割合で中央官庁の雑役に３年間従事。

お　**兵役⇒正丁３～４人に１人**の割合で徴兵。**軍団制**をとる。

軍団兵士（諸国の軍団で勤務），**衛士**（**１年間**，**宮城の警備**），**防人**（**３年間**，**大宰府に所属して九州北部を警備**）

☆兵士は庸・雑徭を免除されたが，食糧・衣類・武器は自弁とされた。

２　律令国家の外交

①**唐**（首都**長安**を中心に発展）⇒**遣唐使**を派遣

630年，舒明天皇が**第一回遣唐使**として**犬上御田鍬**を派遣。**天武・持統朝には中断**したが，702年に再開。のち**新羅との関係悪化のため，北路から南島路・南路へと航路を変更**したが，ほぼ20年に１回渡航。

☆ふつう４隻で編成されたので「よつのふね」とも言われた。

☆**894年，菅原道真の建議により宇多天皇が廃止**。唐の先進文化・制度の直接摂取が，律令国家の支柱となった。

A　使節・留学生・学問僧

高向玄理，山上憶良，**阿倍仲麻呂**，**玄昉**，**吉備真備**，藤原清河，**最澄**，**空海**，橘逸勢，円仁など。

B　渡来僧

鑑真など。

---

②**新羅**（唐に冊封される）⇒遣新羅使を派遣（～８世紀末）

８世紀初めまで唐との対立が激しく，日本に形式的に朝貢していた。のち**新羅の対等外交要求と日本の朝貢継続要求とが対立し，関係が悪化。**

☆奈良時代に藤原仲麻呂〔恵美押勝〕が新羅征討を計画したが実現せず。

---

③**渤海**（中国東北部に建国）⇒遣渤海使を派遣（～９世紀初め）

727年以降，渤海使は**松原客院（越前国）**・**能登客院（能登国）**を経て頻繁に来朝。皮革製品・朝鮮人参・蜂蜜などをもたらし**友好関係が続いた。**

☆当初は渤海が唐・新羅と対立していたため政治的・外交的な意味があったが，基本的には通商を中心とする関係であった。

３　奈良時代━律令国家体制の矛盾━

①平城京━“南都”の繁栄━

「青丹よし奈良の都は咲く花の匂うがごとく今さかりなり」(小野老)

710年，藤原不比等の建議により**元明天皇**が遷都。唐の**長安**にならった都城制を採用。道路は碁盤目状の**条坊制**。**大内裏**(**内裏**・大極殿・朝堂院など)や貴族の邸宅・庶民の家・大寺院・**東西市**などで構成され，南北を走る**朱雀大路**により**左京・右京**に分かれていた。

☆全体を囲む羅城はないが，長安にはみられない**外京**・北辺坊があった。

☆**平城宮跡・長屋王邸跡**(大量の木簡が出土)など，大規模な発掘調査が行われている。

---

②流通・生産の促進

A　**市**の発達

平城京内の東西市の他に，海石榴市・軽市(大和国)，餌香市(河内国)などもあった。

B　**和同開珎**の鋳造(**708〔和銅元〕年，元明天皇**)

唐の開元通宝を模倣し鋳銭司という役所で鋳造。**乾元大宝**(**958年**，村上天皇)まで続く「**本朝〔皇朝〕十二銭**」のはじめ。

☆711年に**蓄銭叙位令**が出され，流通の促進がはかられたが，**一般には物々交換が主流を占め，貨幣の使用は京とその周辺に限られた。**

C　生産の促進

金(陸奥国)，銀(対馬国)，銅(武蔵国・周防国・長門国)，石油(越後国)など国産資源の開発が進んだ。

☆朝廷や寺社の工房では職人の品部・雑戸が活躍し，手工業が発達した。

☆朝廷は養蚕や絹織物の技術者を地方に派遣し，生産をうながして特産品を生んだ。

---

③支配領域の拡大―蝦夷・隼人の支配―

712年　**出羽国**を設置

713年　**大隅国**を設置

☆種子島や屋久島も行政区画化される。

720年　大伴旅人が隼人の乱を鎮圧

724年　**多賀城**を築き陸奥国府と**鎮守府**を設置

733年　**秋田城**を築き出羽国府を設置

---

④奈良政界の推移―権力闘争の激化―

A　**藤原不比等政権**（元明・元正天皇）

中臣〔藤原〕鎌足の子。娘の宮子を文武天皇夫人とし外戚政策により台頭。

710年　平城京に遷都

711年　蓄銭叙位令

712年　『古事記』の完成

713年　諸国に風土記の編纂を命じる

718年　養老律令の制定

720年　『日本書紀』の完成

B　**長屋王政権**（元正・聖武天皇）

天武天皇の孫で高市皇子の子。文武天皇の妹である吉備内親王を妻とする。

722年　（良田）百万町歩の開墾計画

723年　三世一身法

724年　藤原不比等の孫である**聖武天皇**が即位

729年　長屋王の変

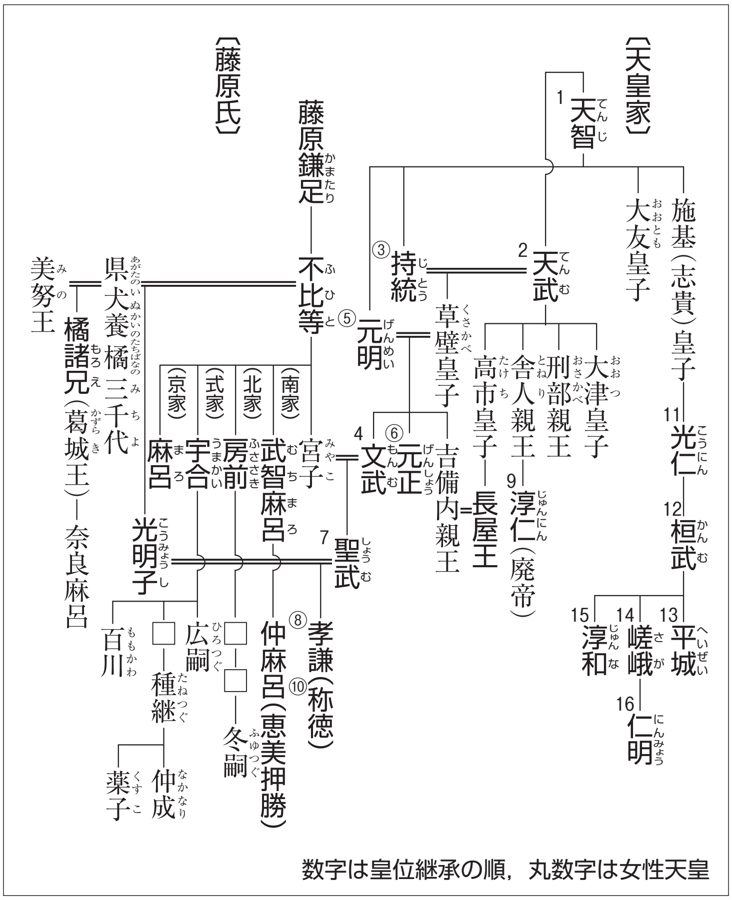
藤原光明子立后

☆人臣初の皇后（光明皇后）

C　**藤原四子政権**（聖武天皇）

藤原不比等の子，光明皇后の異母兄たち。**武智麻呂（南家），房前（北家），宇合（式家），麻呂（京家）**。

737年　天然痘〔疱瘡〕により四子ともに死亡



天皇家と藤原氏の関係系図(1)

D　**橘諸兄政権**（聖武・孝謙天皇）

光明皇后の異父兄，皇族から臣下に下る。唐から帰朝した**玄昉・吉備真備**を登用。

740年　**藤原広嗣の乱**

☆宇合の子（式家）が玄昉・吉備真備の排除を要求し**大宰府で反乱**

恭仁京　（山背国）に遷都

741年　**国分寺建立の詔**

743年　**墾田永年私財法**

☆恭仁京で発布。

大仏造立の詔

☆紫香楽宮で発布。

744年　**難波宮　（摂津国）**に遷都

紫香楽宮（近江国）に遷都

745年　行基が大僧正となる

平城京　（大和国）に**還都**

752年　**東大寺大仏開眼供養会**

☆菩提僊那（バラモン僧）や仏哲（林邑僧）を招く。

753年　**鑑真**が来日し戒律を伝える

E　**藤原仲麻呂〔恵美押勝〕政権**（孝謙・淳仁天皇）

藤原**南家**武智麻呂の子。紫微中台（もと皇后宮式）長官として叔母の光明皇太后の信任を受け，人臣初の太政大臣〔大師〕となる。**官名の唐風化**，新羅征討計画などを進めた。**雑徭の半減**，問民苦使の設置など農民政策にも積極的であった。

757年　**養老律令の施行**

橘奈良麻呂の変

☆諸兄の子によるクーデタ未遂。

758年　**淳仁天皇**を擁立し即位させる

☆**恵美押勝**の名を賜る

764年　**恵美押勝の乱**

☆近江国で孝謙太上天皇・道鏡の勢力に敗死。

F　**道鏡政権**（称徳天皇）

女帝であった孝謙太上天皇（のち称徳天皇）の寵愛を受け台頭した怪僧。

764年　孝謙太上天皇が重祚し**称徳天皇**として即位

☆淳仁天皇は淡路国に配流（＝“淡路廃帝”）。

765年　加墾禁止令

道鏡が**太政大臣禅師**となる

766年　道鏡が**法王**となる

769年　宇佐八幡宮神託事件〔道鏡皇位事件〕

☆**藤原百川・和気清麻呂**らが道鏡の天皇即位を阻止。

770年　道鏡を**下野国薬師寺**に追放

G　**藤原百川政権**（光仁天皇）

藤原**式家**宇合の子，広嗣の弟。

770年　**天智天皇の孫**の白壁王が**光仁天皇**として即位

☆**天智系の皇室が復活。**

772年　加墾禁止令を解禁

781年　**桓武天皇**即位

☆光仁天皇と渡来人の血を引く高野新笠との子。

光仁天皇の死

---

⑤公民制の崩壊

A　農民の家族形態

農民は，租税単位の大家族である**郷戸**のもとで小家族の房戸を形成，**妻問婚**を中心とする婚姻形態をとった。夫婦は結婚しても別姓のままで，自身の財産を所有した。

B　農民の生活

竪穴住居や平地式の**掘立柱住居**に住み，口分田や賃租形式の乗田を耕作して生活したが，各種の負担が非常に重く困窮した。

☆『万葉集』の**山上憶良「貧窮問答歌」**に当時の生活のようすが描かれている。

C　農民の疲弊

天候不順や虫害による飢饉，疫病，過大な負担により，**偽籍**，**浮浪・逃亡**，**私度僧**などが激増。口分田の荒廃，税の滞納や品質低下，兵士の弱体化を招いた。

☆自然災害や人口増加もあり**口分田が不足**して，国家的問題となった。

---

⑥**公地制の崩壊⇒初期荘園**の成立

A　経過

722年　（良田）百万町歩の開墾計画（元正天皇，長屋王政権）

723年　三世一身法　（元正天皇，長屋王政権）

☆**開墾地の私有を期限付きで公認。**

☆灌漑施設を新設した場合は三代，既存施設利用は本人一代限り。

743年　墾田永年私財法　（聖武天皇，橘諸兄政権）

☆**開墾地の私有を条件付きで無期限に公認。**

☆**位階別に開墾面積を限定**，国司の許可が必要で，許可後３年以内に開墾を終了することが条件。

765年　加墾禁止令　（称徳天皇，道鏡政権）

☆**寺院**・百姓以外の開墾を禁止。

772年　加墾禁止令を解禁　（光仁天皇，藤原百川政権）

☆**面積制限も撤廃。**

B　**初期荘園**〔墾田地系荘園〕の特徴⇒**輸租田**

国司や郡司の権威に依存してはいたが，**形式的には荘園領主が直接経営。**

独自の荘民をもたず，周辺の農民や浮浪人らが**賃租形式で耕作**した。

☆９世紀後半には，律令国家体制の崩壊にともなう労働力不足により大半の初期荘園が荒廃した。

４　天平文化（８世紀，奈良時代）

①天平文化の特色

A　平城京の皇族・貴族たちが担う，華やかな貴族文化である。

B　**鎮護国家**仏教の進展を反映する**仏教文化**である。

C　遣唐使のもたらす**盛唐文化の影響が強い**。

D　唐を通じ西域からの文化も伝わり，**国際色豊かな文化**である。

---

②鎮護国家仏教の全盛

金光明経〔金光明最勝王経〕・法華経〔妙法蓮華経〕・仁王経の「護国三（部）経」を重視。

A　仏教保護政策⇒僧尼令により統制

741年　国分寺建立の詔

743年　大仏〔盧舎那仏〕造立の詔

☆行基や国中公麻呂らが協力。

745年　行基を大僧正とする

752年　東大寺大仏開眼供養会

753年　鑑真来日

☆翌年平城京へ。

765年　道鏡が太政大臣禅師となる

766年　道鏡が法王となる

B　**南都六宗**

三論宗（道慈ら），成実宗，**法相宗**（義淵・行基・玄昉・道鏡ら），倶舎宗，**華厳宗**（良弁ら），**律宗**（鑑真ら）の六宗派。学問的性格が強い。

☆**教理研究の学派**なので，一つの寺院に複数の宗派が存在することもある。

C　南都七大寺

元興寺，法隆寺，薬師寺，**東大寺**，**西大寺**，**大安寺**，**興福寺（藤原氏の氏寺）**の七寺院。

☆法隆寺のかわりに唐招提寺とする場合もある。

D　**鑑真**の来日（753年，淡海三船『唐大和上東征伝』）より

入唐した普照と栄叡の要請により，失明しながらも５度の失敗を乗り越え渡来。戒律を伝え東大寺に戒壇院を建立し，聖武太上天皇・光明皇太后・孝謙天皇らに授戒。のち**唐招提寺**を創建し，そこで没した。

☆東大寺(大和国)，薬師寺(下野国)，観世音寺(筑前国)の戒壇を「**本朝〔天下〕三戒壇**」とよぶ。

E　社会事業

あ　**行基⇒745年に大僧正となるが大仏完成前に死去**

民間布教，架橋・治水，布施屋など救済施設の設置。

い　**光明皇后**

悲田院・施薬院など救済施設の設置。

う　和気広虫〔法均尼〕⇒称徳天皇の側近で和気清麻呂の姉

恵美押勝の乱(764年)後，孤児を養育。

F　結果

あ　寺院の濫造による国家財政の窮乏と人民の疲弊

い　**仏教の国家保護による僧侶の政治介入**

☆玄昉・道鏡など

う　教団内部における宗教活動の低迷と退廃

☆仏教が社会に根付く過程では，鎮護国家だけでなく**現世利益**を求める手段とされたり，**神仏習合**の思想が興ったりもした。

え　**造寺造仏の盛行による天平文化の創出**

---

③寺院建築

A　**東大寺法華堂〔三月堂〕**

B　**東大寺正倉院宝庫**

☆**校倉造**

C　東大寺転害門

D　**法隆寺伝法堂**

☆貴族の住宅建築遺構

E　法隆寺夢殿

☆東院伽藍の中心

F　**唐招提寺金堂**

G　**唐招提寺講堂**

☆平城宮の東朝集殿を移築・改築

---

④彫刻（天平仏）

A　**塑像**（そぞう）（木を芯とし粘土（ねんど）を塗り固めた像）

あ　**東大寺法華堂日光・月光菩薩像**（にっこう・がっこうぼさつ）

い　**東大寺法華堂執金剛神像**（しつこんごうしん）

う　**東大寺戒壇院四天王像**（かいだんいん　してんのう）

☆持国天（じこくてん）・広目天（こうもくてん）・増長天・多聞天（たもんてん）

え　新薬師寺十二神将像（しんしょう）

B　**乾漆像**（かんしつぞう）（麻布（あさぬの）を漆（うるし）で塗り固め原型を抜き取った像）

あ　**東大寺法華堂不空羂索観音像**（ふくうけんじゃくかんのん）

い　**興福寺八部衆像**（はちぶしゅう）（**阿修羅像**（あしゅらぞう）など）

う　興福寺十大弟子像

え　**唐招提寺鑑真和上像**（わじょう）

お　**聖林寺十一面観音像**（しょうりんじ）

---

⑤絵画

A　**薬師寺吉祥天像**（きちじょうてん）

B　**正倉院鳥毛立女屛風**（ちょうもうりゅうじょびょうぶ）

☆唐の「**樹下美人図**（じゅか）」の構図（こうず）を採用。

C　過去現在絵因果経（えいんがきょう）

☆釈迦の一生を描く絵巻物の源流。

---

⑥工芸

A　**正倉院宝物**（ほうもつ）

光明皇太后が東大寺に寄進した**聖武太上天皇の遺愛品**（いあいひん）。**シルクロード〔絹（きぬ）の道〕**経由の西域（さいいき）の工芸品など。

☆**螺鈿紫檀五絃琵琶**（らでんし　ごげんのびわ），漆胡瓶（しっこへい），白瑠璃碗（はくるりのわん），紺瑠璃杯（こんるりのつき），銀薫炉（ぎんくんろ）など。

B　**百万塔陀羅尼**（ひゃくまんとうだらに）

称徳天皇（しょうとく）が恵美押勝の乱（764年）の戦没者慰霊のため十の大寺に寄進した木製の小塔が百万塔。内部におさめられた陀羅尼（経（きょう））は，現存最古級の印刷物。

---

⑦文芸

A　**懐風藻**(751年)

最古の漢詩集。**淡海三船**・**石上宅嗣**らが当時の代表的詩人。

B　**万葉集**(８世紀後半)

759年までの約4500首を20巻に収める**最古の和歌集**。**万葉仮名**を使用した素朴で力強い**万葉調**〔ますらをぶり〕。

☆天皇〔大王〕から**東歌**・**防人歌**など農民の歌まで幅広く収録。当時の政治・社会を知る手掛かりとなる重要史料。

☆当時の代表的歌人は**山上憶良**，山部赤人，大伴旅人，**大伴家持**ら。

---

⑧歴史・地誌

律令国家の確立とともに，皇室による統治の由来や国家の形成・発展の経過を示すため，中国にならい国史の編纂が行われた。

A　**古事記**(**712年**，元明天皇の命により，**稗田阿礼**の暗誦をもとに**太安万侶**が筆録)

『**帝紀**』『**旧辞**』の誤りを正し，氏姓の尊卑にもとづく社会制度の確立を意図。**神代〜推古天皇まで**を漢字の音・訓を用いて表記し３巻に収録した，**現存最古の歴史書**。

B　**日本書紀**(**720年**，**舎人親王**らが編纂)

皇室による国家統治の正当性を証明する**正史**として編纂。『**帝紀**』『**旧辞**』などを参考に**神代〜持統天皇まで**を**漢文の編年体**で30巻＋系図１巻に収録した，**六国史のはじめ**。

☆**六国史**　⇒**日本書紀**，**続日本紀**，**日本後紀**，**続日本後紀**，**日本文徳天皇実録**，**日本三代実録**が，奈良〜平安時代前期にかけて編纂された。

☆**類聚国史**⇒六国史の記事を分類し，年代順に配列したもの。平安時代前期に**菅原道真**が編纂。

C　**風土記**(713年，元明天皇の命により，**各国の物産・地理・伝説を国司が編纂**)

五風土記(**出雲**・常陸・播磨・豊後・肥前)が残存，うち出雲国のみ完本。

---

⑨教育

A　**大学**⇒上級官人(かんじん)の養成機関として**中央に設置**，**式部省が管轄(かんかつ)**。
五位以上（＝貴族）の子弟らが入学。８～９世紀にかけ四道(しどう)（**明経道(みょうぎょうどう)**，**明法道(みょうぼうどう)**，**紀伝道(きでんどう)**〔文章道(もんじょうどう)〕，算道）が確立される。

B　**国学**⇒下級官人の養成機関として**地方に設置**，**国司が管轄**。
郡司の子弟らが入学。儒学・医学を教育した。

C　図書館
石上宅嗣(いそのかみのやかつぐ)が邸宅を寺とし，**芸亭(うんてい)**という施設を置いて仏教以外の蔵書(ぞうしょ)も公開。
わが国初の私設図書館。

第４講　確認問題

1　太政官の八省のうち，教育や文官人事を管轄した省とは？

①中務省　②式部省　③治部省　④民部省

2　七道のうち，九州地方をさすものは？

①山陰道　②山陽道　③南海道　④西海道

3　各省の長官は何と表記されたか？

①卿　②帥　③守　④大領

4　戸籍は何年ごとに作成されたか？

①30年　②12年　③６年　④毎年

5　備荒貯蓄のため，毎年一定量の粟を納めることを何というか？

①雑徭　②義倉　③出挙　④仕丁

6　遣唐使に随行し，帰国後活躍した人物としてふさわしくないものを選べ。

①空海　②玄昉　③吉備真備　④阿倍仲麻呂

7　玄昉・吉備真備を登用し，政権を担当した人物とは？

①藤原不比等　②長屋王　③橘諸兄　④道鏡

8　宇佐八幡宮神託事件で道鏡の天皇即位を阻止した人物とは？

①藤原広嗣　②橘奈良麻呂　③藤原仲麻呂〔恵美押勝〕　④和気清麻呂

9　初の和歌集『万葉集』に「貧窮問答歌」が残る歌人とは？

①山上憶良　②山部赤人　③大伴旅人　④大伴家持

10　聖武天皇が恭仁京で墾田永年私財法を発布した年は？

①722年　②723年　③743年　④765年

11　悲田院・施薬院などの救済施設を設置した人物とは？

①鑑真　②行基　③光明皇后　④和気広虫〔法均尼〕

12　次のうち，木を芯とし粘土を塗り固めた「塑像」を選べ。

①東大寺法華堂執金剛神像　②東大寺法華堂不空羂索観音像
③興福寺阿修羅像　④唐招提寺鑑真和上像

解答

1 ②	2 ④	3 ①	4 ③	5 ②
6 ④	7 ③	8 ④	9 ①	10 ③
11 ③	12 ①			

第５講　平安時代Ⅰ

1　律令国家再建(りつりょうこっか)の努力

①長岡京・平安京への遷都(せんと)⇒桓武天皇(かんむ)が大和国から山背国(やましろのくに)〔山城国〕へ

A　理由

あ　**政治の刷新(さっしん)**

新都(しんと)への寺院移転を禁止し，仏教勢力の政治介入(かいにゅう)を排除。

い　従来の天武系にかわる天智系皇室の威勢(いせい)を誇示(こじ)

う　水陸交通の利便性(りべんせい)

B　年表

784年　**長岡京（山背国）**遷都

☆**藤原種継(たねつぐ)（式家）**の進言。

785年　藤原種継暗殺事件

☆大伴氏・佐伯(さえき)氏や皇太子の早良親王(さわらしんのう)（桓武天皇の弟）を処罰。

794年　**平安京（山城国）**遷都

☆早良親王の怨霊(おんりょう)を怖れ**和気清麻呂(わけのきよまろ)**の進言を採用。

805年　**徳政(とくせい)論争〔徳政相論(そうろん)〕（○藤原緒嗣(おつぐ)（式家）vs 菅野真道(すがののまみち)●）**

☆桓武天皇が「**軍事と造作(ぞうさく)〔蝦夷(えみし)征討と平安京造営〕**」を中断。

---

②本格的な東北支配―蝦夷征討―

A　光仁朝(こうにんちょう)

780年　**伊治呰麻呂(これはりのあざまろ)の乱**

☆多賀城を陥(おとしい)れて焼き，按察使(あぜち)の紀広純(きのひろずみ)を殺害。

B　**桓武朝**

789年～　征東大使紀古佐美(きのこさみ)の征討失敗

791年～　征夷大将軍(せいいたいしょうぐん)大伴弟麻呂(おおとものおとまろ)の征討失敗

797年～　**征夷大将軍坂上田村麻呂(さかのうえのたむらまろ)**の征討

☆蝦夷の族長**阿弖流為(アテルイ)**らが帰順。

802年　坂上田村麻呂が北上川(きたかみがわ)沿いに**胆沢城(いさわじょう)**を築く

☆多賀城から鎮守府(ちんじゅふ)のみを移転。

803年　胆沢城の北方に**志波城(しわじょう)**を築く

805年　**徳政論争により征討中断**

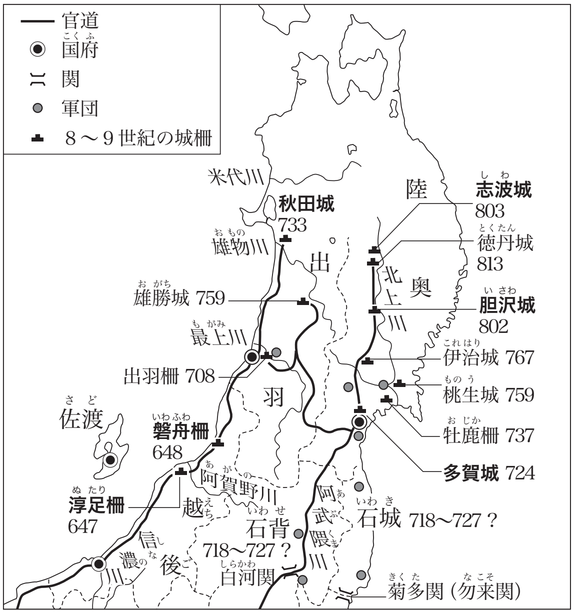
C　**嵯峨朝**

811年　征夷将軍文室綿麻呂の征討

その後，９世紀後半には征討事業を完了したが，蝦夷と境を接する東国には武芸を尊重する気風が育った。

☆**俘囚**⇒朝廷に服属した蝦夷。

☆**柵戸**⇒関東などから城柵の周辺に移住させられた農民。



東北地方の城柵

③現実に即した律令制の再建

A　桓武天皇の政治

長い在任期間のうちに天智系皇室の権威を確立。

あ　農民負担の軽減

雑徭の半減(60日⇒30日へ)，班田の励行(畿内は６年〔１比〕１班⇒12年〔１紀〕１班へ)，公出挙利率の軽減（５割⇒３割へ)，**徳政論争による「軍事と造作」の中断。**

い　地方政治の監督強化

国司交代時における**解由状**の授受(＝事務引継ぎ)にともなう紛争や不正を防止するため，**勘解由使**を設置。

☆増えていた定員外の国司や郡司も廃止。

う　軍団制の廃止(792年，**健児の制**)

大宰府管内・陸奥・出羽・佐渡を除き軍団制を廃止。**郡司の子弟**や有力農民の志願による少数精鋭の**健児**を採用し，国府の警備や国内の治安維持にあたらせた。

B　嵯峨天皇の政治

810年　**蔵人所**を設置

☆**蔵人頭**として**藤原冬嗣**･巨勢野足を任命，**藤原北家が台頭した。**

☆詔勅は太政官を通じて下すと手続きが煩雑で機密事項も漏れやすいため，**蔵人**を秘書官として速やかに政務を取り扱わせた。

薬子の変〔平城太上天皇の変〕

☆**藤原仲成・薬子**兄妹が，嵯峨天皇の兄にあたる**平城太上天皇**の重祚と平城京再遷都を画策するが失敗。**藤原式家は没落した。**

815年　新撰姓氏録の編纂

☆万多親王が，畿内1182氏の系譜を皇別・神別・諸蕃に分類。

816年　**検非違使**の設置

☆弾正台・衛門府・刑部省・左右京職の治安維持や裁判に関する業務を吸収し，平安京の警察にあたる。

820年　**弘仁格式**の編纂

823年　大宰府管内に**公営田**を設置

C　**令外官**の増設

内大臣，中納言，参議，左右近衛府，**【征夷大将軍，勘解由使，蔵人所，検非違使】**，押領使，追捕使，**人臣摂政**，**関白**，内覧など。

D　**三代格式**の編纂開始

弘仁格式（嵯峨天皇），**貞観格式（清和天皇）**，**延喜格式（醍醐天皇）**

☆格は10世紀半ばの『**類聚三代格**』で分類。式は『延喜式』のみ現存。

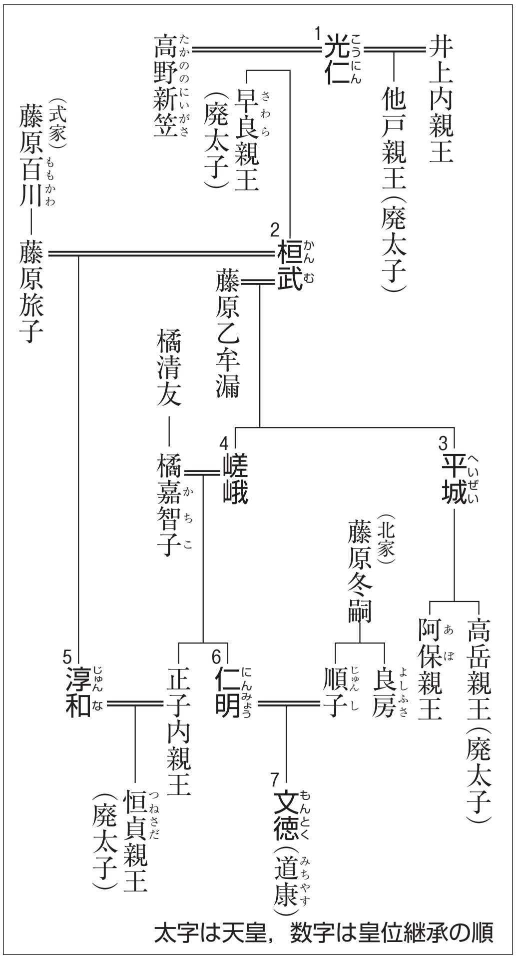
E　**養老令の注釈書**⇒令の解釈を統一

あ　**令義解（官撰）**

833年，淳和天皇が**清原夏野**らに編纂させる。

い　**令集解（私撰）**

９世紀後半，**惟宗直本**が令の注釈を私的に集める。



天皇家と藤原氏の関係系図(2)

２　弘仁・貞観文化（８世紀末～９世紀）

①弘仁・貞観文化の特色

A　平安京の皇族・貴族が中心の文化である。

B　**晩唐文化の影響が強い**が，国風化のめばえもみられる。

C　**紀伝道**・明経道**が重視され，宮廷を中心に漢文学が流行する。**

☆律令の正しい運用をめざしたため。

D　唐から新たにもち込まれた**密教の影響が強く，密教芸術が栄える。**

☆**官能的で暗く神秘的なイメージ。**

---

②平安仏教

A　奈良〔南都〕仏教との相違

あ　**信仰を中心とした一宗派の独立。**

い　理論・学問面中心主義（＝**顕教**）に対し，**密教**的傾向の強い**加持祈禱**などの実践面が中心となる。

☆公的な鎮護国家思想に加え，私的な日常の**現世利益**も強く求める。

う　山岳仏教の性格が強く，のちに山岳崇拝と結合し**修験道**の源流となる。

☆日本古来の山岳崇拝は，白鳳文化期の**役小角〔役行者〕**に始まる。

B　**天台宗**

あ　開祖

最澄〔伝教大師〕

☆近江国出身。804年，遣唐使に従い入唐，翌年帰国し桓武天皇の庇護を受ける。著書『**顕戒論**』『山家学生式』。

い　中心寺院

比叡山延暦寺（近江国）

う　教義

法華経を根本経典とする総合宗派として仏の前における絶対平等を説く。南都六宗からの独立をめざし，独自の大乗戒壇設立を主張，死の直後に認められる。

☆最澄の死後，入唐した弟子の**円仁〔慈覚大師〕**（現存最古の日記『**入唐求法巡礼行記**』の著者）と**円珍〔智証大師〕**により密教化（＝**台密**）し，教団の基礎が確立。

☆10世紀末，比叡山を下りた円珍の門流が**園城寺〔三井寺〕**に拠り，

山門派（**延暦寺の円仁派**）と**寺門派**（**園城寺の円珍派**）に分裂し対立を深めた。

C　**真言宗**

あ　開祖

空海〔**弘法大師**〕

☆讃岐国出身。804年，遣唐使に従い入唐，806年に帰国し嵯峨天皇の庇護を受け発展。著書『**三教指帰**』『十住心論』。

い　中心寺院

高野山金剛峯寺（**紀伊国**），**教王護国寺**〔**東寺**〕（**山城国，嵯峨天皇に賜る**）

う　教義

大日経・金剛頂経を根本経典とし，**加持祈禱**などの秘法により中心仏である**大日如来**と合一（＝即身成仏）できると説く。南都六宗と友好関係を保ち，現世利益的傾向が皇族・貴族の支持を受けて**密教**の流行をもたらした（＝**東密**）。

---

③神祇信仰の発達

A　御霊信仰の発生

非業の死を遂げた人物の霊（＝**怨霊**）をまつる**御霊会**が行われる。

☆神泉苑（早良親王を祀る初の御霊会が行われる），祇園社〔八坂神社〕，**北野天満宮**〔**北野神社**〕・大宰府天満宮（菅原道真を学問の神「天神」とする）など。

B　放生会の開始

捕獲しておいた虫・魚・動物などを山野河海に解き放ち自由にする。仏教の影響を受けて行われた。

---

④神仏習合の風潮⇒天平文化期以来

神宮寺の建築，神前読経の実施，寺院の境内に守護神を祀るなど，仏教と日本古来の神祇信仰との融合が進んだ。

---

⑤寺院建築

天台宗・真言宗はともに山岳仏教であったため，寺院は自然の地形に応じて**自由な伽藍配置**をとった。

A　**室生寺金堂**　（大和国）

B　**室生寺五重塔**

☆わが国最小の五重塔。

---

⑥彫刻

頭部と胴体を一本の木で作る**一木造**が主流。衣文は力強い**翻波式**で，豊満・神秘的な像が多い。

A　**室生寺金堂釈迦如来像**

B　**室生寺弥勒堂釈迦如来坐像**

C　**元興寺薬師如来像**　（大和国）

D　**神護寺薬師如来像**　（山城国）

E　新薬師寺薬師如来像（大和国）

F　**法華寺十一面観音像（大和国）**

G　**観心寺如意輪観音像（河内国）**

H　**教王護国寺講堂不動明王像**

I　**薬師寺僧形八幡神像**

☆神仏習合を示す好例。

J　薬師寺神功皇后像

---

⑦絵画

A　**曼荼羅**⇒密教の金剛界と胎蔵界を図化した**両界曼荼羅**が隆盛

　あ　**神護寺両界曼荼羅〔高雄曼荼羅〕**

　い　**教王護国寺両界曼荼羅**

B　**不動明王像**⇒密教の中心仏である大日如来の化身

　あ　**園城寺不動明王像〔黄不動〕(近江国)**

　い　高野山明王院不動明王像〔赤不動〕

　☆両方ともに円珍が描かせたものか？　国風文化期の青蓮院不動明王像〔青不動〕(山城国)とともに「三不動」と称される。

---

⑧書道

嵯峨天皇，**空海**，**橘逸勢**を唐風書道〔**唐様**〕の三名手として**三筆**とよぶ。

A　**風信帖**

　☆空海が最澄にあてた手紙。

B　久隔帖

　☆最澄が弟子の泰範にあてた手紙。

---

⑨文芸

上級貴族の教養として，漢文学・歴史学習（＝紀伝道）が流行。重要な出世の手段ともなった。

☆代表的漢詩作家は嵯峨天皇，空海，小野篁（おののたかむら），都良香（みやこのよしか），菅原道真ら。

A　**勅撰漢詩集**（ちょくせん）⇒文芸を中心に国家の隆盛をめざす（＝**文章経国**（もんじょうけいこく）思想）

あ　**凌雲集**（りょううんしゅう）　**（嵯峨天皇）**

い　**文華秀麗集**（ぶんかしゅうれいしゅう）**（嵯峨天皇）**

う　**経国集**（けいこく）　（淳和（じゅんな）天皇）

B　**漢詩集**

あ　**性霊集**（しょうりょうしゅう）　**（空海）**

い　**菅家文草**（かんけぶんそう）**（菅原道真）**

う　菅家後集（菅原道真）

C　漢詩論

文鏡秘府論（ぶんきょうひふろん）　**（空海）**

☆わが国最古の評論。

D　**説話集**

日本霊異記（にほんりょういき）　**（景戒**（けいかい）**）**

☆**わが国最古の仏教説話集。**

E　歴史書

あ　『続日本紀（しょくにほんぎ）』以下の「六国史（りっこくし）」が完成

い　**『類聚国史（るいじゅうこくし）』（菅原道真）**

☆「六国史」の記事を分類したもの。

F　**かな文字**の登場

９世紀に入り，万葉がなの草書体（**草がな**〔草体がな〕）を簡略化した**平がな**や，漢字の一部分を採（と）った**片かな**が用いられ始めた。

☆藤原有年（ありとし）申文（讃岐国司，867年）は，草がなから平がなへの変化を示す好例。

---

⑩教育

A　大学教育の発展

明経道・明法道・紀伝道・算道の四道が確立。**漢詩文の隆盛にともない紀伝道が中心教科となる。**

B　**大学別曹**

大学付属の寄宿舎兼図書館。一族専用で学費も支援された。

あ　**弘文院（和気氏）**

☆和気広世が設立。

い　**勧学院（藤原氏）**

☆**藤原冬嗣が設立**した最大の大学別曹。

う　**学館院（橘氏）**

☆嵯峨天皇の皇后である橘嘉智子〔檀林皇后〕が設立。

え　**奨学院**（**在原氏**や皇族）

☆在原行平が設立。

C　**庶民教育**

綜芸種智院（828年，**空海が設立**）

☆儒教・仏教・道教を教えたが，**空海の死後廃絶した。**

３　摂関政治

①藤原北家(ほっけ)の台頭―摂関政治の開始―

A　**藤原北家発展**の要因

あ　**外戚(がいせき)政策**

娘を入内(じゅだい)・出産させ，天皇の**外戚**〔母方の親戚，**外祖父(がいそふ)**など〕となる。

い　**他氏排斥(たしはいせき)**

伴(とも)氏（もとの大伴(おおとも)氏）・橘(たちばな)氏・紀(き)氏・菅原氏・醍醐源氏などを排斥。

☆さらに藤原北家内の「氏(うじ)の長者(ちょうじゃ)」争いに突入。

う　**高位高官の独占と寄進地系荘園の集積(しゅうせき)**

摂政・関白は藤原北家が独占し（＝**摂関家**），荘園の寄進が集中。

☆摂関家の荘園群を**殿下渡領(でんかのわたりりょう)**という。

B　**藤原冬嗣(ふゆつぐ)**

810年　嵯峨天皇の蔵人頭(くろうどのとう)に就任

☆のち娘の順子(じゅんし)を仁明(にんみょう)天皇に入内させ，皇室との姻戚(いんせき)関係を確立。

C　**藤原良房(よしふさ)**（冬嗣の子）

842年　承和(じょうわ)の変　　　　（仁明天皇）

☆皇太子恒貞(つねさだ)親王・**伴健岑(とものこわみね)**・**橘逸勢(たちばなのはやなり)**を謀反(ほうへん)の疑いありとして排斥。甥(おい)にあたる道康(みちやす)親王（のちの文徳(もんとく)天皇）を立太子(りったいし)。

857年　太政大臣(だいじょうだいじん)に就任　　（文徳天皇）

858年　事実上の摂政に就任（清和(せいわ)天皇）⇒臣下で初の人臣摂政。

☆文徳天皇に入内(じゅだい)した娘明子(めいし)が産んだ惟仁(これひと)親王が９歳で即位。

866年　応天門(おうてんもん)の変　　　　（清和天皇）

☆嵯峨源氏の**左大臣源信(みなもとのまこと)**を陥(おとしい)れるため大内裏(だいだいり)の応天門に放火した**大納言伴善男(とものよしお)**と紀氏(きし)らを排斥。

☆正式の摂政となる。

D　**藤原基経(もとつね)**（良房の養子）

884年　乱行(らんぎょう)が絶えない陽成(ようぜい)天皇を廃位し初の**関白**に就任（**光孝(こうこう)天皇**）

887年～　阿衡(あこう)の紛議〔阿衡事件〕（～888年）　　　　　　（宇多天皇）

☆**基経の示威(じい)事件。宇多天皇が勅書を撤回**し橘広相(たちばなのひろみ)が責を問われる。

☆基経は**正式の関白に就任**し政治的地位を確立した。

〈***Note***〉

②天皇の親政―摂関政治の中断―

A　**宇多天皇の親政**―寛平の治―

藤原基経死後，藤原氏と外戚関係のないことから摂政・関白を置かず親政を展開。

あ　文章博士**菅原道真**を蔵人頭に登用

い　滝口の武士を設置

う　遣唐大使**菅原道真の建議により遣唐使を廃止（894年）**

え　醍醐天皇への譲位時に『寛平御遺誡』を遺す

B　**醍醐天皇の親政―延喜の治―**

☆**左大臣藤原時平，右大臣菅原道真**体制で親政を開始。

901年　**昌泰の変**

☆菅原道真，藤原時平の讒言により大宰権帥に左遷される。

『日本三代実録』（「六国史」の最後）の完成

902年　**最終班田**

延喜の荘園整理令

905年　『古今和歌集』の完成

907年　唐の滅亡

『**延喜格**』を編纂

914年　**三善清行「意見封事十二箇条」**を奏上

926年　契丹〔遼〕により渤海が滅亡

927年　『**延喜式**』を編纂

C　朱雀天皇の政治

藤原忠平（時平の弟）により一時的に摂関政治が復活。

936年　高麗，新羅にかわり朝鮮半島を統一

939年　承平・天慶の乱（～941年）

D　**村上天皇の親政―天暦の治―**

関白藤原忠平の死後は摂関を置かず，親政を展開。

958年　**乾元大宝（最後の本朝〔皇朝〕十二銭）**の鋳造

③藤原北家の全盛―摂関政治の全盛―

969年　**安和の変**⇒藤原北家による**最後の他氏排斥事件**

☆**左大臣源高明（醍醐源氏）が，藤原北家と通じる源満仲（清和源氏）の讒言により，大宰権帥に左遷される。**

☆冷泉天皇の関白藤原実頼が新たに即位した円融天皇の摂政に就任。**以後ほぼ摂関常置体制となる。**

A　摂政・関白の独占

他氏排斥完了後，藤原北家内での「氏の長者」争いを展開。

☆兼通（兄）と**兼家（弟）**，道隆（兄）と道兼（弟），**道長（叔父）と伊周（甥）**の争いを経て，**藤原道長・頼通**父子の摂関政治全盛期へ。

B　**摂関の立場**

あ　**天皇の外戚**

摂関の条件。当時は**招婿婚〔婿入婚・妻問婚〕**の風習であり，男児も幼少時は妻の実家で養育された。

い　**天皇の政務を代行・補佐**

摂政（幼少時）・関白（成人後）は太政大臣や左大臣と兼任した。

う　**経済基盤**

律令官人としての収入の他に，**寄進地系荘園からの収入**があった。

☆**官吏の人事権を掌握**していたため成功による収入もあった。

C　政治の運営

あ　実情⇒律令の枠内で公私混同的政治を展開

重要政務は公卿が参加する内裏の「近衛の陣」における**陣定**で決定され，摂関家が天皇権威を代行・補佐。詔勅・宣旨・太政官符の他に，摂関家の下す政所下文・御教書なども政治的権力をもった。

☆**内政・外交ともに積極的政策はなく，先例・儀式が重視され，年中行事が発達した。**

☆**個人・一族の栄達に執着し，国政を軽視する傾向が強く**，貴族の責任感は著しく欠如していた。

い　結果

国政は形式的となり，国司に一任された地方政治は乱れ，武士団発生の要因となった。

D　**藤原道長〔御堂関白〕と頼通〔宇治関白・宇治殿〕の栄華**

995年　道長が一条天皇の内覧となる
☆左大臣にも昇進し，伊周・隆家との政争に勝利。

1000年　道長の娘**彰子が一条天皇の中宮となる**
☆中宮であった道隆の娘(伊周の妹)**定子**は，皇后として並立される。

1012年　道長の娘**妍子が三条天皇の中宮となる**

1016年　**道長が後一条天皇の摂政となる**
☆翌年，摂政を子の頼通に譲り太政大臣に昇進。

1018年　道長の娘**威子が後一条天皇の中宮となる。**
☆**一家三立后**を達成。のち嬉子も皇太子(のちの後朱雀天皇)の妃となる。

1019年　刀伊の入寇
☆大宰権帥藤原隆家(伊周の弟)が，地方武士を動員して撃退。

1020年　**道長が京都に法成寺〔無量寿院〕を建立**

1021年　道長が『**御堂関白記**』を完成

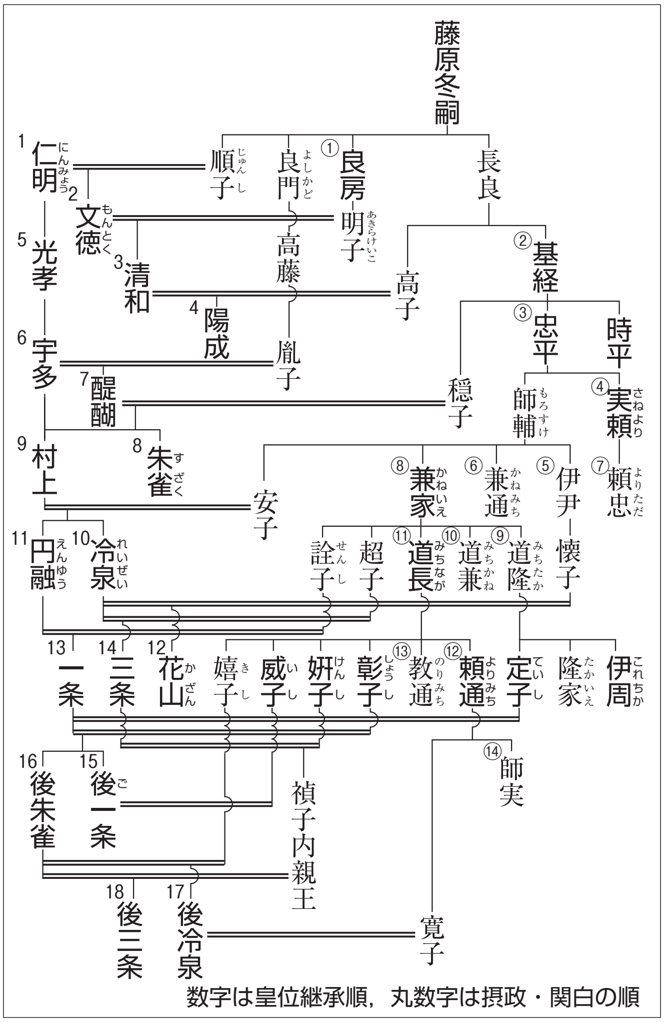
1028年　平忠常の乱(～31年)

1051年　前九年合戦(～62年)

1052年　末法の始まり

1053年　**頼通が宇治に平等院鳳凰堂を建立**

1068年　頼通が後冷泉天皇の関白を弟の教通に譲る



天皇家と藤原氏の関係系図⑶

４　東アジア情勢の変化―王朝の交代―

①中国

9世紀後半には，唐の商人が頻繁（ひんぱん）に来航するようになっていた。

894年　**菅原道真（すがわらのみちざね）の建議により宇多天皇が遣唐使を廃止**

☆唐の衰退，航海の危険，文化の十分な吸収，朝廷の財政難などが理由。

907年　唐の滅亡

☆この後，五代十国（ごだいじっこく）の諸王朝が興亡（こうぼう）。

960年　趙匡胤（ちょうきょういん）による**宋（そう）**の建国

979年　**宋〔北宋〕**の中国統一

☆日本は東アジアの動乱を避けるためもあり，**正式な国交を開かなかったが，宋船が博多に頻繁に来航し貿易は継続された。**日本人の渡航は禁止されていたが，10世紀末の奝然（ちょうねん）や11世紀半ばの成尋（じょうじん）のように，巡礼を目的とする僧に関しては許されることがあった。

---

②朝鮮半島

8世紀末に新羅使の来日はなくなるが，新羅商人が来航するようになっていた。

935年　新羅（しらぎ）の滅亡

936年　**高麗（こうらい）**が半島を統一

☆**日本と国交は開かれなかったが**，商人などの往来はあった。

---

③中国東北部とその周辺（沿海州（えんかいしゅう）など）

926年　**契丹（きったん）〔遼（りょう）〕**により渤海（ぼっかい）が滅亡

☆日本と国交は開かれなかったが，商人などの往来はあった。

1019年　渤海遺民（いみん）の**女真族（じょしんぞく）〔刀伊（とい）〕**が九州北部に来襲（らいしゅう）⇒**刀伊の入寇（にゅうこう）**

☆**大宰権帥（だざいのごんのそち）藤原隆家**が率いる地方武士団の活躍で撃退。対外問題に対する中央政府の無力さが露呈（ろてい）した。

〈***Note***〉

5　国風〔藤原〕文化（10〜11世紀）

①国風文化の特色

A　平安京の皇族・**摂関家**を中心とする高度な貴族文化。

B　**中国の文化を十分に吸収・消化したわが国独自の文化。**

☆日本人の人情・嗜好（しこう），日本の風土に合うように工夫された，優雅で洗練された文化。

C　**かな文字の発達を前提に国文学が発展**

D　政治の腐敗（ふはい）や社会不安の高まりの中で，**神仏習合（しんぶつしゅうごう）・末法思想（まっぽうしそう）・浄土教（じょうどきょう）が流行**し，芸術に多大な影響を与える。

---

②末法思想と浄土教

A　天台宗・真言宗の隆盛

現世利益（げんぜりやく）のための加持祈禱（かじきとう）が皇族・貴族の間で流行。

B　**神仏習合（しんぶつしゅうごう）**の進展

神は仏の仮（かり）の姿（＝権現（ごんげん））とする**本地垂迹説（ほんじすいじゃくせつ）**が流行。

C　**浄土教〔浄土信仰（しんこう）〕**の隆盛

あ　思想

阿弥陀如来（あみだにょらい）に対する信仰。**念仏「南無阿弥陀仏（なむあみだぶつ）」を唱（とな）え，来世において極楽浄土（ごくらくじょうど）に往生することを願う。**

い　背景

社会不安の増大（盗賊・戦乱・災厄など），寺院の世俗化（せぞくか）（荘園の集積など），**末法思想の流行。**

☆**末法思想**＝釈迦入滅（にゅうめつ）後，1000年ずつの正法（しょうぼう）・像法（ぞうぼう）を経て**1052〔永承（えいしょう）7〕年から末法に突入**すると考えられた。

D　布教

あ　**空也（くうや）〔市聖（いちのひじり）〕**　（10世紀半ば）

諸国を巡歴後，**京（みやこ）で一般民衆に布教。**西光寺（さいこうじ）（のちの**六波羅蜜寺（ろくはらみつじ）**）を創建。

い　**源信（げんしん）〔恵心僧都（えしんそうず）〕**（10世紀後半）

985年に『**往生要集（おうじょうようしゅう）**』を著す。上流貴族への浄土教普及を促（うなが）し，もち込まれた宋でも高い評価を得た。

う　**往生伝**（念仏の功徳（くどく）で往生した人々の伝記集）の執筆

『日本往生極楽記』（慶滋保胤），「拾遺往生伝」（三善為康）など

え　**経塚**の流行

経典を書写し，経筒におさめ地中に埋める。藤原道長が法華経を埋納した金峯山経塚などが有名。

---

③仏教美術

A　建築

あ　**醍醐寺五重塔**

い　法成寺阿弥陀堂〔無量寿院〕

☆藤原道長〔御堂関白〕が建立，焼失により現存せず。

う　**平等院鳳凰堂**

☆**藤原頼通〔宇治関白〕が建立**（1053年完成），浄土庭園も有名。

え　**法界寺阿弥陀堂**

☆日野資業が建立。

お　浄瑠璃寺九体阿弥陀堂

☆院政期の説もあり。

B　彫刻

仏所において**寄木造**で阿弥陀如来像を大量生産し，浄土教流行の需要に応えた。

あ　**平等院鳳凰堂阿弥陀如来像**

☆仏師の**定朝**が制作。周囲に多数の雲中供養菩薩像を従える。

い　**法界寺阿弥陀如来像**

う　浄瑠璃寺九体阿弥陀仏

C　絵画

往生する人を迎えるため阿弥陀仏が来臨する場面を描く**来迎図**の制作が流行。

あ　**高野山聖衆来迎図**（紀伊国）

い　**平等院鳳凰堂扉絵**

う　青蓮院不動明王像〔青不動〕

---

④国風美術

A　建築

貴族の邸宅として，白木造・檜皮葺で開放的な**寝殿造**が発達。

☆**寝殿**・対屋・渡殿・廊・釣殿からなり，庭園には遣水・池・中島があった。室内は屏風・襖〔障子〕などで簡単に仕切られ，床は板敷きで畳や円座を敷いて座った。

☆摂関家の邸宅である東三条殿などが有名だが，現存する寝殿造はない。

B　絵画

従来の唐絵とともに，日本の風物を題材としてなだらかな線と上品な彩色をもつ**大和絵**が発達。

☆**巨勢金岡**らが活躍。

C　書道

前代の唐様に対し**和様**が発達。**小野道風**（『**屏風土代**』「秋萩帖」）・**藤原佐理**（『**離洛帖**』）・**藤原行成**（世尊寺流の祖，『**白氏詩巻**』）の３名手を**三跡**〔**三蹟**〕という。

D　工芸

蒔絵（＝漆で文様を描き，金銀粉を蒔きつけて漆器の模様とする）や**螺鈿**（＝貝殻の真珠光部分を薄片にして漆器に埋め込む）などの技法が発達。

☆輸出品としても珍重された。

⑤国文学の発達

A　**かな文字の発達**

日本人特有の内面的感情・感覚の表現が可能となり，国文学の隆盛をもたらす。

B　詩歌(しいか)⇒和歌が漢詩と並ぶ地位を確立

あ　**古今(こきん)和歌集**(905年，**醍醐天皇**)

万葉集以降〜当代(とうだい)の約1100首を20巻に収める**初の勅撰(ちょくせん)和歌集**で，**八代集(はちだいしゅう)のはじめ**。繊細(せんさい)で技巧的(ぎこうてき)な**古今調**〔たをやめぶり〕。**紀貫之(きのつらゆき)**・紀友則(きのとものり)・凡河内躬恒(おおしこうちのみつね)・壬生忠岑(みぶのただみね)が編纂。紀貫之の**仮名序(かなじょ)**はわが国最古の歌論。

☆**八代集(はちだいしゅう)**⇒古今・後撰(ごせん)・拾遺(しゅうい)・後拾遺(ごしゅうい)・金葉(きんよう)・詞花(しか)・千載(せんざい)・新古今(しんこきん)

い　**和漢朗詠(ろうえい)集**

藤原公任(きんとう)が編纂した，朗詠に適した和漢の詩歌集。

う　本朝文粋(ほんちょうもんずい)

『明衡往来(めいごうおうらい)』(最古の往来物)の著者でもある藤原明衡(あきひら)が編纂した漢詩集。

C　物語

あ　９世紀末〜10世紀前半

竹取物語　(伝奇物語)

☆かぐや姫を主人公とする**最古の物語**。

伊勢物語　(歌物語)

☆在原業平(ありわらのなりひら)を主人公とする**最古の歌物語**。

い　10世紀後半

宇津保(うつほ)物語(伝奇物語)

☆竹取物語⇒源氏物語への過渡的(かとてき)な存在。

落窪(おちくぼ)物語　(伝奇物語)

☆継子(ままこ)物語の先駆(せんく)。

う　11世紀初め

源氏物語(**紫式部**，全54帖(じょう))

☆前編は**光源氏(ひかるげんじ)**，後編の宇治十帖(うじじゅうじょう)はその子薫大将(かおるたいしょう)を主人公とする物語文学の最高峰(さいこうほう)。**国際的評価も極めて高い。**

栄華(えいが)物語(赤染衛門(あかぞめえもん)ら)

☆藤原氏全盛期を**賞賛的(しょうさんてき)に**，**編年体で描く**歴史物語。

D　日記文学

あ　10世紀

土佐日記　　（**紀貫之**）

☆女性に仮託して書かれた**最古のかな日記**

蜻蛉日記　　（**藤原道綱の母**）

☆一夫多妻制の貴族社会における女性の苦悩を描く**最古の女流日記**。

い　11世紀前半

和泉式部日記（和泉式部）

紫式部日記　（**紫式部**）

☆**紫式部は一条天皇の中宮である彰子**〔上東門院〕**に仕えた。**

う　11世紀半ば

更級日記　　（**菅原孝標の女**）

E　随筆

枕草子　　　　　（**清少納言**）⇒最古の随筆

☆清少納言は一条天皇の中宮（のち皇后）である定子に仕えた。

F　百科事典

倭名類聚抄〔倭名抄〕（源順）⇒最古の百科事典

⑥貴族の生活

A　社会生活

あ　通過儀礼

10～15歳くらいで男子は**元服**，女子は**裳着**の式をあげて，成人として扱われた。その後，男子は官職を得て朝廷に出仕した。

い　**年中行事**の発達

政治は先例に従って行われるようになり，先例や儀式に精通することが貴族の教養とされたので，日記や儀式書がさかんに著された。

☆上流貴族の日記⇒**『御堂関白記』(藤原道長)**，
『小右記』(藤原実資)など

☆儀式書　⇒『西宮記』(源高明)，『江家次第』(大江匡房)など

う　おもな年中行事

睦月　(１月)⇒朝賀，叙位，**県召除目**など
弥生　(３月)⇒曲水宴
卯月　(４月)⇒灌仏会，**賀茂祭〔葵祭〕**など
水無月(６月)⇒大祓〔水無月祓〕など
文月　(７月)⇒七夕，盂蘭盆会，相撲節など
葉月　(８月)⇒司召除目など
師走　(12月)⇒追儺，大祓〔年越祓〕など

え　生活範囲

石山寺(近江国)や長谷寺(大和国)などに参詣する他は，ほとんど京を離れることなく一生を終えた。

B　日常生活

あ　衣

貴族の正装⇒男性は束帯・衣冠，女性は女房装束〔十二単〕。

貴族の常服⇒男性は直衣・狩衣，女性は小袿に袴を着用。

武士・庶民⇒直垂・水干など。

い　食

強飯と乾物を中心に，**朝夕の２食**。荘園からの徴収品などで，貴族の食事は多種多様になった。庶民の食事は比較的簡素で，１日３回とることもあった。

う　住

貴族の多くは左京の寝殿造の屋敷に居住。

☆京の民衆は掘立柱住居，地方には竪穴住居に住む者もいた。

え　婚姻

結婚した男性が妻の家に入る招婿婚〔婿入婚・妻問婚〕が一般化。**母方の縁（＝外戚関係）が重視されるが，女性の地位は不安定であった。**

お　娯楽

碁・双六や歌合・貝合・闘鶏，**蹴鞠**，放鷹など多数の娯楽が存在した。

C　精神生活

運命や吉凶を気にかけ，祈禱により災厄を避けて福を招くことにつとめた。

あ　**陰陽五行説**にもとづく**陰陽道**の影響で迷信が流行。生活は**具注暦**に縛られ，**物忌**と称し引きこもり慎んだり，凶の方角を避け**方違**を行ったりした。

い　現世で栄達富貴が得られない場合の失望や現実逃避により，極楽浄土への往生を求め**浄土教が流行**。

〈***Note***〉

第５講　確認問題

1　785年に長岡京で殺害された藤原式家の人物とは？

①藤原百川　②藤原種継　③藤原緒嗣　④藤原仲成

2　坂上田村麻呂の征討により帰順した蝦夷の族長とは？

①阿倍比羅夫　②伊治呰麻呂　③阿弖流為　④安倍頼時

3　嵯峨天皇が設置した，平安京内の警察にあたる令外官とは？

①勘解由使　②蔵人　③検非違使　④追捕使

4　弘仁・貞観・延喜の「三代格式」編纂とは無関係の天皇とは？

①嵯峨天皇　②清和天皇　③醍醐天皇　④村上天皇

5　858年，清和天皇の事実上の摂政となった人物とは？

①藤原冬嗣　②藤原良房　③藤原基経　④藤原忠平

6　894年，菅原道真の建言で遣唐使を廃止した天皇とは？

①宇多天皇　②醍醐天皇　③朱雀天皇　④村上天皇

7　969年の安和の変後，円融天皇の摂政となった人物とは？

①藤原実頼　②藤原兼家　③藤原道隆　④藤原道長

8　摂関政治期に起こった反乱や戦いなどとしてふさわしくないものを選べ。

①前九年合戦　②平忠常の乱　③刀伊の入寇　④伊治呰麻呂の乱

9　次のうち，死後に園城寺〔三井寺〕と最も関係が深い僧を選べ。

①最澄〔伝教大師〕　②空海〔弘法大師〕
③円仁〔慈覚大師〕　④円珍〔智証大師〕

10　平安時代前期（弘仁・貞観文化）の仏像としてふさわしくないものを一つ選べ。

①元興寺薬師如来像　②法華寺十一面観音像
③観心寺如意輪観音像　④法界寺阿弥陀如来像

11　次のうち，「三筆」ではなく「三跡〔三蹟〕」に属する書家とは？

①嵯峨天皇　②空海　③橘逸勢　④小野道風

12　最古の女流日記とは？

①土佐日記　②蜻蛉日記　③和泉式部日記　④更級日記

解答

1	②	2	③	3	③	4	④	5	②
6	①	7	①	8	④	9	④	10	④
11	④	12	②						

第６講　平安時代Ⅱ

1　律令体制の放棄

①律令体制の動揺

A　班田制の後退（８世紀後半～９世紀）

農民の偽籍，浮浪・逃亡が一般化し，戸籍・計帳が形骸化。班田の実施が次第に困難となる。律令国家体制の根本が機能せず，地方政治も混乱しはじめた。

☆班田の記録は**902年**で途絶える。

B　有力農民の台頭

私出挙や税の肩代わりなどを通じ，有力農民が貧窮農民を支配。

☆口分田を集積し私有地化，墾田開発も推進して“富豪の輩”とよばれるようになる。

C　**農民の個別人身支配の困難による税収の減少**

あ　貴族・寺社の私有地である**初期荘園**の増加

い　税収確保を目的とする有力農民を利用した**直営**方式の採用

☆**公営田**（823年，**大宰府管内に設置**），**官田**〔元慶官田〕（879年，**畿内に設置**），諸司田（各官庁が所有），**勅旨田**（天皇の田），賜田（皇族が天皇より賜る田）など。

う　院宮王臣家の勢力増大

☆天皇と親近な関係にある特権的な少数の皇族・上級貴族に国司（中下級貴族）・地方豪族・有力農民の勢力が接近。のち大寺社も含み**権門勢家**とよぶ。

〈*Note*〉

②徴税方式の転換と国司の変容（９世紀末～10世紀）

A　律令制維持の努力（醍醐天皇，延喜の治）

902年　**延喜の荘園整理令**（＝勅旨田・非合法荘園の停止）

最後の班田実施

914年　**三善清行「意見封事十二箇条」**

☆醍醐天皇に財政難と地方政治の実情を指摘。

B　**徴税方式の転換**（朱雀天皇，藤原忠平摂関政治期）

戸籍・計帳にもとづく個別の租税賦課方式を廃止。

☆従来の税制（租・調・庸・雑徭など）を放棄，以後戸籍・計帳は作成されず。

あ　**国司の徴税請負人化**

国司は一定量の税を朝廷に納入する義務を負うかわりに，一国の支配を一任される。

☆もと郡司であった地方豪族たちが**在庁官人**となり，国司の率いる郎等らとともに国衙〔国府〕の実務を担当。

い　**人頭税から土地税へと徴税方式が転換**

公田（もとの口分田・乗田）をいくつかの**名**〔**名田**〕に分割し，**田堵**や**大名田堵**とよばれる有力農民・地方豪族に耕作を請け負わせ，租・調・庸・雑徭にかわる**官物**・**臨時雑役**を賦課。これを「**負名体制**」とよぶ。

☆田堵は11世紀後半には土地支配権も手に入れ，**名主**とよばれるようになる。

C　国司制度の変容

あ　売官売位の風潮

成功(じょうごう)(寺社の造営などに際して朝廷に私財を献じ代償として官職を得る)，**重任**(ちょうにん)(成功により収入の多い官職に再任される)が一般化。

い　国司の形態

遙任(ようにん)**⇒任国に赴任**(ふにん)**せず**京(みやこ)に留(とど)まり収入のみを受け取る国司

☆任国には**目代**(もくだい)を派遣，国衙(こくが)で**在庁官人**を指揮し政務にあたる。

☆赴任しない国司の国衙を**留守所**(るすどころ)という。

受領(ずりょう)**⇒自ら任国に赴任**する国司の最上席者(ふつうは守(かみ))

☆新任者が交替の際，一国の財産などを前任者から引き継ぐことが語源。

☆11世紀後半には，受領も交替の時以外は任国に赴かず，遙任と変わらなくなった。

う　国司と地方豪族・有力農民との対立

尾張守(おわりのかみ)**藤原元命**(もとなが)

☆**「尾張国郡司百姓等解」**(ぐんじひゃくせいらげ)**(988年)**で31カ条にわたり訴えられ，翌年解任された。

信濃守(しなののかみ)藤原陳忠(のぶただ)

☆『今昔物語集』(こんじゃく)に貪欲(どんよく)さを示す逸話(いつわ)が掲載され，「受領は倒るる所に土をもつかめ」の言葉が有名。

２　荘園公領制と武士〔兵(つわもの)〕

①荘園公領制の確立（11世紀後半）

A　**寄進地系荘園**の発生（10世紀後半〜11世紀）

国衙(こくが)〔国府〕から臨時雑役(ぞうやく)などを免除された地方豪族・有力農民（＝大名田堵(だいみょうたと)）が，**開発領主(かいはつりょうしゅ)**として大規模な土地経営を始める。

↓↓↓

国司の激しい徴税(ちょうぜい)攻勢や圧迫(あっぱく)，開発領主間の抗争。

↓↓↓

不輸(ふゆ)・不入(ふにゅう)の権などの保護を求め，**国司方につかない開発領主が，自分の土地を中央の貴族・寺社に名目上(めいもくじょう)寄進**し，荘園領主「**領家(りょうけ)**」が発生。

☆土地を寄進した開発領主は，**荘官(しょうかん)**（**預所(あずかりどころ)**・下司(げし)・公文(くもん)など）として実質的な土地支配権は確保。荘園領主には**年貢(ねんぐ)**・**公事(くじ)**・**夫役(ぶやく)**を納入。

↓↓↓

領家はさらに権門勢家(けんもんせいか)（皇族・摂関家・大寺社など）に名目上寄進し，荘園領主「**本家**」が発生。

☆荘園領主（領家・本家）のうち，荘園の実質的支配者を**本所(ほんじょ)**という。

B　寄進地系荘園の**特権**

あ　**不輸の権**（10世紀後半〜）

官物(かんもつ)・臨時雑役免除の特権，その手続きを**立券荘号(りっけんしょうごう)**という。

☆**官省符荘(かんしょうふしょう)**（朝廷の**太政官符(だいじょうかんぷ)・民部省符**により不輸を認められたもの）と**国免荘(こくめんのしょう)**（国司により不輸を認められたもの）がある。

い　**不入の権**（11世紀〜）

国司が派遣する**検田使(けんでんし)**などの立ち入りを拒否する権利。

C　寄進地系荘園の例

肥後国鹿子木荘(ひごのくにかのこぎのしょう)や**神護寺領紀伊国桛田荘(じんごじりょうきいのくにかせだのしょう)**など。

☆その他，畿内とその周辺には小規模な寺社領荘園が多かった。

D　**公領〔国衙領〕**の形成と**荘園公領制**の確立（11世紀後半）

国司・国衙の在庁官人らによる**公有地の私有化が進行**し，**公領〔国衙領〕**が形成される。

↓↓↓

国司は公領〔国衙領〕を**郡**・**郷**・**保**などの新たな単位に再編する。

↓↓↓

国司方についた開発領主などから任命された**郡司**・**郷司**・**保司**が実質的に土地を支配し，国司に一定の税を納める。

☆荘園と同様に，公領〔国衙領〕内でも**年貢**・**公事**・**夫役**を徴収。田所・税所など国衙の行政機構も整備が進む。

↓↓↓

荘・郡・郷・保などが並立して一国が編成されるようになり，「**荘園公領制**」が確立した。

---

②武士団の形成と貴族による利用

A　**武士団**の形成（９世紀末～10世紀）

律令国家体制の崩壊（ほうかい）にともない地方の治安は悪化。徴税請負人（ちょうぜいうけおいにん）化した国司は激しい圧迫・徴税攻勢をかける。

↓↓↓

地方豪族・有力農民が武装，**家子（いえのこ）・郎党（ろうとう）**〔郎等・郎従（ろうじゅう）〕や下人（げにん）・所従（しょじゅう）を結集し，**小武士団**を形成。

☆その他にも，荘園領主との対立のために国司の子弟や在庁官人たちが国衙（こくが）〔国府〕に組織され，**小武士団**を形成。

↓↓↓

東国など辺境の地方では，**軍事貴族（＝武家）が受領（ずりょう）の任期終了後も土着（どちゃく）。館（たち）**を築き一族や地域の結びつきを強め，小武士団を統合し**大武士団**を形成して**棟梁（とうりょう）**となる。

☆**桓武平氏**（**平高望（たいらのたかもち）**〔高望王（たかもちおう）〕が祖），**清和源氏**（**源経基（みなもとのつねもと）**〔経基王（つねもとおう）〕が祖）は，武家の二大棟梁とされる。

B　武士団の利用

あ　朝廷の警護　**滝口の武者（たきぐちのむしゃ）（宇多天皇）**

い　院の警護　**北面の武士（白河上皇）**

う　貴族の警護　**侍（さむらい）〔家人（けにん）〕**

え　中央の治安維持　**検非違使（けびいし）**

お　地方の治安維持　**押領使（おうりょうし）・追捕使（ついぶし）**など

☆平時（へいじ）は館侍（たちざむらい）や国侍として国司が組織化。

③地方武士の反乱―承平(じょうへい)・天慶(てんぎょう)の乱(935年～941年)―

A　**平将門(まさかど)の乱**(939年～940年，根拠地＝下総国猿島(しもうさのくにさしま))

935年以降，父である鎮守府将軍平良将(よしまさ)の遺領をめぐる，一族の内紛に勝利。
☆叔父(おじ)の平国香(くにか)を殺害

↓↓↓

939年，常陸(ひたち)・下野(しもつけ)・上野(こうずけ)の国府を攻め落として「**新皇(しんのう)**」と称し，**関東**８カ国の大半を支配。

↓↓↓

同じ桓武平氏一族の**平貞盛(さだもり)**と下野国押領使(しもつけのくにおうりょうし)**藤原秀郷(ひでさと)**〔俵藤太(たわらのとうた)〕により鎮圧。

B　**藤原純友(すみとも)の乱**(939年～941年，根拠地＝伊予国日振島(いよのくにひぶりじま))

もと伊予国の国司(伊予掾(いよのじょう))であったが土着(どちゃく)，**瀬戸内海の海賊と結び**伊予(いよ)・讃岐(さぬき)国府を襲い，大宰府(だざいふ)を攻め落とす。

↓↓↓

清和源氏の祖である**源経基(つねもと)**と追捕使(ついぶし)小野好古(おののよしふる)により鎮圧。

C　**意義**

中央政府の無力さと地方武士の実力を確認。

---

④清和源氏の台頭⇒摂関家と結ぶ

A　**源経基**〔経基王〕

追捕使小野好古とともに藤原純友の乱を鎮圧(941年)。

B　**源満仲**(経基の子)

安和の変で摂関家の源高明排斥に協力(969年)

☆**摂関家に接近**，摂津国に土着して摂津源氏の祖となる。

C　源頼光(満仲の子，頼信の兄)

藤原兼家・道長の侍として勢力を伸張。摂津源氏の棟梁として諸国の受領を歴任し富裕を誇る。

D　**源頼信**(満仲の子，頼光の弟)

藤原道長の侍として勢力を伸張。甲斐守の時，上総国で発生し房総半島に広がった**平忠常の乱(1028年～31年)**を戦わずして平定。のち河内守として畿内に土着して河内源氏の祖となる。

☆**清和源氏の東国進出の契機となり，東国における源平勢力が交代した。**

E　**源頼義**(頼信の子)

陸奥守・鎮守府将軍として**前九年合戦〔前九年の役〕(1051年**～62年，陸奥国)を平定した河内源氏の棟梁。

☆子の**義家**とともに，**安倍頼時**・貞任・宗任(陸奥国の豪族)**の反乱を鎮圧。**

☆苦戦のため，清原武則(出羽国の豪族)の協力をあおぐ。

F　**源義家**〔八幡太郎〕(頼義の子)

陸奥守・鎮守府将軍として**後三年合戦〔後三年の役〕(1083年**～87年，出羽国)を平定した河内源氏の棟梁。

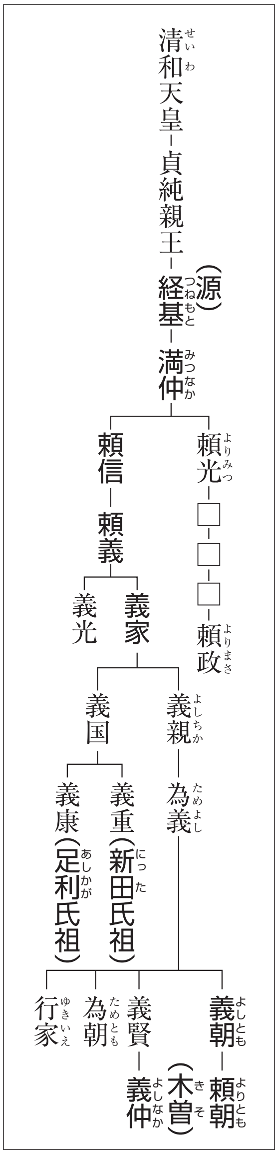
☆**清原氏の内紛に介入，藤原〔清原〕清衡**を助け清原家衡を鎮圧。

☆前九年・後三年合戦を通じて**源義家が東国武士団全体の棟梁となり**，荘園の寄進が集中。のちに禁止されるが，その勢力を無視できなくなった白河上皇から院の昇殿を許可される。

⑤奥州藤原氏の繁栄

後三年の役以後，**藤原清衡・基衡・秀衡**の三代，約100年間にわたり，奥六郡の**平泉（陸奥国，岩手県）**を中心に覇権を確立。**金**・良馬の産出を背景に**京都文化を移植**し**平泉文化**を創出した。

☆北海道やユーラシア大陸との交易もさかんに行った。



源氏略系図(1)

３　院政と平氏政権

①後三条天皇の親政―摂関政治の終焉―

A　**後三条天皇**（在位1068年～72年）

摂関家を外戚としない立場で，摂関家にとらわれない人材登用（源師房・**大江匡房**ら）による**親政**を行った。また，早期に白河天皇に譲位し皇統を摂関家から独立させた。

B　**延久の荘園整理令（1069年，国司に任せず朝廷で厳正に採決）**

あ　1045年（寛徳の荘園整理令）以降の新立荘園の停止。

い　1045年以前の荘園でも**券契**（＝証拠書類）不明のものは停止。

う　1045年以前の荘園でも国務の妨げとなるものは停止。

C　**記録荘園券契所〔記録所〕**の設置（**1069年**）

あ　摂関家の荘園も例外視せず**天皇権威が回復**，皇室に荘園の寄進が集中。

い　公領〔国衙領〕が回復，**国司〔受領・遙任〕の台頭を促す。**

う　朝廷公認の荘園を確定，「荘園公領制」の発展を促す。

D　**宣旨枡**の制定

ただし，公領〔国衙領〕や皇室領荘園以外の荘園では，さまざまな枡が用いられた。

E　一国平均役の導入

荘園・公領の別なくすべての土地に賦課する制度を導入し，財政の再建をはかった。

②院政

A　**院政の開始**（**1086年，白河天皇**が幼少の**堀河天皇**に譲位）

上皇〔**太上天皇・院**〕として天皇を後見，**院庁**において政治の実権を掌握。

☆院政を行う上皇を「**治天の君**」という。

B　院政の実施

法や慣例にこだわらず院〔上皇〕が専制政治を行う。

☆摂関家も院と結びつくことで勢力の衰退を盛り返そうとした。

あ　**白河上皇**　（堀河・鳥羽・崇徳天皇）

い　**鳥羽上皇**　（崇徳・近衛・後白河天皇）

う　**後白河上皇**（二条・六条・高倉・安徳・後鳥羽天皇）

C　院庁の構成

院近臣＝反摂関家の**中下級貴族**（**受領層**），**后妃・乳母の一族など。**

あ　職員

院司

い　命令

院庁下文・院宣

う　武力

北面の武士

☆白河上皇が設置

D　**院の経済基盤**

あ　**知行国**〔院分国〕からの収入

知行国は，権門勢家を**知行国主**とし，**国司推薦権と公領〔国衙領〕からの税収の大半を与える**制度。とくに院や女院の知行国を院分国という。

い　**寄進地系荘園からの収入**

鳥羽上皇の八条（女）院領や後白河上皇の長講堂領。

E　**院の仏教保護**

白河・鳥羽・後白河の３上皇は出家して**法皇**となり，造寺造仏（**六勝寺**），寺社参詣（**高野詣・熊野詣**），盛大な法会などに執心した。

☆**六勝寺＝法勝寺（白河天皇）**，尊勝寺（堀河天皇），最勝寺（鳥羽天皇），円勝寺（待賢門院），成勝寺（崇徳天皇），延勝寺（近衛天皇）

↓↓↓

財政難を招き政治が腐敗（成功など売位・売官の流行），**僧兵の横暴**により社会不安が増大。

F　**僧兵**の横暴

白河法皇の天下三不如意　―『源平盛衰記』より―

1　賀茂川の水　　2　双六のサイ　　3　山法師

あ　種類

興福寺〔南都〕＝春日神社の神木を掲げる**奈良法師**。

延暦寺〔北嶺〕＝日吉神社の神輿を担ぐ**山法師**。

☆**園城寺〔三井寺〕**の僧兵は**寺法師**という。

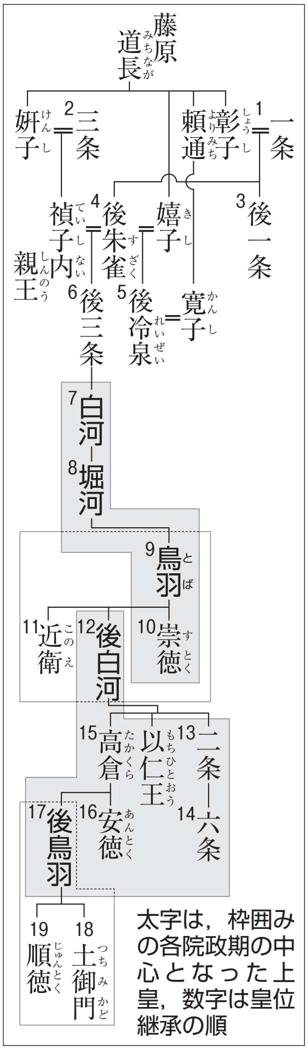
い　活動

国司との抗争，朝廷・院に対する**強訴**，大寺院間の合戦など。

う　結果

社会が混乱，上皇・天皇・貴族の大寺院に対する無力さが露呈。

☆**武士による僧兵の鎮圧が，地方武士の中央政界進出を招く。**



院政関係略系図

③桓武平氏〔伊勢平氏〕の台頭⇒院と結ぶ

A　**平正盛**(まさもり)

白河上皇の北面の武士となり中央に進出。海賊討伐(かいぞくとうばつ)で名を上げ，**出雲国**(いずものくに)では清和源氏の棟梁である源義親(よしちか)の乱を鎮圧(1107年～08年)。

B　**平忠盛**(ただもり)(正盛の子)

瀬戸内海の海賊追討などで活躍し，鳥羽上皇の院庁(いんのちょう)別当となる。西国の国司を歴任し，日宋貿易を開始。

☆昇進して貴族〔殿上人(でんじょうびと)〕となり，武士としても院近臣としても重用(ちょうよう)される。

C　**平清盛**(きよもり)(忠盛の子)

保元(ほうげん)・平治(へいじ)の乱を経て**太政大臣**となる(1167年)。のち**後白河法皇を幽閉(ゆうへい)し平氏政権を確立し，日宋貿易を大規模に展開。**

---

④保元の乱（1156年）

A　**原因**

鳥羽法皇の死を契機に，天皇家・摂関家の内部対立が表面化。

B　経過

源平各武士が両陣営に組織され，戦闘を展開。

C　関係図

	天皇方			上皇方
天皇家	**後白河天皇**（弟）			**崇徳上皇**（兄）
摂関家	**藤原忠通**（ただみち）	（兄）		**藤原頼長**（よりなが）（弟）
平氏	**平　清盛**	（甥（おい））	ＶＳ	平　忠正（ただまさ）（叔父（おじ））
	重盛（しげもり）			
源氏	**源　義朝**（よしとも）	（子）		源　為義（ためよし）（父）
		（兄）		為朝（ためとも）（弟）

☆天皇方の実質的采配者（さいはいしゃ）は**信西**（しんぜい）〔**藤原通憲**（みちのり）〕。

D　結果

崇徳上皇方が敗北，後白河上皇による院政の開始。

☆崇徳上皇は讃岐国（さぬきのくに）へ配流（はいる），平忠正・源為義は斬首（ざんしゅ）となる。

E　**意義**

中央政界の抗争に武士の力が必要不可欠と判明，武士の中央政界進出を決定づける。

☆京都を舞台にした初の合戦（かっせん）であったため，皇族・貴族たちに衝撃を与えた。

⑤平治の乱（1159年）

A　**原因**

保元の乱後，**後白河上皇の院近臣（いんのきんしん）の対立に源平二大棟梁の対立が絡（から）み発生。**

B　経過

平清盛が熊野詣（くまのもうで）の留守中に，**藤原信頼（のぶより）・源義朝**が挙兵。院庁の三条殿や内裏を襲い後白河上皇・二条天皇を幽閉したうえで，**信西〔藤原通憲〕**を襲撃し自殺に追い込む。事件を知った平清盛が急ぎ帰京し，源平（げんぺい）間で戦闘が展開された。

C　関係図

	平　氏　方		源　氏　方
武　家	**平　清盛**		**源　義朝**
	重盛	ＶＳ	義平（よしひら）
			頼朝（よりとも）
院近臣	**信西〔藤原通憲〕**		**藤原信頼**

D　結果

源氏方が敗北，平氏が政権担当への強力な足掛かりをつかむ。

☆源頼朝は**伊豆国（いずのくに）**へ配流。

E　**意義**

中央政界の抗争を武士の実力で解決，平清盛の地位と権力が急速に高まった。

☆昇進を重ね，翌年には武家で初の公卿（くぎょう）〔上達部（かんだちめ）〕となる。

⑥平氏政権〔六波羅政権〕

A　**平清盛**〔六波羅殿・入道相国〕の栄達

後白河上皇を武力で支え，蓮華王院を造営するなどした結果，**武家で初の太政大臣に就任，一族で高位高官を独占する（1167年）**。

B　平氏全盛の背景

あ　畿内・西国一帯の武士団の家人化に成功

荘園・公領の現地支配者である**地頭**に任命し，直接主従関係を結ぶ。

い　**外戚政策**

娘の**平徳子〔建礼門院〕**を**高倉天皇の中宮**とする。

☆**安徳天皇**が誕生し，平清盛は外祖父となる。

う　**膨大な経済基盤**

全国の約半数の知行国主としての収入の他，**500カ所に及ぶ寄進地系荘園・日宋貿易の収益**が平氏政権を支えた。

C　**平氏政権の二面性**

高位高官の独占，外戚政策，知行国･寄進地系荘園を経済基盤にするなど，**地方武家出身ではあるが，上級公家としての性格が強かった。**

D　**日宋貿易**⇒宋は北方の女真〔刀伊〕の建てた**金**に圧迫され南宋となっていた。

大輪田泊（摂津国）の修築や音戸の瀬戸（安芸国）の開削を行い，**宋の商船を直接畿内に入港させ，莫大な利益を得た**。また，航海の安全を祈り一族をあげて**厳島神社（安芸国，**宮島）を崇拝した。

☆**輸出品**　　金・水銀・硫黄・刀剣・漆器・扇・真珠など。

☆**輸入品**　　**宋銭**・陶磁器・書籍（**太平御覧**）・絹織物など。

〈***Note***〉

⑦平氏政権の動揺

A　反平氏勢力の増大

「此一門にあらざらむ人は皆人非人なるべし」（平時忠＝平清盛の義弟）という**『平家物語』**の言葉に象徴されるように，平氏の独裁傾向が強まった。後白河法皇や他の院近臣との対立は激しくなり，**伝統勢力である皇族・摂関家・大寺社ばかりか地方武士の反感も強くなった。**

B　政変の実行

1177年　鹿ケ谷の陰謀〔鹿ケ谷事件〕

☆院近臣である**俊寛**・西光〔藤原師光〕・**藤原成親**らの平氏打倒計画が，源〔多田〕行綱の密告により判明。厳罰が下されたが，あえて後白河法皇の責任は問わなかった。

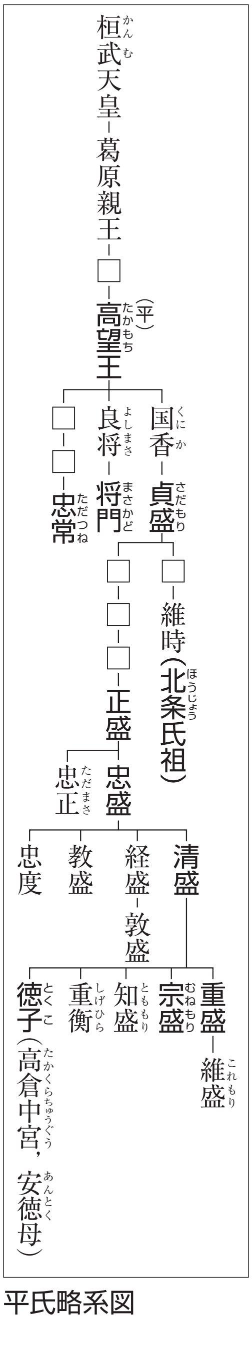
1179年　**平清盛が後白河法皇を鳥羽殿に幽閉**

関白以下多数の貴族の官職を奪う。

☆この年死んだ嫡子**重盛**の遺領を法皇が没収したことに激怒。清盛が国家機構をほぼ手中に収め，政界の主導権を握った。

1180年　安徳天皇が即位

☆平氏の独裁政権が確立したが，かえって反対勢力（院・貴族・寺社・源氏など）の結集を促し，没落を早める結果となった。


桓武天皇
葛原親王
□
(平)高望王
国香
貞盛
良将
将門
□
□
忠常
□
維時(北条氏祖)
□
□
□
正盛
忠盛
忠正
清盛
経盛
敦盛
教盛
忠度
重盛
維盛
宗盛
知盛
重衡
徳子(高倉中宮，安徳母)

平氏略系図

４　院政期〔平安末期〕の文化（11世紀末〜12世紀）

①院政期の文化の特色

A　**武士・庶民とその背後にある地方文化を導入**した，わが国独自の貴族文化。

B　民間芸能が流行するなど，**文化の庶民性が高まる**。

C　寺院に所属しない**聖・上人による浄土教布教**と，それを受け入れる**地方武士の台頭**により，**中央の浄土教文化が地方に波及**した。

---

②宗教

院政を行う上皇〔法皇〕により，寺院（**六勝寺**）の造営や寺社参詣（**高野詣・熊野詣**）が流行した。

---

③建築

A　**中尊寺金色堂（陸奥国〔岩手県〕平泉）**

☆1124年，**藤原清衡が建立**

☆**奥州藤原氏**は２代基衡が毛越寺（浄土式庭園の遺構が残る），３代秀衡が無量光院を建立。

B　**白水阿弥陀堂（陸奥国〔福島県〕）**

C　三仏寺投入堂（伯耆国〔鳥取県〕）

D　**富貴寺大堂　（豊後国〔大分県〕）**

☆豊後高田市にある九州最古の建築物。堂内には来迎壁画と定朝様の阿弥陀如来坐像がある。

---

④彫刻

A　往生極楽院阿弥陀如来像（山城国〔京都府〕）

B　**臼杵磨崖仏（豊後国〔大分県〕）**

---

⑤絵画

A　**絵巻物**

大和絵と詞書を織りまぜて時間の進行を表現。

あ　**源氏物語絵巻**（藤原隆能？）

☆引目鉤鼻・吹抜屋台が二大技法。

い　**伴大納言絵巻**（常磐光長？）

☆**応天門の変**で伊豆国に配流された，大納言**伴善男**を描く。

う　**信貴山縁起絵巻**

☆奈良県の朝護孫子寺に伝わる，命蓮という僧の霊験談。

え　**鳥獣戯画**　**（鳥羽僧正覚猷）**

☆京都府の**高山寺**が所蔵する，詞書のない軽妙で風刺的な絵巻物。動物を擬人化し，躍動的に描く。

お　年中行事絵巻

☆後白河上皇の命で描かれたもの。

B　**装飾経**

法華経などの写経の背景に大和絵が描かれている。

あ　**扇面古写経**

☆下絵からは庶民の生活がしのばれる。

い　**平家納経**

☆平清盛が平家一門の氏神とした**厳島神社**（**安芸国**）に奉納。

---

⑥文芸

A　**説話集**

今昔物語集

☆天竺・震旦・日本〔インド・中国・日本〕の1000余りの説話を，和漢混淆文で記す。

B　**軍記物語**

当時の皇族・貴族が，地方の動きや武士・庶民の姿に関心をもっていたことを示す戦記。

あ　**将門記**

☆**平将門の乱**（939年～）を漢文体で記した，**初の軍記物語**。

い　**陸奥話記**

☆**前九年の役**（1051年～）を，日本的漢文体で記す。

C　**歴史物語**

あ　**大鏡**〔世継物語〕

☆藤原氏全盛期を**批判的に**，**紀伝体で**描く。「四鏡」（大鏡・今鏡・水鏡・増鏡）のはじめ。

い　今鏡

☆おもに院政期を描く。

D　仏教史書

扶桑略記（皇円）

☆司馬達等（鞍作鳥の祖父）らによる仏教私伝についての記述で有名。

E　歴史書

本朝世紀（藤原通憲〔信西〕）

☆鳥羽上皇の命により六国史を継ぐ目的で編纂されたが，未定稿に終わる。

⑦芸能

A　**今様**(民間の流行歌謡)

☆男装の女性が今様を歌いながら舞う，白拍子も流行。

☆**後白河上皇**が『**梁塵秘抄**』を編纂。

B　**催馬楽**(日本古来の民謡や和歌を唐楽風に編曲)

☆平安初期に成立した古代歌謡から発達。

C　朗詠(和漢の名句を楽器の伴奏に合わせ吟じる)

D　**田楽**(民間の農作業にともなう労働歌舞)

☆しだいに芸能化し，貴族の間で流行(1096年，永長の大田楽)。

E　**猿楽**(滑稽を主とした雑芸や歌曲)

☆奈良時代に伝来した散楽から発展したとされる。京の猿楽興行のようすなどを記した往来物に『新猿楽記』(藤原明衡)がある。

第６講　確認問題

1　914年，醍醐天皇に財政難と地方混乱の実情を指摘した学者とは？

①吉備真備　②菅原道真　③三善清行　④大江匡房

2　『今昔物語集』に貪欲さを示す逸話が掲載されている信濃国の受領とは？

①藤原元命　②藤原陳忠　③源頼光　④源頼信

3　桓武平氏の祖とされる人物とは？

①平高望　②平将門　③平貞盛　④平忠常

4　承平・天慶の乱（＝平将門の乱＋藤原純友の乱）時に朱雀天皇の下で一時的に摂関政治を復活させていた人物とは？

①藤原時平　②藤原忠平　③藤原実時　④藤原兼家

5　次のうち，寄進地系荘園の荘官の呼称としてふさわしくないものを一つ選べ。

①預所　②下司　③公文　④郷司

6　1028年～31年の平忠常の乱を戦わずして平定した武士とは？

①藤原秀郷　②小野好古　③源頼信　④源頼義

7　奥州藤原氏の初代で，中尊寺金色堂を建てた人物とは？

①藤原清衡　②藤原基衡　③藤原秀衡　④藤原泰衡

8　後三条天皇が延久の荘園整理令を発し，記録荘園券経所〔記録所〕を設置した年は？

①1051年　②1069年　③1083年　④1086年

9　1086年，白河天皇から譲位され即位した天皇とは？

①堀河天皇　②鳥羽天皇　③崇徳天皇　④近衛天皇

10　1095年に白河上皇が設置した武力とは？

①検非違使　②滝口の武者　③北面の武士　④西面の武士

11　平治の乱で源義朝を従え挙兵し，平清盛に敗れた院近臣とは？

①藤原通憲〔信西〕　②藤原信頼　③藤原師光〔西光〕　④藤原成親

12　日宋貿易の主要港として平清盛が修築した大輪田泊の所在地とは？

①安芸国　②讃岐国　③摂津国　④伊豆国

解答

1	③	2	②	3	①	4	②	5	④
6	③	7	①	8	②	9	①	10	③
11	②	12	③						

第７講　鎌倉時代Ⅰ

1　鎌倉幕府の成立

①治承(じしょう)・寿永(じゅえい)の乱〔源平合戦〕(1180年～85年)

1180年　５月　**以仁王**(もちひとおう)（後白河法皇の子）・**源頼政**(みなもとのよりまさ)（摂津源氏）が，園城寺(おんじょうじ)や興福寺の僧兵の支持を得て挙兵するが，宇治平等院で敗死。

６月　摂津国(せっつのくに)**福原京**に遷都(せんと)⇒反対多く11月には京都に戻す

８月　**源頼朝，以仁王の令旨(りょうじ)により北条時政とともに伊豆国で挙兵。**

☆相模国(さがみのくに)**石橋山の戦い**で平氏に敗れ，安房国(あわのくに)に逃れる。

９月　**源〔木曽〕義仲**(よしなか)**，以仁王の令旨により信濃国**(しなののくに)**で挙兵。**

10月　源頼朝，相模国**鎌倉**に入る。

駿河国(するがのくに)**富士川の戦い（○源頼朝vs平維盛**(これもり)**●）**

12月　**平重衡**(しげひら)**，南都**(なんと)**（興福寺・東大寺など）を焼打ち。**

1181年閏(うるう)２月　平清盛，熱病により死亡。⇒三男の**宗盛**(むねもり)が棟梁となる。

☆このころ畿内・西国一帯に養和(ようわ)の飢饉(ききん)起こる。

1183年　５月　越中国倶利伽羅峠(くりからとうげ)〔砺波山(となみやま)〕の戦い（○源義仲vs平維盛●）

７月　平氏，安徳天皇を奉じ都落ち。⇒源義仲入京。

10月　**後白河法皇，源頼朝の東国支配権を事実上承認。**

☆いわゆる「**寿永二年十月宣旨**(せんじ)」。

1184年　１月　源義仲，征夷大将軍となる。

宇治川の戦い　（○源範頼(のりより)・義経vs源義仲●）

２月　摂津国**一の谷**(いちのたに)**の戦い（○源義経・範頼vs平氏●）**

1185年　２月　讃岐国(さぬきのくに)**屋島**(やしま)**の戦い　（○源義経vs平氏●）**

３月　長門国(ながとのくに)**壇の浦**(だんのうら)**の戦い（○源義経・範頼vs平氏●）**

☆安徳天皇ら入水(じゅすい)**自殺，平氏は滅亡。**

---

②鎌倉幕府の成立

A　**源頼朝**〔鎌倉殿・右大将家(うだいしょうけ)〕の幕府創設

1180年　相模国**鎌倉**に入る

侍所(さむらいどころ)**の設置**

1183年　後白河法皇より，東国（東海道・東山道）支配権を事実上承認される。

1184年　**公文所**(くもんじょ)**・問注所**(もんちゅうじょ)**を設置**

1185年　**守護・地頭の任命権**，段別５升の兵粮米徴収権，諸国の在庁官人の支配権を承認される。

☆後白河法皇の源頼朝追討令に対抗し，京都に軍勢を送り要求。源義経・行家追討および反乱防止が口実。

☆東国を中心とした源頼朝の支配権が西国にも及び，**鎌倉幕府が成立**した。

1189年　藤原泰衡，匿っていた源義経を衣川館で殺害。

奥州藤原氏を平定（○源頼朝vs藤原泰衡●）

☆陸奥国・出羽国も支配。

1190年　上洛し**右近衛大将**となるが，まもなく辞退。

1191年　公文所を**政所**と改組

1192年　**後白河法皇死去**，後鳥羽天皇より**征夷大将軍**の宣下を受ける。

B　**鎌倉幕府の職制**

簡素で実務的。京都から招いた下級貴族などの側近が源頼朝を補佐。

あ　**中央（鎌倉）**

将　軍	**（1192年）**	**征夷大将軍，初代将軍は源頼朝。**
執　権	**（1203年）**	**将軍の補佐，初代執権は北条時政。**
連　署	**（1225年）**	**執権の補佐，初代連署は北条時房。**
侍　所	**（1180年）**	**御家人を組織，初代別当は和田義盛。**
政　所	（1191年）	**一般政務・財政，初代別当は大江広元。** ☆はじめ**公文所**（1184年）。
問注所	（1184年）	**裁判事務，初代執事は三善康信。**
評定衆	**（1225年）**	**重要政務の評議。**
引付衆	**（1249年）**	**所領関係の裁判。**

い　**地方**

六波羅探題	**（1221年）**	**朝廷の監視・西国御家人の統制。** ☆はじめ**京都守護**（1185年）。
奥州総奉行	（1189年）	奥州御家人の統制
鎮西奉行	（1185年）	九州御家人の統制，大宰府の実権も握る。 ☆**鎮西探題の設置**（1293年）により権限縮小。

③守護・地頭の設置（1185年，大江広元の建議）

A　**守護**

任命　**各国に１名，おもに東国の有力御家人を任命。**

☆世襲や数カ国の兼任も可。

任務　**大犯三カ条（大番催促，謀叛人・殺害人の逮捕）**

☆国内の御家人を指揮して警察権を行使，治安維持にあたる。また，国衙の在庁官人を支配した。のちには土地台帳の**大田文**を作成し，荘園・公領に一国平均役を賦課・徴収するようになった。

設置　**全国**

収入　**なし**

B　**地頭**

任命　**荘園・公領ごとに１名，おもに東国御家人を任命。**

任務　**年貢の徴収・納入，土地の管理・治安維持。**

設置　1185年　東国および畿内・西国に設置（＝国地頭）。翌年，東国および**平家没官領**を中心とする謀叛人の所領に限定（＝荘郷地頭）。

☆その後，次第に全国に拡大。

収入　旧来の荘官・郷司などとしての収益（＝**特定の基準はなし**）。

---

④封建制度の成立（御家人制の確立）

封建制度＝土地の給与を通じ主従の間に成立する支配階級内部の法秩序。

御恩（**地頭職**補任＝**本領安堵**・**新恩給与**など）

→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→

将軍〔鎌倉殿〕　　所領を媒介とする主従関係　　**御家人**

←←←←←←←←←←←←←←←←←←←←←←←←←←←

奉公（戦時の**軍役**，平時の**京都大番役**・**鎌倉番役**，関東御公事など）

---

⑤幕府と朝廷

A　**公武二元的支配**（こうぶにげんてき）

あ　**朝廷〔皇族・公家・寺社〕**（畿内・西国が基盤）

一国ごとに**国司**，荘園・公領〔国衙領〕ごとに**荘官・郷司など**を任命（＝**非御家人**）。全国に**新制**（律（りつ）・令（りょう）・格（きゃく）・式（しき）以降の宣旨や法令）を発布。

☆源頼朝の要請（ようせい）により設置された**議奏公卿**（ぎそうくぎょう）10名が，幕府との連絡役を担（にな）う。

い　**鎌倉幕府〔将軍・御家人〕**（東国が基盤）

一国ごとに**守護**，荘園・公領〔国衙領〕ごとに**地頭**を任命。

B　鎌倉幕府の二面性

あ　貴族的性格

関東御領（ごりょう）（＝将軍の荘園，はじめ約500カ所），**関東知行国〔関東御分国〕**（ごぶんこく）（＝将軍の知行国，最大９カ国），関東進止（しんし）の地（幕府が地頭を設置），関東御口入（ごくにゅう）地（幕府が地頭を推挙）などを経済基盤とし，**朝廷の発布する新制にもとづき支配体制に協力。**

☆**守護・地頭を通じて全国の治安を維持**，地頭の年貢滞納を罰するなど「荘園公領制」維持に努（つと）める。

い　武士的性格

地方武士団を御家人として組織化し，強固（きょうこ）な所領支配を実現したことにより，次第に国司・荘園領主と守護・地頭の対立が強まった。

２　執権政治

①北条氏の台頭

A　初代執権北条時政

伊豆国の在庁官人出身。源頼朝の妻**北条政子の父**。

1199年　源頼朝が死去し，子の**頼家**が家督(かとく)を継ぐ。

頼家の親裁(しんさい)を制限，有力御家人13名の合議制を採用。

1200年　**梶原景時**(かじわらかげとき)を討滅。

1202年　頼家が２代将軍となる。

1203年　**比企氏の乱**(ひき)（**比企能員**(よしかず)〔頼家の義父〕，一幡(いちまん)〔頼家の長男〕を殺害）

☆頼家を伊豆国修禅寺(しゅぜんじ)に幽閉(ゆうへい)，弟の**実朝**(さねとも)を３代将軍とする。

☆**北条時政，大江広元と並び政所**(まんどころ)**別当となる。⇒事実上の執権**

1204年　頼家を修禅寺で謀殺(ぼうさつ)。

1205年　**畠山重忠**(しげただ)を討滅。

時政，平賀朝雅(ともまさ)を将軍に推(お)すが失敗し，子の義時・政子により追放される。

B　２代執権北条義時（時政の子，政子の弟）

1205年　父時政を追放，北条義時が政所別当となる。

1213年　**和田合戦**（鎌倉で**侍所別当和田義盛**を討滅）

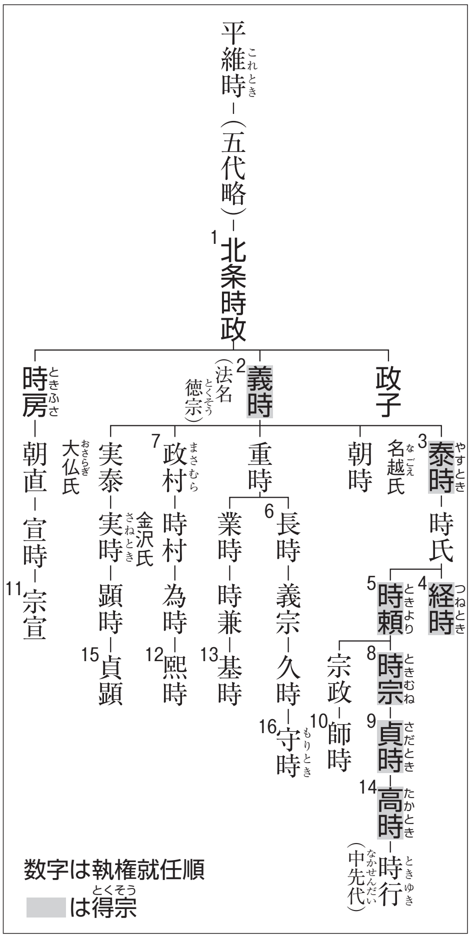
☆**義時，政所と侍所の別当を兼務。⇒執権の地位確立**

1218年　３代将軍源実朝，右大臣に昇進。

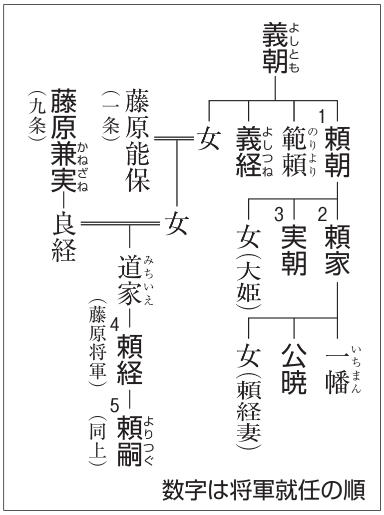
☆後鳥羽上皇との連携を強化。

1219年　**実朝，鶴岡八幡宮**(つるがおか)**で甥**(おい)**の公暁**(くぎょう)**に暗殺され，清和源氏の正統が断絶。**

☆源頼朝の遠縁にあたる**藤原〔九条〕頼経**(よりつね)が，幕府の要請(ようせい)で鎌倉に下(くだ)る。



北条氏略系図



源氏略系図(2)

②承久の乱（1221年）

A　**原因**

公武二元支配の矛盾，**院政を行う後鳥羽上皇の討幕計画。**

☆分散していた広大な皇室領荘園を手中にし，新たに**西面の武士**を置き軍事力を増強。

B　契機

1219年の３代将軍源実朝暗殺後，幕府方は皇族〔親王〕将軍を要請したが，後鳥羽上皇が拒否し対立が深まる。

☆天台座主**慈円**（摂政・関白九条兼実の弟）は史論書『**愚管抄**』を著し，後鳥羽上皇を諫めるが…。

C　経過

あ　朝廷方

北条義時追討の院宣を発し，畿内・西国武士や大寺院の僧兵，北条氏の勢力増大に反発する東国武士の一部も味方に引き入れ挙兵。

い　幕府方

北条政子〔尼将軍〕の演説に鼓舞された**北条泰時（義時の子）・時房（義時の弟）**率いる19万の東国武士の大軍が上洛。

D　結果

約１カ月で**幕府方が圧勝。**

あ　**三上皇の配流**

後鳥羽上皇が**隠岐**，**土御門上皇**が土佐のち阿波，**順徳上皇**が**佐渡**に配流。

い　**仲恭天皇**の廃位

後堀河天皇が即位，後高倉院政の開始。

う　**朝廷方の所領を没収**

約3000カ所を没収，戦功のあった御家人らを新たに地頭に任命。従来の収入基準の本補地頭に対し，**新補率法**にもとづく**新補地頭**とよばれる（1223年）。

☆新補地頭の収入は，**11町ごとに１町の免田**，**段別５升の加徴米**，山や川からの収益の半分。

☆畿内・西国の荘園・公領〔国衙領〕にも幕府の支配力が浸透。

え　**六波羅探題**を設置⇒京都守護を改組

朝廷の監視，西国御家人の統括（尾張国〔のち三河国〕以西）。

☆初代六波羅探題には，北条泰時・時房が京都に留まり就任。

E　**意義**

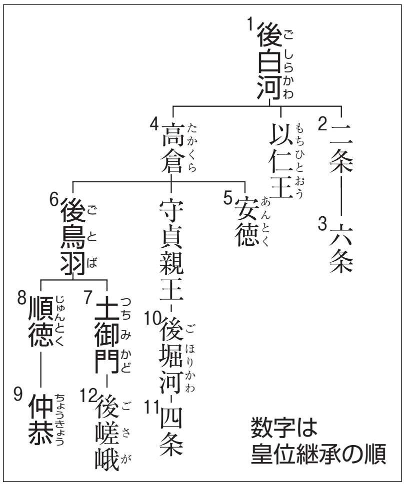
あ　**朝廷に対する幕府の優位が確定**

☆皇位の継承にも介入。

い　**新補地頭の設置による畿内・西国への幕府支配権の拡大**

☆全国的な**大田文**の作成（1223年）。

う　**北条氏による執権政治の確立**



天皇家略系図

③執権政治の展開

A　**３代執権北条泰時**(1224年，父義時の死去にともない執権に就任)

1225年　**連署**(れんしょ)の設置(**初代連署＝北条時房**)

☆**執権を補佐**，北条氏一族中の有力者をあてる。

評定衆(ひょうじょうしゅう)の設置

☆11名のち14〜15名の**有力御家人による合議制**。

1226年　**藤原〔九条〕頼経が４代将軍**となる

☆**藤原〔摂家〕将軍**の初め。

1232年　**御成敗式目**(ごせいばいしきもく)**〔貞永式目**(じょうえい)**〕51カ条**を制定

☆守護・地頭の任務と権限を定め，**所領紛争の裁判基準を明確化・公正化**するために制定。**頼朝以来の先例と道理(武士社会の慣習・道徳)を制定基準とする。適用は幕府の勢力範囲に限定**され，**公家法・本所法と並存**，**最初の武家法典**として御家人の支持を得(え)て執権政治の確立に貢献(こうけん)した。

☆必要に応じて発布された個別の法令は**式目追加**とよばれる。御成敗式目は**室町幕府の基本法典**としても重視され，**戦国大名の分国法にも多大な影響**を与えた。

B　４代執権北条経時(つねとき)(泰時の孫)

得宗(とくそう)(北条氏本家の当主)であったが，若くして死去。

Ｃ　**５代執権北条時頼**(泰時の孫，経時の弟)

得宗として出家後も実権を握る。大陸の文化を積極的に受け入れ，鎌倉を武家の都として整備。

☆執権政治を強化したが，北条氏独裁の性格も強まる。

1246年　名越光時(なごえみつとき)の乱・宮(みや)騒動

☆鎌倉から前将軍の４代将軍藤原〔九条〕頼経を追放。京都では父の九条道家(みちいえ)が排斥(はいせき)される。

1247年　宝治(ほうじ)合戦

☆鎌倉で**三浦泰村(やすむら)**一族を討滅。

1249年　引付衆(ひきつけしゅう)の設置

☆評定衆の会議である評定の下に**引付**を設置。御家人たちの所領訴訟を専門に扱い，**訴訟の公正化・敏速(びんそく)化をはかる**。

1252年　**５代将軍藤原〔九条〕頼嗣(よりつぐ)を追放**

☆後嵯峨上皇の皇子**宗尊親王(むねたかしんのう)**が６代将軍に就任し，**皇族(こうぞく)〔親王〕将軍**の初めとなる。これにより幕府は朝廷内部に深く影響力をもつようになった。

☆後嵯峨上皇は，幕府の要請で**(院)評定衆**(公家から５～６名を選任)を設置するなど，朝幕関係の安定に努(つと)めた。

---

④武家社会と農村

A　**地方武士の生活**

開発領主の系譜を引き，**兵農未分離**。**一所懸命**に生きた。

あ　荘園・公領内で生活。現地管理者（**地頭**，荘官・郷司など）として年貢・公事・夫役の徴収にあたる。

☆河川近くの微高地を選び**館**を構え，周囲には堀･溝や塀をめぐらす。

い　下人や所領内の農民を使い，年貢・公事のかからない直営地（佃・門田・正作・用作）を経営。

う　御家人であれば常に「**いざ鎌倉**」を想定し，**騎射三物**（**犬追物**・**笠懸**・**流鏑馬**）や巻狩などで武芸を訓練。「武家のならい」「兵の道」「弓馬の道」とよばれる武家道徳が形成され，後世の武士道の起源となった。

☆武勇を重んじ，主人に対する献身や一門・一家の誉れを尊ぶ精神，恥を知る態度などを特徴とする。

B　農村の構成

あ　武士（御家人や非御家人）

地頭・荘官・郷司などの現地管理者として，年貢・公事・夫役を徴収。

い　名主（もとの田堵）

名田を経営，年貢・公事・夫役を負担。

う　作人

名主に**加地子**（小作料）を納入し，名田を請作。

え　下人・所従

武士の直営地や名主の名田を耕作，名主に隷属。

C　**惣領制**

武士の**血縁的結合**。宗家〔本家〕の首長である**惣領**〔**家督**〕が**庶子**を統率し，所領を一族で共同して知行した。

あ　幕府と惣領の関係

幕府は惣領のみを通じて一族全体を掌握。内部の問題には基本的に不介入・不干渉。

☆戦時には惣領を指揮官に一門が団結して戦い，平時でも先祖の祭や一門の氏神の祭祀は惣領の権利であり，義務でもあった。

い　所領の**分割相続**

惣領だけでなく庶子もそれぞれの所領を相続した。また，当時の婚姻形態は**嫁入婚**が主流であったが，**女子の地位は比較的高く，相続権ももった。**

☆**悔い返し**が認められるなど，親権は強大であった。

---

⑤地頭の荘園侵略―“泣く子と地頭には勝てぬ”―

承久の乱後，畿内・西国に幕府の勢力が伸張すると，年貢の未進・抑留，農民の不法支配など，東国武士からなる**地頭の不法行為**が激増した。罷免権のない荘園・公領の領主は幕府相手に訴訟を起こしたが，しだいに**地頭請**や**下地中分**による解決策を取るようになった。その結果，**支配権を得た地頭の領主化が進行**し，地頭と領主・農民との対立が激化する例もみられた。

☆農民たちが地頭の横暴を領主に訴えた「**紀伊国阿氐河荘民訴状**」(1275年)など。

A　**地頭請〔地頭請所〕**

領主がやむを得ず所領経営を地頭に一任，毎年一定額の年貢納入だけを請け負わせる。

B　**下地中分**(和与中分・強制中分)

荘園領主と地頭が所領を折半し，相互の干渉を排除。

☆「伯耆国東郷荘下地中分絵図」などが残る。

３　鎌倉時代の産業・経済

①農業・手工業の発達

A　農業技術の改良

あ　畿内・瀬戸内における**二毛作**の開始

☆麦を裏作とする。

い　多収穫米である大唐米〔赤米〕の導入

う　青草・堆肥にかわる新肥料**刈敷**・**草木灰**の登場

え　鉄製農具の普及

お　西日本における**牛馬耕**の普及

☆『松崎天神縁起絵巻』に，牛耕のようすが描かれている。

B　副業の進展

あ　**商品作物**の栽培

楮・**藍**・**漆**・**荏胡麻**・苧〔苧麻〕など。

い　手工業者の登場

鍛冶・鋳物師・番匠・紺屋・鎧師などが農村内に住み商品をつくり，各地を歩き仕事をした。

---

②商業の発達

A　**定期市**の発達⇒月に三度の市＝**三斎市**

荘園・公領の中心地，交通の要地，寺社の門前などに発達。年貢米や特産品の交換・売買が行われた。

☆**『一遍上人絵伝』の備前国福岡市**など。

B　**行商人**(振売・連雀商人)の出現

C　**見世棚〔店棚〕**の登場

京都・奈良・鎌倉などの都市に出現した**常設の小売店**。

D　**座**の成長

平安末期に登場した，**商工業者の特権的同業者団体**。室町期までに発展したが，新儀商人の出現や**戦国大名の楽市・楽座政策により，独占的・特権的な座は廃止された。**

☆座衆のうち，大寺社に属したものは神人，皇室に属したものは供御人とよばれた。

保護（仕入れ・販売の独占権，営業税・関銭の免除）

→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→→

本所　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　**座衆**

←←←←←←←←←←←←←←←←←←←←←←←←←

座役（労働奉仕，現物納・銭納）

---

③貨幣経済の発達

A　**問〔問丸〕**の発生

年貢・商品の中継ぎや委託販売も行う，**運送・倉庫業者**。

B　**為替〔替銭〕**の発生

遠隔地間の商取引の決済に，手形〔割符〕を使用。

C　**借上**の発生

都市を中心とする高利貸業者。

D　無尽（講）・頼母子（講）の発生

農村の共済的な相互金融制度。

E　荘園領主への**年貢の銭納〔代銭納〕**開始（地頭・荘官・郷司⇒荘園領主へ）

農民から地頭・荘官・郷司へ納入する段階では，依然現物納。

F　**貨幣の流通**

日宋貿易による宋銭の大量流入が，商業・交通の発達と連動。年貢の銭納化や都市における借上の発達を促進した。

G　生産力の向上による零細農民の自立

作人⇒名主へ　　下人・所従⇒作人へ

第７講　確認問題

1　1180年，以仁王とともに挙兵した摂津源氏の武将とは？

①源頼光　②源為義　③源頼政　④源義仲〔木曽義仲〕

2　1181年，平清盛の死により桓武平氏の棟梁を引き継いだ人物とは？

①平忠盛　②平忠正　③平重盛　④平宗盛

3　壇の浦で平氏が滅亡し，全国に守護・地頭が設置された年は？

①1183年　②1185年　③1189年　④1192年

4　鎌倉幕府の２代将軍とは？

①源範頼　②源行平　③源頼家　④源実朝

5　鎌倉幕府の初代執権で，伊豆国の在庁官人出身者とは？

①北条時政　②梶原景時　③和田義盛　④北条義時

6　政所(もと公文所)の初代別当となった貴族出身者とは？

①和田義盛　②大江広元　③三善康信　④比企能員

7　鎌倉幕府の御家人制における「奉公」としてふさわしくないものを一つ選べ。

①京都大番役　②鎌倉番役　③関東御公事　④参勤交代

8　鎌倉殿〔将軍〕の経済基盤としてふさわしくないものを一つ選べ。

①関東御領　②関東知行国〔関東御分国〕　③関東進止の地　④御料所

9　史論書『愚管抄』を著し，承久の乱を未然に防ごうとした人物とは？

①九条兼実　②慈円　③藤原定家　④北条義時

10　1232年に制定された御成敗式目〔貞永式目〕の当初の数とは？

①17条　②21条　③51条　④171条

11　1247年の宝治合戦で滅ぼされた御家人とは？

①比企能員　②畠山重忠　③三浦泰村　④安達泰盛

12　荘園領主と地頭が所領を折半し，相互の干渉を排除することを何というか？

①立券荘号　②官省符荘　③地頭請　④下地中分

解答

1	③	2	④	3	②	4	③	5	①
6	②	7	④	8	④	9	②	10	③
11	③	12	④						

第８講　鎌倉時代Ⅱ

1　元寇と鎌倉幕府の衰退

①蒙古襲来〔元寇〕

A　**モンゴル帝国**

13世紀初め，**チンギス＝ハン**〔成吉思汗〕が**蒙古**〔**モンゴル**〕**民族**を統合して中央アジアから南ロシアまでを征服。

☆1234年，２代皇帝オゴタイが中国北部の**金**を滅ぼし，以後ヨーロッパ遠征も行い，ユーラシア大陸の東西にまたがる大帝国へ成長。

B　**元**

1271年，モンゴル帝国５代皇帝**フビライ**〔忽必烈〕が中国に**元**を建国，カラコルムから**大都**(現在の北京)に遷都し「世祖」となる。服属させた**高麗**を通じ日本にたびたび朝貢を要求するが，**８代執権北条時宗**は拒否。

☆高麗では**三別抄**が長く抵抗を示し，元の日本侵攻に大きな障害となった。

C　**文永の役**(**1274年**)

元・高麗連合軍約３万が対馬・壱岐を攻め**博多湾**に上陸。**集団戦法**や**火薬**〔**てつはう**〕により九州御家人を苦戦させるが，元軍も損害が大きく，内部対立もあり撤退した。

D　国防の強化

あ　九州北部の**異国警固番役**を**強化**(1275年)。

　　☆中国地方の長門警固番役を設置。

い　博多湾沿いに**防塁**〔**石塁・石築地**〕を構築。

　　☆御家人だけでなく本所一円地の武士(＝**非御家人**)をも動員。

う　九州から北陸にかけて守護を入れかえ，北条氏一門を配置。

E　**弘安の役**(**1281年**)

1279年に**南宋**を滅ぼし勢いづく元・高麗・南宋連合軍14万(**東路軍**・**江南軍**)が再度襲来するが，博多湾への上陸を阻まれている間に**暴風雨が起きて大損害を受け，再び撤退した。**

F　**警戒体制の維持**

非御家人も動員し，公家・寺社支配下の荘園・公領からも物資を徴発。

1293年には博多に**鎮西探題**を設置し，北条氏一門が就任した。

G　**元寇の影響**

あ　**幕府の支配力が強大化**

☆非御家人へも影響力を及ぼす。

い　**北条氏の強大化**

☆本家の当主である**得宗**(とくそう)の地位が強化される。

う　**「神風」**(かみかぜ)**による神国**(しんこく)**思想の広まり**

☆11世紀半ばから続く末法(まっぽう)思想から解放。

☆実質は幕府の統制の下に九州武士が奮戦したことが大きな勝利の要因。

え　**御家人の窮乏**(きゅうぼう)**と没落**

☆**恩賞の不十分**・警戒体制の維持により**惣領制の解体**が進行。

☆高麗や南宋の勢力，大越(だいえつ)〔ベトナム〕にも元への抵抗の動きが起こり，３度目の侵攻はなかった。

---

②得宗専制政治の確立

A　**北条氏の強大化**⇒全国の守護の半数以上を占める

北条氏嫡流(ちゃくりゅう)の当主である**得宗**が，独裁を開始。

☆得宗の私邸で開かれる**寄合**(よりあい)が最高会議となり，得宗の家人(けにん)である**御内人**(みうちびと)（筆頭＝**内管領**(うちかんれい)）と北条氏以外の外様(とざま)御家人の対立が激化。

B　**霜月**(しもつき)**騒動**　**（1285年）**

○９代執権北条貞時・**内管領平頼綱**(たいらのよりつな)vs**外様御家人安達泰盛**(あだちやすもり)●

C　平禅門(へいぜんもん)の乱（1293年）

○９代執権北条貞時vs内管領平頼綱〔平禅門〕●

☆のち長崎氏が内管領となり，得宗専制政治は全盛期を迎える。

③御家人の窮乏(きゅうぼう)と惣領制の解体

A　**御家人の窮乏**

あ　**原因**

1　**元寇による多大な犠牲と出費，恩賞の不十分。**

☆元寇後も警戒体制は続く。

2　**分割相続の繰り返しによる所領の細分化**

3　貨幣経済の進展による生活の向上と出費の増大

い　窮乏化

1　**所領の質入れ・売却が一般化**

2　**幕府に対する信頼感の動揺(どうよう)**

☆北条氏の得宗専制政治に対する不満が増大。

う　対策⇒**永仁(えいにん)の徳政令（1297年，９代執権北条貞時(さだとき)）**

御家人の救済を目的としたが，**一時的効果のみに終わる。**

1　**御家人の所領売買・質入れの禁止**

2　**売却・質入れ済み所領の無償(むしょう)返還**

☆御家人相手の場合は，売却後20年以内のものに限定。

☆非御家人・凡下(ぼんげ)（庶民＝**借上(かしあげ)**）相手の場合は，無期限。

3　越訴(おっそ)制度の廃止

4　金銀貸借(たいしゃく)訴訟の不受理

B　**惣領制の解体**

あ　分割相続から嫡子(ちゃくし)の**単独相続**へ

☆女子の相続は**一期分(いちごぶん)**が一般化し，**女性の地位は低下**。

い　血縁(けつえん)的結合から，利害関係によって結びつく**地縁(ちえん)的結合**に変化。

う　**悪党**（畿内を中心とした，**主君をもたない新興武士層**）の発生

え　守護などの有力武士の権力強化

お　**北条氏の得宗専制政治に対する不満が増大**

④幕府の衰退

A　皇統の対立

13世紀後半，**後嵯峨上皇**の２子が皇統や皇室領荘園の相続をめぐり対立。解決策として幕府が**両統迭立**を提示。以後，幕府は皇位継承に大きく介入することとなった。

あ　**持明院統**

後深草天皇系，後白河上皇の**長講堂領を経済基盤**とする。

い　**大覚寺統**

亀山天皇系，鳥羽上皇の**八条(女)院領を経済基盤**とする。

B　文保の和談（**1317年**～18年）

幕府は以後の皇位継承に介入しないかわりに，**10年ごとの両統迭立**を強引に決定。しかし，両統ともに十分な合意に達せず，かえって反幕府感情が高まった。

C　後醍醐天皇の親政（1321年～）

1318年　持明院統の花園天皇のあとをうけて，**大覚寺統から即位**。

☆宋学〔朱子学〕の大義名分論を信奉，延喜・天暦の治にならい天皇親政をめざす。

1321年　父である後宇多法皇の院政を停止，**記録所を再興**し親政を開始。

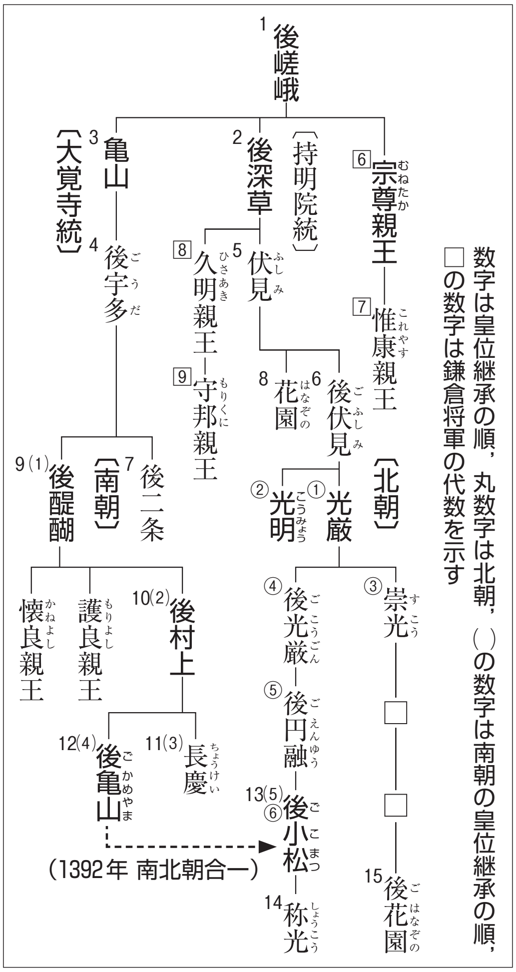
☆皇位継承の決定権を，幕府から取り戻すことをめざした。

D　幕府支配の弱体化

あ　**得宗専制政治への反発**

14代執権北条高時は田楽・闘犬にふけり，政治を委ねられた**内管領長崎高資**の専横と賄賂政治が，外様御家人の反発を招いた。

い　畿内周辺の新興武士（＝**悪党**）の新秩序要求運動


数字は皇位継承の順，丸数字は北朝，( )の数字は南朝の皇位継承の順，
□の数字は鎌倉将軍の代数を示す
1 後嵯峨
3 亀山
〔大覚寺統〕
4 後宇多
2 後深草
〔持明院統〕
6 宗尊親王
7 惟康親王
8 久明親王
5 伏見
9 守邦親王
8 花園
6 後伏見
〔北朝〕
9(1) 後醍醐
〔南朝〕
7 後二条
② 光明
① 光厳
懐良親王
護良親王
10(2) 後村上
④ 後光厳
③ 崇光
⑤ 後円融
12(4) 後亀山
11(3) 長慶
13(5)⑥ 後小松
(1392年 南北朝合一)
14 称光
15 後花園

天皇家略系図

２　鎌倉文化

①鎌倉文化の特色

A　公家の伝統文化を受け継ぎつつ，**武家や庶民に支持された公武二元文化**である。

B　公家から武家への政権の移行を認めざるをえない状況の中，**歴史意識の高まり**がみられる。

☆先例・伝統が重視される。

C　武家の時代を反映した，**素朴で力強い写実的な側面をもつ文化**。

D　禅宗や宋学〔朱子学〕など，**中国の南宋・元からの影響が強い**。

---

②鎌倉新仏教

A　新仏教成立の背景

あ　戦乱・飢饉・天災の頻発による社会不安と，末法到来の無常感。

い　旧仏教の腐敗と世俗化にともなう，**武士・庶民の救済要求**。

☆学問・祈禱中心から，**本格的な信仰**へと変化。

B　**新仏教の特徴**⇒仏教を武士・庶民にも開放。

あ　**易行**

☆旧仏教の求める困難な修行を必要としない。

い　**選択**

☆念仏・題目・坐禅のうちから救いの方法を一つ選ぶ。

う　**専修**

☆選んだ方法にひたすら打ち込む。

C　**浄土宗**（1175年～）

あ　開　　祖　**法然**（美作国出身）

い　特　　色　**浄土教系**

☆**念仏「南無阿弥陀仏」，他力本願。**

う　教　　義　**専修念仏**

☆13世紀初め，旧仏教側から迫害され土佐国に配流（＝承元の法難）。

え　著 作 物　『**選択本願念仏集**』

☆摂政・関白九条兼実の求めに応じて著したもの。

『一枚起請文』

お　信　　者　おもに京都周辺の公家・武士・庶民。

か　中心寺院　**知恩院（京都）**

D　**浄土真宗〔一向宗〕**（1224年〜）

あ　開　　祖　**親鸞**（山城国出身）

い　特　　色　**浄土教系**

☆**念仏『南無阿弥陀仏』，他力本願。**

う　教　　義　一向専修念仏，絶対他力，自然法爾，**悪人正機説**，戒律を否定。

☆承元の法難に際し，師の法然に連坐して越後国に配流。

え　著 作 物　**『教行信証』**

☆のち弟子の**唯円**が**『歎異抄』**を著す。

お　信　　者　はじめ関東の常陸国，のち北陸・東海・近畿の下級武士・農民。

か　中心寺院　**東・西本願寺（京都）**

E　**時宗**（1276年〜）

あ　開　　祖　**一遍〔遊行上人・捨聖〕**（伊予国出身）

い　特　　色　**浄土教系**

☆**念仏「南無阿弥陀仏」，他力本願。**

う　教　　義　遊行，賦算（＝念仏札を配る），**踊念仏**。

☆善人・悪人や信心の有無に関わりなく，念仏を唱えればすべての人が救われると説く。

え　著 作 物　死の直前に焼却。

☆門弟たちが『一遍上人語録』を編集。

お　信　　者　おもに地方武士・庶民・都市下層民などで，時衆とよばれる。

か　中心寺院　清浄光寺〔遊行寺〕（相模国）

F　**臨済宗**(1191年〜，南宋から導入)

あ　開　祖　**栄西**(備中国出身)

い　特　色　**禅宗系**

☆**坐禅**，自力開悟。

う　教　義　**坐禅・公案問答**〔禅問答〕。

え　著作物　**『興禅護国論』**『出家大綱』

『喫茶養生記』(３代将軍実朝に茶の効用を説く)

お　信　者　おもに京都・鎌倉の公家・上級武士，地方の上級武士。

☆鎌倉幕府の保護を受ける。

か　中心寺院　**建仁寺**(**京都**，２代将軍頼家の援助)

寿福寺(鎌倉，北条政子の援助)

き　**渡来僧**　**蘭溪道隆**

☆南宋より来日後，京都から**５代執権北条時頼**が招き，鎌倉に**建長寺を開山**。

無学祖元

☆南宋から**８代執権北条時宗**が招き，鎌倉に**円覚寺を開山**。

G　**曹洞宗**(1227年〜，南宋から導入)

あ　開　祖　**道元**(山城国出身)

い　特　色　**禅宗系**

☆**坐禅**，自力開悟。

う　教　義　**只管打坐**，身心脱落。

え　著作物　**『正法眼蔵』**

☆弟子の懐奘が『正法眼蔵随聞記』を著す。

お　信　者　北陸地方を中心とした地方武士・農民。

☆権力との癒着を否定，山中に籠る。

か　中心寺院　**永平寺(越前国)**

☆鎌倉後期に螢山紹瑾が総持寺(能登国，現在は横浜市)を開山。

H　**日蓮宗〔法華宗〕**（1253年～）

あ　開　　祖　**日蓮**（安房国出身）

い　特　　色　**法華系**

☆**題目『南無妙法蓮華経』**。

う　教　　義　**唱題**，折伏，**法華経至上主義**にもとづく他宗批判および政治批判。

☆四箇格言「念仏無間，禅天魔，真言亡国，律国賊」

え　著作物　**『立正安国論』**

☆**北条時頼に提出**，政治批判の罪で伊豆国に配流。

『開目鈔』『観心本尊鈔』

☆ともに佐渡国配流後に執筆。

お　信　　者　おもに鎌倉・京都の武士・商工業者。

か　中心寺院　**久遠寺（甲斐国）**

---

③その他の宗教

A　**旧仏教の革新**⇒新仏教の興隆による反省

新仏教を批判，**戒律の尊重**を唱え社会事業も実施。

あ　**法相宗**

貞慶〔解脱〕

☆山城国笠置寺を中興，『興福寺奏状』を著し法然の専修念仏を攻撃。

い　**華厳宗**

明恵〔高弁〕

☆京都栂尾に高山寺を開山，『摧邪輪』を著し法然の専修念仏を攻撃。

う　**律宗**

俊芿

☆渡宋から帰国後，京都に泉涌寺を開山。天台・真言・禅・律が兼学できる道場とする。

叡尊〔思円〕

☆奈良の西大寺を再興，自伝『感身学生記』を著す。

☆蒙古襲来に際し異国調伏の祈禱を行い，「興正菩薩」とよばれる。

忍性〔良観〕

☆**奈良**に**北山十八間戸**を建て，らい病〔ハンセン病〕患者を救済。

☆のち鎌倉の極楽寺に入り，慈善事業につとめた。

B　**修験道**の隆盛

原始的山岳信仰と仏教の密教的信仰が融合した宗教で，天台宗・真言宗のもとに組織され発展した。

C　**伊勢神道**〔度会神道〕⇒元寇後

伊勢神宮外宮の神官**度会家行**が**神本仏迹説〔反本地垂迹説〕**を唱え，『神道五部書』を体系化。新たに**『類聚神祇本源』**を著す。

☆本地垂迹説を唱える山王一実神道（天台系），両部神道（真言系）と対立。

④建築

A　**和様**（わよう）

日本的な柔（やわ）らかな美しさ，平安時代以来の伝統的様式。

蓮華王院本堂（れんげおういん）〔**三十三間堂**（さんじゅうさんげんどう）〕（京都），**石山寺多宝塔**（たほうとう）（近江国（おうみのくに））

B　**大仏様**（だいぶつよう）

大陸的な雄大さ・力強さ，南宋の様式を改良。

東大寺南大門（なんだいもん）（奈良）

☆奈良の諸寺の勧進上人（かんじんしょうにん）**重源**（ちょうげん）〔俊乗坊（しゅんじょうぼう）〕が，宋人**陳和卿**（ちんなけい）の協力を得て再建。

浄土寺浄土堂（播磨国）

C　**禅宗様**（ぜんしゅうよう）〔**唐様**（からよう）〕

☆細かな部材の組み合わせによる整然とした美，南宋から伝来。

円覚寺舎利殿（しゃりでん）（鎌倉）

D　**折衷様**（せっちゅうよう）

☆和様に大仏様や禅宗様を取り入れる。

観心寺金堂（かんしんじ）　（河内国（かわちのくに））

E　その他

武士の邸宅として，寝殿造（しんでんづくり）を簡素化した**館**（たち）が登場。

---

⑤彫刻（力強い写実性と躍動感に富む）

鎌倉初期の南都復興に際し，康慶を祖とする**慶派**の**奈良〔南都〕仏師**たちの活躍。

A　仏像彫刻

あ　**東大寺南大門金剛力士像**〔阿形像・吽形像〕**（運慶・快慶ら）**

い　**東大寺僧形八幡神像**　　**（快慶）**

う　**蓮華王院千手観音坐像**　**（湛慶）**

え　興福寺金剛力士像　　　（定慶？）

お　**興福寺天灯鬼・龍灯鬼像（康弁）**

か　高徳院阿弥陀如来像〔鎌倉大仏〕⇒鎌倉

B　肖像彫刻

あ　**興福寺無著・世親像**　　**（運慶ら）**

い　**六波羅蜜寺空也上人像**　**（康勝）**⇒京都

う　東大寺重源上人像

え　明月院上杉重房像　　　　　⇒鎌倉

---

⑥絵画（写実性に富む）

A　絵巻物

あ　合戦物

『後三年合戦絵巻』『平治物語絵巻』『**蒙古襲来絵巻**』（肥後国の御家人**竹崎季長**が描かせる）『**男衾三郎絵巻**』（東国の地方武士の生活を描く）など。

い　縁起物

『粉河寺縁起絵巻』『**北野天神縁起絵巻**』（菅原道真の伝記）『**春日権現験記**』（高階隆兼が描く）『**石山寺縁起絵巻**』など。

う　伝記物

『法然上人絵伝』，『**一遍上人絵伝**』（円伊が描く）『西行物語絵巻』『鑑真和上東征絵伝』など。

え　その他

『紫式部日記絵巻』など。

B　肖像画⇒個性に対する関心の高まり

あ　**似絵**（写実的な個人の記録的肖像画）

『**伝源頼朝像**』『**平重盛像**』？（ともに神護寺が所蔵，**藤原隆信**）

『**後鳥羽上皇像**』（水無瀬神宮〔摂津国〕が所蔵，**藤原信実**）

い　肖像画

『親鸞聖人像〔鏡御影〕』（西本願寺が所蔵，専阿弥）

『明恵上人樹上坐禅図』（高山寺が所蔵，成忍）⇒これは似絵ではない

う　**頂相**（禅僧が描かせた師の肖像画）

C　その他

地獄草紙，病草紙，餓鬼草紙など。

---

⑦書道

伏見天皇の皇子**尊円入道親王**〔**尊円法親王**〕が，和様に宋の書風を加味した**青蓮院流**を創始。代表作『**鷹巣帖**』。

---

⑧工芸

A　武器・武具

あ　**刀剣**

藤四郎吉光〔粟田口吉光〕(**京都**)，**正宗**〔岡崎正宗〕(**鎌倉**)，**長光**〔長船長光〕(**備前国**)など。

い　**甲冑**

明珍

B　**陶器**

道元に従い入宋した**加藤景正**が**瀬戸焼**(**尾張国**)を創始？

☆その他に常滑焼(尾張国)，信楽焼(近江国)，備前焼(備前国)などが隆盛。

---

⑨文芸

A　和歌集

あ　**新古今和歌集(1205年，後鳥羽上皇)**

1980首を20巻に収める**勅撰和歌集**で，**八代集**の最後。体言止め・本歌取りなどの技巧的な表現，観念的な美の境地は**新古今調**とされる。**藤原定家**・藤原家隆らが編纂。

い　**山家集**　　　(**西行**)

う　**金槐和歌集**　(**源実朝，万葉調の作風**)

え　小倉百人一首(藤原定家)

拾遺愚草　　(　〃　)

☆藤原定家は歌論『近代秀歌』も著す。

B　説話集

あ　発心集　　(鴨長明)

い　**宇治拾遺物語**

☆『今昔物語集』の補完。

う　十訓抄

え　**古今著聞集**(橘成季)

お　**沙石集**　　(**無住〔無住一円〕，仏教説話集**)

C　**随筆**⇒隠者文学の双璧

あ　**方丈記**　　(**鴨長明**)

☆鎌倉初期の作，鴨長明は歌論『無名抄』も著す。

い　**徒然草**　　(**兼好法師〔卜部兼好・吉田兼好〕**)

☆鎌倉末～南北朝期の作。

D　紀行文⇒幕府開設にともなう京・鎌倉間の往来

あ　東関紀行　(源親行？)

い　海道記

う　**十六夜日記**(**阿仏尼**)

☆実子と継子の所領裁判のため，京から鎌倉へ赴く旅日記。

E　日記

あ　**玉葉**　(**九条兼実**)

い　明月記(藤原定家)

F　**軍記物語**⇒和漢混淆文の隆盛

あ　保元物語

い　平治物語

う　**平家物語**(信濃前司行長？)

☆桓武平氏の興亡を主題とした傑作。**琵琶法師**により**平曲**として語られたことにより，文字を読めない人々にも親しまれた。

え　源平盛衰記

☆平家物語の異本。

⑩歴史

A　**水鏡（みずかがみ）**

B　**愚管抄（ぐかんしょう）（慈円（じえん）⇒摂政・関白九条兼実（かねざね）の弟，天台座主（てんだいざす））**

☆**末法思想**が全編を貫く**最古の歴史哲学書**。歴史を「**道理（どうり）**」の展開ととらえ，**後鳥羽上皇の討幕計画への諫言（かんげん）とした**。

C　百錬鈔

☆冷泉～後深草天皇を編年体で記す歴史書。

D　**吾妻鏡（あづまかがみ）**〔東鑑（あづまかがみ）〕

☆**鎌倉幕府の歴史**を編年体で漢文**日記体**に記す。執権北条氏の立場を擁護（ようご）する傾向が著（いちじる）しい。

E　**元亨釈書（げんこうしゃくしょ）（虎関師錬（こかんしれん））**

☆元から渡来した一山一寧（いっさんいちねい）の日本人の弟子が著した，**わが国初の仏教史書**。

---

⑪学問・思想

A　古典研究

あ　**万葉集註釈（ちゅうしゃく）（仙覚（せんがく））**

い　**釈日本紀（しゃくにほんぎ）　（卜部兼方（うらべかねかた））**

☆わが国初の『日本書紀』注釈書。

B　**有職故実（ゆうそくこじつ）**

朝廷の儀式・年中行事・先例を研究。

あ　世俗浅深秘抄（せぞくせんしんひしょう）（後鳥羽天皇）

い　**禁秘抄（きんぴしょう）　　　（順徳天皇）**

C　**図書館**

金沢文庫（かねざわぶんこ）　（北条〔金沢〕実時（さねとき））

☆武蔵国称名寺（しょうみょうじ）の境内（けいだい）にある，**初の武家による私設図書館**。

D　**宋学〔朱子学〕**の伝来

南宋の**朱熹（しゅき）**が始めたもの。君臣（くんしん）の別を説く**大義名分論（たいぎめいぶんろん）**は，後醍醐天皇の討幕運動の理論的支柱（しちゅう）となった。

〈*Note*〉

第８講　確認問題

1　1234年，モンゴル帝国２代皇帝オゴタイに滅ぼされた王朝は？

①遼〔契丹〕　②金　③南宋　④高麗

2　初の蒙古襲来〔元寇〕であった，1274年の戦いを何というか？

①文永の役　②弘安の役　③文禄の役　④慶長の役

3　２の戦いで元・高麗連合軍が上陸しなかった場所を一つ選べ。

①対馬　②壱岐　③博多湾　④隠岐

4　1285年の霜月騒動で安達泰盛を滅ぼしたが，1293年に９代執権北条貞時に滅ぼされた内管領とは？

①竹崎季長　②平頼綱　③長崎高資　④北条時行

5　1297年の「永仁の徳政令」では，売却・質入れ済み所領の無償返還が規定されたが，御家人相手の場合，売却後何年以内のものに限られたか？

①１年　②６年　③20年　④50年

6　持明院統と大覚寺統という皇統の対立の原因となった，院内に評定衆を設置したことでも有名な上皇とは？

①後白河上皇　②後鳥羽上皇　③後嵯峨上皇　④光厳上皇

7　執権北条氏本家の当主を，とくに何といったか？

①氏の長者　②棟梁　③得宗　④公方

8　鎌倉新仏教の特徴としてあてはまらないものを一つ選べ。

①即身成仏　②易行　③選択　④専修

9　次のうち，念仏宗（＝他力本願系）ではない宗派を一つ選べ。

①浄土宗　②浄土真宗　③時宗　④日蓮宗〔法華宗〕

10　京都栂尾に高山寺を開山，『摧邪輪』を著し法然の専修念仏を攻撃した華厳宗の僧とは？

①貞慶〔解脱〕　②明恵〔高弁〕　③叡尊〔思円〕　④忍性〔良観〕

11　次のうち，禅宗様〔唐様〕の建築物を一つ選べ。

①蓮華王院本堂〔三十三間堂〕　②石山寺多宝塔
③東大寺南大門　④円覚寺舎利殿

12　『新古今和歌集』の編纂を命じた人物とは？

①後白河上皇　②後鳥羽上皇　③後嵯峨上皇　④後醍醐天皇

解答

1	②	2	①	3	④	4	②	5	③
6	③	7	③	8	①	9	④	10	②
11	④	12	②						

第９講　室町時代Ⅰ

1　鎌倉幕府の滅亡

①経過

1324年　**正中の変**⇒後醍醐天皇による討幕計画
☆密告により失敗。側近の日野資朝は佐渡に流されるが，天皇と日野俊基は赦免。

1331年　**元弘の変**⇒後醍醐天皇による討幕計画
☆側近の吉田定房の密告により失敗。日野資朝・俊基は死罪，天皇は京都を脱出するが山城国笠置山で捕縛され廃位。**持明院統の光厳天皇**が幕府に推され即位。
河内国赤坂城で悪党の**楠木正成**が挙兵。

1332年　後醍醐天皇，幕府により**隠岐**に配流。
大和国吉野で後醍醐天皇の皇子**護良親王**が挙兵。
河内国千早城で楠木正成が再び挙兵。

1333年　**後醍醐天皇，隠岐を脱出**し名和長年により伯耆国船上山に迎えられる。
足利高氏（のち**尊氏**）・赤松則村が京都の**六波羅探題**を攻略。
新田義貞・足利義詮（高氏の子）が**鎌倉幕府**を攻略。
☆**得宗の北条高時**，16代執権守時は自害し**鎌倉幕府滅亡**。

２　建武の新政（1333年〜36年）

①建武政権の職制

幕府・院・摂関も否定し，**天皇親政が理想**。しかし，**国司・守護の併置**にみられるように，**実質は公家政治と武家政治の折衷**であった。

A　中央（京都）

天　皇	**後醍醐天皇**
	☆持明院統の光厳天皇は廃位。
記録所	**重要政務**
雑訴決断所	**所領関係の裁判**，鎌倉幕府の引付を継承。
恩賞方	恩賞事務
武者所	京都の治安維持，**頭人は新田義貞**。

B　地方

征夷大将軍	護良親王
鎌倉将軍府	**成良親王を足利直義（尊氏の弟）が補佐**，関東統治にあたる。
	☆足利尊氏の勢力拠点。
陸奥将軍府	**義良親王を北畠顕家が補佐**，東北統治にあたる。
	☆護良親王の勢力拠点。
国　司	一国ごとに１名，公家中心に天皇が直接任命。
守　護	一国ごとに１名，武家を天皇が直接任命。

②新政の混乱（「二条河原落書」による風刺）

A　**後醍醐天皇の独裁⇒政務の停滞**

「今の例は昔の新儀なり，朕の新儀は後世の先例たるべし」―『梅松論』―**綸旨**を絶対万能とし濫発。とくに「所領個別安堵法」は**武家社会の慣習である知行年紀法〔20カ年年紀法〕を無視**したため訴訟が爆発的に増加した。

B　**公家優位の政治⇒武家の反発・離反**

討幕の恩賞では公家・寺社・一部の武士を優遇。大内裏造営計画やそのための紙幣や乾坤通宝鋳造計画など，諸国の武士に重い負担感が発生。

C　伝統的勢力の冷遇⇒摂関家などの反発

D　負担増大による農民の反発⇒「若狭国東寺領太良荘民訴状」など

E　**建武政権内部の対立**⇒三派に分かれる

あ　**後醍醐天皇派**

新田義貞・楠木正成・名和長年ら。

い　護良親王派

北畠親房・顕家ら。

う　**足利尊氏派**

足利直義・高師直・赤松則村〔円心〕・佐々木高氏〔道誉〕ら。

---

③建武政権の崩壊

1334年　足利尊氏が征夷大将軍護良親王を鎌倉に幽閉。

☆後醍醐天皇・護良親王父子の仲を裂くことに成功。

1335年　中先代の乱

☆信濃国で挙兵した北条高時の子**時行**〔中先代〕が鎌倉を攻略，敗れた足利直義は，脱出時に護良親王を殺害。

☆足利尊氏が天皇の許可なく鎌倉へ下り鎮圧，のち建武政権に反乱。

1336年　新田義貞を破った足利尊氏が西上し入京するが，東北から戻った北畠顕家に京都を奪回され九州に敗走。のち光厳上皇の院宣を得た尊氏が東上，摂津国**湊川の戦い**で**楠木正成**を破り再入京した。

☆**持明院統**の**光明天皇**を即位させ，**建武式目**を制定。（＝**北朝**の成立）

☆**大覚寺統**の後醍醐天皇は，大和国**吉野**へ脱出。　　（＝**南朝**の成立）

３　南北朝の動乱（1336年～92年）

①南北朝の対立

A　**足利尊氏**の**幕府開設（北朝）**

あ　**持明院統**の**光明天皇を擁立（1336年）**

い　**建武式目を制定**　　　　　**（1336年）**

鎌倉幕府評定衆であった**二階堂是円**（にかいどうぜえん）らへの施政（しせい）方針の諮問（しもん）に対する答申を２項**17カ条**に記す。

☆**基本法はあくまでも御成敗式目**。これ以後の追加法は**建武以来追加**という。

う　**足利尊氏，征夷大将軍に就任（1338年）**

弟直義との二頭政治を開始。

☆軍事＝尊氏，行政・司法＝直義。

B　**後醍醐天皇**の**吉野入り（南朝）**

「三種の神器（じんぎ）」を所有し**大覚寺統**の正統性を主張，独自の元号を発布。

②動乱の全国化と長期化

A　南朝方の抵抗

東北・関東・九州などに拠点を築くが，常(つね)に苦戦。

あ　諸将の戦死

楠木正成（1336年，摂津国湊川の戦い），名和長年（1336年），北畠顕家（1338年），**新田義貞**（1338年，越前国藤島の戦い）らが次々に戦死。

い　**後醍醐天皇の死**（1339年）

もと陸奥将軍の義良親王が**後村上天皇**(ごむらかみ)として即位。

☆後醍醐天皇の菩提(ぼだい)を弔(とむら)うため，**夢窓疎石**(むそうそせき)の勧めをうけた足利尊氏・直義は，京都に**天龍寺**(てんりゅうじ)を造営。

う　**北畠親房**の抵抗

常陸国小田城(ひたちのくにおだじょう)など東国を転戦後，吉野へ帰還。歴史書『**神皇正統記**(じんのうしょうとうき)』を後村上天皇に献上(けんじょう)し，**南朝の正統性を強調**。

え　楠木正行(まさつら)の戦死（1348年，河内国四条畷(しじょうなわて)の戦い）

その後，吉野も陥落(かんらく)。後村上天皇は賀名生(あのう)へ退(しりぞ)き行在所(あんざいしょ)〔行宮(あんぐう)〕とする。

お　征西(せいせい)将軍**懐良親王**(かねよし)の抵抗（1370年代まで）

肥後国菊池(きくち)氏と結び九州各地を転戦するが，幕府の**九州探題今川了俊**(りょうしゅん)〔**貞世**(さだよ)〕の下向(げこう)により敗退。

B　北朝方の内紛

あ　**二頭政治の対立**

地方武士の要望を汲(く)む新体制樹立をめざす急進派の**足利尊氏**と執事(しつじ)**高師直**(こうのもろなお)が，漸進派(ぜんしんは)の**足利直義**・直冬(ただふゆ)（直義の養子）との対立を深める。

い　**観応(かんのう)の擾乱(じょうらん)（1350年～52年）**

足利直義による高師直殺害が決定打となり，北朝の二派が武力で衝突。双方が一時的に南朝と和睦(わぼく)するなどして長期化したが，直義が敗死。

☆のち直冬が南朝勢力と結び，尊氏の死後も２代将軍義詮(よしあきら)と激戦を展開。

C　動乱の全国化・長期化の背景

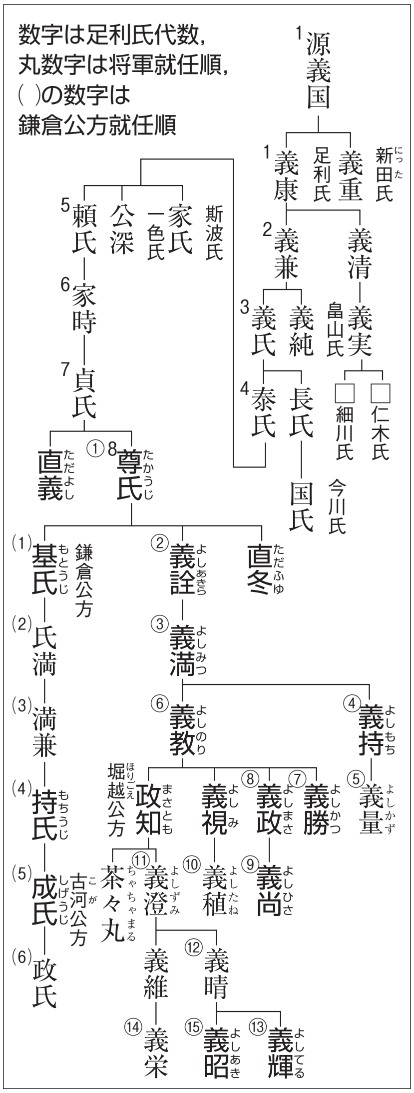
あ　**惣領制の解体**

嫡子(ちゃくし)単独相続が一般化し，血縁的結合を主としていた地方武士も**地縁的結合**を重視するようになった。

☆それにともない分家〔庶子家〕独立の傾向も強くなり，支配力の拡大をめざし，各地で闘争が激化。

い　**守護大名**の成長

う　**惣(そう)〔惣村(そうそん)〕**の形成・発展



足利氏略系図

４　室町幕府の成立

①幕府体制の安定・確立

A　**３代将軍足利義満**（在職1368年〜94年）の権力強化

幼少時には初代管領細川頼之が政務を代行するが，のちに追放。斯波義将を管領として実権を確立した。

☆1378年には**室町**に将軍邸**花の御所**〔**室町殿・室町第**〕を造営。**京都の市政権・諸国の段銭徴収権・外交権など朝廷が保持していた権限を吸収**した。

B　**南北朝の合一（1392年）**

九州探題今川了俊〔貞世〕の活躍もあり南朝勢力を平定。足利義満の斡旋で**南朝の後亀山天皇**が京都に帰り，**北朝の後小松天皇**に「三種の神器」を譲る。

☆両統迭立などが和議の条件であったが，結局履行されなかった。

C　**有力守護大名の圧伏**

1390年　土岐康行の乱

☆美濃・尾張・伊勢３カ国の守護を兼ねる土岐氏の一族を討伐。

1391年　明徳の乱

☆西国11カ国の守護を兼ねる山名氏〔**六分一衆**〕の一族である**山名氏清**を討伐。

1399年　応永の乱

☆周防・長門など６カ国の守護を兼ねる大内氏の一族である**大内義弘**を，和泉国堺で討伐。

D　**義満，太政大臣に就任**（1394年）

４代義持に将軍職を譲り，公武にわたる最高権力者として君臨。**日本国王として明から冊封される**など，皇位に肉薄した稀有な存在。

☆翌年引退，出家後は**北山山荘**〔**北山殿・北山第**〕に**金閣**を造営。

☆**明との国交を樹立，勘合貿易を始める。**

---

②室町幕府の職制

A　中央（京都）

将　軍　**有力守護大名連合の頂点**，公方（くぼう）ともいう。

管領（かんれい）　もと執事，**将軍の補佐・政務の総括**（そうかつ）。

☆足利氏一門の**三管領（細川・斯波**（しば）**・畠山**（はたけやま）**）**が交替で就任。

侍　所　京都内外の警備・刑事裁判。

☆長官である**所司**（しょし）には，**四職**（ししき）**（山名・赤松・一色**（いっしき）**・京極**（きょうごく）**）**が交替（こうたい）で就任。

政　所　財政・将軍家の家政（かせい）。

問注所　記録・訴訟文書の保管。

評定衆　形式上の合議機関。

引付衆　所領関係の裁判。

B　地方

鎌倉府　関東８カ国＋甲斐国（かいのくに）・伊豆国（いずのくに）10カ国（のち陸奥国（むつのくに）・出羽国（でわのくに）を加え12カ国）の統治。関東府ともいう。

☆**鎌倉公方**（くぼう）〔関東公方〕は足利尊氏の子**基氏**（もとうじ）の子孫が世襲。**関東管領**は**上杉氏**が世襲。京都の幕府と同様の機構を備えていた。

奥州探題（おうしゅう）　陸奥国の軍事・民政。

羽州探題（うしゅう）　出羽国の軍事・民政。

九州探題　九州の守護大名を統制。

守　護　**守護大名**に成長し幕政を担当。

☆在京または在鎌倉が原則。領国には守護所（しゅごしょ）を置き**守護代**（しゅごだい）が支配。

☆独自の守護法制定・守護段銭賦課（ふか）などの権限をもつ。

③室町幕府の経済基盤⇒不安定

A　**御料所**（ごりょうしょ）

畿内・東海を中心に散在する**幕府直轄**（ちょっかつ）**の荘園**で，将軍直属の**奉公衆**（ほうこうしゅう）が管理。

☆奉公衆は，古くからの足利氏の家臣・守護の一族・有力地方武士などを集めた幕府直轄軍。

B　**段銭・棟別銭**（むなべつせん）

内裏の造営などの国家的行事に際し，**守護を通して庶民に臨時課税**。

☆のちに定期的な税となる。

C　**土倉役**（どそうやく）**〔倉役〕**（くらやく）**・酒屋役**（さかややく）

都市金融業者の**土倉・酒屋**に課税，彼らから選ばれた納銭方（のうせんかた）が徴収にあたった。

☆その他，幕府の保護下で**祠堂銭**（しどうせん）の名目（めいもく）で金融活動を行っていた京都五山（ござん）などの**寺院**への課税もあった。

D　**関銭**（せきせん）**・津料**（つりょう）

陸上・水上交通にかけられる通行税。

E　**抽分銭**（ちゅうぶんせん）

日明貿易に課税。輸入品国内売価の10分の１。

F　**分一銭**（ぶいちせん）

分一徳政令発布にともなう手数料。債権額・債務額の10分の１または５分の１。

☆分一徳政令は，分一銭を幕府に納入することを条件に，債権の保護や債務の放棄を認めたもの。

G　その他

守護分担金，地方武士（国人）への賦課金（ふか），京都五山献上銭など。

---

④守護大名の登場（守護領国制の展開）

南北朝の動乱の中で，国人や地侍など地方武士の力が増大してくると，彼らを各国ごとに統轄する守護が，軍事上大きな役割を担うようになった。

A　**守護の権限強化**（司法権を追加）

大犯三カ条（たいぼん）などに，**刈田狼藉**（かりたろうぜき）**の取締り権・使節遵行権**（しせつじゅんぎょうけん）**を追加**。

B　**半済令（1352年，観応半済令）**

南北朝動乱下の軍費調達のため，**守護に一国内の荘園・公領の年貢の半分を徴発する権限を認めたもの**（1368年の応安半済令以降は，**土地の折半**となった）。

☆**守護はその年貢や土地を地方武士に分給**することにより，家臣化を進めた。

あ　期限　**一年限り**　　　　　　**（のち永続化）**

い　地域　**近江・美濃・尾張３国　（のち全国化）**

う　方法　**荘園・公領の年貢を半済（のち土地分割化）**

☆皇室領・殿下渡領・寺社一円領には適用せず。

C　**守護請**

争乱が続く中，**荘園・公領の年貢徴収を守護が一括して請負い，領主は経営から手を引く**ことも多かった。

D　守護から**守護大名**へ

守護は半済令・守護請を通じて荘園・公領内の諸権利を獲得。その権利を地方武士に分与することにより主従関係を発生させた。結果，荘園領主・知行国主は有名無実化し，守護は**守護大名**へと成長した。

☆14世紀末には**一国全体に及ぶ地域的支配体制**である**守護領国制**が成立。独自の守護法を制定し，**守護段銭**を徴収した。

☆国衙の機能は守護所が吸収，おもに**守護代**が実務にあたった。

---

⑤国人の成長

守護大名は幕府（将軍）権力を背景に地方武士である**国人**を統轄してはいたが，厳密な主従関係を結んだわけではなかった。自立的気風の強い国人たちの中には，自らの領主権を守るため**一味神水**の儀式により**国人一揆**を結び，守護に抵抗するものもあった。

☆国人間の紛争の自主的解決や，農民の台頭を共同して抑えるなどの必要性もあった。

５　室町時代の産業・経済

①農業の発達

A　特色

耕地面積の拡大が困難なこともあり，集約化・多角化が進展。

B　稲作の進歩

あ　灌漑（かんがい）・排水施設の整備・改善

☆水車に加（くわ）え**竜骨車**（りゅうこつしゃ）を導入。

い　肥料の発達

☆**下肥**（しもごえ）〔人糞尿（じんぷんにょう）〕・魚肥（ぎょひ）の使用開始。

う　稲の品種改良

☆**早稲**（わせ）・**中稲**（なかて）・**晩稲**（おくて）の作付（さくづ）けが普及。

え　二毛作の普及と畿内における**三毛作**の開始

☆畿内の三毛作については，朝鮮の使者宋希璟（そうきけい）が著した『老松堂日本行録（ろうしょうどうにほんこうろく）』に記述がある。

お　鉄製農具・牛馬耕の全国的普及

C　商品作物の多様化

楮（こうぞ）・**桑**・**茶**・漆・藍・荏胡麻（えごま）・苧（お）〔苧麻（ちょま）〕・**木綿**（もめん）**〔綿花**（めんか）**〕**など。

☆年貢の銭納の普及と農村加工業の発達により，農作物が商品として広く流通するようになった。

---

②手工業の発達

全国的に座が結成され，各地で特産物の生産が発達。

A　**絹織物**

京都西陣，丹後，加賀，常陸（ひたち），上野（こうずけ），下野（しもつけ），筑前（ちくぜん）など。

B　麻（あさ）織物

越後など。

C　**和紙**

播磨（杉原紙（すいばらがみ）**）**，**美濃**（みの）**（美濃紙）**，**越前（鳥**（とり）**の子紙）**など。

D　陶器

尾張（おわり）（瀬戸焼・常滑焼（とこなめやき）），美濃（美濃焼），近江（おうみ）（信楽焼（しがらきやき）），備前（備前焼）など。

E　**漆器**（しっき）

能登（のと）**（輪島塗**（わじまぬり）**）**，和泉（いずみ）（堺春慶塗（しゅんけいぬり））など。

F　金属

河内（鍋），能登・筑前（釜），出雲（鍬），山城粟田口・相模鎌倉・備前長船（刀剣）など。

G　酒造業

京都・大和・摂津・河内など。

---

③諸産業の発達

A　漁業

専業漁師の出現，上方を中心とした漁法の進歩。

☆地曳網・刺網などの網漁が発達。

B　**製塩業**

塩田の進歩。

☆揚浜法から**古式入浜法**へ。

C　鉱業

甲斐・伊豆の金山，**但馬生野・石見大森の銀山**など，鉱山の開発が進む。

---

④商業の発達

A　**六斎市**(ろくさいいち)の登場⇒応仁の乱以降

地方武士や農民たちは市で農産物を売却して貨幣を入手した。これにより，年貢として領主に納められていた農産物が商人の手に渡り，商品として流通するようになった。

B　市座(いちざ)（市の特定商人の販売座席）の設定

C　**振売**(ふりうり)**・連雀**(れんじゃく)**商人**の増加

D　**女性行商人の増加**

山里から炭や薪(たきぎ)を売りに来る**大原女**(おはらめ)や，鵜飼(うかい)集団で鮎(あゆ)を売る**桂女**(かつらめ)など。

E　見世棚〔店棚〕の増加

F　専門市場の発生

京都三条・七条の米場(こめば)，京都六角・淀(よど)の魚市(うおいち)など。

G　**全国的な座の活動**

大山崎の油座神人(じにん)（**石清水八幡宮**(いわしみず)**が本所**），北野神社の麹(こうじ)座神人，祇(ぎ)園社(おんしゃ)の綿(わた)座神人など。

☆蔵人所(くろうどどころ)を本所とした鋳物師(いもじ)の座である灯炉供御人(とうろくごにん)は，朝廷の権威により関銭を免除され，全国的に活動した。

---

⑤貨幣経済の発達

A　流通の進展

年貢銭納(せんのう)〔代銭納〕の一般化，遠隔地取引の拡大による**為替**(かわせ)**〔替銭**(かえぜに)**〕利用の増加。**

☆為替手形の一種である**割符**(さいふ)の利用もさかん。

B　貨幣の種類⇒統一貨幣はなし

宋銭，元銭，**明銭**（洪武(こうぶ)通宝・**永楽**(えいらく)**通宝**・宣徳(せんとく)通宝）など。

☆粗悪な鐚銭(びたせん)（**私鋳銭**(しちゅうせん)など）も大量に流通。

C　混乱

悪貨が横行し，良質の銭（精銭(せいせん)）を選ぶ**撰銭**(えりぜに)行為の増加。

☆貨幣の円滑(えんかつ)な流通を阻害。

D　対策

幕府や戦国大名は，**撰銭令（悪銭と良銭の交換率規定・特定の悪銭流通の禁止など）**を発布するが，効果は不十分。

☆精銭の減少にともない，16世紀後半には西日本では米・銀も貨幣扱いされていた。

E　都市金融業者（**土倉**・**酒屋**）の発達

幕府は土倉役〔倉役〕・酒屋役を得るかわりにこれらを保護。

☆京都五山などの**寺院**も**祠堂銭**の名目で集めた銭を高利で貸し付けていた。

☆女性の金融業への進出も著しかった。

F　無尽（講）・頼母子（講）の発達

庶民の相互金融。

---

⑥交通の発達

A　**発達の要因**

地方産業の発達による遠隔地取引の活発化。

B　海上交通の発達

一定航路を定期的に行き交う**廻船**の登場。

☆摂津国兵庫湊から大坂湾へ入る船の数を記す『**兵庫北関入船納帳**』が有名。

C　陸上交通の発達

都市近郊の運送業者である**馬借**・**車借**の発達。

D　**問屋**の発生

京都・奈良・鎌倉などの都市や兵庫・大津など交通の要地で，運送業者の問丸〔問〕が卸売商人に発展したもの。

☆商品の運送・保管・売買の他，商人宿を兼ねる。

E　**関所の発達**

荘園公領制の崩壊による公家・寺社の困窮⇒**関銭・津料の徴収をはかる。**

☆交通･通商を著しく阻害したので，**戦国大名により撤廃命令**が出された。

６　中世の外交

①日宋貿易（平安後期～鎌倉中期）

A　**平氏による私貿易の推進**

平清盛による大輪田泊（おおわだのとまり）（摂津国）の修築，音戸（おんど）の瀬戸（安芸国）の開削（かいさく）など。

B　**平氏滅亡後も私貿易は活発**

輸出品⇒金・水銀・硫黄（いおう）・刀剣・漆器（しっき）・扇（おうぎ）・真珠など。

輸入品⇒宋銭・陶磁器・書籍（**太平御覧（たいへいぎょらん）**）・絹織物など。

---

②日元貿易（鎌倉後期～南北朝時代）

私貿易は宋の時代と同様にさかんに行われたが，幕府による公的な派遣もあった。

A　**鎌倉幕府による建長寺船の派遣**

1325年，建長寺の再建費を得るために**14代執権北条高時が派遣。**

B　**足利尊氏・直義による天龍寺船の派遣**

1342年，天龍寺を造営するため**夢窓疎石（むそうそせき）の勧（すす）めにより派遣。**

---

③前期倭寇（わこう）（南北朝時代および日明貿易開始前後）

A　**日本人中心**の武装海賊（かいぞく）集団

とくに**明（ミン）の海禁（かいきん）政策**による私貿易の不調から，海賊行為に及ぶ場合が多かった。

B　朝鮮半島沿岸・中国北部沿岸で，人間や食糧（米・大豆）などを略奪。

C　**対馬（つしま）**・壱岐（いき）・肥前松浦（まつら）地方などが根拠地。

D　**高麗（こうらい）・明の倭寇禁圧要求**

1369年，南朝の征西将軍懐良（かねよし）親王に対して禁圧を要求したが，南北朝の動乱中であったため対処されなかった。

---

④日明貿易（15世紀～16世紀半ば）

A　**明**の成立

白蓮教徒（びゃくれんきょうと）による紅巾（こうきん）の乱を経て，**朱元璋（しゅげんしょう）〔太祖洪武帝（たいそこうぶてい）〕**が蒙古民族の元にかわる漢民族の王朝を建国（1368年）。

☆**中国を中心とする伝統的な国際秩序の回復をめざし**，私的な海外渡航や貿易を禁じる**海禁政策**を推進。**日本には通交と倭寇の禁圧を要求，足利義満がこれに応じた。**

B　**日明貿易〔勘合（かんごう）貿易〕**

あ　背景

（室町幕府）貿易の利益⇔倭寇の禁圧＋国際秩序の回復（明）

い　開始

1401年　足利義満による遣使

☆**正使は祖阿（そあ），副使は博多商人肥富（こいつみ）。**

1402年　２代皇帝建文帝からの答礼

☆義満は「**日本国王源道義（げんどうぎ）**」として**大統暦（だいとうれき）**を受け取り冊封（さくほう）される。

1403年　「**日本国王臣源（しんみなもと）**」と名乗り再遣使し**勘合**入手

☆明は倭寇対策として国王以外には貿易を認めなかった。

1404年　貿易開始

☆３代皇帝永楽帝と**朝貢貿易**を開始。

う　方法

勘合（明＝日字勘合，日本＝本字勘合）とよばれる証票と底簿を符合させ，倭寇・私貿易船と区別。

え　形式

朝貢形式で遣明船を派遣。寧波（ニンポー）の市舶司（しはくし）で査証，北京（ペキン）で査証・交易。

☆滞在費・運搬費などは明の負担＋無関税＝**日本側の利益は莫大（ばくだい）。**

お　貿易品

輸出品⇒銅・金・硫黄・刀剣・漆器・扇（おうぎ）など。

輸入品⇒銅銭・生糸（きいと）・絹織物・陶磁器・書籍・書画など。

か　経過

1404年　貿易開始

1411年　４代将軍義持が朝貢貿易を好まず**国交を中絶**

☆倭寇の活動が再び活発化。

1432年　６代将軍義教(よしのり)が**貿易再開**

☆守護大名や商人に経営主体が移行，幕府は**抽分銭(ちゅうぶんせん)**を徴収。

1523年　寧波の乱（○博多商人と結ぶ大内氏vs堺商人と結ぶ細川氏●）

☆以後は博多商人と結ぶ大内氏が貿易を独占。

1547年　最後の遣明船派遣

1551年　**大内氏の滅亡により貿易終結**

☆後期倭寇の活動が活発化。

---

⑤後期倭寇（室町後期～安土桃山時代）

A　**中国人中心**の武装海賊集団

日本人と結ぶ中国人の密貿易者（王直(おうちょく)など）やポルトガル人など。

☆彼らは日本の銀と中国の生糸の交易を行うとともに，海賊として広く活動した。

B　中国中部・南部沿岸や南海地域で銭貨(せんか)や生糸などを略奪

C　肥前松浦(まつら)地方などが根拠地

D　**豊臣秀吉の海賊〔倭寇〕取締令（1588年）**まで続く

---

⑥日朝貿易（14世紀末～16世紀）

倭寇の被害や国内対立・凶作により**高麗**が衰退，倭寇討伐に功のあった**李成桂**が**1392年**に**朝鮮（李朝・李氏朝鮮）**を建国。

A　開始

14世紀末，倭寇の捕虜送還を契機に貿易開始。

☆朝鮮は通交と倭寇の禁止を日本に求め，足利義満がこれに応じ，両国の間に国交が開かれた。

B　形式

通信符を用い，当初から幕府だけでなく守護大名・国人・商人らにも幅広く許可。**対馬国の宗氏**が渡航認可証の文引（渡航認可証）を発行して運営，莫大な利益を上げる。

☆**三浦**（乃而浦〔薺浦〕・富山浦〔釜山〕・塩浦〔蔚山〕）とよぶ港を開き交易。三浦と首都の漢城〔漢陽〕に使節の接待と貿易のための**倭館**を設置。

C　貿易品

輸出品⇒銅・硫黄・刀剣・琉球貿易による南海の産物（蘇木・香木）など。

輸入品⇒木綿〔綿布〕・大蔵経〔一切経〕・朝鮮人参など。

D　経過

1419年　応永の外寇

☆倭寇の禁止や日朝貿易に積極的であった宗貞茂の死後，**朝鮮が対馬を襲撃**し貿易が中断。

☆翌年朝鮮から宋希璟が来日するなどの後，1423年に関係修復。

1443年　癸亥約条〔嘉吉条約〕

☆対馬の宗貞盛と朝鮮との間で，渡航船を年間50隻に制限。

1510年　三浦の乱

☆特権が縮小されつつあった三浦の恒居倭（日本人居留民）による暴動。貿易は中断。

1512年　壬申約条

☆貿易が再開。以後は乃而浦のみが残り，**宗氏が貿易を独占**した。

⑦琉球王国

A　**琉球王国の成立（1429年）**⇒第一尚王朝

城を築く小領主である**按司**から中山王となった**尚巴志**による，**三山**（**北山・中山・南山**）の統一。

☆**首里**〔**首里城**〕に琉球王府を設置，**日本・明の両国に朝貢**。

B　第二尚王朝の成立（1470年）

尚円〔内間金丸〕が再統一。

C　**中継貿易**の展開

首里の外港である**那覇**を中心に，明・日本・李氏朝鮮と東南アジア諸国を結ぶ。

☆のちポルトガル・スペイン商人の進出や，明の海禁政策緩和などにより衰退。

D　歌謡集『**おもろさうし**』の編纂（16世紀～）

中国から三線〔蛇皮線〕が伝来し，伝統的歌謡「**おもろ**」が発達。

---

⑧蝦夷ヶ島

A　**アイヌ**の文化(13世紀ごろ〜)⇒口承文学「**ユーカラ**」が発達

擦文文化・オホーツク文化に続く，狩猟・漁労を中心とする文化。

B　**和人**の進出(13世紀〜)

北海道南部に志苔館など**道南十二館**を建設，館主は津軽の**安藤〔安東〕氏**の支配下に属する。

☆北海の産物(サケ・マス・コンブ・毛皮など)を，津軽の**十三湊**を通じて畿内へ輸送していた。

C　**コシャマインの戦い(1457年)**

和人〔シャモ〕とアイヌの紛争，安藤氏の部将である花沢館の**蠣崎氏**(上之国の領主)が討滅。

☆蠣崎氏の客将武田信広が大首長コシャマインを射殺。蠣崎氏を継承。

☆以後，蠣崎氏〔武田氏〕は道南地区の和人居住地の支配者に成長し，江戸時代には**松前氏**と名乗る大名となった。

☆強引な和人の進出は，各地のアイヌの生活を狩猟・漁労およびその産物の交易に大きく依存させるようになり，やがてアイヌ社会を圧迫することにつながった。

第９講　確認問題

1　1333年，鎌倉を攻略し幕府を滅亡させた上野国の御家人とは？

①楠木正成　②足利高氏(のちの尊氏)
③赤松則村〔円心〕　④新田義貞

2　建武政権において最も中心となり，重要政務を扱った役所とは？

①記録所　②雑訴決断所　③恩賞方　④武者所

3　1335年の「中先代の乱」に際し，鎌倉で殺害された後醍醐天皇の皇子とは？

①護良親王　②成良親王　③義良親王　④懐良親王

4　室町幕府の基本法とは？

①とくになし　②御成敗式目〔貞永式目〕
③建武式目　④武家諸法度

5　1339年，後醍醐天皇のあとをうけて即位した大覚寺統の天皇とは？

①亀山天皇　②後宇多天皇　③後村上天皇　④後亀山天皇

6　南朝平定に多大な貢献をした九州探題とは？

①足利直義　②高師直　③細川頼之　④今川了俊〔貞世〕

7　1399年の応永の乱で足利義満に討伐された守護大名とは？

①斯波義将　②土岐康行　③山名氏清　④大内義弘

8　「大山崎の油座」の本所となった神社とは？

①大神神社　②石清水八幡宮
③北野神社〔北野天満宮〕　④祇園社〔八坂神社〕

9　1401年，明に遣使して日明貿易〔勘合貿易〕を開始した人物とは？

①足利尊氏　②足利義満　③足利義持　④足利義教

10　1510年，朝鮮半島の日本人居留民が起こした暴動を何というか？

①観応の擾乱　②応永の外寇　③三浦の乱　④寧波の乱

11　尚巴志が三山を統一し，琉球王国が成立した年は？

①1336年　②1392年　③1429年　④1457年

12　アイヌ民族の口承文学を何というか？

①伎楽　②朗詠　③おもろ　④ユーカラ

解答

1	④	2	①	3	①	4	②	5	③
6	④	7	④	8	②	9	②	10	③
11	③	12	④						

第１０講　室町時代Ⅱ

１　庶民の台頭

①惣〔惣村〕の成立

荘園・公領の枠を越えた，自然発生的な村の自立的・自治的結合をいう。鎌倉時代後期に**畿内**やその周辺に発生，**南北朝時代**以後に全国化。

Ａ　**自治的結合の背景**

あ　**鎌倉期の生産力向上による独立小農民の成長。**

☆作人が新たな小名主に成長。

い　共同利用地である**入会地**の入会権や用水問題に関する結合の必要性。

☆村の神社(鎮守)の祭礼や農業の共同作業もあった。

う　荘園領主や国人の不当な要求への対抗。

え　**鎌倉末期～南北朝時代の戦乱に対する自衛。**

Ｂ　惣〔惣村〕の構成

あ　構成員⇒**惣百姓**

名主および新興の小名主(もとの作人)。

い　指導階層⇒**おとな〔長・乙名〕・沙汰人**・番頭・年寄

有力名主の代表者で，守護大名・国人などと主従関係を結び，**地侍**となる者も多かった。

---

②惣〔惣村〕の運営

A　**寄合**⇒村民の会議

あ　**宮座**(上層農民たちの祭祀集団)が主導。

い　**惣掟〔村掟・村法〕**を定め，違反者は**地下検断〔自検断〕**により追放。

☆村内の秩序を維持するため，村民たち自身が警察権を行使した。

う　鎮守の祭礼，入会地・用水の管理・整備。

え　独自の税である村役を課すこともあった。

B　**地下請**〔百姓請・村請〕

領主に納める年貢を，惣全体の責任で一括して請け負う。

C　**共同作業**

結・もやい

D　相互金融

無尽(講)・頼母子(講)

---

③惣荘・惣郷

幾つもの惣が荘園・公領ごとに結合・発展し，より大規模な自治組織も生まれた。これらは領内の枠を越えて相互に連帯したため，**荘園公領制の解体が進行**した。

---

④土民の抵抗

A　背景

惣百姓などの（＝**土民**）の強い連帯意識。

☆起請文を作成し，**一味神水**の儀式により**一揆**を結び団結した。

B　要求

不法荘官・代官の免職，水害・冷害・干害時の年貢減免，関所の撤廃，徳政令発布など。

C　抵抗手段⇒“荘家の一揆”

あ　**愁訴**

年貢減免などを百姓申状にして，領主に嘆願すること。

い　**強訴**

集団の威力を背景に，領主に強圧的に訴えること。

う　**逃散**

一村が団結して耕作を放棄し，他領や山林へ逃げ込むなどの方法で抵抗すること。

D　連帯行動

指導者は守護などと主従関係を結び武士化（＝**地侍**）するものも多く，広く周辺の惣と連合。荘園領主や国人の領主支配は次第に困難化。

---

⑤一揆の拡大

A　**土一揆**（庶民による一揆）

1428年　正長の徳政一揆―尋尊『**大乗院日記目録**』「**柳生の徳政碑文**」より―

☆**近江国坂本の馬借の蜂起**が発端。

☆**足利義教**が**６代将軍**に就任直前の京内に乱入，酒屋・土倉・寺院を襲撃し，**畿内各地で私徳政を実行。**

1429年　播磨の土一揆　　―中山定親『薩戒記』より―

☆**守護赤松満祐**による守護領国制の展開に「侍をして国中に在らしむべからず」と抵抗。

1441年　嘉吉の徳政一揆

☆土民勢力が嘉吉の変に乗じ７代将軍義勝の“**代始めの徳政**”を要求，幕府は**初の徳政令**（山城一国平均）を発布。

☆以後の幕府は，**分一銭**獲得のため分一徳政令や徳政禁制令を濫発。

B　**国一揆**　（国人一揆と土一揆が**一国単位**で結合）

1485年　山城の国一揆　—尋尊ら『大乗院寺社雑事記』より—

☆**両畠山軍（政長・義就）の山城国退去**，寺社本所領の還付，関所の新設停止の３点を要求し，畠山氏を追放。**国人の月行事〔月行司，36人衆〕らによる自治が８年間続いた。**

C　**一向一揆**（**一向宗〔浄土真宗〕**の坊主・門徒による一揆）

1488年　加賀の一向一揆　—『蔭涼軒日録』『実悟記拾遺』より—

☆**本願寺８世蓮如**〔兼寿〕が，**越前国吉崎**を拠点に**講**を組織し惣を直接掌握，平易な**御文〔御文章〕**を用いて布教。

☆**加賀国守護富樫政親を滅ぼし**て富樫泰高を擁立し，**約１世紀の間自治支配を続けた**が，1580年，織田信長により討滅される。

D　**法華一揆（京都町衆の日蓮宗徒による一揆）**

15世紀半ば，京都における**日親**の戦闘的な布教が，商工業者の信者を生み出す。

1532年　法華一揆

☆京都を戦火から守るため，一向一揆の**山科本願寺**を焼打ち。

1536年　天文法華の乱

☆比叡山延暦寺と六角氏（近江国）による，京都の日蓮宗21カ寺の焼打ち事件。法華一揆は一時的に京都を追われた。

２　室町幕府の衰退

①幕府政治の衰退

守護大名の台頭と農民層の自立化により，内乱・一揆が頻発（ひんぱつ）。

A　**４代将軍足利義持**（＝安定）

将軍と有力守護大名の勢力が均衡，**幕府が守護大名の連合政権的性格を強める。**

1416年～上杉禅秀（ぜんしゅう）の乱（～17年）

☆**鎌倉公方（くぼう）足利持氏（もちうじ）**の要請（ようせい）を受けた幕府が，前関東管領上杉禅秀〔氏憲（うじのり）〕を討伐（とうばつ）。

B　**６代将軍足利義教（よしのり）（＝専制）**

将軍権力強化のため，有力守護大名など他勢力を強烈に圧迫。

1438年～永享（えいきょう）の乱（～39年）

６代将軍義教・関東管領上杉憲実（のりざね）が，鎌倉公方足利持氏を討伐。

1440年～結城（ゆうき）合戦（～41年）

幕府軍＋関東管領上杉憲実が結城氏朝（うじとも）（足利持氏の子を擁立（ようりつ））を討伐。

1441年　嘉吉の変

播磨国守護赤松満祐（みつすけ）が，６代将軍義教を謀殺（ぼうさつ）。

☆**山名持豊（もちとよ）〔宗全（そうぜん）〕**らの幕府軍が赤松満祐を討伐するが，これ以降将軍〔公方〕の権威は大きく揺らいだ。

C　**８代将軍足利義政（＝失政（しっせい））**

政務の放棄，造営事業の浪費。

1454年～享徳（きょうとく）の乱（～82年）

幕府軍＋関東管領上杉氏が**鎌倉公方足利成氏（しげうじ）**と戦う。

☆鎌倉公方は**古河（こが）公方（足利成氏）**と**堀越（ほりごえ）公方（足利政知（まさとも））**に分裂。

☆関東管領上杉氏も**山内（やまのうち）上杉家**と**扇谷（おおぎがやつ）上杉家**に分裂。

1461年　寛正（かんしょう）の大飢饉

☆中世最大の飢饉。

1467年～応仁（おうにん）の乱（～77年）

---

②応仁の乱（1467 年～77 年）

A　**原因**

あ　**８代将軍足利義政の失政**と夫人**日野富子**の政治介入。

い　**将軍家の家督相続争い（足利義視〔義政の弟〕vs 足利義尚〔義政の子〕）**。

う　管領家（畠山氏〔政長・義就〕・斯波氏〔義敏・義廉〕）の家督相続争い。

え　**細川勝元と山名宗全〔持豊〕の勢力争い**。

B　経過

1467 年，畠山政長軍と義就軍が京都で衝突。守護大名たちが**東軍（細川方）・西軍（山名方）**に分かれて対立，**京都を主戦場とするが，戦いは全国に波及**。

☆1473 年には両軍の総大将が死去，将軍義政も引退し**９代将軍に義尚が就任**するが戦乱は収まらず，全国各地で土一揆や国人の反乱が続発。**1477 年**に至り戦いに疲れた両軍の間に和議が結ばれ，諸将は帰国した。

C　**結果**

あ　**幕府（将軍）権威の失墜**

将軍の支配力は，ほぼ山城国のみとなる。

☆幕府本体も，有力守護大名の連合政権という形式をとれない事態となった。

い　**京都の焼失・荒廃（足軽の横暴）**

「汝ヤシル都ハ野辺ノ夕雲雀アガルヲ見テモ落ル涙ハ」

（飯尾彦六左衛門尉）―『応仁記』より―

☆公家・僧侶の没落と地方下向により，**文化の地方普及が進む**。

う　荘園公領制の崩壊

戦乱の中で，地方武士が荘園を略奪。

え　**守護領国制の衰退**

下の者が上の者の勢力を凌いでいく**下剋上**の風潮が高まり，守護代や国人に領国を奪われる守護大名もあった。

お　**戦国大名の登場**

争乱が全国に波及し，以後約 100 年にわたる戦国時代に突入。

３　戦国時代

①戦国大名の出自と下剋上

A　**戦国大名**の出自

あ　**守護大名**

武田（甲斐），**今川（駿河・遠江）**，六角（南近江），大内（周防・長門），大友（豊後），**島津（薩摩）**など。

い　**守護代**

上杉（越後），**朝倉（越前）**，**織田（尾張）**，尼子（出雲）など。

う　国人・土豪など地方武士

伊達（陸奥），浅井（北近江），**毛利（安芸）**，**長宗我部（土佐）**など。

え　その他

北条早雲〔伊勢宗瑞〕（伊豆・相模⇒牢人？），**斎藤道三**（**美濃**⇒商人？）など。

B　**室町幕府**の情勢

1493年，細川政元が10代将軍足利義稙を廃し11代義澄を擁立し管領として実権を握る。（＝**明応の政変**）

☆16世紀半ば，管領細川晴元を重臣の**三好長慶**が追放したが，その死後，家臣の**松永久秀**がさらに下剋上。1565年，**久秀は13代将軍足利義輝を殺害**，のち筒井順慶や三好三人衆と戦い，**東大寺大仏殿も焼打ち**し，畿内で強勢を誇った。

C　**東北地方**の情勢

陸奥の**伊達氏**，出羽の最上氏など国人出身者が群雄割拠。

D　**関東地方**の情勢

あ　鎌倉公方・関東管領の分裂

☆古河公方・堀越公方と山内上杉・扇谷上杉。

い　**北条氏〔後北条氏〕**の制覇

早雲⇒氏綱⇒氏康⇒氏政の４代で関東の大半を支配。

☆北条早雲は堀越公方足利政知の子茶々丸を滅ぼし伊豆を支配。のち小田原城に入り，相模も支配した。

E　**中部地方**の情勢

あ　**甲斐**

守護の**武田信玄**〔**晴信**〕が信濃に進出し，上杉謙信と対立。５度にわたり北信濃の**川中島**で戦う。

い　**越後**

守護代**上杉謙信**〔**長尾景虎**〕が，上杉〔山内〕憲政から守護職・関東管領職を継承。

う　**越前**

守護代**朝倉**孝景〔敏景〕が**斯波氏**から守護職を奪う。**一乗谷**を拠点とし勢力を伸長。

え　**駿河・遠江**

今川氏親の後を継いだ**義元**が強大化，三河の松平氏などを服属させ上洛をはかる。

お　**尾張**

織田信秀・**信長**父子が守護の**斯波氏**にかわり台頭。

か　**美濃**

斎藤道三が守護の土岐氏を滅ぼす。

F　**近畿地方**の情勢

あ　近江

浅井氏が守護の京極氏を倒し北近江を制圧，南近江は六角氏が支配。

い　京都

松永久秀が主家の三好氏を追放，幕府の実権を掌握。

G　**中国地方**の情勢

守護代**陶晴賢**により，守護の**大内義隆**が滅亡(1551 年)。

☆1555 年の**厳島の戦い**で陶晴賢を滅ぼした，**安芸**の国人**毛利元就**が台頭。のち出雲の尼子氏も滅ぼし中国全土を支配。

H　**四国地方**の情勢

土佐の**長宗我部元親**が四国南部を統一し，北部へも進出。

I　**九州地方**の情勢

肥前の龍造寺氏，**豊後**の**大友氏**，**薩摩**の**島津氏**が群雄割拠。

②戦国大名の領国〔分国(ぶんこく)〕支配＝大名領国制

A　**性格**

あ　**幕府（将軍）権力から独立，分国内の一円支配を達成。**

☆守護大名にかわる新たな軍事指導者としての実力を備える。

い　**荘園公領制を否定，惣郷(そうごう)・惣荘(そうしょう)全体の農民を直接支配。**

☆守護大名にかわる新たな領国支配者としての実力を備える。

B　**家臣団**の編成

あ　国人・地侍を家臣化⇒**寄親(よりおや)・寄子(よりこ)制**

☆親子関係に似た協力体制を軍事行動・日常生活ともに維持し，家臣団内の連携(れんけい)をはかろうとした制度。

☆これにより，鉄砲・長槍などの新たな武器を使った集団戦が可能となった。

い　**有力家臣を城下町(じょうかまち)に集住(しゅうじゅう)させる**

C　**分国法〔家法(かほう)〕**の制定

分国経営の基本法。中世法の集大成的な性格。

あ　**家臣団の統制**⇒当時はまだ家臣団の独立性が強く，統制に苦慮(くりょ)。

私的同盟の禁止，領地の自由売買禁止，**城下町への集住**，**嫡子(ちゃくし)単独相続の励行(れいこう)**，**喧嘩両成敗法(けんかりょうせいばいほう)（私闘の禁止）**，**連坐(れんざ)制**・**縁坐(えんざ)制**など。

い　農民の統制

年貢納入の規定，逃散(ちょうさん)対策の規定など。

D　**おもな分国法**

あ　**家訓(かくん)**

朝　倉　氏（越前）⇒『朝倉孝景条々(たかかげじょうじょう)〔朝倉敏景(としかげ)十七箇条〕』

北　条　氏（相模）⇒『早雲寺殿廿一箇条(そううんじどのにじゅういっかじょう)』

い　**家法**

相良(さがら)　氏（肥後）⇒『相良氏法度(はっと)』

大　内　氏（周防）⇒『大内氏掟書(おきてがき)〔大内家壁書(かべがき)〕』

今　川　氏（駿河）⇒『今川仮名目録』『今川仮名目録追加』

☆今川氏親(うじちか)・義元(よしもと)父子がそれぞれ制定。

伊　達　氏（陸奥(むつ)）⇒『塵芥集(じんかいしゅう)』

☆伊達稙宗(たねむね)が制定した**最大の分国法（171条）**。

武　田　氏（甲斐）⇒『甲州法度之次第(こうしゅうはっとのしだい)〔信玄家法〕』

結城(ゆうき)　氏（下総(しもうさ)）⇒『結城氏新法度』

六　角　氏（近江）⇒『六角氏式目〔義治（よしはる）式目〕』

三　好　氏（阿波（あわ））⇒『新加制式』

長宗我部氏（土佐）⇒『長宗我部氏掟書〔長宗我部元親百箇条〕』

E　土地支配⇒**荘園公領制を否定**

家臣である国人・地侍（＝寄親・寄子）の地位・収入を保障するかわりに，収入額を銭に換算した**貫高（かんだか）**という基準で統一的に把握。自己申告（じこしんこく）制の**指出（さしだし）検地（けんち）**により**貫高制**にもとづき**軍役（ぐんやく）**を負担させた。

☆検地により，土地面積と年貢量などが**検地帳**に登録され，戦国大名の農民に対する直接支配が確立した。

☆貫高制により，戦国大名の軍事制度の基礎が確立した。

F　**富国強兵策**

戦国大名には，武器および大量の物資の生産や調達が必要とされた。

あ　鉱山の開発

金山（甲斐・伊豆・駿河），銀山（**但馬生野（たじまいくの）・石見大森（いわみおおもり）**）など。

い　農業の振興

灌漑（かんがい）施設の整備，治水事業（**信玄堤（づつみ）**〔釜無（かまなし）川と御勅使（みだい）川の合流点〕など）。

う　**商業の振興**

撰銭令（えりぜにれい），**楽市・楽座**，宿駅・伝馬の設置と**関所の撤廃**，**城下町の建設**など。

---

③都市の発達

A　**城下町**⇒軍事・経済の拠点

小田原《おだわら》（相模国・北条氏），春日山《かすがやま》（越後国・上杉氏），**一乗谷《いちじょうだに》（越前国・朝倉氏）**，府中〔甲府〕（甲斐国・武田氏），府中〔駿府《すんぷ》〕（駿河国・今川氏），**山口（周防国《すおうのくに》・大内氏）**，府内（豊後国・大友氏），鹿児島（薩摩国・島津氏）など。

B　**門前町《もんぜんまち》**

長野（信濃国・善光寺《ぜんこうじ》），**坂本（近江国・延暦寺）**，大津（近江国・園城寺《おんじょうじ》），奈良（大和国・興福寺など），**宇治・山田（伊勢国・伊勢神宮）**など。

C　**寺内町《じないまち》**⇒おもに**浄土真宗〔一向宗〕**寺院の境内《けいだい》などに成立した自治都市

石山（摂津国・石山本願寺），**山科《やましな》（山城国・山科本願寺）**，**吉崎（越前国・吉崎《よしざき》道場）**，金沢（加賀国），今井（大和国），富田林《とんだばやし》（河内国），貝塚（和泉国）など。

D　**港町**

堺（和泉国），**博多《はかた》（筑前国）**，**十三湊《とさみなと》（陸奥国）**，品川（武蔵国），**三国《みくに》（越前国）**，**敦賀《つるが》（越前国）**，**小浜《おばま》（若狭国）**，坂本（近江国），**大津（近江国）**，桑名（伊勢国），**大湊《おおみなと》（伊勢国）**，淀《よど》（山城国）・山崎（山城国），兵庫《ひょうご》（摂津国），**草戸千軒町《くさどせんげんまち》（備後国《びんごのくに》）**，尾道《おのみち》（備後国），平戸《ひらど》（肥前国），坊津《ぼうのつ》（薩摩国）など。

E　**自由都市〔自治都市〕**⇒自らの生命と財産を護《まも》るために結合

あ　**京都**⇒上京《かみぎょう》と下京《しもぎょう》に大きく分かれる

月行事《がちぎょうじ》〔月行司〕を中心とする**町《ちょう》**という自治的団体を担う**町衆《ちょうしゅう》**の手で，**祇園祭《ぎおんまつり》**を再興。（1500年）

☆町はそれぞれ**町法**を定め，住民の生活や営業活動を維持した。

い　**堺**　⇒遣明船の発着地，のち南蛮貿易の拠点。

36人の会合衆《かいごうしゅう》〔納屋衆《なやしゅう》〕が自治を行う“東洋のベニス”。

う　**博多**⇒大内氏と結び，勘合貿易〔日明貿易〕の拠点となる。

12人の年行司《ねんぎょうじ》が自治を行う。

え　その他

桑名（伊勢国），大湊（伊勢国），平野（摂津国）など。

４　室町文化

①室町文化の特色

A　**公家文化と武家文化の融合**がみられる。

B　日明貿易・日朝貿易など東アジアとの活発な交流にともない，**大陸文化と日本の文化との融合**がみられる。

☆武家に広がった中国の禅宗文化の影響を強く受ける。

C　各種産業の発達にともない，**庶民文化のめざましい隆盛**がみられる。

☆都市の民衆や惣村の惣百姓とも交流。とくに連歌・能・狂言・茶の湯・生花・盆踊りなど**集団性**に特徴がある。

D　**応仁の乱後は文化の地方普及が急速に進展する。**

E　**今日の日本の伝統的文化・民族文化の基盤が形成される。**

☆中央文化と地方文化の融合が進み，それが洗練・調和していく中で，日本固有の文化が形成される。

☆皇族・公家・武家・庶民が共有し，芸術性も生活文化に浸透していった。

---

②室町時代の宗教

南都六宗（奈良仏教）や天台宗・真言宗（平安仏教）などの旧仏教は，朝廷の没落や荘園の崩壊などによって勢力が衰えていった。

A　**臨済宗**

幕府の保護のもとで発展，幕府の衰退とともに勢力が衰えていった。

あ　**初代将軍足利尊氏・直義**

帰依していた**夢窓疎石**のすすめで全国に**安国寺・利生塔**，京都に**天龍寺**を造営。

い　**３代将軍足利義満**

南宋の官寺の制にならい，**五山・十刹**を制度化しその下に諸山を置いた。また，官寺を取締る**僧録司**を相国寺に設置，初代僧録には**春屋妙葩**が就任した。

う　**京都五山**

南禅寺（京都・鎌倉を合わせた別格），天龍寺（１位），相国寺（２位），建仁寺（３位），東福寺（４位），万寿寺（５位）。

え　**鎌倉五山**

建長寺（１位），**円覚寺（２位）**，寿福寺（３位），浄智寺（４位），浄妙寺（５位）。

お　**五山文学**

朱子学研究・漢詩文の創作などで，禅の経典などと合わせ**五山版**として出版された。

☆五山僧の中には，幕府の政治・外交へ参与したり，水墨画製作などの文化活動に携わったりする者も多数あった。

か　**林下**

より自由な活動を求め，さかんに布教を行った禅宗の在野的諸派。地方武士・民衆の支持を受け，各地に広がった。

☆臨済宗⇒**大徳寺**の**一休宗純**，**妙心寺**など。

☆曹洞宗⇒永平寺，総持寺など。

B　浄土宗

朝廷と結び京都で勢力を拡大後，東国へ進出。

C　**浄土真宗〔一向宗〕**

本願寺派が勢力を拡大し，北陸・東海・畿内の各層に浸透。応仁の乱後，**本願寺８世蓮如**〔兼寿〕が**越前国吉崎**を拠点に**御文〔御文章〕**を用いて布教。

☆**講**に組織された門徒集団が地域ごとに結束し強大化，各地で**一向一揆**が発生した（加賀・越前・伊勢長島・三河など）。

D　時宗

芸能・文芸面で活躍する将軍側近の**同朋衆**を輩出した。

☆**観阿弥・世阿弥（猿楽能）**，善阿弥（作庭），能阿弥（水墨画・連歌），立阿弥（立花）など。

E　**日蓮宗〔法華宗〕**

戦闘的な布教により東国から西日本各地へ勢力を拡大。15世紀半ば，**日親**は**６代将軍義教に『立正治国論』を提出**，焼き鍋冠りの拷問にあうが京都の町衆への布教に成功，のち**法華一揆**が結ばれることとなった。

F　**唯一神道**

伊勢神道〔度会神道〕の影響を受けた京都吉田神社の神官**吉田兼倶**が創始。神本仏迹説〔反本地垂迹説〕にもとづき，神道を中心に儒教・仏教・道教を取り入れた。

③南北朝文化

A　建築

あ　**安国寺・利生塔**

元弘の変（1331年）以来の戦乱で戦死した者の冥福を祈るため，夢窓疎石の勧めにより**初代将軍足利尊氏・直義兄弟が全国に造立**した。

い　永保寺開山堂（美濃国）

B　絵画

あ　**水墨画**

禅の精神的境地を，墨の濃淡で象徴的に具体化。

布袋図（黙庵）

寒山図（可翁）

い　絵巻物

慕帰絵詞

☆本願寺３世覚如の一代を描く。

C　庭園

あ　**天龍寺庭園　　　（夢窓疎石）**

い　**西芳寺〔苔寺〕庭園（　　〃　　）**

D　文芸

あ　和歌

新葉和歌集（宗良親王）

☆南朝の皇族・貴族の和歌を集め，勅撰に準ぜられる。

い　**連歌**⇒公家・武家を問わず広く流行。

和歌を上の句と下の句に分け，一座の人々が次々に句を継いでいく共同作品。

菟玖波集　（二条良基）

☆最古の連歌集。勅撰に準ぜられ，連歌が和歌と対等の地位を築く。

応安新式　（　　〃　　）

☆連歌の規則書

う　五山文学⇒漢詩文集

中正子　　（中巌円月）

え　**軍記物語**

太平記　（小島法師？）

☆**南北朝の動乱を南朝の立場から記述**。のち「太平記読み」たちにより広く普及(ふきゅう)した。

曽我(そが)物語

☆曽我兄弟による仇討(あだう)ち物語。

E　歴史⇒南北朝の動乱を反映し，歴史意識の高まりがみられる

あ　**神皇正統記(じんのうしょうとうき)（北畠親房(きたばたけちかふさ)）**

神国(しんこく)思想の立場（伊勢神道の影響）から大義名分論にもとづき記述。1339年，常陸国(ひたちのくに)小田城で完成。**南朝の正統性を主張**し，吉野で**後村上天皇に献上(けんじょう)**される。

い　**梅松論(ばいしょうろん)**

足利氏の政権獲得までの過程を，**北朝の立場から**比較的史実に忠実に記述。

う　**増鏡(ますかがみ)**

公家の立場から鎌倉時代を記述した歴史物語。**四鏡(しきょう)の最後。**

F　学問

あ　古典研究

河海抄(かかいしょう)　（四辻善成(よつつじよしなり)）

☆源氏物語の注釈書。

い　**有職故実(ゆうそくこじつ)**

建武年中(ねんじゅう)行事（後醍醐天皇）

職原抄(しょくげんしょう)　（北畠親房）

う　武家子弟・庶民の学問

正平版論語　（道祐(どうゆう)）

☆わが国初の論語の印刷本。

庭訓往来(ていきんおうらい)　（玄恵(げんえ)？）

☆手紙文形式の往来物(おうらいもの)の代表。

G　能楽(のうがく)

多くの人を集め上演される。

H　**茶寄合(ちゃよりあい)**

公武を問わず，各地で賭け事として**闘茶(とうちゃ)**が流行。

☆闘茶は，茶や水の異同を飲み分けて賭け物を争う勝負事。

Ｉ　風俗

動乱で台頭した新興武士たちにより，伝統的権威を否定する「**バサラ〔婆娑羅〕**」の風潮が高揚（こうよう）。

☆「バサラ」は派手・贅沢を意味し，佐々木高氏（たかうじ）〔導誉（どうよ）〕らがバサラ大名として知られた。

---

④北山文化

Ａ　建築

あ　**鹿苑寺（ろくおんじ）金閣（３代将軍義満）**⇒1950年放火により焼失，55年に再建。

☆伝統的な寝殿造風の様式と禅宗様〔唐様〕を折衷したもの。

い　興福寺五重塔・東金堂（とうこんどう）

Ｂ　庭園

鹿苑寺庭園

Ｃ　絵画⇒**水墨画**の発達

あ　五百羅漢（らかん）図（**明兆（みんちょう）**〔兆殿司（ちょうでんす）〕）⇒東福寺の画僧

い　妙心寺退蔵院（たいぞういん）**瓢鮎図（ひょうねんず）（如拙（じょせつ））**⇒相国寺の画僧

う　**寒山拾得図（かんざんじっとくず）**（伝**周文（しゅうぶん）**）　⇒相国寺の画僧，幕府御用絵師

Ｄ　文芸

あ　五山僧の活躍

空華集（くうげしゅう）　**（義堂周信（ぎどうしゅうしん））**⇒漢詩文

蕉堅稿（しょうけんこう）　**（絶海中津（ぜっかいちゅうしん））**⇒漢詩文

善隣国宝記（ぜんりんこくほうき）（瑞溪周鳳（ずいけいしゅうほう））⇒外交記録

い　軍記物語

難（なん）太平記　（今川了俊（りょうしゅん）〔貞世（さだよ）〕）

☆足利尊氏挙兵以来の今川氏の活躍を述べ，太平記の誤りを指摘。

義経記（ぎけいき）

☆源義経の幼少期と末期の不遇（ふぐう）時代を同情的に描き，民衆的義経伝説の源泉となる。

E　芸能

あ　**能**〔**能楽**〕⇒散楽・猿楽・田楽から**猿楽能**が発達

興福寺を本所とした**大和猿楽四座**（結崎座〔のち**観世座**〕・宝生座・金春座・金剛座）が結成され，観世座から**観阿弥・世阿弥**父子が出て，**３代将軍義満の保護を受け猿楽能を完成**した。のち，世阿弥の娘婿の金春禅竹が後継者として活躍した。

☆主要著書として，『**風姿花伝〔花伝書〕**』『**花鏡**』（**世阿弥**），『**申楽談儀**』（世阿弥の談話を子の元能が筆録，その他多数の**謡曲**（＝能の脚本）がある。

い　**狂言**

能の合間に演じられる，風刺性の強い庶民喜劇。大名・僧侶・山伏など権威あるものを笑いの対象としたので，しばしば弾圧の対象となった。

⑤東山文化

A　建築⇒**書院造**の登場(今日の日本住宅建築の原型)

あ　**慈照寺銀閣(８代将軍義政)**

☆書院造風を基調とした新しい住宅建築の様式と禅宗様〔唐様〕を折衷したもの。

い　**慈照寺東求堂同仁斎⇒書院造**

☆四畳半の間取りに，明障子・付書院・床の間・違い棚などを設置。

B　庭園

あ　慈照寺庭園(善阿弥＝山水河原者の代表的人物)

い　**龍安寺庭園〔石庭〕⇒枯山水**(水を用いず砂と石で自然を表現)

う　**大徳寺大仙院庭園⇒枯山水**

C　絵画⇒水墨画と大和絵の発展

あ　水墨画

四季山水図巻〔山水長巻〕(雪舟等楊)
秋冬山水図　(〃)
天橋立図　(〃)

い　**土佐派⇒朝廷絵所預**となり，大和絵を発展させる。

清水寺縁起絵巻　**(土佐光信)**

う　**狩野派**⇒周文・小栗宗湛のあとをうけ，**幕府御用絵師**となる。

周茂叔愛蓮図　**(狩野正信)**
大仙院花鳥図　(伝**狩野元信**)

D　工芸

あ　**金工**

後藤祐乗が８代将軍義政に仕える。

い　漆工

高蒔絵の技法が登場。

う　彫刻

能面の製作(小面〔若い女性〕・翁〔老人〕・般若〔霊〕など)。

E　文芸

あ　**古今伝授**⇒古今和歌集解釈の秘事口伝

東常縁→**飯尾宗祇**→→三条西実隆→細川幽斎　（御所伝授）

↓

→牡丹花肖柏→饅頭屋宗二（奈良伝授）

い　**連歌**⇒**飯尾宗祇**が**正風連歌**を確立

新撰菟玖波集　**（飯尾宗祇）⇒勅撰に準ぜられる**

水無瀬三吟百韻（**飯尾宗祇**・牡丹花肖柏・柴屋軒宗長）

F　**御伽草子**⇒庶民層を対象とする通俗的短編小説

酒呑童子，文正草子，福富草子，物くさ太郎，一寸法師，浦島太郎，さるかに合戦など。

☆絵の余白に当時の話し言葉で書かれた形式のものが多く，読み物としてだけでなく，絵を見て楽しむこともできた。

G　学問・思想

あ　**一条兼良**（関白・太政大臣）の活躍

『**公事根源**』『江次第抄』⇒有職故実書

『日本書紀纂疏』　　⇒日本書紀の研究

『**花鳥余情**』　　⇒源氏物語の注釈書

『**樵談治要**』　　**⇒９代将軍義尚への政治提言**

『尺素往来』　　⇒往来物

い　**足利学校（下野国）**

関東管領上杉憲実が再興した漢学研究のための学校。戦国時代には全国から禅僧・武士が集まり，宣教師フランシスコ＝ザビエルにより「**坂東の大学**」として西洋に紹介された。

う　武家子弟・都市商工業者・庶民の学問

伊呂波歌，童子教，実語教，**庭訓往来**，**御成敗式目**などが教科書として使用された。

H　**茶道**・**花道**・香道

あ　**茶道〔茶の湯〕**　⇒茶と禅の精神の統一により**侘茶**が創出される

奈良の**村田珠光**→堺の**武野紹鷗**→堺の**千利休**〔宗易〕と大成される。

い　**花道〔華道〕**　⇒立花から**生花**へ

京都六角堂の**池坊専慶**ののち，専応→専好と大成される。

う　香道

香木を焚き，香りを創出・判定することなどにより人格形成をはかる芸道。

I　芸能

あ　**小歌**・早歌　⇒「**閑吟集**」の編纂

い　古浄瑠璃　⇒現在は音曲を失ったもの

う　幸若舞　⇒桃井直詮が創始した曲舞の一種

え　盆踊り　⇒**風流**踊り＋念仏踊り

お　猿まわし・獅子舞

か　祇園祭　⇒京都の町衆により再興(1500年)

J　風俗

木綿の普及，姫飯を食す習慣，味噌・醤油の使用，精進料理・懐石料理・豆腐・納豆・蒲鉾・素麺・饅頭・団子などが登場。

☆武家・庶民は**小袖**の着用が普通となり，男性は月代を剃り，女性は垂髪であった。

---

⑥戦国時代の文化

A　文化の地方普及

城下町の形成，応仁の乱による**公家・僧侶の地方疎開**，**連歌師**の地方遍歴などによる。

☆典型例＝**大内氏**の城下町周防国**山口**(西の京・小京都)，**大内版**の出版。

B　文芸

あ　連歌

『**犬筑波集**』を編纂した(山崎)**宗鑑**や荒木田守武らにより，滑稽や機知を基調とする**俳諧連歌**が確立される。

☆連歌師により諸国の各階層へも連歌が普及，公家の堂上連歌に対し地下連歌とよばれた。

い　五山文学

梅花無尽蔵(万里集九)

☆万里集九は中部・関東地方をめぐり，地方の人々と交流して優れた漢詩文を残した。

C　学問・思想

あ　**宋学〔朱子学〕**

薩南学派　　**(桂庵玄樹)**

☆肥後の菊池氏・**薩摩**の島津氏に招かれ，薩摩で『大学章句』を刊行。

海南学派〔南学派〕(南村梅軒)

☆**土佐**の吉良氏に招かれる。

い　医書

医書大全　　(阿佐井野宗瑞)

☆わが国初の医学書，中国の医学書を翻訳して刊行。

う　辞書

節用集　　(饅頭屋宗二〔林宗二〕ら)

☆奈良の商人が刊行した辞書。

〈 ***Note*** 〉

第10講　確認問題

1　惣〔惣村〕内の指導階層の呼称としてふさわしくないものを一つ選べ。

①おとな〔長・乙名〕・沙汰人　②番頭　③年寄　④代官

2　惣〔惣村〕内の上層農民たちの祭祀集団を何というか？

①市座　②宮座　③仲間　④組合

3　1428年の「正長の徳政一揆」は，次のどの将軍の就任にあたり発生したものであったか？

①４代義持　②６代義教　③７代義勝　④８代義政

4　越前国吉崎を拠点に，北陸地方に広く浄土真宗〔一向宗〕を布教した人物とは？

①親鸞　②唯円　③蓮如〔兼寿〕　④顕如〔光佐〕

5　1532年の法華一揆で焼打ちされた場所とは？

①京都御所　②花の御所〔室町第〕　③比叡山延暦寺　④山科本願寺

6　1441年の「嘉吉の変」で６代将軍足利義教を謀殺した守護大名とは？

①上杉憲実　②赤松満祐　③山名持豊〔山名宗全〕　④畠山政長

7　守護出身ではない戦国大名を次から一つ選べ。

①朝倉氏　②武田氏　③今川氏　④島津氏

8　守護の土岐氏を下剋上し，美濃国の支配者となった戦国大名とは？

①北条早雲　②斎藤道三　③毛利元就　④松永久秀

9　阿波の戦国大名である三好氏が制定した分国法とは？

①『早雲寺殿廿一箇条』　②『塵芥集』
③『甲州法度之次第』　④『新加制式』

10　日明貿易〔勘合貿易〕の拠点でもあった，12人の年行司が自治を行う港町とは？

①博多　②堺　③大湊　④十三湊

11　京都の吉田兼倶が創始した，儒教・仏教・道教を取り入れた神道とは？

①伊勢神道　②唯一神道　③垂加神道　④復古神道

12　正風連歌を確立し『新撰菟玖波集』を編纂した人物とは？

①二条良基　②東常縁　③(飯尾)宗祇　④(山崎)宗鑑

解答

1	④	2	②	3	②	4	③	5	④
6	②	7	①	8	②	9	④	10	①
11	②	12	③						

第11講　安土桃山時代〔織豊政権〕

1　ヨーロッパ人の来航

①西洋人の東洋進出と日本来航

A　時代背景

あ　イタリア人**マルコ＝ポーロ**の『**東方見聞録**(とうほうけんぶんろく)**〔世界の記述〕**』などによる刺激。

い　**大航海時代**（15世紀後半～16世紀）の始まり。

☆世界の諸地域がヨーロッパを中心に広く交流する時代。

☆新航路開拓・**貿易拡大・キリスト教布教・植民地獲得**などが目的。

B　**ポルトガル**（東廻(まわ)りでアジアに到達）

1498年　ヴァスコ＝ダ＝ガマによるインド航路開拓。

☆以後ポルトガルは，ゴア（インド）⇒セイロン（スリランカ）⇒マラッカ（マレーシア）⇒**マカオ（中国）**へと進出。

1543年　中国人倭寇の船で**種子島**(たねがしま)**（大隅国**(おおすみのくに)**）**に漂着した商人が，**鉄砲**を伝える（1542年説もある）。

☆島主の**種子島時尭**(ときたか)が鉄砲２丁を買い求め，家臣に使用法と製造法を学ばせる。―文之玄昌(ぶんしげんしょう)〔南浦文之(なんぽぶんし)〕『鉄炮記(てっぽうき)』より―

☆以後，頻繁(ひんぱん)に**平戸**(ひらど)**（肥前国）**など九州の諸港に来航し，対日貿易の主導権を握る。

C　**スペイン〔イスパニア〕**（西廻りでアジアに到達）

1492年　コロンブスによる新大陸〔アメリカ大陸〕到達。

1519年～マゼラン船団による世界周航。

1571年　**マニラ（フィリピン）**へ進出。

1584年　平戸に来航し貿易を開始。

②南蛮貿易（南蛮人＝ポルトガル人・スペイン人など）

A　背景

日本の銀産出量増大（16 世紀中ごろ～）⇔中国の生糸〔白糸〕生産量増大。

☆当時の明は海禁政策をとり，私貿易を禁止していた。

B　性格

日本の銀と中国の生糸を交換する中継貿易。キリスト教の布教と一体化していたので，利潤を求める戦国大名の中に，**キリシタン〔切支丹〕大名**も発生した。

C　**貿易品**

輸出品⇒銀・硫黄・刀剣・漆器など。

輸入品⇒生糸・絹織物・**鉄砲・火薬**・砂糖・ラシャ〔毛織物〕など。

D　**貿易港**

平戸（肥前国，松浦氏），**長崎（肥前国，大村氏）**，府内（豊後国，大友氏），鹿児島（薩摩国，島津氏）などに南蛮船が来航。

☆京都・堺・博多などの商人も貿易に多く参加した。

E　結果

南蛮人が東アジアの貿易を独占。中継貿易で栄えた琉球王国は衰退。

☆南蛮人の中には後期倭寇として活動するものもあった。

---

③鉄砲〔火縄銃・種子島〕の伝来

A　**戦法の変化**

騎馬戦を中心とする戦法から，**足軽鉄砲隊**による**集団戦法**へ。

B　**築城法の変化**

山城から**平山城・平城**へ。

C　鉄砲鍛冶による国産化

堺（和泉国），**国友（近江国）**，根来・雑賀（紀伊国）など。

---

④キリスト教の伝来⇒イエズス会〔耶蘇会〕宣教師の活躍

当時の日本では，キリスト教をキリシタン〔吉利支丹・切支丹〕宗・天主教・耶蘇教などとよんだ。

A　背景

16世紀，ドイツ人ルターやフランス人カルヴァンの宗教改革（＝プロテスタント〔新教〕）に対する**カトリック〔旧教〕**の対応。1534年，イグナティウス＝ロヨラやフランシスコ＝ザビエルが**イエズス会**を結成。

B　**フランシスコ＝ザビエル（スペイン人）**の布教

1549年，マラッカで洗礼した日本人アンジロー〔弥次郎〕の案内で，トルレス（スペイン人）とともに**鹿児島**に上陸，島津貴久に布教許可を得る。のち松浦隆信の平戸や**大内義隆**の**山口**（周防国）を経て入京するが，将軍・天皇ともに布教許可を得られず，約２年間山口や**大友義鎮〔宗麟〕**の**府内**（豊後国）など西日本各地に布教後，日本を退去。布教先の中国で亡くなった。

C　後継者たちの布教

『**耶蘇会士日本通信**』によりイエズス会に報告。

あ　**ガスパル＝ヴィレラ**（ポルトガル人）

13代将軍義輝の許可を得て畿内へ布教，**堺**へも住む。

い　**ルイス＝フロイス**　（ポルトガル人）

織田信長・豊臣秀吉の庇護を受けたがバテレン〔宣教師〕追放令で一時退去。再来日し，『**日本史**』を著したのち長崎で亡くなった。

う　**オルガンティーノ**　（イタリア人）

織田信長の庇護を受け，京都に**南蛮寺〔教会堂〕**・安土（近江国）に**セミナリオ**〔神学校〕を設立。

え　**ヴァリニャーニ**　（イタリア人）

有馬（肥前国）にセミナリオを合併，豊後府内に**コレジオ**〔宣教師養成学校〕を設立。**1582年には天正遣欧使節派遣を提案**し，インドのゴアまで同行。90年，少年使節の帰国時に再来日し，**活字印刷機を伝えた**。

D　**キリシタン大名**

多くは貿易利潤のために入信，**ローマ字印判〔印章〕**を用いる。

大村純忠，**有馬晴信**，**大友義鎮**〔宗麟〕，黒田孝高〔如水〕，小西行長，**高山右近**ら。

E　**天正遣欧使節（1582年～90年）**

九州の**大村・有馬・大友の三大名**が，**ヴァリニャーニの勧め**で**伊東マンショ・**千々石ミゲル・中浦ジュリアン・原マルチノの４少年を派遣。

☆インドのゴア，ポルトガルのリスボンを経てローマに到着。教皇グレゴリウス13世に謁見し，1590年に帰国する。

☆しかし日本では豊臣秀吉によりバテレン〔宣教師〕追放令が発布されており，布教活動は著しく制限された。

２　織田信長の統一事業

①信長の統一過程

尾張国出身，斯波氏の守護代一族から父の信秀が戦国大名となる。「**天下布武**」**の印判**〔**印章**〕を用い，全国統一をめざす。

1560年　**桶狭間の戦い**（**尾張国**）（**○織田信長vs今川義元〔駿河・遠江・三河〕●**）

1562年　三河の松平元康（のちの徳川家康）と同盟〔清洲同盟〕。

1567年　斉藤氏を滅ぼし美濃国を制圧（○織田信長vs斉藤竜興〔美濃〕●）

☆稲葉山城を**岐阜城**と改称。尾張の清洲城に続く小牧山城から移り居城とし，城下町の加納に**楽市令**を発布。

1568年　畿内を追われていた**足利義昭**を奉じて入京，**15代将軍**とする。

（○織田信長vs松永久秀●）

1569年　堺の会合衆に２万貫の矢銭を要求，直轄地とする。

1570年　**姉川の戦い**（**近江国**）

（○織田・徳川連合軍vs浅井長政〔近江〕・朝倉義景〔越前〕●）

石山戦争〔石山本願寺攻め〕開始（**摂津国**）

☆**本願寺11世顕如**〔光佐〕率いる一向一揆勢との争い。

1571年　**比叡山延暦寺焼打ち**（**近江国**）

1572年　三方ヶ原の戦い（遠江国）（●徳川家康・織田の援軍vs武田信玄〔甲斐〕○）

☆直後に武田信玄が病死。

1573年　**15代将軍義昭を追放，室町幕府を滅亡させる。**

一乗谷（越前国）で朝倉氏，小谷城（近江国）で浅井氏を滅ぼす。

1574年　**伊勢長島の一向一揆**を平定（**伊勢国**）

1575年　**長篠合戦**（**三河国**）（**○織田・徳川連合軍vs武田勝頼〔甲斐〕●**）

☆多数の**足軽鉄砲隊**で，武田の騎馬隊に大勝。

越前の一向一揆を平定（越前国）

1576年　琵琶湖畔に**安土城**を築城（**近江国**），岐阜城から移り居城とする。

☆五層七重の**天守閣〔天主〕**をもつ，わが国初の近世的城郭。

1577年　安土山下町に**楽市令**を発布

信長の家臣羽柴秀吉による中国攻め〔毛利攻め〕開始。

1578年　越後の上杉謙信が病死。

1579年　安土宗論により日蓮宗を弾圧，京都町衆の団結を阻止。

1580年　**石山戦争終結**（**摂津国**）（**○織田信長vs顕如**〔光佐〕**●**）

☆正親町天皇の仲介により11年に及ぶ戦いが終結。

1582年　天目山の戦い（甲斐国）（○織田・徳川連合軍vs武田勝頼〔甲斐〕●）

☆甲斐の武田氏を滅ぼす。

本能寺の変（京都）で有力家臣の**明智光秀**に攻められ自害。

☆毛利氏征討に向かう途中。

---

②信長の政策

A　統一の要因

あ　地理的有利

尾張国は**京都に近く**，肥沃な濃尾平野を抱える。

い　優れた軍事力

足軽鉄砲隊を組織，強力な家臣団編成により常備軍を保持。

う　突出した革新性

伝統的な政治・宗教の秩序・権威を克服。

☆新技術の積極的導入，人材の積極的登用（**明智光秀・羽柴秀吉**ら）なども。

B　経済政策

あ　重要都市の直轄。

☆堺・大津など。

い　**楽市令〔楽市・楽座〕**⇒特定地域の都市・市場の繁栄をめざす

美濃加納（1567年），安土山下町（1577年）。

☆諸国の新興商人の自由な営業活動をめざすとともに，諸役免除や徳政免除など商人への優遇策をとり，商工業の再編とその掌握をはかった。

う　**関所の撤廃**，撰銭令，指出検地，倭寇の禁圧など。

C　宗教政策

あ　**仏教の弾圧**

天台宗　⇒**比叡山延暦寺焼打ち**（1571年）

日蓮宗　⇒安土宗論（1579年）

浄土真宗⇒石山戦争（1570年～80年）

い　**キリスト教の保護**

ルイス＝フロイス，オルガンティーノらを保護。

３　豊臣〔羽柴〕秀吉の天下統一

①秀吉の統一過程

尾張国の地侍出身。**織田信長に仕え**足軽から次第に頭角を現し，1573年には近江国長浜(ながはま)城主となる。1582年，中国攻め〔毛利攻め〕の最中(さいちゅう)に，本能寺で主君を失う。

1582年　**山崎の戦い(山城国)**　　(**○羽柴秀吉vs明智光秀●**)
山城国で**太閤検地**(たいこうけんち)を開始

1583年　**賤ヶ岳(しずがたけ)の戦い(近江国)**　　(**○羽柴秀吉vs柴田勝家(かついえ)●**)
石山本願寺跡に**大坂城**築城を開始(**摂津国**)

1584年　**小牧(こまき)・長久手(ながくて)の戦い(尾張国)(▲羽柴秀吉vs織田信雄(のぶかつ)・徳川家康△)**
☆以後の秀吉は，軍事力だけでなく伝統的権威を利用しつつ全国統一をめざすようになった。

1585年　紀伊平定(○羽柴秀吉vs根来(ねごろ)・雑賀(さいか)一揆●)
正親町(おおぎまち)天皇の**関白**に就任
四国平定(○羽柴秀吉vs長宗我部元親(ちょうそかべもとちか)〔土佐〕●)

1586年　**太政大臣**となり，後陽成(ごようぜい)天皇より**豊臣**(とよとみ)姓を賜(たまわ)る。

1587年　関白として全国に**惣無事令**(そうぶじれい)を発布。
九州平定(○豊臣秀吉vs島津義久(よしひさ)〔薩摩〕●)
博多で**バテレン〔宣教師〕追放令**を発布。
北野大茶湯(きたののおおちゃのゆ)〔北野大茶会(きたののおおちゃのえ)〕を開催。

1588年　後陽成天皇，**聚楽第**(じゅらくてい)**(京都)**に行幸(ぎょうこう)。
刀狩令(かたながりれい)
海賊(かいぞく)**取締令**

1590年　**小田原攻め**により関東平定(**○豊臣秀吉vs北条**氏政(うじまさ)・氏直(うじなお)〔相模(さがみ)〕●)
奥州平定により天下統一　(○豊臣秀吉vs伊達政宗(だてまさむね)〔陸奥〕●)

1591年　全国の大名に**国絵図**(くにえず)・郷帳(ごうちょう)，**御前帳**(ごぜんちょう)を提出させる。
豊臣秀吉の人掃令(ひとばらいれい)**〔身分統制令〕**
甥(おい)の秀次(ひでつぐ)に関白を譲り，**太閤**(たいこう)(＝前関白)を称する。

1592年　豊臣秀次の人掃令〔身分統制令〕
文禄の役(ぶんろくのえき)〔壬辰倭乱(じんしんわらん)〕開始

1593年　側室の**淀殿**(よどどの)**〔淀君**(よどぎみ)**〕**との間に**秀頼**(ひでより)誕生。
関白秀次を追放，自害に追い込む。

1596年　サン＝フェリペ号事件
　　　　長崎で二十六聖人殉教
1597年　慶長の役〔丁酉倭乱〕開始
1598年　伏見城（山城国）で病死。

---

②秀吉の国内政策

A　**朝廷の利用**

出自の低い自らの権威づけに利用。

1585年　近衛家の養子となり，正親町天皇の**関白**に就任。

1586年　**太政大臣**に就任，後陽成天皇より**豊臣**姓を賜る。

1588年　**聚楽第に後陽成天皇を歓待**，諸大名に秀吉への忠誠を誓わせる。

B　**大名の統制**

諸国の大名に**惣無事**（全国の平和）をよびかけ，国分け・城破を秀吉が確定。

☆徳川家康は東海から関東（＝北条氏の遺領）へ国替えとなる。

C　商工業政策

後藤徳乗に命じて**天正大判**を鋳造。

☆楽市令，関所の撤廃，一里塚の設置なども。

---

③太閤検地〔天正の石(こく)直し〕(1582年〜)

A　目的

年貢の確保，農民統制，大名への軍役賦課(ふか)基準の明確化。

B　内容

あ　指出(さしだし)から検地奉行による竿入(さおいり)へと変更。

☆検地と並行して，村の境界を確定する村切(むらぎり)も行われた。

い　**町(ちょう)・段(たん)・畝(せ)・歩へ面積単位を統一**(1594年〜)。

☆**１町＝10段，１段＝10畝，１畝＝30歩，１歩＝６尺３寸四方。**

う　枡(ます)の容量を**京枡(きょうます)**に統一。

☆１石(こく)＝10斗(と)，１斗＝10升(しょう)，１升＝10合。

え　村ごとに田畑・屋敷地の等級を調査し，**１段あたりの標準収穫高**である**石盛(こくもり)**〔**斗代(とだい)**〕を決定。

☆上田(じょうでん)＝１石５斗，中田(ちゅうでん)＝１石３斗，下田(げでん)＝１石１斗，下々田(げげでん)＝９斗。

お　田畑の生産力を**石高(こくだか)(＝石盛×面積)**で表示，石高に応じて村単位に課税(＝**石高制**)。

☆二公一民(にこういちみん)(石高の３分の２)の年貢が基準。

か　**一地一作人**の原則が確立。

☆村ごとに作成する**検地帳**に登録された耕作者(＝名請人(なうけにん))に直接課税し，中間搾取(さくしゅ)の**作合(さくあい)**を否定。

☆反面，**農民は納税義務を負い土地に束縛される**こととなった。

C　**意義**

あ　武士による農民の直接支配が確立

☆**兵農分離の促進**，年貢負担者の確定(＝耕作権の確立)。

い　貫高制から**石高制**への移行

う　**荘園公領制の完全崩壊**

☆石高を基準に諸大名に軍役をかける，大名知行制の基礎が確立。

☆肥後・陸奥などで国人たちが主導する**検地反対一揆**が起きる。

④刀狩令(1588年)

A　**目的**

検地反対などの一揆防止，兵農分離の徹底。

B　内容

方広寺(京都)の大仏造営を口実に，農民の武器を没収。

C　**意義**

兵農分離の徹底により，近世身分制度の基礎が確立。

☆惣村の武力は削られたが，自治的な村の運営は続き，年貢などを村高にもとづき村の責任で一括納入する村請〔地下請・百姓請〕も江戸時代の村へ受け継がれていった。

---

⑤人掃令〔身分統制令〕⇒兵農分離の完成

A　**豊臣秀吉(1591年)**

武家奉公人の町人・百姓化および百姓の町人化を禁止。

☆主人の無断変更も禁止。

B　豊臣秀次(1592年)

武家奉公人・町人・百姓の職業別にそれぞれの戸数・人数を調査・確定し，全国の戸口調査を実施。

☆朝鮮出兵の動員準備でもあった。

---

⑥豊臣政権の特色

A　**政治組織**⇒秀吉の独裁色が強く，未整備。

あ　**五奉行**(ごぶぎょう)⇒実務を担当した秀吉の側近

浅野長政，増田長盛(ましたながもり)，**石田三成**(いしだみつなり)，前田玄以(げんい)，長束正家(なつかまさいえ)

☆浅野長政が五奉行の首座とされる。

い　**五大老**(ごたいろう)⇒五奉行の顧問(こもん)を務めた大大名

徳川家康，**前田利家**(としいえ)，**毛利輝元**(てるもと)，宇喜多秀家(うきたひでいえ)，小早川隆景(たかかげ)，**上杉景勝**(かげかつ)

☆小早川隆景の死後に五大老とよばれ，徳川家康が五大老筆頭とされる。

B　**経済基盤**

あ　**蔵入地**(くらいりち)〔**太閤蔵入地**(たいこう)〕

約220万石の直轄(ちょっかつ)領。

い　**直轄都市**

京都(周囲に**御土居**(おどい)を構築し市域を画定)，伏見，大坂，堺，博多，長崎など。

☆**堺の千利休**(せんのりきゅう)〔**宗易**(そうえき)〕**・今井宗久**(そうきゅう)**・津田宗及**(そうぎゅう)・小西隆佐(りゅうさ)，**博多**の**島井宗室**(そうしつ)**・神谷宗湛**(かみやそうたん)ら，**豪商**の経済力を活用。

う　**直轄鉱山**

佐渡の金山，石見(いわみ)大森・但馬生野(いくの)の銀山など。

---

⑦秀吉の対外政策

A　特色

弾圧的実力外交，貿易利潤(りじゅん)の追求。

B　**貿易の奨励(しょうれい)**

あ　**海賊取締令を発布（1588年）**し，海上支配を強化。

☆後期倭寇は終焉(しゅうえん)。

い　朱印船貿易を開始

☆京都・堺・博多・長崎の豪商らに南方との貿易を奨励。

☆東南アジア各地における日本船による出会(であい)貿易。制度化したのは徳川家康。

う　アジア各地（朝鮮，琉球王国，高山国(こうざんこく)〔台湾(たいわん)〕，マカオ・ゴアのポルトガル政庁，マニラのスペイン政庁）に服属と入貢(にゅうこう)を求め，すべて拒否される。

☆朝鮮には，対馬(つしま)の宗(そう)氏を通じ明へ出兵するための先導も求めた。

C　**禁教政策**

あ　理由

自らの統一支配の障害となることを懸念(けねん)。また，キリシタン大名の大村純忠(すみただ)によるイエズス会への長崎寄進や，日本人を奴隷(どれい)として輸出するなどの事実を，ポルトガル・スペインの領土的野心とみなした。

い　**バテレン〔宣教師〕追放令**（**1587年**，九州平定後の**博多**で発布）

大名のキリスト教入信を許可制にした直後，宣教師の20日以内の国外追放を命令。

☆しかし，**南蛮貿易は奨励したため禁教策は不徹底に終わる。**

う　**サン=フェリペ号事件**　（**1596年**）

土佐国浦戸(うらど)沖に漂着した**スペイン船**を調査。乗務員ともにマニラに返したが，その際，「スペインが宣教師を領土拡張に利用している」という乗組員の証言から，**長崎**でフランシスコ会宣教師ら**26聖人殉教(せいじんじゅんきょう)**が起きた。

D　**朝鮮侵略**〔壬辰・丁酉倭乱〕**(1592年〜98年)**

あ　**目的**

朝鮮・明の征服，大名対策(国内の領土的行き詰まり)など。

い　**文禄の役**〔壬辰倭乱〕**(1592年〜93年)**

肥前国**名護屋城**に本陣を置き，加藤清正・小西行長ら15万余りの大軍を派兵。釜山に上陸後，鉄砲の威力などにより，まもなく**漢城**・平壌を制圧し豆満江に到達した。

☆しかし，**李舜臣**率いる**朝鮮水軍**(**亀甲船**を使用)や，民衆が蜂起した朝鮮**義兵**の抵抗，李如松率いる明の援軍などにより苦戦し長期化。冬の寒さも重なり死傷者が続出，厭戦気分による諸将の不和も起こったため，碧蹄館の戦い(1593年)を機に休戦した。

☆その後，小西行長と明の沈惟敬との間で講和工作が進められたが，秀吉が強硬姿勢を取り続けたため，1596年に決裂した。

う　**慶長の役**〔丁酉倭乱〕**(1597年〜98年)**

実力で朝鮮南部を奪うため14万人余りの大軍を再派兵したが苦戦。翌年秀吉が病死，その遺命により撤兵となる。

え　**影響**

豊臣政権の衰退(徳川家康は出兵せず)。朝鮮・明の疲弊と，強烈な反日感情の発生。

☆文化面では朱子学研究が発展。また，**活字印刷術**が伝えられ，**後陽成天皇**が**慶長勅版**〔**慶長版本**〕を出版した。その他，連れ帰った朝鮮の陶工(李参平ら)により陶磁器の新技法も伝来し，各地で**お国焼き**を創出した(肥前国の**有田焼**〔**伊万里焼**〕・長門国の萩焼など)。

４　桃山文化

①桃山文化の特色

A　**新興大名や豪商の気質・経済力を受けた**，新鮮味あふれる豪華絢爛・**雄大な文化**。

B　織田信長の寺院弾圧により仏教色が薄れた，**現実的・世俗的**な力強い文化。

C　南蛮文化の受容と，伝統文化の復興とが辛うじて均衡を保つ多彩な文化。

---

②建築

A　**城郭建築**

織田信長の安土城(近江国)，豊臣秀吉の大坂城(摂津国)・伏見城・聚楽第(山城国)は，すべて現存せず。

☆従来の**山城**から，**平山城・平城**へと変化し，軍事拠点から政治・経済拠点へと変化。城の内部には書院造を取り入れた居館が設けられた。

あ　**姫路城〔白鷺城〕　(播磨国)**⇒世界文化遺産

い　犬山城　(尾張国)⇒現存最古級の天守閣

う　**二条城二の丸御殿　(京都)**

え　**大徳寺唐門　(京都，聚楽第遺構？)**

お　**西本願寺飛雲閣　(京都，聚楽第遺構？)**

か　**都久夫須麻神社本殿(近江国，伏見城遺構)**

B　書院造

あ　西本願寺書院〔鴻の間〕(京都)

い　醍醐寺三宝院表書院　(京都)

C　**茶室**

あ　**妙喜庵待庵(千利休？)**

い　如庵　(織田有楽斎)

---

③庭園

醍醐寺三宝院庭園(京都)⇒豊臣秀吉が設計

---

④絵画⇒障壁画

襖・障子・壁・屏風に，金箔地に青や緑を彩色した**濃絵**や水墨画で描かれる。

A　花鳥図

あ　**唐獅子図屏風**　　**（狩野永徳）**

い　檜図屏風　　（　〃　）

う　**松鷹図**　　**（狩野山楽）**⇒水墨画

え　牡丹図　　（　〃　）

お　**智積院襖絵**〔楓図〕（伝**長谷川等伯**）

か　**松林図屏風**　　**（長谷川等伯）**⇒水墨画

き　**山水図屏風**　　**（海北友松）**　⇒水墨画

B　**風俗画**⇒都市や庶民の生活・風俗などを題材とする

あ　**洛中洛外図屏風**　**（狩野永徳）**

い　**花下遊楽図屏風**　（狩野長信）

う　**高雄観楓図屏風**　（狩野秀頼）

え　職人尽図屏風　（狩野吉信）

お　豊国祭礼図屏風　（狩野内膳）

---

⑤彫刻・工芸

A　透し彫の**欄間彫刻**が隆盛

☆仏像彫刻は衰える。

B　建築装飾や家具調度品などにも蒔絵を使用

☆**高台寺蒔絵（京都）**など。

C　茶道の大成による需要増大や，朝鮮出兵による陶工の来日により，焼物が隆盛

☆**お国焼き**⇒**有田焼〔伊万里焼〕（肥前藩）**，薩摩焼（薩摩藩），萩焼（長州藩），高取焼（福岡藩），平戸焼（平戸藩）などが江戸時代初期にかけ登場。

☆その他　⇒**楽焼（京都）**，志野焼（美濃国），織部焼（尾張国・美濃国）など

---

⑥文芸

慶長勅版〔慶長版本〕（後陽成天皇）

☆朝鮮侵略時に**活字印刷術**（木活字・銅活字）が伝来，古活字本のはしりとなる。

---

⑦芸能

A　**阿国歌舞伎**

出雲阿国が京都で**かぶき踊り**を開始。

☆のち女歌舞伎（禁止）⇒若衆歌舞伎（禁止）⇒野郎歌舞伎へと発展。

B　**人形浄瑠璃**

琉球から蛇皮線が伝来し，日本特有の**三味線**となる。その三味線を伴奏に取り入れ，**浄瑠璃節**に**人形操り**が合体したものをいう。

C　**隆達節**〔隆達小歌〕

堺の商人**高三隆達**が節付けした小歌。

D　盆踊り・辻能の流行

E　囲碁・将棋

本因坊算砂・大橋宗桂の活躍

---

⑧茶道

堺の**千利休〔宗易〕**により**侘茶**が完成。1587年，**豊臣秀吉**も**北野大茶湯〔北野大茶会〕**を開催するなど，茶の湯は大名や庶民のたしなみでもあった。

☆近世初期の茶人

町衆⇒千利休〔宗易〕，今井宗久，津田宗及など。

武将⇒織田有楽斎，古田織部，小堀遠州など。

---

⑨風俗

A　衣服は**小袖**の着流しが一般化

☆礼服として，男性は肩衣・袴（＝裃），女性は打掛・腰巻があった。

B　男女ともに結髪が始まる

☆女性は垂髪も多い。

C　一日３度の食事へ

☆公家や武士は米，庶民は雑穀を常食とした。また，調味料に砂糖が加わった。

D　都市に瓦屋根の二階建て家屋が登場

☆農村では萱葺屋根の平屋がふつう。

⑩南蛮文化

A　絵画⇒南蛮人により油絵や銅版画の技法が伝来

狩野派の画家を中心とする，日本人による**南蛮屏風**の制作。

☆『世界図屏風』『泰西王侯騎馬図屏風』など。

B　学術

天文学・医学・地理学などが伝来。

C　**キリシタン版〔天草版〕**⇒ローマ字本が主体

1590年，**ヴァリニャーニにより活字印刷機が伝来。『天草版平家物語』『天草版伊曽保物語』『日葡辞書』**『どちりな＝きりしたん』などが，金属製の活字で出版された。

D　**教育**

あ　**セミナリオ**

安土（近江国）にオルガンティーノらが設置した中級学校・神学校。のちヴァリニャーニにより有馬（肥前国）に合併された。

い　**コレジオ**

府内（豊後国）にヴァリニャーニが設置した大学・宣教師養成学校。のち迫害のため天草（肥後国）・長崎（肥前国）へと移転。

E　風俗

喫煙の風習が広まり，武士・庶民の衣食その他に南蛮風俗が流行。

F　**外来語**の残存

カステラ，カッパ，カルタ，コンペイトウ，シャボン，タバコ，テンプラ，パン，ボタン，ラシャ，ジュバン，カナリヤなど。

第11講　確認問題

1　南蛮貿易の日本からのおもな輸出品とは？

①金　②銀　③銅　④生糸

2　ザビエルらイエズス会の宣教師が布教した，「西の京」ともよばれる大内氏の城下町とは？

①小田原　②一乗谷　③山口　④府内

3　南蛮貿易の港として有名な肥前国平戸の領主とは？

①島津氏　②大友氏　③大村氏　④松浦氏

4　織田信長の庇護を受け，京都に南蛮寺〔教会堂〕・安土にセミナリオ〔神学校〕を設立した，イエズス会の宣教師とは？

①ガスパル＝ヴィレラ　②ルイス＝フロイス
③オルガンティーノ　④ヴァリニャーニ

5　「天正遣欧使節」を派遣した大名ではないものを一つ選べ。

①大友義鎮〔宗麟〕　②有馬晴信　③大村純忠　④伊達政宗

6　1560年，桶狭間の戦いで織田信長に敗れた今川義元の領国とは？

①駿河・遠江・三河　②美濃　③越前　④甲斐

7　1574年，織田信長が平定した一揆とは？

①加賀の一向一揆　②法華一揆
③三河の一向一揆　④伊勢長島の一向一揆

8　1575年，織田・徳川連合軍が武田勝頼を破った「長篠合戦」は，どこで行われたか？

①尾張国　②三河国　③遠江国　④甲斐国

9　1582年，羽柴秀吉が明智光秀を破った戦いを何というか？

①山崎の戦い　②賤ヶ岳の戦い
③小牧・長久手の戦い　④小田原攻め

10　1588年，豊臣秀吉の聚楽第に行幸した天皇とは？

①正親町天皇　②後陽成天皇　③後水尾天皇　④明正天皇

11　豊臣政権をその経済力で支えた島井宗室･神谷宗湛は，どの都市の豪商であったか？

①京都　②堺　③博多　④長崎

12　伏見城の遺構とされる，近江国の建築物とは？

①安土城天守　②都久夫須麻神社本殿
③延暦寺根本中堂　④彦根城天守

解答

1	②	2	③	3	④	4	③	5	④
6	①	7	④	8	②	9	①	10	②
11	③	12	②						

第12講　江戸時代Ⅰ

1　徳川家康の統一過程

「鳴かぬなら鳴くまで待とうホトトギス」

「織田がつき羽柴がこねし天下餅座りしままに食うは徳川」

①人質時代

1542年　**三河国**の弱小戦国大名であった松平広忠の長男竹千代として，岡崎城に生まれる。

1547年～織田信秀(尾張)，のち今川義元(駿河・遠江)の人質となる。

---

②三河時代〔戦国大名〕

1560年　桶狭間の戦い(尾張国)に乗じ，今川氏から独立。

1562年　織田信長と清洲同盟を結ぶ。

1564年　三河の一向一揆を鎮圧。

1570年　姉川の戦い　　(近江国)(○織田・徳川連合軍vs浅井・朝倉連合軍●)

1572年　三方ヶ原の戦い(遠江国)(●徳川家康・織田の援軍vs武田信玄○)

1575年　長篠合戦　　　(三河国)(○織田・徳川連合軍vs武田勝頼●)

1582年　天目山の戦い　(甲斐国)(○織田・徳川連合軍vs武田勝頼●)

本能寺の変　　(京都)　(●織田信長vs明智光秀○)

☆信長の死後，三河・遠江・駿河・甲斐・信濃５カ国の大名となる。

1584年　小牧・長久手の戦い(尾張国)(△織田信雄・徳川家康vs豊臣秀吉▲)

1586年　豊臣秀吉に臣従。

---

③関東時代〔近世大名〕

1590年　秀吉の命により，北条氏滅亡後の関東へ国替え。

☆**江戸城**へ入り武蔵・相模・上総・下総・上野・伊豆６カ国約250万石の大名となる。

1598年　豊臣秀吉死後，五大老筆頭として伏見城で政務をとる。

1599年　五大老次席の前田利家の死後，大坂城に入る。

---

④天下統一〔征夷大将軍・大御所〕

1600年　**関ヶ原の戦い（美濃国）（○徳川家康〔東軍〕vs 石田三成〔西軍〕●）**

○東軍（北政所が支持）

徳川家康・（徳川秀忠）・**福島正則**・（加藤清正）・黒田長政ら。

●西軍（**豊臣秀頼・淀殿**が支持）

石田三成・小西行長・宇喜多秀家・島津義弘・**小早川秀秋（東軍に寝返る）・（毛利輝元）・（上杉景勝）**ら。

☆豊臣秀頼は220万石から摂津・河内・和泉60万石の一大名に減封。

☆毛利輝元は中国地方120万石から周防・長門37万石に，上杉景勝は会津120万石から米沢30万石に減封。

1603年　**徳川家康**，**後陽成天皇**より**征夷大将軍**を宣下される。

☆全大名に対する指揮権の正統性を得るために就任。

☆諸大名に江戸城と市街地造成の普請を，また国単位に国絵図・郷帳の作成を命じる。

1605年　家康，子の**秀忠**に将軍職を譲る。

☆「天下は回り持ち」とする下剋上の思想を否定・根絶。

1607年　**駿府**へ隠居するも**大御所**（前将軍）として政権を握る。

☆**金地院崇伝〔以心崇伝〕**・南光坊天海・本多正純らが補佐。

☆江戸では本多正信が２代将軍秀忠を補佐。

1614年　方広寺鐘銘問題

☆「国家安康」「君臣豊楽」の部分に言い掛かりをつけ，豊臣方を挑発。

大坂冬の陣（摂津国）（△徳川家康 vs 豊臣秀頼・淀殿▲）

☆家康が全国の大名を動員し，**「大坂の役」**を開始。

☆豊臣方には大野治長・真田幸村〔信繁〕らの武将が参戦。

1615年　**大坂夏の陣（摂津国）（○徳川家康 vs 豊臣秀頼・淀殿●）**

☆**「元和偃武」**となり戦乱の世が終わるが，**かぶき者〔傾奇者〕**は横行。

1616年　太政大臣に就任後，死去。

☆駿河国久能山に葬られるが，翌年下野国**日光**に改葬。東照大権現として祀られる。

２　２代将軍秀忠の政治―大名の統制―

①一国一城令(1615年)

大阪城落城後，**元和偃武**となり各大名に**居城以外の城破**を行わせる。

☆大名と対抗するような支城を拠点とした有力武士を，弱体化させる効果もあった。

---

②武家諸法度元和令(1615年)

A　起草者

金地院崇伝

☆大御所の家康が，将軍秀忠の名で発布。

B　内容

「**文武弓馬の道**，専ら相嗜むべき事」

☆**新規築城の禁止と修理時の申し出**，隣国動向の監視，**私婚の禁止**など。

C　修正

原則的に**将軍代替わりに繰り返し発布**され，少しずつ修正が加えられた。

---

③大名の区分(約260～270家)

将軍と直接主従関係を結ぶ**１万石以上の武士**を**大名**といい，各大名は領地から年貢を徴収する権利(＝領知)を，将軍が発給する**領知宛行状**により与えられた(1617年～)。

A　**親藩**(徳川氏一門)

御三家(尾張・紀伊・水戸)，御家門(松平など)

☆大名扱いではないが，**御三卿(田安・一橋・清水)**も含まれる。

B　**譜代**(当初から徳川家康に服属)

井伊・土井・堀田・酒井・本多など。

C　**外様(関ヶ原の戦い前後**に徳川家康に服属)

前田(加賀)・島津(薩摩)・伊達(仙台・宇和島)・細川(熊本)・黒田(福岡)・**毛利(長州)**・鍋島(肥前)・山内(土佐)など。

---

④大名の配置

A　**親藩・譜代を**関八州・畿内周辺や主要街道沿いなどの**要地**に置く。

☆**外様はなるべく遠隔地**に置く。

B　親疎を隣り合わせ，幕領〔天領〕をその間に置く。

---

⑤大名の負担

A　**軍役**

石高に応じて一定数の兵馬を常備し，戦時には将軍の命令で出陣した。

B　**お手伝普請**

江戸城などの建築・修築や，河川の工事などの普請役を負担。

☆**宝暦治水事件**の悲劇(1755年，**薩摩藩**)は有名。

C　証人〔人質〕

大名が江戸に妻子を置くのとは別に，家臣の子弟を江戸城内の証人屋敷に預ける。

D　**参勤交代(1635年に制度化)**

原則的に**国元と江戸とを１年交代で往復。大名の妻子は江戸藩邸住みを強制される。**

☆関東の大名は半年交代。また，対馬の宗氏は３年１勤，蝦夷地の松前氏は５～６年１勤とされた。

☆老中・若年寄など重職に就く者および水戸藩は江戸常府。

---

⑥大名の処分⇒**武断主義**政策をとる

改易〔御家断絶〕・**減封**・**転封**〔国替〕を断行，**牢人**〔**浪人**〕が大量に発生。

A　松平忠輝（越後高田藩〔親藩〕）

徳川家康の６男であったが，大坂夏の陣遅参などの不行跡により勘当。のち改易・追放された。

B　**福島正則（広島藩〔外様〕）**

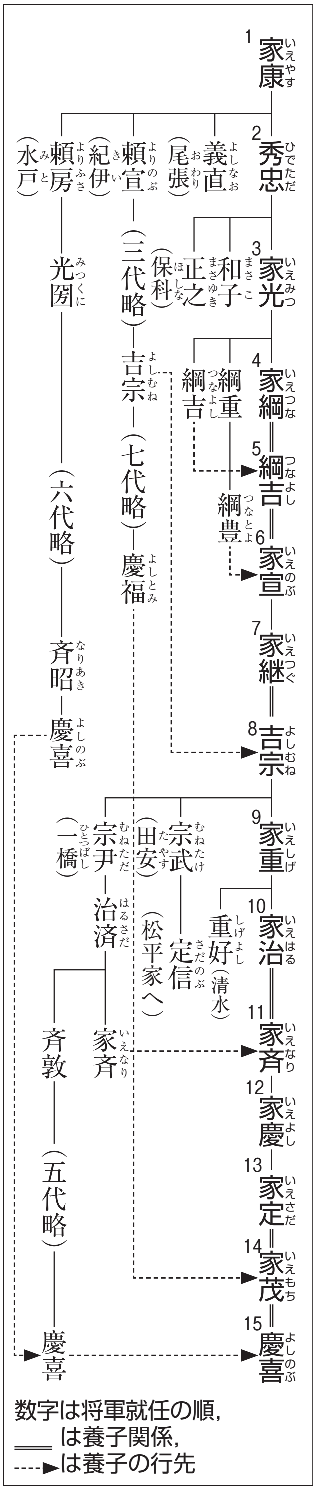
広島城の無断修築を理由に改易，信濃国川中島に配流（1619年）。

C　本多正純（宇都宮藩〔譜代〕）

もと家康の側近であったが，突然秀忠の勘気に触れ改易，出羽国に配流。

⑦幕府権力の継承

２代将軍秀忠は1623年に将軍職を家光に譲り，大御所として幕府権力の基礎固めを行った。



徳川氏略系図

３　３代将軍家光の政治―大名の圧伏―

①大名の処分

1632年の大御所秀忠の死後も**武断主義**政策をとり，**牢人**が大量に発生。

A　加藤忠広(ただひろ)(熊本藩〔外様〕)

領内不統一を理由？に改易，出羽国に配流。

☆九州にも将軍権力が広く及ぶこととなった。

B　徳川忠長(ただなが)(駿府藩〔親藩〕)

家光の弟であったが，乱行(らんぎょう)を理由に上野国に幽閉(ゆうへい)，自刃(じじん)に追い込まれる。

---

②武家諸法度寛永(かんえい)令(1635年)

A　起草者

林羅山(はやしらざん)〔道春(どうしゅん)〕

B　内容

参勤交代の制度化，500石積(づみ)以上の大船(おおぶね)建造の禁など。

☆参勤交代の影響⇒江戸幕府の絶対的支配が確立。**諸藩の財政負担は増大**したが，江戸の町や主要街道沿いの宿駅が繁栄(はんえい)した。

---

③幕藩(ばくはん)体制の確立

強力な領主権をもつ**幕府〔将軍〕と藩〔大名〕**が，**全国の土地と人民を直接統治する支配体制**が確立。

☆強大な軍事力と経済力をもつ幕府が，諸藩に自主性を認める一方で武家諸法度により厳しく統制。幕府･藩ともに**経済的には農村からの年貢収入に依存(いそん)**した。

４　幕府権力の優越

①経済力⇒圧倒的な富力(ふりょく)を誇(ほこ)る

A　**幕領〔天領〕**＝17世紀末時点で**約400万石**

旗本知行(ちぎょう)地300万石と合わせ**全国3000万石の約４分の１**を占める。

B　**主要鉱山の直轄**

佐渡相川(あいかわ)・伊豆の**金山**，**但馬生野・石見大森**の**銀山**，**足尾**の**銅山**など。

C　**主要都市の直轄**

江戸・京都・大坂・長崎・駿府・伏見(ふしみ)・奈良・佐渡・日光・山田・堺・下田など。

D　**主要街道の直轄**

五街道を道中(どうちゅう)奉行，脇街道〔脇往還(わきおうかん)〕を勘定(かんじょう)奉行が支配。

E　**貨幣鋳造(ちゅうぞう)権の独占**

金座・銀座・銭(ぜに)座で鋳造。

F　**長崎貿易の独占**

中国・オランダとの貿易を，長崎奉行が統制。

---

②軍事力⇒圧倒的な軍事力，俗(ぞく)に“旗本八万騎”

直参(じきさん)〔旗本(はたもと)・御家人〕および諸大名の**軍役**により，他勢力を圧倒。

A　**旗本**　（御目見得(おめみえ)以上）

約5000人，**１万石未満**の**地方(じかた)知行(ちぎょう)制〔知行取(どり)〕**が多い。

☆大番頭(おおばんがしら)，町奉行，勘定奉行，大目付，目付など。

B　**御家人**（御目見得以下）

約１万7000人，**俸禄(ほうろく)制〔蔵米取(くらまいどり)〕**が多い。

☆同心(どうしん)など。

５　幕藩体制

①江戸幕府の職制

２代将軍までの側近政治を改め，３代家光のころまでに整備。

A　将軍直属（原則的に譜代大名が就任）

（大老）　**非常置の最高職**，10万石以上から選任。
☆重要事項の決定のみ合議に加わる。

老中　**政務の総括を行う常置の最高職**（はじめ**年寄**），２万5000石以上から４～５名選任。

（側用人）　**非常置の将軍側近**，将軍の命を老中に伝える。

若年寄　**老中を補佐**し旗本を監督，３～５名。

寺社奉行　**寺社の監察や宗教統制**，４～５名。

奏者番　大名・旗本の将軍謁見や諸事の披露を担当。

京都所司代　**朝廷の統制**と西国大名の監視。

大坂城代　**大坂城の守護**と西国大名の監視。

B　老中支配（旗本が就任）

大番頭　**江戸城などの警備**，４～５名。

大目付　**大名の監察**，４～５名。

町奉行　**江戸町方の行政・司法**を担当（与力・同心を支配），南北２名。

勘定奉行　**幕府財政**，**幕領の租税徴収や訴訟**，関八州の私領の訴訟を担当（**郡代**・**代官**を支配）。
☆４名で，享保の改革で公事方（訴訟担当）と勝手方（財政担当）に分かれる。

勘定吟味役　勘定奉行所の財政の監査，５代将軍綱吉が設置。

道中奉行　**五街道の宿駅や道路行政を管轄**，大目付・勘定奉行各１名が兼務。

宗門改役　**宗門改め**，**キリシタン摘発**などを担当。

高家　儀式典礼・勅使公家衆の接待。

城代　二条・伏見（のち廃止）・駿府

町奉行　京都・大坂・駿府

奉行　**長崎**・伏見・奈良・佐渡・日光・山田・堺・下田など。

C　若年寄支配（旗本が就任）

書院番頭（しょいんばんがしら）　将軍の護衛

小姓組番頭（こしょうぐみばんがしら）　将軍の護衛

目付（めつけ）　**旗本・御家人の監察**，はじめ10名。

D　職制の特色

あ　三河以来の職制の拡充（かくじゅう）・整備⇒“庄屋仕立て（しょうやじたて）”

い　**将軍独裁体制，要職はすべて譜代・旗本から選任。**

う　**月番交代（つきばん）**・合議制を採用，役職は軍事関係（番方（ばんかた））と一般政務（役方（やくかた））とに大別（たいべつ）。

え　簡略な訴訟は各役職で専決したが，役職をまたぐ事項は**評定所**で**三奉行**（寺社奉行・町奉行・勘定奉行）と老中１名以上が合議して裁決した。

お　平時（へいじ）の編成が，そのまま戦時の編成となる。

---

②藩（はん）〔国（くに）・国元（くにもと）〕の制度⇒大名＝藩主

A　職制

家老（かろう）〔国家老（くにがろう）・城代家老と江戸家老〕以下の諸役人。町奉行・勘定奉行・郡（こおり）奉行や代官など，幕府の職制を模倣（もほう）。

B　支配

領地・領民を直接支配（＝領内一円支配）。**幕府の政策範囲内で，独自の支配を展開。**

C　収入

主たるものは直轄領（蔵入地）からの年貢収入，その他に国産品の専売など。

D　**藩士**＝陪臣（ばいしん）

藩政を分担し，原則的に城下町に集住。収入は大半が俸禄制〔蔵米取〕。

☆初期には地方知行制（じかたちぎょう）をとる場合もあったが，17世紀半ばになると多くの藩ではみられなくなった。

☆下級の足軽などでは「～人扶持（ぶち）」や「給金～両」という形で俸禄を与えられた。

６　朝廷の統制

①朝廷に対する規制

A　**禁中並公家諸法度**（1615年，金地院崇伝が起草）

「天子諸芸能の事，第一御学問なり」

☆1613年の公家衆法度に続くもの。

B　行政

あ　**京都所司代（幕府）**

朝廷の監察と行動の規制にあたる。

い　**武家伝奏　（朝廷）**

公家から２名が選任され，幕府から役料を受ける。**朝廷に幕府側の指示を伝え**，摂家（関白・三公）とともに朝議をつかさどる重職。

C　**領地**⇒必要最小限度に留められる

禁裏御料３万石，公家領・門跡領など７万石。

D　行動⇒大名との接触を警戒

あ　天皇

学問第一。

☆行幸は慶安年間（17世紀半ば）を最後に幕末まで原則として認められず。

い　公家

家業〔家職〕と宮中を警護する禁裏小番が義務。醍醐や吉野への花見など京都からの他行は，武家伝奏を通じ届出が必要。

☆白川家・吉田家は神祇道，土御門家は陰陽道，飛鳥井家は蹴鞠を代々家業とした。

---

②朝廷との関係

幕府は天皇権威を自らの支配に利用。２代将軍秀忠の娘和子〔東福門院〕は，**後水尾天皇**に入内し外戚関係を結ぶ。

☆これを機に，朝廷に残されていた官位制度や改元・改暦などの機能も幕府の承諾を必要とすることとなった。

☆征夷大将軍は，代々形式的に内大臣を兼任し「徳川内府」とよばれた。

---

③朝廷との紛争

A　**紫衣事件（1627年）**

大徳寺・妙心寺などの禅僧に対し，後水尾天皇が幕府に届け出なく紫衣着用を勅許したことが問題視され，無効となった。

☆幕府の法度が天皇の勅許に優先することを決定づけた事件。

B　**後水尾天皇の退位（1629年）**

この年，紫衣事件に異を唱えた大徳寺の**沢庵**〔**沢庵宗彭**〕は出羽に配流，幕府の許可のない1615年以降の紫衣勅許もすべて無効となった。**相次ぐ幕府の介入に反発した天皇は，体調を崩していたこともあり独断で退位**。結果的に，大御所秀忠の孫にあたる皇女が即位し**明正天皇**となったことから，幕府は譲位を追認した。

☆幕府は武家伝奏を交代させ，摂家に朝廷の厳重統制を命令。

☆1634年，３代将軍家光は全大名に軍役を賦課。30万の大軍を率い上洛し，将軍の軍事指揮権と幕府の威勢を示した。

7　幕府の宗教統制

①キリスト教の禁止

A　**理由⇒統一的支配の障害**

ポルトガル・スペインの侵略に対する懸念（けねん），信者の団結・抵抗の強さを恐れる。

☆信者は17世紀初めで約70～75万人

B　推移

1609年　マードレ＝デ＝デウス号事件

☆有馬晴信（ありまはるのぶ）が長崎でポルトガル船を撃沈（げきちん）。

1612年　幕領に禁教令を発布

☆岡本大八（だいはち）事件が契機（けいき）となる。

1613年　全国に禁教令を発布

1614年　**高山右近（うこん）**ら300人余りをマニラ・マカオに追放

1622年　元和（げんな）の大殉教（だいじゅんきょう）

☆**長崎**で宣教師・信徒ら**55名**を処刑。

1630年　禁書令

☆洋書の輸入を禁止。

C　**島原の乱**〔島原・天草（あまくさ）一揆〕**（1637年～38年）**

天草四郎時貞〔益田（ますだ）時貞〕を中心とする３万人余りの**キリシタン農民**や牢人が蜂起（ほうき），原城跡（はらじょうあと）に立てこもった。

あ　原因

松倉勝家（肥前国島原城主）と寺沢堅高（かたたか）（肥後国天草領主）による，過酷（かこく）な年貢徴収とキリスト教徒弾圧に領民が反抗。

☆以前，島原半島は有馬晴信，天草諸島は小西行長の支配下にあったため，旧キリシタン大名領としての風潮が残っていた。

い　結果

九州の外様など約12万人を大動員し，譜代の板倉重昌（いたくらしげまさ）が指揮にあたったが失敗。**老中松平信綱（まつだいらのぶつな）**〔知恵（ちえ）伊豆〕が出陣し，オランダ船の援護も得てようやく鎮圧した。

☆乱後，松倉家と寺沢家は改易（かいえき）。

う　意義

幕府権力のさらなる集中と，**鎖国政策促進の契機**となった。

D　禁教政策の強化

あ　**踏絵**

九州北部を中心に**絵踏**を実施して改宗を強制したが，一部の信者は迫害にも屈せず殉教するものや，秘かに信仰を維持する**隠れキリシタン**〔潜伏キリシタン〕として残存した。

い　**寺請制度〔寺檀制度〕**

1640 年，**宗門改役**を設置して**宗門改め**を実施。結婚・奉公・旅行などに際し檀那寺が寺請証文を発行，檀家〔檀徒・檀那〕を監視した。

☆幕府・諸藩は**宗門改帳〔宗旨人別帳〕**を作成，**寺院を通しての民衆支配**を進めた。のち人別改と合わせ宗門人別改帳となり，戸籍の役割を果たした。

②寺社の統制

A　禁教

キリスト教の他にも，日奥を祖とする**日蓮宗不受不施派**を禁止。

☆神道・陰陽道・修験道などは仏教に準じて容認。

B　領地

朱印地(将軍の朱印状により安堵)，黒印地(旗本・大名の黒印状により安堵)など約40万石。

C　法度

仏教諸宗の本山となる門跡寺院に皇子や宮家・摂家の子弟が入寺したことから，幕府は門跡も朝廷の一貫とみなして統制した。

1601年～**寺院法度**〔諸宗諸本山法度〕

☆**各宗派ごと**に出し，本山・本寺の地位を保障して末寺を組織させる**本末制度**を実施した。

1665年　諸宗寺院法度

☆**仏教各宗派共通**の，寺院・僧侶統制令。

諸社禰宜神主法度

☆**神社・神職の統制令**，公家の吉田家を本所として統制させた。

☆陰陽道は，公家の土御門家が全国の陰陽師を配下に置いた。

D　行政

将軍⇒**寺社奉行**⇒各宗派の**本山・本寺**⇒**末寺**⇒檀家

☆修験道は，天台系の本山派は聖護院門跡が，真言系の当山派は醍醐寺三宝院門跡が本山として山伏を支配した。

E　結果

仏教・神道ともに，独立した宗教としての活力を失う。

F　**黄檗宗**の伝来(17世紀半ば)

禅宗の一派。明から来日した**隠元隆琦**が伝える。

☆本山は山城国宇治の**万福寺**。

８　農村の生活（村と百姓）

①村

A　性格

百姓の集落・田畑や野山などを含む自治的な小社会（共同体）で，幕藩体制の最も重要な基盤。

B　成立

中世の惣村や惣荘・惣郷などを分割(ぶんかつ)して成立。**新田開発**により新たに成立したものも含め，全国に約６万3000余り（17世紀末）。

☆幕府・藩が検地のあと50～60戸(こ)単位の村切(むらぎり)を行う。

C　種類

農村・山村〔山里〕・漁村・在郷町(ざいごうちょう)（小都市）など。

D　支配組織

将軍⇒大名・旗本⇒郡代・代官⇒**村方(むらかた)三役（村役人）**⇒**本百姓**

E　**村方三役**〔村役人〕

あ　**名主(なぬし)〔関西＝庄屋(しょうや)，東北＝肝煎(きもいり)〕**⇒１名

年貢割当(わりあて)と納入，法令の伝達，村内秩序維持，用水管理，宗門改めなどの責任を負う。

い　**組頭(くみがしら)**〔年寄〕⇒１～３名

名主の補佐。

う　**百姓代(ひゃくしょうだい)**⇒１～３名

名主・組頭の不正監視役で，**一般百姓の代表**。

F　**五人組**

年貢納入や犯罪防止の連帯責任，キリシタン・犯罪人の相互検察(けんさつ)を目的に５戸程度を一組とする。

---

②農民の生活

A　仕事

農作業の他，**入会地**(いりあいち)の共同利用，用水・山野の管理，道の整備，治安や防災にあたる。

☆田植え，稲刈り，脱穀，屋根葺(ふ)きなどに際し，村民は**結**(ゆい)**・もやい**とよばれる共同作業を行い，労働や暮らしを支え合った。

B　経費

村入用(むらいりよう)とよばれる経費は村民が共同負担。

C　運営

村法(そんぽう)〔**村掟**(むらおきて)〕にもとづき村政を運営。違反者には村八分(むらはちぶ)などの制裁が加えられた。

D　貢租(こうそ)納入

村請制で実施。村高にかかる年貢を，百姓が石高に応じて公平に負担した。

---

③農民の階層

A　**本百姓**(ほんびゃくしょう)　〔高持百姓(たかもち)〕⇒**検地帳に記載**

田畑(でんぱた)**・家屋敷**(いえやしき)〔高請地(たかうけち)〕をもち，年貢・諸役を納入し**村政**(そんせい)**に参加**。

B　**水呑百姓**(みずのみびゃくしょう)〔無高(むだか)百姓〕⇒検地帳に無記載

田畑をもたず，地主のもとで**小作**(こさく)や日用(ひよう)（日雇(ひやとい)）仕事に従事。

C　隷属(れいぞく)農民〔**名子**(なご)**・被官**(ひかん)・譜代・家抱(けほう)など〕

有力な本百姓と主従制のような隷属(れいぞく)関係のもとにあった。

---

④農民の負担

各種の負担は非常に厳しく，走り百姓・潰(つぶ)れ百姓が続出した。

A　**本途物成(ほんともののなり)〔本年貢〕**

田畑・家屋敷に課税。村請制により**米納(べいのう)**もしくは貨幣で納入した。

☆税率ははじめ**四公六民**程度の**検見法(けみほう)**(＝収穫に応じ年貢率を決める)。享保(きょうほう)期以降は幕領を中心に**五公五民**の**定免法(じょうめんほう)**(＝一定期間同じ年貢率を続ける)が一般化。

B　**小物成(こものなり)**

農業以外の副業・特産物・山野河海(さんやかかい)の利用などにかかる**雑税**。貨幣で納入した。

C　**高掛物(たかがかりもの)**

村高に応じて課する付加税(ふかぜい)。貨幣で納入した。

D　**国役(くにやく)**

幕領・私領を問わず，一国または数カ国単位で課す労役。道路・河川の土木(どぼく)工事や朝鮮通信使の接待など。のちに貨幣による代納(だいのう)が一般化した。

E　**助郷役(すけごうやく)**(**伝馬役(てんまやく)**の一種)

主要街道における公用通行時，宿駅周辺の村(**助郷**)に補助的に人馬を負担させた。のち，貨幣で代納することが一般化した。

☆増大する一方の負担に対し，**伝馬騒動(助郷役反対一揆)**も起きた。

---

⑤為政者(いせいしゃ)の農民観

A　江戸時代前期⇒農民の生活が成り立つことを前提とする

徳川家康

「百姓共(ども)は死なぬ様に，生きぬ様に…」　―『昇平夜話(しょうへいやわ)』より―

本多正信(まさのぶ)

「百姓は財の余らぬように，不足なきように治(おさ)むること道(みち)なり」

―『本佐録(ほんさろく)』より―

B　江戸時代後期⇒農民の生活を無視

神尾春央(かんおはるひで)

「胡麻(ごま)の油と百姓は，絞(しぼ)れば絞る程出(いず)る物也(なり)」―本多利明『西域物語(せいいきものがたり)』より―

---

⑥農民に対する規制

A　**田畑永代売買の禁止令**　　　　　**（1643年，３代将軍家光）**

寛永の大飢饉を背景に，**富農への土地集中防止と本百姓体制維持のため，田畑の売買を禁止。**しかし，**質流れによる田畑の実質的移動は行われた**ため，不徹底に終わる。

☆明治時代の**1872年まで存続。**

B　**田畑勝手作りの禁〔作付制限令〕（1643年，３代将軍家光）**

本百姓体制維持のため，本田畑における五穀(米・麦・黍・粟・豆)以外の商品作物栽培を禁止したが，のち有名無実化。

☆明治時代の**1871年まで存続。**

C　慶安の触書？　　　　　（1649年，３代将軍家光？）

農民に対する32条の細々とした衣食住制限。

☆近年，幕府の法令ではないという説が強い。

D　**分地制限令**　　　　　**（1673年，４代将軍家綱）**

分割相続による田畑の細分化を防ぎ**本百姓体制を維持するため，名主20石・一般百姓10石未満の者の分地を禁止。**

☆**1713年に改正され，分地高・残高ともに１町・10石未満になることを禁止。**

E　その他

あ　移住・転業の制限

い　**麻や木綿**の筒袖を着用

う　麦または稗・粟などの雑穀主体の食事

え　茅葺・わら葺の粗末な家屋

〈***Note***〉

９　都市の生活（町(ちょう)と町人）

①城下町の生活

A　成立

豊臣政権以来の兵農分離策による武士（＝消費者）の集住と，自由営業認可・屋敷地にかかる地子銭(じしせん)免除による町人（＝商工業者）の集住による，物資の生産・集散の活発化。

B　城下町の例

江戸（武蔵国），**大坂（摂津国）**，駿府（駿河国），**名古屋（尾張国）**，和歌山（紀伊国），水戸（常陸国），金沢（加賀国），鹿児島（薩摩国），仙台（陸奥国），熊本（肥後国），萩(はぎ)（長門国），高知（土佐国）など。

C　構造

町割(まちわり)が行われ，村と類似(るいじ)した自治的組織である**町**という小社会（共同体）が多数存在する。

あ　**武家地**

城郭(じょうかく)と合わせ，城下町の面積の大半を占める。

い　**寺社地**

寺院・神社を集め，領内における宗教統制の中心地としての役割を担う。

う　**町人地**

町方(まちかた)〔町屋〕ともいう経済活動の中心地で，商工業者の職業別居住区。

え　その他

公認の遊郭(ゆうかく)や郊外のかわた町村(まちむら)など。

D　生活

あ　住民

市民権をもつ本来の**町人(ちょうにん)**（地主(じぬし)・家持(いえもち)）は少数だが，農民との対比で下層民を含む住民全体を町人ともよぶ。

い　運営

名主・庄屋・月行事(がちぎょうじ)〔月行司〕などを中心に，**町法(ちょうほう)〔町掟(ちょうおきて)〕**にもとづき運営。

☆江戸（南北の町奉行⇒町年寄⇒町名主⇒五人組）

☆大坂（東西の町奉行⇒惣年寄⇒町年寄⇒五人組）

E　負担

田畑がないため年貢は課されず，地子銭も免除の場合が多い。町人足役(そくやく)（上

下水道や道の整備，城郭や堀の清掃，防火・防災など）や**町入用**とよばれる共同経費は負担。

☆商工業者は営業税として運上・冥加を，職人は国役を納める場合があった。

F　町人の階層⇒**町政に参加できるのは地主・家持のみ**

地主・家持⇒地借⇒借家〔店借〕・商家奉公人など。

☆店賃を支払う借家の多くは**棟割長屋**〔九尺二間〕に住む。

---

②その他の都市

どのような都市でも，社会の基礎には町が存在した。

A　**港町**

長崎（肥前国），堺（和泉国），**松前（蝦夷地）**，**酒田（出羽国）**，三国（越前国），敦賀（越前国），小浜（若狭国），**下関（長門国）**，博多（筑前国）など。

B　**門前町**

奈良（大和国・興福寺など），**山田（伊勢国・伊勢外宮）**，**日光（下野国・日光東照宮）**，長野（信濃国・善光寺）など。

C　**宿場町**

品川（武蔵国），神奈川（武蔵国），小田原（相模国），島田（駿河国），金谷（遠江国），熱田〔宮〕（尾張国），桑名（伊勢国），大津（近江国），妻籠（信濃国），馬籠（信濃国）など。

D　鉱山町

あ　**幕府の直営**

佐渡相川金山・但馬生野銀山・石見大森銀山・下野足尾銅山

い　秋田藩佐竹氏の経営

院内銀山・阿仁銀山〔銅山〕（出羽国）

う　**泉屋〔住友家〕**の経営

別子銅山（伊予国）

E　**幕府直轄都市**

三都〔江戸・大坂・京都〕，**長崎**，駿府，伏見，奈良，佐渡，山田，日光，堺など。

10　身分秩序

①身分制度

A　制定の目的と特色

身分秩序の維持による社会の安定をはかり制定。**地位・職業は世襲，階層的主従関係が存在**した。

B　**士**（約６～10％）

武士が政治・軍事，学問・知識を独占。

あ　種類

将軍⇒大名・直参〔旗本・御家人〕⇒陪臣〔大名・旗本の家臣〕⇒軽輩〔足軽・中間・小者〕，**牢人**など。

☆主人への忠誠や上下の別を厳しく強制された。

☆武士の家では女性は家事への専念を強制された。

い　**特権**

苗字・帯刀，**切捨**〔無礼打ち〕御免

う　その他

皇族，公家，上層の僧侶・神職らも武士と並ぶ支配身分。

C　**農（約80％）**⇒山民・漁民を含む

百姓は幕藩体制の経済基盤として，幕府・藩の強い統制を受ける。

D　**工・商**（約７～10％）

職人と**商人**などの**町人**。

E　**えた　〔穢多〕**（かわた・長吏）

農業の他，皮革製造・わら細工や雑役（死牛馬の処理・行刑役など）に従事。百姓とは別の集落をつくった。

F　**ひにん〔非人〕**

町や村から排除され集団化した乞食。村や町の番人・物乞い・芸能・掃除などに従事。

11　封建的意識⇒分際のわきまえを重視

①主従関係

A　武士　　主君と家臣，本家と分家。

B　農民　　地主と小作人，本家と分家。

C　漁民　　網元と網子

D　職人　　親方〔師匠〕と徒弟〔弟子〕

E　**商人**　　**主人⇒番頭⇒手代⇒丁稚**，のれん分けによる本家と別家。

---

②家族関係

A　**家**の重視＝**家制度**の確立

個人よりも家名第一，家同士にも家格が存在。

B　強大な**家長〔戸主〕権**⇒武士や一部の有力な百姓・町人の家において財産や家業の**長子単独相続**や，勘当・婚姻・住居などを決定。

C　強烈な**男尊女卑**⇒家督・財産の相続権なし

あ　三従の教え─『女大学』より─

「家にありては父，嫁しては夫，夫死して後は子に従え」

い　七去を理由とする男性からの一方的離縁（＝**三行半・三下半**）

女性からどうしても離縁したい場合は，鎌倉の東慶寺・上野国の満徳寺などの**縁切寺〔駆込寺〕**に逃げ込んだ。

第12講　確認問題

1　徳川家康が生まれた松平氏の岡崎城は，どこにあった城か？

①尾張国　②三河国　③遠江国　④駿河国

2　1584年の「小牧・長久手の戦い」で徳川家康と同盟し，豊臣秀吉と戦った人物とは？

①織田信雄　②毛利輝元　③長宗我部元親　④伊達政宗

3　徳川家康が征夷大将軍に就任し，江戸幕府を開いた年は？

①1600年　②1603年　③1614年　④1615年

4　1615年の「武家諸法度元和令」や「禁中並公家諸法度」を起草した“黒衣の宰相”とは？

①金地院崇伝〔以心崇伝〕　②南光坊天海
③藤原惺窩　④林羅山〔道春〕

5　親藩の「御三家」に当てはまらない藩とは？

①尾張藩　②紀伊藩　③水戸藩　④越前藩〔福井藩〕

6　有力外様大名とその藩の組み合わせとして誤っているものを選べ。

①細川（長州）　②前田（加賀）　③島津（薩摩）　④鍋島（肥前）

7　参勤交代の制度化・500石積以上の大船建造の禁などが記された「武家諸法度寛永令」を出した将軍とは？

①初代家康　②２代秀忠　③３代家光　④４代家綱

8　江戸幕府の直轄地としてふさわしくないものを一つ選べ。

①日光　②佐渡　③堺　④博多

9　譜代大名が就任する最重要の奉行とは？

①寺社奉行　②(江戸)町奉行　③勘定奉行　④道中奉行

10　1629年に即位した，大御所秀忠の孫にあたる女帝とは？

①後水尾天皇　②明正天皇　③後桜町天皇　④光格天皇

11　1637年～38年の「島原の乱」を平定した“知恵伊豆”とは？

①高山右近　②板倉重昌　③松平信綱　④沢庵宗彭

12　村高に応じて課す付加税を何というか？

①小物成　②高掛物　③国役　④伝馬役

解答

1	②	2	①	3	②	4	①	5	④
6	①	7	③	8	④	9	①	10	②
11	③	12	②						

第13講　江戸時代Ⅱ

1　江戸幕府の外交

①徳川家康の平和外交

豊臣秀吉の強圧的外交を改め，平和外交を展開。キリスト教は当初黙認（もくにん）したが，のち厳禁した。

☆徳川家康は，アンナン（ベトナム）・ルソン（フィリピン）・カンボジアに修好を求める外交文書を国の代表者として送った。

A　背景

あ　**南蛮人**（なんばんじん）（＝ポルトガル人・スペイン人など）

15世紀末以降の大航海（だいこうかい）時代における**カトリック〔旧教〕国**ポルトガル・スペインの植民地獲得活動。

い　**紅毛人**（こうもうじん）（＝オランダ人・イギリス人など）

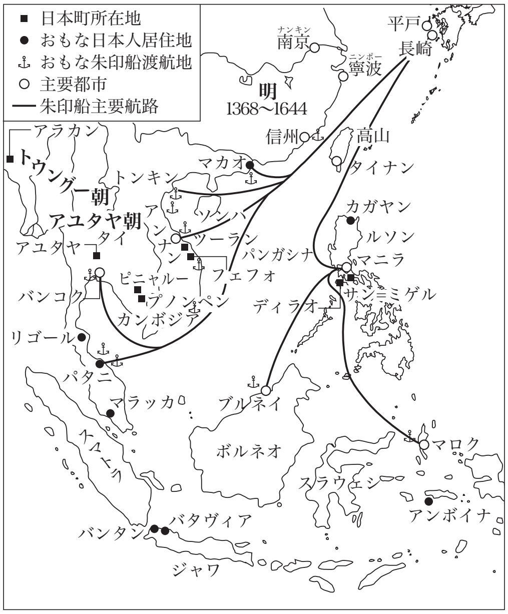
16世紀後半の**新教〔プロテスタント〕国**オランダ・イギリスの台頭。

☆それぞれ**東インド会社**を設立，貿易独占権をもち植民地を経営した。

B　**明**（ミン）

家康は朝鮮や琉球王国を介（かい）して明との国交回復を交渉したが，**海禁政策**を理由に拒否され，日明貿易の復活はなかった。

☆中国商人が東南アジア各地で日本人と**出会貿易**（であいぼうえき）を展開（＝**朱印船貿易**）。



C　**ポルトガル**（拠点＝ゴア，セイロン，マラッカ，**マカオ**）

種子島に漂着（1543年？）後，各地で**中継貿易**形式の**南蛮貿易**を展開。江戸時代初期には中国の**マカオ**を拠点に**中国産の生糸〔白糸〕**を長崎に運び**日本産の銀**と交換，巨利を得ていた。

1604年　**糸割符制度**の実施により，大打撃を被る。

☆**京都・堺・長崎**の**三カ所商人**らに糸割符仲間をつくらせ，**生糸を一定価格で一括購入**のうえ分配させて，ポルトガル商人の暴利を抑えた。

1609年　マードレ＝デ＝デウス号事件により貿易中断

☆有馬晴信が長崎でポルトガル船を焼打ち。

1611年　貿易は復活するが，以後はオランダなどに押され不活発。

1616年　中国船以外の外国船寄港地を平戸・長崎に限定

1631年　糸割符仲間に**江戸・大坂**を加え**五カ所商人**となる

1636年　貿易に関係のない南蛮人の子孫を追放

☆ポルトガル人を出島に集める。

1639年　ポルトガル船の来航を禁止

D　**スペイン〔イスパニア〕**（拠点＝**マニラ**）

平戸に来航（1584年）後，各地で南蛮貿易を展開。**1596年のサン＝フェリペ号事件**で通交は途絶えていたが，17世紀初めに復活。家康は**スペイン領メキシコ〔ノヴィスパン〕**との貿易を希望。

1609年　前ルソン総督**ドン＝ロドリゴ**，上総国に漂着。

1610年　家康，ノヴィスパンに向かうドン＝ロドリゴに船を与え，**京都商人田中勝介**を同行させたが，通商ルート開拓の目的は果たせず。

☆田中勝介らは最初にアメリカ大陸に渡った日本人とされる。

1611年　答礼使ビスカイノをともない，田中勝介が帰国。

1613年　**伊達政宗**（**仙台藩**の外様），家臣の**支倉常長**をメキシコ⇒スペイン⇒イタリアへと派遣（＝**慶長遣欧使節**）。

☆フランシスコ会士ルイス＝ソテロが同行，ローマ教皇に謁見したが，スペインとの通商ルート開拓には失敗。

1616年　中国船以外の外国船寄港地を平戸・長崎に限定。

1620年　支倉常長帰国，以後は禁教政策の影響で貿易は不活発。

1624年　スペイン船の来航を禁止

E　**オランダ**(拠点＝**バタヴィア〔ジャカルタ〕**)⇒16世紀後半にスペインから独立

オランダ船リーフデ号が**豊後国臼杵湾**(うすきわん)に来航(**1600年**)後，航海士(こうかいし)**ヤン＝ヨーステン〔耶揚子〕**(やようす)が家康に登用され，外交・貿易顧問(こもん)となる。

1602年　東インド会社を設立

1609年　幕府の貿易許可を受け，平戸にオランダ商館を開設。

1616年　中国船以外の外国船寄港地を平戸・長崎に限定。

1623年　アンボイナ事件でイギリス勢力を一掃

1637年～島原の乱鎮圧に協力

1641年　平戸のオランダ商館を長崎の出島(でじま)に移す

☆この年から糸割符制度をオランダにも適用。

F　**イギリス**⇒毛織物工業が発達し台頭

リーフデ号の水先(みずさき)案内人**ウィリアム＝アダムズ〔三浦按針〕**(あんじん)が家康に登用され外交・貿易顧問となる。

1600年　東インド会社を設立

1613年　幕府の貿易許可を受け，平戸にイギリス商館を開設。

1616年　中国船以外の外国船寄港地を平戸・長崎に限定。

1623年　アンボイナ事件でオランダに敗北

☆**自ら商館を閉鎖し日本を退去**，以後インド経営に専念する。

---

②朱印船貿易

A　**朱印船**⇒将軍が海外渡航を許可する**朱印状**を交付

多数の商人・大名・旗本らが共同出資し，おもに東南アジアで中国船との**出会貿易**(であい)を行う。

B　渡航国・地域

豊臣政権時に続き，日本人の海外進出はさかんに行われた。

あ　中国沿岸方面

マカオ，高山国(こうざんこく)(現在の台湾)。

い　インドシナ半島・マレー半島方面

アンナン〔北部はトンキン，中南部はコーチ〕(現在のヴェトナム)，シャム(現在のタイ)，カンボジア，ビルマ(現在のミャンマー)など。

う　南洋方面

ルソン（現在のフィリピン），ブルネイなど。

C　**貿易家**

あ　**商人〔初期豪商〕**

末次平蔵（すえつぐへいぞう），荒木宗太郎（そうたろう）（**長崎**），**納屋助左衛門**（なやすけざえもん），**今井宗薫**（そうくん）（**堺**），**末吉孫左衛門**（すえよしまござえもん）（**摂津平野**（ひらの）），**角倉了以**（すみのくらりょうい），**茶屋四郎次郎**（しろじろう）（**京都**）など。

い　西国大名（さいごく）

島津家久（薩摩），松浦鎮信（まつらしげのぶ）（肥前平戸），有馬晴信（肥前有馬）など。

う　その他

紅毛人（こうもうじん）（ヤン＝ヨーステン，ウィリアム＝アダムズら）など。

D　**貿易品**

輸出品⇒銀・銅・鉄・硫黄（いおう）・刀剣など。

☆当時の日本の銀輸出量は世界の銀産出額の３分の１に及んだ。

輸入品⇒生糸・絹織物・綿織物・砂糖・鹿皮（しかがわ）・鮫皮（さめがわ）・香木（こうぼく）など。

☆ヨーロッパ産のラシャ〔毛織物〕もあった。

E　**日本町**（にほんまち）**〔日本人町〕**　⇒約８カ所

あ　**シャム**　⇒**アユタヤ**

☆駿河国出身の**山田長政**（やまだながまさ）が日本町の長（おさ）となる。のちリゴール太守（たいしゅ）にもなったが，政争で毒殺された。

い　カンボジア　⇒プノンペン，ピニャルー

う　コーチ　⇒ツーラン，フェフォ

え　ルソン〔呂宋（るそん）〕　⇒ディラオ，サン＝ミゲル

お　ビルマ　⇒アラカン

③鎖国(さこく)

オランダ商館のドイツ人医師**ケンペル**は，著書『**日本誌**』で日本がヨーロッパに対し閉ざされた状態であることを指摘した。1801年にこれを和訳した元オランダ通詞〔長崎通詞〕**志筑忠雄**(しづきただお)は，これを「鎖国論」と題した。

A　目的

あ　**キリスト教禁止の徹底**　（＝幕府による統一支配の障害とみなす）

い　**幕府による貿易利潤**(りじゅん)**の独占**（＝貿易に関係する西国大名の富強(ふきょう)化を防止）

B　経過

1600年　オランダ船リーフデ号，豊後国臼杵(うすき)湾に漂着

1609年　マードレ＝デ＝デウス号事件

平戸にオランダ商館開設

1612年　岡本大八(だいはち)事件

幕領に禁教令

1613年　**全国に禁教令**

平戸にイギリス商館開設

1614年　宣教師や高山右近らをマカオ・マニラに追放

1616年　中国船以外の外国船寄港地を平戸・長崎に限定

1622年　元和(げんな)の大殉教(だいじゅんきょう)

1623年　アンボイナ事件⇒**イギリス，自ら平戸の商館を閉鎖して退去**

1624年　**スペイン船の来航を禁止**

1630年　禁書令

1631年　**奉書船**(ほうしょせん)制度開始⇒朱印状の他に**老中奉書**も所持する

1633年　**奉書船以外の海外渡航禁止**および５年以上の海外居住者の帰国禁止（**鎖国令Ⅰ**）

1634年　海外との往来や通商を制限（鎖国令Ⅱ），長崎に**出島**を建設

1635年　**日本人の海外渡航および帰国を全面禁止（鎖国令Ⅲ）**

☆中国船の来航地も長崎に限定。

☆奉書船は廃止，朱印船貿易終結。

1636年　貿易に関係のない南蛮人の子孫を追放（鎖国令Ⅳ）

ポルトガル人を長崎の出島に移す

1637年～島原の乱（～38年）

1639年　**ポルトガル船の来航を禁止（鎖国令Ⅴ，寛永**(かんえい)**十六年令）**

1641年　平戸のオランダ商館を長崎の出島に移す⇒鎖国の完成

☆オランダ人と日本人との自由な交流も禁じ，長崎奉行が厳しく監視することになった。

C　影響

あ　**貿易独占・禁教の徹底により強固(きょうこ)な幕藩体制が確立。**

い　海外進出の途絶と産業・文化面における海外からの孤立(こりつ)。

う　平和が続き，独自の気質(きしつ)や文化が発達。

④長崎貿易

A　**中国（明⇒清へ）**

1616年，中国東北部の**女真〔満洲族〕**のヌルハチが後金を建国。その死後，ホンタイジが内蒙古を従え国号を**清**と改め朝鮮を朝貢国とした（1636年）。

☆**漢族**の明は，農民反乱軍により1644年に滅亡。**北京**に遷都した清は，中国史上最大の帝国となった。

あ　1689年以降は長崎郊外の**唐人屋敷**に居住

☆唐船風説書を提出，長崎奉行が唐通詞を通じて聴取した。

い　貿易品

清は海禁政策を解除したので，貿易額は増大。

輸出品⇒銀・金・銅・海産物（俵物〔いりこ・干し鮑・ふかひれ〕）

輸入品⇒生糸・絹織物・書籍・西欧や南方の産物など。

B　**オランダ〔和蘭・阿蘭陀〕**

あ　**出島のオランダ商館**が貿易を独占

☆東インド会社〔VOC〕の本店はバタヴィア〔ジャカルタ〕。

い　**オランダ風説書**による海外情報の獲得

☆オランダ船の入港ごとに，**オランダ商館長〔カピタン・甲比丹〕**が長崎奉行を通じて老中に提出。原文の翻訳には**オランダ通詞〔長崎通詞〕**があたった。

☆1633年からオランダ人の江戸参府が，ほぼ毎年１回制度として行われた。

う　貿易品

輸出品⇒**銀・金**・銅・有田焼〔伊万里焼〕・漆器・樟脳〔カンフル〕など。

輸入品⇒**生糸**・絹織物・綿織物・毛織物・薬品・砂糖・書籍など。

C　貿易の推移

1655年　糸割符制度を一時廃止

☆競争入札による相対自由貿易となった。

1685年　糸割符制度を復活

初めて長崎貿易の輸入額を制限

☆「定高貿易仕法」

1688年　清船の来航を年間70隻に制限

1689年　長崎郊外に**唐人屋敷**を建設

☆長崎の町に雑居していた清国人の居住地を限定。

1697年　清船の来航を年間80隻とする

1715年　海舶互市新例(かいはくごししんれい)〔長崎新令・正徳(しょうとく)新令〕

☆中国〔清〕＝年間30隻・銀6000貫目

☆オランダ＝年間 ２隻・銀3000貫目

---

⑤朝鮮との関係

A　貿易の再開

1609年，**朝鮮**と**宗氏**（**対馬藩**）が**己酉約条**〔**慶長条約**〕を結び貿易再開。日本からの使節は将軍と宗氏とに限られ，**宗氏が貿易を独占**。釜山に**倭館**が設置され，年間20隻の歳遣船を派遣。

☆対馬藩は耕地に恵まれず，貿易の利潤が家臣の知行のかわりとなった。

B　**朝鮮からの使節**（1607年～1811年，計12回）

あ　目的

当初は朝鮮侵略時の捕虜返還要求（回答使兼刷還使，３回）。その後，**新将軍就任の慶賀**（**通信使**，９回）がおもな名目。

い　待遇

対馬藩が同行し，幕府は丁重に応対。

☆文化交流のみでなく，将軍の対外的権威誇示の場でもあった。

⑥琉球王国との関係

家康は当初，対明交渉の仲介を担わせようとしたが，琉球王国はこれを拒否。

A　**薩摩藩の支配（1609年～）**

幕府の許可を得た**島津家久**が琉球に侵攻，首里城を落とし国王**尚寧**を服属させる。

☆与論島以北は薩摩藩領となる。

☆薩摩藩は琉球にも検地・刀狩を行い兵農分離を推進，農村支配を確立したうえ，通商交易権も掌握した。

B　**日中両属**

８万9000石余りの独立王国形式を残し，**中国（明のち清）との朝貢貿易も継続させる。**

☆清には毎年進貢船を派遣。福建の港から陸路北京に向かった。

☆清からは冊封使が来琉した。

C　**琉球からの使節**（計20回，薩摩藩が同行）

異国風の服装・髪型などを強制。沿道の人々に，「異国人」としての琉球人が将軍に入貢しているかのようにみせた。

あ　**慶賀使**　　**将軍の代替わりごとに派遣**

い　**謝恩使**　　**国王の代替わりごとに派遣**

D　正史『中山世鑑』の編纂（17世紀半ば）

向象賢〔羽地朝秀〕による。

⑦蝦夷地との関係

A　**松前藩**の支配（1604年～）

1599年　蝦夷ヶ島南部の和人地に勢力をもっていた**蠣崎慶広**が徳川家康から蝦夷地支配を認められ，**松前氏**と改称。

1604年　家康から**アイヌ**との交易独占権を保障される。

☆１万石の外様大名として松前藩を形成し，**商場知行制**を採用。

B　**和人**〔**シャモ**〕へのアイヌの抵抗

1669年　シャクシャインの戦い

☆津軽藩の協力を得た松前藩により鎮圧。これ以降，アイヌは全面的に松前藩に服従させられることになった。

☆18世紀前半までには**場所請負制**に転換。このころ，アイヌは自立した交易相手ではなく，漁場などで和人商人に使われる労働力となっていた。

1789年　クナシリ島の蜂起〔クナシリ・メナシの蜂起〕

☆アイヌ最後の抵抗

２　寛永期の文化

①寛永期の文化の特色

A　桃山文化の豪華さを継承しつつ，伝統的な公家文化も復活。

B　将軍家・大名と，公家や京都の上層町衆が担（にな）い手となる。

C　社会の安定にともない，優雅（ゆうが）で落ち着いた文化となる。

---

②建築

A　**日光東照宮（にっこうとうしょうぐう）**　**（下野国（しもつけのくに），権現造（ごんげんづくり））**

☆徳川家康を東照大権現として祀（まつ）る，**霊廟建築（れいびょう）**の代表。

B　**日光東照宮陽明門（ようめいもん）（下野国）**

C　**桂離宮（かつらりきゅう）**　**（京都，数寄屋造（すきや））**

☆八条宮智仁親王（はちじょうのみやとしひと）の離宮，回遊式（かいゆうしき）庭園の代表。

☆数寄屋造は，書院造に草庵（そうあん）風の茶室を取り入れたもの。

D　**修学院離宮（しゅがくいん）**　**（京都，数寄屋造）**

☆後水尾（ごみずのお）上皇の離宮。

E　清水寺（きよみずでら）本堂　（京都）

F　**延暦寺根本中堂（こんぽんちゅうどう）**　**（近江国）**

☆天台宗山門派の総本山。

G　**万福寺大雄宝殿（まんぷくじだいゆうほうでん）**　**（山城国宇治（うじ））**

☆隠元隆琦が明から伝えた黄檗宗（おうばくしゅう）の総本山。中国様式の建築。

H　崇福寺（そうふくじ）大雄宝殿　（長崎）

☆黄檗宗寺院，中国様式の建築。

---

③絵画

A　**狩野派**

狩野探幽が**幕府御用絵師**となり江戸へ下るが，以後狩野派は様式の踏襲にとどまった。

あ　**大徳寺方丈襖絵**　（**狩野探幽**）

い　**夕顔棚納涼図屏風**（**久隅守景**）⇒狩野探幽に破門される

B　**住吉派**

土佐派から分離した**住吉如慶**が住吉派を名乗る。

C　町衆による**装飾画**や風俗画が発達

あ　**風神雷神図屏風**（**俵屋宗達**）

☆土佐派の画法をもとに，装飾画に新様式を生み出し，続く元禄期の琳派の先駆となった。

い　**彦根屏風**

☆彦根藩（近江国）井伊家が所蔵。

---

④工芸

A　**磁器**

色絵花鳥文深鉢　（**酒井田柿右衛門**）

☆上絵付の技法で**有田焼**〔**伊万里焼**〕の**赤絵**を完成。

B　蒔絵

舟橋蒔絵硯箱　　（**本阿弥光悦**）

☆京都の上層町衆であった光悦は，家康から鷹ヶ峰に土地を与えられ芸術村を形成。多才な文化人として知られ，楽焼の茶碗や角倉素庵との**嵯峨本**（装飾本の一種）出版などでも有名。

---

⑤文芸

A　**仮名草子**(かなぞうし)

教訓や道徳を題材とし，実用性・娯楽(ごらく)性に富む，通俗的(つうぞくてき)な絵入りの仮名書き小説。

あ　二人比丘尼(ににんびくに)　（**鈴木正三**(しょうさん)）

い　東海道名所記（浅井了意(りょうい)）

う　可笑記(かしょうき)　（如儡子(じょらいし)）

B　**俳諧**

連歌の発句(ほっく)（五・七・五）が俳諧として独立。

あ　**貞門**(ていもん)**俳諧**　（**松永貞徳**(ていとく)**，京都**）⇒形式的な滑稽(こっけい)さと優雅さ。

い　**談林**(だんりん)**俳諧**　（**西山宗因**(そういん)**，大坂**）⇒より自由・平易さを求める。

---

⑥学問

儒学の一派である**朱子学〔宋学〕**が，君臣・父子の別をわきまえ，上下の秩序を重んじる封建(ほうけん)教学として幕府・藩に保護される。

A　**藤原惺窩**(ふじわらせいか)

もと相国寺(しょうこくじ)の僧。還俗(げんぞく)して朱子学を禅宗から解放し，**京学**(きょうがく)の祖となる。

B　**林羅山**(はやしらざん)**〔道春**(どうしゅん)**〕**

もと建仁寺(けんにんじ)の僧。藤原惺窩の門人となり，師の推薦で家康に登用され江戸に下る。４代もの将軍に仕え，朱子学的思想で幕藩体制の身分秩序を正当化するなど，支配体制の整備に活躍。幕府の学問・教育を代々担う**林家**(りんけ)の祖となる。

☆のち上野忍ヶ岡(うえのしのぶがおか)に私塾**弘文館**(こうぶんかん)を開設。

第13講　確認問題

1　1613年，家臣の支倉常長をスペインに派遣した大名とは？

①高山右近　②福島正則　③伊達政宗　④島津家久

2　1600年，オランダ船リーフデ号が漂着した地名とは？

①大隅国種子島　②薩摩国鹿児島　③土佐国浦戸湾　④豊後国臼杵湾

3　幕府の貿易許可を得たオランダ・イギリスがそれぞれ1609年・1613年に東インド会社の支店である「商館」を置いた地名とは？

①堺　②博多　③平戸　④長崎

4　徳川家康に外交・貿易顧問に登用され「三浦按針」ともよばれたイギリス人とは？

①ヤン＝ヨーステン　②ウィリアム＝アダムズ
③ドン＝ロドリゴ　④ルイス＝ソテロ

5　呂宋〔ルソン〕貿易で名を上げた，堺の朱印船貿易家とは？

①末次平蔵　②納屋助左衛門　③末吉孫左衛門　④茶屋四郎次郎

6　ポルトガル船の来航を禁止する，五度目の鎖国令（寛永十六年令）が出された年は？

①1633年　②1635年　③1639年　④1641年

7　ヌルハチとホンタイジ父子が建てた，中国史上最大の王朝とは？

①金　②元　③明　④後金（のち清）

8　日本が中国への輸出品とした「俵物三種」としてふさわしくないものを一つ選べ。

①いりこ　②干し鮑　③ふかひれ　④上海蟹

9　1609年，薩摩藩主島津家久に服属した琉球国王とは？

①尚巴志　②尚円〔内間金丸〕　③尚寧　④尚泰

10　1599年，徳川家康から蝦夷地支配を認められた大名とは？

①武田〔蠣崎〕信広　②蠣崎慶広　③伊達政宗　④上杉景勝

11　京都の桂離宮や修学院離宮に用いられている建築様式とは？

①寝殿造　②書院造　③権現造　④数寄屋造

12　『風神雷神図屏風』を描いた京都の町衆とは？

①本阿弥光悦　②住吉如慶　③俵屋宗達　④狩野探幽

解答

1	③	2	④	3	③	4	②	5	②
6	③	7	④	8	④	9	③	10	②
11	④	12	③						

第14講　江戸時代Ⅲ

1　武断政治から文治政治へ

①時代の転換

A　**幕政確立期（初代家康〜３代家光）**

武断政治⇒圧倒的な武力により他勢力を威圧。

☆度重なる改易により**牢人〔浪人〕**が増加（約40万人）。**かぶき者**〔旗本奴・町奴〕も横行し，治安が悪化した。

B　転換の契機

1651年　由井正雪の乱〔慶安の変〕

☆**３代家光が没し**若年の家綱が４代将軍に就任することを契機に，牢人の**由井〔由比〕正雪**・丸橋忠弥らが幕府転覆を企てるが失敗。

1652年　承応の変

☆牢人の戸次〔別木〕庄左衛門らが老中襲撃を企てるが失敗。

C　**幕政安定期（４代家綱〜７代家継）**

文治政治⇒朱子学にもとづく徳治主義により，人々を教化。

☆文教興隆，法律・制度・儀礼の整備。番方（武官）優位から役方（文官）優位へと転換。

---

②４代家綱の治世

叔父の**保科正之（会津藩主）**や前代からの老中松平信綱らが補佐。晩年は**大老酒井忠清〔下馬将軍〕**が専権を振るう。

A　**末期養子の禁緩和**（1651年）

50歳未満17歳以上の大名・旗本に末期養子を許可し，**大名の改易を緩和**。

B　**明暦の大火〔振袖火事〕（1657年）**

江戸城天守閣を含む江戸市街の55％を焼き，死者は10万人以上となる。

☆大火後，広小路とよばれる火除地が設けられ，従来の**大名火消**に加えて旗本による**定火消**を設置した。

C　**武家諸法度寛文令**（1663年）

キリスト教禁止を初めて明文化。

D　**寛文の二大美事**

殉死の禁止・大名証人制〔人質制〕の廃止。

☆殉死の禁止により，下剋上思想が消滅した。

E　寛文の朱印改め〔寛文印知〕(1664年)

全国の大名から領知宛行状を回収し再発行，将軍権威を再確認させた。

F　諸宗寺院法度・諸社禰宜神主法度(1665年)

仏教各宗派共通の法度と，神社・神職の統制令を発布。

G　分地制限令(1673年)

本百姓体制維持のため，名主20石・一般百姓10石未満の者の分地を禁止。

H　幕領の総検地〔寛文・延宝検地〕

関東・畿内近国で実施し，幕府の財政収入の安定をはかった。

---

③“名君”による藩政の刷新

A　**池田光政(岡山藩〔外様〕)**

陽明学者**熊沢蕃山〔了介〕**を招き家老に登用。**わが国初の郷学閑谷学校**を設立して藩士・庶民の教育にあたった。

☆熊沢蕃山は私塾花畠教場を設けた。

B　**保科正之(会津藩〔親藩〕)**

３代将軍家光の異母弟。甥の４代家綱を補佐して幕政を主導した。南学の朱子学者**山崎闇斎**に学び，多くの書を著した。

☆藩学稽古堂(のちの日新館)を設立。

C　**徳川光圀(水戸藩〔御三家〕)**

明から亡命した**朱舜水**を招き，江戸藩邸内の**彰考館**において歴史書『**大日本史**』の編纂を開始。前期**水戸学**の基礎を築いた。

D　**前田綱紀(加賀藩〔外様〕)**

京学の朱子学者**木下順庵**・本草学者**稲生若水**らを招き，学問を振興。独自の農政改革である改作法を実施し，藩政・民政を整備。

２　５代綱吉の治世⇒もと上野国館林藩主，1680 年～1709 年

①展開

A　**将軍権力の強化**（綱吉の初期治世＝**天和の治**）

あ　**大老**に**堀田正俊**を登用（1681 年）

専横が目に余る大老酒井忠清〔下馬将軍〕を罷免，緊縮政治を実行。

☆賞罰厳明，大名・旗本の改易・減封，不良代官の罷免など。

☆勝手掛老中および勘定吟味役を創設し，財政を重視。

い　**武家諸法度天和令**（1683 年）

旗本・御家人も含めた武家の統制法として，諸士法度を統合。**８代吉宗以後はこれを踏襲することとなった。**

☆「**文武忠孝**を励し，**礼儀**を正すべきこと」

B　**将軍の独裁**（**側用人政治**の開始＝**元禄時代**）

1684 年，若年寄稲葉正休による大老堀田正俊殺害後は**側用人柳沢吉保**を登用。これが将軍の独断を助長し，以後政治は激しく混乱した。

---

②政策

A　**学問の重視**⇒京学の朱子学者**木下順庵**を侍講とする

1684 年　**安井算哲〔渋川春海〕**が**貞享暦**を作成，幕府の**天文方**となる。

☆元の授時暦をもとに，従来の唐の宣明暦にかわるものとして作成。

1689 年　**北村季吟**が幕府の**歌学方**となる

1690 年　**湯島聖堂・聖堂学問所**の創設

☆林羅山〔道春〕が上野忍ヶ岡に設けた孔子廟および**私塾弘文館**を，湯島に移転。

☆**林鳳岡〔信篤〕**を**大学頭**に任命し，儒教と**朱子学を優遇**。以後聖堂学問所は**林家**に代々主宰させる。

B　**寺社の造営・修築**⇒生母桂昌院の影響で仏教に帰依

護国寺・護持院を建立し亮賢・隆光を重用。上野の寛永寺・芝の増上寺も修築，東大寺大仏殿も再建するなど**莫大な費用を投入**。

C　殺生・死・血などを忌み嫌う風潮の高まり

1684年　**服忌令**⇒神道の影響

☆近親の死に際し，喪に服したり忌引をする日数を定めたもの。

☆８代将軍吉宗政権で改正され，江戸時代を通して社会に浸透していった。

1685年　生類憐みの令（～1709年）

☆仏教の放生思想にもとづき繰り返し出された極端な動物愛護令。生類すべての殺生を禁じたが，とくに犬に対する施策が大きな問題となり，綱吉は「**犬公方**」とよばれすこぶる不評であった。

☆武力で相手を殺傷し上昇をはかる戦国時代以来の価値観は，かぶき者ともども完全に否定された。

D　**朝廷儀式の復興**

1687年　221年ぶりに**大嘗祭**〔**大嘗会**〕を再興（東山天皇）

☆前代の霊元天皇の悲願であった。

1694年　192年ぶりに賀茂祭〔葵祭〕を再興

E　**赤穂事件（1701年～02年）**

禁裏御料も増やすなど朝幕関係が密接な中，勅使の幕府下向儀式重視の風潮の下で事件が発生。

1701年　播磨国赤穂藩主浅野長矩〔浅野内匠頭〕が，高家の旗本吉良義央〔吉良上野介〕を江戸城中で傷つけ，改易の上で即日切腹を命じられる。

1702年　大石良雄〔大石内蔵助〕ら赤穂浪士が，江戸本所の吉良邸において仇討ちに成功。

☆赤穂浪士の処分については議論があったが，結局全員（行方不明の１名を除く）切腹を命じられ，泉岳寺に葬られた。

F　**貨幣の改鋳〔元禄金銀〕（1695年）**

あ　原因

幕府財政の破綻（はたん）

☆米を中心とする農民からの貢租（こうそ）収入の増加が見込めない反面，**商品貨幣経済の発達とともに生活水準が上昇，消費生活が華美**（かび）**になった**ことにより，支出が増大した。

☆その他，**綱吉の寺社造営・修築費，明暦の大火（1657年）後の江戸城・市街の再建費，主要鉱山からの金銀産出量の減少**などさまざまな要因があった。

い　実施

1695年，勘定吟味役（のち勘定奉行）**荻原重秀**（おぎわらしげひで）**の建議**により**元禄小判**を鋳造。

☆従来の**慶長小判**の金含有率（がんゆうりつ）（84％）を大きく下回る悪貨（57％）。

う　影響

約500万両の**出目**（でめ）（差額収入）を得て幕府財政は一時的に潤（うるお）ったが，**貨幣価値の低下によりインフレーション〔物価高〕が進行**。消費者である武士・庶民の不満は増大。

☆**富士山の噴火**（1707年，宝永の大噴火）による駿河・相模などの降灰（こうはい）被害が人々に追い打ちをかけた。

☆被災地復興のため全国に「諸国高役（たかやく）（国役）金」を賦課（ふか）。

③結果

A　**幕藩経済の破綻**

支出の増大により，幕府・諸藩の財政難が深刻化。

B　**インフレの激化・極端な動物愛護による社会の混乱**

元禄金銀の改鋳・生類憐みの令が引き起こす。

C　**商品貨幣経済の発達**による**元禄豪商**の出現

あ　**鴻池家**

摂津国伊丹の酒造業から発展。のち**両替商・大名貸**として大きく成長。３代目善右衛門である宗利は**河内国**に**鴻池新田**を開発・経営。

い　**三井家〔越後屋〕**

伊勢国松坂出身の**三井高利〔八郎右衛門〕**が**越後屋呉服店・三井両替店**で財を成し，大きく発展。越後屋では「**現金〔銀〕掛け値なし**」の薄利多売商法を展開した。

☆孫の三井高房は『町人考見録』を著し，安易な大名貸や贅沢を諌めた。

う　**住友家**〔泉屋〕

17世紀後半，４代友芳が**伊予国**で**別子銅山**を発見。銀と銅を分離する南蛮吹を導入し，銅商・両替商として大坂を中心に大きく発展。

え　淀屋辰五郎

蔵元として大坂で財を成したが，幕府から贅沢を咎められ廃業となった。

お　奈良屋茂左衛門　〔奈良茂〕

江戸深川の材木商として財を成し，５代目は遊里・芝居で豪遊の逸話を残すが，商売不振で廃業した。

か　紀伊国屋文左衛門〔紀文〕

紀伊国出身で，江戸に出て材木・蜜柑で財を成した。奈良茂と同様に豪遊の逸話を残すが，商売不振で廃業した。

D　**元禄文化**の開花

商品貨幣経済の発達と，それによる町人の台頭が要因となる。

E　華美の風潮の広まり

武家の士風が著しく退廃した。

３　正徳の政治⇒６代家宣・７代家継の治世（1709年～16年）

①主導者

京学の**朱子学者**である侍講**新井白石**と**側用人間部詮房**が，綱吉の政治（元禄時代）に反発し改革を推進。**将軍の地位・権威の強化および経済復興を主目的とし**，文治政治の頂点をなした。

☆ひと目で序列が明らかになるよう，衣服の制度を整え，家格や身分の秩序を重視した。

---

②政策

1709年　**生類憐みの令を廃止**

☆綱吉の死後，ただちに廃止。

1710年　**閑院宮家の創設**

☆伏見宮・桂〔京極〕宮・有栖川宮に追加して４宮家とし，将軍家と皇室の結びつきを強めた。

宝永小判〔乾字金〕の鋳造

☆金の含有率を慶長小判と同様に戻したが，目方を半分近く落としたので混乱を招いた。

1711年　**朝鮮通信使の待遇簡素化**⇒これまでの使節待遇が丁重にすぎたとした。

☆さらに「**日本国大君殿下**」の号を「**日本国王**」と改めさせたが，**対馬藩**の朱子学者**雨森芳洲**は猛反対した。

1712年　勘定奉行荻原重秀を罷免

６代家宣の死と７代家継の将軍就任⇒わずか３歳

1713年　分地制限令の改正

☆分地高・残高ともに面積１町・石高10石未満になることを禁止。

1714年　正徳小判の鋳造

☆**質・量ともに慶長小判と同様に戻し**物価騰貴を抑えようとしたが，かえって混乱を招き失敗した。

1715年　**海舶互市新例**(かいはくごししんれい)**〔長崎新令・正徳新令〕**

☆銅の輸出能力相応(そうおう)に**長崎貿易を制限し，金・銀流出を防止。**

☆新井白石は，日本の保有する金の４分の１，銀の４分の３が貿易で海外に流出したと推計していた。

☆**中国〔清〕＝年間30隻・銀6000貫目**

オランダ＝年間 ２隻・銀3000貫目

1716年　将軍家継の死

☆まだ７歳で子はおらず，将軍家の本家は途絶える。

---

③結果

A　元禄時代に比べれば，幕政の一時的安定をもたらす。

B　儒教的理想主義に走り，現実と合致(がっち)せず失敗。

C　思うような結果が得られない中，**側近政治が譜代(ふだい)・旗本の反発を買う。**

４　元禄文化

①元禄文化の特色

A　現世を「**浮き世**」とみる**現世肯定的**な風潮が一般化，人間性の追求に主眼が置かれ始めている。

B　**上方（京都・大坂）**の富裕な町人や武士が中心の文化である。

C　幕藩体制が安定し**文治政治が始まった**ことで，**儒学だけでなく学問全般が重視されている。**

D　鎖国体制が確立したことで，外国の影響が少なくなり**日本独自の文化**が成熟。

E　紙の生産や出版・印刷の技術，交通の発達による流通網の発展が，文学・美術・工芸・演劇の広い受容を下支えしている。

---

②文学

文治政治期の朝廷と幕府の協調の影響で，諸大名が公家から和歌の指導を受けたように，和歌は武士の間でさかんになった。それに対し，和歌以外の文学は町人たちが担った。

A　**井原西鶴**

大坂の町人。初め西山宗因に学び談林俳諧で注目されたが，やがて**浮世草子**とよばれる小説に転向。愛欲や金銭に執着しつつ，自らの才覚で「浮き世」を生きる人間の生々しい姿を描写，享楽的現世を大胆に肯定した。

あ　**好色物**

『**好色一代男**』『好色一代女』『好色五人女』

い　**武家物**

『**武道伝来記**』『**武家義理物語**』

う　**町人物**

『**日本永代蔵**』『**世間胸算用**』

B　**松尾芭蕉**

伊賀国出身。奇抜な趣向を狙う談林俳諧に対し，「**さび**・かるみ・しおり・ほそみ」で示される幽玄閑寂の**蕉風〔正風〕俳諧**を確立。連歌の発句に過ぎなかった俳句を，独立した文学作品に高めた。向井去来ら**蕉門十哲**とよばれる弟子を輩出した。

あ　**俳諧紀行文**

『野ざらし紀行』『笈の小文』『**奥の細道**』

☆地方の農村・都市にも，芭蕉の一行を待ち受け支えた人々が存在した。

い　俳句集⇒「俳諧七部集」

『春の日』『冬の日』『ひさご』『猿蓑』など。

C　**近松門左衛門**

武士出身の**人形浄瑠璃・歌舞伎脚本家**。実話や歴史に題材を求め，「憂き世」における義理と人情の葛藤を鋭く描写。

あ　**世話物〔心中物〕**

『**曽根崎心中**』『冥途の飛脚』『心中天網島』など。

い　**時代物**

『**国性爺合戦**』『出世景清』など。

---

③芸能

A　**人形浄瑠璃**⇒現在の**文楽**の源流

近松門左衛門の作品は，語り＝**竹本義太夫**（**義太夫節**として独自に音曲化），人形遣い＝辰松八郎兵衛で，大坂の竹本座において空前の人気を誇った。

B　**歌舞伎**

能や狂言は公家・武家の世界にとどまったのに対し，江戸・上方には常設の**芝居小屋**が置かれるようになり広く普及した。

あ　**市川団十郎**

超人的な**荒事**を得意とし，**江戸**で活躍。

い　**坂田藤十郎**

恋愛劇の**和事**を得意とし，**上方**で活躍。

う　芳沢あやめ

女形の代表として，上方で活躍。

---

④**儒学**⇒文治政治の象徴

幕藩体制が安定期に入り，儒学が人々の社会における役割を説くものとして重視される。

☆とくに**朱子学**〔**宋学**〕は大義名分論など，上下の身分秩序や礼節を重視したため，幕府・諸藩に封建社会の**教学**として手厚く保護された。

A　**朱子学派⇒京学**

あ　**藤原惺窩**の創始⇒京都相国寺の僧

い　**林羅山**〔**道春**〕⇒上野忍ヶ岡に**私塾弘文館**を開設。**林家**の祖。

う　**林鵞峰**〔**春斎**〕⇒羅山を継いで**歴史書『本朝通鑑』を完成**。

え　**林鳳岡**〔**信篤**〕⇒５代綱吉の信任を受け，初代**大学頭**となる。

お　石川丈山

か　**松永尺五**　⇒貞門俳諧の創始者松永貞徳の子。

き　**木下順庵**　⇒**加賀藩主前田綱紀，のち５代将軍綱吉に仕える。**

く　**新井白石**　⇒**６代家宣・７代家継の侍講**として**正徳の政治**を展開。
☆『**読史余論**』『**古史通**』『**藩翰譜**』『**折たく柴の記**』を著す。

け　**雨森芳洲**　⇒**対馬藩宗氏に仕え**，朝鮮通信使問題で新井白石と対立。

こ　**室鳩巣**　⇒**加賀藩主前田綱紀，のち８代吉宗に仕える。**
☆『**六諭衍義大意**』『兼山麗沢秘策』『駿台雑話』を著す。

B　**朱子学派⇒南学**〔**海南学派**〕

あ　**南村梅軒**の創始⇒**土佐**の**谷時中**が継承し，学派を確立。

い　**野中兼山**　⇒土佐藩家老として藩政を主導。

う　**山崎闇斎**　⇒**会津藩主保科正之**に礼遇される。吉川惟足（吉川神道の創始者）に学び神道を儒教流に解釈，道徳性の極めて強い**垂加神道**を唱える。
☆神の道と天皇の徳が一体であることを解くことから，山崎闇斎一門の「崎門学」は，幕末の尊王論の根拠ともなった。

C　**陽明学派**

明の**王陽明**が創始。朱子学の知識偏重を批判，実践を重視し「知行合一」を説いた。時世批判の傾向が強く，幕府から警戒された。

あ　**中江藤樹**　⇒もと朱子学者で**日本陽明学の祖**。近江国に私塾藤樹書院を開設し「近江聖人」とよばれる。
☆『翁問答』などを著す。

い　**熊沢蕃山〔了介〕⇒池田光政に仕え，岡山藩家老となる。**
☆経済政策書『**大学或問**』で，武士の土着や参勤交代の緩和を主張し幕政を批判。**幕府により下総国古河に幽閉される。**

D　**古学派**

孔子・孟子の原典への復帰を主張し，実証・典拠を重視。朱子学を批判した。

あ　**山鹿素行**　⇒独自に「**聖学**」を唱え朱子学を攻撃，幕府により播磨国赤穂に流される。
☆『**聖教要録**』『**中朝事実**』『**武家事紀**』を著す。
☆「**士道**」**の大成者**としても有名。

い　**伊藤仁斎・東涯⇒京都**堀川に**私塾古義堂〔堀川塾〕**を開設し，**古義学派〔堀川学派〕**を創始。
☆父の仁斎は『論語古義』『孟子古義』『童子問』，子の東涯は歴史書『制度通』などを著す。

う　**荻生徂徠**　⇒**江戸**に**私塾蘐園塾**を開設し，**古文辞学派〔蘐園学派〕**を創始。**柳沢吉保のち８代吉宗に仕える。**
☆吉宗の諮問に答え『**政談**』を献じ，統治の具体策を説く**経世論**を展開。

え　**太宰春台**　⇒師の荻生徂徠の経世論を継承・発展させ，『**経済録**』『**経済録拾遺**』を著す。

E　**折衷学派**

先行の諸学説を選択・折衷して正しい解釈に達しようとする学派。片山兼山・井上金峨らが唱え，田沼時代に流行した。

F　**考証学派**

経書の解釈を，一定の思想的立場から行うのではなく，確実な典拠にもとづき実証的かつ客観的に行おうとする学派。江戸時代後期にさかんとなり，その文献考証の方法は，国学や歴史学に多大な影響を与えた。

⑤諸学問の発達

儒学の発達が，合理的で現実的な考えという点で他の学問にも大きな影響を与えた。

A　**歴史学**

あ　**林家**(りんけ)　⇒**林羅山**(はやしらざん)・**鵞峰**(がほう)父子が，幕命により『**本朝通鑑**(ほんちょうつがん)』を編纂。
☆北宋の『資治通鑑(しじつがん)』にならった編年体の歴史書。

い　**水戸藩**　⇒**徳川光圀**(みつくに)が明から**朱舜水**(しゅしゅんすい)を招き，江戸の**彰考館**(しょうこうかん)で神武(じんむ)〜後小松天皇を紀伝体で著す『**大日本史**(だいにほんし)』を編纂。明治期の1906年完成。

う　**新井白石**　⇒『**読史余論**(とくしよろん)』『**古史通**(こしつう)』『**藩翰譜**(はんかんふ)』を著す。

B　**本草学**⇒薬学を中心とする博物学

あ　**貝原益軒**(かいばらえきけん)　⇒『**大和本草**(やまとほんぞう)』を著す。朱子学者でもあり，教育書『**和俗童子訓**』や養生書の『養生訓』も有名。

い　**稲生若水**(いのうじゃくすい)　⇒**加賀藩主前田綱紀に仕え**，『**庶物類纂**(しょぶつるいさん)』を著す（死後に完成）。

C　**農学**

宮崎安貞(やすさだ)が著した初の本格的農書『**農業全書**』が広く普及する。
☆明の徐光啓(じょこうけい)が編んだ『農政全書』の影響を受ける。

D　**和算**⇒測量・商取引などの必要から発達した日本独自の数学

あ　**吉田光由**(よしだみつよし)　⇒和算・算盤(そろばん)の普及に功績があった。『**塵劫記**(じんこうき)』を著す。

い　**関孝和**(せきたかかず)　⇒筆算式代数学・円理(えんり)の創始などに多大な業績をあげた。『**発微算法**(はつびさんぽう)』を著す。

E　**天文**(てんもん)・**暦学**(れきがく)

1684年，**安井算哲**(やすいさんてつ)〔**渋川春海**(しぶかわしゅんかい)〕が日本独自の**貞享暦**(じょうきょうれき)を完成，幕府の**天文方**(てんもんかた)に任命される。

F　**医学**（古医方(こいほう)＝理論より実践中心の古代漢方医学）

あ　名古屋玄医(げんい)⇒日本における古医方の先駆者。京都の医師。

い　**山脇東洋**(やまわきとうよう)　⇒18世紀半ば，初めて腑分(ふわ)け（死体の解剖）を行い『**蔵志**(ぞうし)』を著す。京都の医師。

G　**洋学**の先駆

あ　**西川如見**(じょけん)　⇒**長崎**の天文・地理学者。『**華夷通商考**(かいつうしょうこう)』を著す。

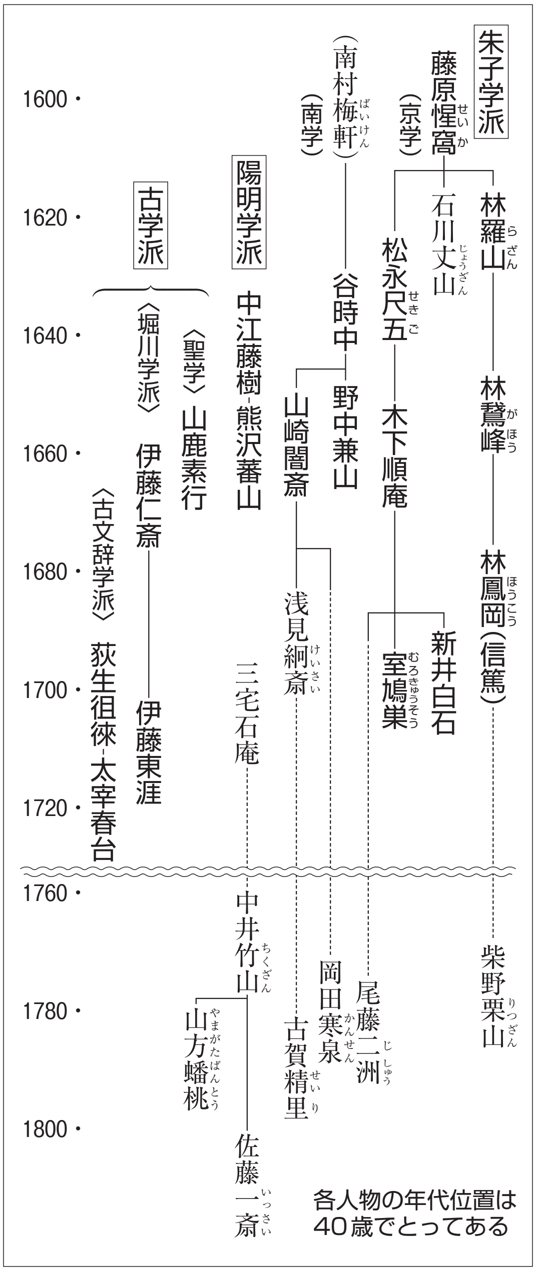
い　**新井白石**　⇒**屋久島**(やくしま)に潜入した**イタリア人宣教師シドッチ**を尋問(じんもん)し，『**采覧異言**(さいらんいげん)』『**西洋紀聞**』を著す。

H　国文学の研究⇒のち**国学**へと成長

あ　**北村季吟**(きぎん)　⇒幕府の**歌学方**。『**源氏物語湖月抄**(こげつしょう)』などを著す。

い　**戸田茂睡**(もすい)　⇒古今伝授(こきんでんじゅ)や制(せい)の詞(ことば)（＝和歌に使えない言葉）など，中世歌学の伝統を排除。『**梨本集**』を著す。

う　**契沖**(けいちゅう)　⇒下河辺長流(しもこうべちょうりゅう)の影響を受け，徳川光圀(みつくに)（水戸藩）の依頼で『**万葉代匠記**(まんようだいしょうき)』を著す。



儒学者系統図

⑥芸術

A　建築

あ　**東大寺大仏殿（大和国）**⇒世界最大の木造建築

い　善光寺本堂　（信濃国）

B　庭園

将軍が大名屋敷を訪れる「御成」が増え，大名側も屋敷に趣向を凝らした廻遊式庭園を設けた。

あ　後楽園（江戸，水戸藩）

☆明の朱舜水の儒教思想の影響がみられる。

い　後楽園（備前国，岡山藩）

☆水戸の偕楽園，金沢の兼六園とともに日本三名園とされる。

う　六義園（江戸，柳沢吉保）

☆５代将軍綱吉の側用人であった柳沢吉保自らが設計した庭園。

C　絵画

あ　**狩野派**

幕府や大名の御用絵師として画壇に君臨するが，マンネリズムにより衰退。破門された？英一蝶は風俗画で注目を浴びる。

い　**土佐派**

土佐光起が朝廷絵所預となり土佐派を再興するが，画風は停滞。

☆『秋郊鳴鶉図』（土佐光起）

う　**住吉派**

住吉如慶の子**具慶**が土佐派に対抗し分離。狩野派に加えて幕府御用絵師となり江戸に大和絵を広めるが，創造性に欠け衰退した。

☆**『洛中洛外図巻』（住吉具慶）**

え　**琳派**

京都の**尾形光琳**が，俵屋宗達の装飾的な画法を取り入れ創始。装飾画において光琳模様を完成。

☆**『紅白梅図屛風』『燕子花図屛風』（尾形光琳）**

☆光琳は蒔絵**『八橋蒔絵螺鈿硯箱』**も制作。

お　**浮世絵**⇒民衆的風俗画

安房国出身の**菱川師宣**が浮世絵版画を創始。安価に入手できることもあり人気を得たが，当時は一枚絵は少なく，多くは絵本・挿絵本。

☆**『見返り美人図』（菱川師宣の肉筆画）**

D　工芸・その他

あ　陶磁器

野々村仁清が上絵付法をもとに**色絵**を完成，**京焼の祖**となる。

☆『色絵藤花文茶壺』『色絵月梅文茶壺』『色絵吉野山図茶壺』(野々村仁清)

☆仁清に学んだ**尾形乾山**(光琳の弟)も装飾的で高雅な作品を残す。

い　染物

京都の**宮崎友禅**が，**友禅染**〔京友禅〕を創始。綸子や縮緬の生地に華やかな模様を表した。

☆のち金沢で加賀友禅も興る。

う　**鉈彫**

ノミで彫った跡を木の表面に残す荒削りで素朴な作品。美濃国出身の**円空**が蝦夷地を含む全国を行脚し，各地で多数の仏像(円空仏)や神像を制作。

☆『**両面宿儺像**』『護法神像』**(円空)**

５　農業の発達

①耕地面積の増大

幕府・藩の勧農政策を背景に，164万町歩（17世紀初め）から297万町歩（18世紀初め）へと，**２倍**近くに増大した。

A　治水・灌漑技術の進歩

あ　**玉川上水**　（1654年）

江戸の町人玉川兄弟（庄右衛門・清右衛門）により完成。多摩川から江戸に引水。神田上水とともに江戸市中の飲用水となった。

い　**箱根用水**　（1670年）

駿河国深良村の名主大庭源之丞・江戸浅草の町人友野与右衛門により完成。相模国芦ノ湖から引水。

う　**見沼代用水**（1728年）

幕臣の井沢弥惣兵衛が，見沼新田（武蔵国）開発のため利根川から引水。

B　**新田開発**

開発後，検地を受けるまでの数年間は**鍬下年季**といい，年貢諸役の徴収はなかった。また，本田畑と異なり勝手作も許されたので，農民も積極的に開発に取り組んだ。

☆椿海（下総国）などの干拓も行われた。

あ　土豪開発新田

い　**代官見立新田**

う　藩営新田

え　村請新田

お　**町人請負新田**

川口新田（摂津国），**紫雲寺潟新田（越後国）**，**鴻池新田（河内国）**，佐倉新田（下総国）など。

②農業技術の発達

A　**農具の改良**

しかし，大型の農具などを用いた大規模な農業は発達しなかった。

あ　**備中鍬**⇒田の深耕具，従来の風呂鍬にかわり普及。

い　**千歯扱**⇒稲の脱穀具，従来の扱箸にかわり普及。俗に“**後家倒し**”という。

う　殻竿　⇒穀類･豆類の脱穀具，竿の先に短い竿を付けて回転させ打つ。

え　**唐箕**　⇒玄米と籾殻の選別具，従来の箕にかわり普及。

お　**千石簁**⇒米と糠の選別具，万石通という場合もある。

か　**踏車**　⇒水田の揚水機，故障がちで効率の悪い**竜骨車**にかわり普及。

B　**金肥**の使用⇒商品作物栽培に使用

従来の刈敷・草木灰や厩肥・下肥に加え，**干鰯**・**〆粕**・**油粕**・糠などを使用。

C　農薬の使用

享保期以降，おもに西日本で害虫（蝗・ウンカなど）の駆除に鯨油を使用。また，虫送りという悪霊退散の行事もあった。

D　**農学**の発達と農政家

あ　『**清良記**』（寛文期？）

著者不明，土居清良をめぐる軍記物語で，その一部分は新しい栽培技術や農業知識を説く，わが国最古の農書とされる。

い　『**農業全書**』**（元禄期）**

明の徐光啓の『農政全書』を学んだ**宮崎安貞**（福岡藩に仕えたのち帰農）が，見聞・体験をもとに1697年に完成。**わが国初の本格的農書**。

う　『**民間省要**』**（享保期）**

東海道川崎宿の名主から代官に抜擢された**田中丘隅**が，８代将軍吉宗に献じた意見書。

え　『**農政本論**』**（化政期）**

経世家**佐藤信淵**が著した農政論。

お　『**広益国産考**』『**農具便利論**』**（化政期）**

諸国を廻った農政家**大蔵永常**が著した農書。商品貨幣経済の発展に対する農家経営として，商業的農業・農産加工を力説した。

か　**二宮尊徳〔金次郎〕（天保期）**

相模国小田原藩の農民出身。農業技術と道徳とを結びつけた独自の

「**報徳仕法**」による農村復興に心血を注いだ。のち水野忠邦に登用され幕臣となる。

☆その節約・勤勉の精神は，戦前の修身教育の素材となった。

き　**大原幽学（天保期）**

全国を流浪後，下総国で村政改革に尽力した農民指導者。のち幕府から農民扇動の嫌疑をうけ自害。

く　その他の農書

『会津農書』（佐瀬与次右衛門），『百姓伝記』（著者不明），『耕稼春秋』（土屋又三郎），『田法記』（岩崎佐久治），『老農夜話』（中台芳昌）など。

---

③商品作物栽培の発達

商業的農業の進展。地主たちは余剰米も商品として販売した。

A　**四木**

楮・桑・茶・漆

B　**三草**

紅花・藍・麻

C　その他

綿花〔木綿〕・甘藷〔さつまいも〕・甘蔗〔さとうきび〕・櫨〔蠟〕・朝鮮人参など。

D　**特産物・特産地**の形成

紅花（出羽村山〔最上〕），漆（会津・輪島など），葡萄（甲斐），蜜柑（紀伊），茶（山城宇治・駿河），**油菜〔菜種〕（近江・摂津・河内）**，**綿花〔木綿〕（河内・尾張・三河**・伊勢など），藺草（備前・備中・備後），**藍〔藍玉〕（阿波）**，黒砂糖（薩摩・讃岐），タバコ（薩摩）など。

---

④**牧畜の発達**⇒農耕・軍事・交通用として牛馬を重視

A　馬

南部藩，津軽藩など東北地方。

B　牛

但馬，出雲など山陰地方。

６　諸産業の発達

①**林業**(りんぎょう)⇒日本は国土の大半が山でおおわれている

A　城下町における建築資材の大量需要

17世紀末以降，飛騨や紀伊の材木(ざいもく)問屋の活躍により，産地は陸奥・出羽や蝦夷地まで広がる。

B　**幕府・諸藩の保護**や植林

尾張藩の**木曽檜**(きそひのき)，秋田藩の**秋田杉**など。

☆専業の職人を杣人(そまびと)とよぶ。

C　その他

紀伊熊野や伊豆・下総などでは高級な炭がつくられ，幕府・大名への貢納品や，三都・城下町向けの商品として販売された。

☆木地師(きじし)とよばれる木工職人も各地で活躍し，木製の器や日用品が多くつくられた。

---

②**漁業**⇒日本は周囲をすべて海に囲まれている

A　漁法(ぎょほう)

地曳網(じびきあみ)・船引網(ふなびきあみ)・定置網(ていちあみ)などの網漁(あみりょう)を中心とする，**上方漁法**(かみがた)の伝播(でんぱ)。

☆摂津・和泉・紀伊などの上方漁民により全国に広がった。

☆入会(いりあい)漁業(共同)から網元(あみもと)経営(網元と網子(あみこ))へ。

B　獲物と漁場

鰯(いわし)**(上総**(かずさ)**九十九里浜)**，**鰊**(にしん)**(蝦夷地松前)**，鮪(まぐろ)(肥前五島(ごとう))，鰹(かつお)(土佐)，鯛(たい)(瀬戸内海)，**鯨**(くじら)(紀伊・土佐・長門(ながと)・肥前)，**コンブ(蝦夷地)**，**俵物**(たわらもの)**〔俵物三種＝いりこ・干**(ほ)**し鮑**(あわび)**・ふかひれ〕(蝦夷地)**，海苔(のり)(江戸湾)，かき(広島湾)など。

---

③**製塩業**(せいえんぎょう)

瀬戸内海沿岸を中心に，**入浜塩田**(いりはまえんでん)が発達。

☆**赤穂**(あこう)**(播磨国)**，行徳(ぎょうとく)(下総国)など。

---

④鉱山業⇒17世紀後半に金・銀は減少

A　**幕府直営**

金山(**佐渡相川**・伊豆)，**銀山**(**但馬生野・石見大森**)，**銅山**(**足尾**)など。

B　藩営

あ　秋田藩

銀山(院内・阿仁)，銅山(阿仁)

い　南部藩

銅山(尾去沢)，鉄山(釜石)

☆釜石鉄山は，幕末に鉄鉱石と木炭で製鉄を開始。

C　**住友家**〔泉屋〕の経営

銅山(**別子**)

D　技術の進歩⇒露天掘から坑道法へ

あ　**灰吹法**(金銀)

室町時代，**博多商人神谷寿禎**により朝鮮から伝来。

い　南蛮吹(銅)

銀と銅を吹き分ける方法。住友家が別子銅山で導入。

う　**たたら精錬**〔製鉄〕

砂鉄と木炭を原料として玉鋼をつくり出す方法。出雲地方を中心に古代から行われる。

E　その他の資源

石油(越後)，**石炭**(**肥前**)など。

〈***Note***〉

７　手工業の発達

①生産形態の発展

A　**農村家内工業**　（**17世紀**）

原料・器具ともに農家の自前で行う手工業。

B　**問屋制家内工業**（**18～19世紀**）

問屋商人が資金・原料・器具を前貸しし，農家で行う手工業。

C　**工場制手工業〔マニュファクチュア〕**（**19世紀**）

奉公人〔賃金労働者〕を１カ所に集め，**分業にもとづく協業**を行う。

☆酒造業・鉱山業では，17世紀の段階ですでにみられた。

---

②織物業

A　**絹**⇒高級品

18世紀中ごろには，京都西陣の**高機**による技法が，桐生など各地の機業地に広まる。

☆**西陣織**（**京都**），**桐生絹**・伊勢崎絹（**上野**），**足利絹**（**下野**），結城紬（下総），**丹後縮緬**（**丹後**），上田紬（信濃），博多織（筑前）など。

B　**麻**と**木綿**⇒庶民の代表的衣料

地機〔いざり機〕による農村の女性労働力が支える。

☆**麻**　⇒**越後縮**〔**小千谷縮**〕（**越後**），近江麻〔近江蚊帳〕（近江），奈良晒（大和），薩摩上布（薩摩）など。

☆**木綿**⇒**久留米絣**（**筑後**），小倉織（豊前），有松絞（尾張），尾張木綿，河内木綿など。

---

③その他の手工業と名産

A　**和紙⇒流漉（ながしすき）**の技術が普及

奉書紙（ほうしょがみ）・鳥（とり）の子紙(越前)，**美濃紙(美濃)**，**杉原紙（すいばらがみ）(播磨)**，土佐紙(土佐)など。

☆楮（こうぞ）をおもな原料とする。

B　**陶磁器**

有田焼（ありたやき）〔伊万里焼（いまりやき）〕(肥前)，**京焼（きょうやき）**〔清水焼（きよみずやき）など〕・楽焼（らくやき）**(京都)**，**瀬戸焼**・常滑焼（とこなめやき）**(尾張)**，美濃焼〔多治見焼（たじみやき）〕(美濃)，**九谷焼（くたにやき）(加賀)**，信楽焼（しがらきやき）(近江)，備前焼(備前)，萩焼（はぎやき）(長門)，高取焼（たかとりやき）(筑前)，**唐津焼（からつやき）(肥前)**など。

☆各地の城下町近郊では，安価な素焼（すやき）が大量に生産された。

C　**漆器（しっき）**

輪島塗（わじまぬり）(能登（のと）)，**会津塗**・南部塗**(陸奥)**，飛騨（ひだ）春慶塗(飛騨)など。

D　**醸造（じょうぞう）**

あ　**清酒（せいしゅ）**　　**伏見(山城)**，**灘・伊丹（いたみ）**・池田**(摂津)**など。

い　**醤油（しょうゆ）**　　**野田・銚子（ちょうし）(下総)**，京都，竜野（たつの）(播磨)，湯浅(紀伊)など。

８　交通の発達

①背景

豊臣政権に続く江戸幕府の全国統一による，**商品流通網の形成**と参勤交代の制度化。

☆商品作物生産が進展，庶民の旅行も増加。

---

②水上交通⇒大量のモノの移動

A　河川(かせん)・湖沼(こしょう)交通

淀川(よどがわ)・利根川(とねがわ)・信濃川(しなのがわ)や琵琶湖・霞ヶ浦(かすみがうら)水運がとくに発達。

あ　**角倉了以(すみのくらりょうい)（京都）**が開発

保津川(ほづ)〔大堰川(おおい)〕・**賀茂川(かも)・高瀬川(たかせ)（山城），天竜川（遠江(とおとうみ)），富士川（駿河）**

い　**河村瑞賢(かわむらずいけん)（江戸）**が開発

安治川(あじ)（摂津）

B　海上交通

あ　**南海路　　　　　　（大坂⇒⇒⇒江戸）**

菱垣廻船(ひがきかいせん)（17世紀前半～），**樽廻船(たる)**（18世紀前半～）が就航(しゅうこう)。

☆19世紀以降，船足(ふなあし)の速さにより**樽廻船が圧倒的優位**に立つ。

☆その他に尾州(びしゅう)廻船の内海船(うつみぶね)なども就航。

い　**東廻り海運〔航路〕（東北⇒⇒⇒江戸）**

寛文(かんぶん)年間の1671年，**河村瑞賢が整備**。

う　**西廻り海運〔航路〕（東北⇒⇒⇒大坂）**

寛文年間の1672年，**河村瑞賢が整備**。

☆出羽の酒田を起点としていたが，のち蝦夷地まで延長され，日本海には**北前船(きたまえぶね)**が就航。

〈***Note***〉

③**陸上交通**⇒ヒトの移動のちモノの移動も

幕府・大名・旗本などの御用通行が最優先とされる。

A　**五街道**⇒江戸の**日本橋**(にほんばし)を起点とし，17 世紀半ばからは**道中奉行**(どうちゅう)により管理された。

あ　**東海道**　（**江戸日本橋～京都三条大橋**）

品川～大津**53**宿に100人·100疋(ぴき)を常備。のち大坂まで４宿を加え延長。

☆**関所⇒箱根（相模国），新居**(あらい)**〔今切**(いまぎれ)**〕（遠江国）**

い　**中山道〔中仙道〕**　（**江戸～草津**）

板橋(いたばし)～守山(もりやま)**67**宿に50人・50疋を常備。

☆関所⇒碓氷(うすい)〔横川〕（上野国），木曽福島（信濃国）

う　**甲州道中〔甲州街道〕（江戸～下諏訪**(しもすわ)**）**

内藤新宿(ないとうしんじゅく)～上諏訪(かみすわ)44宿に25人・25疋を常備。

☆関所⇒小仏(こぼとけ)（武蔵国）

え　**日光道中〔日光街道〕（江戸～日光）**

千住(せんじゅ)～鉢石(はついし)21宿に25人・25疋を常備。

☆関所⇒栗橋(くりはし)（武蔵国）

お　**奥州道中〔奥州街道〕（宇都宮**(うつのみや)**～白河）**

千住～白河27宿に25人・25疋を常備。

☆宇都宮までの17宿は日光道中と共通。

B　**脇街道〔脇往還**(おうかん)**〕**⇒勘定奉行が管理

伊勢街道，北国(ほっこく)街道，中国街道・長崎街道など。

C　その他の街道

例幣使(れいへいし)街道（中山道の倉賀野(くらがの)～日光道中の今市(いまいち)）

☆朝廷から日光東照宮への使者（日光例幣使）が通行。

D　設備

あ　**宿駅〔宿場〕**

問屋場(といやば)　⇒伝馬役の差配・公用の書状・継飛脚(つぎびきゃく)の人馬継立(じんばつぎたて)などを行う，公営の施設。

本陣(ほんじん)**・脇本陣**　⇒大名・公家・幕府役人が利用する民営の宿。

旅籠屋(はたごや)**・木賃宿**(きちんやど)⇒一般旅行者が利用する民営の宿。

い　その他

一里塚(いちりづか)（36町＝約４kmごと），並木，橋，渡船場(とせんば)，茶屋，馬，駕籠(かご)など。

E　障害

治安維持を目的としたが，商品輸送には悪影響。

あ　**関所**

日の出から日の入りまで通行可能で，通行には関所手形が必要。とくに関東地方の関所では「**入鉄砲に出女**」を厳しく取り締まった。

い　渡し（架橋の禁止）

川越人足⇒**大井川**・安倍川（**駿河国**）など。

渡船　　⇒天竜川（遠江国），富士川（駿河国）など。

☆その他，海路を行く“七里の渡し”（東海道の宮～桑名）もあった。

F　通信⇒**飛脚**

あ　**継飛脚**

幕府公用の飛脚。老中・京都所司代・大坂城代など幕府高官の利用に限られた。

い　**大名飛脚**

藩公用の飛脚。江戸藩邸と国許・大坂蔵屋敷との連絡にあたった。

う　**町飛脚**〔定六・三度飛脚〕

一般の飛脚。三都の商人が運営する**飛脚問屋**が業務を扱った。

---

④結果

三都（江戸・大坂・京都）を中心としたモノ・ヒトの集散が活発化し，全国市場を形成。

９　商業の発達

①背景

A　**幕府・諸藩の年貢米換金(かんきん)の必要性**

B　**幕藩体制の確立による武士の都市生活**

☆参勤交代による江戸・主要街道の発展と各地の城下町の発展。

C　**全国的な交通網(もう)の発達**

D　**準(じゅん)統一的貨幣の使用**

---

②全国的商品流通網の成立

A　**蔵物(くらもの)（年貢米・国産品）・納屋物(なやもの)**（一般流通品）の流通

三都に大量に流入・消費後，全国へ。

B　**蔵元(くらもと)・掛屋(かけや)**

大坂中之島(なかのしま)などに諸藩が設置した**蔵屋敷(くらやしき)**で業務に従事。

☆蔵元は**蔵物の出納(すいとう)・売却**，掛屋は**代銀(だいぎん)（代金）の保管や藩への送付**にあたるが，双方を兼任する場合も多かった。

C　**札差(ふださし)**〔蔵宿(くらやど)〕

江戸浅草の蔵前(くらまえ)で，**旗本・御家人相手に蔵米(くらまい)の換金にあたる。**

D　**卸売市場(おろしうり)**〔専門市場〕

都市の**問屋**が，生産地や都市の**仲買(なかがい)**を通じ，**小売(こうり)**や武家に対して納屋物を売却。

あ　**大坂**

堂島(どうじま)の米市(こめいち)，雑喉場(ざこば)の魚市(うおいち)，天満(てんま)の青物市(あおものいち)。

い　**江戸**

日本橋の魚市，神田の青物市。

う　名古屋

熱田の魚市，枇杷島(びわじま)の青物市。

---

③問屋商人の発達

同業・異業を問わず，利害を同じくする団体である**仲間**・組合を形成。**仲間掟**(おきて)を定めて営業の独占をはかる。**大坂**の十人両替(じゅうにんりょうがえ)や**二十四組問屋**(**荷積**(にづみ)**問屋**)，**江戸**の**十組**(とくみ)**問屋**(1694年結成，**荷受**(にうけ)**問屋**)などが有名。

---

④株仲間の結成

A　意味

株札(かぶふだ)の交付(こうふ)をうけ，**株(幕府・諸藩公認の営業独占権)**をもつ**仲間**。都市問屋商人が主流となった。

B　変遷(へんせん)

あ　江戸時代初期(17世紀前半)＝禁止(糸割符仲間･金座･銀座などは例外)

☆初代将軍家康

い　元禄時代　　(17世紀後半)＝黙認(もくにん)

☆５代将軍綱吉

う　享保の改革　(18世紀前半)＝公認

☆８代将軍吉宗

え　**田沼時代　　(18世紀後半)＝奨励**(しょうれい)(**運上**(うんじょう)・**冥加**(みょうが)を納めさせる)

☆10代将軍家治(いえはる)，**老中田沼意次**(たぬまおきつぐ)

お　**天保の改革　(1841年)　　＝解散**

☆12代将軍家慶(いえよし)，**老中首座水野忠邦**(みずのただくに)

か　**嘉永**(かえい)**年間　　(1851年)　　＝再興**(在郷商人も参加)

☆12代将軍家慶，老中首座阿部正弘(あべまさひろ)

き　明治維新期　(1872年)　　＝廃止

☆明治新政府

C　義務

運上(うんじょう)〔**運上金**〕・**冥加**(みょうが)〔**冥加金**〕とよばれる営業税を負担。

---

⑤その他の商人の活躍

近江(おうみ)商人が全国に進出，富山売薬(ばいやく)商人も活躍した。

10　貨幣と金融

①三貨（金貨・銀貨・銭貨）

A　**金座⇒後藤庄三郎**の管轄

江戸・京都に設置後，**江戸**に一本化。**小判**などの金貨を鋳造。当初は京都の大判座（後藤四郎兵衛の管轄）も含んだ呼称，のち江戸の小判座のみをさす。

☆金貨の単位＝両・分・朱の４進法

B　**銀座**⇒大黒常是らの管轄

伏見・駿府に設置，京都・江戸に移されたのち，最終的に**江戸**に一本化。**丁銀・豆板銀**などの銀貨を鋳造。

☆銀貨の単位＝貫・匁・分・厘・毛（重量単位）

C　**銭座**⇒民間請負で金座・銀座の支配を受ける

江戸･坂本に設置後，10カ所前後に拡大。**寛永通宝**（1636年～）などの**銅銭**･鉄銭・真鍮銭を鋳造。

☆銭貨の単位＝貫・文

D　**問題点**

あ　**金貨・銭貨は計数〔定位〕貨幣，銀貨は秤量貨幣。**

☆田沼時代の明和五匁銀・**南鐐二朱銀**は，例外的な計数銀貨。

い　**江戸（東日本）の金遣い，大坂（西日本）の銀遣い。**

う　**三貨換算率の変動**による混乱

☆1609年，**金１両＝銀50匁＝銭４貫〔4000文〕**と公定されたが，1700年，金１両＝銀60匁と改めた。実際はその時々の相場に従う。

え　結局，明治時代まで**正式な統一的貨幣制度は成立せず。**

---

②紙幣

A　**藩札**⇒17世紀後半～

藩内のみに通用，発行には幕府の許可が必要だが，大多数の藩が利用。

☆1661年，福井〔越前〕藩発行のものが最初。

B　私札⇒江戸時代前期

畿内やその周辺の先進地域で商人が少額を発行。大坂・堺など地域限定で通用。

---

③両替商

A　**本両替**（ほんりょうがえ）⇒大坂に多い

三貨の両替や秤量をおもに，預金（よきん）・貸付・為替（かわせ）・手形発行などの銀行業務も行い，**大名貸**（だいみょうがし）となる者もあった。

☆幕府や藩の公金の出納を行うものもあり，財政活動を支えた。

☆大坂の有力な本両替は，十人（じゅうにん）両替に選任(1670年＝寛文年間)される。

☆**鴻池**（こうのいけ）・天王寺屋・平野屋(**大坂**)，三谷（みたに）・鹿島（かじま）屋(江戸)，**三井両替店(三都)**などが有名。

B　銭（ぜに）両替⇒各地に存在

手数料を取り，金・銀貨と銭貨の交換を行う。商品売買との兼業も多かった。

---

④庶民金融

A　質屋・高利貸

B　無尽（むじん）・頼母子（たのもし）⇒相互金融

11　三都の発達⇒17世紀後半

①江戸（「将軍のお膝元」）

1457年，扇谷上杉家の執事**太田道灌**が**江戸城**を築城。1590年の**徳川家康入府**以降，急速に発展。**明暦の大火（1657年）からの復興**後，市域をさらに拡大。幕府所在地で，大名の藩邸や旗本・御家人の屋敷もあり，**人口100万人**を超える世界有数の**政治都市・消費都市**。

---

②大坂（「天下の台所」）

豊臣秀吉が，石山本願寺跡に**大坂城**を築き，堺などの町人を移住させて発展。中之島を中心に諸藩が**蔵屋敷**を置き，年貢米や国産品を**蔵物**として販売，**全国の物資を集散**する**商業都市**。幕府は大坂城代・大坂町奉行を置き，西日本支配の要とする。人口約35～40万人。

---

③京都

古代からの**朝廷所在地**で，寺院の本山や大寺社があり，医者・儒者・芸能者が集中する**首都・文化都市**。幕府は京都所司代・京都町奉行・二条城代を置き，西日本の管轄と朝廷・寺社の統制や畿内・周辺諸国の支配に当たった。人口約35～40万人。

☆呉服屋・両替商など大商人の本店も多く存在し，西陣織・友禅染・京焼などを代表とする高い技術を用いた手工業生産も発達した。

〈*Note*〉

第 14 講　確認問題

1　３代将軍家光が亡くなり，慶安の変〔由井正雪の乱〕が発覚した年は？

①1639年　②1643年　③1651年　④1657年

2　甥の４代将軍家綱を補佐した会津藩主とは？

①徳川忠長　②松平信綱　③保科正之　④松平容保

3　岡山藩主池田光政が設立した，わが国初の郷学とは？

①閑谷学校　②花畠教場　③明倫館　④弘道館

4　５代将軍綱吉を擁立し，大老に就任した人物とは？

①酒井忠清　②堀田正俊　③柳沢吉保　④間部詮房

5　元禄金銀の改鋳を行った荻原重秀の，1695年当時の役職とは？

①勝手掛老中　②側用人　③勘定吟味役　④佐渡奉行

6　1715年の海舶互市新例〔長崎新令・正徳新令〕で１年間に認められたオランダ船の隻数とは？

①２隻　②30隻　③70隻　④80隻

7　次のうち，井原西鶴の浮世草子ではないものを一つ選べ。

①『好色一代男』　②『武道伝来記』　③『日本永代蔵』　④『武家事紀』

8　６代将軍家宣・７代将軍家継の侍講として「正徳の政治」を展開した新井白石の著書としてふさわしくないものを一つ選べ。

①『読史余論』　②『藩翰譜』　③『采覧異言』　④『政談』

9　独自に「聖学」を唱え，『聖教要録』を著して朱子学を批判，幕府により播磨国赤穂藩に流された古学者とは？

①山鹿素行　②伊藤仁斎　③伊藤東涯　④荻生徂徠

10　５代将軍綱吉により「歌学方」に任命された人物とは？

①林鳳岡〔信篤〕　②安井算哲〔渋川春海〕　③北村季吟　④契沖

11　日本三名園の一つである，岡山藩池田氏の庭園とは？

①兼六園　②後楽園　③偕楽園　④六義園

12　京焼の創始者とされる芸術家とは？

①本阿弥光悦　②酒井田柿右衛門　③野々村仁清　④尾形乾山

解答

1	③	2	③	3	①	4	②	5	③
6	①	7	④	8	④	9	①	10	③
11	②	12	③						

〈Memo〉

Ⓒ RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

はじめに

スタンダードレベル日本史にようこそ。この講義は，私大入試の土台づくりや、共通テストおよび基礎知識しか必要のない東京大学のような国立大学二次試験を受験する人に必要な知識をつけてもらうためのものです。高１・２生が受講しても全く問題ありません。文化史を含む日本史探究をコンパクトに解説していきます。講義の性質上，スピードは速く，板書も極力省いてあります。そのかわり，テキストは，このレベル設定においては他の追随を許さない詳しさです。

①受講の仕方

予習は必要ありません。そのままいきなり受講してください。「○○してから」等と言い訳をしているといつまでもスタートできません。

※とはいえ、それでも不安な人は、中学歴史講座を見直してもらう程度で結構です。高校教科書を一読してから、では決してありません。この講座はそれをやっていくに等しいレベル設定ですから。すなわち、一緒に教科書を隅々まで読んでいこう、ということです。

②板書について

基礎〔ベーシック〕を黄，応用〔スタンダード〕を白，発展〔ハイレベル〕を赤で。ただ，授業はあくまでも聞くものだと思うので，極力少なくしています。板書は、テキストにそのまま書きこんでください。特別にノートを用意する必要はありません。

※その時々で授業内で指示はしますが、多めの板書をテキストの空白部分に写してもらう際は、映像を停止して行えば焦りが取れ、知識の定着率がよくなります。

③復習について

最低限が、テキストをざっと見直す⇒確認テスト。理系や共通テスト以外必要ない文系の人はこれに過去問を加えれば十分でしょう。最大限が、テキストをざっと見直す⇒確認テスト⇒日を空けて教科書・参考書など読み物⇒問題集⇒日を空けて一問一答集⇒年代や将軍・内閣などの暗記⇒過去問などというのが一連の流れです。ただし、受験科目は日本史探究だけではないので、必要なものを選択し、なるべく効率よい勉強を心がけてください。

最終的に出来るようになれば何でも結構です。映像も何度も見直す必要はありませんし、倍速で見ていただいても結構です。そのためにわざとゆっくり話しています。

※覚えていないのに問題を解くのですか？　とよく聞かれます。すでに覚えてるなら解く必要はないですよね。解いてから覚えるのではなく，解いて，間違えて覚えるのです。

歴史は暗記科目ですから、覚えさえすれば必ずできるようになる科目です。効率のよい方法をこの講座が提示します。

怖がりすぎず、がんばってくださいね。

伊藤賀一

目　次

第15講　江戸時代Ⅳ	p４
第16講　江戸時代Ⅴ	p22
第17講　江戸時代Ⅵ	p46
第18講　明治時代Ⅰ	p66
第19講　明治時代Ⅱ	p84
第20講　明治時代Ⅲ	p106
第21講　明治時代Ⅳ	p140
第22講　明治文化	p160
第23講　大正時代Ⅰ	p188
第24講　大正時代Ⅱ・昭和時代Ⅰ	p222
第25講　昭和時代Ⅱ	p258
第26講　昭和時代Ⅲ	p292
第27講　昭和時代Ⅳ	p322
第28講　昭和時代Ⅴ・平成時代	p340

〈*Note*〉

第 15 講　江戸時代Ⅳ

1　享保の改革

はじめて御三家の**紀伊藩主**から**８代将軍**となった，**徳川吉宗**の治世（**1716年**〜45年）。

①性格

A　復古理想主義

「諸事権現様（＝家康）御掟の通り」

☆1728年に65年ぶりの日光社参を命じ，強い将軍像を誇示。

B　財政再建を主眼とし，商業資本を掌握

---

②将軍親政の開始

A　**５代綱吉以来の側近政治を廃止**

新井白石・間部詮房を罷免，譜代大名・旗本重視の将軍独裁政治を展開。

☆新設した御用取次を介し，将軍の意志を直接幕政に反映させた。

B　**積極的な人材登用**

あ　**大岡忠相**（旗本のち譜代大名）

町奉行のち寺社奉行に登用，町火消や小石川養生所の創設に尽力。

い　**神尾春央**（旗本）

勘定奉行に登用，強力な年貢増徴策を断行。

☆「胡麻の油と百姓は，絞れば絞るほど出る物也」―『西域物語』より―

う　**田中丘隅**（東海道川崎宿の名主）

代官に登用，意見書『**民間省要**』を吉宗に献じる。

え　**荻生徂徠（古学者〔古文辞学派〕）**

吉宗の諮問に答え，経世論『**政談**』を献じる。

お　**室鳩巣　（朱子学者〔京学〕）**

吉宗の侍講に登用，民衆教訓書『**六諭衍義大意**』を著す。

---

③封建道徳の強調

A　武士

武芸・水練の奨励，鷹狩の再興など。

B　民衆

寺子屋教育における封建道徳の強調。

---

④政治の刷新

A　行政機構の改革・代官の綱紀粛正

B　**武家諸法度・朝鮮通信使の待遇を綱吉期と同様に戻す**

C　**相対済し令**　（1719年～）

裁判事務の簡素化を目的に，金銀貸借・売掛金などの訴訟〔金公事〕の不受理を通告。借金を踏み倒す者が続出し，窮乏する旗本・御家人の救済手段ともなった。

D　**目安箱の設置**　（1721年）

江戸城評定所の門前に設置。記名制で将軍自ら庶民・牢人の意見を聞く。

☆**町火消**（いろは47組），**小石川養生所**の設置（町医者小川笙船の提言）などが実現。

E　**足高の制**　（1723年）

役職の基準石高〔役高〕（大番頭＝5000石，大目付・町奉行・勘定奉行＝3000石など）を決め，それ以下の者が就任するとき，**家禄に対する不足分〔役料〕を在職期間中のみ支給**する制度。

☆**少ない財政負担による旗本の人材登用が目的。**

F　**公事方御定書**　（1742年）

従来の法令・判例を集め，裁判・刑罰の基準や連坐制の緩和などを定める。

☆上下巻に分かれ，刑法となる下巻は「**御定書百箇条**」とよばれる。

G　御触書寛保集成（1744年）

元和期～寛保期までの，幕府の御触書を集めたもの。同時に以後の記録・保存を命じた。

☆のち宝暦期・天明期・天保期にも集成された。

---

⑤財政の再建

A　倹約令

支出の抑制，生活の緊縮，士風の引き締めを命じた。

B　勝手掛老中の復活

正徳の治では一時廃止されていたが，松平乗邑を就任させた。

C　**上げ米**（1722年～30年）

大名から１万石につき100石を臨時に上納させるかわりに，参勤交代の江戸在府期間を半年に短縮。

☆幕領の年間収入は１割以上増収となり，**幕府財政は一時的に回復。**

D　**流地禁止令〔質流しの禁令〕**（1722年～23年）

本百姓体制の維持をはかり，**田畑の質流しによる実質的売却を禁止。**

☆これを徳政令と独断した農民により，越後国頸城〔高田〕や出羽国長瀞で**質地騒動**が起きたため，翌年には廃止された。

E　幕領における**定免法・五公五民の採用**

従来は**検見法**で，基本的に**四公六民**であった。

☆**財政の安定と増収が見込め**，代官の不正も防止したが，農民間の貧富の差を拡大させることにもなった。

F　株仲間の公認

間接的な物価・流通統制をはかるため，あえて独占的な営業を認めた。

G　**米価の調節**⇒吉宗は**“米公方〔八木将軍〕”**とよばれる

大坂の堂島米市場を公認（1730年）するなど，さまざまな政策で「米価安」「諸色高」打開をはかった。

H　元文金銀〔文字金銀〕への改鋳（1736年）

享保の飢饉（1732年）による米価高騰に対応し，享保金銀に比べ量・質ともに半分に落とした。

⑥殖産興業

A　**新田開発の奨励**

江戸日本橋に高札を立て，**町人請負新田を奨励**(1722年)

☆武蔵野新田・見沼新田(武蔵国)，飯沼新田(下総国)，**紫雲寺潟新田(越後国)**などが実現したが，期待したほどの効果はなかった。

B　**商品作物栽培の奨励**

甘藷〔さつまいも〕，**甘蔗**〔さとうきび〕，櫨〔蠟の原料〕，朝鮮人参など。

☆甘藷の栽培は**青木昆陽〔甘藷先生〕**が提案。

C　**実学の奨励**

あ　**漢訳洋書輸入の禁を緩和(1720年)**

禁書令(1630年)を改め，**キリスト教に関係のない漢訳洋書の輸入を許可。**

い　**青木昆陽・野呂元丈にオランダ語を学ばせる**

青木昆陽は『和蘭文字略考』，野呂元丈は『阿蘭陀本草和解』を著し，**洋学〔蘭学〕興隆の基礎となる。**

---

⑦結果

A　**幕府財政の一時的再建に成功**

御三卿〔田安・一橋・のちに９代将軍家重の時に清水〕も新設した吉宗は“幕府中興の祖”とされる。

☆幕領の石高は１割以上増加し，年貢収入も増大した。

B　**享保の飢饉(1732年)**・年貢増徴・緊縮財政の悪影響

百姓一揆が頻発，江戸で初の打ちこわしも起きる。

C　封建社会の矛盾が激化

幕藩体制の限界が露見。

２　田沼時代

10代将軍家治の治世。９代家重の小姓から登用され，1772年にはじめて側用人から**老中**となった**田沼意次**が実権を握る。（1767年ごろ～86年）

①性格

A　**側近政治の完全復活**

☆前代の９代家重も側用人大岡忠光を登用していた。

B　**徹底した現実主義，商品貨幣経済の発達に積極的に対応**

☆再びゆきづまり出した幕府財政を再建するため，年貢増徴に頼らず民間の経済活動を活発にし，その富の一部を財源に取り込もうとした。

☆**賄賂や縁故政治の横行を招く。**

---

②商業資本の積極的利用

物価・流通統制と**運上〔運上金〕・冥加〔冥加金〕**の徴収がねらい。

A　**専売制**の拡大

特定の御用商人に，幕府直営の**銅座**・鉄座・真鍮座・朝鮮人参座などを新たに組織させる。

B　**株仲間の奨励**

都市問屋商人の仲間に株（営業独占などの特権）を認めるかわりに，運上・冥加を納めさせる。

☆農民や在郷商人は，流通の独占に激しく反発。

C　**印旛沼・手賀沼（下総国）の干拓**

江戸・大坂の商人の力を借り，**新田開発**・水運の利便・洪水抑止などをはかり，工事はほぼ完成に近づいたが，利根川大洪水などが原因で挫折。

---

③蝦夷地の開発計画・対露貿易計画

A　**工藤平助『赤蝦夷風説考』**の意見を採用

工藤平助は仙台藩の医師。1778年，ロシア船の厚岸来航を背景とする。

B　**最上徳内の北方探査（1785年～）**

蝦夷地・千島列島を探査，アイヌとの交易の実態や新田開発・鉱山開発・ロシア貿易の可能性などを調査。

---

④長崎貿易の拡大

銅、俵物などで支払いを行い，貨幣鋳造のための**金・銀輸入をはかる**積極策を展開。

---

⑤計数銀貨の鋳造

商取引の円滑化をめざし，金貨中心の貨幣制度への統一をはかる。

☆明和五匁銀（1765 年），**南鐐二朱銀**（1772 年～）。

---

⑥結果

A　収入は年貢一辺倒ではなくなったが，**商品貨幣経済の急速な進展が，都市・農村で階層分化を引き起こした。**

☆農村では，村役人たちが**地主手作**を行うとともに田畑を集め**地主**に成長し，**豪農**とよばれた。

☆都市では地主・家持が減少し，住民の多くが地借・店借・商家奉公人となった。また，出稼ぎなどで農村部から流入する者も増加した。

B　**賄賂・縁故政治への不評**

幕府役人と商人の癒着が進行。

C　武士本来の士風が退廃

文人的武士が出現し，武士の町人化が進行。

☆田沼の大胆な改革に刺激を受けて，民間の学問・芸術は多様な発展をとげる。⇒宝暦・天明期の文化

D　**天災の頻発**

目黒行人坂の大火〔明和の大火〕（1772 年），**天明の飢饉（1782 年～ 87 年）**，**浅間山大噴火（1783 年）**など。

☆それにともない，**百姓一揆・打ちこわしが激増。**

E　**田沼意知（若年寄，意次の子）殺害事件**（1784 年）

私憤から，旗本の佐野政言〔“世直し大明神”〕に殿中で刺殺される。

F　田沼意次老中罷免（1786 年）

10 代家治の死去にともない完全に失脚。多くの政策も中止となった。

３　寛政（かんせい）の改革

11代将軍家斉（いえなり）（一橋家出身）の初期治世。白河藩主から**老中首座（しゅざ）・**将軍補佐となった**松平定信（さだのぶ）（田安家出身）**が，幕政改革を厳しく推進。**（1787年～93年）**

①背景

A　田沼時代の混乱と，江戸・大坂など全国30余りの主要都市における**天明の打ちこわし（1787年）**。

B　**松平定信の登場**

８代将軍吉宗の孫，御三卿田安宗武（たやすむねたけ）の子。田沼意次の画策（かくさく）で白河藩主の養子となる。

☆引退後は白河楽翁（らくおう）とよばれ，**随筆『花月草紙（かげつぞうし）』**や**自伝『宇下人言（うげのひとこと）』**を著す。

---

②性格

A　復古理想主義

祖父吉宗の享保の改革を手本とし，**側近政治を廃止**。老中・若年寄ら譜代の集団指導制をとる。

B　**農村の復興**と商業資本の抑圧による財政再建をはかる。

---

③政治・風俗の粛正

A　**士風の刷新（さっしん）**

文武（ぶんぶ）奨励・綱紀粛正

B　**倹約令**

大名・旗本に指令，庶民生活にも及ぶ。

C　**寛政異学（いがく）の禁**（1790年）⇒教学統制と朱子学振興が目的

朱子学を正学（せいがく）とし，聖堂学問所における異学（陽明学・古学・折衷（せっちゅう）学・考証学）の講義・研究を禁止。⇒大学頭（だいがくのかみ）林信敬（のぶたか）へ命じ，林述斎（じゅっさい）が引き継ぎ推進。

☆林家（りんけ）以外の推進役として**寛政の三博士（はかせ）（柴野栗山（しばのりつざん）・尾藤二洲（びとうじしゅう）・岡田寒泉（かんせん）〔のち古賀精里（せいり）〕）**を儒官に任命。

☆1797年，聖堂学問所を**昌平坂（しょうへいざか）学問所〔昌平黌（こう）〕と改め官立化。**

D　**洒落本（しゃれぼん）・黄表紙（きびょうし）の処罰**⇒民間に対する**出版統制令**

山東京伝『仕懸（しかけ）文庫』（洒落本），恋川春町（こいかわはるまち）『鸚鵡返文武二道（おうむがえしぶんぶのふたみち）』（黄表紙）を発禁処分，版元（はんもと）の**蔦屋重三郎（つたやじゅうざぶろう）**も処罰。

E　**林子平（はやししへい）〔六無斎（ろくむさい）〕の処罰**（1792年）

前年に刊行された**『海国兵談（かいこくへいだん）』**の版木（はんぎ）を没収，蟄居（ちっきょ）を命じる。

☆林子平は高山彦九郎・蒲生君平（がもうくんぺい）とともに“寛政の三奇人”とされ，**『三国通覧図説（さんごくつうらんずせつ）』**の著者としても有名。

F　湯屋（ゆや）における男女混浴の禁止

G　農村における芝居の禁止

---

④商業資本の抑圧

A　鉄座・真鍮（しんちゅう）座・朝鮮人参座などの解散

年貢確保のため，商品作物栽培を抑制。

B　**棄捐令（きえんれい）**〔蔵宿（くらやど）棄捐令〕**（1789年）⇒旗本・御家人の救済策**

札差（ふださし）〔蔵宿〕に対する６年以前の借金を帳消（ちょうけ）し，５年以内の借金は低利で年賦（ねんぷ）返済。

☆約120万両の損失となる札差には，幕府が低利（ていり）で融資。

☆また，旗本たちの以後の生活資金として貸金会所を設け，低利貸付を行った。

---

⑤**農村復興策**⇒背景＝**天明の飢饉（1782年～87年）**

A　**囲米の制**　（1789年）

備荒貯蓄のため，大名に１万石につき50石の囲米を命じる。

☆常平倉・義倉・社倉の三倉も整備した。

B　**旧里帰農令**（1790年）・百姓の出稼ぎ制限

正業をもたない江戸在住者に対し，資金を与え帰村・帰農を奨励。

☆農村人口の確保と都市人口の抑制を目的としたが，完全な失敗に終わった。

C　その他

農村への公金貸付，助郷役の軽減，不良代官の粛清など。

---

⑥**都市政策**⇒**天明の打ちこわし（1787年）**後の再建策

両替商を中心とする10名の豪商を**勘定所御用達**として幕府に登用，米価調節や江戸町会所の運営に協力させる。

A　物価引き下げ令

B　**人足寄場**（1790年）⇒江戸の治安維持政策

火付盗賊改長谷川平蔵の提案で，江戸**石川島**に設置。無宿人などの強制収容・職業訓練にあてる。

☆同時に江戸の人別改めを強化した。

C　**七分積金**（1791年）⇒江戸の治安維持政策

江戸町入用の節約分の７割を積み立てて江戸町会所で運用し，飢饉・災害時の貧民救済や下層町人への低利金融にあてる。

☆幕府も２万両を補助。

---

⑦**海防の強化と貿易の縮小**

伊豆国・相模国の海岸巡視を開始。また，江戸湾と蝦夷地の海防強化を諸藩に命じた。

☆1789年のアイヌによるクナシリ・メナシの蜂起や，1792年のロシア人ラクスマンの根室来航を契機とする。

---

⑧結果

A　**幕政の一時的緊張**

その後も基本政策は引き継がれ，幕政の相対的(そうたいてき)安定期を生み出す。

B　**諸勢力の反発**

とくに大奥(おおおく)や都市民衆から，厳しい統制・倹約の強要に対する不満が増大。

☆**「世の中に蚊(か)ほどうるさきものはなし　ぶんぶ〔文武〕というて夜も寝られず」**

「どこまでもかゆき所に行きとどく　徳ある君(きみ)の孫の手なれば」

「白河の清きに魚(うお)の住みかねて　もとの濁(にご)りの田沼恋(こい)しき」

C　財政再建・武士救済には基本的に無策

独りよがりの精神論にとどまり，効果が出る前に失脚。

D　**尊号一件(そんごういっけん)（1789年～93年）**

後桃園天皇の急死（1779年）後，閑院宮(かんいんのみや)家から迎えられた**光格(こうかく)天皇**と松平定信との対立。天皇の父である閑院宮典仁(すけひと)親王への「太上(だいじょう)天皇」尊号宣下(せんげ)要請を，定信が頑(かたく)なに拒否，武家伝奏(てんそう)を処分したことから朝幕関係が悪化。

☆11代家斉(いえなり)の父，一橋治済(はるさだ)が「大御所」となることにも反対した定信は，将軍とも対立し，わずか６年で失脚した。

☆この事件を契機に朝幕間の協調関係は崩れ，天皇の権威が浮上し始めた。

４　江戸時代中期の藩政改革

①目標

財政難の克服と藩権力の高揚(こうよう)⇒百姓一揆の対策

---

②施策

A　農村の復興(営農資金の援助など)⇒いわゆる“お救(すく)い政策”

☆新田開発も推進。

B　特産物生産と**(藩)専売制**の実施

国産会所(かいしょ)〔国産方(かた)・物産方〕を設け，領内の産物を**国産品**に指定し専売業務を行う。

☆藩が集荷・販売を独占し商業上の利益を得ようとしたが，厳しい流通統制が生産者の利益を阻害(そがい)したため，**しばしば専売制反対の一揆が起きた**。

C　**藩札の発行**

即効性のある藩財政の立て直しをはかり発行，専売制実施の資金などにあてた。

---

③藩政改革の例⇒“名君(めいくん)”自ら改革にあたる

A　**細川重賢(しげかた)**　**(熊本藩〔外様〕)**⇒「宝暦(ほうれき)の改革」

櫨(はぜ)栽培の奨励と蠟(ろう)の専売，**藩校時習館(じしゅうかん)**の設立など。

B　**上杉治憲(はるのり)〔鷹山(ようざん)〕(米沢(よねざわ)藩〔外様〕)**

米沢織などの殖産興業，倹約奨励，**藩校興譲館(こうじょうかん)**の再興など。

☆「為(な)せば成(な)る　為さねばならぬ何事も　成らぬは人の為さぬなりけり」

C　**佐竹義和(よしまさ)**　**(秋田藩〔外様〕)**

勧農政策・殖産興業政策，**藩校明徳館(めいとくかん)**の設立など。

D　松平治郷(はるさと)〔不昧(ふまい)〕(松江藩〔親藩〕)

殖産興業政策にめざましい効果をあげる。

５　百姓一揆と打ちこわし

①背景

A　天災・地変の連続による凶作・飢饉の頻発（ひんぱつ）⇒**三大飢饉**など

あ　**享保の飢饉（1732 年）**

西日本一帯。長雨（ながあめ），冷害，いなご・うんかの大発生が原因。

☆幕府・各藩は積極的な“お救い政策”を行ったが，**江戸では初の打ちこわし**が起きた。

い　**天明の飢饉（1782 年～87 年）**

東北・関東地方を中心とする全国一帯。長雨，冷害，**浅間山大噴火**（1783年）などが原因。

☆一部の藩を除き，対策は不十分。江戸・大坂など主要都市で**天明の打ちこわし**が起きた**（1787 年）**。

う　**天保の飢饉（1833 年～36〔39〕年）**

東北を中心とする全国一帯。冷害・洪水などが原因。

☆幕府・各藩の対策は自領の利害を中心に行われたため，農村では飢饉が慢性化（まんせいか），都市では米価が高騰（こうとう）した。その結果，**甲斐国郡内（ぐんない）騒動・三河国加茂（かも）一揆（1836 年）**や**大塩の乱（1837 年，大坂）**など，天領〔幕領〕でも大きな事件が起きた。

B　**幕藩領主の重税**

C　特権商人（都市問屋商人）の進出

D　高利貸しの返済請求

---

②展開⇒一揆は3000件，打ちこわしは500件以上

幕府・諸藩は要求を一部認めることもあったが，多くは武力で鎮圧し指導者を厳罰に処した。しかし，弾圧にも関わらず一揆は増加し続け，凶作や飢饉のさいには各地で同時に多発した。

A　愁訴(しゅうそ)・強訴(ごうそ)・逃散(ちょうさん)など(17世紀前半)

徳川氏の支配に抵抗する旧武士層（＝土豪）も参加。村ぐるみの逃散など，中世一揆の名残(なごり)が大きい。

B　**代表越訴(おっそ)型一揆**　　(17世紀後半)

村の代表者である名主(なぬし)層（下総国**佐倉惣五郎**(さくらそうごろう)・上野国磔茂左衛門(はりつけもざえもん)ら⇒**義民**(ぎみん)）の領主への**直訴**(じきそ)。

☆年貢減免・不良代官の罷免(ひめん)などを要求，小規模で件数も少ない。

C　**惣百姓一揆**(そうびゃくしょう)　　(17世紀末〜)

あらゆる階層の農民が総動員された一揆。広域的で大規模な，百姓一揆の典型。**傘連判状**(からかされんぱんじょう)を作成し，主謀者(しゅぼうしゃ)を隠すことが多い。藩全域で発生するものを**全藩一揆**，複数の幕領と藩領で発生するものを幕藩一揆という場合がある。

☆年貢減免・不良代官の罷免だけでなく，**専売制反対**・国産品への運上賦課(ふか)反対などの要求も登場。藩の政策に協力する商人や村役人も襲撃した。

1686年　嘉助(かすけ)騒動　　(信濃国，松本藩)
1738年　**元文**(げんぶん)**一揆**　　(陸奥国，磐城平(いわきたいら)藩)
1754年　久留米(くるめ)一揆　(筑後国，久留米藩)
1754年〜郡上(ぐじょう)一揆　　(美濃国，郡上八幡(ぐじょうはちまん)藩)

D　**世直し一揆（19世紀前半〜〔おもに幕末〕）**

貧農層が，小作地・質地(しっち)の返還〔土地の再分配〕，商人・高利貸しの特権排除，村役人の入札(いれふだ)制度などを要求し，**豪商・村役人などを襲撃**。

☆領主に対する訴えは希薄(きはく)で，村方騒動と連動する場合が多い。

E　その他の一揆

1764年〜　**伝馬**(てんま)**騒動**（信濃国・上野国・下野国・武蔵国）
☆街道沿いの農民が伝馬役の一種である助郷役(すけごうやく)の負担増に反対した広域闘争。

1856年〜　**渋染**(しぶぞめ)**一揆（備前国，岡山藩）**
☆被差別民が，藩の差別強化政策に反対した闘争。

F　その他の闘争

あ　**打ちこわし**(18世紀前半～)

農村・都市の貧民層が，豪農・豪商・高利貸しなどを襲い，店舗・家屋などを破壊する行為。百姓一揆は打ちこわしをともなう場合が多いが，単独でいうときにはおもに都市で発生するものをさす。

い　**国訴**(こくそ)　**(18世紀半ば～)**

在郷商人の主導により，商品作物の生産者である農民が，**領主・都市問屋商人の流通独占に反対**して起こした**合法的訴訟**。

☆**畿内で発生**した広域請願(せいがん)闘争。綿花(めんか)・菜種(なたね)の流通問題をめぐる，摂津・河内(かわち)・和泉(いずみ)の国訴(1823年～)が有名。

う　**村方騒動**(むらかた)　**(18世紀後半～)**

村役人の不正・特権に対する貧農の村政改革要求闘争。村入用(むらいりよう／むらにゅうよう)の公開や村役人の交代などを求めた。領主に直接抵抗する形態はとらないが，小作権をめぐり百姓一揆と連動することも多かった。

---

③特色

一時的･分散的で，社会運動として結束できず，参加者もほぼ貧民に限られた。

---

④意義

領主支配が後退し，封建社会の基礎が動揺。

６　江戸時代後期の経済発展

①生産形態の発展

農村家内工業⇒問屋制家内工業⇒工場制手工業〔マニュファクチュア〕

☆生産工程の分化と地域的専業化が進展。

---

②商品流通ルートの多様化

A　**在郷商人の成長**

あ　**消費地への直送ルートを開拓**

い　**都市問屋商人の流通独占に反対**

☆畿内では合法的訴訟である**国訴**を起こす。

B　諸藩の動き

専売制を実施，国産品を三都へ直送。

C　**江戸地廻り経済圏**の発達

幕府が江戸市場の自立をめざし，地廻り経済を育成。

☆**地廻り物**の特産地が成立（秩父・八王子の生糸・絹織物，武州木綿，青梅の材木）など。

☆在郷商人の成長・階層分化の進行などにより**江戸周辺の農民が江戸に流入，関東農村の荒廃が進む。**

D　**大坂市場の地位低下**

天保期には大坂問屋商人が扱う商品量が激減。

☆上記ＡＢＣや内海船（尾州廻船）など，**独自の流通ルートが各地で開拓されたため。**

〈***Note***〉

第 15 講　確認問題

1　８代将軍吉宗のもとで代官に登用された，東海道川崎宿の名主で，『民間省要』の著者とは？

①大岡忠相　②神尾春央　③田中丘隅　④室鳩巣

2　1742 年，従来の法令・判例を集め，裁判・刑罰の基準や連坐制の緩和などを定めたものとは？

①公事方御定書　②御触書寛保集成　③棄捐令　④傘連判状

3　1730 年，吉宗が公認した卸売市場とは？

①堂島の米市　②雑喉場の魚市　③天満の青物市　④日本橋の魚市

4　厳密には親藩大名ではない「御三卿」として不適切なものを選べ。

①保科家　②田安家　③一橋家　④清水家

5　田沼意次が運上・冥加を得るために奨励したものとは？

①上げ米　②定免法　③新田開発　④株仲間

6　仙台藩の医師である工藤平助の著書とは？

①『政談』　②『赤蝦夷風説考』　③『三国通覧図説』　④『自然真営道』

7　田沼時代に起きた大飢饉とは？

①寛政の飢饉　②享保の飢饉　③天明の飢饉　④天保の飢饉

8　11代将軍家斉の出身とは？

①尾張徳川家　②田安家　③一橋家　④清水家

9　“寛政異学の禁”で正学とされた学問（儒学）とは？

①朱子学　②陽明学　③古学　④折衷学

10　出版統制令により処罰された洒落本『仕懸文庫』の著者とは？

①山東京伝　②恋川春町　③為永春水　④柳亭種彦

11　藩校時習館を設置するなど「宝暦の改革」を行った熊本藩主とは？

①細川重賢　②上杉治憲〔鷹山〕
③佐竹義和　④松平治郷〔不昧〕

12　在郷商人の主導により，畿内で農民たちが起こした合法的訴訟とは？

①代表越訴型一揆　②伝馬騒動　③渋染一揆　④国訴

解答

1	③	2	①	3	①	4	①	5	④
6	②	7	③	8	③	9	①	10	①
11	①	12	④						

第16講　江戸時代Ⅴ

1　大御所政治〔文化・文政時代〕

寛政の改革後，政治的意欲のない**11代将軍家斉**（いえなり）の治世（1793年～1841年）。

☆1837年，将軍引退後も**大御所**として実権を握り続ける。

☆社会不安が増大する中，江戸を中心に享楽的（きょうらくてき）・退廃的（たいはいてき）な**化政文化**が開花。

---

①性格

A　文化年間（1804年～18年）

老中松平信明（のぶあきら）ら“寛政の遺老（いろう）”が幕政を主導。寛政の改革の質素・倹約政策を継承。

B　文政年間（1818年～30年）

老中首座水野忠成（ただあきら）が幕政を主導。品位の劣る貨幣を大量に流通させ物価は上昇，賄賂（わいろ）政治が横行し，将軍や大奥の生活は華美を極める。

---

②社会不安⇒“内憂（ないゆう）と外患（がいかん）”

農村・都市で階層分化が進行。無宿人（むしゅくにん）・博徒（ばくと）が横行し，**大都市とその周辺の治安が悪化。**

A　**関東取締出役**（とりしまりしゅつやく）**〔八州廻り**（はっしゅう）**〕**の設置（1805年）

幕領・私領・寺社領を問わず，**水戸藩を除く関八州の治安維持**にあたった。

B　**寄場組合**（よせば）の結成　（1827年）

幕領・私領・寺社領を問わず，関八州すべての農村40～50カ村ごとに組合を結成させる。

☆近隣の村々が協同で治安維持・風俗取締りに当たり，農村秩序の維持などをはかった。

C　**文化の撫恤令**（ぶじゅつ）**〔薪水給与令**（しんすい）**〕**　（1806年）

D　**異国船打払令**（うちはらい）**〔無二念打払令**（むにねん）**〕**　（1825年）

E　**モリソン号事件**　（1837年）

F　**蛮社の獄**（ばんしゃ・ごく）　（1839年）

---

③大塩の乱（1837年）

A　**原因**

天保の飢饉（1833年～36〔39〕年）に対する幕府の無為無策（むいむさく），豪商の米買占めなどへの憤激。

☆1836年の飢饉はとくに厳しく，甲斐国郡内（ぐんない）地方・三河国加茂（かも）郡（ともに幕領）でも一揆が起きた。⇒**郡内騒動・加茂一揆**

B　蜂起（ほうき）

大坂町奉行所の元（もと）与力大塩平八郎（おおしおへいはちろう）と門弟らが，町奉行殺害と豪商の襲撃を計画。

☆大塩は**陽明学者**で，家塾（かじゅく）「洗心洞」を開いていた。

C　鎮圧

檄文（げきぶん）を配布して貧民に参加をよびかけたが，密告や準備不足により，わずか半日で鎮圧。

D　**影響**

あ　**幕府・諸藩へ大衝撃を与え，幕府の権威は失墜（しっつい）**

重要直轄都市で，幕府の元役人が主導し，公然と武力で反抗したため。

い　**全国へ波及**

大塩門弟と称した**越後国**柏崎（かしわざき）の国学者による**生田万（いくたよろず）の乱（1837年）**の他，各地に一揆・打ちこわしを誘発（ゆうはつ）。

☆江戸には幕府が御救小屋（おすくいごや）を多数設置して米や銭を施（ほどこ）し，打ちこわしを未然に防いだ。

---

④朝廷権威の浮上

国内外の危機的状況に対し，将軍・幕府の権威が失墜すると，これにかわる上位の権威としての天皇・朝廷が求められ始めた。

☆光格天皇・仁孝（にんこう）天皇から復古的な思想が打ち出され，また公家たちも財政に苦しむ中で各種免許状を発行して収入を得ようと活動するなど，朝廷の権威浮上を求める動きが広まった。

２　天保の改革

12代将軍家慶の初期治世。**老中首座**となった**水野忠邦**（浜松藩主）が，幕政の再建・強化をめざし，改革を強引に推進。**（1841年〜43年）**

①性格

復古理想主義⇒享保・寛政の改革を手本とする。

---

②生活の緊縮

A　**倹約令**

将軍・大奥を含めた断固たるもので，贅沢な菓子・料理や華美な衣服の禁止など，生活の細部にまで及んだ。

B　風俗取締り令

南町奉行鳥居耀蔵が中心となり推進，江戸における経済活動の停滞を招いた。

あ　芝居小屋の浅草への移転

い　歌舞伎役者に編笠着用を強要

う　寄席の大量取り潰し

C　**人情本・合巻の処罰**

為永春水『春色梅児誉美』（人情本），**柳亭種彦『偐紫田舎源氏』（合巻）**を発禁処分。

---

③農村復興策

A　**人返しの法〔人返し令〕（1843年）**

江戸の人別改めを強化し，農民の出稼ぎ禁止・流入貧民の帰村を**半強制**。

☆都市人口の抑制と荒廃した農村の再建をはかるが，江戸を追われた無宿人らにより，かえって治安が悪化し失敗した。

B　印旛沼掘割工事　　　（1843年）

田沼時代の干拓に引き続き工事を試みたが，またも中断された。

---

④経済統制

A　**株仲間解散令（1841 年）**

物価引下げと商品流通の直接統制をはかるが失敗，かえって物価の上昇・流通関係の混乱を招いた。

☆**1851 年**，老中首座阿部正弘（あべまさひろ）が**株仲間再興令**を発布。都市問屋商人＋在郷商人で再興させ，冥加（みょうが）も免除した。

B　**棄捐令（きえんれい）**　　　（1843 年）

札差（ふださし）からの借金のうち，半分は幕府が公金（こうきん）を出し免除，残り半分は無利息で年賦（ねんぷ）返済とした。

☆旗本・御家人の救済をはかるが，一時的効果のみに終わる。

---

⑤対外政策の緩和

アヘン戦争（1840 年〜 42 年，○イギリス vs 清●）の結果を受け，従来の異国船打払令を撤回，**天保の薪水給与令**を発布**（1842 年）**。

---

⑥政治統制

A　西洋砲術の採用

長崎から**高島秋帆**(たかしましゅうはん)を招き，江戸郊外で西洋砲術の訓練を実施。

B　**三方領知替え**(さんぼうりょうちがえ)の撤回(てっかい)(1841年)

相模国の海岸防備を担わせていた川越藩(かわごえはん)〔武蔵国〕の財政難救済のため，1840年に転封(てんぽう)を決定(川越藩⇒庄内藩(しょうないはん)〔出羽国〕，庄内藩⇒長岡藩〔越後国〕，長岡藩⇒川越藩)したが，大名・領民からの反対(庄内藩では反対一揆が発生)により，翌年撤回。

☆幕府に対する藩権力の自立，幕府の土地支配権の動揺が露呈(ろてい)した事件。

C　将軍家慶による67年ぶりの日光社参(1843年)

幕府権力の起死回生をはかるが，大出費による財政悪化と動員された農民たちの不満をもたらした。

D　**上知令**(あげちれい)**(1843年)**

領地支配が錯綜(さくそう)していた**江戸・大坂周辺約50万石の幕領編入計画。幕府権力の強化・年貢収入の増加・対外防備の強化を意図したが**，譜代大名・旗本・農民・町人らの**総反対により撤回。**

☆**水野忠邦は失脚**，反対派の土井利位(どいとしつら)が老中首座となる。

---

⑦結果

過度(かど)の強引さ・厳しさにより，世人(せじん)の不満が爆発し失敗。**幕府は決定的に衰退。**

３　後期の藩政改革⇒藩政改革に成功した藩は，幕末に**雄藩**(ゆうはん)として活躍。

①特色

Ａ　**人材の登用**

中・下級武士の有能者を積極的に登用。

Ｂ　財政の再建

借財の整理，国産品の奨励，**藩営工業**や**(藩)専売制**の実施など。

Ｃ　藩権力の強化

百姓一揆・打ちこわしなど領民抵抗の圧伏と，軍事力の強化。

---

②薩摩藩〔鹿児島藩〕⇒77万石の外様(とざま)

藩主島津斉興(なりおき)の祖父重豪(しげひで)が下級武士の**調所広郷**(ずしょひろさと)を登用(1827年〜)。

Ａ　財政再建

あ　三都の商人からの藩債500万両無利息250年賦返済

☆事実上の借金棚上げ。

い　奄美三島(あまみさんとう)〔大島(おおしま)・徳之島(とくのしま)・喜界島(きかいしま)〕特産の**黒砂糖**〔甘蔗(かんしゃ)〕の専売を強化

う　**琉球王国を通じた清との密貿易**を拡大

☆こういった点にも幕藩支配のゆるみがみられる。

Ｂ　軍事改革(幕末期)

あ　**島津斉彬**(なりあきら)・忠義(ただよし)の代に，**反射炉**・兵器工場・造船所・ガラス製造所(洋式工場群を**集成館**(しゅうせいかん)という)を建設。

☆のち，わが国初の機械紡績(ぼうせき)工場である鹿児島紡績工場も完成。

い　**長崎**の**イギリス人商人グラヴァー**から洋式武器を購入

---

③長州藩〔萩藩〕⇒37万石の外様

1831年の防長大一揆を契機に，藩主毛利敬親が**村田清風**を登用(1837年～)。

A　藩債銀８万5000貫(約140万両)を整理

37カ年賦皆済仕法を実施したが失敗。のち越荷方の利益をつぎ込み完済。

B　紙・蠟の専売制を改革

C　**越荷方**の強化

下関(長門国)に設置。西廻り航路の北前船などの，本来上方に運ばれる積荷(＝越荷)を対象に，委託販売・貸倉庫・金融を行い収益を上げる。

☆その収益は，軍艦購入費にもあてられた。

---

④肥前藩〔佐賀藩〕⇒36万石の外様

藩主**鍋島直正〔閑叟〕**自らの改革，人材登用も積極的に行う(1830年～)。

A　財政の安定

あ　**均田制**の実施⇒土地の再分配

☆本百姓体制の再構築をめざし，町人地主の所有地の一部を藩に返還させるなどして小作地を解放した。

☆さらに藩の直轄地の小作料の納入も猶予した。

い　**有田焼〔伊万里焼〕**・石炭の専売制を強化

B　軍事改革

あ　洋学・西洋砲術の積極的導入

い　**反射炉**を備えた**大砲製造所**を建設(1850年)

---

⑤土佐藩〔高知藩〕⇒24万石の外様

藩主山内豊熙が「おこぜ組」とよばれる中・下級藩士の改革派を登用。財政を緊縮し商業資本と絶縁して一定の成果をあげるが，保守派に抵抗され中断する(1843年)。

☆のち**山内豊信〔容堂〕**が「新おこぜ組」(吉田東洋ら)を登用。

---

⑥水戸藩⇒35万石の親藩〔御三家〕

藩主**徳川斉昭**(なりあき)が，**藤田東湖**(とうこ)・**会沢安**(あいざわやすし)〔**正志斎**(せいしさい)〕ら尊王論者を登用（1829年～）。均田制・西洋流の軍事改革・海防強化・**藩校弘道館**(こうどうかん)の設立などを行うが，保守派の反対などにより改革は挫折。

---

⑦その他

越前藩〔福井藩〕（⇒35万石の親藩）の**松平慶永**(よしなが)〔**春嶽**(しゅんがく)〕，**宇和島藩**(うわじま)（⇒10万石の外様）の**伊達宗城**(だてむねなり)などが，有能な中･下級武士を藩政の中心に参加させて改革を推進。

※幕末期の幕府

1845年，老中首座に復帰していた水野忠邦が再度罷免(ひめん)され，**阿部正弘**(まさひろ)（福山藩主）が後任となる。

４　化政文化（宝暦・天明期の文化を含む）

①化政文化の特色

A　当時の世相を反映した，**享楽的・退廃的な傾向が強い**文化。
　☆風刺や皮肉で現実の憂さを発散。

B　幕藩体制の動揺という現実を直視し，**批判的精神**に満ちる。

C　上方と並ぶ経済の中心地に成長した**江戸**の，幅広い階層の都市民が担う文化。
　☆文化の内容が多種多様化。
　☆江戸では美意識としての「粋」と，行動原理としての「通」が重視される。

D　都市と農村，三都と地方の文化的交流はさかんで，各地の豪商・豪農を中心とした**文化の地方普及**が著しい。
　☆出版・教育の普及と交通網の発達がそれを支えた。

---

②化政文学

元禄文学に比べ，より通俗的で，政治・社会に題材をとる傾向がある（人間性は深く掘り下げない＝**戯作**）。三都の本屋の旺盛な出版活動と，**貸本屋**の増加により，庶民にも読書の習慣が広まった。

A　**小説**

あ　草双紙〔子供向けの赤本⇒大人向けの黒本・青本〕⇒挿し絵で引きつける

い　**黄表紙**⇒風刺・滑稽を基調とする通俗的絵入り小説
　『鸚鵡返文武二道』『**金々先生栄花夢**』（**恋川春町**）⇒**寛政の改革で弾圧**
　『**江戸生艶気樺焼**』（**山東京伝**）

う　**洒落本**⇒遊里を題材とする絵入り短編小説
　『**仕懸文庫**』（**山東京伝**）⇒**寛政の改革で弾圧**
　☆版元の**耕書堂**経営者**蔦屋重三郎**も財産の半分を没収される。

え　**読本**　⇒歴史・伝説を題材とした文章主体の小説
　『**雨月物語**』（**上田秋成**）⇒**大坂**，前期読本
　『**南総里見八犬伝**』『**椿説弓張月**』（**曲亭〔滝沢〕馬琴**）⇒**江戸**，後期読本
　☆“勧善懲悪”“因果応報”を主題とする長編小説。

お　**滑稽本**⇒滑稽・笑いを基調とする絵入り小説

『東海道中膝栗毛』（十返舎一九）

『浮世風呂』『浮世床』（式亭三馬）

か　**合巻**　⇒数冊の黄表紙を綴じ合わせたもの

『偐紫田舎源氏』（柳亭種彦）⇒天保の改革で弾圧

き　**人情本**⇒恋愛を主題とした絵入り小説

『春色梅児誉美』（為永春水）⇒天保の改革で弾圧

B　**随筆**

『北越雪譜』（鈴木牧之）

☆越後国の農村で雪国の自然や生活を描写。山東京伝・曲亭〔滝沢馬琴〕ら江戸の文化人の交流でも有名。

C　**脚本**

あ　**人形浄瑠璃**

歌舞伎に圧倒され低調化，一中節・常磐津節・清元節・新内節などの唄浄瑠璃〔座敷浄瑠璃〕へと転化していった。

『仮名手本忠臣蔵』『菅原伝授手習鑑』『義経千本桜』（２世**竹田出雲**ら）

『本朝廿四孝』（**近松半二**ら）

い　**歌舞伎**

庶民生活を扱う生世話物が流行。並木正三が人形浄瑠璃の技法を取り入れてせり出し・廻り舞台などを考案，大人気となる。

☆寛政期には中村座・市村座・森田座（のち守田座）の江戸三座が栄えた。

『東海道四谷怪談』（４世**鶴屋南北**）

『三人吉三廓初買』（河竹黙阿弥）⇒幕末期にかけての**白浪物**の名手

D　**詩歌**

あ　**俳諧**

『蕪村七部集』（蕪村〔与謝蕪村〕）⇒京都，写実的な句を詠む

『おらが春』　（一茶〔小林一茶〕）⇒信濃国

い　**川柳**

機知に富んだ表現で人情・世相・風俗を詠む，滑稽・風刺を基調とした俳諧。

☆**『誹風柳多留』（柄井川柳ら）**

う　**和歌**

万葉調　　**賀茂真淵**，田安宗武，加藤千蔭ら

古今調　　**香川景樹⇒桂園派**

☆平明な歌風を興す。

新古今調　　村田春海

生活歌　　**良寛**

☆越後国の僧，独自の歌を詠む。

え　**狂歌**

機知に富んだ表現で人情・世相・風俗を詠む，滑稽・風刺を基調とした和歌。

☆**大田南畝**〔**蜀山人**・四方赤良〕，**石川雅望**〔**宿屋飯盛**〕ら。

③国学の発達

古学派の研究法や歌学の刷新運動，**神道思想**などが源流となり発達。各地の神官・豪農・豪商に広まった。儒教・仏教などの外来思想を批判，『古事記』『日本書紀』などを研究し，古代人の生活・思想である**古道**（＝日本古来の道）を理想化する復古主義をとった。

☆古い教理から抜け出せない儒学に対し，国学は政治･社会への批判精神が強かった。

A　**荷田春満**（享保期）

京都から江戸に下り『**創学校啓**』を著し，８代将軍吉宗に提出。

B　**賀茂真淵**（宝暦期）

荷田春満に師事。『**国意考**』『**万葉考**』『歌意考』を著し，万葉集に“高く直き心”を見出した。

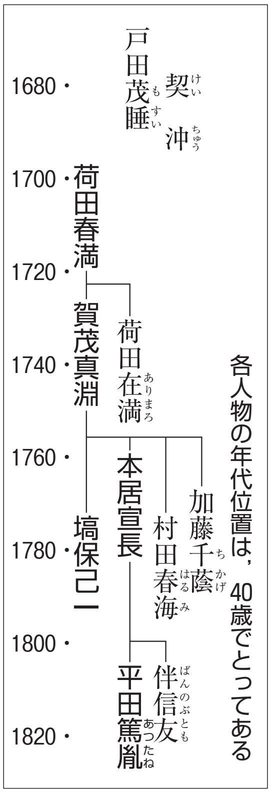
☆私塾「県居」を設立。

C　**本居宣長**（天明・寛政期）

伊勢国松坂の医師で，**賀茂真淵に師事**。“漢心”を捨て“真心”に生きることを重視し，“惟神の道”を説いた。

☆『**古事記伝**』『（**源氏物語**）**玉小櫛**』『**秘本玉くしげ**』『玉勝間』『うひ山ぶみ』を著した。

☆私塾「**鈴屋**」を設立。



国学者系統図

D　**塙保己一**（寛政期）

賀茂真淵に師事した盲目の学者。古典の収集・保存に心がけ，幕府の援助を受けて江戸に**和学講談所**を設け，『**群書類従**』を編纂した。

☆のちの国史学・国文学の基礎を築いた。

E　**平田篤胤**（天保期）

本居宣長の没後門人を自称。神道と国学を融合して**復古神道**を唱え，民族主義・国粋主義的傾向を強めた。

☆復古神道は，篤胤の死後，弟子たちにより各地の神官・豪農・豪商に広まり，幕末の尊王攘夷運動に絶大な影響を与えた。

④洋学〔蛮学⇒蘭学⇒洋学〕の発達

A　洋学の先駆

あ　長崎の**西川如見**が，『**華夷通商考**』で海外の通商事情などを記す。

い　**新井白石**が，大隅国屋久島に潜入した**イタリア人宣教師シドッチ**を尋問。『**采覧異言**』『**西洋紀聞**』を著す。

う　**実学**奨励策をとる**８代将軍吉宗が，漢訳洋書輸入の禁を緩和**（**1720年**）。さらに**青木昆陽・野呂元丈**に**オランダ語を習得させる**。

B　洋学の発達

あ　『**解体新書**』　　　　（**杉田玄白・前野良沢**・中川淳庵・桂川甫周）

☆ドイツ人クルムスの著した『解剖図譜』の蘭訳本『ターヘル＝アナトミア』を翻訳して1774年に刊行。扉絵・解剖図は小田野直武が描く。

い　『**蘭学事始**』　　　　（**杉田玄白**，『解体新書』訳述の回想録）

う　『**蘭学階梯**』　　　　（**大槻玄沢**）

☆杉田玄白・前野良沢の弟子が著した蘭学入門書。

え　『**西説内科撰要**』　　（**宇田川玄随**，オランダ内科書の翻訳）

お　『**ハルマ〔波留麻〕和解**』（**稲村三伯**）

☆大槻玄沢の弟子が著した**初の蘭日辞書**。いわゆる“江戸ハルマ”。

か　**平賀源内**の研究

長崎で学んだ科学の知識をもとに，エレキテル（摩擦発電器），寒暖計，不燃性の布などを発明。

C　洋学の展開

あ　『寛政暦』　　　　（天文方の**高橋至時**，西洋暦を取り入れ作成）

い　『**暦象新書**』　　　　（**志筑忠雄**，地動説や万有引力説を紹介）

う　『**大日本沿海輿地全図**』（**伊能忠敬，1821年完成**）

え　『気海観瀾』　　　　（青地林宗，初の物理学書）

お　『**舎密開宗**』　　　　（**宇田川榕庵**，イギリスの化学書を翻訳）

か　『日本植物誌』　　　（オランダ商館のスウェーデン人医師ツンベルグ）

D　**幕府の洋学研究機関**

1811年，天文方**高橋景保**の建議で**蛮書和解御用**を設置。フランスの百科全書『厚生新編』などを翻訳。

☆のち洋学所（1855年）⇒**蕃書調所**（1856年）⇒洋書調所（1862年）
⇒開成所（1863年）へと改編。

☆開成所はのちに明治政府のもとで開成学校となり，さらに東京大学となった。

E　幕府の洋学統制

西洋文明の移入は医学・兵学・地理学などの科学技術に限定され，実学としての性格が強くなった。

☆幕末の開国論者**佐久間象山**（しょうざん）（松代（まつしろ）藩士）は，「東洋道徳・西洋芸術（＝技術）」を説いた。

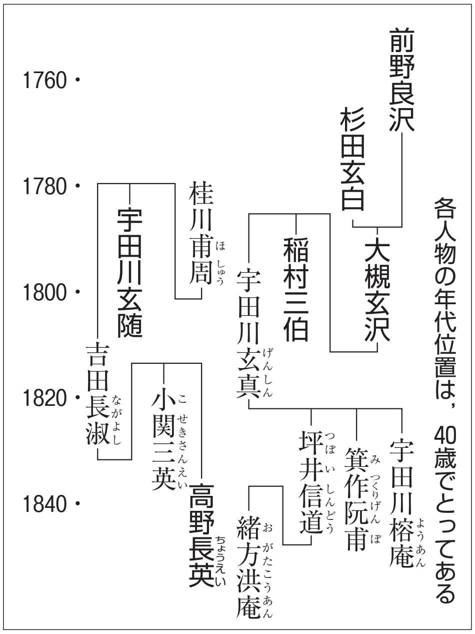
あ　**シーボルト事件（1828年）**

国禁（こっきん）であった日本地図のもち出し未遂。オランダ商館の**ドイツ人医師シーボルト**は国外追放，天文方の**高橋景保**は獄死。

☆シーボルトには『**日本**』などの著書がある。

い　**蛮社の獄**（ばんしゃのごく）　　　**(1839年)**

モリソン号事件（1837年）を契機とする幕政批判などを理由に，**尚歯会**（しょうしかい）〔**蛮学社中**（ばんがくしゃちゅう）〕の蘭学者に弾圧を加える。『**慎機論**（しんきろん）』の**渡辺崋山**（わたなべかざん），『**戊戌夢物語**（ぼじゅつゆめものがたり）』の**高野長英**（たかのちょうえい）らを処罰，小関三英（こせきさんえい）は自害した。



洋学者系統図

⑤儒学と教育

A　幕府の教育機関

1790年　寛政異学の禁で朱子学を正学とする。

1797年　聖堂学問所を官立化し，**昌平坂学問所〔昌平黌〕**とする。

B　**藩校〔藩学〕**⇒全国に約250校

藩校は，初め朱子学を主とする儒学や武術を学ばせるものが多かったが，のちには国学や洋学も取り入れ，年齢や学力に応じた学級制もみられるようになった。

あ　**明倫館　（長州藩，毛利氏）**

い　養賢堂　（仙台藩，伊達氏）

う　明倫堂　（尾張藩，徳川氏）

え　**時習館　（熊本藩・細川重賢）**

お　**造士館　（薩摩藩・島津重豪）**

か　**興譲館　（米沢藩・上杉治憲〔鷹山〕が再興）**

き　修猷館　（福岡藩，黒田氏）

く　**明徳館　（秋田藩・佐竹義和）**

け　明倫堂　（加賀藩，前田氏）

こ　**日新館　（会津藩，松平氏）**⇒はじめ保科氏の稽古堂

さ　致道館　（庄内藩，酒井氏）

し　**弘道館　（水戸藩・徳川斉昭）**

C　**郷校〔郷学〕**

藩の援助を受け，藩士に限らず庶民の教育も担った。

あ　**閑谷学校（岡山藩・池田光政）**

い　含翠堂　（摂津国平野）

う　有備館　（仙台藩）

D　**私塾**

あ　**弘文館**　（**林羅山〔道春〕**）⇒上野忍ヶ岡に設立された**朱子学塾**
☆のち湯島に移転，**聖堂学問所**となる。

い　講習堂　（松永尺五）⇒京都二条に設立された朱子学塾

う　**藤樹書院**（**中江藤樹**）⇒近江国小川村に設立された陽明学塾

え　**花畠教場**（**熊沢蕃山〔了介〕**）⇒岡山藩に設立された陽明学塾

お　**古義堂**　（**伊藤仁斎**）⇒**京都堀川**に設立された**古学塾**

か　**蘐園塾**　（**荻生徂徠**）⇒**江戸**に設立された**古学塾**

き　**懐徳堂**　（**中井甃庵ら**）⇒**大坂**に設立された**準官学の町人塾**
☆初代学主は三宅石庵，のち中井甃庵やその子**中井竹山・履軒**らが学主となる。
☆『**出定後語**』の**富永仲基**や『**夢の代**』の**山片蟠桃**など，異色の合理主義学者を輩出。

く　**芝蘭堂**　（**大槻玄沢**）⇒**江戸**に設立された**蘭学塾**
☆**新元会〔おらんだ正月〕**を開催。

け　**咸宜園**　（**広瀬淡窓**）⇒**豊後国日田**に設立された**全国最大規模の私塾**

こ　**洗心洞**　（**大塩平八郎**）⇒大坂に設立された陽明学塾

さ　**適塾〔適々斎塾〕**（**緒方洪庵**）⇒**大坂**に設立された**医学・洋学塾**
☆**福沢諭吉・橋本左内**・大村益次郎らが学ぶ。

し　**鳴滝塾**　（**シーボルト**）⇒**長崎**に設立された**診療所併設の医学・洋学塾**
☆**高野長英**・小関三英・伊東玄朴らが学ぶ。

す　**松下村塾**（吉田松陰の叔父）⇒**長門国萩**に設立，**吉田松陰**が教授。
☆**高杉晋作・久坂玄瑞・伊藤博文・山県有朋**らが学ぶ。

E　**庶民教育**

あ　**寺子屋**〔手習所〕

生産活動の向上と商業の発達を背景に，師匠が男女に**読み・書き・算盤**など日常生活に役立つことや，幕府・藩の法，道徳などを教える。

富裕な町人・村役人・僧侶・神職・牢人などにより運営された。

☆『庭訓往来』『六諭衍義大意』『女大学』などを教科書として使用。

☆幕府の文書支配主義の影響もあり，**当時の日本の初等教育は世界屈指の水準を誇った。**

い　心学舎

享保期，**京都**の町人**石田梅岩**が，商人を中心とする庶民の生活倫理として**心学**〔**石門心学**〕を唱え，『**都鄙問答**』を著す。

☆儒教道徳に仏教や神道の教えを加味。

☆弟子の**手島堵庵**（**京都**）やその弟子**中沢道二**（**江戸**）が全国に広める。

〈***Note***〉

⑥思想の発達

A　政治・社会思想の発達

あ　幕藩体制維持・改良の方法論（＝**経世論**）の展開（17世紀後半〜）

熊沢蕃山〔了介〕（陽明学），**荻生徂徠（古学）**⇒武士帰農論

太宰春台（古学）⇒商業藩営論

い　幕藩体制批判思想の出現（18世紀半ば〜）

『自然真営道』『統道真伝』（陸奥国八戸の医師**安藤昌益**）

☆“万人直耕の自然世”を理想とし，身分制社会を鋭く批判。

う　経世論の発達（19世紀〜）

『稽古談』（海保青陵）⇒藩重商主義

『西域物語』『経世秘策』（本多利明）⇒貿易論・蝦夷地などの開発論

『経済要録』『農政本論』『宇内混同秘策』**（佐藤信淵）**

⇒産業国営化・貿易論

B　**尊王思想**の発達

当時の尊王思想は「将軍が天皇の委任により政権を預かる」と捉え，一般に幕府を否定するものではなく，朝廷を尊ぶことにより幕府の権威を護ろうとするものが多かった。

あ　尊王思想の発生

水戸藩の前期**水戸学**，山崎闇斎（朱子学者〔南学〕）の垂加神道。

☆水戸学は朱子学を軸に神道・国学を統合し，天皇崇拝と封建秩序の確立を説いた。

い　**尊王事件**の発生

宝暦事件（1758年，竹内式部）⇒**京都**の国学者

明和事件（1767年，山県大弐）⇒**江戸**の**『柳子新論』**を著した兵学者

う　尊王論の普及

高山彦九郎，蒲生君平（『山陵志』の著者），**頼山陽**（**『日本外史』**の著者）など。

え　幕末の**尊王攘夷運動**への影響

平田篤胤の復古神道

☆篤胤の死後，とくに中部地方・関東地方中心に広まる。

水戸藩主徳川斉昭のもとでの**後期水戸学**

☆藤田幽谷，**藤田東湖**（『**弘道館記述義**』の著者），**会沢安〔正志斎〕**（『**新論**』の著者）など。

吉田松陰の松下村塾

松尾多勢子ら女性の運動家

C　哲学的思想の登場

三浦梅園が『玄語』で宇宙論・自然哲学を説き，“条理学”を唱える。

⑦化政美術

A　**浮世絵**

あ　**『弾琴美人』**『ささやき』『五常』**（鈴木春信）**

☆1765年，一枚刷りの多色刷浮世絵版画の**錦絵**を創始。

い　**『婦女人相十品』**『高名三美人』『当時全盛美人揃』**（喜多川歌麿）**

☆蔦屋重三郎のもとで，美人絵の名手として長く活躍。

う　**『市川鰕蔵』『大谷鬼次』**　**（東洲斎写楽）**

☆蔦屋重三郎のもとで，役者絵･相撲絵の名手として短期間のみ活躍。

え　『朝比奈小人嶋遊』　（歌川国芳）

☆幕末期にかけて，世相や政治を批判する錦絵を制作。

お　**『富嶽三十六景』**　**（葛飾北斎）**

か　**『東海道五十三次』**『名所江戸百景』**（歌川〔安藤〕広重）**

☆開国後，北斎・広重はモネ・ゴッホなどフランス印象派のジャポニズム〔日本趣味〕に多大な影響を与えた。

B　写生画

あ　『群鶏図襖』　（伊藤若冲）

い　**『雪松図屏風』**『保津川図屏風』**（円山応挙）**

☆**円山派の祖**，遠近法を採用。

う　**『柳鷺群禽図屏風』**　**（呉春〔松村月溪〕）**

☆円山派から独立した，**四条派の祖**。

C　**文人画**⇒中国の**南画**の影響を受けた，文人・学者などが余技として描いたもの。

『十便十宜図』（池大雅・蕪村〔与謝蕪村〕ら）

☆各地を遊歴した浦上玉堂，江戸の谷文晁とその弟子**渡辺崋山（『鷹見泉石像』**『一掃百態』），豊後国の田能村竹田も著名な文人画家。また，美濃国大垣藩の江馬細香のような女性画家もいた。

D　**西洋画**

あ　**『西洋婦人図』**　**（平賀源内）**

い　**『不忍池図』**『三囲景図』**（司馬江漢）**

☆平賀源内に学び，**腐食銅版画〔エッチング〕**を創始。

う　**『浅間山図屏風』**　**（亜欧堂田善）**

⑧生活と信仰

A　三都・城下町の娯楽

芝居小屋，**相撲**，**寄席**，**湯屋〔銭湯〕**，**髪結床**，遊郭，**瓦版〔よみうり〕**など。

B　農村・在郷町の娯楽

村芝居，猿廻し，獅子舞，万歳，瞽女や座頭の歌など。

C　**寺社参詣**の流行

あ　寺社の世俗化

縁日，**開帳**・出開帳，**富突〔富くじ〕**など。

い　旅の流行

湯治，物見遊山，寺社参詣など。

☆『**菅江真澄遊覧記**』は，三河国の国学者が約40年にわたり東北各地を旅してまとめたもの。

う　寺社参詣の例

伊勢神宮（伊勢国，内宮・外宮への**御蔭参り）**，善光寺（信濃国），金比羅宮〔金刀比羅宮〕（讃岐国），成田不動（下総国）など。

え　聖地・霊場への**巡礼**

四国八十八カ所（弘法大師〔空海〕信仰），西国三十三カ所（観音信仰）など。

D　民衆宗教の発生⇒明治期には**教派神道**となる

あ　**黒住教**（文化期，**黒住宗忠**　〔**備前国**〕）

い　**天理教**（天保期，**中山みき**　〔**大和国**〕）

う　**金光教**（安政期，**川手文治郎**〔**備中国**〕）

E　民間行事

あ　**五節句**（人日・上巳・端午・七夕・重陽），彼岸会，**盂蘭盆会**など。

い　日待・月待・**庚申講**・富士講など。

☆各地に庚申塔がつくられた。

第16講　確認問題

1　大御所政治を展開した11代将軍とは？

①家重　②家治　③家斉　④家慶

2　異国船〔無二念〕打払令が出された年とは？

①1806年　②1825年　③1837年　④1842年

3　1837年に大坂で乱を起こした大塩平八郎は何学者であったか？

①朱子学者　②陽明学者　③国学者　④蘭学者

4　天保の改革を行った老中首座とは？

①松平定信　②水野忠邦　③阿部正弘　④堀田正睦

5　アヘン戦争が始まった年とは？

①1825年　②1837年　③1840年　④1842年

6　「三方領知替え」と関係のない藩を一つ選べ。

①川越藩　②庄内藩　③長岡藩　④薩摩藩

7　薩摩藩と関係の深い，長崎のイギリス商人とは？

①グラヴァー　②オールコック　③パークス　④アーネスト＝サトウ

8　長州藩主毛利敬親が，1837年以降，藩政改革のために登用した人物とは？

①村田清風　②大村益次郎　③長井雅楽　④高杉晋作

9　水戸藩主徳川斉昭に登用された，『新論』を著した尊王論者とは？

①藤田幽谷　②藤田東湖　③会沢安〔正志斎〕　④武田耕雲斎

10　『国意考』『万葉考』を著した国学者とは？

①荷田春満　②賀茂真淵　③本居宣長　④平田篤胤

11　大坂に設立され，富永仲基・山片蟠桃らを輩出した町人塾とは？

①蘐園塾　②懐徳堂　③咸宜園　④適塾

12　18世紀半ば，一枚刷りの多色刷浮世絵版画である錦絵を創始した画家とは？

①菱川師宣　②鈴木春信　③葛飾北斎　④歌川国芳

解答

1	③	2	②	3	②	4	②	5	③
6	④	7	①	8	①	9	③	10	②
11	②	12	②						

第17講　江戸時代Ⅵ

1　欧米列強の接近

①ロシア船の接近と幕府の対応

17世紀にイギリスでピューリタン〔清教徒〕革命・名誉革命，18世紀後半にアメリカ独立革命・フランス革命が起き，皇帝の専制が続くロシアはシベリア開発に意欲をもつなど，世界情勢が変化する中で外国船が日本近海に接近してきた。

1778年　ロシア船，厚岸に来航し通商を要求
　☆翌年，松前藩が拒否。

1783年　工藤平助の『赤蝦夷風説考』

1785年～**最上徳内**の北方探査（蝦夷地・千島列島）

1791年　林子平の『海国兵談』

1792年　ロシア使節ラクスマン，根室に来航し通商を要求
　☆エカチェリーナ２世の使節として，漂流民**大黒屋光太夫**を送還。
　☆**通商要求は拒否**，長崎入港許可証〔＝信牌〕を与える。

1798年　**近藤重蔵・最上徳内**，択捉島を探査
　☆「**大日本恵登呂府**」の標柱を立て，ロシアとの境界線を引く。
　☆このころロシア人は択捉島に上陸し，現地のアイヌと交易を行っていた。

1799年　幕府，東蝦夷地を直轄
　☆居住するアイヌを和人とした。

1800年　八王子千人同心100人を蝦夷地に入植させる

1802年　幕府，蝦夷地奉行を設置（同年，箱館奉行に改称）

1804年　ロシア使節レザノフ，長崎に来航し通商を要求
　☆アレクサンドル１世の使節として，漂流民津太夫を送還。
　☆**通商要求を拒否**，1806年～07年に“北辺の紛争”勃発へ。

1806年　文化の撫恤令〔薪水給与令〕

1807年　幕府，西蝦夷地も直轄〔＝全蝦夷地を直轄〕
　☆箱館奉行を移転，**松前奉行**とする。
　☆東北諸藩を蝦夷地警護にあたらせた。

1808年　間宮林蔵，樺太とその対岸を探検し離島であることを発見
　☆のちシーボルトにより「**間宮海峡**」が世界に紹介される。

1811年～ゴローウニン事件

☆国後島でロシア軍艦艦長ゴローウニンを捕縛。

1812年　報復のため，国後沖で北前船商人**高田屋嘉兵衛**がロシアに拿捕される。

1813年　高田屋嘉兵衛の尽力で双方の交換が成立し和解

☆ゴローウニンは帰国後『**日本幽囚記**』を出版する。

1821年　伊能忠敬らの『大日本沿海輿地全図』完成

幕府，全蝦夷地を松前藩に還付

---

②イギリス船の接近と幕府の対応

1808年　フェートン号事件

☆**イギリス軍艦がオランダ商船を追い長崎に乱入**，オランダ商館員を人質に燃料・食糧を要求し退去。長崎奉行松平康英は引責自刃。

1810年　会津藩・白河藩に江戸湾の防備を命じる

1818年　イギリス人ゴルドン，浦賀に来航し通商を要求

1824年　イギリス船常陸国大津浜・薩摩国宝島上陸事件

1825年　異国船〔無二念〕打払令

☆文化の撫恤令を撤回。清・朝鮮・琉球船のみ対象外で，オランダ船も長崎以外では打ち払うこととした。

1828年　シーボルト事件

☆**国禁の日本地図もち出し事件。**シーボルトは国外追放，幕府の天文方高橋景保は獄死。

1837年　モリソン号事件

☆漂流民送還・通商要求の**アメリカ商船**を，相模国浦賀・薩摩国山川で撃退。

1838年　水戸藩主徳川斉昭，『戊戌封事』を著す

☆翌年，12代将軍家慶に提出。

1839年　蛮社の獄

☆モリソン号事件を契機に幕府の対外政策を批判した『**慎機論**』の**渡辺崋山**や『**戊戌夢物語**』の**高野長英**ら**尚歯会**〔**蛮学社中**〕メンバーを処罰。

1840年〜アヘン戦争でイギリスが清を破る（〜42年）

☆香港島の割譲を含む**南京条約**を締結。

1842年　天保の薪水給与令

☆異国船打払令を撤回，漂着した外国船には燃料・食糧を与える。

☆以後オランダ商館長に『別段風説書』も提出させる。

---

③列強の開国要求と幕府の対応

1844年　**オランダ国王**ウィレム２世による**開国勧告**

☆翌年，海防掛の**老中首座阿部正弘**は“祖法”の遵守を理由に拒否。

1846年　**アメリカ東インド艦隊司令長官ビッドル，浦賀に来航し通商を要求**

☆**アメリカは対清貿易船・捕鯨船の寄港地として日本の開国を切望**したが，幕府は拒否。

☆1848年にはアメリカがカリフォルニアを奪い領土が太平洋岸に到達すると，清との貿易が一層さかんになった。

1853年　アメリカ東インド艦隊司令長官ペリー，琉球王国の那覇に寄港後，黒船４隻で浦賀に来航し開国を要求

☆久里浜に上陸し，**フィルモア大統領の国書**を提出。12代将軍家慶は国書を正式に受け取り，翌年の回答を約束。

☆「**泰平の　眠りをさます　上喜撰　たった四はいで　夜もねむれず**」

ロシア極東艦隊司令長官プチャーチン，長崎に来航し開国と国境画定を要求

1854年　ペリー，黒船７隻で神奈川沖に最来航

☆横浜に上陸し，**13代将軍家定と日米和親条約を締結**

プチャーチン，伊豆国下田に再来航

☆**日露和親条約**を締結。

２　開国とその影響

①和親条約の締結（1854年～）

A　**日米和親条約〔神奈川条約〕（1854年，13代家定・老中首座阿部正弘）**

あ　調印（横浜村にて）

日本全権⇒林𩗗（はやしあきら）〔林大学頭（だいがくのかみ）〕

米国全権⇒ペリー

い　内容

・日本と合衆国との永世不朽（えいせいふきゅう）の和親

・薪水・食糧の供給と難破船（なんぱせん）乗組員の救助

・下田・箱館の開港

・領事（りょうじ）駐在の許可

・アメリカに対する片務的最恵国待遇（へんむてきさいけいこくたいぐう）

う　結果

寛永期以来の鎖国体制が崩壊

B　日英和親条約（1854年）

C　**日露和親条約（1854年）**

あ　調印（下田にて）

日本全権⇒川路聖謨（かわじとしあきら）

露国全権⇒プチャーチン

い　内容（全９条）

・下田・箱館・長崎の開港

・択捉島以南を日本領，得撫島（うるっぷとう）以北をロシア領とする

・樺太は両国人雑居の地とし境界を定めず

う　結果

北方（ほっぽう）の国境が画定（かくてい），幕府は蝦夷地を再直轄（1855年）。

D　日蘭和親条約（1855年）

---

②安政の改革（1854年～，老中阿部正弘の挙国一致策）

ペリー来航を朝廷に報告，諸大名・幕臣へも諮問。

☆朝廷の権威が高まり，親藩・外様にも政治発言の機会が発生。

A　**親藩・外様の政治参与（雄藩連合の発生）**

徳川斉昭（前水戸藩主），松平慶永〔春嶽〕（越前藩主），島津斉彬（薩摩藩主），山内豊信〔容堂〕（土佐藩主），伊達宗城（宇和島藩主）ら。

B　有能幕臣の登用

江川太郎左衛門〔坦庵〕，川路聖謨，井上清直，岩瀬忠震，**勝海舟〔義邦〕**ら。

C　**国防の強化**と**洋学の研究**

1853年　江戸湾品川沖に**台場**を築造

大船建造の禁を解き諸藩の洋式軍艦建造を奨励

1855年　長崎に**海軍伝習所**を設置

☆勝海舟・榎本武揚らが参加。

蛮書和解御用を洋学所と改称

1856年　洋学所を**蕃書調所**と改称

江戸に**講武所**を設置

☆旗本・御家人に武術・砲術などを教える。

1857年　**伊豆国韮山に反射炉を建設**

☆韮山代官**江川太郎左衛門**による。

1858年　江戸に**種痘所**（のちの医学所）設置を許可

☆**伊東玄朴**らによる。

---

③通商条約の締結（1858年～）

A　経過

1856年　**アメリカ総領事ハリス**が下田の玉泉寺に着任

☆阿部正弘にかわる**老中首座堀田正睦**と交渉開始。

☆**アロー戦争〔第二次アヘン戦争〕（○英・仏vs清●）**の天津条約を背景に，ハリスが幕府を説得。

1858年　堀田正睦，条約勅許を得るため上洛

☆**孝明天皇**や一橋派の諸大名の反対により挫折。

南紀派の**井伊直弼（彦根藩主）**が**大老**に就任，**無勅許のまま独断で条約に調印**（＝違勅調印）。

B　**日米修好通商条約（1858年）**

あ　調印（神奈川沖の米艦にて）

日本全権⇒井上清直，岩瀬忠震

米国全権⇒ハリス

い　内容

・**日本大君〔将軍〕と合衆国の親睦を約束**

・下田・**箱館**の他に**神奈川（のち横浜に変更）・長崎・兵庫（のち神戸に変更）・新潟を開港**

☆神奈川開港６カ月後に下田は閉鎖。

・江戸・大坂の開市（＝商取引の許可）

・**通商は自由貿易とする**

・**協定関税〔関税自主権の欠如〕**

☆別冊の**貿易章程**で規定，従価税方式。

・**内外貨幣の同種同量による通用**

・開港場に**居留地**を設置し一般外国人の国内旅行を禁止

・居留地内の**領事裁判権の承認〔治外法権の承認〕**

・1872年以後の改正を許可

う　結果

1859年より横浜・長崎・箱館で貿易開始。**不平等条約のため，後年明治政府が改正に苦心することとなる。**

え　批准

1860年，外国奉行**新見正興**・目付小栗忠順らがポーハタン号で渡米。ブカナン大統領に謁見し，批准書を交換した。

☆**勝海舟**艦長の**咸臨丸**が随行，**日本人の手による太平洋横断に初めて成功。**

☆福沢諭吉（中津藩士）らの他に，通訳としてジョン万次郎〔中浜万次郎〕（土佐藩出身の漂流民）も渡米した。

C　**安政の五カ国条約（1858年）**

同年，オランダ・ロシア・イギリス・フランスとも同様の不平等条約を締結。

④貿易〔居留地貿易〕の開始（1859年～）

A　**貿易港**

横浜・長崎・箱館

☆横浜が全体の80％以上を占める。

B　取引

居留地で外国商人と日本商人〔売込商（うりこみしょう）・引取商（ひきとりしょう）〕が，おもに銀貨を用いて行う。

C　**相手国**

イギリス中心

☆アメリカは南北戦争（1861年～65年）のため後退。

D　**輸出品**

生糸・茶・蚕卵紙（さんらんし）・海産物などの農水産物やその加工品。

☆生糸が全体の80％を占め，大幅な輸出超過傾向。

E　**輸入品**

毛織物・綿織物・武器・艦船（かんせん）・綿糸（めんし）などの完成品。

---

⑤貿易の影響

A　生産構造の変化

あ　**輸出品（生糸・茶）の生産力が向上**

輸出産業である製糸業におけるマニュファクチュア経営は発達したが，その影響で繭（まゆ）価（けんか）が高騰（こうとう）し，**絹織物業は衰退**した。

い　**輸入品（綿織物・綿糸）業界の衰退**

綿織物業・紡績業・綿作（めんさく）は著しく衰退した。

B　流通機構の混乱

あ　自由貿易の開始による**在郷商人の台頭**

生糸の八王子～横浜間など，生産地と開港場を結ぶ新しい流通ルートを開拓。

い　**五品江戸廻送令**（**1860年**）

雑穀・水油・蠟・呉服・生糸の５品は，**必ず江戸の問屋を経て輸出するよう命令。**

☆**物価抑制と貿易統制・問屋商人の保護をはかる。**外国商人の反対もあり，在郷商人はこの廻送令を無視したが，生糸以外の商品に関しては一時的な効果があった。

C　**金貨の流出**

日本と外国の金銀比価の相違（**日本＝１：５，外国＝１：15**）により10万両以上が流出。かわりに洋銀〔メキシコドル〕が流入。

☆**1860年**，質・量ともに著しく劣る小判の鋳造により流出は防いだが，この「**万延貨幣改鋳**」**で物価上昇に拍車をかけてしまった。**

D　**激しい物価上昇**

急激な輸出超過による国内物資の不足と万延貨幣改鋳が原因。

☆ペリー来航以来，人足徴発・**安政の大地震**（1854年〜55年）・安政のコレラ（1858年）などに苦しんできた下級武士・庶民をさらに困窮させた。

E　百姓一揆・打ちこわしの活発化

F　**攘夷運動**（**＝外国人排斥運動**）の激化

1860年　ヒュースケン（オランダ人）暗殺事件

☆アメリカ総領事ハリスの通訳が，薩摩浪士らに殺害される。

1861年　ロシア軍艦対馬占拠事件

☆ロシア軍艦ポサドニック号が対馬の半植民地化をはかるが，イギリスの協力をあおぎ幕府はこれを防ぐ。

東禅寺事件

☆水戸浪士が高輪東禅寺のイギリス仮公使館を襲撃。

1862年　**生麦事件**⇒翌年の薩英戦争へと発展

☆**薩摩藩島津久光の行列を横切ったイギリス人が殺傷される。**

イギリス公使館焼打ち事件

☆長州藩士高杉晋作・井上馨・伊藤博文らが，品川御殿山に建築中のイギリス公使館を焼打ち。

３　江戸幕府の滅亡

①幕閣の分裂⇒外交政策と将軍継嗣問題（13代家定に子がないため）で対立。

A　**南紀派**

あ　外交政策

和親外交（開国論）

い　将軍継嗣

血統を重視し，**徳川慶福（紀伊藩主）**を推挙。

う　構成

井伊直弼（彦根藩主）ら譜代大名・旗本。

☆幕府独裁体制の復活をめざす。

B　**一橋派**

あ　外交政策

強硬外交（攘夷論）から，のち和親外交（開国論）へと次第に傾く。

い　将軍継嗣

年長・英明・人望を重視し，**一橋慶喜（前水戸藩主徳川斉昭の子）**を推挙。

う　構成

徳川斉昭（前水戸藩主），徳川慶勝（尾張藩主），**松平慶永〔春嶽〕（越前藩主），島津斉彬（薩摩藩主），山内豊信〔容堂〕（土佐藩主），伊達宗城（宇和島藩主）ら親藩・外様の有力大名。**

☆雄藩連合による幕政改革をめざす。

C　中間派

老中首座堀田正睦（佐倉藩主）

☆条約勅許を求めるが，孝明天皇や一橋派の反対により挫折し失脚。

②大老井伊直弼の独裁（1858年～60年）

A　**井伊直弼が大老に就任**（1858年）

あ　**日米修好通商条約を無勅許のまま調印**（＝**違勅調印**）

☆本来別個(べっこ)の思想であるはずの**尊王論(そんのうろん)**と**攘夷論(じょういろん)**が結びつく（＝**尊王攘夷論(そんのうじょういろん)**）。

い　**14代将軍として徳川家茂(いえもち)〔慶福(よしとみ)〕を擁立(ようりつ)**

う　水戸藩への戊午(ぼご)の密勅(みっちょく)降下

☆違勅調印に憤激した**孝明天皇**が，幕府を越えて直接水戸藩に攘夷の密勅を降下。井伊直弼はこれに激怒，安政の大獄(たいごく)の契機となる。

B　**安政の大獄**（1858年～59年，**反井伊派の弾圧**⇒老中間部詮勝(まなべあきかつ)が主導）

あ　**一橋慶喜**，**徳川斉昭**，徳川慶勝，**松平慶永〔春嶽〕**，**山内豊信〔容堂〕らに隠居・謹慎を命じる**

い　川路聖謨(としあきら)，岩瀬忠震(ただなり)ら開明的な幕臣も処罰

う　**橋本左内(はしもとさない)**（**越前藩士**），**吉田松陰(よしだしょういん)**（**長州藩士**），頼三樹三郎(らいみきさぶろう)（儒学者，頼山陽の子）**らを処刑**

☆梅田雲浜(うめだうんぴん)（若狭小浜(おばま)藩士）も獄死。

C　**桜田門外(さくらだもんがい)の変**（1860年）

通商条約の違勅調印・将軍継嗣問題・安政の大獄に憤激した**尊攘派(そんじょうは)の水戸浪士らが，江戸城桜田門外で井伊直弼を殺害。**

☆全国に衝撃，幕府の権威は失墜(しっつい)し独裁体制が崩壊。

③公武合体運動の展開（1860 年～64 年ごろ）

公武合体論＝朝廷（公家）と幕府（武家）の融和により，幕藩体制の再建・強化をはかろうとする思想。

A　**幕府主導の公武合体運動＝和宮降嫁（1861 年）**

老中安藤信正・老中首座久世広周の公武合体策。

1861 年　**皇女和宮（孝明天皇の妹），14 代家茂への降嫁**が決定。

☆岩倉具視ら公武合体派の公卿が孝明天皇を説得，江戸へ下り翌年結婚。

1862 年　坂下門外の変

☆**和宮降嫁に憤激した尊攘派の志士が，江戸城坂下門外で安藤信正を襲撃**。負傷した安藤は失脚，**幕府主導の公武合体運動は挫折**。

B　**雄藩主導の公武合体運動＝文久の改革（1862 年）**

島津久光（薩摩藩主島津忠義の父）**の公武合体策**。

あ　**鹿児島から上洛，孝明天皇から幕政改革の勅命を受ける**。

☆**寺田屋事件**で藩内尊攘派（有馬新七ら）を粛清。

い　勅使**大原重徳**を奉じて江戸に東下，**文久の改革**を実施。

・**将軍後見職⇒一橋慶喜**

・**政事総裁職⇒松平慶永〔春嶽〕（越前藩主）**

・**京都守護職⇒松平容保（会津藩主）**

☆**参勤交代制の緩和（３年１勤）と妻子人質制の廃止**，西洋式軍制の採用，オランダへの留学生派遣（榎本武揚・西周・津田真道ら）などを実施。

う　**江戸からの帰途，横浜で生麦事件を起こす**。

☆翌年，薩英戦争へ発展。

---

④尊王攘夷運動の激化（1862 年〜63 年）

尊王攘夷論＝後期水戸学の天皇崇拝思想（**尊王論**）と，開国反対・外国人排斥の思想（**攘夷論**）が，井伊直弼の違勅調印を契機に**反幕運動**として結びついたもの。

☆薩摩・長州・土佐などの雄藩も，下級武士・“草莽の**志士**”たちによる尊攘運動を一面で抑制・一面で利用したことから複雑な政争が展開した。

A　**長州藩尊攘派の京都制圧**　（1862 年）

藩主毛利敬親は，藩士長井雅楽の“航海遠略策”を容れ，開国策による公武合体推進の立場をとっていたが，**高杉晋作・桂小五郎〔木戸孝允〕・久坂玄瑞らの尊攘派が台頭し，藩論を転換**した。

☆島津久光（薩摩藩主の父）が文久の改革のため江戸に下る間に，急進派の公家**三条実美**や，土佐藩の武市瑞山〔半平太〕と結び，公武合体派を抑え朝廷を動かした。

⇒京都ではいわゆる“天誅”事件が相次ぐ。

B　勅使三条実美，江戸に東下　（1862 年）

公武合体派（薩摩藩主導）の勅使大原重徳に続き，尊攘派（長州藩主導）として，**幕府に攘夷の決行を迫る。**

C　**14 代家茂の上洛**　（1863 年３月）

３代家光以来の将軍上洛。**不本意にも５月 10 日の攘夷決行を孝明天皇に確約。**

D　**長州藩外国船砲撃事件〔下関事件〕（1863 年５月）**

長州藩は５月 10 日以降，関門海峡を通過する米・仏・蘭船に対し**単独で攘夷を決行**。米・仏は即座に艦隊を派遣して報復。

☆藩兵の軍事力の低さに失望した**高杉晋作**は，正規の藩兵（＝正兵）とは異なる志願制の**奇兵隊**など農商民を加えた諸隊の組織を決意。

⑤攘夷運動の挫折

A　**薩英戦争**　　　(1863年7月)

前年の**生麦事件の報復**のため，**イギリス艦隊が鹿児島湾に侵入**して交戦。双方ともに被害を受け講和。**薩摩藩は**軍備近代化の必要性と**攘夷の不可能を悟る。**

☆イギリスも薩摩藩の実力を評価，両者接近の契機となる。

B　**八月十八日の政変(1863年)**

天皇＋公武合体派(公武合体派公家と結ぶ幕府・薩摩藩・会津藩)の巻き返し。

☆過激な攘夷は天皇の本意ではないことを強調し，**長州藩の御所警備を解任。**三条実美・沢宣嘉らの**尊攘派公家は長州藩に逃れる(＝七卿落ち)。**

☆孝明天皇による攘夷祈願の大和行幸計画も中止となる。

C　**天誅組の変**　　　(1863年)

尊攘派公家の中山忠光・**吉村寅太郎(土佐浪士)**らが大和国五條の代官所を襲撃。

D　**生野の変**　　　(1863年)

尊攘派公家の沢宣嘉・**平野国臣(福岡浪士)**らが但馬国生野の代官所を襲撃。

E　**天狗党の乱**　　　(1864年)

水戸藩尊攘派の藤田小四郎(東湖の子)・武田耕雲斎らが筑波山で挙兵。攘夷延期を不服とし上洛をめざすが，追討軍に追われ加賀藩に降伏。

F　**池田屋事件**　　　(1864年)

巻き返しをはかり**京都**に集合した尊攘派の志士を，京都守護職(会津藩主松平容保)配下の**新選組**(**近藤勇**・土方歳三ら)が襲撃。

G　**禁門〔蛤御門〕の変(1864年)**

池田屋事件を契機に京都に攻め上った長州藩は，御所内外の戦いで幕府方〔薩摩藩・会津藩・桑名藩〕に敗れたうえ，**朝敵の汚名を着せられた。**

☆**真木和泉(久留米藩士)，久坂玄瑞(長州藩士)らは自刃。**京都は戦火に包まれる。

H　**四国艦隊下関砲撃事件〔下関戦争〕**（1864年）

前年５月10日の報復として，**イギリス公使オールコックが主導**する**英・米・仏・蘭**の四国連合艦隊が下関を砲撃。

☆列国は貿易のさまたげになる攘夷派に一撃を加える機会を狙っていた。

☆惨敗した**長州藩もついに攘夷の不可能を悟り，イギリスとの接近の契機となる**。

I　**第１次長州征討〔第１次幕長戦争〕**（1864年，征長総督＝前尾張藩主徳川慶勝）

幕府が禁門の変を理由に長州征討の勅命を受けて出兵。**下関戦争の結果，保守派が復権した長州藩上層部は尊攘派を弾圧，戦わずして幕府に恭順の態度をとった。**

☆翌年土佐藩でも尊攘派の武市瑞山らを弾圧，**攘夷運動は完全に挫折**した。

---

⑥列強の動き

A　**英・仏の対立**

あ　**イギリス**

オールコックを引き継いだ**公使パークスが幕府の無力を見抜き薩摩藩・長州藩に接近**。天皇を中心とする**雄藩連合政権**の実現を期待。

い　**フランス**

公使ロッシュがあくまで幕府支持の立場をとり，財政・軍事的援助を続ける。

B　**条約勅許**（1865年）

英・米・仏・蘭の４国が共同で兵庫沖に艦隊を派遣し威嚇。しかし，**兵庫開港は未だ認めず。**

☆孝明天皇の条約勅許により，攘夷論は公的には全滅した。

C　**改税約書**（1866年）⇒パークスが起草

下関戦争の賠償金減免・**兵庫開港未勅許の代償**として，関税率平均20％の従価税を一律５％の従量税として引き下げ，さらに自由貿易をさまたげる諸制限を撤廃した。

☆高価格品などの**輸入が激増**，輸出超過時代から**輸入超過時代へ**（1867年～）。

---

⑦倒幕〔討幕〕運動の展開

A　**薩摩藩**

西郷隆盛・大久保利通（としみち）らを中心に攘夷思想を放棄。**イギリスの支援**を背景に，藩論を公武合体から**武力討幕**に転換。**朝廷の公卿岩倉具視**（いわくらともみ）**らと結ぶ。**

B　**長州藩**

1864年，**高杉晋作**が長府（ちょうふ）で挙兵，領内の豪農・豪商と結び保守派から主導権を奪回。**桂小五郎〔木戸孝允〕・伊藤博文**（ひろぶみ）**・井上馨**（かおる）**・山県有朋**（やまがたありとも）らが再び台頭，攘夷思想を放棄し，藩論を幕府への恭順から**倒幕**に統一。

☆イギリスに接近し，**大村益次郎**（ますじろう）らの指導のもとに軍事力の強化に努める。

C　**薩長同盟〔連合〕（1866年，**京都薩摩藩邸において）

土佐藩士坂本龍馬（りょうま）**・中岡慎太郎の斡旋**（あっせん）で，小松帯刀（たてわき）・**西郷隆盛（薩摩藩）**と**木戸孝允（長州藩）**が**密約**を締結。相互の援助を誓い**倒幕派の主力を形成**した。

☆薩摩藩は，来（きた）るべき第２次長州征討に備え，長州藩の長崎での洋式武器購入（イギリス商人グラヴァーから）を援助。

D　**第２次長州征討〔第２次幕長戦争〕（1866年）**

幕府は長州藩に対し，第１次征討の始末として領地削減などを命じたが，藩論を一変した長州藩は応じなかった。そこで幕府は第２次征討を宣言したが，**薩長同盟の密約により薩摩藩は不参加。新式武装の長州藩が幕府軍を撃破した。**

☆流通の停滞により米価が高騰し，江戸･大坂で打ちこわしが多発する中，**14代家茂が大坂城で急死，幕府軍不利のまま征討中止。**

⑧民衆の動き

A　**世直し一揆**・打ちこわしの激増

開国にともなう物価上昇や政局をめぐる抗争は社会不安を増大させ，世相を険悪にした。

☆**幕府・公議政体派**（**土佐藩・越前藩**）・**武力倒幕派**（**薩摩藩・長州藩**）各陣営に，支配体制の再編を急がせる。

☆1866年の一揆発生件数は，江戸時代を通じ最多となる。

B　社会不安の増大

あ　**黒住教**（くろずみきょう）・**天理教**（てんりきょう）・**金光教**（こんこうきょう）など新宗教の隆盛

☆明治期に**教派神道**（きょうはしんとう）となる。

い　伊勢神宮への**御蔭参り**（おかげまいり）の大流行

う　**“ええじゃないか”**の集団乱舞（らんぶ）（**1867年**７月～）

お札降り（ふだふ）などを契機に三河国で発生。以後，東海・畿内一帯などに拡大。翌年春まで続き，**支配秩序を混乱に陥**（おとしい）**れた**。

⑨江戸幕府の滅亡

A　**徳川慶喜，京都で15代将軍に就任（1866年）**

☆フランス公使ロッシュの意見により，洋風の職制・軍制を整備（＝慶応の改革）。

B　**孝明天皇の急死　（1866年）**

☆過激な討幕を好まず公武合体の立場をとり続けた天皇の急死は，幕府にとって大きな痛手となった。

C　明治天皇即位　（1867年）

D　**“ええじゃないか”発生　（1867年７月〜）**

E　**大政奉還(たいせいほうかん)の上表(じょうひょう)　（1867年10月14日）**

あ　**前土佐藩主山内豊信〔容堂〕が15代将軍慶喜に建白。**

☆坂本龍馬の“船中八策(せんちゅうはっさく)”を手本に**後藤象二郎(しょうじろう)**が藩論を統一。

い　**京都二条城において，慶喜が明治天皇に大政奉還を上表。**

☆慶喜の狙いは，倒幕派の機先を制し，支配体制を再構築することにあった。

F　**討幕の密勅　（1867年10月14日）**

公家の**岩倉具視らが薩長の武力倒幕派と結び画策(かくさく)**したが，空振(からぶ)りに終わる。

G　坂本龍馬・中岡慎太郎暗殺事件　（1867年11月）

武力倒幕派もしくは幕府見廻組(みまわりぐみ)の仕業(しわざ)とされるが不明。

H　**王政復古の大号令　（1867年12月９日）⇒武力倒幕派の画策**

あ　朝廷でクーデタを決行し**天皇中心の維新政府を樹立，将軍・摂政・関白を廃止。**

い　**三職(さんしょく)**（**総裁(そうさい)**１名・**議定(ぎじょう)**10名・**参与(さんよ)**20名）を設置

☆総裁には**有栖川宮熾仁親王(ありすがわのみやたるひとしんのう)**が就任。

I　**小御所(こごしょ)会議**〔三職会議〕　**（1867年12月９日）⇒武力倒幕派の画策**

徳川慶喜の辞官納地(じかんのうち)（内大臣の辞退・領地の一部返上）を決定したが，公議政体派の山内豊信〔容堂〕（前土佐藩主）・松平慶永（前越前藩主）らは反対。

☆旧幕府方はこれに憤激，徳川慶喜は二条城から大坂城へ引き上げ，新政府と軍事的に対立することとなった。

〈***Note***〉

第 17 講　確認問題

1　1798 年，最上徳内とともに択捉島を探査し，「大日本恵土呂府」の標柱を立てた人物とは？

①大黒屋光太夫　②近藤重蔵　③間宮林蔵　④高田屋嘉兵衛

2　1808 年，長崎でフェートン号事件を起こした国とは？

①オランダ　②ロシア　③イギリス　④アメリカ

3　1857 年，伊豆国に反射炉を建設した韮山代官とは？

①阿部正弘　②江川太郎左衛門　③勝海舟　④伊東玄朴

4　日米修好通商条約が締結された年は？

①1853 年　②1854 年　③1856 年　④1858 年

5　幕末以降，日本の最大の輸出品となった物は？

①生糸　②茶　③蚕卵紙　④綿織物

6　1860 年に鋳造された小判とは？

①慶長小判　②元禄小判　③正徳小判　④万延小判

7　一橋慶喜の父にあたる前水戸藩主とは？

①徳川慶福　②徳川家茂　③徳川斉昭　④徳川慶勝

8　1862年，江戸城坂下門外で尊攘派の志士たちに襲撃された老中とは？

①堀田正睦　②間部詮勝　③久世広周　④安藤信正

9　1862年，薩摩藩の島津久光が主導した改革を何というか？

①天保の改革　②安政の改革　③文久の改革　④慶応の改革

10　1863年，尊攘派公家の沢宣嘉とともに生野の変を起こした福岡浪士とは？

①吉村寅太郎　②平野国臣　③真木和泉　④久坂玄瑞

11　第２次長州征討が行われた年は？

①1863年　②1864年　③1866年　④1867年

12　1867年10月14日に大政奉還が上表された場所とは？

①江戸城　②大坂城　③二条城　④京都御所

解答

1	②	2	③	3	②	4	④	5	①
6	④	7	③	8	④	9	③	10	②
11	③	12	③						

第18講　明治時代Ⅰ

1　戊辰戦争

①戊辰戦争（1868年〜69年）

1867年12月　王政復古の大号令

小御所会議

1868年１月　**鳥羽・伏見の戦い**により**戊辰戦争開始**

２月　東征大総督有栖川宮熾仁親王率いる東征軍，江戸へ向け進軍。

☆**相楽総三**らの**赤報隊**も，年貢半減令を掲げ東山道〔中山道〕を進軍。のち新政府の方針転換により“偽官軍”として処刑される。

４月　**江戸無血開城**

☆旧幕臣山岡鉄舟が尽力，新政府の東征軍参謀西郷隆盛と旧幕府の勝海舟が会談し決定。

５月　**奥羽越列藩同盟**の成立

☆東北・北陸諸藩が結んだ反新政府軍事同盟。

彰義隊の鎮圧〔**上野戦争**〕

☆上野寛永寺で大村益次郎（長州藩）らの新政府軍が鎮圧。

７月　長岡城の戦い

☆河井継之助（長岡藩）らが新政府軍に抵抗。

９月　**会津藩降伏**　〔**会津戦争**〕

☆**白虎隊**などが壊滅，会津若松城の藩主松平容保は降伏し，奥羽越列藩同盟も崩壊。

1869年５月　**五稜郭の戦い**〔**箱館戦争**〕

☆**榎本武揚**（旧幕臣）らが降伏し，**戊辰戦争は終結**。

---

②戊辰戦争における新政府の財源

A　御用金の徴収

三井組・小野組（京都），鴻池家（大坂）など。

B　**不換紙幣の発行**

太政官札（1868年）と**民部省札**（1869年）。

☆由利公正（越前藩）の建議。

２　明治維新

①“御一新”の基本方針

A　**五箇条の誓文**（1868年３月14日，京都御所紫宸殿にて）

あ　成立過程

由利公正（越前藩）が起草⇒福岡孝弟（土佐藩）が修正⇒木戸孝允（長州藩）が加筆修正。

い　内容

公議輿論〔世論〕の尊重，開国和親，天皇親政など。

☆武力倒幕派（岩倉具視・薩摩藩・長州藩など）が，公議政体派（土佐藩・越前藩など）を抑えつつも欧米列強の支持を得ようとしたため，開明的な内容となっている。

B　**五榜の掲示**（1868年３月15日）

あ　定３札（永世の定法）

・五倫の道（儒教の倫理）を正す

・徒党・強訴・逃散の禁止

・切支丹邪宗門の禁止

い　覚２札（一時の掲示）

・万国公法の履行（外国人殺傷の禁止など）

・脱藩浮浪の禁止

う　形式

全国の民衆への新政府の基本姿勢を**高札**で示す。

☆旧幕府の対民衆政策をそのまま引き継いでいた。

C　**政体書**（1868年閏４月）

あ　成立の過程

アメリカ合衆国憲法を模倣，福岡孝弟（土佐藩）・副島種臣（肥前藩）が起草。

い　内容

・中央集権（**太政官七官制**）

☆三職筆頭の総裁を廃止。地方は府藩県三治制とする。

・**形式上の三権分立**と議事制度の採用

☆立法機関の**議政官**(上局〔議定・参与〕・**下局**〔**貢士**〕)，行政機関の行政官，司法機関の刑法官を設置。

☆のち議政官の下局は公議所⇒集議院(1869年)となる。

・**高級官吏の４年ごとの互選制**(１度のみ実施)

☆実際には，有力公家や雄藩藩士が重要官職を独占する体制であった。

D　**東京遷都(1869年)**

1868年７月　江戸を**東京**と改称

８月　明治天皇即位の礼

９月　**明治と改元，一世一元の制を採用**

1869年３月　**事実上の東京遷都**

---

②版籍奉還(1869年)⇒木戸孝允(長州藩)・大久保利通(薩摩藩)らが建議

藩主が領地・人民を天皇に返還し，新政府が全国の支配権を形式上その手に収めた。

1868年閏４月　府藩県三治制

1869年　１月　**薩長土肥４藩主の版籍奉還**

６月　**全藩に版籍奉還命令**

☆旧藩主は世襲制の**知藩事**となり，**そのまま藩政にあたる。**

☆知藩事には石高にかわる**家禄**(年貢収入の10分の１)を支給。

---

③廃藩置県(1871年)

1871年　２月　**薩長土**の３藩より**御親兵**を徴集

７月　**廃藩置県**の詔⇒１使３府302県を設置(年末に**１使３府72県**)

☆**中央から派遣される府知事・県令**〔県知事〕**による中央集権体制が確立。**知藩事は罷免，家禄と華族の身分が保証されたうえで，**東京移住**となった。

☆諸藩の貢租は新政府の手に移ったが，同時に多額の負債も引き継ぐこととなった。

３　中央政府の整備

①官制の改革

A　経過

1867年　三職〔総裁・議定・参与〕(王政復古の大号令による)

1868年　太政官七官制　（政体書による）

1869年　太政官二官六省制　（版籍奉還後の改革による）

☆祭政一致・天皇親政の方針から大宝令の形式を復活，**神祇官を太政官の外に置く。**

1871年　太政官三院制　（廃藩置県後の改革による）

☆**正院**（**最高機関**，太政大臣・左右大臣・**参議**），**左院**（**立法機関**），**右院**（省務の協議機関，各省の長官〔卿〕・次官〔大輔〕）。

☆**神祇官は神祇省に格下げ**，民部省を廃止。

B　**藩閥政府**の形成⇒いわゆる**薩長土肥**

あ　**公家**

三条実美（**太政大臣**），**岩倉具視**（**右大臣**）ら。

い　**薩摩**

大久保利通，**西郷隆盛**，**黒田清隆**，**松方正義**，西郷従道，大山巌ら。

う　**長州**

木戸孝允，**伊藤博文**，**井上馨**，**山県有朋**ら。

え　**土佐**

板垣退助，**後藤象二郎**，佐々木高行，福岡孝弟ら。

お　**肥前**

大隈重信，**江藤新平**，副島種臣，大木喬任ら。

②軍制の整備

1869年　兵部省の設置⇒**大村益次郎（長州藩）の尽力**

☆しかし大村はこの年，不平士族に暗殺される。

1871年　**御親兵**の徴集

☆のち近衛兵さらに近衛師団へと発展し，天皇の警護にあたる。

鎮台の導入

☆４鎮台（東京・大阪・東北・鎮西）の設置。

1872年　兵部省を廃止し**陸軍省・海軍省**に分離

徴兵告諭の発布⇒**山県有朋（長州藩）の尽力**

1873年　**徴兵令の発布⇒国民皆兵**を目標に**満20歳の男子から選抜し３年間徴兵**

☆兵役免除規定（**戸主・嗣子**・養子，官吏・学生，**代人料**270円を納める者など）が多く，**実際には庶民の二男以下にのみ適用された。**

☆士族の不満や農民の**徴兵令反対一揆〔血税騒動〕**もあった。

鎮台の増設

☆６鎮台（東京・大阪・仙台・熊本・名古屋・広島）とする。

---

③官庁の新設

1869年　**開拓使**の設置

☆蝦夷地を**北海道**と改称，その開拓と経営を担う。

1870年　**工部省**の設置

☆殖産興業政策を推進，**初代工部卿は伊藤博文（長州藩）**。

☆1885年に内務省に吸収。

1871年　**文部省**の設置

☆教育制度の整備を推進，**初代文部卿は大木喬任（肥前藩）**。

1873年　**内務省**の設置

☆**殖産興業・警察事務・地方行政を統括，初代内務卿は大久保利通（薩摩藩）**。

1874年　東京に**警視庁**を設置⇒川路利良（薩摩藩，初代大警視）の建議

☆邏卒を巡査と改称。

４　四民平等

男女の差別はあったが，共通の義務をもつ「国民」が形成された。

①四民平等

A　身分制度の撤廃（1869年）

あ　**華族**（公家・大名）

☆経済的な特権あり。

い　**士族**（武士）

☆特権は徴兵令・秩禄処分・廃刀令によりすべて消滅。

☆当初，足軽など微禄（びろく）の武士出身者は「卒（そつ）」とされた。

う　**平民**（農・工・商など庶民）

☆当時の全人口約3300万人の９割以上。

B　形式的な平等政策

あ　**平民にも苗字（みょうじ）〔名字〕を許可**

い　**平民と華族・士族との結婚を許可**

☆しかし，華族・士族意識は強烈に残存。

う　**平民の移住・職業選択の自由**

え　解放令〔賤称（せんしょう）廃止令〕（1871年）

☆えた・ひにんなどの呼称を廃止し平民としたが，**“新平民”**という差別的呼称も残存し，形式的なものに過ぎなかった。

☆また，従来は彼らに許されていた特定の職の営業独占権がなくなり，逆に教育・兵役の義務が加わったので，生活はかえって苦しくなった。

参考：**アイヌ**の立場

1878年　アイヌを“旧土人（きゅうどじん）”とする

1899年　北海道旧土人保護法の制定

☆保護地に集住，農業に従事させるなど同化政策をとった。

☆**1997年にアイヌ文化振興（しんこう）法**〔**アイヌ新法**〕が制定されるまで継続。

C　**戸籍法（1871年）**

翌**1872年**，全国民の苗字と名前を登録（**壬申（じんしん）戸籍⇒初の近代的全国戸籍**）。

☆華族・士族・平民の族籍を記載したため，差別の温存につながった。

②士族の解体

A　**秩禄**(ちつろく)〔家禄・賞典禄(しょうてんろく)〕の整理

財政負担(歳出の約30％)の解消をはかる。

1873年　秩禄奉還の法

☆希望者に対し秩禄の支給を止めるかわりに一時金を支給，約３分の１を整理。

1875年　米の現物支給から現金支給〔金禄〕へと転換

1876年　秩禄処分

☆受給者に対し年間支給額の５～14年分にあたる**金禄公債証書**(きんろくこうさいしょうしょ)を与え，秩禄を全廃。同年の**廃刀令**と合わせ，士族はすべての特権を失った。

☆華族＝１人平均６万円余り，士族＝１人平均約500円。

B　**士族授産**⇒資金の貸し付けや就職の斡旋(あっせん)など

あ　官吏(かんり)・巡査・教員など

い　帰農

う　**「士族の商法」**

☆売却した金禄公債証書を元手に慣れない商売に手を出し，失敗して没落する者も多かった。

え　**屯田兵**(とんでんへい)

☆**北海道開拓**事業の一貫，1874年～1904年。

C　**不平士族**の抵抗

四民平等・徴兵令・秩禄処分・廃刀令によりすべての特権を失い動揺。

あ　**言論による抵抗⇒自由民権運動**

い　**武力による抵抗⇒士族の反乱**

５　地租改正

①目的

安定した財源の獲得，近代的土地私有の創出。

---

②前提

1871年　田畑勝手作りを許可〔作付制限令の撤廃〕

1872年　田畑売買を許可　　〔田畑永代売買の禁令の撤廃〕

地価を定め地券〔壬申(じんしん)地券〕を発行

☆地券は原則として従来の年貢負担者に交付され，年貢を受け取る知行権を内容とする封建的土地制度は解体した。

☆1886年，登記法(とうきほう)の公布により意義を失い地券制度は廃止となる。

---

③実施

1873年　地租改正条例

☆1880年ごろまでに，山林・原野(げんや)を除きほぼ完了。

---

④要点

A　**課税基準**

不安定な**収穫高**(石高)⇒一定した**地価**(地方官の査定により決定)へ

B　**納入方法**

物納　(米・貨幣など)⇒**金納(地租は地価の３％)**へ

C　**納税者**

村請制(むらうけせい)〔本百姓〕　　⇒**地主〔地券所有者〕**と確定

D　その他

あ　山林・原野などの**入会地(いりあいち)のうち所有権を立証できないものは官有地に編入**

☆地租改正反対一揆の一因となる。

い　地価の１％を地方税である**民費**として金納

---

⑤影響

A　**政府**

ひとまず安定した税収を確保し，財政の基礎が確立。

☆従来の年貢収入を維持する方針で実施。

B　**地主〔地券所有者〕**

土地所有権が確立。**地租は定額で固定されているため，米価高騰（こうとう）により利益は増大。**

☆**寄生地主制**の発生。

C　**自作農**

土地所有権は確立したが，**高率の地租に苦しみ**小作人に転落する者が増加。一部は低賃金労働者として都市に流出。

D　**小作農**

高率の現物小作料により貧窮（ひんきゅう）。一部は低賃金労働者として都市に流出。

E　**地租改正反対一揆**の多発

茨城県の茨城大一揆〔真壁（まかべ）騒動〕，三重・愛知・堺・岐阜県の三重・東海大一揆〔伊勢暴動〕（1876年）など

F　**意義**

財政の基礎・近代的税制が確立。地主・自作農の土地所有権が確立し，地租の金納が始まり，農村への商品経済の浸透（しんとう）が進んだ。

６　近代産業の育成

①目標

富国強兵・殖産興業

---

②準備⇒封建的諸制度の撤廃。

A　専売制の廃止，株仲間解散

B　関所・津留（つどめ）・宿駅・助郷（すけごう）制度の撤廃

---

③官庁

A　**工部省（1870年〜85年）**

鉄道・造船・鉱山・電信・工作などを管轄。

B　**内務省（1873年）**

勧業・土木・地方行政・警察などを管轄。

---

④指導

のべ３千人におよぶ**お雇（やと）い外国人〔外国人教師〕**の活躍。

---

⑤鉄道⇒大都市と開港場を結びつける

A　**新橋〜横浜間（1872年，イギリスの援助）**

☆53分間で首都と開港場を結ぶ“**陸蒸気（おかじょうき）**”。

B　大阪〜神戸間（1874年）

C　大阪〜京都間（1877年）

---

⑥軍事⇒旧幕藩施設の継承・拡充

東京砲兵工廠（ほうへいこうしょう）（もと関口大砲製作所），大阪砲兵工廠，長崎造船所（もと長崎製鉄所），横須賀造船所（もと横須賀製鉄所），石川島造船所，兵庫造船所など。

---

⑦**通信**⇒のち逓信省（ていしんしょう）の管轄（1885年～）

A　**郵便**

1871年　官営郵便制度の発足（ほっそく）⇒前島密（ひそか）の建議

☆東京～大阪間で郵便事業開始。まもなく全国均一料金制を採用し，飛脚（ひきゃく）制度にかわる郵便網（もう）が発達。

1877年　万国郵便連合条約〔UPU〕に加盟

B　**電信**

1869年　**東京～横浜間**

1874年　長崎～小樽（おたる）間

☆長崎～上海（シャンハイ）の海底電線を通じ欧米と接続。

C　電話

1877年　輸入

1890年　官営の電話事業開始

---

⑧**海運**

内務卿大久保利通・大蔵卿大隈重信の保護を受け，**岩崎弥太郎（土佐藩）**設立の**三菱**が躍進。

1870年　藩営の土佐商会を譲り受け九十九（つくも）商会を創設

1873年　三菱商会と改称

1874年　台湾出兵の軍事輸送に活躍

1875年　郵便汽船三菱会社に拡張発展

1877年　西南戦争の軍事輸送に活躍

1878年　紀尾井坂の変で大久保利通殺害

1881年　明治十四年の政変で大隈重信下野

1885年　日本郵船会社

☆岩崎弥太郎の死後，弟の弥之助が競合相手の**共同運輸会社（政府・三井系）**と合併。

---

⑨農業

A　**駒場農学校**　　（**東京府**）

B　三田育種場（いくしゅ）　　（東京府）

C　内藤新宿試験場（東京府）

D　**札幌農学校**　　（**北海道**，1876年）

　　教頭として**アメリカ人クラーク**が赴任しキリスト教にもとづく教育を展開。

　　のち**内村鑑三**（かんぞう）・**新渡戸稲造**（にとべいなぞう）らを輩出した（＝**札幌バンド**）。

E　安積疏水（あさかそすい）の開削（かいさく）（福島県）

　　猪苗代湖（いなわしろこ）の水を郡山（こおりやま）盆地に供給。

---

⑩産業

A　製糸・紡績の器械生産を促進

　　富岡製糸場・新町（しんまち）**紡績所（群馬県）**，千住製絨所（せいじゅう）・品川硝子（ガラス）製造所・深川セメント製造所（東京府）などの**官営模範**（もはん）**工場**を設立。

B　勧業政策

　　1877年　第１回内国（ないこく）**勧業博覧会**（東京上野公園にて）

　　　　　　☆以後，1903年の第５回まで開催。

　　1885年　農商務省の書記官前田正名（まさな）が『興業（こうぎょう）意見』を編纂

---

⑪北海道

　開拓次官（のち長官）黒田清隆が**アメリカ人ケプロン**を顧問（こもん）として招き，**アメリカ式大農場制度**・畜産技術の移殖をはかる。

1868年　箱館裁判所を設置

1869年　蝦夷地を**北海道**と改称し東京に**開拓使**を設置

1871年　開拓使を札幌に移転

1874年　**屯田兵制度**の開始

1876年　**札幌農学校**を開校し**アメリカ人クラーク**を教頭に招く

1882年　開拓使を廃止し函館・札幌・根室３県体制となる

1886年　３県ともに廃止し**北海道庁**を設置

　　　　☆1900年に衆議院議員選挙法を施行。

７　近代的貨幣・金融制度の整備

①近代的貨幣・金融制度の整備

A　**新貨条例**　　　（1871年，伊藤博文の建議）

円・銭・厘の十進法による金本位制確立をはかる。

☆造幣局で**金貨・銀貨・銅貨**を鋳造。

☆実際には金銀複本位制（開港場では貿易銀，国内では不換紙幣を使用）。

B　政府紙幣〔明治通宝札〕の発行（1872年）

太政官札（1868年），民部省札（1869年）に続く不換紙幣を発行。

C　**国立銀行条例**　（1872年，渋沢栄一の尽力で）

アメリカの**ナショナル=バンク**の制度にならった**民間銀行**を設立。**民間の資本力で兌換紙幣を発行させようとした。**

☆**発行銀行券の正貨兌換を義務付け**たため，設立は**４行**（**第一国立銀行〔東京**〕など）にとどまる。

D　**国立銀行条例改正（1876年）**

発行銀行券の正貨兌換義務を取り除いたうえ，金禄公債証書を資本金とすることも認められたので，第十五国立銀行〔華族銀行〕をはじめ設立が急増した。

☆第百五十三国立銀行（1879年，京都）まで設立が進む。

---

②政商の成長

三井，**岩崎弥太郎〔三菱〕**，住友，安田善次郎，**古河市兵衛**，**五代友厚**などが政府と結び特権を得た。

☆のちに**財閥**へと成長するものも多かった。

８　明治初期の国際問題

①岩倉使節団（1871年〜73年）

A　**目的**

あ　**条約改正の予備交渉**

い　**欧米諸国の制度・文物の視察**

B　**全権**

右大臣岩倉具視を大使に，**大久保利通（薩摩）**，**木戸孝允・伊藤博文（長州）**，山口尚芳（肥前）が副使として随行。

☆新島襄は通訳として，**中江兆民（土佐）**・**津田梅子**・山川捨松らは留学生として使節団に同行。

C　**結果**

欧米視察は一定の成果をあげるが，条約改正の予備交渉は完全に失敗。

☆随行した**久米邦武**は『**（特命全権大使）米欧回覧実記**』を著す。

D　**影響**

この外遊体験が，使節団と留守政府（三条実美・西郷隆盛・板垣退助・江藤新平・副島種臣ら）との対立を引き起こし，**明治六年の政変〔征韓論争〕**が発生する。

---

②清国との関係

1871年　日清修好条規（日本全権⇒伊達宗城　清国全権⇒李鴻章）

☆相互に開港し領事裁判権を認め合うなど，**わが国初の対等条約**だが，日本側は不満で1873年に批准。

琉球漂流民殺害事件

☆**台湾で琉球民が殺害される。**

1872年　**琉球藩**の設置

☆前年に鹿児島県に編入されていた。

☆**尚泰**を藩王とし華族に列したが，宗主権を主張する清国は強く抗議し，この措置を認めなかった。

1874年　台湾出兵〔征台の役〕

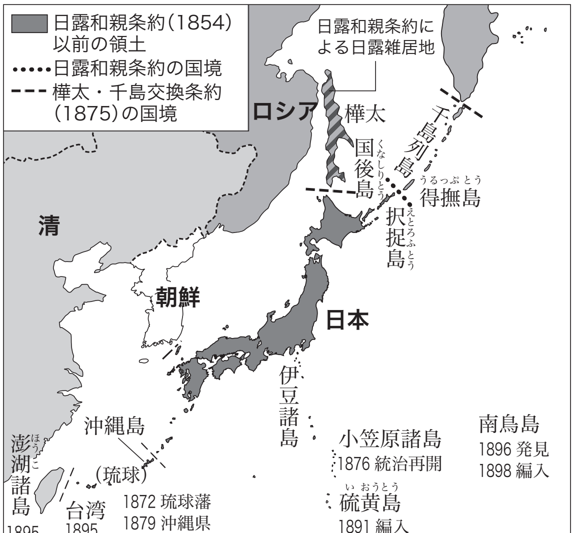
☆琉球漂流民殺害事件を理由に**西郷従道**が出兵。木戸孝允はこれに反対し政府から下野。

☆大久保利通が北京で交渉，駐清イギリス公使ウェードの調停により日清互換条款を締結。日本の出兵を正当な抗議と認めた清国が日本に事実上の賠償金として50万両を支払い，決着した。

1879年　沖縄県を設置，琉球処分を完了

☆前アメリカ大統領グラントの調停（先島分島案＝宮古・八重山諸島を清に譲り，清国は日本に西欧並みの権限を与える）は失敗。

☆琉球問題は日清戦争における日本の勝利によって解決（1895年）。



③朝鮮との関係

1873年　**征韓論**⇒武力による朝鮮の開国をめざす

☆欧米視察から帰国した岩倉具視･大久保利通･木戸孝允ら〔内治(ないち)優先派〕に敗れた，留守政府の**西郷隆盛・板垣退助・江藤新平**・副島種臣ら〔**征韓派**〕が**下野(げや)**（＝明治六年の政変）。

1875年　**江華島(こうかとう)事件**

☆日本の軍艦雲揚(うんよう)が朝鮮側を挑発し戦闘に発展する。

1876年　**日朝修好条規**〔江華条約〕（**日本全権⇒黒田清隆**）

☆領事裁判権・関税免除などを承認させた，**日本優位の不平等条約**。

☆釜山(プサン)など３港（のち仁川(じんせん)・元山(げんざん)と決定）の開港と貿易の開始，**清国の宗主権(そうしゅけん)を否定**。

---

④国境の確定

A　**樺太(からふと)・千島(ちしま)交換条約**（**1875年**，ペテルブルグにて）

日本全権⇒榎本武揚(えのもとたけあき)　露国全権⇒ゴルチャコフ

開拓長官黒田清隆が，北海道開拓事業専念のため樺太の放棄を主張。**ロシアに樺太領有を認める代わりに，日本が千島列島すべてを領有。**

B　**小笠原(おがさわら)諸島の領有**　（1876年）

米･英に対し領有宣言して異議がなかったため，内務省のち東京府が管轄。

第18講　確認問題

1　1868年，会津戦争で降伏した会津藩主とは？

①上杉景勝　②松平慶永〔春嶽〕　③松平容保　④榎本武揚

2　1868年の五榜の掲示はどのような形式で人々に知らされたか？

①御触書　②高札　③布告　④官報

3　廃藩置県(1871年)に備え御親兵を徴集された藩として不適切なものを一つ選べ。

①薩摩藩　②長州藩　③土佐藩　④肥前藩

4　1873年の徴兵令では，満20歳以上の男子は何年間徴兵されたか？

①１年　②３年　③５年　④10年

5　1870年，初代工部卿となった人物とは？

①大久保利通　②西郷隆盛　③木戸孝允　④伊藤博文

6　秩禄処分と廃刀令が実施された年は？

①1873年　②1874年　③1876年　④1877年

7　地租の負担は当初地価の何％であったか？

①１％　②2.5％　③３％　④3.3％

8　1872年，新橋～横浜間の鉄道開通を援助した国とは？

①イギリス　②フランス　③アメリカ　④ロシア

9　1869年，初めて電信が開通した区間は？

①東京～横浜　②東京～名古屋　③東京～京都　④東京～大阪

10　1876年，アメリカ人クラークが教頭として招かれた官立学校とは？

①東京大学　②札幌農学校　③工部美術学校　④工部大学校

11　富岡製糸場や新町紡績所があった県とは？

①長野県　②山梨県　③群馬県　④栃木県

12　1872年の国立銀行条例の成立に尽力した人物とは？

①大久保利通　②大隈重信　③井上馨　④渋沢栄一

解答

1	③	2	②	3	④	4	②	5	④
6	③	7	③	8	①	9	①	10	②
11	③	12	④						

第１９講　明治時代Ⅱ

１　新政府への抵抗

①士族の反乱

Ａ　背景

あ　新政府への不満

徴兵令・征韓論の敗北（1873年），廃刀令・秩禄処分（1876年）などによる特権の剥奪（はくだつ）と経済的困窮（こんきゅう）。

☆薩長藩閥に対する他藩出身者の不満も増大。

い　**征韓派参議の下野（1873年，明治六年の政変）**

不平士族が西郷隆盛・江藤新平らのもとに結集。

Ｂ　展開

1874年　佐賀の乱　（**江藤新平**〔前参議・司法卿（きょう）〕ら）

☆攘夷征韓を主張し征韓党を結成するが敗退，首領の江藤は処刑された。

1876年　神風連（じんぷうれん）〔敬神党〕の乱（太田黒伴雄（おおたぐろともお）〔旧熊本藩士〕ら）

☆廃刀令・秩禄処分に憤激した復古的攘夷主義者たちが，熊本鎮台を襲撃。

秋月（あきづき）の乱　（宮崎車之助（しゃのすけ）〔旧秋月藩士〕ら）

☆神風連の乱に呼応し福岡県で挙兵。

萩の乱　（**前原一誠（まえばらいっせい）**〔前参議〕ら）

☆旧長州藩士らが挙兵，前原は処刑された。

1877年　西南戦争　（**西郷隆盛**〔前参議〕ら）

☆**鹿児島**の私学校生を中心とした最大の反乱。

☆**最強の士族軍が敗れ，新政府の徴兵軍の実力が認知される。**

1878年　紀尾井坂の変

☆大久保利通が暗殺され，「維新の三傑」はすべて死去。

竹橋事件

☆西南戦争後の待遇に対する不満から近衛兵が反乱。

☆衝撃を受けた政府は軍人訓戒を発布し，陸軍に**参謀本部**を新設（1878年）。

☆1882年，さらに**軍人勅諭（西周らが起草）**を発布。大元帥である天皇への忠節を強調し，軍人の政治関与を戒めた。

C　結果

あ　**西南戦争を最後に武力による反抗は終結，以後は言論による自由民権運動へ。**

い　**西南戦争における莫大な戦費調達のため政府は不換紙幣を濫発，インフレーション〔物価高〕を招く。**

---

②農民の抵抗

A　原因⇒新政府への不満

あ　開明的政策への不満

身分解放令（1871年），太陽暦の採用（1872年）など。

い　負担増大への不満

学制（1872年），徴兵令・地租改正（1873年）など。

B　展開⇒**農民一揆**の発生

あ　**学制反対一揆**

い　**徴兵令反対一揆〔血税騒動〕**

う　**地租改正反対一揆**⇒1876年に拡大

低米価のもとで過去の高米価も含めて平均した地価を基準に地租を定めることや，入会地のうち所有権を立証できないものを官有地に編入することなどに反対した。

☆政府は西南戦争直前に**地租を2.5%に引き下げ**，民費も軽減した（**1877年**，「竹槍でドンと突き出す二分五厘」）。

２　自由民権運動の展開

①自由民権運動の背景

A　西洋思想の流入

啓蒙(けいもう)思想家たちによる，フランス流自由主義やイギリス流功利(こうり)主義の紹介。

B　反政府運動の高揚(こうよう)

不平士族の反乱や農民一揆が多発。

C　**征韓論の敗北〔明治六年の政変〕(1873 年)**

征韓派参議である**西郷隆盛(薩摩)・板垣退助(土佐)・後藤象二郎(しょうじろう)(土佐)・副島種臣(そえじまたねおみ)(肥前)・江藤新平(肥前)**が下野(げや)。

---

②自由民権運動の開始(段階＝士族民権)

1874 年，民撰(みんせん)議院設立の建白書を太政官の**左院(さいん)**に提出。

A　背景

薩長藩閥による“有司(ゆうし)専制”に対する士族たちの不満。

B　署名者

板垣退助・後藤象二郎・江藤新平・副島種臣ら８名。

☆**東京**で**愛国公党(わが国初の政社)**を結成。

C　内容

「維新の功労者」たる士族・豪農・豪商の参政権を要求。

☆全文が『**日新真事誌**(にっしんしんじし)』(**イギリス人ブラック**が創刊した邦字(ほうじ)新聞)に掲載される。

D　**民撰議院論争**⇒全国に拡大

あ　**早期開設論**

大井憲太郎(けんたろう)〔馬城台二郎(ばじょうだいじろう)〕，津田真道(まみち)，西村茂樹(しげき)ら。

い　**時期尚早(しょうそう)論**

加藤弘之(ひろゆき)，森有礼(ありのり)，西周(あまね)ら。

E　意義

政府には時期尚早と無視されたが，以後発展する自由民権運動の口火となる。

---

③自由民権運動の展開

1874年１月　**東京**で**愛国公党**を設立

民撰議院設立の建白書を**左院**に提出

４月　**高知**で**立志社**を設立⇒**板垣退助・片岡健吉**ら

☆福島の石陽社，徳島の自助社など各地で**政社**の結成あいつぐ。

1875年１月　**大阪会議**（**大久保利通**・木戸孝允・**板垣退助**）

☆①木戸孝允・**板垣退助の参議復帰**②**漸次**（ぜんじ）**立憲政体樹立の詔**③**元老院・大審院・地方官会議**の設置が決定。政府側も立憲制に移行していくことを確認した。

２月　**大阪**で**愛国社**を結成（第１回大会）⇒各地の政社の連合組織

６月　**讒謗律**（ざんぼうりつ）**・新聞紙条例**

1877年６月　**立志社建白**

☆西南戦争中，社長の片岡健吉を総代として国会開設・地租軽減・対等外交などの天皇上表を試み，却下された。

☆このとき，立志社の一部が反乱軍に加わろうとしたこともあり，民権運動は一時的に下火となった。

1878年７月　（地方）**三新法**〔**郡区町村編制法・府県会規則・地方税規則**〕

☆初の統一的地方制度。ある程度の民意が汲み入れられた。

９月　**愛国社再興**（第２回大会，大阪）

☆豪農・商工業者参加の“**豪農民権**”へと発展

1879年11月　愛国社第３回大会（大阪）において国会開設請願書提出を決議

1880年３月　愛国社第４回大会（大阪）において**国会期成**（きせい）**同盟**へと発展

４月　**集会条例**

☆政府は国会開設請願書を受理せず，政治結社・集会の届け出制や屋外集会の禁止などを規定。

1881年７月　**開拓使官有物払い下げ事件**

☆**開拓長官黒田清隆**が，同じ**薩摩藩出身**である政商**五代友厚**(ごだいともあつ)の関西貿易社に対し，不当な低価格で官有物を払い下げようとしたことが露呈(ろてい)。藩閥による“有司専制”として世論の攻撃を浴び，**払い下げは中止となる。**

10月　**明治十四年の政変**⇒大久保利通死後の政府内部の主導権争い

☆国会の**早期開設**を主張する**参議大隈重信**を，**時期尚早**とする右大臣岩倉具視・**参議伊藤博文**らが罷免(ひめん)。同時に欽定憲法制定の基本方針を決定，**国会開設の勅諭**(ちょくゆ)を発布して**1890年の国会開設を公約**した。

↓↓↓

私擬憲法〔憲法私案〕の作成・民権論の高揚(こうよう)・**政党**の結成へ

A　**私擬憲法**〔憲法私案〕

あ　『国憲意見』　（福地(ふくち)源一郎〔桜痴(おうち)〕）

い　**『私擬憲法案』**　（**交詢社**(こうじゅんしゃ)〔福沢諭吉系〕）

☆議院内閣制・国務大臣連帯責任制・二院制を主張。

う　**『五日市(いつかいち)憲法草案〔日本帝国憲法〕』**（千葉卓三郎(たくさぶろう)ら）

え　**『東洋大日本国国憲按』**　**（植木枝盛）**

☆広範な人権保障・一院制を主張，**抵抗権・革命権**を定め急進的。

お　**『日本憲法見込案』**(みこみ)　**（立志社）**

B　**民権論**の高揚

あ　**民権派**

『民約訳解』『三酔人経綸問答』(さんすいじんけいりんもんどう)**（中江兆民）**，『天賦人権論』（馬場辰猪(ばばたつい)），『天賦人権弁』**『民権自由論』（植木枝盛）**

い　**国権派**

『人権新説』（加藤弘之(ひろゆき)**）**

う　**女流民権家**

岸田〔中島〕俊子，**景山〔福田〕英子**(ひでこ)らが活躍。

C　**政党**の結成

あ　**自由党**　（1881年～84年）

主要人物　**板垣退助，後藤象二郎，片岡健吉，植木枝盛，星亨**（ほしとおる），河野広中（こうのひろなか）ら

性　格　**フランス流急進主義**（＝自由主義）

主　張　**主権在民，一院制，普通選挙**

支持層　**不平士族，豪農・豪商，貧農など**

新　聞　**『自由新聞』**『朝野（ちょうや）新聞』

い　**立憲改進党**（1882年～）

主要人物　**大隈重信**，矢野龍渓（りゅうけい）〔文雄（ふみお）〕，犬養毅（いぬかいつよし），尾崎行雄（ゆきお）ら

性　格　**イギリス流漸進（ぜんしん）主義**

主　張　**主権在君民，二院制，制限選挙**

支持層　**知識人（福沢諭吉など），都市実業家（とくに三菱）など**

新　聞　**『郵便報知新聞』**

う　**立憲帝政党**（1882年～83年）

主要人物　**福地源一郎**〔桜痴〕ら

性　格　**ドイツ流国粋主義**（＝保守主義）

主　張　**主権在君，二院制，制限選挙**

支持層　**官僚，神職（しんしょく），僧侶，国学者，儒学者など保守層**

新　聞　**『東京日日新聞』**

３　松方デフレ財政

①大隈財政（1873年〜80年，大蔵卿大隈重信）

A　背景

あ　**インフレーション〔物価高〕の進行**

殖産興業政策や西南戦争の軍事負担のため，政府の不換紙幣・民間の国立銀行券が濫発され，通貨価値が下落した。

い　**財政の破綻**

インフレによる歳入の実質的減少と，輸入超過による大量の正貨流出。

B　政策

あ　酒造税・地方税の増税

い　内地産業の勃興・輸出金融の促進により輸出増加をはかるが挫折

☆1880年，貿易金融専門の**横浜正金銀行**を設立。

う　不換紙幣整理のため外国債募集を提案するが伊藤博文らの反対により挫折

え　**経費節減のため，官営事業の払い下げを計画（1880年，工場払下げ概則）**

☆基準が厳しいうえ高額であったため，払い下げが進まず挫折。

C　結果

明治十四年の政変（1881年）による参議大隈重信の罷免で頓挫。

---

②松方財政（1881年～，大蔵卿〔のち大蔵大臣〕松方正義（まさよし））

A　目的

あ　**インフレーションの収拾**

☆**正貨〔銀・金〕蓄積（ちくせき）と，不換（ふかん）紙幣〔政府紙幣・国立銀行券〕整理をはかる。**

い　**安定した貨幣制度の確立**

☆兌換（だかん）紙幣を発行し，近代的な信用制度の確立をはかる。

B　**政策＝デフレ政策**

あ　間接消費税〔酒造税・煙草（たばこ）税など〕を中心とする**増税により歳入増加**

い　**軍事費を除く緊縮財政〔デフレ財政〕により歳出減少**

☆**1884年に工場払下げ概則を廃止し，軍事工場と鉄道を除く官営事業の払い下げを積極的に実施。**

う　農商務省の設置（1881年）

☆民間企業の育成をはかる。

え　**銀本位制の貨幣制度を確立**

1882年　中央銀行として**日本銀行**を設立

1883年　国立銀行条例再改正

☆**国立銀行から紙幣発行権を取り上げ**，普通銀行に転換させる。

☆国立銀行券は，徐々に兌換紙幣と引きかえて処分。

1885年　日本銀行，銀兌換の日本銀行券発行を開始

1886年　政府紙幣〔不換紙幣〕の銀兌換を開始

C　松方デフレの**悪影響**

あ　**深刻な不況（ふきょう）**

☆増税と不換紙幣回収による物価下落のため。

い　**寄生地主制の発展**

・**米価や繭（まゆ）価（けんか）の暴落により中小地主や自作農が小作農に転落**

☆増税＋定額金納の地租に苦しむ。

・**大地主は土地を集積し金融業・商業へ進出**

☆一方で**貧農は都市へ流入し，低賃金労働者となる。**

・全国的な不況のため一般都市民・下級士族も困窮

う　**経営難・生活難のため豪農・豪商が手を引き自由民権運動が急進化**

D　松方デフレの**好影響**

あ　**銀本位制の確立**

い　民間企業の勃興（ぼっこう）

☆官営事業払い下げ，金利低下にともなう積極的な資金調達などによる。

う　特権的**政商**資本の育成

☆民間の投資が活発化し，資本の原始的蓄積（ちくせき）が進行。

E　**官営事業の払い下げ**

あ　**鉱山業**

高島炭鉱	**（長崎県）**	後藤象二郎のち**三菱**
院内銀山	（秋田県）	古河市兵衛（ふるかわいちべえ）
阿仁（あに）銅山	（秋田県）	古河市兵衛
三池（みいけ）炭鉱	**（福岡県）**	佐々木八郎のち**三井**
佐渡金山	（新潟県）	三菱
生野（いくの）銀山	（兵庫県）	三菱
釜石（かまいし）鉄山	（岩手県）	田中長兵衛（ちょうべえ）

い　**造船業**

長崎造船所	**（長崎県）**	**三菱**
兵庫造船所	（兵庫県）	川崎正蔵（しょうぞう）

う　**セメント業**

深川セメント製造所	**（東京府）**	**浅野総一郎**

え　繊維（せんい）工業

新町（しんまち）紡績所	**（群馬県）**	**三井**
富岡製糸場	**（群馬県）**	**三井**

４　自由民権運動の激化⇒衰退⇒再燃

①民権運動の転換（豪農民権から農民民権へ）

A　岐阜事件（1882年，「板垣死すとも自由は死せず」）

自由党総理の**板垣退助**が，岐阜県の演説会場で襲撃され負傷。

☆この事件で自由党員が動揺したことに対し，民権派の穏健化（おんけんか）をはかる政府の井上馨（かおる）・伊藤博文らは，ひそかに**三井**から板垣退助・後藤象二郎の洋行費（ようこうひ）を出させ，懐柔（かいじゅう）をはかった。

B　**自由党の内紛と立憲改進党との対立**

板垣退助・後藤象二郎の外遊問題を立憲改進党が攻撃したが，自由党は**大隈重信**と**三菱**との関係を暴（あば）き反撃。

☆自由党内では左派と右派が対立。統一的な指導部を失い，左派が急進化の動きをみせる。

C　政府による弾圧の強化

集会条例改正（1882年，政党の支部設置を禁止），新聞紙条例改正（1883年）。

D　**豪農層の民権運動離脱と運動の急進化**

松方デフレ財政による不況の深刻化と国会開設の勅諭が原因

☆松方デフレは，貧農と結びついた各地の自由党員を急進化させた。

E　自由党の準備政党化

1890年の帝国議会開設に備える。

②激化事件の続発と運動の衰退（1882年～86年）

準備政党化に飽き足らぬ**自由党急進派と連動した農民の一揆的事件**が，政府の弾圧や松方デフレ下の重税に対する反発から続発。急進化とそれに対する弾圧の繰り返しの中で，**民権運動は衰退していった**。

1882年12月　**福島事件　（福島県）**

☆**県令三島通庸（みちつね）vs県会議長河野広中（こうのひろなか）**ら。

1883年３月　高田事件　（新潟県）

1884年５月　群馬事件　（群馬県）

９月　**加波山（かばさん）事件（茨城県）**

☆三島通庸の暗殺計画が露呈（ろてい）。

10月　**自由党解党**

☆党員を統率する自信を失った指導部が，解党を決議。

秩父（ちちぶ）事件　（埼玉県）

☆旧自由党員らが，**困民党**・借金党を称する貧農たちを間接的に支援し，約１万人が蜂起（ほうき）。**軍隊が出動**して鎮圧した，**最大の激化事件**。

12月　名古屋事件（愛知県）

飯田（いいだ）事件　（長野県）

大隈重信ら中心的指導者が立憲改進党を離党

☆事実上の解党状態となる。

1885年11月　**大阪事件　（大阪府）**

☆**大井憲太郎・景山英子（ひでこ）**ら旧自由党左派が，朝鮮に渡り保守的な政府を武力で打倒しようと企（くわだ）てたが，事前に大阪で検挙される。

1886年６月　静岡事件　（静岡県）

---

③民権派の再結集（1886年～89年）

条約改正問題が紛糾(ふんきゅう)すると民権派が再び台頭し，反政府運動が高まる。

1886年～大同団結(だいどうだんけつ)運動の提唱（はじめ**星亨(ほしとおる)**，のち**後藤象二郎**が中心）

☆国会開設を前に，民権派（旧自由党と立憲改進党）の結集をめざす運動。井上馨(かおる)外相の**鹿鳴館(ろくめいかん)外交への反発**により拡大。

1887年　三大事件建白運動

☆**①地租の軽減②言論・集会の自由③外交失策の回復**を要求し，民権派が続々と上京。

---

④政府による弾圧と懐柔

1887年　保安条例

☆伊藤博文首相・山県有朋(やまがたありとも)内相・三島通庸(みちつね)警視総監のもとで制定，**民権派570名を，皇居外３里の地に３年間追放。**

☆片岡健吉，星亨(ほしとおる)，中江兆民，尾崎行雄らがその対象となったが，運動は東北地方を中心に継続された。

1888年　大隈重信が第一次伊藤博文内閣の外務大臣として入閣

1889年　大日本帝国憲法発布

☆大赦(たいしゃ)をうけた民権家たちも，大同団結運動に復帰。

後藤象二郎，黒田清隆内閣の逓信(ていしん)大臣として入閣

☆後藤の行動により運動は混乱するが，政党の再建に向かう。

５　立憲国家の成立

①憲法制定の経過

1876年　元老院が憲法草案の起草に着手

1880年　岩倉具視らが元老院の『**日本国憲按**』を廃案とする

☆日本の国体〔国家体制〕に合わないと判断。この前後，民間で**私擬憲法**がさかんにつくられる。

1882年　伊藤博文，憲法調査のためヨーロッパへ出発

☆**ドイツ流**憲法理論を**ベルリン大学のグナイスト**，**ウィーン大学のシュタイン**らに学ぶ。

1883年　岩倉具視の死にともない伊藤博文が帰国

1884年　**制度取調局**を宮中(きゅうちゅう)に設置（局長＝伊藤博文）

華族令の制定（井上毅(こわし)が起草，将来の**貴族院の土台**）

☆**従来の華族に国家に功績のあった者を加え**，皇室を中心とする特別身分（＝“皇室の藩屏(はんぺい)”）とした。**公・侯・伯・子・男の５爵**。

皇室財産を規定

☆急速に増額し，皇室の地位を経済的に強化。

1885年　**内閣制度**の創設⇒太政官制の廃止

☆**総理大臣**	**伊藤博文（長州）**	**内務大臣**	**山県有朋（長州）**
外務大臣	**井上　馨（長州）**	**大蔵大臣**	**松方正義（薩摩）**
陸軍大臣	大山　巌(いわお)（薩摩）	海軍大臣	西郷従道(つぐみち)（薩摩）
司法大臣	山田顕義(あきよし)（長州）	**文部大臣**	**森　有礼(ありのり)（薩摩）**
逓信(ていしん)大臣	榎本武揚(たけあき)（幕臣）	農商務大臣	谷　干城(たてき)（土佐）

☆宮中事務にあたる**宮内省(くないしょう)**（宮内大臣＝伊藤博文）は内閣の外に置き，天皇に政治責任が及ばないようにした。

☆**宮中(きゅうちゅう)・府中の別**を明確にするため，さらに**内大臣府**を設置。**三条実美(さねとみ)**が**内大臣**となり，天皇を**常侍輔弼(じょうじほひつ)**し天皇御璽(ぎょじ)・日本国璽(こくじ)の保管にあたった。

1886年～憲法の起草（神奈川県夏島(なつしま)にて）

☆**伊藤博文・井上毅・伊東巳代治(みよじ)・金子堅太郎(けんたろう)**らが，**ドイツ人顧問ロエスレル**の助言を得て極秘で進めた。

1888年　**市制・町村制**の公布（**山県有朋内務大臣，ドイツ人顧問モッセの助言**）

☆人口２万5000人以上の町が市とされる。

枢密院の設置（**初代議長伊藤博文**）

☆**天皇の最高諮問機関**，“欽定憲法の番人”。

1889年　**大日本帝国憲法〔明治憲法〕**の発布

☆アジア初の近代的立憲国家となる。

皇室典範の制定

☆皇位継承・摂政の制などについて定めたが，「臣民の干渉する所に非ざるなり」という理由で公布されず，議会の修正も許さなかった。

議院法・**衆議院議員選挙法・貴族院令**の公布

1890年　**府県制・郡制**の公布

☆地方議会では財産による制限選挙が行われたので，地方名望家とよばれる寄生地主や有産者が実権を握った。

☆政府の強い統制下ではあるが，地域の有力者を担い手とする地方自治が制度的に確立した。

②大日本帝国憲法と日本国憲法の比較

A　**大日本帝国憲法〔明治憲法〕(1889年２月11日公布，黒田清隆内閣)**

あ　**欽定憲法**（きんてい）

い　**プロイセン〔ドイツ〕憲法を模範とする**（もはん）

う　**天皇主権〔主権在君〕**

え　**天皇は神聖不可侵で統治権を総攬する国家元首**（しんせいふかしん／そうらん）

お　天皇は議会の関与できない広範な**天皇大権**を行使（こうはん／てんのうたいけん）

か　天皇大権としての**陸海軍の統帥権**(臣民には兵役の義務)が存在（とうすいけん／しんみん）

き　**臣民の人権は法律により制限**

く　**帝国議会は天皇の協賛機関**

け　**衆議院と貴族院の二院制**⇒両院の対等

こ　内閣については規定なし

さ　**国務大臣が個々に天皇を輔弼し天皇に対してのみ責任を負う**

し　**中央集権体制**⇒府知事・県令は内務省が派遣

す　憲法改正は天皇が勅命をもって発議⇒硬性憲法

B　**日本国憲法(1946年11月３日公布，1947年５月３日施行，吉田茂①内閣)**

あ　**民定憲法**⇒実質はGHQすなわちアメリカの制定？

い　おもにアメリカ合衆国憲法を模範とする？

う　**国民主権〔主権在民〕**

え　**天皇は**日本国と日本国民統合の**象徴**

お　天皇の**国事行為**には**内閣の助言と承認**が必要で国政に関する機能はもたず

か　**平和主義(戦争放棄**・戦力の不保持・交戦権の否認)⇒**第９条**

き　**基本的人権の尊重**

く　**国会は国権の最高機関で国の唯一の立法機関**

け　**衆議院と参議院の二院制**⇒衆議院の優越

こ　**議院内閣制**

さ　**内閣は国会に対し連帯して責任を負う**

し　地方自治を尊重

す　憲法改正は国会が発議⇒硬性憲法

③諸法典の編纂

1870年　新律綱領の公布

☆明・清の律をもとに養老律や御定書百箇条を加味。

1873年　改定律例の公布

☆司法卿江藤新平らがフランス刑法も一部参考に起草。罰金・懲役・死刑を採用。

1880年　**刑法**・治罪法（のち刑事訴訟法）の公布⇒**フランス人顧問ボアソナード**

☆罪刑法定主義が初めて明文化，**大逆罪**・不敬罪・内乱罪・姦通罪を規定。

1889年　**大日本帝国憲法**の公布

1890年　**刑事訴訟法・民事訴訟法**の公布

民法（フランス法系）の公布⇒**ボアソナード**ら

☆**民法典論争**起こる。

（穂積八束“民法出でて忠孝亡ぶ”vs梅謙次郎“家長権は封建の遺物”）

商法の公布⇒ドイツ人顧問ロエスレル

☆日本の商習慣に合わず商法典論争が起こる。

1892年　修正を前提に民法・商法の施行延期が決定

1893年　法典調査会の設置

☆総裁伊藤博文，起草委員梅謙次郎・穂積陳重ら。

1896年　**修正民法〔明治民法〕（ドイツ法系）**の公布開始

☆**穂積陳重**らが大幅に修正。**戸主権**が強い家父長的**家制度**が残存，極端な**男尊女卑**。

1899年　修正商法の公布と施行

☆梅謙次郎らが修正。

1907年　修正刑法（ドイツ法系）の公布

６　初期議会

①帝国議会の開設

A　議会の構成

衆議院・貴族院の**二院制**，法律案・予算案に対する**天皇の協賛機関**。

あ　**衆議院**

各道府県の公選議員で構成，**基本的には貴族院と対等（予算の先議権はあり）**。

い　**貴族院**

皇族・華族・勅任（勅撰および多額納税者）の各議員で構成。

B　**衆議院議員選挙法（1889年，**小選挙区制の**制限選挙）**

あ　**選挙権**

満25歳以上の男子で，直接国税15円以上を納める者。

☆約45万人，全人口4000万人の**1.1%**。

い　被(ひ)選挙権

満30歳以上の男子で，直接国税15円以上を納める者。

C　**超然主義**(ちょうぜん)演説（1889年２月12日，**黒田清隆首相**）

政府は政党に左右されず，独自の政策を立案・推進するという政治姿勢。

☆憲法発布の翌日，地方長官を鹿鳴館(ろくめいかん)に集めて行った訓示(くんじ)。歴代の藩閥内閣は基本的に超然主義を継承。

D　**第一回総選挙（1890年，第一次山県有朋内閣）**

総議席300をめぐる争いは，**民党が過半数を獲得**し勝利。

☆選挙後に集会及(および)政社法を制定。

あ　**民党**　（旧民権派政党＝171議席）

立憲自由党（130議席）・**立憲改進党**（41議席）

い　**吏党**(りとう)　（政府支持政党＝79議席）

大成会(たいせいかい)（79議席）

う　その他（政府支持＝50議席）

②初期議会（1890年～94年）

A　藩閥政府と民党の対立

あ　**政府**

“**超然主義**”（1889年，黒田清隆首相），“主権線・利益線”論（1890年，山県有朋首相）にもとづく**軍事費増額要求**。

い　**民党**

「**政費節減**（軍拡予算反対・行政整理）・**民力休養**（地租軽減・地価修正）」を唱え，**予算審議権を武器に政府の予算案を否決・削減**。

B　第一議会（1890年～91年，第一次山県有朋内閣，争点＝予算問題）

政府は黒田清隆内閣の“超然主義”を継承，国家の“**主権線（国境）・利益線（朝鮮）**”防衛のため軍備拡張を主張。

↓↓↓

総選挙で大勝した民党は「**政費節減・民力休養**」を唱え，予算の削減を要求。

↓↓↓

立憲自由党土佐派の一部28名の裏切りにより双方が妥協，**政府の軍備拡張予算が辛（かろ）うじて成立**。

☆これに憤激した中江兆民（ちょうみん）は，議会は“無血虫（むけつちゅう）の陳列場（ちんれつじょう）”と批判し議員を辞職。

☆立憲自由党は板垣退助を総理に**自由党**と改称，統制を強化。

C　第二議会（1891年，第一次松方正義内閣，争点＝予算問題）

政府は今年度も軍拡予算案を提出。民党は予算案を否決，軍艦建造費・製鋼所設立費を削減。

↓↓↓

樺山資紀（かばやますけのり）海相（薩摩藩出身）による藩閥政府擁護（ようご）の**蛮勇（ばんゆう）演説**で議会は紛糾（ふんきゅう）。以後民党は重要議案をことごとく否決。

↓↓↓

政府は議会を解散，第二回総選挙へ突入。

D　**第二回総選挙（1892年，第一次松方正義内閣）**

品川弥二郎内相が大規模な**選挙干渉**を行い，民党候補を弾圧。

↓↓↓

多数の死者・重傷者を出した**流血の大選挙干渉にも関わらず民党が勝利**。過半数の163議席を獲得。

☆品川弥二郎内相は引責辞任，西郷従道らとともに大成会にかわる吏党として**国民協会**を結成。

E　**第三議会**（1892年，第一次松方正義内閣，争点＝予算問題）

総選挙に勝利した民党は，選挙干渉を非難するとともに，政府の予算案を再度否決。

↓↓↓

閣内対立・動揺が激しくなった松方内閣は，議会終了後総辞職に追い込まれる。

F　**第四議会（1892年～93年，第二次伊藤博文内閣〔元勲内閣〕，争点＝予算問題）**

政府は今年度も軍備拡張予算案を提出。民党は予算案をまたも否決し，軍艦建造費などを削減。さらに内閣弾劾上奏案を可決し政府を追い込む。

↓↓↓

1893年，政府は明治天皇の**建艦詔書〔和衷協同の詔書〕**により**辛うじて軍備拡張予算を成立させる**。

☆“元勲総出”の内閣が「天皇自ら宮廷費を節約し６年間30万円ずつ下付し，さらに文武官の俸給の10分の１を出させ軍艦建造費に充てるので，議会も政府に協力してほしい」という詔勅が出されたことにより，**民党は以後軍備予算問題に関しては政府に妥協せざるを得なくなった**。

↓↓↓

自由党と政府との提携が強まり，民党連合は崩壊。

G　**第五議会（1893年，第二次伊藤博文内閣，争点＝条約改正問題）**

立憲改進党・国民協会などが**対外硬派連合〔硬六派〕**を結成，その勢力は議会の過半数を占める。

↓↓↓

対外硬派連合は，現行条約励行の強硬外交を主張（外国人の内地雑居に反対）。政府の陸奥宗光外相が展開する条約改正交渉を軟弱と非難。

↓↓↓

さらに衆議院議長星亨（ほしとおる）・農商務大臣後藤象二郎らの収賄（しゅうわい）問題により議会は紛糾（ふんきゅう）。

↓↓↓

政府は議会を解散，第三回総選挙へ。

H　**第六議会**（1894 年，第二次伊藤博文内閣，争点＝条約改正問題）

条約改正問題は継続。総選挙で過半数を確保した対外硬派連合が，内閣弾劾上奏案を可決。

↓↓↓

政府は再び議会を解散し第四回総選挙となるが，**選挙前に日清戦争に突入**。

I　第七議会（1894 年，第二次伊藤博文内閣，争点＝なし）

日清戦争開戦のため，各政党は政府批判を一時的に中断。大本営（だいほんえい）が設置された広島で開かれた議会は，戦争関係の予算・法律案をすべて承認した。

☆以後，立憲改進党も政府への接近を開始。

第19講　確認問題

1　1876年に起きた士族の反乱として不適切なものを一つ選べ。

①佐賀の乱　②神風連〔敬神党〕の乱　③秋月の乱　④萩の乱

2　1882年に軍人勅諭を起草した人物とは？

①木戸孝允　②西周　③伊藤博文　④井上毅

3　1874年，「民撰議院設立の建白書」はどこに提出されたか？

①正院　②左院　③右院　④枢密院

4　1875年の大阪会議で設置が決まったものとして不適切なものを一つ選べ。

①元老院　②大審院　③地方官会議　④制度取調局

5　1880年，愛国社が発展して結成されたものとは？

①愛国公党　②立志社　③国会期成同盟　④自由党

6　1881年，同郷の黒田清隆から開拓使官有物払い下げを受けようとした政商とは？

①五代友厚　②岩崎弥太郎　③安田善次郎　④古河市兵衛

7　“東洋のルソー”とよばれた土佐藩出身の民権家とは？

①後藤象二郎　②中江兆民　③片岡健吉　④植木枝盛

8　1881年～86年ごろにデフレ政策を展開した大蔵卿(のち大蔵大臣)とは？

①大隈重信　②佐野常民　③松方正義　④高橋是清

9　1884年に発生した，民権運動の最大の激化事件とは？

①福島事件　②加波山事件　③秩父事件　④大阪事件

10　1888年の市制・町村制の公布にあたり，山県有朋内相に助言したドイツ人顧問とは？

①グナイスト　②ロエスレル　③モッセ　④ベルツ

11　1889年２月11日，大日本帝国憲法が発布された時の首相とは？

①伊藤博文　②黒田清隆　③山県有朋　④松方正義

12　1890年の第一回帝国議会で最大の議席数をもっていた政党とは？

①立憲自由党　②立憲改進党　③大成会　④憲政党

解答

1	①	2	②	3	②	4	④	5	③
6	①	7	②	8	③	9	③	10	③
11	②	12	①						

第20講　明治時代Ⅲ

1　条約改正

①改正の目的

あ　最恵国待遇（さいけいこくたいぐう）の相互平等化　　　（和親条約第９条）

い　**治外法権〔領事裁判制度〕の撤廃　（修好通商条約第６条）**

う　**関税自主権の回復　　　　　　　（修好通商条約第４条）**

---

②岩倉具視（ともみ）　（1871年～73年，右大臣）

A　**目的**

条約改正の予備交渉と欧米諸国の視察。

B　経過

1871年　**岩倉使節団**を派遣

1873年　帰国後は内治（ないち）優先論を唱え留守政府の征韓論と対立

☆明治六年の政変。

C　**結果**

条約改正の予備交渉は失敗，欧米視察は一定の成果をあげる。

---

③寺島宗則（てらしまむねのり）　（1876年～79年，外務卿（きょう））

A　**目的**

明治前期の財政危機（インフレ・輸入超過）を乗り切るため，**国別交渉による税権の回復をめざす。**

B　経過

1878年，**アメリカとの間で税権回復交渉に成功**。しかし，**イギリス・ドイツなどの反対**や，ハートレー事件（イギリス商人のアヘン密輸に対する無罪判決）にともなう国内世論の反発により失敗。

C　**結果**

以後，法権回復の優先が世論となる。

---

④井上馨（かおる）　（1882年～87年，外務卿のち外務大臣）

A　**目的**

一括（いっかつ）交渉による法権の回復，税権の一部回復（輸入関税の引き上げ）。

B　経過

1882年～　予備会議を開始

1883年　東京日比谷（ひびや）に**鹿鳴館**（ろくめいかん）（**イギリス人コンドル**が設計）を建設

☆連日の舞踏会（ぶとうかい）・音楽会を中心とした，極端な**欧化主義政策**を推進（＝**鹿鳴館外交・鹿鳴館時代**）。

1886年５月　条約改正会議を開始

10月　**ノルマントン号事件**

☆紀伊半島沖における日本人搭乗の**イギリス船沈没事件**。当初，日本人乗客全員を見殺しにしたイギリス人船長の過失は問われず，**法権回復の必要性を痛感**。妥協（だきょう）的な井上案への反対の声が高まる。

民権派，**星亨**（ほしとおる）（のち**後藤象二郎**）を中心に**大同団結運動**を開始

1887年　条約改正の代償として，**外国人判事の任用・外国人の内地雑居・法典予約（欧米同様の法典整備）**を秘密裡（り）に容認。

９月　暴露（ばくろ）された極端な欧化主義政策に対し，政府内外から批判が集中。井上外相は辞任に追い込まれる。

☆政府内⇒ボアソナード（法律顧問），谷干城（たてき）（農商務大臣）

☆政府外⇒民権派・国権派

10月　民権派，**三大事件建白運動**を開始

C　**結果**

条約改正会議は無期延期となる。

⑤大隈重信　（1888年～89年，外務大臣）

A　**目的**

条約改正に好意的な国を優先した**国別秘密交渉による法権の回復**と税権の一部回復。

B　経過

条約正文(せいぶん)以外の約束として**外国人判事任用を大審院に限る**こと以外は井上案をほぼ踏襲(とうしゅう)し，メキシコ・アメリカ・ドイツ・ロシアの同意を得る。

↓↓↓

秘密の大隈案が，イギリスの『**ロンドン=タイムズ**』紙に暴露(ばくろ)され，世論が沸騰(ふっとう)。民権派・国権派が連合して反対。

☆外国人判事任用は，憲法違反としても問題化(枢密院議長伊藤博文が非難)。

↓↓↓

1889年，憤激した**玄洋社**(頭山満(とうやまみつる)を中心とした九州の国家主義団体)の青年来島恒喜(くるしまつねき)が，大隈外相を爆弾で襲撃。

↓↓↓

黒田清隆内閣は総辞職。右足を失う重傷を負った大隈外相ものちに辞任。

C　**結果**

条約改正交渉は再度中止。

⑥青木周蔵（しゅうぞう）（1889年～91年，外務大臣）

A　目的

国別秘密交渉による法権回復と税権の一部回復。**最恵国待遇の相互平等化。**

B　経過

外国人判事を任用せず，外国人の内治雑居はほぼ認める。

↓↓↓

ロシアの東アジアへの南下（1891年，露仏（ろふつ）同盟締結と**シベリア鉄道**起工）を警戒した**イギリスが，ほぼ同意を示す。**

↓↓↓

大津事件（**1891年**，訪日中の**ロシア皇太子**〔のちのニコライ２世〕を警備中の巡査津田三蔵（つださんぞう）が暴行）により，**青木周蔵は外相を辞任。**

☆日露関係の悪化を恐れた**第一次松方正義内閣**は，罪刑法定（ざいけいほうてい）主義を無視して死刑判決を求めたが，**大審院長児島惟謙（こじまこれかた）**はこれに反対。示唆（しさ）を受けた大津地裁は無期徒刑（むきとけい）の判決を下し**司法権の独立**を護（まも）った。

C　**結果**

榎本武揚（えのもとたけあき）が外相となり（1891年～92年），中断された交渉を引き継ぐが，本格化させず。

---

⑦陸奥宗光（むつむねみつ）　（1893年～94年，外務大臣）

A　**目的**

法権の回復と税権の一部回復。**最恵国待遇の相互平等化。**

B　経過

青木案を踏襲。駐英公使となった青木周蔵の活躍で，**イギリスの同意を得る。**

☆第五･六議会では**対外硬派連合**が，政府の内地雑居案を軟弱外交と非難，現行条約励行（れいこう）を唱える。

C　**結果**

日清戦争直前，ロンドンで**日英通商航海条約**（1894年，第二次伊藤博文内閣）を締結し，**法権回復に成功。最恵国待遇の相互平等化も達成**し，他の列国とも同様の新条約を締結。

☆有効期間12年，５年後の**1899年より発効**（青木周蔵外相）。**代償として外国人の内地雑居を認める。**

---

⑧小村寿太郎（こむらじゅたろう）（1911年，外務大臣）

A　**目的**

税権の完全回復。

B　経過

日清・日露戦争の勝利により日本の国際的地位が上昇。列国の反対が少なくなった状態で，新条約満期を迎える。

↓↓↓

アメリカとの間で**改正日米通商航海条約**（1911年，**第二次桂太郎内閣**）を締結。以後，他の列国とも新条約を締結。

C　**結果**

条約改正が達成され，日本は欧米列強と対等の地位を得る。

---

⑨改正成功の要因

あ　近代産業の発達による国力の充実

い　**日清・日露戦争の勝利による国際的地位の向上**

う　欧米同様の**法典の整備**

え　改正事業が国民的要望に支えられていた

2　朝鮮問題

開国後の貿易開始による品不足・物価高が招いた，朝鮮民衆の窮乏と兵士の不満を全体的背景とする。

①壬午軍乱〔壬午事変〕(1882 年)

A　背景

日朝修好条規締結（1876 年）後の，**親日的開国派**である**閔妃**（国王高宗の妃）と**親清的保守派**である**大院君**（国王の父）との対立。

B　経過

政権を掌握する閔妃一派が，日本にならい洋式軍隊整備に着手。

↓↓↓

大院君一派，旧式軍隊と結び軍事クーデタを決行（1882 年）

↓↓↓

民衆も呼応し，首都漢城の日本公使館を焼打ち。日本人軍事顧問らを殺害し，政権を一時的に掌握。

↓↓↓

日本は猛烈に抗議し軍隊を派遣。清国も宗主権を主張して出兵，反乱を鎮圧。

☆その後，清は大院君を天津に拘禁。

C　結果

日朝間で**済物浦条約**を締結（1882 年）。朝鮮側（閔妃一派）が謝罪，日本は賠償金・公使館守備兵駐留権を獲得した。

↓↓↓

しかし，清国が宗主権強化をはかり朝鮮政府に接近。**閔妃一派は親清派へと政策を転換**し，日本の勢力は大きく後退した。

---

②甲申事変（1884 年）

A　背景

壬午軍乱後，**親日的開国派**である**独立党**（**金玉均**・朴泳孝ら）と**親清的保守派**である**事大党（閔妃一派）**の対立。

B　経過

ベトナム支配をめぐる**清仏戦争**（1884年～85年）における清国の不利を契機として，**日本公使館の支援を受けた独立党がクーデタを決行（1884年）**。

↓↓↓

清国軍の攻撃により鎮圧，日本公使館も焼き払われ，金玉均らは日本に亡命。

↓↓↓

日本は朝鮮に対し，猛烈に抗議。

C　結果

日朝間で**漢城条約**を締結（1885年）。朝鮮側（閔妃一派）が謝罪，日本が賠償金を獲得した。

↓↓↓

漢城における日清両国軍の対立が決定的となった。

---

③天津条約（1885年）

甲申事変（1884年）後の日清両国の武力衝突を避けるため締結。

A　調印

日本全権＝伊藤博文　　**清国全権＝李鴻章**

B　内容（全３条）

あ　**日清両国の朝鮮からの撤兵**

い　日清両国の朝鮮への軍事顧問の派遣停止

う　**日清両国の朝鮮への出兵時における事前の相互予告義務**

C　結果

あ　２回の事変を経て日本の朝鮮に対する影響は著しく減退

☆一方で清国の朝鮮進出は強化されたが，その後も大豆・米の大量買占めなど日本の経済的進出は続く。

い　清国・朝鮮に対する日本の世論は急速に険悪化

う　日本は清国戦に備え軍備拡張に全力を投入

☆鎮台にかわる**師団**の導入，徴兵令改正，**海軍軍令部**の設置など。

---

④国内世論の動向

日本人のアジア観が変化，アジア蔑視（べっし）・国権的風潮が強まる。

A　背景

あ　壬午軍乱・甲申事変による朝鮮における日本情勢の悪化

い　清仏戦争における清国の敗北

う　近代化において一歩先（さき）んじたという優越感

☆**民権派も国権論的傾向へ。**

B　経過

1885年　**「脱亜論」**（**福沢諭吉**が新聞『**時事新報**』に発表）

☆アジアの連帯を否定し，日本が欧米列強の一員になるべきこと（＝“**脱亜入欧**（だつあにゅうおう）”）を主張する国権論。

☆清国・朝鮮には武力で対処すべきと主張し，軍事的対決の気運を高めた。

大阪事件

☆**大井憲太郎**ら旧自由党左派による朝鮮改革計画

1886年　長崎清国水兵暴行事件

1889年～**防穀令**（ぼうこくれい）**事件**

☆朝鮮政府が凶作を理由に大豆などの穀物輸出を禁止，日本商人が打撃を受ける。

☆日本政府は**防穀令**の廃止と禁輸中の損害賠償を請求，1893年に最後通牒（つうちょう）を突きつけて実現したことから，朝鮮民衆の対日感情は極めて悪化。

1890年　**第一議会**における山県有朋（やまがたありとも）首相の“**主権線（国境）・利益線（朝鮮）**”演説

☆政府は軍備拡大予算案を議会に提出。

〈*Note*〉

３　日清戦争

①背景

A　**朝鮮支配をめぐる日清両国の対立**

B　日本の軍備拡張と清国との対立

---

②契機

1894年５月，**甲午**(こうご)**農民戦争**〔**東学党**(とうがくとう)**の乱**〕の勃発

☆李(り)朝の封建(ほうけん)支配への反発から，日本や欧米の侵入に対する反対へと発展。
　全琫準(ぜんほうじゅん)を中心とする東学の信徒が減税と排日を要求し，朝鮮半島南部を占領。

↓↓↓

鎮圧に失敗した朝鮮の閔妃政権が，清国に救援を要請。清国は大軍を派遣する一方で，天津条約の規定に従い日本に出兵を通知。

↓↓↓

日本も居留民(きょりゅうみん)保護を口実に出兵，農民軍は急ぎ朝鮮政府と和解。

↓↓↓

日本の朝鮮内政改革提案を清国が拒否，日清開戦は必至(ひっし)となる。

---

③開戦（直前に日英通商航海条約調印）

1894年７月25日，豊島沖(ほうとうおき)の海戦⇒８月１日，宣戦布告

---

④経過

大本営(だいほんえい)を東京に設置し，開戦後に広島に移転。以後日本が圧倒的に優勢。

A　陸軍
　平壌(へいじょう)の戦い⇒遼東(りょうとう)半島の大連(だいれん)・旅順(りょじゅん)占領⇒遼東半島完全占領

B　海軍
　黄海(こうかい)**の海戦**⇒山東(さんとう)半島の威海衛(いかいえい)攻撃により，清国の**北洋**(ほくよう)**艦隊**は全滅。

---

⑤日本の勝因

A　日本

村田銃に統一された装備(陸軍)と高速俊敏な艦隊(海軍)，行き届いた訓練と規律，国論の統一，国際情勢の有利な展開(＝開戦直前に日英通商航海条約に調印したイギリスの好意的な態度)など。

B　清国

鉄砲の新旧混合(陸軍)と旧式の艦隊(海軍)，行き届かない訓練，国論の不統一，国際情勢の不利な展開など。

---

⑥結果⇒下関条約(1895年)

A　調印

日本全権＝伊藤博文，陸奥宗光　　清国全権⇒李鴻章

B　内容

あ　**清国は朝鮮の独立を承認(＝清国は宗主権を放棄)**

い　**清国は遼東半島および台湾・澎湖諸島を日本に割譲**

う　**清国は賠償金２億両〔約３億1000万円〕を日本に支払う**

え　清国は新たに**沙市・重慶・蘇州・杭州**の４港を開市・開港

C　影響

あ　**朝鮮市場を確保，大陸進出の第一歩を踏み出す**

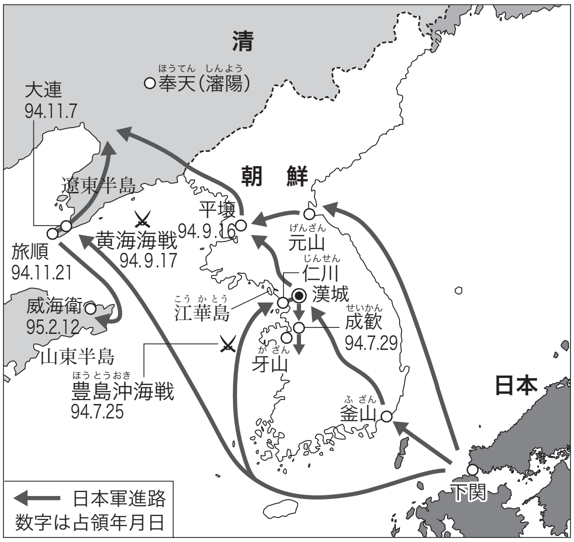
☆東アジア進出をめざすロシアの日本に対する警戒心は強まる。

い　**賠償金により金本位制が確立(1897年，貨幣法)**

う　**琉球の帰属問題が解決**

え　日清通商航海条約(1896年)の締結

☆日本優位の不平等条約，清国への経済的進出も可能となる。



４　三国干渉(1895年)

下関条約締結直後，ロシア・フランス・ドイツの３国が「朝鮮の独立を有名無実に為す」ことを理由に，**遼東半島の清国返還を日本に要求。**

①背景

A　**ロシア**

満洲(中国東北部)進出に，日本の遼東半島領有は脅威となるため。

B　フランス

ロシアとの同盟(1891年，露仏同盟)のため。

C　ドイツ

ロシアの関心をヨーロッパから逸らし，併せて中国分割の足場を得るため。

---

②経過

拒否・受諾・列国会議の三者を迷ったが，**還付金3000万両(約4500万円)**を代償に，やむなく受諾。

---

③結果

国民の反ロシア意識が高揚。以後は**「臥薪嘗胆」**を標語に，軍備拡張を基調とする挙国一致の戦後経営にあたることとなる。

☆ナショナリズム〔国家主義〕の高揚とアジア蔑視風潮の高まり。

---

④台湾・澎湖諸島の経営

1895年　**台湾総督府**を設置，初代総督に海軍の樺山資紀（かばやますけのり）を任命。

☆一部の漢族や島民〔高砂族（たかさごぞく）〔高山族（たかさんぞく）〕〕の頑強な反対（「台湾民主国」独立をはかる）を武力で鎮圧。

1896年　台湾総督府条例を制定

☆総督に陸海軍の大将・中将を任命，軍政を実施。

1897年　台湾総督府官制を制定

☆軍政を廃止し民政を実施。翌年以降は総督児玉源太郎（こだまげんたろう）・民政局長後藤新平（ごとうしんぺい）のもとで，**土地調査事業**が行われ，**台湾銀行**や台湾製糖会社が設立されるなど，産業の振興がはかられた。

☆しかし，貧農などの民衆は抵抗を続けたので，日本は徹底的に弾圧した。

５　藩閥と政党の妥協（だきょう）

日清戦争後の資本主義の成立により，選挙権をもち政党を後援する資本家・寄生地主の発言力が増大。

↓↓↓

対外緊張の中で日清戦後経営を進めていかざるをえない政府は，政党勢力を無視できなくなる。

↓↓↓

政界進出・産業発展をめざす政党も政府と妥協し接近を開始。

①第二次伊藤博文内閣〔元勲（げんくん）内閣〕(1892年～96年)

日清戦争後，自由党との提携（ていけい）を進め，**板垣退助が内務大臣として入閣**(1896年)。

☆同年，大隈重信は国民協会を除く対外硬派連合の５派を基盤として**進歩党**を結成し，自由党に対抗。

---

②第二次松方正義内閣〔松隈（しょうわい）内閣〕(1896年～97年)

進歩党との提携を進め，**大隈重信が外務大臣として入閣**(1896年)。

☆松方は軍備拡張のため地租増徴を計画するが，これに反対した大隈は外相を辞任。政府と進歩党の提携は破（やぶ）れ，その後自由党との提携にも失敗した内閣は総辞職に追い込まれる。

---

③第三次伊藤博文内閣(1898年)

総選挙で伸び悩んだ自由党との提携をあきらめ超然主義に戻り，軍備拡張のため地租増徴を計画したが，自由党・進歩党ともにこれを否決，議会解散に追い込まれた。

↓↓↓

これを契機に両党が合同，憲政党を結成。

☆衆議院に絶対多数をもつ政党が出現し議会運営の見通しを失った伊藤内閣は，憲政党の短期政権を見越して総辞職した。

---

④第一次大隈重信内閣〔隈板内閣〕(1898年)

　首相兼外相に大隈重信，内相に板垣退助を擁する，**わが国初の政党内閣**。
☆**陸・海相以外の閣僚は，すべて憲政党員からなる**。

↓↓↓

　しかし，旧進歩党系の**尾崎行雄文相**の**共和演説事件**による辞任を契機に，その後任人事をめぐり旧自由党系と旧進歩党系の対立が激化。

↓↓↓

　憲政党は，**憲政党（旧自由党系，星亨ら）**と**憲政本党（旧進歩党系，大隈重信ら）**に分裂，内閣はわずか４カ月で瓦解。

---

⑤第二次山県有朋内閣（1898年～1900年）

憲政党（旧自由党）と提携。憲政本党（旧進歩党）の反対を抑え，**地租増徴案を可決。**しかし，**以後は政党勢力の削減，軍部・官僚の勢力拡大に政策を移行。**

1898年　**地租増徴（3.3%）**

1899年　**文官任用令を改正**

☆**政党員の官界進出を防ぐため，高級官僚の自由任用を原則廃止。**

☆同時に文官分限令・文官懲戒令を制定して官僚の身分保障を強化，政党の影響から官僚を守ろうとした。

1900年　**治安警察法**を公布

☆**従来の治安立法（集会条例など）の集大成。**労働運動や小作争議などの新しい社会運動をおもな取締り対象とする。

衆議院議員選挙法を改正

☆**直接国税10円以上**〔全人口の**2.2%**〕，被選挙人の納税資格を撤廃。無記名秘密選挙制・大選挙区制を採用。

軍部大臣現役武官制を実施

☆**現役の大将・中将以外は陸・海軍大臣に就任することができなくなり，内閣の組閣には軍部の支持が必要不可欠となった。**

↓↓↓

一連の政策に反発した**憲政党**（旧自由党）は，議会の円滑運営をはかり政党容認の考えをもつ**伊藤博文**と接近。1900年，解党して伊藤系官僚とともに**立憲政友会**を結成した（**初代総裁伊藤博文**）。

☆憤慨した**幸徳秋水**は，新聞『万朝報』に**「自由党を祭る文」**を発表。藩閥と政党の妥協を痛烈に批判した。

---

⑥第四次伊藤博文内閣（1900年～01年）

自らが総裁を務める立憲政友会を基礎として成立するが，北清（ほくしん）事変処理のための増税案を否決され退陣。

☆政党を否定する山県系軍人・官僚および貴族院の反発。

↓↓↓

軍部・官僚・貴族院勢力を背景とする山県閥の第一次**桂太郎**内閣が成立。かたや**立憲政友会を背景とする**伊藤閥の**西園寺公望**（さいおんじきんもち）と政界を二分（にぶん）する，**桂園**（けいえん）**時代**へと突入。

☆老齢の山県・伊藤らは政界の第一線から退き，後継首相の指名などで**非公式に天皇を補佐**する**元老**となり，内閣の背後から影響力を行使していった。

☆**元老＝伊藤博文・山県有朋・井上馨**・桂太郎**（長州）**，**黒田清隆・松方正義・西郷従道**（つぐみち）**・大山巌**（いわお）**（薩摩）**，西園寺公望（公家）の９名。

６　日露戦争前夜の国際関係

①列強の中国分割（東アジアの帝国主義時代）

日清戦争における“**眠れる獅子**”清国の敗北が刺激となる。

☆清国が列強に借款する代償として**租借**権を譲渡するという形式をとった。

A　**日本（租借権なし）**

福建省の他国への不割譲を確約　（1898年）

B　**ドイツ**

膠州湾（山東半島）の99年租借　（1898年）

C　**ロシア**

旅順・大連（遼東半島）の25年租借　（1898年）

☆三国干渉によって返還させられた遼東半島の租借だけでなく，ハルビン・旅順間の鉄道敷設権（＝**東清鉄道**の一部）をも獲得したロシアに対し，日本国民は憤激。しかし政府は，韓国問題におけるロシア側の譲歩を期待して対露協調に努めた。

1895年　閔妃殺害事件

☆三国干渉後に再び台頭し親露政策をとる閔妃を，日本公使三浦梧楼らが殺害し，大院君を擁立した。

☆国王高宗はロシア公使館に逃れ親露政権を樹立。事件は列国の非難を浴びたので，かえって朝鮮における日本勢力は後退した。

1896年　小村・ウェーバー覚書（小村寿太郎駐朝公使）

☆閔妃殺害事件の事後処置として，日露の朝鮮駐留兵力の協定を結ぶ。

山県・ロバノフ協定（山県有朋内相）

☆日露間の朝鮮財政に対する共同援助協定。

1897年　朝鮮，国号を大韓帝国〔韓国〕と改める。

☆日本に対抗し，高宗は皇帝を名乗った。

1898年　西・ローゼン協定（西徳二郎外相）

☆日韓の商工関係を妨害しない条件で，ロシアの旅順・大連の租借を黙認した。

D　**イギリス**

九竜(きゅうりゅう)半島の99年・威海衛(いかいえい)の25年租借（1898年）

E　**フランス**

広州湾の99年租借　　　　　　　　（1899年）

F　**アメリカ**

国務長官ジョン=ヘイの門戸(もんこ)開放宣言（1899年）

☆中国の「**門戸開放・機会均等**（1899年）・**領土保全**（1900年）」（＝極東三原則）を提案し，伝統政策のモンロー宣言〔モンロー主義〕（1823年～）を転換し，各国の勢力範囲内での通商の自由を要求した。

☆アメリカは1898年ハワイを正式に併合，次いでグアム・フィリピン・プエルトリコをも領有していた。

②北清事変(1900年)

A　背景

激化する列強の帝国主義的進出に対し，清国内における国民の排外運動が高揚。

B　経過

1899年～**義和団事件〔義和団の乱〕**

☆「**扶清滅洋**」を唱える排外主義団体**義和団**を中心とした民衆の反乱。

↓↓↓

1900年　山東省から発生した義和団が北京の列国公使館を包囲，清国政府(西太后政権)は鎮圧に難航。

↓↓↓

清国政府が対外方針を転換，義和団事件を利用して列国に宣戦。

↓↓↓

日本・ロシアを中心とする８カ国連合軍が北京に出兵。義和団を追い払い，清国政府を降伏させる。

☆日本軍はイギリスに“極東の憲兵”と評価？される。

☆ロシア軍は鎮圧の名目で満洲(中国東北部)を占領。

C　結果

1901年　清国と列国との間で**北京議定書**を締結

☆清国政府は，巨額の賠償金支払い・公使館所在区域の治外法権・**軍隊〔公使館守備隊〕の北京駐留**を列国に承認。

③日英同盟協約（1902年）

A　**ロシアの南下（なんか）政策**⇒日本やイギリスの利益と衝突

あ　**北清事変を契機に満洲を占領し独占的権益を清国に承認させ軍備を増強**

☆東清鉄道を延伸（えんしん），旅順・大連を軍事基地化。

い　大韓帝国〔韓国〕にも野心をみせ親露政権を形成

B　日本の対応⇒**政府内部の意見対立**

あ　**日露協商論〔満韓交換論〕⇒伊藤博文**・井上馨（かおる）**（元老）**ら

☆対露戦には軍事的・財政的準備が不十分なことを強調。

い　**日英同盟論〔対露開戦論〕⇒山県有朋（元老）**・桂太郎（首相）・小村寿太郎（外相）・林董（ただす）（駐英公使）ら

☆ロシア勢力と対抗するためイギリスと結ぶことを強調。

↓↓↓

日英同盟論が優勢，日英同盟協約締結へ。

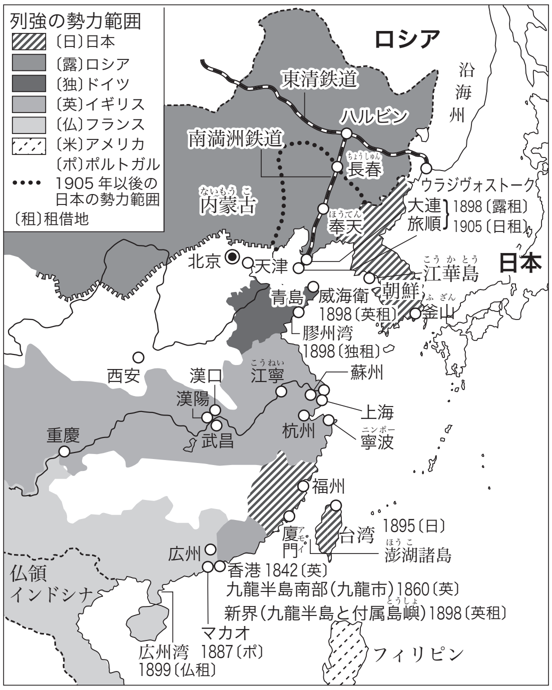
☆イギリスも日本の軍事力を利用してロシアと対抗する立場をとり，“光栄ある孤立”を放棄。

C　**日英同盟協約**の内容⇒ロシアを対象とした防御同盟，有効期限５年

あ　**清国・韓国（＝極東）における日英両国の利益保護の協同行動**

い　**利益保護のための他国との戦争における他の１国の厳正中立**

う　**他の第３国参戦の際の協同戦闘の義務**



D　日英同盟協約の意義

最強の海軍国と完全な対等条約を結び，実質的に欧米列強入りを果たす。

☆日本が国際政局に登場。列強相互の対立を利用しつつ対外的な勢力拡張を企（くわだ）てることとなる。

④国内世論の動向

A　**主戦論〔開戦論〕**⇒次第に多数となる

あ　**対露同志会**

近衛篤麿(貴族院議長)，頭山満らを中心とする国家主義団体。

い　**七博士意見書**(1903年)

戸水寛人ら東京帝国大学などの七博士が桂太郎首相・小村寿太郎外相に提出した対露強硬論。

う　その他

徳富蘇峰の『国民新聞』や黒岩涙香の『万朝報』も主戦論を盛り上げた。

B　**反戦論・非戦論**・厭戦論

あ　**幸徳秋水・堺利彦**

社会主義者の立場から**新聞『万朝報』**で**反戦論**を展開するが，社長の**黒岩涙香**が経営悪化を理由に主戦論に転じたため退社。

☆1903年，**平民社**を結成し**週刊『平民新聞』**を創刊。

い　**内村鑑三**

キリスト教人道主義の立場から**新聞『万朝報』**で**非戦論**を展開するが，社長の**黒岩涙香**が主戦論に転じたため退社。

う　**与謝野晶子**

1904年，**雑誌『明星』**に“**君死にたまふこと勿れ**”で有名な厭戦詩「旅順口包囲軍の中にある弟を歎きて」を発表。ロマン主義的厭戦論を展開。

え　**大塚楠緒子**

1905年，雑誌『太陽』に厭戦詩『**お百度詣で**』を発表。ロマン主義的厭戦論を展開。

７　日露戦争（1904年～05年）

①背景

A　日本の大陸進出政策とロシアの南下政策との対立

B　日本国内における主戦論〔開戦論〕の高揚（こうよう）

---

②開戦

1904年２月，日本軍が仁川（じんせん）沖と旅順のロシア艦隊を奇襲（きしゅう）⇒翌々日に宣戦布告

☆日本軍は満洲に兵を進めるとともに，韓国に日韓議定書を強制して軍事行動の自由を確保し，戦局を有利に進めた。

☆また，日本はロシアの満洲占領に反対するアメリカ・イギリス両国の経済的支援を得ることができた。

---

③経過

A　陸軍

遼陽（りょうよう）の会戦⇒沙河（さか）の会戦⇒**旅順占領**（1905年１月，第三軍司令官**乃木希典**（のぎまれすけ）が多数の兵を失った末に二〇三高地を攻略）⇒**奉天会戦**（３月，総司令官大山巌（いわお）が辛勝）

B　海軍

旅順口（こう）閉鎖⇒黄海（こうかい）の海戦⇒**日本海海戦**（**1905年**５月，連合艦隊司令長官**東郷平八郎**がヨーロッパから回航してきた**バルチック艦隊**に大勝）

↓↓↓

日本優位のうちに講和の機運が高まる

↓↓↓

もはやこれ以上戦線を拡大する余力のない日本は，**アメリカに調停を依頼**。日露の満洲における勢力拡大を望まない**セオドア=ローズヴェルト大統領**がそれに応じた。

あ　**日本**

戦費の欠乏（約17億円）。内国債・外国債・増税に頼る。

☆日露戦争は，機関銃や速射砲などの新兵器の登場により本格的な近代戦・物量戦となったため，兵器・弾薬・兵士などの補給が限界に達した。

い　**ロシア**

国内に革命の機運が増大（血の日曜日事件など）。戦争継続は困難。

---

④結果⇒ポーツマス条約を締結（1905年９月５日）

A　調印

日本全権　⇒小村寿太郎

ロシア全権⇒ウィッテ

B　内容

あ　**ロシアは韓国に対する日本の指導・監督権を全面的に承認**

い　**ロシアは旅順（りょじゅん）・大連（だいれん）の租借権，長春（ちょうしゅん）以南の鉄道**（東清（とうしん）鉄道の南部）**とその付属利権を譲渡**

☆北京条約で清国も承認。

う　ロシアは**北緯50度以南のサハリン〔樺太〕**と付属の諸島を割譲（かつじょう）

☆1907年に樺太庁を設置。

え　ロシアは**沿海州・カムチャッカの漁業権**を譲渡

C　国内の反応

日本の戦争継続能力について真相を知らされないままに，**賠償金は一切（いっさい）獲得できない**など，条約に対する不満から**日比谷焼打ち事件**が起こり（1905年，条約調印の日に開かれた講和反対国民大会が暴徒化），東京に**戒厳令（かいげんれい）**が出された。

☆翌年，第一次桂太郎内閣は総辞職。

D　影響

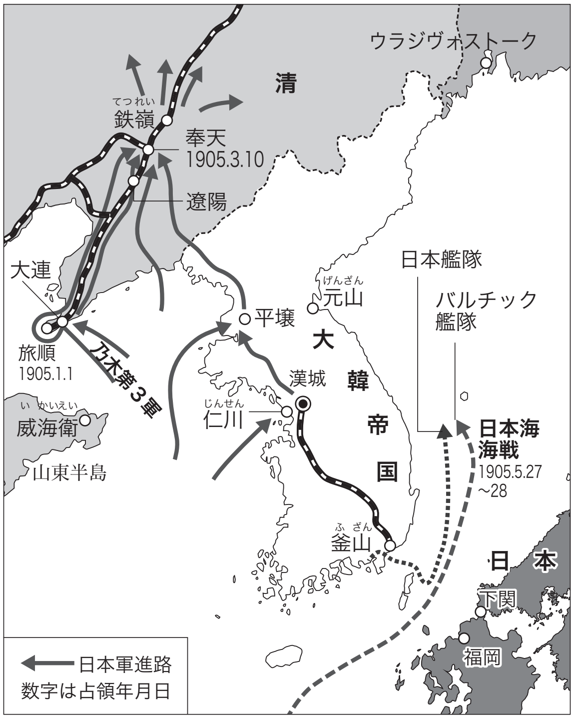
あ　韓国・満洲への進出

い　資本主義のさらなる発達

☆軍拡と重工業の発達による。

う　白人不敗神話を打ち破り世界に衝撃を与える

☆**日本の国際的地位が向上**，アジア・ヨーロッパの民族運動を刺激。



ウラジヴォストーク
清
てつれい
鉄嶺
奉天
1905.3.10
遼陽
大連
旅順
1905.1.1
乃木第３軍
い かいえい
威海衛
山東半島
平壌
げんざん
元山
大
韓
帝
国
漢城
じんせん
仁川
ふ ざん
釜山
日本艦隊
バルチック
艦隊
日本海
海戦
1905.5.27
~28
日 本
下関
福岡
日本軍進路
数字は占領年月日

8　日露戦争後の国際関係―帝国主義の道―

①韓国〔大韓帝国〕（日露戦争後，支配を強化し併合）

A　韓国支配の過程

1904年２月　**日韓議定書**（日露開戦直後に締結）

☆韓国保全を名目に，日本軍隊の自由通行権･土地収用権を獲得。

８月　**第１次日韓協約**

☆日本政府の推薦する財政・外交顧問を採用。重要案件については事前協議することを強制。

1905年７月　**桂・タフト協定**⇒非公式

☆**アメリカのフィリピン支配を認めるかわりに，日本の韓国保護国化を承認させる。**

８月　**第２次日英同盟協約**

☆**イギリスのインド支配を認めるかわりに，日本の韓国保護国化を承認させる。**

９月　**ポーツマス条約**

☆**ロシアに対し，日本の韓国に対する指導権・監督権を全面的に承認させる。**

11月　**第２次日韓協約〔日韓保護条約〕**

☆**韓国の外交権を剥奪し，保護国化。**

☆**漢城に統監府を設置，伊藤博文が初代統監となる。**

1907年６月　**ハーグ密使事件**

☆オランダのハーグで開催中の第２回万国平和会議に韓国皇帝高宗が密使を送り独立回復を提訴するが，列国に無視される。

７月　**第３次日韓協約**

☆**皇帝高宗を退位させ内政権を掌握，秘密協定により韓国軍も解散。**

☆反日の**義兵運動**が元兵士たちの参加を得て高揚，全国化。

1909年10月　**伊藤博文暗殺事件**

☆満洲の**ハルビン駅頭**で韓国の民族運動家**安重根**に暗殺される。

1910年８月　**韓国併合条約（日本全権⇒寺内正毅）**

　　☆韓国を植民地化，朝鮮と改称（首都漢城も京城と改称）。

　　☆京城に朝鮮総督府を設置，寺内正毅が初代総督となる。

B　**朝鮮経営（1910年～45年）**

半官半民の国策会社である**東洋拓殖会社**〔東拓〕（1908年）が植民地経営を推進，**朝鮮銀行**（1911年）が中央銀行として金融面を支配。

☆朝鮮総督府は天皇に直属，総督には陸・海軍大将を任命。また，警察の要職は日本の憲兵が兼任した。

C　**朝鮮支配の変遷**

あ　第一段階（1910年～19年）⇒憲兵警察を中心とする武断政治

土地調査事業を強行（1910年～18年），その際に所有権不明確などを理由に広大な農地・山林が接収され，多数が小作人に転落。

☆有力日本人や東洋拓殖会社が巨大地主として君臨。困窮した人々の一部は，職を求め日本に移住するようになった。

い　第二段階（1919年～30年）⇒警察を中心とする**文化政治**

三・一運動〔万歳事件〕（1919年）を契機に政策を転換，親日派を育て同化政策を推進。

☆朝鮮総督の任用範囲も文官にまで拡大。しかし，以後も武官のみが就任した。

う　第三段階（1931年～45年）⇒“15年戦争”の物的・人的資源供給地

皇民化政策（神社参拝・日の丸掲揚・君が代斉唱・日本語の常用・日本史の学習・**創氏改名**などを強制）が進められる。

☆多数が日本へ強制連行される。⇒在日朝鮮人・韓国人問題

☆**従軍慰安婦**として戦場へ出た女性もあった。

②満洲〔中国東北地方〕（日露戦争後，支配を強化）

1905年　旅順・大連を含む遼東半島南端の租借地を**関東州**とする

☆遼陽に関東総督府を設置。

1906年　**旅順**に**関東都督府**（ととくふ）を設置⇒関東総督府を改組（かいそ）

南満洲鉄道株式会社〔満鉄〕を設立⇒**半官半民の国策会社**

☆本社を大連に置き，**長春～旅順間**の旧東清鉄道および沿線の諸事業を経営。初代総裁は後藤新平。

1919年　関東都督府を廃止，**関東庁**（行政担当）と**関東軍**（軍事担当）に分割。

---

③アメリカ（日露戦争後，満洲市場をめぐり関係が悪化）

Ａ　満洲問題

1905年　桂・ハリマン覚書

☆アメリカの鉄道企業家ハリマンによる，鉄道（長春～旅順間）の共同経営案を桂太郎首相が内約するが，小村寿太郎外相の反対により破棄。

1906年　南満洲鉄道株式会社〔満鉄〕設立

1907年～元帥府(げんすいふ)会議において帝国国防方針を決定

☆アメリカを海軍の仮想敵国とする。

1908年　高平(たかひら)・ルート協定

☆太平洋・中国問題に関する協定。

1909年　**国務長官ノックスによる，列国に対する満鉄中立化提案。**

☆翌年，日本・ロシアは拒否。

Ｂ　在米移民問題

1890年代から，カリフォルニア州を中心に日本人移民排斥(はいせき)運動が発生。日露戦争のころには労働組合などを中心に活発に展開されるようになった。

☆日本人労働者の低賃金・ストライキ実行が原因。日露戦争後アメリカにも波及した黄禍論(こうかろん)の影響も強い。

1906年　サンフランシスコ学童排斥問題

☆日本人児童の公立学校への入学を拒否。

1907年～日米紳士協定（～08年）

☆ハワイを含む新たな移民希望者には，日本政府が旅券(パスポート)を発行しないことを約束。

1913年　カリフォルニア州における日本人の土地所有を禁止

1924年　排日移民法

☆日本人移民は入国できず締め出される。

④イギリス（日露戦争後，関係は次第に冷却）

1905年　第２次日英同盟協約

　☆**適用範囲をインドまで拡大**，有効期限10年の攻守同盟。

1911年　第３次日英同盟協約

　☆**アメリカの第三国適用を除外**，有効期限10年。

1923年　**四カ国条約（1921年締結）発効により破棄**

　☆ワシントン会議の結果。

---

⑤ロシア　（日露戦争後，両国が接近）

４次にわたる秘密条項を含む**日露協約**により，中国大陸における両国の勢力範囲を相互に確認。

1907年　第１次日露協約

　☆**日本＝南満洲・韓国，ロシア＝北満洲・外蒙古（がいもうこ／そと）**を勢力範囲とすることを相互に確認。

1910年　第２次日露協約

　☆自国の満洲における特殊利益擁護（ようご）のための自由行動を相互に承認

　☆第三国（＝アメリカ）の満洲進出を阻止するための共同行動を約束。

1912年　第３次日露協約

　☆辛亥（しんがい）革命（1911年）を機に浮上した外蒙古独立問題に対応し，内蒙古（ないもうこ／うち）における両国利益範囲の東西分割を約束。

1916年　第４次日露協約〔日露同盟〕

　☆条約範囲を全中国に拡大。第三国の中国支配を防ぎ，**極東での日露共同戦線結成を約束した軍事同盟。**

↓↓↓

1917年，ロシア革命によりロシア帝国が滅亡し破棄。

---

⑥中華民国（日露戦争後，辛亥革命により清が滅亡して成立）

A　革命の背景

あ　清朝の動揺

北清事変（1900年）の失敗・内政改革の失敗・満洲族王朝の専制に対する漢族の反感などによる。

い　革命勢力の台頭

三民主義〔民族・民権・民生〕を唱える**孫文**の**中国同盟会**〔**中国革命同盟会**〕（1905年，東京で結成）などの革命勢力が清国内で台頭。

B　経過

1911年　**辛亥革命**

1912年１月　**中華民国の建国**を宣言

☆帰国した孫文が南京で臨時大総統となる。

国民党の成立

２月　**宣統帝**〔**溥儀**〕の退位により清朝が滅亡

３月　孫文にかわり軍閥を率いる**袁世凱**が北京で臨時大総統となる

４月　臨時政府を北京に移す

1913年７月　袁世凱が国民党を弾圧したため孫文を中心に第二革命が勃発

☆袁世凱が鎮圧に成功，正式大総統となり国民党を解散させる。

1914年　孫文が日本に亡命し東京で秘密結社中華革命党を結成する

☆1919年に**中国国民党**となる。

1915年５月　日本が出した**二十一カ条の要求**の大部分を承認

12月　袁世凱の帝政復活宣言に対し第三革命が勃発

☆袁世凱は翌年に帝政復活を取り消し，まもなく病死。その後，列国の支援を受けた各地の軍閥政権の抗争により政治は混乱。

C　日本の対応

1911年の辛亥革命のころ，民間有志や陸軍が内政干渉を主張するが，列国の意向と国内の財政事情を考慮して，政府は不干渉の立場をとった。

☆1914年の第一次世界大戦開始後には，積極的干渉をはかる。

第 20 講　確認問題

1　東京日比谷の鹿鳴館を設計した建築家とは？

①コンドル　②辰野金吾　③片山東熊　④ライト

2　1886年に沈没したノルマントン号は，どこの国の貨物船であったか？

①アメリカ　②イギリス　③ロシア　④フランス

3　1889年，右翼団体の青年の襲撃により右足に重傷を負った外務大臣とは？

①井上馨　②大隈重信　③青木周蔵　④陸奥宗光

4　1884年，独立党（金玉均ら）が事大党（閔妃一派）に仕掛けたクーデタを何というか？

①江華島事件　②壬午軍乱　③甲申事変　④東学党の乱

5　1885年に日中間で締結された条約とは？

①日清修好条規　②済物浦条約　③天津条約　④下関条約

6　1885年に「脱亜論」を唱えた人物とは？

①森有礼　②加藤弘之　③福沢諭吉　④中江兆民

7　1895年の下関条約で清国から割譲を受けた地として不適切なものを一つ選べ。

①遼東半島　②台湾　③澎湖諸島　④琉球王国

8　1895年の三国干渉後，反ロシア意識をあおる標語となったものは？

①富国強兵　②殖産興業　③脱亜入欧　④臥薪嘗胆

9　1896年に進歩党の大隈重信が外相として入閣した内閣とは？

①第一次松方正義内閣　②第二次伊藤博文内閣
③第二次松方正義内閣　④第三次伊藤博文内閣

10　1900年，立憲政友会の初代総裁となった人物とは？

①板垣退助　②星亨　③伊藤博文　④西園寺公望

11　1898年，山東半島の膠州湾を99年租借した国とは？

①ドイツ　②ロシア　③イギリス　④フランス

12　1910年，初代朝鮮総督となった人物とは？

①樺山資紀　②児玉源太郎　③伊藤博文　④寺内正毅

解答

1	①	2	②	3	②	4	③	5	③
6	③	7	④	8	④	9	③	10	③
11	①	12	④						

第 21 講　明治時代Ⅳ

1　政商資本と労働者の誕生

①日本資本主義の特質

A　自主的な発展でなく先進資本主義国の技術を導入・育成

B　**政府の保護・育成**により資本の原始的蓄積(ちくせき)過程が急速に進行

☆官営事業とその払い下げ，軍事工業優先策。

C　発展の不均衡が顕著(けんちょ)

☆小農経営・家内工業・中小企業の広範(こうはん)な存在。

D　**農村の窮乏(きゅうぼう)と労働者の低賃金を背景に輸出依存度が高い。**

☆国内市場は狭いが，人件費などの生産コストが安い。

☆海外市場獲得のため，軍事力を背景に侵略に乗り出す。

---

②松方デフレ財政（1881 年～86 年ごろ）

A　デフレ政策による不換(ふかん)紙幣整理・正貨蓄積(ちくせき)

デフレ政策が引き起こした深刻な不況により，自作農・中小地主が没落。

↓↓↓

あ　**寄生地主**

現物小作料の販売利益により企業を設立，または株式会社に投資。

い　**貧農**

労働者として，低賃金で労働力を提供（＝廉価(れんか)商品の創出）。

☆購買力(こうばいりょく)に乏しく，国内市場を狭める。

B　**軍事工業**・鉄道**を除く，官営事業の払い下げ**

三井・三菱（岩崎）・古河などの**政商資本を育成。**

☆優良鉱山の払い下げを受け，巻上機(まきあげき)の導入などの機械化を進めて，石炭や銅の輸出を増やしていった。

C　意義

資本の原始的蓄積と低賃金労働者の創出＝**資本主義の前提が完成**

２　第１次産業革命（日清戦争前後）

①企業勃興（1886年～89年ごろ）

A　輸出超過傾向　　　　（1882年～86年）

B　**貨幣制度の安定**　　　**（1885年～，銀本位制の確立）**

C　**松方デフレの不況脱出（1886年～）**

↓↓↓

物価の安定・金利の低下により株式取引が活発化，産業界が活気づく。

↓↓↓

鉄道・紡績を中心に**会社設立ブーム**が起こる（1886年～89年）。

☆機械技術を本格的に用いる産業革命が日本でも始まった。

↓↓↓

1890年，株式への払込みが集中して金融機関の資金が不足したところへ，前年の凶作と生糸輸出の半減が加わり，ブームは挫折した（＝**1890年恐慌**）。

☆しかしこれを機に，日本銀行は普通銀行を通じ産業界に資金を供給する態勢を整えた。

---

②資本主義の成立（1900年ごろ，紡績業・製糸業中心）

日清戦争後，戦勝景気により再び企業勃興が生じ，紡績・製糸など繊維産業を中心に**資本主義**が本格的に成立した。

☆**1900年～01年**，綿花の輸入増にともなう正貨減少を契機に，過剰生産・株式高騰の反動で**初の資本主義恐慌**が発生。企業の倒産や銀行の休業が相次ぎ，紡績業は操業時間短縮を余儀なくされた。

---

③貿易の拡大

A　貿易規模の拡大

第１次産業革命の進展にともない，貿易の規模は拡大。しかし，綿花などの原料品や機械類・鉄類などの重工業製品の輸入が増え，**大幅な輸入超過**となった。

あ　**輸出品**　**生糸**・絹織物，**綿糸**・綿織物など

い　**輸入品**　**綿花**・砂糖・米・**機械類**・鉄類など

B　**商社**の活動

益田孝（ますだたかし）社長の三井物産会社など。

☆列強に独占されていた貿易の実務を支える。

C　貿易金融の活発化

横浜正金（しょうきん）銀行(1880年設立，87年から特殊銀行)の活躍。

---

④軽工業の発達

A　**紡績業**

あ　生産技術の進歩

手紡（てつむぎ）

↓↓↓

ガラ紡(1873年，**臥雲辰致（がうんときむね／たっち）**が発明)

↓↓↓

機械紡績の登場(1880年代＝イギリス製ミュール紡績機)

☆**大阪紡績会社**(**1882年，渋沢栄一**らが設立〔翌年開業〕)，鐘淵（かねがふち）紡績会社(東京府)など６大紡績会社の設立。

↓↓↓

機械紡績の発展(1890年代＝アメリカ製リング紡績機)

い　生産の増大

1890年　綿糸生産量が輸入量を上回る

1893年　日本郵船会社が**ボンベイ〔インド〕航路**を開設

☆安価なインド綿花の輸入のため。

1894年　綿糸輸出関税免除法

1896年　綿花輸入関税免除法

1897年　綿糸輸出量が輸入量を上回る

☆中国・朝鮮への輸出が急増。

☆綿花の輸入（中国・インド・アメリカなど）が増大，綿業貿易の輸入超過傾向は激化。

B　綿織物業

幕末以来衰退していたが，農村の問屋制家内工業を中心に次第に復興。

☆1733年にイギリス人ジョン＝ケイが発明し，1873年のウィーン万博を機に紹介された飛び杼を採用し，従来の手織機を改良。

C　**製糸業**

幕末以来欧米向け輸出産業として急速に発達した，日本の最大の外貨獲得手段。

☆紡績業の原料となる綿花や紡績機械の輸入に必要な外貨を獲得。

☆1894年，輸入機械に学び在来技術を改良した**器械製糸**の生産量が，幕末に普及した**座繰製糸**の生産量を上回る。

D　絹織物業

羽二重生産がさかんになり，力織機も導入された。

---

⑤鉄道の発達

A　**民営**

1881年　日本鉄道会社設立

☆第十五銀行〔華族銀行〕を中心に設立された，**日本最初の私鉄会社**。政府の保護を受けて成功。

☆上野～高崎間（1884年），上野～青森間（1891年）を全通させる。

1889年　営業キロ数で民営鉄道が官営鉄道をしのぐ

☆商人や地主による会社設立ブーム（1886年～89年）の結果。

1892年　鉄道敷設法

☆山陽鉄道・九州鉄道など民営鉄道も幹線の建設を進め，日清戦争後には青森～下関間が連絡された。

B　**官営**

1889年　東海道線全通（東京～神戸間）

---

⑥海運の発達

A　**日本郵船会社**(1885年設立)が新航路を開設，貿易発展の条件を整える。

1893年　**ボンベイ〔インド〕航路**

☆わが国初の遠洋定期航路。

1896年　ヨーロッパ・アメリカ・オーストラリア航路

☆その他の海運会社として，東洋汽船会社などがある。

B　政府の奨励策

1896年　航海奨励法・造船奨励法

☆日清戦争における商船の功労に報いる。

☆外貨節約と戦時の軍用船確保をはかる。

---

⑦金本位制の確立

日清戦争の賠償金を基礎とする**戦後経営**。

A　財政の膨張(ぼうちょう)と軍備拡大政策

B　金融・貿易面からの産業振興政策

あ　**貨幣法**(**1897年＝金本位制の確立**，１円＝金0.75ｇ)

銀価格の低落が目立ち，世界の大勢(たいせい)も金本位に傾いていたため，**第二次松方正義内閣**が施行。

☆欧米諸国にならい金本位制を採ることで金銀相場変動の影響を失くし，貿易を発展させようとした。

い　**特殊銀行**の設立

1887年　横浜正金(しょうきん)銀行⇒80年設立，この年特殊銀行化

☆外国貿易金融専門の銀行。

1897年　日本勧業銀行

☆農業・工業の改良・発展を目的とした長期融資を行う。

1898年～各府県の農工銀行

☆地主層に資金を低利で長期間貸し付けた。のち日本勧業銀行に合併。

1899年　**台湾銀行**

☆植民地台湾の中央銀行。

1902年　日本興業銀行

☆長期・大口の産業資金の需要に応じることを目的とする。

1911年　**朝鮮銀行**

☆植民地朝鮮の中央銀行。

---

⑧重工業の勃興

日清戦争の賠償金を利用，官営の軍需工業中心。

1897年　官営八幡製鉄所設立

☆ドイツの技術を背景とし，農商務省が北九州に建設。

1901年　官営八幡製鉄所操業開始

☆**清（のち中華民国）の大冶鉄山から鉄鉱石を輸入**。石炭は福岡県の**筑豊炭田**（のち満洲の撫順炭田も）を利用。

☆技術的な困難に悩まされながらも，日露戦争のころには生産を軌道に乗せた。

３　第２次産業革命（日露戦争前後）

①綿織物業の躍進

日露戦争後の大紡績会社の兼営や輸入大型力織機（りきしょっき）の活躍による。

A　販売組合を結成し朝鮮・満洲市場への進出を強める

B　**豊田佐吉**（とよださきち）**がわが国初の国産力織機**を考案（1897年）

☆おもに手織機（ておりばた）により問屋制家内工業生産が行われていた農村部において，小型力織機を導入し小工場への転換が進行。

---

②繊維（せんい）製品輸出の伸張

アジア市場へ進出（朝鮮・中国〔とくに満洲〕に依存）。

1909年　綿織物の輸出額が輸入額を超える　（アジア向け）

生糸輸出量が清国を抜いて世界最大となる（アメリカ向け）

---

③貿易の拡大

A　貿易額の急増（1897年＝3.8億円⇒1912年＝11.5億円）

繊維工業製品の輸出と綿花の輸入（中国・インド・アメリカから）が激増

B　アジア市場への進出

あ　朝鮮

綿織物の移出・米の移入

い　台湾

米や砂糖の移入

う　満洲

綿織物の輸出・**大豆粕**（だいずかす）の輸入

C　貿易収支の悪化（危機的状況）

あ　慢性的な輸入超過（輸出超過は1906年・09年のみ）

☆生糸・綿織物などの輸出が増加したものの，綿花や軍需品・重工業資材の輸入が増加したため。

い　巨額な外国債の利払いに追われる（増税で対応）

---

④重工業の発達

官営の軍事工業と民間の造船業が牽引(けんいん)。

A　**電力事業**

水力発電が本格化し大都市では電灯が普及。

B　鉄鋼業

1906年　官営八幡製鉄所の大拡張

1907年　**日本製鋼所**の設立

☆海軍の援助を背景に，三井とイギリスのアームストロング・ヴィッカース両社の提携で北海道室蘭(むろらん)に設立された，**民間**の兵器製鋼会社。

C　造船業

日露戦争後に造船・造艦技術は世界的水準に達する。

☆**三菱長崎造船所（長崎県）**・川崎造船所（兵庫県）など。

D　工作機械業

池貝(いけがい)鉄工所（東京府）がアメリカ式旋盤(せんばん)と同等の精度をもつ旋盤の国産化に成功。

☆しかし大半の工作機械は欧米からの輸入に頼った。

E　電気機械業

芝浦製作所（東京府）など。

---

⑤鉄道の発達

1906年，全国鉄道網の統一的管理をめざす**鉄道国有法**により，民間の主要幹線17社を買収（**第一次西園寺公望内閣**）。

☆経済界の不況や**軍事的な配慮から**，鉄道の全延長約90％を国有化。

☆鉄道国有化で得た資金を重工業へ投じた資本家も多かった。

４　財閥の形成

①財閥

一族の独占的出資による資本を基礎に，**持株会社**を中心に結合した巨大コンツェルン。

---

②成立

A　産業革命の進展による大資本家の創出

☆政府から極めて厚い保護を受ける。

B　資本主義の進展による資本の集中

☆1900年恐慌〔資本主義恐慌〕，1907〔明治40〕年恐慌〔日露戦後恐慌〕を経て資本が集中。

---

③種類

A　**四大財閥⇒持株会社**を本社として発展

あ　**三井財閥⇒三井合名会社**（1909年設立）が中心

江戸時代，**三井高利**（たかとし）が創始した越後屋呉服店・三井両替店が発展。はじめ**井上馨**（かおる），のち**立憲政友会**と結んだ**最大の財閥**。金融・軽工業・商業部門を中心に多岐にわたり発展。

い　**三菱財閥⇒三菱合資会社**が中心

創始者は土佐藩出身の**岩崎弥太郎**。はじめ**大隈重信（立憲改進党・進歩党）**，のち**憲政会〔立憲民政党〕**と結ぶ。海運・鉱業部門を中心に多岐にわたり発展。

う　**住友財閥⇒住友総本店〔のち住友合資会社〕**が中心

江戸時代より別子銅山（伊予〔いよ〕国）を経営する住友家〔泉屋（いずみや）〕が発展。鉱業・金融部門を中心に発展。

え　**安田財閥⇒安田保善社**が中心

創始者は幕末の両替商であった**安田善次郎**，保険・金融部門中心に発展。

B　その他の財閥

あ　**古河(ふるかわ)財閥**(創始者＝**古河市兵衛(いちべえ)**)

足尾銅山(栃木県)など鉱山業を中心に発展。

い　**浅野財閥**(創始者＝**浅野総一郎**)

セメント製造業を中心に発展。のち京浜工業地帯を造成。

う　川崎財閥(創始者＝川崎正蔵(しょうぞう))

川崎造船所(兵庫県)など重工業中心に発展。

え　大倉財閥(創始者＝大倉喜八郎(きはちろう))

土木鉱業部門を中心に発展。

５　農業の停滞

①米作中心の零細経営

大豆粕などの金肥の普及や**品種改良**（1893年設置の農事試験場など）により，単位面積当たりの収穫量は増加。

☆しかし，都市人口の増加により米の供給量は不足がち。

---

②商品作物の変化

安価な輸入品に押され，綿・麻・菜種・藍・大豆などの生産は衰退。

↓↓↓

産業革命の進展にともなう生糸輸出の増加に刺激され，桑の栽培や養蚕は隆盛。

☆明治末期には全農家の３分の１が養蚕を副業としていたので，とくに**アメリカ**での生糸価格の動きが，日本の農村経済に多大な影響を与えるようになった。

---

③小作地率の増大（明治末期には約45％を占める）

寄生地主と資本主義との結合が強まる。

☆高率の現物小作料を元手に企業を設立。または国債や株式に投資。

☆日本勧業銀行・各府県の農工銀行による資金供給が，地主の経済力を強めた。

---

④政府による農民の組織化

1899年　農会法

☆農業の発達・改良をはかる農会に補助金を交付。

1900年　産業組合法

☆産業組合の設立を促す。

1909年～**地方改良運動**

☆協同事業に成功した村を模範村としてその事例を全国に紹介した。

1910年　帝国農会の設立

---

⑤下層農民の生活

小作農へ転落，子女の出稼ぎ(口減(くちべ)らしのため)や副業で辛うじて家計を補填(ほてん)。

☆都市にも大量に流入。**貧民窟(ひんみんくつ)**〔スラム〕に住みつき，日露戦争前後に社会問題化。

６　社会運動の発生

①低賃金労働者の増加

A　男性

1890年代以降，産業革命の進展とともに，農村で生活できなくなった貧農の二男以下が東京･大阪などの大都市へ流入し，貧民窟〔スラム〕を形成。

☆重工業，工場外労働(鉱山・運輸・造船・通信など)に従事。

B　女子

繊維工業に集中(家計補助のための出稼ぎ)。

②労働問題の発生

労働者は，成立したばかりの資本主義のもとで低賃金・長時間労働を強いられた。

A　**女工〔工女〕**の虐待(ぎゃくたい)

貧農出身の若い女子が低賃金で雇われ，みじめな食事と不潔な寄宿舎のため結核などの病気にかかる者も多かった。

あ　紡績業

12～16時間の昼夜２交替制，低賃金。

☆**細井和喜蔵(ほそいわきぞう)『女工哀史(じょこうあいし)』**(1925年)

い　製糸業

14～18時間労働，低賃金。

☆工女節(ぶし)「男軍人女は工女，糸をひくのも国のため」

☆**山本茂実(しげみ)『あゝ野麦峠』**(1968年)

B　坑夫の虐待

鉱山や土木工事の現場には，労働者を拘禁(こうきん)し労働を強制する納屋(なや)制度〔飯場(はんば)制度〕が存在し，ときには囚人労働が使用されることもあった。

高島炭鉱問題(1888年)

☆三宅雪嶺(せつれい)らの政教社が雑誌『日本人』で劣悪(れつあく)な労働環境を発表，政府も経営者である**三菱**に待遇(たいぐう)改善を勧告。

C　実情の調査

あ　**日本之(の)下層社会**(1899年，**横山源之助(げんのすけ)**)

労働者・小作人の実態を調査し，産業革命期の矛盾(むじゅん)を指摘した。

い　**職工事情(しょっこう)**　　(1903年，**農商務省**)

工場法(1911年制定)立案の基礎資料となる。

---

③組織的労働運動の発生と発展

A　**ストライキ**の発生

あ　**甲府雨宮製糸工女スト**（1886年，**初のストライキ**）

い　大阪天満紡績工女スト（1889年，94年）

B　**職工義友会（1897年）**⇒同年，**労働組合期成会**に改組（～1901年）

1897年にストライキは全国40件余り発生していた。

あ　アメリカの労働運動の影響を受けた**高野房太郎・片山潜**らが結成

☆労働組合の指導組織。

い　共済活動に重点を置き労資協調的

う　鉄工組合・日本鉄道矯正会などが結成される

え　機関紙の『**労働世界**』は初の労働組合雑誌

C　**足尾銅山鉱毒事件**（1891年～**初の公害事件**）

幕末に廃鉱同然であった銅山を**古河市兵衛**が買い取り，飛躍的に発展させていた。

あ　**渡良瀬川**流域の農漁業に大被害

い　**栃木県**選出の代議士**田中正造**が操業停止を訴える

☆木下尚江・幸徳秋水らの知識人とともに世論の喚起に努め，1901年に議員を辞職，天皇にも直訴を試みる。

う　谷中村の廃村と遊水池の設置で決着（1907年）

D　**小作争議**の増加

小作人組合が結成されはじめる。

E　**治安警察法　（1900年，第二次山県有朋内閣）**

第５条で女性の政治参加を規制。第17条で労働者の団結権・ストライキ権を制限。

F　**工場法の制定（1911年，第二次桂太郎内閣）**

あ　**15人以上を使用する工場のみに適用**，12歳未満の年少者の就労を禁止。

い　15歳未満の年少者及び女子の就業時間は12時間を限度とし，深夜業は禁止。

う　製糸業での14時間労働や，紡績業での深夜業を認めるなどの例外規定が多い極めて不備な法であった。

G　**工場法の施行（1916年，第二次大隈重信内閣）**

資本家の反対で，この年まで施行が延期されていた。

④その他の社会運動

A　廃娼運動

東京婦人矯風会の結成（1886年，矢島楫子ら）

☆のち日本キリスト教婦人矯風会に発展。

B　慈善事業

救世軍の結成　　　　（1895年，山室軍平ら）

---

⑤社会主義運動

1897年　社会問題研究会

1898年　**社会主義研究会**

☆**安部磯雄・片山潜・幸徳秋水・木下尚江**ら。

1900年　社会主義協会

☆社会主義研究会を改称，改組。

1901年　社会民主党⇒初の社会主義政党（非合法）

☆安部磯雄・片山潜・幸徳秋水・木下尚江・河上清・西川光二郎らが結成。

☆**第四次伊藤博文内閣**は，治安警察法により**直後に結社禁止**を命じた。

1903年　平民社

☆新聞『万朝報』を退社した**幸徳秋水・堺利彦**らが結成。

☆**週刊『平民新聞』**を発行，**反戦論**を展開。

1906年　日本社会党⇒日本初の合法的社会主義政党

☆堺利彦・片山潜らが結成，日刊『平民新聞』を発行。

☆1907年，**議会政策派**（片山潜ら）と**直接行動派**（アメリカから帰国したした幸徳秋水ら）が対立。後者が優位になると**第一次西園寺公望内閣**は，治安警察法により結社禁止を命じた。

---

⑥社会主義運動の弾圧

1908年　**赤旗事件**

☆堺利彦・山川均・荒畑寒村・大杉栄らの直接行動派を逮捕。

☆**第一次西園寺公望内閣**は責任を取り総辞職。

1910年　大逆事件

☆**第二次桂太郎内閣**が，天皇暗殺計画の容疑で**社会主義者・無政府主義者**26名を大逆罪で起訴。

☆翌年，全員が有罪判決を受け**幸徳秋水**・管野スガら12名が死刑となる。

☆**石川啄木**は『**時代閉塞の現状**』，永井荷風は『花火』を著し政府を批判。

1911年　大逆事件の判決

☆警視庁内に**特別高等課〔特高〕**とよばれる思想警察を設置。以後，社会主義運動は“**冬の時代**”に突入。

〈***Note***〉

第 21 講　確認問題

1　松方デフレ財政がスタートした年とは？

①1877年　②1881年　③1885年　④1889年

2　1883年に開業した，昼夜２交代制24時間操業の民間工場とは？

①富岡製糸場　②新町紡績所　③千住製絨所　④大阪紡績会社

3　綿糸生産量が輸入量を上回った年とは？

①1882年　②1890年　③1894年　④1897年

4　1893年，ボンベイ〔インド航路〕を開設した会社とは？

①九十九商会　②共同運輸会社　③日本郵船会社　④東洋汽船会社

5　1897年，貨幣法を発して金本位制を確立した内閣は？

①第二次松方正義内閣　②第三次伊藤博文内閣
③第一次大隈重信内閣　④第二次山県有朋内閣

6　1901年に操業開始となった官営八幡製鉄所は，おもにどこの石炭を利用していたか？

①高島炭鉱　②三池炭鉱　③筑豊炭田　④花岡鉱山

7　アメリカ式旋盤と同等の精度をもつ旋盤の国産化に成功した企業とは？

①日本製鋼所　②池貝鉄工所　③芝浦製作所　④鞍山製鉄所

8　「三大財閥」として不適切なものを一つ選べ。

①三井財閥　②三菱財閥　③住友財閥　④安田財閥

9　1899年に『日本之下層社会』を著したジャーナリストとは？

①前田正名　②三宅雪嶺　③横山源之助　④安部磯雄

10　1903年に『職工事情』を編纂した省とは？

①工部省　②内務省　③農商務省　④大蔵省

11　労働組合期成会が結成された年は？

①1886年　②1897年　③1900年　④1911年

12　1901年に結成された初の社会主義政党（非合法）とは？

①社会主義研究会　②社会民主党　③日本社会党　④労働農民党

解答

1	②	2	④	3	②	4	③	5	①
6	③	7	②	8	④	9	③	10	③
11	②	12	②						

第22講　明治文化

1　明治文化の特色

①**日本文化の伝統を継承しつつ西洋文化を積極的に受け入れた**，独特の二元性をもつ文化。

☆**古いものと新しいもの，東洋風と西洋風とが無秩序に併存。**

②初期には政府の強力な指導・育成のもとに，教育の普及や交通・通信・出版の発達がみられた。

☆西洋文化の受容は近代国家形成を最大の目的としており，必ずしも国民生活に根ざしたものではなかったため，上辺(うわべ)だけのものに陥(おちい)りがちだった。

☆中期以降は国民の自覚が進み，自主的な努力で発展した。

③科学的精神の重要性が高まる。

☆不十分ではあったが，学問・文学・芸術が政治・道徳・宗教から独立して発展。

④物質文明の急激な流入に比べ，日本人の精神の変化はゆるやかだった。

☆とくに都市に比べ農村の近代化は，はるかに遅れた。

２　明治時代の思想

①西洋思想の流入（明治10年代まで）

従来の儒教・神道による考えや古い習慣が時代遅れとして排斥(はいせき)され，かわって自由主義・功利主義・個人主義などの西洋近代思想が流行し，**天賦(てんぷ)人権の思想**が唱えられた。

A　**明六社(めいろくしゃ)**の結成（**1873年**）⇒**『明六雑誌』**（1874年～75年）

英米留学から帰国した**森有礼(ありのり)**を社長に，**加藤弘之(ひろゆき)・西周(あまね)**・津田真道(まみち)・**西村茂樹(しげき)・福沢諭吉・中村正直(まさなお)**らの洋学者が**啓蒙(けいもう)主義**を導入。演説会を開き封建(ほうけん)思想の排除と近代思想の普及に努めた。

☆森有礼は**薩摩藩**出身で，のち**初代文部大臣**として学校令を公布した。

B　**ドイツ流国家主義**⇒保守的**国権論（政府系）**

あ　**加藤弘之**

『国体新論』『真政大意』で天賦人権論を紹介し，国民の利益を主張する民権論の立場に立った。しかし，優勝劣敗を説くスペンサー（英）の社会進化論の影響を受け，**『人権新説』**を著して国家の利益を優先する**国権論へ変節。**

☆1881年，東京大学初代総理となった。

い　**西周**

1862年，文久の改革でオランダに留学し，帰国後に『万国公法』を翻訳。のち軍人訓戒（1878年）や軍人勅諭（1882年）を起草。

☆「哲学」「理性」「主観・客観」などの哲学用語を案出したことでも有名。

う　津田真道

西周とともにオランダに留学し，帰国後に初の西洋法学書『泰西(たいせい)国法論』を翻訳。

え　**西村茂樹**

皇室崇拝を中心とした新たな国民道徳の確立に尽力し，**『日本道徳論』**を著す。

C　**イギリス流功利主義思想**⇒漸進的**民権論（立憲改進党系）**

あ　**福沢諭吉**

豊前国中津藩出身。大坂に出て緒方洪庵の適塾〔適々斎塾〕に学び，３度にわたり欧米を巡歴。1868年には**慶應義塾**を創設した。著書『**西洋事情**』『**学問のすゝめ**』『**文明論之概略**』『福翁自伝』など。

☆1885年には新聞『時事新報』紙上で**脱亜論**を発表し，国権論を唱えた。

い　**中村正直**〔敬宇〕

幕臣としてイギリスに留学し，個人主義道徳を日本に紹介。著書『**西国立志編**』（スマイルズ『自助論』の翻訳），『**自由之理**』（ミル『自由論』の翻訳）。

D　**フランス流自由主義**⇒急進的**民権論（自由党系）**

あ　**中江兆民**⇒**“東洋のルソー”**

土佐藩出身。岩倉使節団に同乗しフランス留学。帰国後，西園寺公望社主の『東洋自由新聞』主筆となり，のち自由党員として自由民権運動を牽引する。著書『**民約訳解**』**（ルソー「社会契約論」の翻訳）**，『三酔人経綸問答』『一年有半』など。

☆1890年，衆議院議員となるが，第一議会における自由党土佐派の妥協に憤激し翌年辞職。弟子の幸徳秋水らを育てた。

い　**植木枝盛**

土佐藩出身。立志社に加わり，のち自由党員として自由民権運動を牽引した。著書『**民権自由論**』『天賦人権弁』など。

う　馬場辰猪

土佐藩出身。のち自由党幹部となるが，板垣退助らの外遊問題に反対し脱党した。著書『天賦人権論』など。

☆福沢諭吉に学び，激しい国権論者でもある。

え　**大井憲太郎**〔馬城台二郎〕

国会の早期開設を唱え，時期尚早とする加藤弘之と“民撰議院論争”を展開。

☆自由党左派として活躍するが，のち1885年の大阪事件で収監されるなど，国権論を唱える。

②国家主義思想の台頭（明治20年代～）

日清戦争勝利の自信と三国干渉への憤激が，対外膨張の**国家主義**〔ナショナリズム〕へと向かわせた。

☆社会主義者と一部のキリスト教徒たちはその傾向に反対していたが，国家主義は日露戦争の前には思想の主流になっていった。

A　**平民主義〔平民的欧化主義〕**⇒政府による貴族的欧化主義に反発

徳富蘇峰らの**民友社**による**雑誌**『**国民之友**』（のち『**国民新聞**』に吸収）。

☆徳富蘇峰は，海老名弾正らとともに熊本洋学校でジェーンズ（米）に学んだ後，京都の同志社英学校で新島襄に学ぶ（＝熊本バンド）。

☆『新日本之青年』『将来之日本』を著すが，日清戦争開戦と同時に『大日本膨張論』で**国家主義**に変節，以後『近世日本国民史』100巻の執筆をライフワークとした。

B　**国粋主義〔国粋保存主義〕**⇒日本的な伝統・美意識を強調

三宅雪嶺，**志賀重昂**，**杉浦重剛**らの**政教社**による**雑誌**『**日本人**』（のち『日本及日本人』と改称）。

☆三宅雪嶺は『真善美日本人』，志賀重昂は『日本風景論』の著者。

C　**国民主義**⇒国民の統一と公共の利益を説く

陸羯南らの**新聞**『**日本**』。

☆当初は日本の中国分割への参加を批判したが，北清事変後のロシアによる満洲占領を契機に対露強硬論に転換した。

D　**日本主義**⇒古来の伝統を重視し国民精神の発揚を唱える

高山樗牛・井上哲次郎らが博文館の**総合雑誌**『**太陽**』誌上などで展開。日本の大陸進出を肯定した。

☆高山樗牛は歴史小説『滝口入道』の著者。

③反国家主義思想の成長（明治30年代〜）

A　国家主義思想の低迷と強化

日露戦争勝利による国家目標の実現≠生活の向上という実感。

☆この前後，第一高等学校生藤村操(みさお)の投身自殺（1903 年，日光華厳(けごん)の滝）など，煩悶(はんもん)する青年を生み出す。

☆町・村や個人の実利追求の風潮の高まりに対し，第二次桂太郎内閣は勤倹節約と皇室の尊重を国民に求める**戊申詔書(ぼしんしょうしょ)**を発し，列強の一員としての日本を支えるための道徳強化に努めた（**1908 年**）。

☆**1909 年**には内務省を中心に**地方改良運動**を開始，疲弊(ひへい)した地方の財政再建・農業振興・民心向上をはかった。⇒青年会・在郷軍人会が中心となる。

B　**社会主義**思想の成長

安部磯雄・片山潜（右派）や，**堺利彦・幸徳秋水**（左派）ら。

C　**社会運動**の発生

労働争議・小作争議などの増加。

３　明治時代の教育

①教育制度の整備

A　**文部省**の設置（**1871年**）

初代文部卿に**大木喬任**（肥前藩出身）が就任。

B　**学制**　（1872年，文部卿＝大木喬任）

同時に出された『**学事奨励に関する太政官布告〔被仰出書〕**』で理念を表明。

あ　**フランス流教育制度**を採用

い　**中央集権的な全国画一主義の学校体系を確立**

☆政府は，国民各自が身を立て智を開き産をつくるための学問，という功利主義的教育観を唱え，**小学校教育**に重点を置き**義務教育**の方針を発表。**国民皆学**をめざした。

☆全国を**８大学区**に分け，各大学区に大学校１と中学校32を設置。各中学区に小学校210を設置。これは約600人に１小学校の割合で，とくに地方では当時の国民生活と現実的にかけ離れていた。

う　強引で画一的な実施や**過大な経済負担**，教育内容の不満などもあり各地で**学制反対一揆**が発生

C　師範学校・東京女学校（1872年），女子師範学校（1874年），**東京大学（1877年）**の開設。

☆東京大学は旧幕府の開成所・医学所を起源とする諸校が統合されたもの。のち帝国大学さらに東京帝国大学となった。

D　**教育令**（**1879年**，文部卿＝寺島宗則）

この年，元田永孚（熊本藩出身）が起草した『教学大旨』も出される。

あ　**アメリカ流教育制度**を採用

☆義務教育は最短16カ月とする。

い　**地方の実情に合わせ**小学校設立は町や村の自由裁量とする

う　小学校を閉鎖・廃止する町村が続出

☆強制から放任への急転換は大きな混乱を招き，“**自由教育令**”と各方面から非難される。

E　**改正教育令（1880年）**

あ　**再び中央集権的な教育制度を採用しドイツ流の国家主義的教育**をめざす

☆義務教育は最短 3 年，毎年 16 週間以上とする。

い　国家の基準を明示し教育統制を強化

☆修身（しゅうしん）を筆頭科目とする。

F　**私立学校**の設立

1868 年	**慶應義塾**（けいおうぎじゅく）	**（福沢諭吉）**	のち**慶應義塾大学**
1875 年	**同志社英学校**（どうししゃ）	**（新島襄）**（にいじまじょう）	のち**同志社大学**
1880 年	東京法学社		のち法政大学
	専修学校		のち専修大学
1881 年	明治法律学校	（岸本辰雄ら）	のち明治大学
1882 年	**東京専門学校**	**（大隈重信）**	のち**早稲田大学**
1885 年	英吉利（イギリス）法律学校		のち中央大学
1887 年	哲学館	（井上円了（えんりょう））	のち東洋大学
1889 年	日本法律学校	（山田顕義（あきよし））	のち日本大学
1900 年	**女子英学塾**	**（津田梅子）**	のち**津田塾大学**
	東京女医学校	（吉岡弥生（やよい））	のち東京女子医科大学
1901 年	日本女子大学校	（成瀬仁蔵（なるせじんぞう）ら）	のち日本女子大学

②国家主義教育の強化（学校教育制度の確立）

A　**学校令**　　　　　**（1886年，文部大臣＝森有礼（ありのり））**

あ　**ドイツ流国家主義的教育制度**

い　帝国大学令・中学校令・小学校令（1890年に改正）・師範学校令の総称

う　**義務教育**期間を尋常（じんじょう）小学校やそれに準じる簡易科の**４年間**とする

え　教科書は**検定制**とする。

B　**教育勅語（ちょくご）〔教育に関する勅語〕（1890年，元田永孚（もとだながざね）・井上毅（こわし）が起草（きそう））**

「**忠君愛国**（ちゅうくん）」を強調した国家主義的教育理念，儒教的道徳思想。

☆翌1891年，第一高等中学校で**内村鑑三不敬（ふけい）事件**が起こる。

C　高等学校令（1894年），実業学校令・高等女学校令・私立学校令（1899年）

D　**小学校令再改正　（1900年）**

市町村に小学校設置義務を課し，４年間の**義務教育を無償化**。

☆1892年の就学率は男子70％，女子36％だったが，無償化により女子が大きく伸び，1902年に男女合わせての就学率は90％を超えた。

E　教科書疑獄（ぎごく）事件　（1902年）

小学校教科書の採用をめぐる贈収賄（ぞうしゅうわい）事件。

F　**国定教科書　　　（1903年）**

小学校の教科書が，自由採択制⇒開申（かいしん）制⇒認可制⇒検定制を経て，**国定制**となる。

G　専門学校令　　　（1903年）

中学校・高等女学校卒業を入学資格とする修業年限３年以上の高等教育機関。

H　**小学校令再々改正（1907年）**

義務教育期間を６年に延長，就学率は1911年に98％を超えた。

I　**南北朝正閏（せいじゅん）問題　（1911年）**

“南北朝”を並立と記述した，文部省の官僚**喜田貞吉（きたさだきち）**が免官となる。

☆以後“南北朝”は“吉野朝”と記述され，北朝の天皇は削除された。

４　明治時代の学問

①明治期の来日外国人（お雇い外国人〔外国人教師〕など）

A　法学

あ　**ボアソナード（仏）**　**刑法・民法など諸法典の編纂**
☆梅謙次郎とともに法政大学の学祖。

い　**ロエスレル　（独）**　**憲法起草の助言**

う　**モッセ　（独）**　**地方制度の助言**

B　**宗教（プロテスタント）**

あ　**ヘボン　（米）**　伝道・語学・医療
☆初の和英辞書『和英語林(ごりん)集成』を出版。ヘボン式ローマ字を考案し，明治学院を創設。

い　**フルベッキ　（米）**　伝道・語学・政府顧問

う　ブラウン　（米）　伝道・語学
☆植村正久(まさひさ)らを導く（＝横浜バンド）。

え　**ジェーンズ　（米）**　伝道・語学
☆**熊本洋学校**で徳富蘇峰・海老名弾正らを教える（＝熊本バンド）。

C　教育

あ　**クラーク　（米）**　**札幌農学校**
☆教頭退職後に内村鑑三・新渡戸稲造が入学（＝札幌バンド）。

い　マレー　（米）　女子教育・政府顧問

D　哲学

あ　ケーベル　（露）　ドイツ哲学など西洋的教養の紹介

い　**フェノロサ　（米）**　**哲学，古美術**
☆弟子の岡倉天心〔覚三(かくぞう)〕とともに日本美術を再評価。

E　文学

ハーン　（英）　**小説・語学**
☆日本名は**小泉八雲(やくも)**，『怪談』などを著す。

F　理科

あ　グリフィス　（米）　化学

い　**ナウマン**　**（独）**　**地質学**

☆フォッサマグナの指摘。

う　**ミルン**　**（英）**　**地震学**

☆工部大学校で講義。日本地震学会の創設に尽力。

え　**モース**　**（米）**　**動物学・考古学**

☆ダーウィン（英）の進化論を紹介，**大森貝塚の発見**。

G　**医学**

あ　ホフマン　（独）　医学

☆初めて病理解剖を行う。

い　**ベルツ**　**（独）**　**医学**

☆『**ベルツの日記**』を著す。

H　産業

あ　**ケプロン**　**（米）**　**北海道開拓**

い　ブリューナ　（仏）　富岡製糸場で工女を指導

う　ダイアー　（英）　工部大学校でエンジニア育成の教育を実践

I　**美術**

あ　**ラグーザ**　**（伊）**　**彫刻**（ちょうこく）

☆**工部美術学校**で**彫刻**を教授。

い　**フォンタネージ**　**（伊）**　**洋画**

☆**工部美術学校**で**洋画**を教授。

う　**ワーグマン**　**（英）**　**洋画**

☆『絵入（えいり）ロンドン＝ニューズ』特派員として来日。漫画・風俗画を描き，高橋由一（ゆいち）らに洋画技法も教えた。

え　**キヨソネ**　**（伊）**　**銅版画**

☆大蔵省で紙幣などの原版を製作。

お　**ビゴー**　**（仏）**　**風刺画**

☆漫画雑誌『トバエ』に風刺画を掲載。

J　**建築**

コンドル　（英）　**建築**

☆工部大学校で辰野金吾(たつのきんご)･片山東熊(かたやまとうくま)らを育てる。

鹿鳴館(ろくめいかん)・ニコライ堂・旧岩崎邸などを設計。

---

②明治期の自然科学

A　**医学**

あ　**北里柴三郎(きたさとしばさぶろう)**⇒ドイツに留学，コッホに学ぶ

☆細菌学の研究（破傷風血清療法(はしょうふうけっせい)，ペスト菌発見），**伝染病研究所**の初代所長，のち**北里研究所**を設立。

い　**志賀潔(しがきよし)**　⇒伝染病研究所で学び，ドイツに留学。

☆**赤痢菌(せきりきん)**の発見。

B　薬学

あ　**高峰譲吉(たかみねじょうきち)**

☆**アドレナリン**（強心薬）の抽出，**タカジアスターゼ**（消化薬）の創製。

い　**鈴木梅太郎**

☆米ぬかから**オリザニン**〔ビタミンB_1〕を抽出。

う　**秦佐八郎(はたさはちろう)**　⇒伝染病研究所で学び，ドイツに留学

☆**サルバルサン**（梅毒(ばいどく)などの特効薬）の創製。

C　地震学

大森房吉(ふさきち)　⇒ミルン（英）に学ぶ

☆**大森式地震計**の発明。

D　天文学

木村栄(ひさし)

☆**緯度変化のＺ項(ゼットこう)**を発見。

E　物理学

あ　**長岡半太郎**

☆**原子構造の研究。**

い　**田中舘愛橘(たなかだてあいきつ)**

☆地磁気の測定。ローマ字・メートル法の普及(ふきゅう)にも寄与。

F　応用化学

下瀬雅允（しもせまさちか）

☆強力な下瀬火薬の発明。

G　生物学

牧野富太郎（とみたろう）

☆独学で植物分類学を研究。

---

③明治期の人文・社会科学

A　哲学

西周（にしあまね）・井上哲次郎ら

☆井上は『教育と宗教の衝突』を著し，内村鑑三不敬事件（1891年）でキリスト教を批判。

B　日本文学

芳賀矢一（はがやいち）・藤岡作太郎ら

C　**日本史学**

東京大学に**史料編纂掛（がかり）**が設置され，『**大日本史料**』や『大日本古文書（こもんじょ）』を編纂。

あ　**田口卯吉（たぐちうきち）**⇒『東京経済雑誌』を創刊するなど経済学者としても活躍

☆ギゾー（仏）やバックル（英）らの文明史観の影響を受け，『**日本開化小史**』を著す。

い　**久米邦武（くにたけ）**⇒岩倉使節団に同行し『（特命全権大使）米欧回覧実記』を編集

☆論文『**神道（しんとう）は祭天（さいてん）の古俗（こぞく）**』を発表，帝国大学を追われる（1891年～92年）。

D　東洋史学

那珂通世（なかみちよ）ら

E　法学

梅謙次郎（うめけんじろう）・穂積八束（ほづみやつか）・穂積陳重（のぶしげ）ら

☆民法典論争後は，ドイツ法学が支配的となる。

F　経済学

イギリス流からドイツ流へ

☆当初，自由放任の経済政策や自由貿易を主張するイギリス経済学が導入され，のちにドイツの保護貿易論や社会政策の学説が主流となった。

５　明治時代の文学・ジャーナリズム

①戯作(げさく)文学（文明開化期，江戸文学の延長）

◇　**仮名垣魯文(かながきろぶん)**　　**『安愚楽鍋(あぐらなべ)』**『西洋道中膝栗毛(ひざくりげ)』

---

②政治小説（明治 10 年代，自由民権運動宣伝のための小説）

A　**矢野龍溪(やのりゅうけい)〔文雄(ふみお)〕**　　**『経国美談(けいこくびだん)』**

B　**東海散士(さんし)**　　**『佳人之奇遇(かじんのきぐう)』**

C　**末広鉄腸(すえひろてっちょう)**　　**『雪中梅(せっちゅうばい)』**

---

③写実主義（明治 20 年前後，西欧リアリズムを移入）

A　**坪内逍遙(つぼうちしょうよう)**　　評論**『小説神髄(しんずい)』**，小説『当世書生気質(とうせいしょせいかたぎ)』，戯曲(ぎきょく)「桐一葉(きりひとは)」

☆雑誌『早稲田文学』を創刊。

B　**二葉亭四迷(ふたばていしめい)**　　『浮雲』（未完），翻訳**『あひびき』**（ツルゲーネフ）

☆**言文一致(げんぶんいっち)運動**「だ」調。

C　**尾崎紅葉(おざきこうよう)**　　**『金色夜叉(こんじきやしゃ)』**（読売新聞に連載，未完）『多情多恨(たじょうたこん)』

☆**言文一致運動**「である」調。**硯友社(けんゆうしゃ)**を結成し，**初の文学雑誌『我楽多文庫(がらくたぶんこ)』**を創刊。

D　**山田美妙(やまだびみょう)**　　**『夏木立(なつこだち)』**『胡蝶(こちょう)』

☆言文一致運動「です」調。尾崎紅葉と行動を共にする。

---

④理想主義（明治 20 年代，東洋の伝統的理想を掲げる）

◇　**幸田露伴(こうだろはん)**　　**『五重塔』**

☆文語体で執筆。

---

⑤ロマン主義（日清戦争前後，感情・個性の躍動を重視）

A　**森鷗外（おうがい）**　『**舞姫**』，翻訳『**即興詩人**（そっきょう）』（アンデルセン）
☆ドイツに留学した陸軍医。

B　**北村透谷（とうこく）**　評論『内部生命論』
☆**雑誌『文学界』**を創刊したキリスト教徒。

C　**樋口一葉（ひぐちいちよう）**　『**にごりえ**』『**たけくらべ**』
☆東京下町（したまち）の女性たちの悲哀を描く**女流作家**。

D　**泉鏡花（いずみきょうか）**　『**高野聖**（こうやひじり）』
☆尾崎紅葉の弟子。

---

⑥社会小説（日露戦争前後）

A　**徳冨蘆花（とくとみろか）**　『**不如帰**（ほととぎす）』『思出（おもいで）の記』，随筆『自然と人生』
☆キリスト教徒でもある徳富蘇峰（そほう）の弟。1911 年，大逆事件の判決後，第一高等学校で行った『**謀叛論**（むほんろん）』講演でも有名。

B　木下尚江（なおえ）　『火の柱』
☆キリスト教徒でもある社会主義者。

---

⑦自然主義（日露戦争前後，フランス・ロシア文学の影響を受け，社会の暗い現実をありのまま写し出す）

A　**田山花袋（たやまかたい）**　『**蒲団**（ふとん）』『田舎（いなか）教師』

B　**島崎藤村（とうそん）**　『**破戒**（はかい）』『**夜明け前**』
☆当初はロマン主義的作風。

C　**国木田独歩（くにきだどっぽ）**　『**武蔵野**』『**牛肉と馬鈴薯**（ばれいしょ）』
☆当初はロマン主義的作風。

D　**徳田秋声（しゅうせい）**　『**黴**（かび）』『**あらくれ**』

E　**正宗白鳥（まさむねはくちょう）**　『**何処へ**（どこ）』

F　**長塚節（たかし）**　『**土**』
☆正岡子規の門人（もんじん），アララギ派の歌人でもある。

---

⑧二大文豪（明治時代末期〜）

時流にとらわれない超然（ちょうぜん）とした立場をとり，近代的自我の確立をめざす。

A　**夏目漱石（なつめそうせき）**　『**吾輩（わがはい）は猫である**』『**坊（ぼっ）ちゃん**』『草枕』『三四郎』『それから』『門』『**こころ**』『明暗』（未完）
☆自己本位にもとづいて生きる個人主義を主張。“則天去私（そくてんきょし）”の境地をめざす。

B　**森鷗外**　『**青年**』『**阿部一族**』『**山椒大夫（さんしょうだゆう）**』『渋江抽斎（しぶえちゅうさい）』
☆反自然主義の雑誌『スバル』で指導的役割を果たし，のちに歴史小説に移行。
☆独自の個人主義である“諦念（ていねん）〔レジグナチオン〕”を説いた。

---

⑨近代詩の確立

A　外山正一（とやままさかず）ら　『新体詩抄』
B　森鷗外ら　訳詩集『於母影（おもかげ）』
C　**島崎藤村（とうそん）**　『**若菜集**』
☆ロマン主義の詩集。
D　土井晩翠（どいばんすい／つちい）　『天地有情（うじょう）』
E　**上田敏（びん）**　訳詩集『**海潮音（かいちょうおん）**』
F　**北原白秋（きたはらはくしゅう）**　『邪宗門（じゃしゅうもん）』
☆ロマン主義の詩集。

---

⑩近代短歌の確立

A　**与謝野晶子**　**雑誌『明星』，歌集『みだれ髪』**

☆ロマン主義。**与謝野鉄幹**の**新詩社**に入社し結婚。

B　**石川啄木**　**歌集『一握の砂』**『悲しき玩具』，詩集『呼子と口笛』，**評論『時代閉塞の現状』**

☆ロマン主義のち社会主義者。

C　北原白秋　歌集『桐の花』

☆ロマン主義。

D　**正岡子規**　**歌論『歌よみに与ふる書』**

☆根岸短歌会を主催し短歌革新運動を推進。万葉調の復活と古今調の否定，写生描写を主張。

☆闘病記『墨汁一滴』**『病牀六尺』**も有名。

E　**伊藤左千夫**　**短歌雑誌『アララギ』**を創刊

☆正岡子規の門人として島木赤彦・斎藤茂吉らを育てる。小説『野菊の墓』も有名。

---

⑪近代俳句の確立

◇　**正岡子規**　門人の**高浜虚子**を中心に**俳句雑誌『ホトトギス』**に協力

☆写生にもとづく俳句革新運動を推進。

---

⑫新聞・雑誌の登場

1851年　**本木昌造**が**鉛製活字**の量産に成功⇒69年に長崎で活版所設立

1862年　『官板バタビヤ新聞』⇒幕府の蕃書調所による木活字

1870年　『横浜毎日新聞』⇒初の日刊新聞

1872年　『日新真事誌』

『**東京日日新聞**』

『郵便報知新聞』

1874年　『朝野新聞』

『**読売新聞**』⇒**小新聞**（大新聞〔政論新聞〕に対する娯楽新聞）の元祖

『明六雑誌』

1875年　讒謗律・新聞紙条例および出版条例改正

1877年　雑誌『団々珍聞』

1879年　『朝日新聞』

『横浜毎日新聞』を『東京横浜毎日新聞』と改称

1880年　『六合雑誌』⇒東京キリスト教青年会〔YMCA〕の機関紙

1881年　『東洋自由新聞』

1882年　新聞『時事新報』

『自由新聞』

1883年　『**官報**』⇒国の公示事項を収載した政府機関紙

1885年　『女学雑誌』⇒巌本善治が編集した初の本格的女性雑誌

『少年世界』

1887年　雑誌『国民之友』

雑誌『トバエ』

1888年　『東雲新聞』⇒中江兆民ら

雑誌『日本人』

『**東京朝日新聞**』

『**大阪毎日新聞**』

1889年　新聞『日本』

雑誌『**風俗画報**』

『朝日新聞』を『**大阪朝日新聞**』と改称

1890年　『国民新聞』

1892年　新聞『万朝報』

1893年　雑誌『文学界』

1895年　総合雑誌『太陽』

雑誌『東洋経済新報』

1897年　俳句雑誌『ホトトギス』

雑誌『労働世界』

1899年　総合雑誌『**中央公論**』⇒もと浄土真宗系の『反省会雑誌』

1900年　雑誌『明星（みょうじょう）』

1903年　週刊『平民新聞』

1907年　雑誌『世界婦人』⇒景山〔福田〕英子ら

1908年　短歌雑誌『アララギ』

1909年　雑誌『スバル』

新聞紙法の制定

1910年　雑誌『白樺』

1911年　女性雑誌『青鞜（せいとう）』

６　明治時代の芸術

①美術・音楽学校，美術団体

A　**工部美術学校**（1876年～83年⇒官立学校）

外国人教師として**ラグーザ**，**フォンタネージ**らイタリア人が招かれ，彫塑（ちょうそ）・洋画を教授。

☆のち伝統美術を育成する方針となり閉鎖。

B　**東京美術学校（1887年⇒官立学校）**

初代校長となった**岡倉天心**〔覚三（かくぞう）〕と師の**フェノロサ**が設立に尽力。日本画・木彫（もくちょう）に重点を置きつつ，1896年以降は洋画・彫塑なども指導。

☆岡倉天心は『東洋の理想』『日本の覚醒（かくせい）』『**茶の本**』などを英文で著す。

C　**東京音楽学校（1887年⇒官立学校）**

文部省の音楽取調掛（おんがくとりしらべがかり）であった**伊沢修二**（いさわしゅうじ）が初代校長となり，**滝廉太郎**（たきれんたろう）らを輩出。

☆伊沢修二は，西洋の歌謡（かよう）を模倣した**唱歌**（しょうか）教育を開始。

☆滝廉太郎はのちドイツに留学。『荒城（こうじょう）の月』『箱根八里（はちり）』『花』などを作曲。

D　**明治美術会**　（1889年）⇒イタリア系“脂派（やには）”

フォンタネージに学んだ**浅井忠**（あさいちゅう）らが結成した，**わが国初の西洋美術団体**。

☆のち解散し，太平洋画会となる（1902年，満谷国四郎（みつたにくにしろう）ら）。

E　**白馬会**（はくばかい）　（1896年）⇒フランス系“外光派（がいこうは）〔紫派（むらさきは）〕”

黒田清輝（くろだせいき）・久米桂一郎（くめけいいちろう）らが明治美術会から脱会して結成した美術団体。画壇の主流を形成した。

F　**日本美術院**　（1898年）

東京美術学校校長を退任して**岡倉天心**が設立した，日本画中心の美術団体。のち経営難により活動停止となる。

☆岡倉天心の死後，弟子の横山大観らが再興。**日本美術院展覧会〔院展〕**を開催。

---

②美術展覧会

文部省美術展覧会〔文展〕（1907年）

☆第一次西園寺公望内閣の文部大臣**牧野伸顕**（大久保利通の子）が創始。文部省や東京美術学校などの関係者の意見を入れて，日本画・洋画・彫刻の３部門からなる総合展覧会を開設。日本の伝統芸術と西洋美術との共栄をはかり，以後も回を重ねた。

---

③代表的日本画家

A	**狩野芳崖**	『**悲母観音**』
		☆東京美術学校設立に協力するが，開校直前に死去。
B	**橋本雅邦**	『**龍虎図**』
		☆岡倉天心とともに東京美術学校・日本美術院を設立。
C	**横山大観**	『**無我**』『**生々流転**』
D	**菱田春草**	『**黒き猫**』『落葉』
E	**下村観山**	『**大原御幸**』
F	**竹内栖鳳**	『斑猫』『アレタ立に』
		☆京都画壇を牽引。

---

④代表的西洋画家

A	**高橋由一**	『**鮭**』
		☆横浜でワーグマン（英）に学ぶ。
B	**浅井忠**	『**収穫**』
		☆工部美術学校でフォンタネージ（伊）に学ぶ。
C	**黒田清輝**	『**湖畔**』『**読書**』
D	**和田英作**	『**渡頭の夕暮**』
E	**赤松麟作**	『**夜汽車**』
F	**藤島武二**	『**天平の面影**』
G	**青木繁**	『**海の幸**』
H	**和田三造**	『**南風**』

---

⑤代表的彫刻家

A　**高村光雲**（こううん）　『**老猿**（ろうえん）』『西郷隆盛像』

B　**竹内久一**（きゅういち）　『**伎芸天像**（ぎげいてん）』

C　**荻原守衛**（おぎわらもりえ）　『**女**』『坑夫（こうふ）』

☆アメリカやフランスで学び，ロダンの影響が強い。

D　**新海竹太郎**（しんかいたけたろう）　『**ゆあみ**』

E　**朝倉文夫**（あさくらふみお）　『**墓守**（はかもり）』

---

⑥代表的建築家

A　**コンドル**　『**鹿鳴館**（ろくめいかん）』『**ニコライ堂**』『旧岩崎邸』

☆工部大学校で辰野金吾・片山東熊を指導した**イギリス人。**

B　**辰野金吾**（たつのきんご）　『**日本銀行本店**』『**東京駅**』

C　**片山東熊**（かたやまとうくま）　『**旧東宮御所**（とうぐうごしょ）〔**現在の赤坂離宮迎賓館**（りきゅうげいひんかん）〕』『京都帝室博物館』『奈良帝室博物館』

７　明治時代の演劇

①歌舞伎

政府の欧化主義に対応し，演劇改良運動が起こる。

Ａ　脚本家

幕末から続く**河竹黙阿弥**(かわたけもくあみ)の活躍⇒散切物(ざんぎりもの)・活歴物(かつれきもの)

☆のち福地桜痴(おうち)〔源一郎〕が**歌舞伎座**を設立。

Ｂ　俳優

「団・菊・左時代」⇒明治中期の歌舞伎黄金時代

☆**９代市川団十郎・５代尾上菊五郎**(おのえきくごろう)**・初代市川左団次**(さだんじ)。歌舞伎の社会的地位が著しく向上した。

---

②新派劇

川上音二郎(かわかみおとじろう)らが時事的な劇に民権思想を盛り込んだ壮士(そうし)芝居や**オッペケペー節**(ぶし)を演じる。

☆日清戦争前後，通俗小説の劇化を加え，大衆的な現代劇へと変化。

☆川上音二郎の妻で女優となった川上貞奴(さだやっこ)は，欧米の興行で「マダム貞奴」として名声を得た。

---

③新劇（明治後期〜）

西洋近代劇を翻訳(ほんやく)・上演。1911年には日本初の純洋風劇場として**帝国劇場**も設立された。

Ａ　**文芸協会**（1906年）

坪内逍遙(しょうよう)**・島村抱月**(ほうげつ)ら

☆女優の**松井須磨子**がシェークスピア『ハムレット』のオフェリア，イプセン『人形の家』のノラなどを好演。

Ｂ　**自由劇場**（1909年）

小山内薫(かおる)・２代市川左団次ら。

８　明治時代の宗教界

①神社神道（祭祀を担う超宗教）

A　国家が手厚く保護

☆天皇の神格化・絶対化に利用（＝**国家神道**）。

B　三重県の**伊勢神宮（内宮・外宮）**を頂点とする国家的神社制度

あ　全国の神社を**官社・諸社**に大別

☆さらに官社を官幣社・国幣社に大別。

☆東京府の**靖国神社**（もと招魂社）は別格官幣社とされる。

い　皇室行事を中心に**祝祭日**を設定

☆**紀元節**（２月11日＝神武天皇即位の日），**天長節**（11月３日＝明治天皇の誕生日）など。

C　**神道国教化の挫折**

1868年　**五榜の掲示**による切支丹邪宗門の禁止

☆**浦上教徒弾圧事件〔浦上崩れ〕**（1868年〜73年，**長崎県**）政体書による**神祇官**の再興

神仏分離令〔神仏判然令〕

☆従来の神仏習合を否定，**廃仏毀釈**の嵐が吹き荒れる。

1869年　版籍奉還後に神祇官が太政官と並立・上位とされる

宣教使の設置

1870年　**大教宣布の詔**

☆神道国教化をめざし宣教使に布教を命じるが，仏教側の抵抗により失敗に終わる。

1871年　廃藩置県後に神祇官を**神祇省**に格下げ

1872年　神祇省を**教部省**と改称

1873年　**キリスト教信仰を黙認**

☆以後，キリスト教会は布教のかたわら教育・福祉活動や廃娼運動などに成果を上げていく。

1877年　教部省，内務省に併合される

☆国民の教化をあきらめ，祭祀と宗教を分離し**国家神道**を確立。

1889年　**大日本帝国憲法発布**

☆法律の範囲内で，臣民の信教の自由が認められる。

②教派神道（政府公認の神道系新宗教13派）

江戸時代後期以降に創始された，**黒住宗忠**の**黒住教（岡山県）**，**中山みきの天理教（奈良県）**，**川手文治郎**の**金光教（岡山県）**などを順次公認。

---

③その他の神道系新宗教

開祖の出口なお，その娘婿出口王仁三郎の大本教（京都府）など。

---

④仏教の復興

浄土真宗の**島地黙雷**や井上円了，清沢満之らの活躍で，廃仏毀釈による打撃から復興。

９　明治時代の生活文化

東京など都市部を中心に生活文化の西洋化「**文明開化**」が起こり，旧暦〔太陰太陽暦〕を廃し**太陽暦**を採用（明治５年12月３日を明治６年１月１日に）。１日24時間・週７日・日曜休日制を採用，五節句にかわり祝祭日が制定された。また，断髪令・廃刀令も出され，封建的な習俗も廃止となった。

☆西洋化が進む反面，伝統文化軽視の風潮が広まり，民族的文化遺産の破壊や文化財の安売りが行われた。

①衣

男性はざんぎり頭に帽子・洋服・靴の着用開始，こうもり傘の使用など。

☆女性は和服が主体，日本髪にかわり束髪が考案される。

---

②食

都市部を中心に洋風化。**牛鍋**・ビール・コーヒー・ミルクなど。

---

③住

公共建築物には西洋建築を採用したが，民家はほとんどが和風であった。

☆文明開化期には銀座に煉瓦街も登場。

---

④施設

A　照明

ガス灯から電灯へ

☆家庭では（石油）ランプを使用。

B　交通手段

人力車・乗合馬車・自転車⇒**蒸気機関車**・鉄道馬車⇒路面〔市街〕電車（1895年，京都）の登場。

☆人力車は和泉要助らが発明。

C　その他

活動写真の登場（19世紀末）

☆当初は無声映画〔サイレント〕。

〈***Note***〉

第22講　確認問題

1　明六社の同人で，『西国立志編』『自由之理』などの著者とは？

①森有礼　②加藤弘之　③福沢諭吉　④中村正直

2　国粋主義を唱える雑誌『日本人』を発行した政教社と関係のない人物を一人選べ。

①徳富蘇峰　②三宅雪嶺　③志賀重昂　④杉浦重剛

3　1900年に女子英学塾を創設した人物は？

①新島八重　②津田梅子　③吉岡弥生　④景山〔福田〕英子

4　熊本洋学校で徳富蘇峰や海老名弾正を教えたアメリカ人とは？

①ヘボン　②フルベッキ　③ジェーンズ　④モース

5　独学で植物分類学を研究した植物学者とは？

①北里柴三郎　②鈴木梅太郎　③長岡半太郎　④牧野富太郎

6　岩倉使節団に随行して『(特命全権大使)米欧回覧実記』を編集，帰国後に論文『神道は祭天の古俗』を発表し帝国大学を追われた人物とは？

①中江兆民　②新島襄　③久米邦武　④山口尚芳

7　読売新聞に断続的に連載され未完に終わった，尾崎紅葉の超人気小説とは？

①『浮雲』　②『金色夜叉』　③『夏木立』　④『五重塔』

8　『不如帰』などの社会小説を著した作家とは？

①泉鏡花　②徳冨蘆花　③木下尚江　④田山花袋

9　1870 年創刊の，わが国初の日刊新聞とは？

①『官板バタビヤ新聞』　②『横浜毎日新聞』
③『東京日日新聞』　④『読売新聞』

10　1887 年，東京音楽学校の創設に尽力した初代校長は？

①伊沢修二　②滝廉太郎　③北原白秋　④山田耕筰

11　『斑猫』『アレタ立に』を描き，京都画壇を牽引した日本画家とは？

①狩野芳崖　②橋本雅邦　③横山大観　④竹内栖鳳

12　廃仏毀釈による打撃から仏教を復興させた人物たちとして不適切なものを一つ選べ。

①島地黙雷　②井上円了　③清沢満之　④出口なお

解答

1	④	2	①	3	②	4	③	5	④
6	③	7	②	8	②	9	②	10	①
11	④	12	④						

第23講　大正時代Ⅰ

1　桂園時代―明治末期の政局―

①第一次桂太郎内閣　（1901年～06年）

山県閥の藩閥官僚内閣。立憲政友会と妥協して日英同盟協約の締結(1902年)・日露戦争(1904年～05年)など重要な政局を運営したが，日比谷焼打ち事件(1905年)の責任を取り，翌年総辞職。

☆この間，野党の地位にとどまっていた立憲政友会は，鉄道や港湾の拡充を掲げることで，地方の有力者の支持を得て勢力を伸ばした。

---

②第一次西園寺公望内閣(1906年～08年)

伊藤閥の立憲政友会勢力が中心の内閣。桂内閣の日露戦後経営策・軍拡策を継承。

☆内・外国債の増加および輸入超過のため，日露戦争中の非常特別税は戦後も継続。

↓↓↓

1907年の**元帥府会議**で，ロシア・アメリカ・フランス・ドイツを順に仮想敵国とする「**帝国国防方針**」を決定。陸軍は17個師団から25個師団(戦時50個師団)への増設，海軍は八・八艦隊(戦艦８隻・装甲巡洋艦８隻)を長期目標とした。

↓↓↓

同年の**日露戦後恐慌**〔**明治40年恐慌**〕により政策が難航，さらに社会主義運動融和政策を藩閥官僚勢力・軍部に非難され，翌年の総選挙で圧勝したにもかかわらず，桂太郎に政権を譲った。

---

③第二次桂太郎内閣　　（1908年～11年）

国内的には節約・勤勉による国力の増強（1908年の**戊申詔書**，1909年からの**地方改良運動**）と社会主義・無政府主義の弾圧（1910年の**大逆事件**）を行い，対外的には**韓国併合**（1910年）により朝鮮半島の植民地化を断行した。

☆その一方で，**工場法の制定**（1911年）など若干の社会政策的配慮も行った。

↓↓↓

立憲政友会に対抗するため他の政党の合同に期待したが，それが政友会の反発を買い総辞職に追い込まれた。

---

④第二次西園寺公望内閣（1911年～12年）

日露戦争後の長期不況打開のため軍事費削減・行財政整理を計画するが，**２個師団増設問題で陸軍と衝突**して，総辞職に追い込まれた。

☆立憲政友会（それを支える寄生地主）は積極的な財政政策，商工業者は減税，海軍は建艦計画の実現，陸軍は師団増設をそれぞれ求めたため，内閣は常に困難な立場に立たされていた。

---

⑤第三次桂太郎内閣　　（1912年～13年）

内大臣・侍従長を兼任する桂太郎が，宮中を出て藩閥・官僚・軍部を背景に組閣。これを閥族の横暴として**第一次護憲運動**が勃発，極めて短期で総辞職に追い込まれた（**＝大正政変**）。

２　大正時代初期の政局

①第一次護憲運動（1912年～13年）

A　背景

あ　財政の悪化

日露戦争後の長期不況により，緊縮財政を強(し)いられる。

☆第二次西園寺公望内閣の行財政整理策。

い　世論(せろん)の動向⇒政治的関心の高まり

美濃部達吉(みのべたつきち)が『憲法講話』の中で，天皇機関説や政党内閣論を唱える。

う　軍備拡大要求⇒1911年の辛亥(しんがい)革命と翌年の清朝滅亡による刺激

陸軍＝朝鮮に駐屯(ちゅうとん)する２個師団の増設要求

海軍＝八・八艦隊の建艦要求

え　**明治天皇の死**（1912年）

大正天皇が即位し**大正**と改元。政党勢力や民衆の間に，新時代到来の期待を抱かせる。

B　発端(ほったん)

陸軍の２個師団増設要求を，第二次西園寺公望内閣が拒否。

☆民間・ジャーナリズムなども増師には反対。

↓↓↓

陸軍大臣上原勇作(うえはらゆうさく)が，大正天皇に“**帷幄上奏(いあくじょうそう)**”と称し単独で辞表を提出。

☆元老山県有朋(やまがたありとも)の影響，いわゆる“陸軍のストライキ”。

↓↓↓

陸軍〔参謀本部〕が後任の陸軍大臣を推薦せず，軍部大臣現役武官制により内閣は総辞職に追い込まれる。

↓↓↓

政治活動は禁止（宮中・府中の別）であるはずの内大臣兼侍従長(じじゅうちょう)**桂太郎**が，元老の推挙と大正天皇の詔勅(しょうちょく)により反対勢力を封じ，**第三次桂太郎内閣**を組閣。

C　展開

尾崎行雄(立憲政友会)・**犬養毅(立憲国民党)**らを中心に，ジャーナリスト・弁護士や商工業者・都市民衆も加わり，「**閥族打破・憲政擁護**」を掲げた運動が全国に広がる。

☆交詢社グループや新聞各社が世論を盛り上げ，第三次桂太郎内閣に対して議会が退陣を要求。

↓↓↓

桂太郎首相は非政友会系の新党(のちの**立憲同志会**)を自ら組織，従来の元老政治からの脱却を掲げ，議会解散断行を試み内閣を維持しようとするが挫折。

☆民衆が議会を包囲し，政府系新聞社(徳富蘇峰の『国民新聞』など)や交番を襲撃。衆議院議長大岡育造が鋭く退陣を迫る。

D　結果

第三次桂太郎内閣(陸軍・長州閥)は在職53日で退陣。

☆いわゆる“**大正政変**”。

↓↓↓

立憲政友会が与党化，**第一次山本権兵衛内閣(海軍・薩摩閥)**が成立。

②非政党内閣の継続⇒藩閥勢力の抵抗

A　**第一次山本権兵衛内閣（1913年〜14年）**

薩摩閥の海軍大将山本権兵衛が，**立憲政友会を与党に組閣。**

☆政党勢力との妥協内閣，ジーメンス事件で世論の弾劾を受けて総辞職。

1913年　軍部大臣現役武官制改正

☆**予備役・後備役（こうびえき）の大将・中将にまで資格を拡大**（実際の任用例はなし）。

文官任用令再改正

☆高級官僚の自由任用を復活，政党員の官界進出の道を開く。

加藤高明が立憲同志会総裁に就任

1914年　廃税運動〔三税廃止運動〕

☆営業税・織物消費税・通行税を３悪税とし，廃止を要求。

ジーメンス事件

☆**ジーメンス社（ドイツ）**・ヴィッカース社（イギリス）と海軍高官との汚職事件。島田三郎（立憲同志会）らの厳しい追及により，藩閥・軍部・立憲政友会が打撃を受ける。

B　**第二次大隈重信内閣（1914年〜16年）**

陸軍２個師団増設を求める元老や陸軍は，言論界や民衆に人気の高い大隈重信に急遽（きゅうきょ）組閣させ，立憲政友会に打撃を与えようとした。

☆与党は立憲同志会，総裁の加藤高明は外相となる。

☆のち外交方針の相違（そうい）から元老と対立，総辞職に追い込まれる。

1914年　原敬（はらたかし）が立憲政友会総裁に就任

第一次世界大戦開始

☆日本もドイツに宣戦して参戦。

1915年　立憲同志会が総選挙で立憲政友会に圧勝

☆選挙前に少数与党であった立憲同志会は，青年層を巻き込み，大衆的な選挙戦術をとった。

☆２個師団増設の軍備拡大予算案が議会を通過。

二十一カ条の要求

1916年　工場法の施行

第四次日露協約〔日露同盟〕

C　**寺内正毅内閣〔非立憲内閣〕（1916年～18年）**

長州閥の陸軍大将寺内正毅が「挙国一致」を掲げ，閣僚を全員藩閥官僚で占める**超然主義的内閣**を組閣。

☆立憲同志会などの与党各派が合同し憲政会を結成しこれに対抗すると，1917年に衆議員を解散，総選挙を行った結果，立憲政友会が第一党となった。寺内は，立憲政友会の原敬や，弱体化していた立憲国民党の犬養毅らを取り込み，これに閣僚を加え，外交政策の統一をはかるため臨時外交調査委員会を設置した。

☆軍備拡大・増税により国民生活を圧迫，米騒動の責任を取り総辞職。

1916年　**加藤高明を総裁に，憲政会が成立**

☆立憲同志会が母体となり中正会と合同。

1917年　**西原借款**の開始

金輸出禁止

ロシア革命勃発

石井・ランシング協定

1918年　**シベリア出兵が決定**

米騒動

３　第一次世界大戦〔ＷＷⅠ〕

①背景

A　**ドイツ(３Ｂ政策)とイギリス(３Ｃ政策)**の対立

あ　**三国同盟**(1882年)

ドイツ・オーストリア・イタリア

い　**三国協商**(1907年)

イギリス・フランス・ロシア

B　**バルカン半島("ヨーロッパの火薬庫")**問題

あ　汎(はん)ゲルマン主義と汎スラブ主義の対立

☆オーストリアとロシアの対立。

い　第一次・第二次バルカン戦争(1912年～13年)

☆ロシアを後ろ盾(だて)とするセルビアに不満が残る。

②開戦

A　発端

1914年６月　**サライェヴォ事件**

☆**セルビア人青年によるオーストリア帝位継承者夫妻暗殺事件。**

７月　オーストリアがセルビアに宣戦布告，第一次世界大戦が勃発。

B　参戦

あ　**同盟国**

ドイツ・オーストリア・ブルガリア・オスマン帝国の４カ国

☆イタリアは三国同盟を脱退，1915年に連合国側へ。

い　**連合国**

イギリス・フランス・ロシアなど27カ国

☆**日本**(14年)，**イタリア**(15年)，**アメリカ**・中華民国(17年)が参戦。

この大戦では，飛行機・戦車・潜水艦や非人道的(ひじんどうてき)な毒ガスも使用されて戦禍(せんか)を広げるとともに，各国の国民や産業が総動員され，長期間にわたる**総力戦**となった。

☆総力戦とは，戦争目的に向かい国家の有する軍事的・政治的・経済的・人的な諸能力を最大限に組織・動員する形態をいう。一方で，国家は国民の協力を鼓舞するため体制の民主的改編を迫られることもあった。

４　中国大陸への進出

①日本の参戦（1914年）⇒元老井上馨（かおる）曰く「大正新時代の天佑（てんゆう）」

A　理由

あ　**名目**

日英同盟協約を結ぶイギリスの援護。

い　**実情**

中国大陸における権益拡大をはかる。

B　**参戦**

1914年８月，**ドイツに宣戦布告。**

☆第二次大隈重信内閣（加藤高明（たかあき）外相）。

C　経過

あ　**陸軍**

山東半島の**膠州湾（こうしゅうわん）**（中心都市＝**青島（チンタオ）**）を占領。

い　**海軍**

赤道以北のドイツ領南洋諸島の一部（サイパン・パラオなど）を占領。

②二十一カ条の要求（1915年）

A　目的

中国における権益の拡大。

B　内容（５号**21カ条**）

各要求は，外務省・陸海軍で中国問題を扱う部署の意見の集大成といえるものであった。

第１号　**山東省のドイツ権益接収の承認**。

第２号　**旅順・大連・南満洲鉄道**・安奉鉄道の**租借期限を99年延長，南満洲・東部内蒙古の権益の承認**。

第３号　**漢冶萍公司の日中共同経営**。

第４号　中国沿岸の他国への不割譲。

第５号　**中華民国政府への日本人顧問〔政治・財政・軍事〕採用**，警察の日中合同，福建省の他国への不割譲の再確認など，あくまでも希望条項・秘密交渉。

☆第５号は非難がとくに強く，大部分を削除。

C　調印

中国はこれを内外に暴露して不当を訴えたが，第二次大隈重信内閣の加藤高明外相は軍事力を圧力に**袁世凱**政府に対して**最後通牒**を発し，大部分を認めさせた。

D　影響

あ　中華民国の排日運動が激化⇒**５月９日**を**国恥記念日**とする

い　日本が国際非難を浴びる　⇒列強との調整へ

☆第二次大隈内閣の外交の背景には，国家の膨張を「開国進取」の現れととらえる大隈の発想があり，内閣としては北京政府の袁世凱を抑え南方の革命勢力への支持を鮮明にしていった。

☆加藤高明外相の手法には内外からの批判があり，大隈を首相に選んだ元老の山県有朋ですら問題視していた。

---

③列強との調整

A　**第四次日露協約**〔日露同盟〕**(1916年)**⇒第二次大隈重信内閣

中国全土における日露両国の特殊利益擁護を相互に確認。秘密協約によりアメリカに対抗。

B　英国覚書（おぼえがき）　(1917年)⇒寺内正毅内閣

イギリスが日本軍艦の地中海派遣を求めたことを契機に，戦後の講和会議における日本の要求(山東省・南洋諸島のドイツ権益の接収)を承認。

☆続いて仏・露とも同様の覚書を交わす。

C　**石井・ランシング協定　(1917年)**

アメリカの参戦を契機に，特派大使**石井菊次郎**と国務長官**ランシング**との間で締結。

☆日本の中国進出を警戒していたアメリカは，参戦にあたり太平洋方面の安定を確保する必要があった。

☆**中国の領土保全・門戸（もんこ）開放と，日本の特殊権益を認める**公文（こうぶん）が交換された。

D　帝政ロシアの崩壊　(1917年)⇒ソヴィエト政権の誕生

旧ロシア帝国が締結した秘密協定をすべて公表・破棄。

☆第四次日露協約を軸とする日本の布石は，根底から覆（くつがえ）されてしまった。

④西原借款（1917年～18年）

A　目的

袁世凱の後継となった北方軍閥の**段祺瑞**政権を援助することによって，中国での支配権伸長をはかる。

B　経過

寺内正毅首相は，私設秘書である**西原亀三**を派遣。無担保で１億4500万円の借款を与える。

☆中国を第一次世界大戦へ参戦させる（1917年）とともに，日本の軍事的指導下に置こうとした。

C　結果

寺内正毅内閣の総辞職とともに借款は中止されたが，大半は回収されず（1920年，段祺瑞が実権を失う），**列強や中国民衆からは内戦激化の原因を作ったとして激しい非難を浴びた。**

５　シベリアへの進出

①ロシア革命(1917年)

Ａ　三月革命　〔二月革命〕

帝政ロシア〔ロマノフ王朝〕の崩壊，臨時政府とソヴィエト政権との二重政権となる。

☆帝政と大戦継続に反対。

Ｂ　十一月革命〔十月革命〕

レーニン・トロツキーを中心とする労働者・兵士による**社会主義革命**が起こり，ソヴィエト政権が成立。

☆全交戦国に無併合・無償金・民族自決の原則をよびかけ，1918年にドイツ・オーストリアと単独講和(ブレスト=リトフスク条約)を結び，戦線から離脱。

☆1922年，世界初の社会主義国家である**ソヴィエト社会主義共和国連邦**となる。

②シベリア出兵(1918年～22年)

A　目的

ロシア革命への干渉，東部シベリア・北満洲への勢力拡大。

☆東部戦線の崩壊と社会主義国家の誕生を恐れた米・英・仏など連合国は，内戦下のロシアに干渉戦争を仕掛け，日本へも共同出兵を促(うなが)した。

B　出兵

チェコスロヴァキア軍の救出を名目に，アメリカ・イギリス・フランスらと共同出兵。

C　経過

大戦終了後，列国は干渉戦争から手を引くが日本は駐兵を続け，**尼港(にこう)〔ニコライエフスク〕事件(1920年)**が起きるなど，形勢は悪化。

☆この年には**北樺太(きたからふと)も占領**，列国に領土的野心を疑われ非難も高まる。

D　撤兵

戦費10億円・兵力7万2000人をつぎ込み，約3000人の死者と2万人以上の負傷者を出し，**1922年(加藤友三郎内閣)にようやく撤兵を完了。**

☆**しかし，日ソ基本条約締結(1925年)まで北樺太の占領は継続。**

E　影響

列国の日本への警戒心が強まる。

６　大戦景気（1915年～18〔19〕年）

①原因

A　**ヨーロッパにおける生産力低下と需要増大**

☆ヨーロッパへの軍需品・日用品の大量輸出。

B　**アジア市場の独占**

☆アジア向け綿織物・綿糸輸出の伸張。

C　**アメリカの好景気**

☆アメリカ向け生糸輸出の伸張。

---

②展開

第一次世界大戦の勃発は，日露戦争後からの不況と財政危機を一挙に吹き飛ばした。

A　**貿易**

あ　輸出が急増，**輸出超過（1915年～18年）**となる

い　**11億円の債務国**（1914年）から**27億円以上の債権国**へ（1920年）

☆日露戦争後の不況を脱出，しかし列国にならい**金輸出は禁止（1917年）**。

う　**成金**の登場

その他にも，**台湾における砂糖・樟脳取引**により神戸の**鈴木商店**が急成長。

B　海運・造船

あ　世界的な船舶不足のため海運・造船業は空前の好景気となる

☆**日本はイギリス・アメリカに次ぐ世界第３位**の海運国に躍進。

い　内田汽船・山下汽船などの**船成金**が続々と生まれた

C　鉄鋼

あ　大戦勃発による世界的な鉄不足・造船業の躍進により発展

い　官営八幡製鉄所の再拡張

う　**鞍山製鉄所**の設立（**1918年，南満洲鉄道株式会社**）

☆朝鮮や満洲にも資本輸出が行われ，民間会社の設立も進む。

え　鉄成金の登場

D　**化学**

ドイツからの輸入途絶により，薬品・染料・肥料などの国産化が始まり，化学工業が勃興した。

E　**電力⇒水力発電の発達**

猪苗代水力発電所（福島県）～東京間の長距離送電に成功（1915年）

☆電灯の農村部への普及，工業動力の電化（1917年，蒸気力を逆転），電気機械の国産化も進んだ。

F　繊維

輸出が激増，中国での工場経営（＝**在華紡**）も行われた。

☆生糸・絹織物⇒欧米向け　（とくにアメリカ）

綿糸・綿織物⇒アジア向け（とくに中国）

---

③結果

A　工業生産の躍進

あ　**工業生産額が農業生産額を追い越す（1919年）**

☆日本はアジア最大の工業国となる。

い　重化学工業の基礎が確立

☆工業生産額の30％の比重を占めるようになる。

う　**労働者数（とくに男子熟練工）の激増**

☆150万人となり大戦前の1.5倍以上に。

☆しかし，**労働者の実質賃金は低下（物価上昇率に賃金上昇率が追いつかず）。**

B　都市の発展

あ　都市に人口が集中

い　商業・サービス業の発展

☆新中間層（＝サラリーマン）の輩出。

う　四大工業地帯（京浜・阪神・中京・北九州）の形成

C　**資本の独占・集中傾向**

あ　**成金の出現と物価高騰による民衆の生活苦**

い　財閥による産業支配の確立

７　政党内閣の成立と挫折

①米騒動と寺内正毅内閣の崩壊（1918年）

Ａ　**原因**

大戦景気下における異常な米価高（1918年）

あ　産業の急速な発展により，労働者人口〔都市人口〕が増加。

↓↓↓

☆**米の消費量が増大する一方，寄生地主制のもとで農業生産は停滞し供給量は不足。**諸物価が上昇し，都市民衆・貧農の生活は困窮。

い　**シベリア出兵を当て込んだ地主・商人による米の投機的買占め・売り惜しみ。**

Ｂ　発端

1918年，富山県の主婦による米の安売り要求（“越中の女一揆”）。

Ｃ　展開

大都市を中心に自然発生的に全国へ拡大，都市民衆や貧農・被差別民らが米商人や地主・精米会社を襲撃し，米価引下げ・安売りを要求。

☆警官隊と衝突，約70万人を巻き込む大騒擾となった。

Ｄ　政府の対策

あ　**新聞報道の統制**⇒白虹事件〔大阪朝日新聞筆禍事件〕など

☆シベリア出兵や米騒動に関する言論を厳しく取り締まったが，かえって強い批判を招いた。

い　９万人もの警察・**軍隊の出動**

う　**植民地米の緊急移入**＋皇室などから救済資金を捻出

Ｅ　結果

あ　**軍隊の力によりようやく鎮圧**するが，世論の強烈な批判を浴び，**各地の社会運動を刺激した。**

い　**寺内正毅内閣は総辞職**，立憲政友会の原敬内閣が誕生。

☆国民の政治参加拡大を求める民衆運動の力を目の当たりにした元老の山県有朋らも，ついに政党内閣を認めた。

②原敬内閣（1918年〜21年）

A　性格

あ　**初の本格的政党内閣**

☆陸・海・外相以外は立憲政友会員。

い　初の爵位（しゃくい）をもたず衆議院に議席をもつ首相

☆盛岡〔南部〕藩家老の家柄に生まれ，藩閥に属さず華族でもないことから“**平民宰相（さいしょう）**”とよばれ，当初は国民から歓迎された。

B　内政施策⇒大戦景気を背景に“**積極政策**”を掲げる

地方の地主や自作農らの支持を得ようと，教育・交通・軍備の充実や，産業奨励政策を積極的に打ち出した。

☆しかし，普通選挙運動や社会運動・社会主義思想には慎重。

あ　四大政綱（せいこう）

①教育の改善整備（**1918年，大学令**・高等学校令改正など）

②交通通信の整備拡充（鉄道網の地方拡張・鉄道院の鉄道省昇格など）

③国防の充実（八・八艦隊計画を推進）

④産業および通商貿易の振興

↓↓↓

これらの積極政策は，河川（かせん）治水や港湾整備などとともに地域社会の利益を誘導し，立憲政友会の党勢拡大に利用された。

い　**衆議院議員選挙法改正（1919年）**

直接国税３円以上〔全人口の5.5%〕，**小選挙区制**の導入

☆全国的な普通選挙運動〔普選運動〕の高揚（こうよう）に対応。

↓↓↓

憲政会などの野党が男子普通選挙法案を衆議院に提出，しかし政府は時期尚早として衆議院を解散。

↓↓↓

政府は“積極政策”を公約，**小選挙区制の効果もあり，総選挙で立憲政友会が圧勝。**

う　森戸（もりと）事件（1920年，社会主義思想の弾圧）

C　外交施策⇒国際協調体制に参加しつつシベリア出兵を継続

原内閣は，臨時外交調査委員会を舞台に国際協調を軸とした対外政策を主導。日本の満洲権益開発方針についても，アメリカ・イギリス・フランスとの間に妥協点を見出していった。

あ　**パリ講和会議**　**(1919年)**

日本全権として西園寺公望らを派遣，ヴェルサイユ条約を締結。

い　**国際連盟の成立(1920年)**

イギリス・フランス・イタリアとともに日本も常任理事国となる。

D　内閣の試練⇒戦後恐慌により積極政策を展開する財源を失う

あ　**朝鮮で三・一運動**起こる　**(1919年)**

い　**中国で五・四運動**起こる　**(1919年)**

う　尼港〔ニコライエフスク〕事件　(1920年)

え　普通選挙要求大示威（だいじい）〔普選デモ〕　(1920年)

お　**戦後恐慌**　**(1920年)**

か　立憲政友会の関係する疑獄事件の続発(1921年～)

E　結果

原敬首相，政党政治の腐敗に憤激した一青年により**東京駅頭で刺殺される**(1921年)。

---

③高橋是清（これきよ）内閣(1921年～22年)

原敬暗殺後，立憲政友会総裁となった大蔵大臣**高橋是清**が首相を兼任，閣僚すべてを留任。

☆ワシントン会議に参加，戦後恐慌を背景に軍縮と緊縮財政を推進しようとするが，閣内不統一により1922年に総辞職。

☆かわって海軍の加藤友三郎が立憲政友会を事実上の与党として内閣を組織，以後約２年間にわたり３代の非政党内閣が続いた。

８　ヴェルサイユ体制〔ヨーロッパの戦後秩序〕

①第一次世界大戦の終結（1918年）

戦況は初め三国同盟〔同盟国〕側の優勢であったが，イギリスの海上封鎖に苦しんだドイツが**1917年**に無制限潜水艦作戦を始めたのを機に**アメリカが参戦**すると，三国協商〔連合国〕側に有利に展開した。

1914年　日本が連合国側に参戦

1915年　イタリアが連合国側に参戦

1917年　アメリカが連合国側に参戦

☆アメリカの金輸出禁止にならい日本も金輸出を禁止。

中華民国が連合国側に参戦

ロシア革命

☆ニコライ２世の帝政が崩壊。

1918年　ブレスト=リトフスク条約

☆ソヴィエト政権が同盟国側と単独講和，戦線を離脱。

オーストリア・ブルガリア・オスマン帝国降伏

ドイツ降伏により休戦

☆革命が起こり，ヴィルヘルム２世の帝政が崩壊。

---

②パリ講和会議によるヴェルサイユ条約（1919年，原敬内閣）

戦争の惨禍（さんか）は，反軍国主義・反帝国主義の潮流を生む。

↓↓↓

アメリカ大統領ウィルソンの14カ条〔平和原則14カ条〕（1918年）を基礎として，米・英・仏の３国が会議を主導，27カ国が参加。

☆「14カ条」は，秘密外交の廃止・一切の経済的障壁の除去・国際的連合の創設などからなり，賠償問題には触れていなかった。

Ａ　**日本全権**

西園寺公望・牧野伸顕（のぶあき）

Ｂ　**ドイツの処分**⇒仏の主張により過酷に制裁

あ　**領土の削減**

☆アルザス・ロレーヌ地方をフランスに割譲（かつじょう），その他にも全植民地を放棄。

い　**軍備の制限**

☆徴兵制停止，空軍の解散など。

う　**巨額の賠償金賦課**

☆1320億金マルクという天文学的数値。

C　**日本の利得**

中華民国による「二十一カ条の要求」撤回要請は拒否される。しかし，戦勝国として臨んだ講和会議でありながら，山東還付問題で中国やアメリカから批判されたことに，参加した外交官や新聞各紙記者らは衝撃を受けた。

☆また，国際連盟設立にあたり日本の提出した**人種差別撤廃案**は英米の反対により却下され，条約案には入らなかった。

あ　**山東省の旧ドイツ権益を継承**

☆これについては会議中からアメリカなどが反対。

い　**赤道以北の旧ドイツ領南洋諸島の委任統治権を獲得**

☆マリアナ・マーシャル・カロリン・パラオ諸島。

D　**民族自決主義**⇒東欧に限られる

ハンガリー・チェコスロバキア・ポーランド・フィンランド・エストニア・ラトビア・リトアニアの独立。

E　**東アジアにおける排日運動の激化**

あ　**朝鮮**

三・一運動〔万歳(ばんざい)事件〕**(1919年)**

☆日本からの**独立運動**が，京城(けいじょう)（ソウル）のパゴダ公園（タプッコル公園）から朝鮮全土に広がる。運動はおおむね平和的･非暴力的なものだったが，朝鮮総督府は警察・憲兵・軍隊を動員し厳しく弾圧した。

☆以後，日本は朝鮮総督の資格者を現役軍人から文官にまで拡大，憲兵警察も廃止するなど，植民地統治方針について，若干の改善を行った（＝文化政治の開始）。

い　**中国**

五・四運動　　　　　　**(1919年)**

☆日本に対し，「二十一カ条の要求」で得た権益の直接還付を求める学生・商人・労働者の**反日運動**が，北京から広がった。

☆**中華民国はヴェルサイユ条約の調印を拒否。**

③国際連盟の成立（1920年，本部＝スイスのジュネーブ）

A　**提唱者**

アメリカ大統領ウィルソン

B　目的

国際平和の維持，人類文化の向上。

☆従来の勢力均衡方式から集団安全保障方式への転換。

☆行動を律するための国際法の原則を確立し，戦争に訴えることなく各国間の協調を促進しようとしたが，戦勝国に有利な状況を維持する側面も強かった。

C　**常任理事国**

イギリス・フランス・イタリア・日本

☆のちドイツが加入。

D　**問題点**

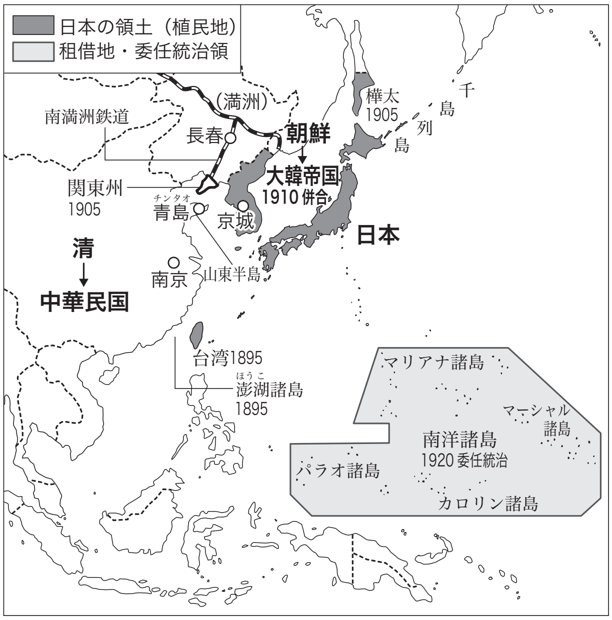
あ　**大国の不参加**

☆**アメリカは**上院の反対により**最後まで加盟せず。**

☆ドイツ・中国・ソ連は遅れて加盟。

い　**全会一致制の採用**

う　**武力制裁規定の欠如**



９　ワシントン体制〔極東・太平洋地域の戦後秩序〕

①ワシントン会議（1921年～22年，高橋是清（これきよ）内閣）

第一次世界大戦後，イギリス・フランス・イタリアなどヨーロッパの戦勝国は，アメリカへの戦債支払いに苦しんだ。アメリカが敗戦国ドイツにさまざまな援助を与えて産業を復興させ，英・仏・伊への賠償金支払いを円滑にし，そのことにより米に戦債が返還されるという，**アメリカを中心とする経済の国際的循環構造**がつくられていった。

☆その一方で，大戦中の**日本の中国・シベリア・太平洋地域への進出**や，社会主義を打ち出すソヴィエト政権の動向，中国における民族運動の活発化など，極東の新情勢にも対応する必要が生まれていた。

A　**提唱者**

アメリカ大統領ハーディング

B　**日本全権**

加藤友三郎（ともさぶろう）（海軍大臣），徳川家達（いえさと）（貴族院議長），幣原喜重郎（しではらきじゅうろう）（駐米大使）

C　目的

あ　海軍の軍縮（とくに建艦競争の緩和）

戦後の反動恐慌に悩む列国の負担軽減をはかる。

い　**極東・太平洋問題の解決**

日本の中国・シベリア・太平洋地域への進出抑制（よくせい）をはかる。

D　日本の立場⇒米・英によるバッシング

後藤新平曰（いわ）く“列強の審判廷に引き出される被告”。**雑誌『東洋経済新報』**の**石橋湛山（たんざん）**は「小日本主義」を主張していた。

☆**ワシントン会議終了後にシベリア撤兵を宣言（1922年，撤兵完了）。**

---

②四カ国条約（1921年，米・英・日・仏）

A　**太平洋諸島の現状維持**

☆太平洋問題に起因する紛争の話合いによる解決を決定。

B　**これにより日英同盟協約は破棄**（1923年）

---

③九カ国条約（1922年，米・英・日・仏・伊・蘭・葡・白・中）

先の４カ国（アメリカ・イギリス・フランス・日本）に，中国および中国に権益を有するイタリア・オランダ・ポルトガル・ベルギーを加えた会議。

A　中国の領土・主権の尊重と各国の経済上の門戸開放・機会均等を約束

☆日本の露骨（ろこつ）な中国大陸進出阻止をはかる。

B　**これにより日米間の石井・ランシング協定は破棄**（1923年）

会議の場を借りて，米英の仲介のもとに日中間に交渉がもたれ，**日本は山東半島の旧ドイツ権益を中国に返還**することとなった（＝山東懸案（けんあん）解決条約）。

---

④ワシントン海軍軍縮条約（1922年，米・英・日・仏・伊）

A　**主力艦保有量の制限**

米・英＝５：日本＝３：仏・伊＝1.67

☆海軍軍令部は「対英米７割論」を強く主張し反対。

B　**今後10年間の主力艦建造を禁止**

☆主力艦が老朽（ろうきゅう）化しても代艦は建造せず。

☆日本海軍力の制限により，米英優位の維持をはかる。

---

⑤ワシントン体制

A　**協調外交**の展開

原敬以降の内閣は，**アメリカを中心とする**国際協調・軍備縮小の**ヴェルサイユ・ワシントン体制**（＝“パクス=アメリカーナ”）を積極的に受け入れる方針をとった。

☆アメリカもウィルソン大統領（民主党）の理想主義的な外交から，ハーディング→クーリッジ→フーヴァー大統領（共和党）の現実主義的な経済外交に方針を転換し，1920年代の日米の経済関係も極めて良好だった。

B　**中国との関係悪化**

米・英・ソ３国との関係改善には成功したが，日中関係の安定には失敗。

あ　**第一次国共合作（1924年）**

辛亥(しんがい)革命後，南北（南＝中国国民党，北＝軍閥）に分かれて抗争が続いていた中国を統一して革命の達成をめざす**中国国民党**の**孫文**が，**中国共産党**との協力体制を確立

い　**五(ご)・三〇(さんじゅう)事件　（1925年）**

上海(シャンハイ)の**在華紡(ざいかぼう)**で発生した中国人労働者のストライキが，労働者・学生らによる反帝国主義の大暴動へと発展。瞬(また)く間に，中国全土に反日運動〔五・三〇運動〕が広まる。

☆中国国民党の北伐(ほくばつ)開始（1926年，**蔣介石(しょうかいせき)**）の契機となる。

C　軍備縮小の実施

1921年には歳出の５割近くだった軍事費が，1926年には３割を切るようになった。

あ　海軍

老朽艦の廃棄や戦艦建造が中止され，八・八艦隊計画は挫折。

い　陸軍⇒軍装備の近代化がはかられる

1922年　山梨半造(やまなしはんぞう)陸相（加藤友三郎内閣）　　の軍縮策

1925年　宇垣一成(うがきかずしげ)陸相（第一次加藤高明内閣）の軍縮策⇒４個師団削減

☆余った現役将校は中学校以上の学校に配属，軍事教練が正課となる。

10　“大正デモクラシー”の風潮

①背景

第一次世界大戦が国民を動員する総力戦として戦われたため，欧州諸国では労働者の権利拡張や国民の政治参加を求める声が高まっており，日本も影響を受け，各種の**社会運動**が勃興（ぼっこう）した。

A　**第一次世界大戦**　（1914年～18年）

☆連合国による民主主義・平和主義の提唱。戦後は**ヴェルサイユ・ワシントン体制**に。

B　**ロシア革命の勃発**　（1917年）

C　**米騒動の全国的拡大**（1918年）

---

②“大正デモクラシー”とは？

あくまでも天皇主権の大日本帝国憲法の枠内で，市民的自由（言論・出版・集会）の拡大と大衆の政治参加（政党政治・普通選挙）を求める，大正時代やその前後の風潮。

☆自由主義者や社会主義者（革新・左派・左翼），国家主義者（保守・右派・右翼）のさまざまな主張がみられた。

---

③労働運動

第一次世界大戦中の産業の急速な発展にともなう労働者の増加と，物価高による生活苦が背景となり，**労働争議**の件数は激増。1910年代に労働運動の組織化が進んだ。

1911年　工場法制定

1912年　友愛会（ゆうあいかい）

☆労働者階級の地位向上と労働組合の育成を目的とする修養団体。**鈴木文治**（ぶんじ）らが中心となり結成，**労資協調主義**（ろうしきょうちょう）をとった。

1916年　工場法施行（しこう）

↓↓↓

1917年　ロシア革命

1918年　米騒動

1919年　大日本労働総同盟友愛会

☆友愛会を改組。本格的な労働組合の全国的組織に発展。翌年，日本労働総同盟友愛会と改称。

↓↓↓

1920年　戦後恐慌

第１回メーデー（５月２日，東京上野）

☆メーデーは1936年に中断後，1946年に再開。

八幡製鉄所争議

1921年　日本労働総同盟

☆日本労働総同盟友愛会を改組。機関紙『労働』を発行し**階級闘争主義**へ。

三菱・川崎造船所争議

☆神戸で発生した戦前最大の労働争議。

↓↓↓

1925年　日本労働組合評議会

☆日本労働総同盟を除名された左派により結成，翌年の共同印刷争議などを闘う。

1926年　労働争議調停法制定

---

④農民運動

寄生地主制の発達のもとで**小作争議**が頻発。

☆農業は鉱工業の発展に比べ著(いちじる)しく遅れていたうえ，高額の小作料や肥料代により経営難に陥(おちい)る農家が大半を占めていた。また，寄生地主による投機(とうき)を目的とした耕地の転売も増加し，小作人の権利が脅(おびや)かされていた。

1921年　米穀法(べいこくほう)

1922年　日本農民組合

☆**賀川豊彦(かがわとよひこ)・杉山元治郎(もとじろう)**らが神戸で結成。小作人の解放をめざす，**わが国初の全国的農民組合組織**。

☆賀川豊彦は世界的に有名なキリスト教社会運動家。大ベストセラー『**死線を越えて**』を著し，２度にわたりノーベル文学賞候補となった。

1924年　小作調停法制定

---

⑤啓蒙(けいもう)運動

1916年　東京帝国大学教授吉野作造(よしのさくぞう)の民本(みんぽん)主義

☆**総合雑誌『中央公論』**に「憲政の本義を説(と)いて其(その)有終の美を済(な)すの途(みち)を論ず」を発表。普通選挙にもとづく政党内閣が経済的不平等を是正すべきであると論じた。

☆民本主義はデモクラシーの訳語だが，国民主権を意味する民主主義とは一線を画(かく)し，**天皇主権の大日本帝国憲法の枠内で**その長所を採用する，という主張であった。

1918年　黎明会(れいめいかい)　（～20年）

☆**吉野作造**・福田徳三(とくぞう)らが結成。全国的な啓蒙活動を行い，時代の趨勢(すうせい)は平和・協調にあると論じて知識人層を中心に大きな影響を与えた。

東大新人会（～29年）

☆**吉野作造の影響**で，**赤松克麿(あかまつかつまろ)**らが結成。次第に労働運動・農民運動との関係を深めた。

1919年　建設者同盟

☆早稲田大学を中心とする学生の社会運動団体，浅沼稲次郎(いねじろう)らが結成。

雑誌『我等(われら)』創刊

☆前年の白虹(はっこう)事件で大阪朝日新聞を退社した長谷川如是閑(にょぜかん)・大山郁夫(いくお)ら。

1922年　学生連合会

☆24年に学生社会科学連合会へ改組。

1925年　京都学連事件（～26年）

☆治安維持法が適用された最初の事件。

---

⑥社会主義運動の再燃⇒“冬の時代”を脱出

1920年　森戸事件

☆**東京帝国大学助教授森戸辰男**が論文「**クロポトキンの社会思想の研究**」を咎められ，編集発行人の大内兵衛（東京帝大助教授）とともに休職処分となる。

日本社会主義同盟

☆労働運動家・学生運動家・諸派の**社会主義者を一同に会した団体**。しかしアナ・ボル論争など内部対立が激しく，翌年禁止された。

☆大杉栄らの無政府組合主義（＝アナルコサンディカリスム）と堺利彦らの共産主義〔マルクス・レーニン主義〕（＝ボルシェビズム）との対立が激しかった。

1922年　日本共産党

☆モスクワの**コミンテルン〔第３インターナショナル・国際共産党〕**の指導下に，**堺利彦（初代委員長）・山川均**らが**非合法の地下組織**として結成。機関紙『赤旗』。

---

⑦婦人運動

自由民権運動の岸田〔中島〕俊子や**景山〔福田〕英子**，廃娼運動の矢島楫子らを先駆とする。

1911年　青鞜社

☆**平塚らいてう〔雷鳥・明〕**らを中心とする**文学者団体**。**雑誌『青鞜』**発行（「**元始，女性は実に太陽であった…**」），世人から良妻賢母主義を否定する“新しい女”と非難されることもあった（～16年）。

1916年　雑誌『婦人公論』創刊

☆与謝野晶子と平塚らいてうが母性保護論争を展開。

友愛会に婦人部が発足

1920年　新婦人協会（～22年）

☆**平塚雷鳥・市川房枝**・奥むめおら。

1921年　赤瀾会　（～22年）

☆**山川菊栄・伊藤野枝**らが中心の**社会主義的婦人団体**。

1922年　治安警察法第５条の改正に成功

☆女性の政治演説会への参加が認められる。

アメリカからサンガー女史が来日し産児制限運動を指導

☆山本宣治らが中心となる。

1924年　婦人参政権獲得期成同盟会

☆新婦人協会を発展させ，**市川房枝**らが結成。翌年，**婦選獲得同盟**に改組（～40年）。

---

⑧部落解放運動〔水平運動〕

1922年　全国水平社

☆社会的差別からの解放と，人間としての平等を政府の融和政策に頼ることなく自ら獲得するため，**京都**で結成。

☆西光万吉が『**水平社宣言**』（「…人の世に熱あれ，人間に光あれ」）を起草。

---

⑨普選運動

第一期(1892年～1918年)⇒ブルジョア有志の運動

1899年　**普通選挙期成同盟会**(のち普通選挙同盟会)

☆東京で中村太八郎・河野広中・大井憲太郎・片山潜・幸徳秋水らが中心となり結成。

↓↓↓

1911年　普通選挙法案，衆議院を通過するも貴族院で否決される。

第二期(1919年～20年)⇒**原敬内閣の普選運動弾圧**

1919年　選挙資格条件の直接国税納入額が10円から３円に下がる。

1920年　野党の憲政会などによる普通選挙法案が国会に提出され，普選促進デモも行われるが，原敬内閣は時期尚早として衆議院を解散。

☆総選挙で立憲政友会が圧勝，普選運動は一時衰退。

第三期(1922年～25年)⇒**官僚・政党の妥協**

普通選挙は，臣民の権利を拡大するためだけでなく，社会主義運動の広がりを防止するためにも必要であるとする意見が有力となった。

☆加藤友三郎内閣のころから普通選挙制の検討が始まり，続く第二次山本権兵衛内閣も導入の方針を固めていたが，関東大震災とその後の虎の門事件による総辞職で立ち消えになっていた。

1924年　第二次護憲運動

☆清浦奎吾内閣総辞職，普選断行を唱える第一次加藤高明内閣〔護憲三派内閣〕が成立。

1925年　普通選挙法の制定

☆同時に治安維持法も発布。普通選挙の実施は28年。

---

⑩国家改造運動⇒超国家主義思想

1919年　猶存社(～23年)

☆ヴェルサイユ条約締結，三・一運動(朝鮮)，五・四運動(中国)を背景に，右翼の**北一輝**(『**日本改造法案大綱**』の著者)・**大川周明**らが結成した国粋主義団体。

第23講　確認問題

1　1907年の元帥府会議で決定したものとは？

①帝国国防方針　②戊申詔書　③二個師団増設　④二十一カ条の要求

2　第一次護憲運動のスローガンとは？

①富国強兵・殖産興業　②脱亜入欧
③臥薪嘗胆　④閥族打破・憲政擁護

3　第一次世界大戦参戦時の加藤高明外相は何という党の総裁であったか？

①立憲政友会　②立憲国民党　③立憲同志会　④憲政会

4　1917年，石井・ランシング協定を日本と締結した国とは？

①イギリス　②ロシア　③フランス　④アメリカ

5　大戦景気中，とくにアメリカに向けてさかんに輸出されたものとは？

①綿糸・綿織物　②薬品　③船舶　④生糸・絹織物

6　ヴェルサイユ条約締結，朝鮮の三・一運動，中国の五・四運動に共通する年とは？

①1915年　②1918年　③1919年　④1920年

7　最後まで国際連盟に加盟しなかった国とは？

①アメリカ　②ドイツ　③ソ連　④中国

8　ワシントン会議における九カ国条約締結で破棄が決定したものとは？

①第三次日英同盟協約　②第四次日露協約
③石井・ランシング協定　④四カ国条約

9　1918年の米騒動により総辞職した内閣とは？

①第一次山本権兵衛内閣　②第二次大隈重信内閣
③寺内正毅内閣　④原敬内閣

10　1912年，友愛会を結成した人物とは？

①高野房太郎　②鈴木文治　③山川均　④赤松克麿

11　大ベストセラー『死線を越えて』の著者でもある，神戸を拠点に活動したキリスト教社会運動家とは？

①内村鑑三　②新渡戸稲造　③木下尚江　④賀川豊彦

12　1920年に結成された新婦人協会と関係のない人物を一人選べ。

①平塚らいてう　②市川房枝　③奥むめお　④山川菊栄

解答

1	①	2	④	3	③	4	④	5	④
6	③	7	①	8	③	9	③	10	②
11	④	12	④						

第24講　大正時代Ⅱ・昭和時代Ⅰ

1　超然内閣の再登場

①加藤友三郎(ともさぶろう)内閣（海軍，1922年～23年）

立憲政友会から支持を得て，官僚・貴族院中心に組閣された中間内閣。首相の病死により総辞職。

1922年　日本共産党結成
　　　　シベリア撤兵完了
1923年　石井・ランシング協定破棄

---

②第二次山本権兵衛内閣（海軍，1923年～24年）

普通選挙を求める犬養毅（革新倶楽部(クラブ)）が文部大臣，後藤新平が内務大臣として入閣する中間内閣。虎の門事件により総辞職。

1923年　関東大震災（９月１日＝組閣の前日）

☆**戒厳令(かいげんれい)**・１カ月間のモラトリアム〔支払猶予令(しはらいゆうよれい)〕を実施。

☆戒厳令下で，一般民衆の結成した**自警団(じけいだん)**による“朝鮮人狩り”が行われる（＝**朝鮮人虐殺事件**）。

亀戸(かめいど)事件

☆戒厳令下の東京で，川合義虎(かわいよしとら)ら10人の社会主義者らが，警察署内で警備にあたっていた軍隊により殺害される。

甘粕(あまかす)事件

☆戒厳令下の東京で，無政府主義者**大杉栄・伊藤野枝(のえ)**らが，憲兵の**甘粕正彦**大尉に絞殺(こうさつ)される。

虎の門事件

☆**摂政宮裕仁(ひろひと)親王（のちの昭和天皇）**が無政府主義者**難波大助(なんばだいすけ)**に狙撃(そげき)される。

☆無事ではあったが，責任を取り内閣は総辞職，難波は翌年大逆罪で処刑。

↓↓↓

政府は無政府主義･共産主義に対する警戒を，一層強めることとなった。

---

③清浦奎吾内閣（枢密院，1924年）⇒超然内閣

元老の松方正義と西園寺公望は，政党と距離を置く人物を選ぶため，山県有朋（すでに死去）直系の**枢密院議長**であった**清浦奎吾**を首相に推した。

☆**貴族院・官僚勢力を背景に組閣**，普通選挙実施を方針とし，民衆・政党の懐柔をはかる。

☆床次竹二郎の**政友本党（立憲政友会から分裂）**を与党とし，陸相・海相を除く全閣僚を貴族院から選出する**超然内閣**を組閣。

1924年　中国で第一次国共合作

第二次護憲運動

２　第二次護憲運動（1924年）

①経過

護憲三派（憲政会〔加藤高明〕・立憲政友会〔高橋是清〕・革新俱楽部〔犬養毅〕）が倒閣運動を開始。

☆「清浦内閣打倒」「普選断行」「行財政整理」「貴族院・枢密院改革」などを掲げ，議会解散・総選挙にもち込む。

☆**第一次護憲運動に比べ，民衆運動は盛り上がらず。**

---

②結果

政友本党を味方とした清浦奎吾内閣は総選挙に大敗，**護憲三派連立の第一次加藤高明内閣が成立。**

☆加藤高明は，大日本帝国憲法下において選挙結果により首相となった唯一の例。

３　憲政の常道―二大政党時代―

衆議院の最大多数党（失脚した場合は次位の党）**の総裁に組閣の大命が下り，政党内閣を組織する慣習。**

☆**立憲政友会**と**立憲民政党**〔**もと憲政会**〕の二大政党による組閣が８年間続いた。

①第一次加藤高明内閣（護憲三派，1924年～25年）

第二次護憲運動後，総選挙に圧勝した護憲三派が連立して成立。

☆まもなく，憲政会と立憲政友会の対立から護憲三派の協調が破れ総辞職。

☆革新倶楽部は立憲政友会に吸収される。

1924年　小作調停法

　　婦人参政権獲得期成同盟会結成

1925年　日ソ基本条約

　　☆日本は北樺太からの撤兵と引きかえに，同地方の油田の半分の開発権を獲得。

　　陸軍４個師団削減

　　陸軍の田中義一が立憲政友会総裁となる

　　治安維持法制定

　　☆**国体（＝天皇制）の変革と私有財産制度の否認を目的とする結社の組織者と参加者を処罰**（＝共産主義・無政府主義の弾圧）。

　　☆日ソ国交樹立による共産主義思想の波及を防ぎ，普通選挙法成立による労働者階級の政治的影響力の増大に備えることが目的。

　　普通選挙法制定

　　☆**満25歳以上の男子〔全人口の20％程度**，約1200万人〕**に選挙権**，満30歳以上の男子に被選挙権を与える。中選挙区制を採用。

　　日本労働組合評議会発足

　　五・三〇事件

---

②第二次加藤高明内閣（憲政会，1925年～26年）

立憲政友会と対立して総辞職した加藤高明が，政友本党と提携して**憲政会単独で再組閣。**

☆首相の病死のため総辞職。

---

③第一次若槻礼次郎内閣（憲政会，1926年～27年）

加藤高明の病死により憲政会総裁を継いだ若槻礼次郎が組閣。

☆金融恐慌の収拾を試みるが，幣原喜重郎外相の協調外交に不満をもつ枢密院の反対により挫折，総辞職する。

1926年　労働農民党結成
　　労働争議調停法
　　大正天皇崩御により昭和と改元
　　☆摂政の裕仁親王が即位（昭和天皇）。

1927年　**金融恐慌**

---

④田中義一内閣（立憲政友会，1927年～29年）

立憲政友会総裁となっていた，陸軍・長州閥の長老田中義一が組閣。

☆田中義一首相は外相も兼任，対中国強硬〔積極〕外交を展開するが，張作霖爆殺事件の処理で昭和天皇の不信を買い総辞職。

1927年　金融恐慌の収拾
　　第１次山東出兵
　　立憲民政党の結成
　　☆憲政会と政友本党が合同。総裁は浜口雄幸。
　　東方会議
　　ジュネーブ海軍軍縮会議

1928年　**最初の普通選挙実施**
　　三・一五事件
　　第２次山東出兵
　　済南事件
　　第３次山東出兵
　　張作霖爆殺事件〔満洲某重大事件〕
　　緊急勅令による治安維持法改悪
　　特別高等課〔特高〕を道府県にも設置
　　パリ不戦条約

1929年　四・一六事件

---

⑤浜口雄幸内閣（立憲民政党，1929年～31年）

憲政会と政友本党が合同した立憲民政党の内閣が成立。幣原外交と井上緊縮財政が二本柱。

☆ロンドン海軍軍縮条約調印で，軍令部・枢密院・右翼・立憲政友会などの反感を買い（**統帥権干犯問題**（とうすいけんかんぱん）），**浜口雄幸首相が東京駅で狙撃され総辞職**。

1929年　犬養毅が立憲政友会総裁となる

　　　　世界恐慌

1930年　**金輸出解禁**

　　　　ロンドン海軍軍縮条約

　　　　☆**統帥権干犯問題**の浮上（ふじょう）。

　　　　昭和恐慌（～31年）

　　　　浜口雄幸首相狙撃事件

1931年　三月事件

---

⑥第二次若槻礼次郎内閣（立憲民政党，1931年）

狙撃された浜口雄幸にかわり立憲民政党総裁となった若槻礼次郎が再度組閣。満洲事変に対しては不拡大方針をとるが軍部はこれを無視。閣内（かくない）不統一により総辞職に追い込まれた。

1931年　万宝山（まんぽうざん）事件

　　　　中村大尉（たいい）事件

　　　　柳条湖事件により**満洲事変**勃発

　　　　十月事件

---

⑦犬養毅内閣（立憲政友会，1931年～32年）

立憲政友会総裁となっていた犬養毅が組閣。満洲事変に対し軍部の行動を追認したが，満洲国建国には反対。

☆五・一五事件で犬養毅首相が暗殺され，戦前の政党政治は終焉（しゅうえん）を迎える。

1931年　**金輸出再禁止**

1932年　第１次上海事変

血盟団事件

満洲国建国宣言

五・一五事件

４　戦後恐慌（1920年）

①原因

ヨーロッパ諸国の復興⇒その商品がアジア市場に再登場

☆輸出不振・生産過剰に陥り，日本の株式市場が大暴落。

---

②経過

A　輸出不振・輸入超過（1919年より）

株価が暴落，銀行が閉鎖・休業に追い込まれる。

B　輸出を支えてきた生糸・綿糸相場が半値以下に暴落

製糸業・紡績業の操業時間短縮により，失業者が増大。

C　重化学工業の苦難

ヨーロッパ諸国が復興し，輸入品が増加。

---

③結果

恐慌に対し，政府は日本銀行などを通じて大企業を中心に多額の救済融資を実施。

↓↓↓

このため，企業の合理化や財界の整理が十分進まず，生産を回復してきたヨーロッパ諸国に対抗することが困難になり，不況は長期化した。

A　中小企業・成金の没落

企業の集中・独占資本の強大化＝財閥の強大化。

B　**慢性的不況の定着**

1917年の金輸出禁止以来，**金本位制に復帰できず，欧米に取り残される。**

C　労働運動の階級闘争主義化

５　震災恐慌（1923年）

①原因

関東大震災（1923年９月１日午前11時58分）

Ａ　規模

マグニチュード7.9〔震度７〕，地震と火災により東京市・横浜市の大部分は廃墟と化し，被害は１府６県に及ぶ。

Ｂ　被害（総額60億円以上）

死者・行方不明者10万人以上，全壊・流出・全焼家屋57万戸（こ）以上。

Ｃ　混乱

あ　**戒厳令**（かいげんれい）の発令

い　在日朝鮮人（数千人）・中国人（数百人）の殺傷

☆住民が組織する**自警団**の手で"朝鮮人狩り"が行われる（**＝朝鮮人虐殺事件**）。

☆その背景には，日本の植民地支配に対する抵抗運動への恐怖心と，民族的な差別意識があったとみられる。

う　**亀戸**（かめいど）**事件・甘粕事件**など左翼勢力の大弾圧

---

②経過（第二次山本権兵衛内閣の対策）

Ａ　緊急勅令による**１カ月間のモラトリアム**〔**支払猶予令**（しはらいゆうよれい）〕

Ｂ　**震災手形割引損失補償令**（てがたわりびきそんしつほしょうれい）

日本銀行の特別融資（ゆうし）（約４億3000万円）と，それによる日本銀行の損失に対する政府の補償（１億円）。

---

③結果

A　決済(けっさい)不能の**震災手形**が残存

1926年の段階で，未決済額は約２億円にのぼる。

B　**東京復興のための膨大な国家支出**

帝都復興院の設置，総裁には**後藤新平**内相が就任。

C　**東京復興のために輸入が急増**

国際収支は大赤字となり，外貨も著しく減少。

D　**インフレーションの発生**

不況下にインフレが発生し，スタグフレーション状態となる。

E　その他

企業集中・カルテル結成・資本輸出(在華紡(ざいかぼう)など)の進行。

６　金融恐慌(1927年)

①**原因**⇒背景に不況(ふきょう)の慢性化(まんせいか)(震災手形に限らず銀行経営が不良化)

1927年，憲政会の第一次若槻礼次郎内閣による震災手形善後(ぜんご)処理法案の不手際(ふてぎわ)。

☆**片岡直温(なおはる)蔵相**の失言(震災手形を有する一部の不良銀行名を明かす)。

---

②**経過**

A　第一段階

預金者の不安から**取付(とりつ)け騒ぎ**が起き，東京渡辺銀行などの二流銀行が休業・倒産。

B　第二段階

あ　**鈴木商店の破産による台湾銀行の休業**，取付け騒ぎにより十五銀行〔華族銀行〕なども休業。

い　第一次若槻内閣，**台湾銀行救済のための緊急勅令案**を提出。

☆日本銀行からの特別融資〔非常貸付(かしつけ)〕をはかる。

う　**憲政会の協調外交〔幣原(しではら)外交〕に対する不満から，枢密院が否決。**

☆枢密顧問官の伊東巳代治(みよじ)ら。

え　内閣は総辞職，**立憲政友会の田中義一内閣(高橋是清(これきよ)蔵相)**が誕生。

C　第三段階

あ　田中内閣の**高橋是清蔵相**，**３週間のモラトリアム〔支払猶予令〕**を発令。

☆銀行も２日間休業。

い　**日本銀行の非常貸出と特別融資，台湾銀行の救済が決定。**

☆全国的に広がった金融恐慌はようやく収拾(しゅうしゅう)。しかし通貨が膨張(ぼうちょう)してインフレーション(物価高)が拡大。

---

③結果

A　**五大銀行**(ビッグ=ファイブ)**(三井・三菱・住友・安田・第一)**に預金が集中

B　企業集中・カルテル結成・資本輸出の進行

☆反面，大企業や農村からはじき出された過剰労働力を得て中小企業の数は増加。

C　**財閥支配の強化**

☆商業〔流通〕・金融・産業の各資本が合体，**コンツェルン**形態をとる。

☆財閥と政党の結託(けったく)が強化。**三井と立憲政友会**，**三菱と立憲民政党**〔もと憲政会〕など。

---

④“出口のないトンネル”⇒1920年代

ヴェルサイユ・ワシントン体制下で展開された1920年代の日本経済は，電力関連の重化学工業の発展はみられたものの，**慢性的不況**を続けた。再三発生する恐慌に対し，政府は日本銀行券を増発し救済政策をとってきたが，それは一時しのぎにすぎず，大戦景気(1915年～18〔19〕年)で過大に膨張した経済界の再編は進まなかった。

☆国際競争力不足とインフレのため輸入超過は増大し，1917年以来の金輸出禁止が続く中で，外国為替(かわせ)相場は動揺と下落を繰り返した。

☆多くの産業分野で企業集中，カルテル結成，資本輸出の動きが強まり，**財閥**はこの時期に金融・流通面から産業支配を強め，**政党**との結びつきも強めていった。

７　不況下の社会運動

①社会主義勢力の政界進出

A　**無産政党**の結成

1926年～，普通選挙の実施に対応する**合法的社会主義政党**。

☆当時の社会情勢から，社会主義を称することが憚られたための呼称。

☆農民労働党（1925年，浅沼稲次郎ら）は，日本共産党と関係があるとして，即日結社禁止処分となる。

B　**労働農民党**の結成と分裂（1926年）

関東大震災時の迫害と，治安維持法・普通選挙法制定という状況に直面した社会主義運動〔左翼運動〕は，改良的・協調的な**社会民主主義的潮流〔右派〕**と，革命的・急進的な**共産主義的潮流〔左派〕**とに分かれ，両者の対立が激しくなった。

あ　**労働農民党**（**左派**，大山郁夫・山本宣治ら）

☆革命路線をとる共産党系の勢力が強い。

い　日本労農党（中間派）

う　**社会民衆党**（**右派**，安部磯雄・片山哲ら）

☆議会主義・国民政党路線をとる。

C　**普通選挙の実施（1928年）**

有権者は約４倍（約1240万人）となり，**無産政党から８名が当選**。

☆非合法の日本共産党が，公然と活動を開始。

②田中義一内閣の弾圧

A　**三・一五事件（1928年）**

共産党員の一斉(いっせい)検挙。労働農民党・日本労働組合評議会などを解散させる。

B　緊急勅令による**治安維持法改正（1928年）**

死刑・無期懲役(ちょうえき)を追加。また，協力者も処罰可能となった。

☆さらに**1941年**には**予防拘禁(こうきん)制度**が適用される。

C　**道府県警察にも特別高等課〔特高〕を設置（1928年）**

無政府主義・共産主義・社会民主主義などの思想運動の取り締まりと弾圧を業務とし，スパイ活動や拷問(ごうもん)も行った。

D　山本宣治暗殺事件〔神田事件〕（1929年）

治安維持法改正に反対し議会で奮闘したことから，労働農民党の代議士山本宣治が右翼に暗殺される。

E　**四・一六事件（1929年）**

共産党員を再び一斉検挙。非合法の日本共産党は大打撃を受けた。

８　金解禁〔金輸出解禁〕(1930年)

①背景

金解禁とは，輸入品の代金支払いのために正貨(地金や金貨)の輸出を認めることをいい，国際間の金の移動が自由になることで為替相場安定の働きがある。また，金解禁は紙幣の兌換を再開し**金本位制に復帰**することを意味した。

A　**第一次世界大戦後の国際競争力不足による輸入超過**

B　為替相場の動揺と低落

1917年の金輸出禁止で金本位制から離脱し，金本位制の自動調節作用(物価上昇⇒輸入増加⇒正貨〔金〕流出⇒通貨収縮⇒物価下落)がなくなったことから，為替相場が動揺。

C　**欧米列国(米・独・英・伊・仏)の金本位制復帰**

日本が為替相場を安定させ，輸出を増加させるためには，金解禁(＝金本位制への復帰)が必要不可欠となる。

D　財政膨張・通貨量増大(＝インフレーション)の激化

1920年代は，恐慌の連続にもかかわらずインフレとなっていた(＝スタグフレーション)。

---

②浜口雄幸内閣(大蔵大臣＝井上準之助)の経済政策

1929年に成立した**立憲民政党**の**浜口雄幸内閣**は，**蔵相に前日本銀行総裁の井上準之助を起用**し，財政を緊縮して物価引下げをはかり，産業合理化を促進して国際競争力を強化することをめざした。

☆さらに旧平価による金解禁を断行し，外国為替相場の安定と**経済界の抜本的な整理**をはかった。

A　**緊縮財政〔デフレ政策〕**

物価引下げをはかる。

B　**産業合理化**

賃下げ・人員整理・労働強化により，企業の利潤増大と国際競争力の強化をはかる。

☆生産性が低く国際競争力のない不良企業を整理・淘汰。

C　**金解禁(1930年)**

外国為替相場の安定をはかる。

D　**重要産業統制法（1931年）**

金解禁の影響で輸出が大不振であることから，指定産業での不況カルテルの結成を容認して，統制経済の先駆(さきが)けとなった。

---

③金解禁（1930年１月）

A　**目的**

為替相場の安定と貿易の振興

B　経過

1929年７月　金解禁予告

　　　10月　**世界恐慌の発生**

☆**ニューヨーク（米）のウォール街における株式大暴落。**

1930年１月　**金解禁実施**

☆**旧平価の100円＝49.85ドル（円切上げ）で強気に解禁。**

☆当時の相場は100円＝46.5ドル前後。円高をもたらし日本の輸出品を割高にし，デフレと不況を招く恐れが強い旧平価解禁をあえて選択したのは，円の国際信用を落としたくないという配慮に加え，不良企業を整理・淘汰して日本経済の体質改善をはかるという目的があった。

C　結果

あ　**輸出の減少と輸入の激増**

円高もあり，国内の物価水準が国際的な水準に比べると高かったため。

い　**金の大量流出**

金輸出再禁止を予測した財閥のさかんな円売り・**ドル買い**が，流出に拍車(はくしゃ)をかけた。

う　**不況が深刻化し失業者が増大**

アメリカ向け生糸・アジア向け綿糸価格が暴落，企業の倒産・生産の縮小があいつぎ，**昭和恐慌（1930年～31年）**となった。

え　**1931年12月に金輸出再禁止（犬養毅内閣，高橋是清蔵相）**

同年，イギリスが金本位制を離脱し，各国がこれに倣(なら)ったため。

９　昭和恐慌（1930年～31年）

①原因⇒背景に不況の慢性化

1929年10月24日，**ニューヨーク**のウォール街における**株式大暴落**。

☆ヨーロッパ各地に投資されていたアメリカ資本は引き上げられ，**世界恐慌**が資本主義世界全体に波及。

☆社会主義国のソ連は無関係で，国力を蓄(たくわ)えていった。

---

②経過

輸出不振(ふしん)（とくにアメリカ向け生糸(きいと)），**浜口雄幸内閣の井上準之助蔵相**の**金解禁**による**正貨(せいか)の大量流出**。

☆1917年以来の金解禁に備え，**産業合理化・デフレ政策〔緊縮財政〕**をとっていた。

☆さらに**旧平価**（円切り上げ）で強気に解禁したので，**輸出は減少・輸入は激増**，これに**財閥の**円売り・**ドル買い**が金流出に拍車(はくしゃ)をかけた。

あ　**都市**

工場の倒産・操業短縮により**失業者が増大。**

い　**農村⇒農業恐慌**に陥(おちい)る

小作料も引き上げられたが，米価の暴落（米騒動後の植民地米移入の増加・1930年の“豊作(ほうさく)貧乏”など）もあり，寄生地主でさえ苦しんだ。

☆翌1931年には一転して東北・北海道は大凶作に見舞われた。

☆生糸価格の下落による繭(けん)価は暴落。不況のため兼業機会も少なくなったうえ，失業者の帰村が重なり，東北・関東・甲信越(こうしんえつ)の農村はとくに大打撃を受け，**欠食児童・娘の身売り**が目立った。

---

③農村対策（1932年～34年）

時局匡救(じきょくきょうきゅう)事業と称して公共土木事業を実施，農民を日雇い労働に雇用して現金収入の途(みち)をつくった。さらに政府は**農山漁村経済更生(こうせい)運動**を始め，産業組合の拡充などを通じて村民を結束させ，「自力更生」をはかった。

---

④結果

あ　農村や都市中小企業の没落（ぼつらく）・衰退

小作争議・労働争議が激増。家賃・電気料金・ガス料金の引下げ要求運動や，零細小売商人の反百貨店運動も頻発。

☆しかし，一連の社会運動は，厳しい弾圧と無産政党の分裂により次第に衰退していった。

い　**財閥支配の進展**

重要産業統制法（1931年）により，資本の集中・独占が進む。

う　**政党や財閥を攻撃する声が強まる**

金解禁時における財閥の円売り・ドル買いや，無策な政党と財閥の結託などが理由。

補講：大正・昭和初期の文化

1　大正・昭和初期の文化の特色

近代的自我の発見と**文化の大衆化**⇒文化の国民的普及＋都市化

☆背景として，義務教育の徹底と民衆の政治的意識の高まりがあげられる。

２　思想界の多様化

①“大正デモクラシー”の思想

A　**吉野作造**の**民本主義**

B　**美濃部達吉**の**天皇機関説**

C　石橋湛山(たんざん)の小日本主義

D　マルクス主義の台頭(たいとう)

---

②社会主義思想の研究

A　**森戸辰男(もりとたつお)**（東大助教授）

論文「**クロポトキンの社会思想の研究**」で編集発行人の大内兵衛(ひょうえ)（東大助教授）とともに東大を追われ，大原社会問題研究所に参加（1920年，森戸事件）。

B　**河上肇(はじめ)**　（京大教授）

マルクス主義経済学を研究。『**貧乏物語**』『自叙伝』など。

C　高畠素之(たかばたけもとゆき)

わが国で初めてマルクスの『資本論』を翻訳(ほんやく)。

D　**野呂栄太郎(えいたろう)**

岩波書店『**日本資本主義発達史講座**』を編集。1930年代に日本資本主義論争を展開した，**講座派**の中心人物。

☆その他，羽仁五郎(はにごろう)・服部之総(はっとりしそう)・山田盛太郎(もりたろう)ら。

E　猪俣津南雄(いのまたつなお)

山川均(ひとし)らと雑誌『労農』を創刊。1930年代に日本資本主義論争を展開した，櫛田民蔵(くしだたみぞう)らと並ぶ**労農派**の中心人物。

---

③超国家主義思想〔ウルトラ・ナショナリズム〕

猶存社(ゆうぞんしゃ)の結成（**1919年，北一輝・大川周明ら**）

☆内紛から23年に解散。

３　教育の拡充

①大学令（1918年，原敬内閣）

総合大学である九**帝国大学**（東京・京都・大阪・北海道・東北・名古屋・九州・京城・台北）以外にも，単科大学や公立・私立大学の設置が認められた。

☆同年の改正高等学校令により，全寮制と外国語重視を特色とする高等学校（３年制）の増設が進められた。

☆1920年代には中学校・高等女学校（それぞれ４年制）の生徒数も急増した。

---

②自由教育運動の展開（大正後期～）

子供のもつ可能性･自発性の伸長をはかる，児童中心主義を掲げた新教育運動。

☆沢柳政太郎の成城小学校，羽仁もと子の自由学園，西村伊作の文化学院など。

---

③綴方教育運動の展開（昭和初期～）

型にはまった作文教育を改め，日常生活重視の立場からありのままを作文させる教育が実施された。

☆鈴木三重吉の雑誌『赤い鳥』などが影響を与える。

４　学問の発達

①自然科学

A　医学

野口英世(ひでよ)

☆**黄熱病**の研究，梅毒スピロヘータの純粋培養(ばいよう)。

B　物理学・金属工学

あ　**本多光太郎**

☆ドイツへ留学後，**KS 磁石鋼**を発明。鉄鋼研究所初代所長。

い　三島徳七(とくしち)

☆MK 磁石鋼の発明。

C　電気通信工学

八木秀次(ひでつぐ)

☆超短波(たんぱ)用の八木アンテナを発明。

D　研究所の設立

あ　**北里研究所**　(1914 年)⇒北里柴三郎ら

い　**理化学研究所**(1917 年)

☆欧米諸国に対抗しうる物理学・化学の研究を目的に，財界からの寄付金・国庫補助・皇室下賜(かし)金により設立。

う　航空研究所　(1918 年)⇒東大に付属

え　鉄鋼研究所　(1919 年)⇒東北大に付属

お　**地震研究所**　(1925 年)⇒東大に付属

②人文・社会科学

A　哲学

『善の研究』の**西田幾多郎**（京大教授），『三太郎の日記』の阿部次郎，『古寺巡礼』『風土』『人間の学としての倫理学』の和辻哲郎ら。

B　**民俗学**

『遠野物語』の**柳田国男**，南方熊楠，折口信夫ら。

☆柳田国男は民間伝承・習俗の調査・研究を通じて，常民（＝無名の民衆）の生活史を明らかにしようとし，日本民俗学の祖とされる。

C　日本史学

『神代史の研究』の**津田左右吉**（早大教授）ら。

D　東洋史学

白鳥庫吉・内藤虎次郎〔湖南〕ら。

☆それぞれ邪馬台国九州説・近畿説を主張。

E　**法学**

天皇機関説の**美濃部達吉**，**『刑法読本』**の**滝川幸辰**（京大教授）ら。

F　政治学

民本主義の**吉野作造**ら。

G　**経済学**

『貧乏物語』の**河上肇**，マルクス『資本論』を紹介した福田徳三，『資本論』翻訳の高畠素之，論文**「クロポトキンの社会思想の研究」**の**森戸辰男**，論文「日本資本主義発達史」の**野呂栄太郎**ら。

5　大正・昭和初期の文学・ジャーナリズム

①反自然主義の諸派（明治時代末期～）

A　**耽美派**

退廃的・享楽的・官能的な美の創造を追求。

あ　**永井荷風**　『あめりか物語』『ふらんす物語』『**腕くらべ**』
☆慶應義塾の教授に迎えられ，雑誌『三田文学』を創刊。

い　**谷崎潤一郎**　『**刺青**』『**痴人の愛**』『**細雪**』
☆戦後まで長く作家活動を続ける。

う　佐藤春夫　『田園の憂鬱』『都会の憂鬱』

B　**白樺派**

人道主義・理想主義・個人主義の立場から，自我の尊厳を主張。**雑誌『白樺』**。

あ　**武者小路実篤**　『**友情**』『**人間万歳**』『お目出たき人』，戯曲『**その妹**』
☆宮崎県などに理想郷「新しき村」を設立。

い　**志賀直哉**　『**暗夜行路**』『和解』『城の崎にて』『小僧の神様』

う　**有島武郎**　『**或る女**』『**カインの末裔**』『生れ出づる悩み』

え　里見弴　『多情仏心』

お　倉田百三　戯曲『出家とその弟子』，評論集『愛と認識との出発』

か　**柳宗悦**　**民芸**（無名の職人に作られた実用品）を広める民芸運動
☆哲学者・美術評論家。

---

②新現実主義（大正時代～）

A　**新思潮派**

反自然主義の立場から，現実を理知的にとらえ技巧的に表現。雑誌『新思潮（第三次・第四次）』。

あ　**芥川龍之介**　『**羅生門**』『鼻』『河童』『或阿呆の一生』

い　**菊池寛**　『**恩讐の彼方に**』『忠直卿行状記』『真珠夫人』，戯曲『**父帰る**』
☆雑誌『文藝春秋』を創刊し，芥川賞・直木賞を創設。

う　山本有三　『女の一生』『路傍の石』

B　奇蹟派〔新早稲田派〕

自然主義文学を継承，“私小説”を完成させる。

あ　葛西善蔵　『子をつれて』

い　宇野浩二　『蔵の中』

③プロレタリア文学（大正末期～昭和初期）

雑誌『種蒔く人』創刊（1921 年）により，労働者〔プロレタリアート〕の生活に根差し，階級闘争の理論に則した作品を描く**プロレタリア文学運動**が始まる。

A　**葉山嘉樹**（よしき）　**『海に生くる人々』**『セメント樽の中の手紙』
☆**雑誌『文芸戦線』**に寄稿（きこう）。

B　**徳永直**（すなお）　**『太陽のない街』**

C　**小林多喜二**（たきじ）　**『蟹工船』**（かにこうせん）『党生活者』『一九二八年三月十五日』
☆徳永と小林は**雑誌『戦旗』**（ナップ〔全日本無産者芸術連盟〕の機関紙）に寄稿。ナップはのちコップ〔日本プロレタリア文化連盟〕に発展。

D　宮本百合子（ゆりこ）　『貧しき人々の群（むれ）』『播州平野（ばんしゅう）』

---

④芸術派（大正末期～昭和前期）

A　**新感覚派**

リアリズムを否定，反プロレタリア文学の立場から，文学の技法や表現の革命をめざす。雑誌『文芸時代』。

あ　**横光利一**（りいち）　『日輪』『機械』

い　**川端康成**（やすなり）　**『伊豆の踊子』**（おどりこ）**『雪国』**
☆戦後，日本人初のノーベル文学賞を受賞。

B　新興芸術派

あ　井伏鱒二（ますじ）　『山椒魚（さんしょううお）』『黒い雨』

い　梶井基次郎（もとじろう）　『檸檬（れもん）』

C　新心理主義

あ　堀辰雄（たつお）　『風立ちぬ』

い　伊藤整（せい）　『火の鳥』，翻訳『チャタレイ夫人の恋人』（ローレンス）

D　その他

中島敦（あつし）　『山月記（さんげつき）』『李陵（りりょう）』

林芙美子（ふみこ）　『放浪記』

---

⑤大衆文学（大正時代～）

A　**中里介山（かいざん）**　**『大菩薩峠（だいぼさつとうげ）』**

B　吉川英治（よしかわえいじ）　『宮本武蔵（むさし）』

C　大佛次郎（おさらぎじろう）　『鞍馬天狗（くらまてんぐ）』『赤穂浪士（あこうろうし）』

D　**直木（なおき）三十五**　『南国太平記』

E　江戸川乱歩（らんぽ）　『二銭銅貨』

☆探偵〔推理〕小説。

---

⑥児童文学（大正時代～）

A　**鈴木三重吉（みえきち）**　**雑誌『赤い鳥』**

B　**宮沢賢治**　**『注文の多い料理店』『銀河鉄道の夜』**

---

⑦近代詩

A　**高村光太郎**　**『道程（どうてい）』『智恵子抄（ちえこしょう）』**

B　**萩原朔太郎（さくたろう）**　**『月に吠（ほ）える』**

C　室生犀星（むろうさいせい）　『抒情（じょじょう）小曲集』

D　宮沢賢治　『春と修羅』

E　三好達治　『測量船』

F　中原中也（ちゅうや）　『山羊（やぎ）の歌』『在（あ）りし日の歌』

G　立原道造　『暁（あかつき）と夕（ゆうべ）の詩』

---

⑧短歌

A　島木赤彦（しまきあかひこ）　歌集『氷魚（ひお）』⇒アララギ派

B　**斎藤茂吉（もきち）**　**歌集『赤光（しゃっこう）』**⇒アララギ派

C　若山牧水（ぼくすい）　歌集『海の声』

---

⑨ジャーナリズム

大正末期には，『大阪朝日新聞』と『東京朝日新聞』，『大阪毎日新聞』と『東京日日新聞』系列のように，発行部数100万部を超える新聞が現れた。

1911年　立川(たつかわ)文庫の刊行開始⇒『猿飛佐助(さるとびさすけ)』など

1913年　『経済雑誌ダイヤモンド』⇒一般投資家向け

1914年　雑誌『新思潮』(第三次)

　　　　雑誌『**少年倶楽部(クラブ)**』⇒大日本雄弁会講談社

1916年　雑誌『婦人公論』

1917年　雑誌『主婦之(の)友』

1918年　雑誌『赤い鳥』

1919年　雑誌『我等(われら)』

　　　　雑誌『解放』⇒吉野作造・福田徳三ら

　　　　総合雑誌『**改造**』⇒山本実彦(さねひこ)らの改造社

1921年　雑誌『種蒔く人』

1922年　『**週刊朝日**』『**サンデー毎日**』⇒初の週刊誌

1923年　雑誌『文藝春秋』

1924年　雑誌『文芸戦線』

1925年　大衆娯楽雑誌『キング』⇒大日本雄弁会講談社，100万部超え

　　　　ラジオ放送開始⇒東京・大阪・名古屋

1926年　円本(えんぽん)『現代日本文学全集』刊行開始⇒**改造社**

　　　　日本放送協会〔NHK〕設立

1927年　『**岩波文庫**』刊行開始⇒岩波茂雄(しげお)の岩波書店

　　　　雑誌『労農』

1928年　雑誌『戦旗』

1931年　有声映画〔トーキー〕の登場

1935年　雑誌『日本浪漫派(ろうまんは)』⇒亀井勝一郎・保田与重郎(やすだよじゅうろう)ら

６　大正・昭和初期の芸術

①美術展覧会

帝国美術院展覧会〔帝展〕(1919年)

帝国美術院が設置され，文展が発展・改組。1937年から再び文部省主宰となる(＝新文展)。

☆戦後の1946年，**日本美術展覧会〔日展〕**となる。

---

②代表的日本画家

A　**竹久夢二**(たけひさゆめじ)　**『黒船屋』**
B　土田麦僊(つちだばくせん)　『大原女(おはらめ)』
C　速水御舟(ぎょしゅう)　『炎舞(えんぶ)』
D　鏑木清方(かぶらぎきよかた)　『築地明石町(つきじあかしちょう)』
E　前田青邨(せいそん)　『洞窟(どうくつ)の頼朝』
F　小林古径(こけい)　『髪』『犬と遊ぶ』
G　安田靫彦(ゆきひこ)　『黄瀬川(きせがわ)の陣』
H　**上村松園**(うえむらしょうえん)　『序の舞』『夕暮(ゆうぐれ)』⇒女性初の文化勲章受章

---

③代表的西洋画家

A　中村彝(つね)　『エロシェンコ氏の像』『少女』
B　**岸田劉生**(りゅうせい)　『**麗子像**(れいこ)(麗子微笑(びしょう)など)』
☆フューザン会のち**春陽会**(しゅんようかい)の中心的人物。
C　**安井曽太郎**(そうたろう)　『**金蓉**(きんよう)』
☆セザンヌ(仏)に傾倒，**二科会**に参加。
D　**梅原竜三郎**(りゅうざぶろう)　『**紫禁城**(しきんじょう)』『長安街』『北京秋天(しゅうてん)』
☆ルノアール(仏)に師事，**二科会**に参加。
E　萬鉄五郎(よろずてつごろう)　『もたれて立つ人』

---

④代表的彫刻家

A　**高村光太郎**(こうたろう)　**『手』『鯰(なまず)』**
B　**平櫛田中**(ひらぐしでんちゅう)　**『転生(てんしょう)』『五浦釣人(いづらちょうじん)』**

---

⑤代表的建築家

ライト　　　**『旧帝国ホテル』**

☆アメリカ人の世界的建築家。

７　大正・昭和初期のその他芸術

①新劇

A　**芸術座**（1913年）

島村抱月・松井須磨子ら

☆松井須磨子がトルストイ『復活』を好演。劇中歌『カチューシャの唄』も大流行。

B　**築地小劇場**（1924年）

小山内薫・土方与志ら

☆**新劇運動**の中心となった“演劇の実験室”。昭和初期以降はプロレタリア演劇運動の拠点となる。

---

②宝塚少女歌劇〔宝塚歌劇団〕（大正時代～）

箕面有馬電気軌道（のち阪神急行電鉄〔阪急〕）の**小林一三**が設立。

☆小林は，乗客増加をはかるため沿線で住宅地開発を進めるとともに，遊園地や温泉，女性のみからなる歌劇団などの娯楽施設を経営し，主要駅の大阪梅田では初の**ターミナルデパート**である阪急百貨店を開業した。

---

③大衆演劇（大正時代～）

沢田正二郎らが**新国劇**を結成，『国定忠治』『月形半平太』などの剣劇を上演。

☆歌舞伎と新劇の中間の“国民演劇”をめざした。

---

④浅草オペラ（大正時代）

繁華街として賑わった浅草六区で始まった日本的オペレッタ（娯楽性が強く軽い内容のオペラ）。学生・青年層に熱狂的なファンを生んだが，関東大震災（1923年）で衰退。

---

⑤軽演劇（昭和初期）

モボ〔モダンボーイ〕・モガ〔モダンガール〕登場後のエロ・グロ・ナンセンスの風潮に乗り，喜劇役者**榎本健一〔エノケン〕**，古川緑波〔ロッパ〕が活躍。

---

⑥プロレタリア演劇運動(昭和初期)

築地小劇場を拠点に，プロレタリア文学の高揚と連動。

---

⑦漫画(昭和前期)

田河水泡(たがわすいほう)『のらくろ』，島田啓三『冒険ダン吉(きち)』などが少年達の人気を集める。

---

⑧代表的音楽家

洋楽の普及がめざましく，小学校の唱歌以外にも，新たに民間で創作された童謡(どうよう)がさかんに歌われるようになった。また，**蓄音機(ちくおんき)**とレコードの登場により歌謡曲が流行した。

A　**山田耕筰(こうさく)**

作曲家・指揮者。『この道』『からたちの花』など多数。わが国初の交響楽団である日本交響楽協会を育成。東京フィルハーモニーでも指揮を執(と)った。

B　近衛秀麿(ひでまろ)⇒近衛文麿の異母弟

山田耕筰に学び，新交響楽団(現在のNHK交響楽団)を創設。

C　**三浦〔柴田〕環(たまき)**

ソプラノ歌手。わが国初のオペラ上演『オルフォイス』や『蝶々夫人(ちょうちょう)』などで世界的に有名。

D　宮城道雄(みやぎみちお)

箏曲家(そうきょくか)。尺八奏者の吉田晴風(せいふう)と協力して新日本音楽を創始。洋楽を取り入れて『春の海』などを作曲。

E　中山晋平(しんぺい)

作曲家。『カチューシャの唄』『ゴンドラの唄』『東京行進曲』『東京音頭』など。

F　西条八十(やそ)

作詞家。『東京行進曲』『東京音頭』など。

G　古賀政男(まさお)

作曲家。ギター伴奏の“古賀メロディー”は歌謡曲の主流となった。『影を慕(した)いて』『酒は泪(なみだ)か溜息(ためいき)か』など。

８　大衆文化の諸相

第一次世界大戦終結などによる世界的な民主主義的風潮の中で，義務教育の徹底と民衆の政治意識の高まりを背景として，**都市部を中心に文化が国民的普及を果たす。**

☆女性の進出も著しく，バスの車掌〔バスガール〕・タイピスト・電話交換手・看護婦・教師などの**職業婦人**や新興の知識階層として**大衆文化**の発展を支えた。

☆一方で，都市と農村，大企業と中小企業との間の格差が問題となり，二重構造とよばれた。消費支出が増加し，大衆消費社会的な状況が現れたが，一般農家や中小企業労働者の生活水準は低く，都市の大企業に勤務する**俸給生活者〔サラリーマン・新中間層〕**との間で格差は拡大した。

①衣

洋服の着用が一般化。

---

②食

スプーン・ナイフ・フォークを使用する“洋食”の流行。家庭では茶の間の卓袱台を囲んでの食事や団欒がみられた。

☆コロッケ・カツレツ・ビフテキ・オムレツ・カレーライス〔ライスカレー〕など。

---

③住

都心部から延びる郊外電車の沿線には，新中間層向けに和洋折衷の**文化住宅**が建てられた。また，都心では東京駅前の丸ビル〔三菱丸の内ビルヂング〕など，鉄筋コンクリート造のオフィスビルも登場した。

---

④施設

A　農村部も含め**電灯**が一般家庭に普及

B　都市で水道・ガスの供給事業が本格化

C　東京に地下鉄が開通

☆1927年，上野～浅草間がアジア初の地下鉄。

D　東京に**円タク**（市内料金１円均一のタクシー）が登場

E　各地に**乗合（のりあい）自動車〔バス〕**が登場

F　その他

☆**デパート〔百貨店〕**・遊園地・カフェ・ミルクホール・ビアホール・ダンスホールなどが登場。

---

⑤ラジオ・映画

A　東京・大阪・名古屋で**ラジオ放送開始（1925年）**

☆翌年，これらの放送局を統合し**日本放送協会〔NHK〕**を設立。

☆満洲事変以降，出征兵士の安否を気遣い契約数が100万件を突破。

B　日活（にっかつ）や松竹（しょうちく）などの映画会社が国産映画の製作に乗り出す

☆無声映画〔サイレント〕から，1930年代には有声映画〔トーキー〕へ。（活動）弁士は職を失う

---

⑥スポーツ

A　ラジオの実況放送の影響もあり学生スポーツが人気

☆全国中等学校優勝野球大会（1915年〜），東京六大学野球（1925年〜，とくに早慶戦が人気）。

B　第5回ストックホルム大会（1912年）からオリンピックへ参加

☆講道館柔道の創始者嘉納治五郎（かのうじごろう）が日本人初のIOC〔国際オリンピック委員会〕委員となる。

☆次のベルリン大会は第一世界大戦で中止。その後，アントワープ大会（1920年，初のメダル獲得），パリ大会（1924年），**アムステルダム大会**（1928年，三段跳び織田幹雄（みきお）・200ｍ平泳ぎ鶴田義行（つるたよしゆき）が**初の金メダル**），ロサンゼルス（1932年），ベルリン大会（1936年，200ｍ平泳ぎ**前畑秀子**（まえはたひでこ）が**女子初の金メダル**）に参加。

C　東京オリンピック（1940年）が決定していたが日中戦争の影響で返上

第 24 講　確認問題

1　1923年，第二次山本権兵衛内閣を総辞職に追い込んだ，無政府主義者による皇太子狙撃事件とは？

①亀戸事件　②甘粕事件　③虎の門事件　④五・三〇事件

2　第二次護憲運動の「護憲三派」としてふさわしくない政党を一つ選べ。

①立憲政友会　②政友本党　③革新倶楽部　④憲政会

3　日ソ基本条約・治安維持法・普通選挙法が制定された年は？

①1917年　②1923年　③1925年　④1928年

4　昭和と改元された年の内閣とは？

①清浦奎吾内閣　②加藤高明内閣
③第一次若槻礼次郎内閣　④田中義一内閣

5　金融恐慌時，第一次若槻礼次郎内閣の台湾銀行救済のための緊急勅令案を否決したのは？

①昭和天皇　②枢密院　③大審院　④元帥府会議

6　三井財閥と結託を続けた政党とは？

①立憲政友会　②立憲民政党　③労働農民党　④社会民衆党

7　1928年の三・一五事件で共産党員を一斉検挙し，緊急勅令により治安維持法を改悪した内閣とは？

①加藤高明内閣　②第一次若槻礼次郎内閣
③田中義一内閣　④浜口雄幸内閣

8　昭和恐慌(1930年～31年)時の用語として不適切なものを一つ選べ。

①ドル買い　②欠食児童　③娘の身売り　④昭和維新

9　岩波書店『日本資本主義発達史講座』を編集した，講座派の中心人物とは？

①森戸辰男　②大内兵衛　③河上肇　④野呂栄太郎

10　渡米してロックフェラー研究所員となった，黄熱病の研究で有名な細菌学者とは？

①北里柴三郎　②志賀潔　③秦佐八郎　④野口英世

11　次のうち，プロレタリア文学雑誌ではないものを一つ選べ。

①『白樺』　②『種蒔く人』　③『文芸戦線』　④『戦旗』

12　“日本一面白くて為になる”をめざし，大日本雄弁会講談社が創刊した100万部超えの大衆娯楽雑誌とは？

①『中央公論』　②『改造』　③『キング』　④『日本浪漫派』

解答

1	③	2	②	3	③	4	③	5	②
6	①	7	③	8	④	9	④	10	④
11	①	12	③						

第25講　昭和時代Ⅱ

1　協調外交の展開と挫折―大陸支配の後退―

①中国の情勢

1919年　**五・四運動**

中国国民党結成

☆**孫文**のち**蔣介石**(しょうかいせき)が中心。

1921年　**中国共産党**結成

☆コミンテルン〔国際共産党〕の影響，陳独秀(ちんどくしゅう)のち**毛沢東**(もうたくとう)が中心。

1924年　**第１次国共合作**

☆孫文が，中国共産党員が個人資格で中国国民党に入党することを認める。

1925年　**五・三〇事件**

☆上海(シャンハイ)を中心に五・三〇運動が起こり，中国全土に反帝国主義運動が広まる。

孫文の死

☆中国国民党内の左右対立が表面化。

1926年　**北伐**(ほくばつ)の開始

☆右派の蔣介石を中心とする**国民革命軍〔北伐軍〕**が，北京(ペキン)政府を動かしていた軍閥（満洲軍閥の張作霖(ちょうさくりん)ら）の制圧による中国統一をめざし，広東(カントン)から長江(ちょうこう)流域を北上し，各地を制圧していった。

1927年　北伐軍が上海・南京(ナンキン)を占領

上海クーデタ〔四・一二クーデタ〕

☆蔣介石が中国共産党との絶縁を宣言。この裏切りにより**国共合作が崩れ**，北伐も一時中断。

蔣介石が**南京**に**国民政府**を樹立

1928年　北伐再開

済南事件

☆日本の第２次山東出兵における日中間の武力衝突。

張作霖爆殺事件〔満洲某重大事件〕

☆北伐軍に敗れ北京から奉天に退く途中，日本の関東軍に爆殺される。

☆関東軍は混乱に乗じて満洲占領をはかるが失敗。張作霖の子**張学良**が北伐軍に合流し，満洲全土に国民党の青天白日旗が掲げられる（＝易幟事件）。

☆以後は国共内戦が激化することとなった。

---

②幣原外交〔協調外交〕の展開（1924年～27年）

加藤高明①②，若槻礼次郎①内閣（憲政会）の幣原喜重郎外相が推進。

☆**対欧米＝協調，対中国＝内政不干渉・武力不行使**

☆幣原外交は，正義と平和を基調とする**ヴェルサイユ・ワシントン体制に歩調を合わせ**，経済重視の姿勢をとった。中国に対しても不干渉主義を掲げたが，経済的な懸案になると非妥協的となり，反日運動も起こり日中関係は安定化しなかった。

1925年　日ソ基本条約

五・三〇事件

1927年　金融恐慌処理に際する，“軟弱外交”に対しての枢密院の不満により挫折。

---

③田中外交〔強硬外交・二面外交〕の展開

外相を兼任する田中義一首相（立憲政友会）が推進。

☆対欧米＝協調，対中国＝強硬〔積極〕政策・武力行使

1927年　第１次山東出兵

☆蔣介石の北伐を阻止し，満州軍閥の張作霖を支援するため，日本人居留民保護を名目に出兵。

☆国内では出兵に反対する対支非干渉運動が発生。

東方会議

☆外務政務次官森恪が中心となり，中国関係の外交官・軍人を**東京**に集め，「対支政策綱領」を決定。

☆満蒙の権益を実力で守る（＝中国への積極的介入）方針を決定。

ジュネーヴ海軍軍縮会議

☆アメリカ大統領クーリッジが提唱，日本全権は斎藤実。

☆米・英・日の３国が補助艦の制限のために参加したが，米・英の対立や仏・伊の参加拒否などのため**決裂**。

1928年　北伐再開

第２次山東出兵

☆**済南事件**（山東省における日本軍と北伐軍との武力衝突）の発生。

第３次山東出兵

☆済南事件が起きたため続けて出兵，中国の排日運動は激化。

張作霖爆殺事件〔満州某重大事件〕

☆**関東軍**参謀河本大作大佐らの独断。

☆北伐軍に敗れた張作霖を利用価値なしと判断。彼の死により，満洲に武力紛争の火種をつくろうとした。関東軍は混乱に乗じ満洲占領をはかるが，張作霖の子**張学良**が蔣介石に合流し挫折。

パリ不戦条約〔ケロッグ・ブリアン条約〕

☆アメリカ国務長官ケロッグとフランス外相ブリアンが提唱。日本全権は内田康哉，15カ国が調印。

☆条約は，国際紛争解決のための戦争を非とし，国家政策の手段として戦争放棄することを「其ノ各自ノ**人民ノ名ニ於テ**」宣言したが，政府は翌年の批准に際し，**この部分は天皇主権の日本には適用されない**，とした。

1929年　**田中義一内閣総辞職**

☆首相が張作霖爆殺事件の処理に対し昭和天皇の不興(ふきょう)をかい，強く叱責(しっせき)を受けた。

---

④幣原外交の復活と挫折（1929年～31年）

浜口雄幸，若槻礼次郎②内閣（立憲民政党）の幣原喜重郎外相が推進。

☆**対欧米＝協調，対中国＝関係改善策**（1930年に日中〔日華〕関税協定を締結）

1930年　ロンドン海軍軍縮会議

☆**イギリス首相マクドナルド**が提唱，**米・英・日・仏・伊**が参加。**日本全権は若槻礼次郎**，財部彪（たからべたけし）海相。

☆**ロンドン海軍軍縮条約**を締結し，**補助艦**（＝１万トン未満の巡洋艦・駆逐（くちく）艦・潜水艦）**の保有量を制限**（米10：英10：日６～6.975）。日本は総トン数のみ対米英７割を確保。

☆主力艦の保有制限および建造禁止を1936年まで５年延長。

統帥権干犯（とうすいけんかんぱん）問題

☆軍令部長加藤寛治（ひろはる／かんじ）の反対を押し切り浜口雄幸内閣が調印したことを，軍令部・枢密院・立憲政友会・右翼などが，憲法第11条**統帥権の干犯**にあたると攻撃。

☆政府はこれらの非難を退け（第12条編成権と主張），枢密院の同意を取りつけて条約を批准したが，**東京駅で浜口雄幸首相が右翼青年に狙撃され重傷を負い，翌年の退陣後に死亡した。**

1931年　中国国民政府が不平等条約の無効を一方的に宣言

☆中国では不平等条約撤廃，国権回収を要求する民族運動が高まっていた。

中村大尉（たいい）事件

万宝山（まんぽうざん）事件

満洲事変勃発（柳条湖（りゅうじょうこ）事件）

☆浜口雄幸にかわり組閣した**第二次若槻礼次郎内閣（立憲民政党）は不拡大方針をとるが，軍部はこれを無視**。内閣は閣内不統一に陥り総辞職に追い込まれた。

〈***Note***〉

２　政党内閣の終焉と軍部の台頭

①浜口雄幸内閣（1929年～31年，立憲民政党）

1929年　犬養毅が田中義一にかわり立憲政友会総裁に就任

世界恐慌の始まり

1930年　**金解禁**

ロンドン海軍軍縮条約

☆**統帥権干犯問題**の発生。

桜会の結成

☆**橋本欣五郎**中佐率いる陸軍青年将校の秘密結社。

浜口雄幸首相狙撃事件

昭和恐慌の始まり

1931年　**三月事件**

☆**桜会**と民間右翼の**大川周明**らが，諸悪の根源は財閥・政党など支配層の無能と腐敗にあると考え，これらを打倒し陸軍の宇垣一成を首相とする軍部内閣を樹立して内外政策の大転換をはかろうとしたが，宇垣の離脱により未発に終わる。⇒**国家改造運動**の先駆

☆事件は軍部内で戦後まで秘密にされ，処罰も実施されなかった。

重要産業統制法

---

②第二次若槻礼次郎内閣（1931年，立憲民政党）

中国で民族運動が高まる中，日本では軍部や右翼が幣原外交を軟弱外交と非難し，「**満蒙**（まんもう）**の危機**」を叫んでいた。

☆危機感を深めた**関東軍**は，中国の国権回収運動が満洲に及ぶことを武力により阻止し，**満洲**を国民政府の主権から切り離して日本の勢力下に置こうと計画した。

1931年　中村大尉事件

☆満洲における，中国軍隊による日本軍人殺害事件。

万宝山事件

☆満洲における，朝鮮人と中国人の水利権・耕作権をめぐる大衝突。

柳条湖事件⇒満洲事変の勃発と“十五年戦争”の開始

☆９月18日，**奉天**（ほうてん）**郊外**の**柳条湖**において，**関東軍が南満洲鉄道を爆破**し，これを中国軍のしわざとして軍事行動を開始。

十月事件

☆**桜会**と**大川周明**・西田税（みつぎ）らが，満洲事変に呼応して国家改造を断行するために陸軍の荒木貞夫を首相とする軍部内閣樹立をめざすが，またも未発に終わる。

---

③犬養毅（いぬかいつよし）内閣　（1931年～32年，立憲政友会）

1931年　**金輸出再禁止**

1932年　第１次上海（シャンハイ）事変

血盟団事件

☆**井上日召**（にっしょう）を中心とした民間右翼の**血盟団**が，一人一殺（いちにんいっさつ）主義によって**前蔵相井上準之助・三井合名会社理事長団琢磨**（だんたくま）を殺害。

満洲国建国宣言

五・一五事件

☆満洲国承認をしぶる**犬養毅首相**を，**海軍青年将校**・陸軍士官学校生や橘孝三郎（たちばなこうざぶろう）主宰の愛郷塾（あいきょうじゅく）員**らが殺害**。戦前の政党政治**“憲政の常道”は終焉**。

---

④斎藤実内閣（1932年～34年，海軍）

　元老の西園寺公望や重臣は，相次ぐテロ事件後の軍部と政党の摩擦緩和のため，海軍穏健派の**斎藤実**を首相に推薦し，軍部・官僚・貴族院・政党から広く閣僚を出させ「**挙国一致内閣**」と称した。

1932年　**日本国家社会党**の結成

☆**赤松克麿**が中心となり社会民衆党から分裂。社会民主主義を放棄し**国家社会主義へ転向**。

☆国家社会主義は，国家の社会政策などにより資本主義の弊害を除こうとする立場。日本国家社会党は，天皇中心の「一君万民」の平等社会実現を唱え，民族的利益の擁護という見地から戦争を支持した。

社会大衆党の結成

☆**安部磯雄**を中心とする，日本国家社会党に参加しなかった**無産政党の大合同**。当時，最大にして唯一の合法無産政党だが，次第に国家社会主義化した。

日満議定書

☆満洲国を承認し，国交を樹立。

1933年　**国際連盟脱退**

塘沽停戦協定により満洲事変終結

滝川事件〔京大事件〕

☆**自由主義的刑法学説**を唱える『**刑法読本**』の著者，**京都帝国大学教授滝川幸辰**が，**鳩山一郎文相**の圧力で休職処分となる。

☆法学部教授会は全員辞表を提出して抵抗したが敗北した。

日本共産党最高指導者（佐野学・鍋山貞親）**が獄中から転向を声明**

☆コミンテルン〔国際共産党〕が日本共産党に指示した「天皇制打倒・侵略戦争反対」の方針を批判し，天皇制と民族主義のもとでの一国社会主義の実現を提唱。以後，転向者が続出，弾圧も強化。

☆1937年，わずかに社会主義を守り続けた鈴木茂三郎・加藤勘十らの日本無産党も弾圧により活動停止。

ドイツが国際連盟を脱退

1934年　満洲国帝政開始

帝国人絹疑獄事件〔帝人事件〕

☆帝国人造絹糸会社の株式売買をめぐる贈収賄事件。これにより斎藤実内閣は総辞職。

---

⑤岡田啓介内閣（1934年～36年，海軍）

帝人事件（起訴された全員が無罪判決）で総辞職した斎藤実を引き継ぎ，同じ海軍穏健派の岡田啓介が組閣。

1934年　中国共産党，毛沢東を中心に長征〔大西遷〕を開始（～36年）。

☆瑞金～延安。翌年には八・一宣言を出し，内戦停止・民族統一戦線結成を国民政府によびかけた。

陸軍パンフレット問題

☆陸軍省が『国防の本義と其強化の提唱』というパンフレットを発行（“たたかひは創造の父，文化の母である…”）。これが軍部の政治・経済の運営への関与だとして，政党・財界・言論界の強い反発を受ける。

士官学校事件

☆陸軍皇道派の青年将校と士官候補生がクーデタ容疑により検挙される。

☆**皇道派**（＝隊付の青年将校を中心に，直接行動による支配層打倒と天皇親政をめざす）は，この事件を**統制派**（中堅将校を中心に，革新官僚や財閥と結び軍部の統制のもとで総力戦体制をめざす）の策略と非難。

☆陸軍内部では「国家改造」をめぐり皇道派（荒木貞夫・真崎甚三郎らを仰ぐ）と統制派（林銑十郎・永田鉄山・東条英機ら）が対立していた。

ワシントン海軍軍縮条約破棄を列国に通告⇒発効

1935年　天皇機関説問題〔国体明徴運動〕

☆陸軍出身の貴族院議員菊池武夫らが，貴族院議員の法学者**美濃部達吉**の**天皇機関説**は反国体的であると非難。軍部・右翼がこれに賛同し政治問題化。

☆国家法人説にもとづき天皇機関説を唱えた美濃部達吉は，これまで天皇主権説を唱える上杉慎吉と雑誌『太陽』誌上で論争を展開し，多数の学者の支持を得ていたが，右翼の攻撃も受けていた。

国体明徴声明

☆岡田啓介内閣は**２度にわたる声明**で天皇機関説を反国体学説として否認。著書『憲法撮要』を発禁処分とし，美濃部達吉を貴族院議員辞職に追い込んだ。

☆政党政治は，吉野作造の民本主義と並ぶ理論的支柱を失い，戦前には復活の機会は得られなかった。

冀東防共自治政府の成立

☆日本の華北分離工作の一環。

相沢事件

☆林銑十郎陸相（統制派）による真崎甚三郎教育総監（皇道派）の罷免に憤激した相沢三郎中佐（皇道派）が，陸軍省内で永田鉄山軍務局長（統制派）を殺害。

1936年　**ロンドン海軍軍縮条約が失効**

☆前年からのロンドン海軍軍縮会議（第２次）を脱退。年末には**ワシントン海軍軍縮条約も失効。**

二・二六事件

☆“昭和維新”を掲げる**陸軍皇道派の青年将校ら**が，国家改造・軍部政権樹立をめざし約1400名の兵を率いてクーデタを決行。首相官邸・国会・警視庁を含む一帯を４日間にわたり占拠。**高橋是清蔵相・斎藤実内大臣・渡辺錠太郎教育総監（統制派）らを殺害**，鈴木貫太郎侍従長も重傷を負う。

☆東京に**戒厳令**が出され，天皇が厳罰を指示したこともあり“反乱軍”として鎮圧。青年将校らと**北一輝**・西田税が死刑となる。

☆事件後，統制派が“粛軍”の名目で皇道派を一掃。**陸軍は事件の威圧効果を利用して政治的発言力を強め**，総辞職した岡田啓介内閣にかわる広田弘毅内閣の組閣にも強く干渉した。

３　満洲事変と日本の国際的孤立

①背景

A　中華民国

張学良(張作霖の子)が**蔣介石**(しょうかいせき)の国民政府に合流し，1928年に北伐が完了。

☆中国における満鉄包囲線〔満鉄並行線〕計画など，国権回収運動の高揚(こうよう)。

B　日本

関東軍の満洲占領計画

あ　**満洲**とは

中国東北部の奉天(ほうてん)省(もと遼寧(りょうねい)省)・吉林(きつりん)省・黒龍江(こくりゅうこう)省の“東(とう)３省”。

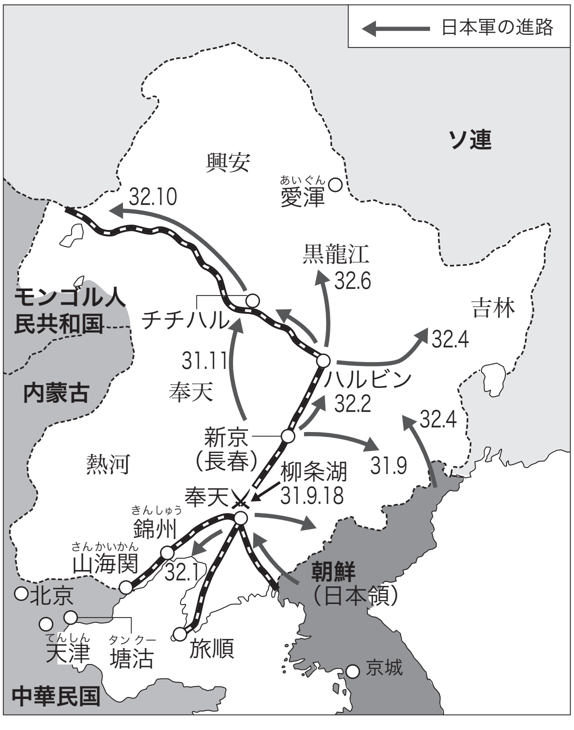
☆のちの満洲国は，興安(こうあん)省・熱河(ねっか)省を加えた５省。

い　日本にとっての満洲

対ソ戦略拠点・中国抑圧拠点・朝鮮独立運動抑圧拠点・**石炭や鉄などの重要資源供給地。**

う　戦争の構想⇒関東軍参謀**石原莞爾**(いしわらかんじ)の講演速記『世界最終戦論』

来(きた)るべき人類最後の大戦争は，東西両文明の盟主となった日本間の航空機による殲滅(せんめつ)戦になると予測。そのためにも“**日本の生命線**”である**満蒙**(まんもう)の計画的制圧が必要とした。



②満洲事変と華北分離工作

A　発端（ほったん）

柳条湖（りゅうじょうこ）事件（1931年９月18日）

B　政府の対応

第二次若槻礼次郎内閣（立憲民政党，幣原喜重郎外相）は不拡大方針を声明。

☆関東軍の行動が，米英との協調（＝ワシントン体制）を損なうことを恐れたため。

C　経過

1931年　関東軍は不拡大方針を無視，満洲各地に軍事行動を拡大。

☆中華民国は国際連盟に提訴。

☆**閣内不統一に陥（おちい）った内閣は総辞職，犬養毅（立憲政友会）が組閣。**

1932年　第１次上海事変

☆満洲から列国の注意を逸（そ）らすため，日本が起こしたもの。

国際連盟が**イギリス人リットン**を中心とする調査団を日中両国に派遣

☆中国からの訴えと，日本の提案による。

満洲国建国宣言

☆「五族協和（ごぞくきょうわ）」「王道楽土（おうどうらくど）」をうたい，首都を**新京（しんきょう）〔長春〕**に置き，**溥儀（ふぎ）**（清朝最後の皇帝）を**執政（しっせい）**とする。

☆アメリカ国務長官スチムソンは，満洲国建国など日本の一連の行動に際し不承認宣言〔スチムソン＝ドクトリン〕を発した。

五・一五事件

☆満洲国承認を渋（しぶ）る**犬養毅首相が暗殺**され，**斎藤実内閣が成立**。

日満議定書

☆**満洲国を承認**し，完全に日本の支配下に置く。

☆満洲国は日本の権益を確認し，日本軍の無条件駐屯を認めた。また，付属の秘密文書では，交通機関の管理を日本に委託すること，関東軍司令官の推薦・同意にもとづき満洲国政府の要職に日本人官吏を採用することなどが規定された。

平頂山（へいちょうざん）事件

☆日本の経営する撫順（ぶじゅん）炭坑における，抗日ゲリラに対する報復事件。

リットン調査団の報告書発表

☆報告書は，日本の経済的権益に中国側が配慮すべきという妥協的なものであったが，日本の軍事行動は合法的自衛措置ではなく，満洲国は自発的な民族の独立運動によってつくられたものではないとした。

1933年　日本，熱河(ねっか)作戦により熱河省を占領

国際連盟を脱退⇒1935年発効

☆臨時総会において42：１で対日勧告案（**日本軍の満鉄付属地内への撤兵を求める**）が採決され，**日本全権の松岡洋右**(まつおかようすけ)らは退場（当時の外相は内田康哉(うちだこうさい)）。

塘沽(タンクー)停戦協定〔日中軍事停戦協定〕

☆中華民国に満洲および熱河省支配を事実上承認させ，**満洲事変は終息**。日本は満洲の経営・開発に乗り出した。

1934年　溥儀が**皇帝**となり満洲国帝政開始

☆国内では帝人事件により斎藤実内閣が退陣。岡田啓介内閣が成立し，**ワシントン海軍軍縮条約破棄を列国に通告。**

1935年　梅津(うめづ)・何応欽(かおうきん)協定と土肥原(どひはら)・秦徳純(しんとくじゅん)協定により**華北分離工作**を計画

☆関東軍により，華北を国民政府の統治から切り離して支配しようとした。

冀東防共自治委員会（のち冀東防共自治政府）の成立

☆華北分離工作の過程で，中国の反国民党親日派が河北省(かほくしょう)東北部に樹立した日本の傀儡(かいらい)政権。

☆中国では民族的危機感が高まり抗日救国運動が展開。**西安(せいあん)事件**による国共内戦停止（1936年），**第２次国共合作**（1937年）へと向かい，日本への本格的な抗戦を決意した。

1936年　**ロンドン海軍軍縮条約・ワシントン海軍軍縮条約が失効**

D　結果

あ　関東軍による傀儡政権「満洲国」が誕生し日本の支配が確立

☆日本は満洲事変終了後も華北分離工作を計画・実行し，さらなる中国進出をはかった。

い　**日本が国際社会から孤立**

☆国際連盟脱退とワシントン・ロンドン会議脱退による。

４　高橋財政（犬養・斎藤・岡田内閣）

①管理通貨制度への移行（1932年〜，制度化は42年）

管理通貨制度＝金準備と関係なく政府・中央銀行が通貨を管理する制度。

Ａ　**金輸出再禁止　（1931年12月）**，円の金兌換（だかん）停止

Ｂ　外国為替（かわせ）管理法（1933年）

---

②輸出の促進

Ａ　円相場の大幅な下落（円安）

1930年（100円＝約50ドル）⇒32年（100円＝約20ドル）

Ｂ　**円安の放置による輸出の激増**

1932年，綿織物の輸出はイギリスを抜き，世界第１位となる。

---

③財政膨張政策（軍需インフレ政策）と生産の回復

高橋是清蔵相は，軍事費を中心に財政投資。公共土木（どぼく）事業の実施，赤字国債の発行などを行う。

☆輸出の躍進に加え，赤字国債発行による軍事費・農村救済費を中心とする財政膨張により産業界は活気づき，**日本は他の先進国に先駆けて1933年ごろに世界恐慌以前の生産水準を回復**した。

---

④重化学工業の発達

軍需と保護政策に支えられ**重化学工業**が発達，金属・機械・化学工業の合計生産額は，1933年に繊維(せんい)工業を上まわり，1938年には工業生産額全体の半分を締めるようになり，産業構造が軽工業中心から重化学工業中心へと変化した。

A　鉄鋼業

日本製鉄会社（1934年，半官半民）

☆製鉄大合同により成立した国策会社。鋼材の自給が可能となる。

B　化学工業

新興財閥の化学コンビナートが発達。

---

⑤新興財閥の登場

高度な技術力により**重化学工業**を中心に発達。**軍部の支持と軍需インフレ政策を背景に朝鮮・満州へ進出**したが，金融機関をもたず資金を市場調達するなど，自己資本力が弱かった。

A　**日産コンツェルン⇒鮎川義介(あいかわよしすけ)**

日本産業会社（日産自動車など）・日立製作所・満洲重工業開発会社を中心とし，満鉄にかわり**満洲**における重化学工業の独占支配をはかり，三井・三菱に次ぐ第３位の財閥に成長。

B　**日窒(にっちつ)コンツェルン⇒野口遵(したごう／したがう)**

日本窒素肥料会社・朝鮮窒素肥料会社が中心。**朝鮮**で大水力発電所・化学コンビナートを開発。

C　日曹(にっそう)コンツェルン⇒中野友礼(とものり)

日本曹達(ソーダ)会社を中心とする。

D　**理研コンツェルン**⇒大河内正敏(おおこうちまさとし)（第３代理化学研究所所長）

☆理化学興業を中心とする。

E　その他

森コンツェルン（森興業(こうぎょう)・昭和電工など）や，中島飛行機など。

---

⑥既成(きせい)財閥の重化学工業への進出

1933年ごろから漸進的(ぜんしんてき)に進出。しかし，重化学工業化は大量の原料輸入とそれに見合う輸出の増進を必要としたため，市場・資源問題が深刻化した。

---

⑦列強の回復と反発

A　**アメリカ**は世界恐慌を**ニュー=ディール政策**（1933年～）で克服

☆**フランクリン=ローズヴェルト大統領**が主導した，財政支出による“新規蒔(ま)き直し”。

B　**イギリス**などによる日本への**ソーシャル=ダンピング**〔不当な賃金切り下げによる自国植民地への投売(なげう)り〕との非難。

☆イギリス・フランスは，他国からの輸入を抑えて本国と植民地ブロックの中で市場を確保しあう**ブロック経済圏**（ポンド〔スターリング〕ブロック・フランブロック）を形成し，日本の**円ブロック**に対抗。

---

⑧輸入の増大

綿花・石油・屑鉄(くずてつ)・機械などのアメリカへの依存度が高まる。

5　“昭和ファシズム”期の内閣Ⅰ

①広田弘毅内閣（1936年〜37年，文官）

1936年　軍部大臣現役武官制を復活

日独防共協定

西安事件

☆前年の毛沢東による八・一宣言を受け，中国国民党の**張学良が蔣介石を軟禁**，中国共産党の周恩来との間で**内戦停止・抗日民族統一戦線**結成を約束させ，翌年の第二次国共合作へ。

---

②宇垣一成内閣の組閣断念（1937年，陸軍）

1937年　陸軍の長老**宇垣一成**に組閣の大命がくだるが，その結束力を恐れた陸軍内部の反対（軍部大臣現役武官制を利用して陸相を推挙せず）で断念。

☆宇垣は第一次加藤高明内閣の陸相時（1925年）に 4 個師団削減を行ったため，陸軍内部の反発を買っていた。

---

③林銑十郎内閣（1937年，陸軍）

陸軍統制派の“越境将軍”林銑十郎が組閣。結城豊太郎蔵相が軍部と財閥の調整をはかった（軍財抱合）が，“食い逃げ解散”後の総選挙で敗北し，総辞職に追い込まれた。

☆統制派は，大軍拡を進めるためには，まず重要産業の育成が必要だと考えていた。

1937年　文化勲章の制定

文部省『**国体の本義**』を発行

☆全国の学校・官庁に配布し，国民思想の強化をはかった。

６　馬場財政（広田弘毅内閣）

「**“広義国防国家”の建設**」をスローガンとし，軍部に従属し，準戦時体制が整う。

①成立

陸軍統制派の強い干渉で成立。馬場鍈一蔵相が，軍需インフレをともなう積極政策を展開。

☆広田内閣は，閣僚の人選や軍備拡張・財政改革などについて，陸軍統制派の要求をいれ辛うじて成立し，以後の内閣に対する軍部の介入の端緒となった。

---

②施策

A　**軍部大臣現役武官制の復活（1936年）**

☆陸軍統制派の要求に従う。

B　軍備拡張計画の推進

陸海軍による「**帝国国防方針**」**の改定**により，アメリカ・ソ連を仮想敵国とする軍備拡張計画を推進。軍需インフレ政策により，財政が膨張。

☆海軍は戦艦大和・戦艦武蔵などの超々弩級艦を含む大建艦計画を進めた。

C　「**国策の基準**」の決定

大陸における日本の地歩を確保する一方で，南方へも漸進的に進出する方針（**南北併進**）を決定。軍備の拡張により，大陸と南方の円ブロック化をはかる。

☆**陸軍は北進論**（ソ連に対抗），**海軍は南進論**（南洋諸島・東南アジアへの進出＝アメリカ・イギリス・フランス・オランダに対抗）をとった。

D　**日独防共協定の締結（1936年）**

☆ソ連を中心とする国際共産主義運動への対抗を掲げる。

E　**華北分離工作**の推進

☆1936年に国策として決定。

---

③結果

軍部（国内改革の不徹底が不満）と政党（大軍拡による国際収支悪化が不満）との双方の反発により総辞職。

☆寺内寿一（ひさいち）陸相と浜田国松（くにまつ）（立憲政友会）が，議会で“腹切り問答”を展開。

☆**斎藤隆夫**（たかお）**（立憲民政党）**は，議会における**粛軍**（しゅくぐん）**演説**で，軍部とこれにすり寄る政治家をともに批判していた。

７　枢軸(すうじく)の結成

①イタリア

1922年　**ファシスト党**を率いる**ムッソリーニ**が合法的に政権を奪取

☆史上初の**ファシズム**政権が成立

1935年　エチオピアに侵攻し翌年併合

1936年　スペイン内乱に介入

---

②ドイツ

1933年　**ナチ党〔国民社会主義ドイツ労働者党〕**を率いる**ヒトラー**が合法的に政権を奪取

☆ワイマール憲法を破棄し**ナチズム**を確立。同年に**国際連盟も脱退**。

1934年　ヒトラーが「第三帝国」総統(フューラー)に就任

1935年　**ヴェルサイユ条約を破棄**し再武装を宣言

☆ゲルマン民族の生存のためには，他国侵略や他民族（ユダヤ人など）の弾圧も肯定(こうてい)されると主張。

1936年　スペイン内戦に介入

---

③枢軸の結成

1936年　スペイン内乱勃発

☆ドイツ・イタリアが協力して右翼のフランコ将軍派を援助（vsソ連が援助する反ファッショ人民戦線）。これを機会に両国は友好関係を強め，**ベルリン=ローマ枢軸**とよばれるようになった。

☆枢軸〔Axis〕とは，「世界の中心となるべき」国々の協力関係を意味した。

日独防共協定

☆ソ連を仮想敵国とする反共産主義軍事協定。

1937年　**日独伊三国防共協定**

☆同年，**イタリアも国際連盟を脱退**。日本・ドイツは国際的孤立を解消。

1938年　ドイツがオーストリアを併合⇒さらにチェコスロヴァキアに進出

☆**枢軸陣営（日独伊）・自由主義陣営（米英仏蘭）・社会主義陣営（ソ連）**の，三大陣営の対立が次第に表面化。

☆世界恐慌の影響がなかったソ連は，一国社会主義を唱える独裁者**スターリン**のもとで，第１次・第２次五カ年計画などを通じ，個人崇拝をともなう独自の中央集権体制を築いていった。

８　日中戦争〔支那（シナ）事変・日華事変〕の展開

①背景

A　**日本**

華北分離工作の推進。

B　**中華民国**

西安事件（1936年）による国共（蔣介石と毛沢東）の接近。

※翌年の**第２次国共合作**につながる。

---

②発端⇒盧溝橋（ろこうきょう）事件（1937年７月７日）

支那駐屯（ちゅうとん）軍が**北京郊外**の**盧溝橋**で中国軍と衝突。組閣直後の**第一次近衛文麿内閣は不拡大方針をとるが，軍部はこれを無視**，軍事行動を拡大。

---

③展開

1937年　いったん停戦が成立したが，このさい抗日運動を屈服させ華北の資源・市場を獲得しようとの意図から，軍部の圧力に屈した内閣も派兵を決定し「**北支事変**（ほくし）」と称した。

↓↓↓

第２次上海事変を契機に戦火は南に拡大。日本政府は「**支那事変**」と改称，**大本営**を設置し，**宣戦布告のないまま**中国に対する全面的な侵略戦争に突入した。

☆日中両国は，アメリカの中立法適用を避けるためもあり宣戦布告せず。

☆**中国では第２次国共合作により抗日民族統一戦線が成立**。

↓↓↓

次々と大軍を投入した日本は，国民政府の首都**南京**を占領。**南京事件**を起こした。

☆蔣介石の国民政府は南京～漢口（かんこう）～**重慶**（じゅうけい）へと退（しりぞ）きつつ，断固抗戦の姿勢をとり続けたので，当初の日本の予想をはるかに超えて全面戦争に発展し，泥沼のような長期戦となった（＝**日中戦争**）。

1938年　**第１次近衛声明**（１月）

☆駐華ドイツ大使トラウトマンによる和平工作が挫折したため，日本自（みずか）ら「爾後（じご）**国民政府を対手**（あいて）**とせず**」と和平の道を閉ざし，国民政府内に蔣介石にかわる人物が現れることを期待した。

第２次近衛声明（11月）

☆戦闘が長期の持久戦となりつつある中，戦争の目的が日・満・華（か）３国連帯による「**東亜新秩序**建設」にあることを声明。秘かに国民政府の要人**汪兆銘**（おうちょうめい）〔**精衛**（せいえい）〕を重慶から脱出させた。

第３次近衛声明（12月）

☆汪兆銘に各地の傀儡政権を統合した親日政権を樹立させるため，その政権に対する根本方針として「**近衛三原則**（善隣（ぜんりん）友好・共同防共・経済提携）」を発表。しかし，期待された国民政府からの大量離脱は起こらなかった。

1940年　汪兆銘が南京に**新国民政府**〔**南京政府**〕を樹立⇒米内光政（よないみつまさ）内閣

☆汪政権は弱体で，中国国民からは黙殺（もくさつ）されて，日本の戦争終結の政略は失敗した。

④結果

日本の中国支配は点と線(都市と鉄道)に留まり，米・英などからの物資搬入路「援蔣ルート」を通じ援助を受けて抗戦を続ける国民政府(中国国民党＋中国共産党)との戦闘は泥沼化していった。

９　日中戦争下の国内体制

①背景

A　準戦時体制の長期化

戦時体制〔総力戦体制〕への転換。

B　軍事費増大による財政膨張（ぼうちょう）とあいつぐ増税

広田弘毅内閣の大軍拡予算が契機となり，赤字国債発行・紙幣増発によるインフレが進行。

☆日中戦争が始まると，第一次近衛文麿内閣は巨額の軍事予算を編成するとともに，直接的な経済統制に踏み切った。

C　国際収支の危機

軍事物資の輸入急増による。

---

②目標

A　**内閣の強化による政治勢力の一元化**

B　経済統制の強化

国内向けの綿製品の生産・販売が禁止されるなど，「不要不急」民需品の生産・輸入を厳しく統制。生活必需品まで品不足となった。

☆「**ぜいたくは敵だ**」「**欲しがりません，勝つまでは**」といったスローガンのもとに消費の切り詰めを強要。

☆経済統制が進むと経済関係の官僚の進出が著しくなり，軍部と結び強力な国防国家を建設しようという動きが活発となった。

C　**全国民による戦争協力体制の確立**

1940年には内閣情報局を設置，出版物・演劇・マス＝メディア（新聞・雑誌・ラジオ・映画）の総合的統制をめざし，戦争遂行のためこれらを利用する方針をとった。

---

③経過

1937年　“戦時三法”の制定（近衛文麿①内閣）

☆**臨時資金調整法**・軍需工業動員法の適用に関する法律・輸出入品等臨時措置法により，軍需産業に資金や輸入資材を集中的に割り当てた。

企画院の設置　　**（近衛文麿①内閣）**

☆経済統制強化の中心機関として内閣に直属。**物資動員計画**や国家総動員法の立案を推進。

☆総力戦を想定した生産力拡充計画も立てられたが，当面の軍需生産に追われ，実現にはほど遠かった。

国民精神総動員運動

☆国家主義〔ナショナリズム〕を鼓吹し，節約・貯蓄など国民の戦争強力を促す。

☆1939年以降，毎月1日を「興亜奉公日」とし，「挙国一致・尽忠報国・堅忍持久」を3目標に運動が展開されたが，期待したほどには高揚しなかった。

1938年　**国家総動員法　（近衛文麿①内閣）**

☆軍部の強い要求で**企画院が立案**。**戦時における人的・物的資源の統制運用・報道統制などを，政府が議会の承認なしに（勅令で）行うことができる**ようにした。

☆これにより，国民生活が政府の全面統制下に置かれた。

電力国家管理法（近衛文麿①内閣）

☆電力の供給を国家が管理。民間の電力会社を単一の国策会社（日本発送電会社）に統合した。

☆これが政府による私企業への介入を強める契機となり，中小企業の強制的整理も進められた。

産業報国会の結成

☆総力戦の遂行に向け労働者を全面的に動員するため，労資一体で国策に協力する団体。産業報国連盟の指導のもとで職場ごとに結成された。

1939年　**賃金統制令**　（**平沼騏一郎内閣**）⇒国家総動員法にもとづく勅令
☆業種別に初任給を公定。
国民徴用令　（**平沼騏一郎内閣**）⇒国家総動員法にもとづく勅令
☆**一般国民の軍需工業などへの強制動員**（いわゆる白紙召集（しろがみ））が始まる。
価格等（とう）**統制令**　（**阿部信行内閣**）⇒国家総動員法にもとづく勅令
☆価格を据（す）え置き，値上げを禁止して**公定価格**制を導入し経済統制を強化。
☆しかし，実際には物資不足とインフレにより**闇**（やみ）**価格**が横行した。

1940年　**米の供出制**（きょうしゅつせい）を実施（米内光政（よないみつまさ）内閣）
☆前年の米穀（べいこく）配給統制法をうけ，**農村から米を強制的に買い上げ，食糧を確保**する政策。
☆政府は生産奨励のために小作料の制限や生産者米価優遇などの措置をとり，地主の取り分を縮小させたが，労働力や生産資材の不足のために，食糧生産は1939年を境（さかい）に低下し始め，**食糧難**が深刻になっていった。
七・七（しち・しち）**禁令**
☆ぜいたく品の製造・販売を禁止。
砂糖・マッチ・木炭が個別の**切符制**を開始
☆42年からは衣料が**総合切符制**となる。
大政翼賛（よくさん）**会**の結成（**近衛文麿②内閣**）
☆**近衛文麿**が始めた**新体制運動**の結果として，**すべての政党が解散して成立**。
☆**総裁を総理大臣**，支部長を北海道庁長官・府県知事とし，のち**大日本産業報国会**・大日本青少年団・大日本翼賛壮年（そうねん）団・**大日本婦人会**・部落会・町内会・**隣組**（となりぐみ）〔隣保班（りんぽはん）〕を下部組織とする，**官製の上意下達**（じょういかたつ）**機関**となった。
☆当初はナチス・ファシスト党のような政党をめざしたが，近衛への権限集中に対する懸念や内部の意見対立などで公事結社（こうじ）（＝政治に関係のない，公共の利益を目的とする結社）となった。
大日本産業報国会の結成
☆産業報国連盟を改組，**すべての労働組合・労働団体を解散して成立**。総裁は厚生大臣。
紀元二千六百年記念式典
☆神武（じんむ）天皇即位（前660年）を記念。返上した東京オリンピックの名目でもあった。

1941年　**米の配給制**を開始

☆翌1942年，**食糧管理法**のもとで米穀通帳制も始まる（通帳制は味噌・醤油にも適用）。

☆のち，いも・小麦粉などの**代用品**の割合が増えた。

国民学校令（近衛文麿②内閣）

☆**“皇国民の錬成”**をめざし，６年の尋常小学校を８年の**国民学校**と改称。教科書『臣民の道』などを使用，皇国史観にもとづく歴史教育が実施された。

☆成人と同様に「**八紘一宇**」の精神を教え，軍国少年・少女を育成した。

〈***Note***〉

第25講　確認問題

1　中国共産党員ではない人物を一人選べ。

①陳独秀　②毛沢東　③周恩来　④蔣介石

2　1927年，中国関係の外交官・軍人を東京に集め，「対支政策綱領」を決定した会議とは？

①東方会議　②大本営政府連絡会議
③大東亜会議　④最高戦争指導会議

3　1930年のロンドン海軍軍縮会議の日本全権とは？

①西園寺公望　②加藤友三郎　③斎藤実　④若槻礼次郎

4　1931年の三月事件・十月事件を起こした陸軍青年将校の秘密結社とは？

①玄洋社　②猶存社　③桜会　④血盟団

5　1932年，赤松克麿が中心となり結成した，国家社会主義の政党とは？

①社会民衆党　②日本国家社会党　③社会大衆党　④日本無産党

6　1935年，２度にわたり国体明徴声明を発した内閣とは？

①斎藤実内閣　②岡田啓介内閣　③広田弘毅内閣　④林銑十郎内閣

7　ワシントン・ロンドン海軍軍縮条約が失効したが，日独防共協定が結ばれた年は？

①1933年　②1936年　③1937年　④1940年

8　満洲に進出した新興財閥「日産コンツェルン」の創始者とは？

①鮎川義介　②野口遵　③大河内正敏　④松下幸之助

9　二・二六事件で殺害された蔵相は？

①鈴木貫太郎　②高橋是清　③渡辺錠太郎　④井上準之助

10　1937年７月７日に起きた，日中戦争の発端となった事件とは？

①万宝山事件　②柳条湖事件　③第１次上海事変　④盧溝橋事件

11　1938年，国家総動員法・電力国家管理法を制定した内閣とは？

①第一次近衛文麿内閣　②平沼騏一郎内閣
③阿倍信行内閣　④米内光政内閣

12　日中戦争のため東京オリンピックが返上された，「紀元二千六百年」とされた年は？

①1936年　②1938年　③1940年　④1942年

解答

1	④	2	①	3	④	4	③	5	②
6	②	7	②	8	①	9	②	10	④
11	①	12	③						

第26講　昭和時代Ⅲ

１　“昭和ファシズム”期の内閣Ⅱ

①近衛文麿（このえふみまろ）内閣（1937年～39年，華族）

元老（西園寺公望）・重臣・軍部・政界・財界・一般民衆の期待を担（にな）う革新政治家として，貴族院議長を辞して組閣。

☆**近衛文麿**は五摂家（近衛・鷹司（たかつかさ）・九条・二条・一条）筆頭の当主。

1937年　**盧溝橋（ろこうきょう）事件**⇒**日中戦争**の勃発

第２次上海事変

第２次国共合作

企画院の設置

国民精神総動員運動の開始

日独伊三国防共協定の締結

南京事件

1938年　第１次近衛声明

国家総動員法

電力国家管理法

張鼓峰（ちょうこほう）事件

第２次近衛声明

第３次近衛声明

---

②平沼騏一郎（きいちろう）内閣（1939年，枢密院）

国家主義団体の国本社（こくほんしゃ）総裁で，検事総長・枢密院議長などを歴任した**平沼騏一郎**が組閣。

1939年　賃金統制令

ノモンハン事件

国民徴用令

アメリカ，日米通商航海条約破棄を通告⇒1940年発効

独ソ不可侵条約の締結

---

③阿部信行内閣（1939年～40年，陸軍）

欧州情勢の激変（独ソ不可侵条約締結）に対応しきれず，突然退陣した平沼内閣の後をうけ，陸軍大将の**阿部信行**が組閣。

1939年　第二次世界大戦開戦

☆**ドイツがポーランドへ侵攻**し，イギリス・フランスはただちに宣戦を布告。ドイツはソ連とポーランドを２分割した後も連戦連勝するが，**日本政府はドイツとの軍事同盟には消極的で，欧州大戦不介入方針をとった。**

価格等統制令

---

④米内光政内閣（1940年，海軍）

日中戦争の解決が不調で総辞職した阿部内閣の後をうけ，穏健な平和主義者である海軍大将の**米内光政**が組閣。

1940年　汪兆銘の新国民政府成立

米の供出制実施

砂糖・マッチ・木炭などの切符制開始

パリ陥落⇒フランスがドイツに降伏

☆日本国内にドイツと結ぶ対米英戦覚悟の南方進出論が急浮上。

☆フランスのド＝ゴールらは降伏を拒否し，ロンドンに亡命政府を組織して抗戦をよびかけ，フランス国内にもレジスタンス〔対独抵抗運動〕が起きた。

近衛文麿による**新体制運動**の開始⇒“バスに乗り遅れるな”

２　北進計画の挫折と南進政策の決定

①日ソ間の紛争

ソ満蒙国境の不明確さから，日ソ両国はしばしば紛争を起こしていた。

☆軍部内には，限定的な戦闘を行い日中戦争に対するソ連の意図を偵察しようという意見が高まっていた。

1938年　張鼓峰事件　（近衛文麿①内閣）

☆朝鮮に近い満ソ国境不明確地帯で**日ソ両軍が激突，日本が大敗した。**

1939年　ノモンハン事件（平沼騏一郎内閣）

☆**満蒙国境付近**で日本軍とソ連・モンゴル軍が激突。**ソ連の大戦車（せんしゃ）軍団に日本軍が大敗を喫した。**

アメリカ，日米通商航海条約の破棄を通告，経済封鎖を開始（翌年発効）。

☆日中戦争における日本の姿勢に抗議していたため。

↓↓↓

ノモンハンでソ連との激戦中に，**独ソ不可侵（ふかしん）条約**が締結される。

☆前年のドイツ提案により，日独伊三国防共協定を，英仏も仮想敵国とする軍事同盟に発展させるべきか，閣内対立まで起こしつつ評議していた**平沼内閣**（有田八郎（はちろう）外相）**は衝撃を受け，方向性を見失い総辞職**した。⇒「**欧州の天地は複雑怪奇…**」

---

②南進政策の決定

第二次近衛文麿内閣以降の内閣は，南進政策を決定。対米英戦を覚悟のうえで，ドイツとの提携を強化。

Ａ　理由

あ　**軍需物資（石油・ゴム・ボーキサイトなど）の不足**

☆日中戦争の長期化およびアメリカによる経済封鎖の影響。

い　南方の植民地（仏印（ふついん）・蘭印（らんいん））が宗主国を喪失

☆ヨーロッパにおけるドイツの快進撃により，フランス・オランダが降伏。

☆**仏印〔フランス領インドシナ〕**はベトナム・ラオス・カンボジア，**蘭印〔オランダ領東インド〕**はインドネシアのこと。

う　米英による，仏印・ビルマ経由の“**援蔣（えんしょう）ルート**”**遮断（しゃだん）**の意図

☆その他の援蔣ルートには，香港（ホンコン）（英），新疆（しんきょう）（ソ）経由のものがある。

B　経過

1939年　阿部信行内閣成立

☆この年にヨーロッパで勃発した第二次世界大戦には不介入の方針。

1940年　米内光政内閣成立

☆引き続き欧州大戦不介入方針をとるが，議会における**斎藤隆夫（立憲民政党）**の**反軍演説**を契機に，軍部による政界の「親英米派」攻撃が始まる。

☆斎藤は軍部の圧力により衆議院議員を除名される。

↓↓↓

枢密院議長を退いた**近衛文麿**が「**新体制運動**」推進を表明。

☆近衛の首相就任を期待する軍部は，軍部大臣現役武官制を利用（畑俊六（しゅんろく）陸相が辞任）して米内内閣を総辞職に追い込む。

↓↓↓

第二次近衛文麿内閣成立

☆「**大東亜共栄圏**の建設」がスローガン。

☆組閣に先立ち，**欧州大戦不介入方針からの転換，ドイツ・イタリア・ソ連との提携強化，積極的な南進政策**を決定。

↓↓↓

北部仏印進駐，日独伊三国同盟締結

☆**南進政策を実行**し，（防共協定時のソ連にかわり）**アメリカを仮想敵国とする軍事同盟**をベルリンで調印。

☆**日本と米英の対立は決定的となり，**態度を硬化させたアメリカは，日本に対する**屑鉄（くずてつ）・鉄鋼**・航空機用ガソリン**の輸出を禁止**するとともに，中国に対する援助を強化した。

３　開戦前夜の情勢

①第二次近衛文麿内閣（1940年７月～41年７月）

A　**日米関係の悪化**

アメリカはアジアとの自由な交易関係維持を重要な国益と認識していたため，日本が日・満・華の「円ブロック」強化に乗り出すと，これを自らの東アジア政策への挑戦とみなし，日米間の貿易額を減少させていた。

あ　**日米通商航海条約破棄通告（1939年）⇒1940年に発効**

☆**「ABCD包囲陣」**による経済封鎖の開始。日本の軍需資材入手は極めて困難になった。

い　**北部仏印進駐，日独伊三国同盟締結（1940年）**

☆アメリカは日本に対する**屑鉄・鉄鋼**・航空機用ガソリンの輸出を禁止。

B　**日米交渉**開始（1941年４月）

野村吉三郎（きちさぶろう）駐米大使と**ハル国務長官**。

C　**日ソ中立条約（1941年４月）**

松岡洋右（ようすけ）外相とモロトフ外相がモスクワで調印。

☆**有効期限５年，破棄のためには満期１年前の不延長通告が必要。**

☆松岡外相の強硬方針（＝日独伊ソの四国協商構想）により，日米交渉は難航。

D　**独ソ戦開始**　（1941年６月）

ドイツが独ソ不可侵条約を無視。

☆ドイツのバルカン半島進出が，そこに関心をもつソ連との関係を緊張させていた。

☆ソ連は大きな損害を出しながらも押し返し，これを機にイギリスと同盟を結び，43年には英・米と協調を深めるためコミンテルン〔国際共産党〕を解散した。

E　情勢の推移にともなう**帝国国策要綱（ようこう）**（1941年７月２日の**御前会議**）

軍部の主張により，対米英戦覚悟の南方進出と情勢有利の場合の対ソ戦（北進）とを決定した（＝南北併進）。

☆**大本営政府連絡会議**が天皇臨席の下で開かれる場合，御前会議という。

↓↓↓

陸軍はシベリアなどの占領計画を立て，**関東軍特種演習〔関特演〕**という名目で，約70万の兵力を満ソ国境に結集した。

☆結局はソ連がドイツを押し返したことから南進実行となり，翌月に中止される。

☆ソ連の大軍を満ソ国境に釘付けにし，独ソ戦における被害を甚大（じんだい）にしたので，中立条約を結ぶ日ソ関係に悪影響を及ぼした。

---

②第三次近衛文麿内閣（1941年７月～10月）

対米強硬方針を貫こうとする松岡外相を除くため，いったん総辞職して再組閣。

A　日米交渉再開（1941年７月～）

日本の撤兵問題で難航。

B　**南部仏印進駐（1941年７月）**

「**ABCD包囲陣**」による経済封鎖の打開をめざし，すでに決定されていた進駐を実行。

☆アメリカは**在米日本資産凍結**（７月）・**対日石油禁輸**（８月）措置をとり，日米関係が険悪化。イギリスも日本に日英通商航海条約破棄を通告した。

☆これまで消極的だった海軍内でも，２年程度しかない国内石油備蓄が尽きる前に開戦し，南方の石油資源を確保すべきだという意見が浮上した。

C　**帝国国策遂行要領（1941年**９月６日の**御前会議）**

10月上旬までに対米交渉がまとまらない場合の開戦（英・蘭を含む）を決定。

↓↓↓

アメリカは，日本軍の中国からの全面撤退・日独伊三国同盟の事実上の死文化を要求。

☆日米ともに妥協点を見い出せないまま，10月半ばを迎える。

↓↓↓

日米交渉継続派の近衛文麿首相と，交渉打切り・開戦を主張する東条英機陸相が対立。10月16日に第三次近衛文麿内閣は総辞職。

---

③東条英機内閣（1941年10月～44年７月）

９月６日の御前会議決定の白紙還元を条件に，重臣会議の中心であった**内大臣木戸幸一**が**東条英機**陸相を首相に推挙。

☆東条首相は内相・陸相も兼任，外相は東郷茂徳(しげのり)。

A　日米交渉の継続

特命全権大使来栖三郎(くるすさぶろう)も渡米し交渉に参加していたが，国内では，開戦決意の対米最終案が決定。

☆11月５日の**御前会議**で交渉打切りが決定。

B　**ハル＝ノート**　　　　　**（1941年**11月26日）

満洲事変以前の状態への復帰を要求する，最後通告に等しいものだったので，交渉成立は絶望的となった。

あ　満洲国・汪兆銘政権〔新国民政府〕の否認

い　中国・仏印からの全面的無条件撤退

う　日独伊三国同盟の実質的破棄

C　**御前会議**で開戦が最終決定（1941年12月１日）

D　**太平洋戦争開戦**　　　　　**（1941年12月８日）**

開戦ののち，政府は支那事変〔日中戦争〕を含め「**大東亜戦争**」とよぶことに決定した。

あ　陸軍による英領マレー半島コタバル奇襲(きしゅう)上陸

い　海軍による**ハワイ奇襲〔真珠湾攻撃〕⇒連合艦隊司令長官山本五十六(いそろく)**

☆米・英への宣戦布告は，真珠湾攻撃開始後にずれ込んだ。このため，「リメンバー＝パールハーバー〔真珠湾を忘れるな〕」を標語にアメリカの反日世論は沸騰した。

☆西海岸に住む**日系アメリカ人が各地の収容所に収容された**ので，1988年，レーガン大統領が収容者に対する謝罪と補償を行った。

４　太平洋戦争〔大東亜戦争〕

①東条英機内閣（1941年～44年，陸軍）

日本の対アメリカ宣戦とともに，ドイツ・イタリアも宣戦し，**第二次世界大戦はヨーロッパのみならずアジア・太平洋に拡大**した。米・英・ソ（日本とは中立）などは**連合国**，日独伊は**枢軸国**とよばれた。

1941年　陸軍による英領マレー半島コタバル上陸
海軍による真珠湾攻撃
太平洋戦争開戦
☆日本はこの戦争を“鬼畜米英”の脅威に対する自衛措置としていたが，欧米の植民地支配からのアジア解放，「**大東亜共栄圏**」建設といったスローガンのもとで戦域が拡大していった。
☆開戦後，政府は民需工場を軍需工場へ転用するなど軍需生産最優先策をとる一方で，国民に生活を切り詰めさせ兵力（いわゆる赤紙召集）・労働力として動員した。
マレー沖海戦
☆イギリス東洋艦隊の主力に打撃を与える。
香港占領

1942年　米領フィリピンのマニラを占領（１月）
英領マレー占領（２月）
英領シンガポール占領
☆数万人の華僑（かきょう）・華人（かじん）（中国系住民）を虐殺。
日系アメリカ人の強制収用開始（２月）
オランダ領東インド〔蘭印〕占領（３月）
ビルマ（現ミャンマー）のラングーン占領（３月）
☆のちタイ（東南アジア唯一の独立国）とビルマを結ぶ泰緬（たいめん）鉄道を建設した。
翼賛選挙（４月）
☆政府の援助を受けた翼賛政治体制協議会の推薦者が絶対多数を獲得。議会は政府の提案に承認を与えるだけの機関に成り果てる。
☆当選議員は挙国一致的な政治結社として**翼賛政治会**（のち大日本政治会）を結成。
☆鳩山一郎・尾崎行雄・片山哲・芦田均（ひとし）らは非推薦ながら当選した。
米領フィリピン占領（５月）

☆太平洋方面司令官マッカーサーはいったん撤退。米軍捕虜に対し“バターン死の行進”？

ミッドウェー海戦（６月）

☆日本機動部隊が大敗北。**制海・制空権を失い戦局が悪化。**

アメリカ，ソロモン諸島のガダルカナル島上陸作戦開始（８月）

☆アメリカの対日反攻作戦が本格化し，日米の攻守が交替。

横浜事件

☆特別高等警察がねつ造した言論弾圧事件。総合雑誌『中央公論』『改造』が廃刊となる。

大東亜省の設置（11月）

1943年　**ガダルカナル島撤退（２月）**

アッツ島玉砕（ぎょくさい）（５月）

学徒動員〔勤労動員〕開始（６月）

☆中等学校以上の男子学生が対象。

☆また，数十万人の朝鮮人や中国人，占領地の人々も強制連行・動員され，内地・中国・樺太・南洋・その他の占領地などの土木作業や鉱山労働を強いられた。

女子挺身隊（ていしんたい）（９月）

☆25歳未満の**未婚の女子を勤労動員。**

イタリア新政府の無条件降伏（９月）

☆戦局は連合国の守勢から攻勢へと転換。９月30日の御前会議では，千島・小笠原・マリアナ・カロリン・西ニューギニア・ビルマを含む**絶対国防圏**まで防衛ラインを後退させることを決定した。

大東亜会議（11月）

☆**東京**に日本・満洲国・南京の汪兆銘（おうちょうめい）政権・タイ・ビルマ・自由インド仮政府・フィリピンの代表が集結。アジアの欧米植民地からの脱却を唱え結束を誇示（こじ），「大東亜共同宣言」を発表。

☆欧米列強にかわる日本の占領支配は，アジア解放の美名に反し，戦争遂行のための資材・労働力調達を最優先するものだったので，住民の反感・抵抗が次第に高まった。

☆日本軍は東南アジア諸国占領のさい，解放軍として歓迎を受けることもあった。しかし，多くの地域で軍政が敷かれ，現地の文化や生活様式を無視して，日本語学習や天皇崇拝・神社参拝が強要された。

カイロ会談（11月）

☆米・英・中が**カイロ宣言**を採択。

テヘラン会談（12月）

☆米・英・ソが連合軍の北フランス（ノルマンディー）上陸作戦を協議。

学徒出陣（12月）

☆大学・高等学校・専門学校に在学中の文科系学生の徴兵猶予（ゆうよ）を停止。軍隊に動員された男性は400万～500万人に達したので，国内労働力が絶対的に不足した。

☆朝鮮では1943年，台湾でも44年に徴兵制が施行された。また，戦地に設置された慰安施設には，朝鮮・中国・フィリピンなどから女性が集められた（いわゆる**従軍慰安婦**（いあん））。

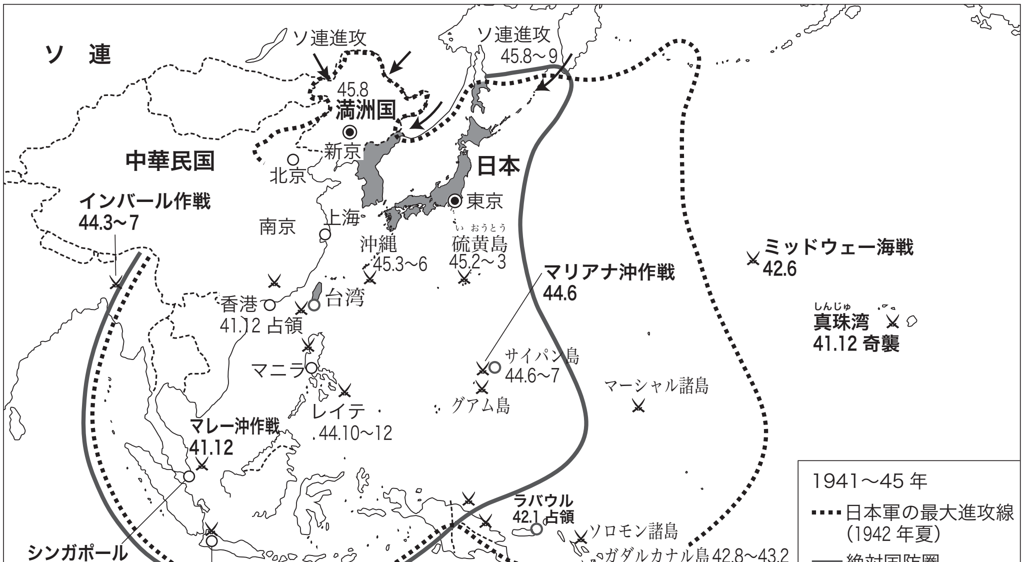
1944年　マリアナ沖海戦に敗北（６月）

印領インパール作戦失敗（７月）

☆援蔣ビルマルートの遮断に失敗。

サイパン島陥落（７月）

☆絶対国防圏の一角が崩壊。サイパンなど**マリアナ諸島陥落の責任を負い，東条英機内閣は総辞職。**



②小磯国昭内閣（1944年～45年，陸軍）

陸軍の**小磯国昭**に海軍の米内光政が協力する，陸海軍の連立内閣が成立。

1944年　大本営政府連絡会議にかわり**最高戦争指導会議**を設置

☆首相の権限を強化。

学童疎開〔集団疎開〕の開始（８月）

フィリピンのレイテ島海戦に敗北（10月）

☆**神風特別攻撃隊〔特攻隊〕**が出撃，戦艦武蔵を失う。

本格的な**本土空襲**開始（11月）

☆サイパン島の基地から飛来する米軍機の焼夷弾により，主要都市が無差別爆撃される。

☆都市では，建築物の強制取り壊しや**防空壕**の掘削が行われ，軍需工場の地方移転や住民の縁故疎開も行われた。

1945年　アメリカ軍，フィリピンを奪回（１月）

アメリカ軍，硫黄島に上陸（２月）

ヤルタ会談（２月）

☆米英ソが**ヤルタ協定**を締結。

国民勤労動員令（３月）

東京大空襲（３月10日）

☆約300機のB 29爆撃機により，わずか一夜で約10万人が焼死した。

アメリカ軍，沖縄本島に上陸（４月）

☆持久戦態勢をとった沖縄は“捨て石”扱い。**沖縄戦**では軍人約９万人の他，**民間人約10万人が犠牲となり**，日本軍による**住民虐殺**や**集団自決**も行われた。

☆男子中学生は**鉄血勤皇隊**，女学生は**女子学徒隊**（**ひめゆり部隊**など）として戦闘に参加。沖縄救援に向かった世界最大の戦艦**大和**も撃沈される。

小磯内閣は蔣介石との和平工作に失敗。軍部の本土決戦論と対立して総辞職した。

③**鈴木貫太郎内閣（1945年，海軍）**

侍従長を長く務め，昭和天皇の信頼が厚い**鈴木貫太郎**が，戦争終結を期待され後継内閣を組閣した（東郷茂徳外相）。

1945年　ソ連，日ソ中立条約不延長を通告（４月）

☆鈴木内閣は，ソ連に和平交渉の仲介を依頼しようとしたが，空振りに終わる。

ドイツ無条件降伏（５月）

沖縄戦終結（６月）

花岡事件（６月）

☆秋田県の花岡鉱山で中国人労働者が蜂起。

ポツダム会談（７月）

☆米英中の名で**ポツダム宣言**を採択（のちソも参加）。

アメリカ，広島に史上初の原爆投下（８月６日）

☆被爆後５年間に20万人以上が死亡。

ソ連参戦（８月８日）

☆**日ソ中立条約の破棄と日本への宣戦を布告**。翌９日に満洲・朝鮮・樺太へ一挙に侵攻。満蒙開拓団・満蒙開拓青少年義勇軍など在満日本人の悲劇（関東軍はすでに壊滅），**シベリア抑留問題・中国残留孤児問題**などの発生。

アメリカ，長崎に原爆投下（８月９日）

☆被爆後20年間に14万人以上が死亡。

ポツダム宣言受諾（８月14日）

☆日本，昭和天皇の“聖断”により**無条件降伏**を決定し，連合国に通告。

天皇による**玉音放送（８月15日）**

☆正午のラジオ放送で戦争終結を国民に発表。現在の終戦記念日。

５　戦争処理会談

連合国側が早くから反ファシズムを掲(かか)げ，**大西洋憲章（1941年）**により新たな戦後秩序を示して多くの支持を集めたのに対し，枢軸国側はそれぞれの支配権確立をめざすだけで，世界に訴える普遍的理念をもたなかった。また，暴力的な占領地支配は，民衆の広い抵抗運動をよび起こした。

☆その結果，枢軸国側は，事実上全世界を敵に回すことになり敗北した。**第二次世界大戦（1939年～45年）**の犠牲者は，軍人・民間人を合わせ数千万にのぼり，そこには人種的・宗教的差別による追放や大量殺害も含まれ，戦後も各地で多くの難民を生んだ。

☆**米ソ**両国は，連合国側の勝利に決定的役割を果たし，戦後世界での指導的地位を認められた（**1945年，国際連合**発足）。ヨーロッパは，世界の中心から，諸地域の一つに後退した。

①カイロ会談（1943年11月，エジプト）

フランクリン=ローズヴェルト（米）・チャーチル（英）・蔣介石（中）が**カイロ宣言**を採択。

A　侵略目的の領土の不拡大

B　南洋諸島の剥奪(はくだつ)

C　満洲・台湾・澎湖(ほうこ)諸島の中国返還

D　朝鮮の独立

E　無条件降伏受諾(じゅだく)までの**日本に対する連合国の徹底的攻撃**

---

②ヤルタ会談（1945年２月，ソ連クリミア半島）

フランクリン=ローズヴェルト（米）・チャーチル（英）・スターリン（ソ）が**ヤルタ協定**を締結。

A　ドイツの戦後処理問題

B　**秘密協定**として，ドイツ降伏から２～３カ月後の**ソ連の対日参戦**と，ソ連への南樺太返還および千島列島の譲渡，旅順・大連の自由港化を約束。

---

③ポツダム会談（1945年７月，ドイツのベルリン郊外）

トルーマン（米）・チャーチルのちアトリー（英）・スターリン（ソ）が**ポツダム宣言**を発表（**米・英・中の名で，のちソも参加**）。

A　ヨーロッパの戦後処理問題

B　アメリカは対日方針をイギリスに提案

☆軍国主義の絶滅・連合国の日本占領・カイロ宣言にもとづく領土制限・戦争犯罪人の処罰と民主化の促進などを掲げ，日本の**無条件降伏**を勧告。

６　戦後の内閣Ⅰ

①東久邇宮稔彦内閣（1945年，皇族）

ポツダム宣言受諾とともに鈴木貫太郎内閣は総辞職し，敗戦直後の国民心理を考え，皇族の**東久邇宮稔彦**が組閣。

☆連合国軍の進駐受入れ，旧日本軍の武装解除，降伏文書調印を円滑に遂行したが，**「一億総懺悔」「国体護持」**を唱え，人権指令を機に占領政策と対立し総辞職した。

1945年　連合国軍総司令部〔GHQ〕の設置

降伏文書調印（９月２日）

☆東京湾内のアメリカ軍艦**ミズーリ号**上で，**重光葵外相・梅津美治郎参謀総長**が調印。

プレス＝コードおよびラジオ＝コード指令

☆GHQの最高司令官が発する**ポツダム勅令**（のちポツダム政令）は，憲法を越える拘束力をもち，一切の批判は許されなかった。

人権指令〔自由制限撤廃指令〕

☆治安警察法・治安維持法・特別高等警察の廃止，政治犯の即時釈放，**天皇制に関する自由な議論の奨励**など。

②幣原喜重郎内閣（1945 年～46 年，官僚）

ワシントン体制のもとで協調外交を展開し，米英にも知られた**幣原喜重郎が**組閣。

1945 年　五大改革指令

☆憲法の自由主義化に加え，**最高司令官〔SCAP〕のマッカーサーが**口頭で指令。

☆①**婦人の解放**〔婦人参政権の付与〕②**労働組合結成の奨励**③**教育の自由主義化**④**圧政的諸制度の撤廃**〔秘密警察などの廃止〕⑤**経済の民主化。**

衆議院議員選挙法改正（12 月）

神道指令〔国家と神道の分離指令〕

☆政府による神社・神道への支援・監督を禁止。

1946 年　天皇の人間宣言〔神格否定詔書〕（１月１日）

☆「現御神」としての天皇の神格を自ら否定。

金融緊急措置令

戦後初の総選挙（４月）

７　日本の占領方式

①“ましな占領”

実質的には**アメリカ軍単独占領による間接統治**方式。この事が，日本をドイツのような分裂に追い込まず自由主義陣営に組み入れることにつながり，また，日本人の占領軍への抵抗を緩和（かんわ）することとなった。

A　朝鮮半島北部・南樺太・千島（ちしま）列島
　ソ連軍が直接軍政により統治。

B　**朝鮮半島南部・奄美（あまみ）諸島・小笠原諸島・琉球諸島**を含む南西諸島
　アメリカ軍が直接軍政により統治。

C　台湾・澎湖（ほうこ）諸島
　中国に返還。

---

②極東委員会〔FEC〕（1946年，ワシントンに設置）

A　**連合国による対日占領政策決定の最高機関**
　「中間指令」権をもつ**アメリカ政府**に基本方針を伝える。

B　**米・英・ソ・中**・仏・蘭・カナダ・オーストラリア・ニュージーランド・インド・フィリピンの11カ国（1949年にビルマ・パキスタンが参加）。
　☆**米・英・ソ・中の４カ国は拒否権をもつ**。議長国はアメリカ。

---

③連合国軍総司令部〔GHQ〕（1945年，東京に設置）

A　日本占領のために設けられた連合国軍の総司令部。**アメリカ軍のみで構成。**

B　**最高司令官〔SCAP（スキャップ）〕はマッカーサー**元帥（げんすい）

C　**日本政府**に**指令・勧告**を発し，**間接統治**方式をとる。

---

④対日理事会〔ACJ〕（1946年，東京に設置）

A　日本占領に関するGHQ・SCAPの諮問（しもん）機関

B　**米・英・ソ・中の４カ国**。議長国はアメリカ。
　☆農地改革を除き，大きな影響力をもたず。

８　婦人の解放⇒五大改革①

①衆議院議員選挙法改正（1945年12月，幣原喜重郎内閣）

20歳以上の成人男女に選挙権を付与(ふよ)（全人口の50.4％）

☆大選挙区制を採用，被選挙権は25歳以上。

---

②戦後初の総選挙（1946年４月，幣原喜重郎内閣）

39名の女性議員が誕生。

第１党　日本自由党（旧立憲政友会系）　⇒鳩山一郎・吉田茂(しげる)ら

☆翼賛選挙（1942年）時の非推薦議員を中心に結成。

第２党　日本進歩党（旧立憲民政党系）　⇒町田忠治(ちゅうじ)ら

☆翼賛政治体制協議会（のち大日本政治会）に属していた議員を中心に結成。

第３党　日本社会党（旧無産政党を統合）　⇒片山哲(てつ)ら

その他　日本協同党

☆労資協調を掲げる。

日本共産党（合法化）　⇒徳田球一(とくだきゅういち)ら

↓↓↓

日本自由党は，GHQの後押しにより日本進歩党の協力を得て，選挙後に公職追放となった鳩山一郎にかわる**第一次吉田茂内閣**を成立させる。

☆吉田は戦前からの親英米派外交官。**戦後初の政党内閣。**

---

③法の改正（1947年）

旧刑法・旧民法の一部を改正。新刑法・新民法では，**法的に男女平等**となる。

９　労働組合結成の奨励⇒五大改革②

①労働三法の制定

A　**労働組合法**　（1945年，幣原喜重郎内閣）

労働三権（団結権・団体交渉権・争議権）の保障，労働委員会の規定。

B　**労働関係調整法**　（1946年，第一次吉田茂内閣）

斡旋（あっせん）・調停・仲裁などの争議調整法や，争議行為の制限を規定。

C　**労働基準法**　（1947年，第一次吉田茂内閣）

１日８時間・週48時間労働，年次有給休暇，女子・年少者の深夜就業禁止など，労働条件の最低基準を規定。

---

②メーデーの復活（1946年，第一次吉田茂内閣）

A　戦後初のメーデー（５月１日）

1935年以来のメーデー。

B　**食糧メーデー**　（５月19日）

日本共産党の指導による飯米（はんまい）獲得人民大会に約25万人が参加，GHQはこれを「暴民デモ許さず」と否認。

---

③労働組合の結成（1946年，第一次吉田茂内閣）

戦前に最高40万人であった組合員は，1948年には660万人に達した。

☆教職員・国鉄職員など官公庁労働者の組織化が進み，民間でも各企業を単位に全従業員が参加する形式（＝**企業別組合**）で，労働組合が次々に結成された。

A　**日本労働組合総同盟**　〔**総同盟**〕（＝**右派**）

都道府県別に連合，**日本社会党系**。

B　**全日本産業別労働組合会議〔産別会議〕（＝左派）**

産業別に統合，**日本共産党の指導**。

---

④GHQ・政府の方針転換⇒労働運動抑圧へ

A　**二・一ゼネスト計画（1947年，第一次吉田茂内閣）**

全官公庁共同闘争委員会に結集した公務員を中心に，賃上げと吉田内閣打倒をめざし，２月１日を期して基幹産業を巻き込むゼネラル＝ストライキへの突入が決定された。

☆しかし，**前日にGHQの中止指令が出て不発に終わった。**

B　**労働省**の設置　　　**（1947年，片山哲内閣）**

C　**政令201号**　　　**（1948年，芦田均内閣）**

国家公務員の争議〔ストライキ〕を禁止。

D　**国家公務員法の改正（1948年，第二次吉田茂内閣）**

政令201号を法律化。国家公務員の争議権・団体交渉権を剥奪，かわりに人事院を設置。

☆さらに，行政機関職員定員法〔定員法〕による人員整理を強行。

---

⑤国鉄三大怪事件（1949年，第三次吉田茂内閣）

国鉄人員整理発表直後のため，国鉄労働組合と日本共産党の関与によるとみられ，労働運動は大打撃を受けた。

☆一連の事件の真相は，現在でも不明。

A　**下山事件（東京都）**

国鉄総裁下山定則が，常磐線綾瀬駅付近において轢死体で発見される。

B　**三鷹事件（東京都）**

中央線三鷹駅構内で無人電車が暴走。国鉄労組員が犯人とされ，人員整理反対闘争が大打撃を受けた。

C　**松川事件（福島県）**

東北本線松川駅付近で列車が脱線・転覆。国鉄労組員・共産党員が検挙されたが，のちに無罪が確定した。

---

⑥労働組合の分裂

日本労働組合総評議会〔総評〕の結成（1950年）

☆激しいレッド・パージ〔赤狩り〕の過程で，GHQの支援を受けて産別会議から右派が分裂，総同盟と合同して結成。**日本社会党支持**を掲げ勢力を拡大した。

10　教育の自由主義化⇒五大改革③

①教育改革指令（1945年～）

A　軍国主義・超国家主義的教育の禁止

B　**教職追放**

1946年～47年に出された“ポツダム政令”で，職業軍人・軍国主義者・国家主義者が追放される。

C　**修身・日本歴史・地理の授業一時停止**

1947年からの新学制により，道徳・社会科として再出発。

D　その他

墨塗り教科書・青空教室など。

---

②アメリカ教育使節団の来日（1946年，幣原喜重郎）

GHQの要請でニューヨーク州の教育長官らが来日，教育の民主化を勧告。

☆日本側は教育刷新委員会を結成。

---

③教育基本法　（1947年，第一次吉田茂内閣）

教育の機会均等，**男女共学**の原則，**義務教育９年制**など。

☆のち2006年に改正（第一次安倍晋三内閣）。

---

④学校教育法　（1947年，第一次吉田茂内閣）

六・三・三・四制の新学制が発足。

☆大学も大幅な増設により大衆化（＝新制大学）し，女子大学生も増加した。

---

⑤教育勅語の失効（1948年，芦田均内閣）

---

⑥教育委員会法　（1948年，芦田均内閣）

　教育行政の地方分権化をはかり制定。都道府県・市町村ごとの教育委員会発足(ほっそく)は同年の第二次吉田茂内閣。

☆当初は**公選制**であったが，のち新教育委員会法により，地方公共団体首長による**任命制**となった(1956年，第二次鳩山一郎内閣)。

11　圧政的諸制度の撤廃⇒五大改革④

①戦犯容疑者の逮捕（1945年，東久邇宮稔彦内閣～）

極東国際軍事裁判所が**東京**に設置され“**A級戦犯**”７名が，ソ連を除く世界各地で“Ｂ・Ｃ級戦犯”984名が死刑，475名が終身刑となる。

Ａ　**A級戦犯**

「平和に対する罪」に問われた戦争犯罪人。

Ｂ　Ｂ級戦犯

戦時国際法を侵した非人道的行為の実行責任者。

Ｃ　Ｃ級戦犯

戦時国際法を侵した非人道的行為の実行者。

---

②暗黒政治の排除（1945年，幣原喜重郎内閣）

Ａ　政治犯の釈放

日本共産党員の徳田球一ら。

Ｂ　**治安警察法・治安維持法の廃止**

Ｃ　秘密警察である**特別高等警察〔特高〕の廃止**

Ｄ　**内務省の廃止**（1947年）

---

③公職追放令（1946年，幣原喜重郎内閣）⇒1950年に解除

Ａ　政界・官界・財界・言論界などの公職から戦争犯罪人・職業軍人・超国家主義者・大政翼賛会有力者ら約21万名が職を追われる（～1948年５月）。

Ｂ　超国家主義団体の解散

---

④極東国際軍事裁判〔東京裁判〕
（1946年～48年，第一次～第二次吉田茂内閣）

A　起訴されたＡ級戦犯容疑者28名に対する裁判

裁判長はオーストラリア人ウェッブ，首席検事はアメリカ人キーナン。

B　25名全員（松岡洋右ら２名は病死・大川周明は発狂）が有罪

東条英機・広田弘毅(こうき)ら７名は絞首刑(こうしゅけい)。未起訴のＡ級戦犯容疑者（岸信介(きしのぶすけ)・笹川良一(ささかわりょういち)ら）は全員釈放。

☆日本占領の円滑化(えんかつか)を考慮し，**昭和天皇の戦争責任は追及せず。**

C　**インドのパル判事は全員無罪を主張**

この裁判は原爆投下など連合国側の所業(しょぎょう)は不問とされたため“勝者の裁き”の側面をもち，また，旧植民地代表の意見が十分に反映されないなどの問題点を残した。

☆オランダのレーリンク判事は「この裁判を平和探究の手掛かりに」という意見を出した。

12　経済の民主化Ⅰ（財閥解体）⇒五大改革⑤

①目的

軍国主義の温床・潜在的な戦争遂行力である財閥を解体。

☆持株の分散・人的結合の排除。

☆株式所有による財閥の傘下（さんか）企業支配を一掃（いっそう）しようとした。

---

②経過

1945年　三井・三菱・住友・安田など15財閥の資産凍結・解体を指令

1946年　**持株会社整理委員会**の発足（ほっそく）

☆指定された持株会社・制限会社として指定を受けた企業および財閥家族の所有する株式などの譲渡を受け，一般に売り出す。

1947年　**独占禁止法〔独禁法〕（第一次吉田茂内閣）**

☆正式名称は「**私的独占**の禁止及び**公正取引**の確保に関する法律」。持株会社やカルテル・トラストなどが禁止され，監視機関として**公正取引委員会〔公取委〕**が設置される。

☆1948年以降しばしば緩和（かんわ）されながらも**現存する**。

過度経済力集中排除法（片山哲内閣）

☆財閥系に限らず，各産業部門の巨大独占企業の分割･再編成を命じる。しかし，占領政策の転換により，翌年に指定を受けた**325社**のうち，実際に分割された企業はわずか**11社**（**日本製鉄**・三菱重工など）にすぎなかった。

---

③結果

財閥の中心である大銀行が解体されず，不徹底に終わる。

☆過度経済力集中排除法で分割を免れた財閥系銀行が中心となり，やがて新たな**企業集団**（六大企業集団）が形成されていった。

☆企業集団は，銀行の系列融資・株式の相互持合い･商社が媒介（ばいかい）する集団内取引，社長会などによる人的結合などを特徴とする諸企業の連合体で，戦前の財閥とは異なる。

〈***Note***〉

13　経済の民主化Ⅱ（農地改革）⇒五大改革⑤

①目的

軍国主義の温床である寄生地主制を解体する。

☆寄生地主制の解体・自作農の創設。

---

②経過

1945年　農地改革指令　　（幣原喜重郎内閣）

1946年　第一次農地改革案（**幣原喜重郎内閣**，松村謙三（けんぞう）農相）

A	**法　　律**	**農地調整法改正**（1945年）
B	**不在地主**	**小作地の保有は認めず**
C	**在村地主**	小作地の保有は**５町歩**を限度とする
D	**譲渡方法**	**地主・小作間の協議売買**
E	**農地委員会**	**地主５：自作５：小作５**の割合で選ばれる
F	**小 作 料**	**金納，小作人の希望で物納も可**
G	**結　　果**	**GHQは改革不徹底として再改革を指令**

1946年～第二次農地改革　（第一次吉田茂内閣，和田博雄（ひろお）農相）

A	**法　　律**	農地調整法再改正・**自作農創設特別措置（そち）法**
B	**不在地主**	**小作地の保有は認めず**
C	**在村地主**	小作地の保有は**１町歩（北海道は４町歩）**を限度とする
D	**譲渡方法**	**国家が強制買収のうえで小作人に売却**
E	**農地委員会**	**地主３：自作２：小作５**の割合で選ばれる
F	**小 作 料**	**金納**，最高限度は田25％・畑15％
G	結　　果	小作地の比率は改革前の47％から10％へと減少。小作農の比率は改革前の27％から５％へと減少した。

---

③結果（1950年までにほぼ完了）

全小作地の80％以上を解放，自作農が大量に創出される。

☆従来の大地主は，経済力と社会的威信とを失った。

---

④問題点

A　**山林地主の残存**

B　水利権の民主化は実現せず

C　地主保有地の一部残存

☆家族分与が可能であったため。

D　**農業経営規模の零細化**

---

⑤その他

1946年　日本農民組合の再結成

1947年　全国農民組合の結成（日本農民組合から右派が分裂）

各地に**農業協同組合〔農協〕**が設立

1952年　農地法

☆従来の農業関連法を一本化したもの。農地改革の成果を維持しようとした。

第 26 講　確認問題

1　1939 年，ノモンハン事件でソ連と戦闘中に締結され，衝撃を受けた平沼騏一郎内閣が退陣したきっかけとは？

①日独防共協定　②日独伊三国防共協定
③独ソ不可侵条約　④独ソ戦争開始

2　1941 年の真珠湾攻撃時の連合艦隊司令長官とは？

①東条英機　②山本五十六　③東郷茂徳　④鈴木貫太郎

3　1942 年に特別高等警察がでっちあげた言論弾圧事件とは？

①白虹事件　②滝川事件　③三・一五事件　④横浜事件

4　1943 年のカイロ会談と関係のない国を一つ選べ。

①アメリカ　②イギリス　③中国　④ソ連

5　1945 年，日本がポツダム宣言を受諾した日は？

①８月６日　②８月９日　③８月 14 日　④８月 15 日

6　ポツダム会談に参加していたアメリカ大統領とは？

①フーヴァー　②フランクリン＝ローズヴェルト
③トルーマン　④アイゼンハワー

7　1946 年正月の「天皇の人間宣言」時の首相とは？

①鈴木貫太郎　②東久邇宮稔彦　③幣原喜重郎　④吉田茂

8　東京に設置されたGHQの諮問機関とは？

①枢密院　②極東委員会　③対日理事会　④公正取引委員会

9　1946年の戦後初の総選挙で第一党となった党とは？

①日本自由党　②日本進歩党　③日本社会党　④日本共産党

10　1949年の「国鉄三大怪事件」ではないものを一つ選べ。

①下山事件　②三鷹事件　③松川事件　④砂川事件

11　1947年に制定され，緩和されながらも現存する法とは？

①治安警察法　②治安維持法
③独占禁止法　④過度経済力集中排除法

12　第二次農地改革で在村地主に認められた小作地の保有面積とは？

①１町歩　②３町歩　③５町歩　④10町歩

解答

1	③	2	②	3	④	4	④	5	③
6	③	7	③	8	③	9	①	10	④
11	③	12	①						

第27講　昭和時代Ⅳ

1　戦後の内閣Ⅱ（政党内閣の復活）

①第一次吉田茂内閣（1946年～47年，日本自由党）

戦後初の政党内閣として，日本自由党の**吉田茂**が日本進歩党の協力を得て組閣。

1946年　**日本国憲法の公布（11月３日）**

傾斜生産方式の決定

1947年　復興金融金庫の設立

二・一ゼネスト中止指令

民主党の成立

☆日本進歩党を改組し強化，衆議院の第一党となる。

国民協同党の成立

☆協同民主党（もと日本協同党）が中心となり成立。

初の参議院選挙

☆任期６年で３年ごとに半数改選。衆議院のように「総選挙」ではなく「通常選挙」という。

新憲法施行に備えた戦後２回目の総選挙（いずれも過半数を獲得できず）

☆**第１党　日本社会党（片山哲ら）**⇒参議院でも第１党

第２党　日本自由党（吉田茂ら）

第３党　民主党　　（芦田均（ひとし）ら）

第４党　国民協同党（三木武夫（みきたけお）ら）

☆この後，**日本社会党・民主党・国民協同党の３党が連立**して**片山哲内閣**が発足。

日本国憲法の施行（５月３日）

②片山哲内閣（1947 年～48 年，日本社会党）⇒中道(ちゅうどう)政治

初の社会主義政党政権として組閣。しかし，国民の耐乏(たいぼう)生活を前提とした反社会主義的政策をとらざるを得なかった。

☆GHQ は，日本が保守でも急進でもない中道を歩んでいる証(あかし)として，**日本社会党の片山哲**三党連立内閣を評価していたが，連立ゆえの調整に苦しみ，炭鉱国家管理問題で党内左派から攻撃され総辞職した。

1947 年　労働省の設置
　　　　過度経済力集中排除法
1948 年　日本社会党両派〔右派・左派〕の対立により退陣
　　　　☆**連立体制は崩さないまま，民主党の芦田均が組閣。**

---

③芦田均内閣（1948 年，民主党）⇒中道政治

民主党の芦田均が，同じ三党連立内閣を組閣。

1948 年　民主自由党の成立（総裁＝吉田茂，日本自由党を改組）
　　　　昭和電工事件により退陣
　　　　☆政界から GHQ まで巻き込んだ，復興金融金庫の融資をめぐる贈収賄(ぞうしゅうわい)事件。

２　日本国憲法

①制定の経過

1945年　GHQによる**幣原喜重郎内閣**への憲法改正指示

A　**憲法問題調査委員会**の設置**(政府)**⇒委員長は**松本烝治**(じょうじ)国務大臣
憲法改正案(天皇の統治権を基本的に認める「**憲法改正要綱**(ようこう)」)の作成にあたる。

B　**憲法研究会**の結成**(民間)**⇒高野岩三郎・森戸辰男・鈴木安蔵(やすぞう)ら
国民主権にもとづく立憲君主体制をとる「**憲法草案要綱**」を日本政府・GHQに提出。

C　日本共産党が「人民共和国憲法草案」を発表

D　高野岩三郎が「日本共和国憲法私案要綱」を発表
天皇制〔君主制〕を否定，大統領制〔共和制〕を唱える。

1946年　最初の**政府案は保守的で民主化が不徹底として，GHQに拒否される。**
☆GHQ自らマッカーサー三原則(象徴天皇制・戦争放棄・封建的諸制度の撤廃)にもとづく英文の「マッカーサー草案」を提示。
幣原内閣，GHQ案にやや手を加え和訳したものを政府原案として発表。
政府原案，**枢密院**の審議を受ける。
政府原案，**帝国議会**の審議・修正・可決および枢密院の可決を受ける。
第一次吉田茂内閣が日本国憲法として公布(11月３日)

1947年　**日本国憲法の施行(しこう)(５月３日)**

---

②内容と特色

A　条数

前文と11章103条

B　**前文**

憲法全体の基本原理となる主権在民・平和主義・民主主義・国際協調主義などの理念を示す。

C　**３原則**

あ　**主権在民〔国民主権〕(第１条)**

い　**平和主義〔戦争放棄・戦力の不保持・交戦権の否認〕(第９条)**

う　**基本的人権の尊重　(第11条～第13条)**

D　**天皇　(＝象徴天皇制)**

日本国の**象徴**，日本国民統合の**象徴**

☆国政に関して機能をもたず，内閣の助言と承認のもとに**国事行為**のみを行う。

E　**国会　(＝立法)**

国権の最高機関，国の唯一の**立法機関**

☆**衆議院・参議院の二院制**をとる(**衆議院の優越**)。

F　**内閣　(＝行政)**

国会に対し連帯して責任を負う(**議院内閣制**)。

☆内閣総理大臣は，国会で国会議員の中から指名され，国務大臣の過半数は国会議員でなければいけない。

G　**裁判所(＝司法)**

違憲審査権をもつ**最高裁判所**の下に，下級裁判所(高等・地方・家庭・簡易)を設置。

☆最高裁判所裁判官は**国民審査**を受ける。

H　憲法の改正

国会で発議のうえ，**国民投票**で決定する。

☆2007年，国民投票法が成立(第一次安倍晋三内閣)。

---

③法律・制度の民主化

A　皇室典範(てんぱん)　（1947年）

太平洋戦争後に廃止されていたが復活。

B　**地方自治法　（1947年）**⇒日本国憲法と同時に施行

あ　**地方自治体首長〔都道府県知事・市町村長〕の公選制**

☆GHQの指示で内務省は廃止。

い　リコール〔解職請求〕制などの承認

C　**国家公務員法（1947年）**

国家公務員は，天皇の官吏(かんり)から国民全体の奉仕者へと転換。

☆1948年，**政令201号**により改正され，争議権・団体交渉権が剥奪(はくだつ)される。

D　刑法の一部改正〔新刑法〕（1947年）

あ　皇室に対する大逆罪(たいぎゃくざい)・不敬罪(ふけいざい)の廃止

い　妻の不倫のみを罰する姦通罪(かんつうざい)の廃止

E　**民法の改正〔新民法〕**　（1947年）

あ　戸主(こしゅ)制度・家督(かとく)相続制度の廃止

い　「家」よりも個人の人格を尊重

う　夫婦・兄弟・男女の平等（婚姻・相続など）

F　刑事訴訟法の全面改正　（1948年）

あ　人権尊重の精神を導入

い　証拠主義・黙秘権(もくひけん)の承認など

G　**警察法の公布・施行**　（1947年・48年）

警察機構の地方分権化をはかる

あ　**自治体警察**

☆市と人口5000人以上の町村に設置。

い　**国家地方警察**

☆自治体警察の設置されない地域を管轄。

３　経済の混乱と再建

①終戦時の経済状態

A　軍需産業の崩壊

B　軍人の**復員**・海外民間人の**引揚げ**(ひきあ)・軍需工場閉鎖などによる失業者の急増

☆1945年秋の時点で約1400万人。

☆海外の軍人310万人・民間人320万人が日本へ引揚げ(～1956年)。

☆ソ連に降伏した約60万人の軍人・居留民の**シベリア抑留**(よくりゅう)**問題**が発生。

☆満洲引揚げの際，**中国残留孤児**(こじ)・残留婦人問題が発生。

C　生活の困窮

空襲などによる戦災のため，防空壕・バラック小屋での“タケノコ生活”を余儀なくされる。

☆とくに1945年は記録的凶作で，食糧不足は深刻となり，米の配給も不足し，サツマイモ・トウモロコシなどの代用食にかえられた。遅配(ちはい)・欠配が続いたことから，都市民衆は農村への**買出し**，闇市での**闇**(やみ)**買い**，自給生産などで飢えをしのいだ。

☆鉱工業生産は戦前の３分の１以下にまで落ち込んだ。

②経済の再建

A　**幣原喜重郎内閣　(1945年～46年)**

戦後の混乱

☆極度の物不足・預貯金引き出し・通貨増発などによる猛烈な悪性インフレが発生。

☆朝鮮人・中国人労働者を失ったことによる石炭生産の激減。

1946年　金融緊急措置令

紙幣の流通量を減らすため，**預金封鎖**(～48年)・**新円切り換え**を実施。富裕者に財産税を賦課。

☆効果は一時的であった。

B　**第一次吉田茂内閣(1946年～47年)**

アメリカの援助

あ　**ガリオア資金〔占領地域行政救済資金〕**

国民生活の救済が目的(1945年～51年)。

い　**エロア資金　〔占領地域経済復興援助資金〕**

経済の復興・自立が目的(1949年～51年，第二次吉田茂内閣)。

1946年　経済安定本部の設置

敗戦後の経済危機克服のための政策を企画・立案。

☆のち経済審議庁(1952年)，**経済企画庁**(1955年～2001年)へと改組。

傾斜生産方式の決定⇒片山・芦田内閣で実行

☆**石炭・鉄鋼**・電力・化学肥料・海運などの重要産業部門に集中投資。

☆経済安定本部の有沢広巳(ありさわひろみ)らの発案で，石橋湛山(たんざん)蔵相が決定。

1947年　復興金融金庫〔復金〕の設置

傾斜生産や経済復興に必要な資金を融資するが，過剰融資＋価格差補給金＋赤字財政により，**復金インフレ**を引き起こす。

☆1949年，ドッジ＝プランにより資金融資を停止され，のち日本開発銀行に吸収される(1952年)。

４　戦後の内閣Ⅲ

①第二次吉田茂内閣（1948年〜49年，民主自由党）

占領政策の転換⇒冷戦〔冷たい戦争〕の激化，とくに中国情勢の変化とともに，アメリカは「非軍事化・民主化」を基調とした対日占領政策を「経済復興」へと転換した。

☆**日本を一刻も早く西側陣営〔自由主義陣営〕に組み込むために，非軍事化・民主化よりも経済復興を優先。**

☆陸軍長官ロイヤル演説，陸軍次官ドレーパー報告（1948年）。

☆外交官ケナンの提言をもとに，行政責任の日本政府への大幅委譲（いじょう），公職追放の緩和（かんわ），民間企業の育成，均衡予算の達成などによる経済復興の推進を決定した。

1948年　**経済安定九原則**実行指令⇒**財政再建とインフレの収束をめざす**

☆日本経済の一刻も早い復興・安定・自立のため，GHQが①**予算の均衡**②**徴税の強化**③**資金の貸出制限**④**賃金の安定**⑤物価の統制⑥貿易・為替管理の改善⑦物資割当改善⑧生産の増強⑨食糧集荷の改善を指令。

---

②第三次吉田茂内閣（1949年〜52年，民主自由党〔のち自由党〕）

1949年　**ドッジ=ライン〔ドッジ=プラン〕**（〜52年）

☆経済安定九原則の実施にあたり，GHQがデトロイト銀行頭取の**ドッジ**を招請。ドッジは当時の日本経済を，アメリカの援助と価格差補給金（政府の援助）の２本足で辛（かろ）うじて立つ“竹馬（たけうま）経済”と酷評。**１円の赤字も許さない超均衡予算を設定**し復興金融金庫の融資（＝復金債（さい））を停止，国民には増税と耐乏（たいぼう）生活を要求する**デフレ政策**を展開した。

☆また，**１ドル＝360円の単一為替レートを設定**し，のち**固定為替相場制**をスタートさせ，ドルを基軸（きじく）通貨とする**ブレトン=ウッズ体制**に日本を組み込んでいった。

↓↓↓

いわゆる**ドッジ=デフレ〔安定恐慌〕**が発生，行財政整理＋企業人員整理により失業者が急増した。

☆国鉄三大怪事件の発生で労働者の抵抗は押し切られた。

シャウプ勧告

☆コロンビア大学教授の経済学者**シャウプ**を中心とする税制専門家チームが来日し，①**直接税中心主義**②地方税の独立③法人税の引き下げ④税制機構の合理化からなる税制改革を勧告。**間接税が整理され直接税**（とくに累進課税制を採用した**所得税**）**中心の新税制がスタート**した。

1950年　自由党の成立（総裁＝吉田茂）　⇒民主自由党を改称

国民民主党の成立　⇒民主党と国民協同党が合同

日本共産党中央委員の公職追放⇒レッド=パージの前兆

朝鮮戦争の開始⇒**特需景気**（**1950年～53年**）の始まり

☆繊維・金属を中心とする“糸へん・金へん”景気によりドッジ=デフレから脱出。政治的には“**逆コース**”が進行。

レッド=パージ

警察予備隊の設置

公職追放の解除

1951年　**サンフランシスコ講和会議**

サンフランシスコ平和条約，日米安全保障条約の締結

日本社会党，左右両派に分裂

1952年　改進党の結成⇒国民民主党を改組

吉田茂首相，衆議院を抜き打ち解散

---

③第四次吉田茂内閣（1952年～53年，自由党）

1952年　**保安隊**の設置

1953年　バカヤロー解散

☆衆議院予算委員会における吉田茂首相の失言から内閣不信任案提出。解散直後，**鳩山一郎**は分党派自由党を結成し対立が激化。

---

④第五次吉田茂内閣（1953年～54年，自由党）

1953年　朝鮮戦争の休戦

奄美諸島の返還

1954年　第五福龍丸事件

MSA協定の締結

防衛庁・自衛隊の設置

造船疑獄事件⇒のちにこの事件が原因で吉田内閣は退陣

☆検察庁が自由党幹事長佐藤栄作を逮捕請求したが，法務大臣犬養健(たける)が指揮権を発動して阻止。吉田内閣に対して批判が集中した。

日本民主党の結成（総裁＝鳩山一郎）

☆改進党・自由党反吉田派・日本自由党などが合同。左右社会党とともに内閣不信任案を提出。

---

⑤第一次鳩山一郎内閣（1954年～55年，日本民主党）

衆議院解散を条件に，左右両社会党の支持を取り付けて組閣。

☆早期解散で民意を問うための選挙管理内閣。官僚出身者を重視する吉田茂と違い，政党政治家を積極的に登用。

---

⑥第二次鳩山一郎内閣（1955年，日本民主党）

総選挙の結果，日本民主党が第１党となったが，過半数は割り込んだ。

1955年　**日本社会党の再統一**（委員長＝鈴木茂三郎(もさぶろう)）

☆憲法改正阻止・革新陣営結束をめざし左右両派が再統一。３分の１以上の議席を占める。

☆とくに左派社会党は“逆コース”批判の運動が高まる中で党勢を拡大していた。

保守合同により自由民主党が成立（総裁＝鳩山一郎）

☆日本民主党（総裁＝鳩山一郎）と自由党（総裁＝緒方竹虎）が合同。**自由民主党が議会の約３分の２弱を，日本社会党などの革新勢力が約３分の１を分け合う保守一党優位の“55年体制”**がスタート，**1993年まで継続。**

☆保守勢力は憲法改正〔改憲〕とアメリカ依存の安全保障を，革新勢力は憲法擁護〔護憲〕と非武装中立をそれぞれ主張した。

５　冷戦〔冷たい戦争〕Ⅰ

自由主義・資本主義陣営〔西側諸国〕と社会主義・共産主義陣営〔東側諸国〕の対立。

☆核武装した東西両陣営は軍事的対立を継続し，勢力範囲の画定（かくてい）や軍備・経済力・イデオロギーなどあらゆる面で激しい競争を展開した。

1945年　サンフランシスコ会議（６月）

☆国際連合憲章を採択。

日本，ポツダム宣言を受諾（８月14日）

国際連合の成立（10月24日）

☆51カ国が参加，**本部はニューヨーク。**

中華民国で国共内戦が再開

☆**中国国民党⇒蔣介石（しょうかいせき），中国共産党⇒毛沢東（もうたくとう）**・周恩来（しゅうおんらい）

1946年　**イギリス前首相チャーチル**による，**“鉄のカーテン”**演説

1947年　**トルーマン＝ドクトリン**

☆**アメリカ大統領トルーマン**が，徹底的な共産主義「封じ込め」政策の必要を唱える。

マーシャル＝プランの発表

☆アメリカ国務長官が発表した，全ヨーロッパの経済復興援助計画。ソ連・東欧諸国はその受入れを拒否。

コミンフォルム〔共産党情報局〕の結成

☆ソ連・東欧諸国の情報交換組織。

1948年　アメリカ陸軍長官ロイヤルによる日本の占領政策転換演説

☆日本に**経済安定九原則**の実行を指令。

ソ連によるベルリン封鎖

大韓民国・朝鮮民主主義人民共和国の成立⇒北緯38度線を境とする

☆**韓国初代大統領は李承晩（イスンマン）（首都＝ソウル）**

☆**北朝鮮初代首相（のち主席）は金日成（キムイルソン）（首都＝平壌（ピョンヤン））**

1949年　**COMECON（コメコン）**〔経済相互援助会議〕の成立

☆マーシャル＝プランに対抗する，社会主義陣営の経済協力機構。

☆この年，ソ連が原子爆弾の製造に成功。

NATO（ナトー）〔北大西洋条約機構〕の成立

☆アメリカと西欧諸国の共同防衛組織。

ドイツ連邦共和国〔西ドイツ〕・ドイツ民主共和国〔東ドイツ〕の成立

中華人民共和国の成立（国家主席⇒毛沢東〔首都＝北京（ペキン）〕）

☆アメリカに支持されていた**中国国民党の蔣介石は台湾に逃れ，総統として中華民国を存続。（首都＝台北（タイペイ））**

1950年　米韓相互防衛援助協定の締結

中ソ友好同盟相互援助条約の締結

☆中華人民共和国が東側陣営に加わる。

朝鮮戦争の開始

☆南を**国連軍**（アメリカ中心），北をソ連と**中国人民義勇軍**が支援。

1951年　**サンフランシスコ平和条約の締結**

☆日本は自由主義陣営とのみ**単独講和**，同時に**日米安全保障条約**を締結。

1952年　アメリカによる初の水素爆弾実験

☆翌年，ソ連も水爆保有を宣言。

1953年　**板門店（はんもんてん）で朝鮮戦争の休戦協定調印**

ソ連のスターリン死去

☆**フルシチョフ**による平和共存路線へ。

1954年　アメリカ，太平洋ビキニ環礁（かんしょう）において水爆実験を実施

平和五原則

☆中華人民共和国の**周恩来**首相とインドの**ネルー**首相が発表。

ジュネーヴ会議⇒ジュネーヴ休戦協定〔インドシナ休戦協定〕の締結

☆ヴェトナムはフランスから北緯17度線で南北分断独立。

1955年　**アジア・アフリカ会議〔バンドン会議〕**の開催

☆インドネシアの**バンドン**で開催，**第三世界**が大きな役割をもち始める。

西ドイツのNATO加盟

WTO〔ワルシャワ条約機構〕の結成

☆ソ連と東欧７カ国の共同防衛組織。

ジュネーヴ四巨頭会談

☆**アメリカ大統領アイゼンハワー，ソ連首相ブルガーニン**，イギリス首相イーデン，フランス首相フォールが軍縮問題で会談，“**平和共存**”“**雪どけ**”への期待が高まる。

第１回原水爆禁止世界大会

６　“逆コース”の進行

1950年　**朝鮮戦争**の開始

☆アメリカは日本を国連軍の中継地（ちゅうけいち）として利用。

レッド＝パージ

☆マスコミ・官公庁・企業で**共産主義者の追放**を実施。

警察予備隊の設置（**第三次吉田茂内閣**）

☆米軍出動後の日本の治安維持にあたる。

公職追放解除の決定

☆1952年，サンフランシスコ平和条約発効にともない公職追放令を廃止。戦犯の釈放も含め58年に完了，鳩山一郎・石橋湛山・岸信介らも政界に復帰した。

1951年　アメリカ講和特使ダレスの来日

☆朝鮮戦争で日本の戦略的価値を再認識したアメリカは，日本をアジアにおける自由主義陣営の拠点とするため，**単独講和**を急いだ。

☆国内では**単独講和論（自由主義陣営のみ）と全面講和論（社会主義陣営を含む）が対立**。安倍能成（よししげ）・南原繁（なんばらしげる）・大内兵衛（ひょうえ）や日本社会党・日本共産党は全面講和運動を展開。

GHQ総司令官・国連軍総司令官マッカーサーの解任

☆朝鮮戦局の行き詰まり打開をはかり満洲爆撃を主張したため，戦争拡大を恐れるトルーマン大統領と衝突し突如解任された（後任は**リッジウェイ中将**）。

サンフランシスコ講和会議（日本全権＝吉田茂）

☆議長はアメリカ国務長官アチソン。**日本と48カ国との間でサンフランシスコ平和条約が調印**され，日本は主権を回復。**しかし，奄美・小笠原・沖縄の各諸島はアメリカの施政権下に置かれた。**

☆連合国のうち，①**インド・ビルマ・ユーゴスラビアは出席を拒否**②**ソ連・ポーランド・チェコスロバキアは出席したが調印せず**③**中華人民共和国・中華民国〔台湾〕は英米の対立から招聘（しょうへい）されず。**

日米安全保障条約の締結⇒サンフランシスコ平和条約と同日

☆**占領解除後も**「極東の平和と安全」のため**アメリカ軍の日本駐留を続け，**日本の防衛に「寄与（きよ）」することとされた。

☆しかし，①**アメリカの日本防衛義務欠如**②**期限の不明確**③“極東”についての明確な定義がない④**国内紛争に際しアメリカ軍の介入を認め**

る（＝内乱条項）などの問題が残存した。

日本社会党の分裂

☆サンフランシスコ平和条約・日米安全保障条約の締結により，左派（両方に反対）・右派（安保条約にのみ反対）に分裂。

1952年　**日米行政協定**の締結⇒日米安全保障条約にもとづく協定（国会承認はなし）

☆**日本は米軍に基地（施設・区域）を無償提供，駐留費用も分担**（＝防衛分担金）。

☆国内では**米軍基地反対闘争（内灘（うちなだ）闘争〔石川県〕・砂川（すながわ）闘争〔東京都〕など）**が起こる。

日華平和条約⇒台湾の中華民国政府との講和条約

☆のち1972年の日中共同声明により無効となる。

皇居前広場事件〔血のメーデー事件〕（５月１日）

☆独立回復後初の第23回メーデーで起きた，デモ隊と警官隊の大乱闘。２名が射殺される。

日印平和条約⇒インドとの講和条約

☆インドは日本に対する賠償請求権を放棄。

☆賠償金は，戦時中日本の占領下に置かれ戦後独立したフィリピン・ビルマ（現ミャンマー）・インドネシア・南ベトナムには1976年までに総額10億ドルを支払ったが，権利を放棄した国が多数あった（**サンフランシスコ平和条約では被害国の賠償請求権を承認**）。

破壊活動防止法〔破防法〕の制定⇒もと団体等規制令（1949年）

☆皇居前広場事件〔血のメーデー事件〕を契機に成立。

☆暴力主義的破壊活動を行った団体に対する取締まりを規定，調査機関として**公安調査庁**を設置（極左・極右の活動を取締まることが主目的）。

海上警備隊の設置

保安庁の設置

☆警察予備隊が改組され，**保安隊**となる（**第四次吉田茂内閣**）。

内灘闘争（石川県）の開始（～53年）

1953年　池田・ロバートソン会談

☆日本の再軍備についての基本合意が成立。

奄美諸島の返還

1954年　第五福龍丸事件

☆アメリカが**太平洋ビキニ環礁**（かんしょう）で実施した**水爆実験**により，日本の漁船が危険区域外で**"死の灰"**を浴びる。

MSA協定〔日米相互防衛援助協定など４協定の総称〕の締結

☆アメリカの相互安全保障法〔MSA〕により，経済援助（兵器や農産物）を受けるかわりに日本の防衛力増強を約束。

警察法の改正〔新警察法〕

☆従来の自治体警察・国家地方警察を廃止。道府県警察を設置し，**警察庁**を中心とする警察制度の中央集権化を推進。

☆東京都の警察機構として**警視庁**を設置。

教育二法の制定

☆公立学校教員の政治活動・政治教育を禁止，愛国心教育の必要が強調される。

防衛庁・自衛隊の設置（**第五次吉田茂内閣**）⇒海上警備隊を統合

☆MSA協定の締結にともない，陸上・海上・航空の３自衛隊を設置。

☆「専守防衛」にあたる自衛隊の最高指揮権は内閣総理大臣に属し，文民の防衛庁長官が統括することとなった。

☆防衛庁は2007年に**防衛省**へ昇格。

日ビルマ平和条約

1955年　第１回原水爆禁止世界大会

☆**広島**で開催，原水爆禁止運動へと発展。

第１回日本母親大会の開催

砂川闘争（東京都）の開始（～57年）

1956年　教育委員会法の改正〔新教育委員会法〕

☆教育委員の選出が，住民による**公選制**から地方自治体首長による**任命制**となる。

〈***Note***〉

第 27 講　確認問題

1　1945年，憲法問題調査委員会の委員長となった国務大臣とは？

①松本烝治　②高野岩三郎　③吉田茂　④片山哲

2　日本国憲法が公布された年月日とは？

①1945年９月２日　②1946年１月１日
③1946年11月３日　④1947年５月３日

3　「平和主義」が記載されているのは日本国憲法第何条であるか？

①第１条　②第９条　③第25条　④第96条

4　憲法改正について，最もふさわしいものを一つ選べ。

①大日本帝国憲法・日本国憲法ともに改正されたことはない
②日本国憲法の改正は発議されたことがない
③日本国憲法の改正は参議院でのみ発議された
④国民投票は一度行われたことがある

5　警察法の施行により，市と人口５千人以上の町村に設置されたものとは？

①特別高等警察　②自治体警察　③国家地方警察　④公安調査庁

6　1946年に決定された傾斜生産方式と関係のない産業を一つ選べ。

①石炭　②鉄鋼　③電力　④自動車

7　1949年に来日した税制専門チームの長とは？

①ドッジ　②シャウプ　③リッジウェイ　④ダレス

8　1950年～53年の朝鮮戦争時の好景気を何というか？

①特需景気　②神武景気　③岩戸景気　④いざなぎ景気

9　1955年の「保守合同」における日本民主党の党首は？

①吉田茂　②緒方竹虎　③鳩山一郎　④鈴木茂三郎

10　1946年に“鉄のカーテン”演説を行った前イギリス首相とは？

①チャーチル　②アトリー　③トルーマン　④アイゼンハワー

11　1955年，アジア・アフリカ会議が開かれた都市とは？

①ソウル　②北京　③東京　④バンドン

12　1952年に締結された，日本米安全保障条約にもとづく協定とは？

①桂・タフト協定　②日米行政協定
③日米地位協定　④ガイドライン

解答

1	①	2	③	3	②	4	②	5	②
6	④	7	②	8	①	9	③	10	①
11	④	12	②						

第28講　昭和時代Ⅴ・平成時代

1　戦後の内閣Ⅳ

①第三次鳩山一郎内閣（1955年〜56年，自由民主党）

「**自主憲法制定**」「**再軍備**」「**自主外交**」を政治目標とする。日ソ国交回復を機に引退，総辞職した。

1956年　**憲法調査会法**の制定
国防会議の発足
経済白書「もはや戦後ではない」と記載
教育委員会法の改正〔新教育委員会法〕
日ソ漁業条約⇒河野(こうの)一郎農相
日ソ共同宣言
☆**鳩山一郎首相**と**ブルガーニン首相**が**モスクワ**で調印。日本は80番目に**国際連合に加盟**することとなった。
①日ソ間の戦争状態の終結と国交の回復。
②**日本の国際連合加盟をソ連が支持。**
③日本に対する賠償請求の放棄。
④**平和条約締結後の歯舞(はぼまい)群島・色丹(しこたん)島の返還を約束。**

---

②石橋湛山(たんざん)内閣（1956年〜57年，自由民主党）

自由民主党総裁選挙初の決選投票で総裁となるが，病のためわずか65日で総辞職した。

---

③第一次岸信介(のぶすけ)内閣（1957年〜58年，自由民主党）

岸内閣は，再軍備化のため第一次防衛力整備計画を策定し，復活した日本の経済力を背景に「**日米新時代**」を唱えて相互協力体制の強化をはかり，革新勢力と対決しつつ安保条約の改定交渉を進めた。

1957年　茨城県東海村の原子力研究所が原子炉の運転開始
国連安全保障理事会の非常任理事国に初当選

---

④第二次岸信介内閣（1958年〜60年，自由民主党）

1958年　安保改定の日米交渉開始⇒藤山愛一郎外相

☆旧安保のもつ片務的規定や不備を改善し，より対等な形式を整えた日米関係を実現し，日本の国際的地位の向上をめざそうとした。

警察官職務執行法〔警職法〕改正案，審議未了・廃案に終わる。

☆安保改定にともなう混乱を予想して警察官の権限強化をはかったが，革新政党・労働組合・一般市民らの反対運動が高まったため断念した。

勤務評定（ひょうてい）反対闘争〔勤評闘争〕の激化

☆この年，教員の勤務成績評定を全国一斉に実施。日本教職員組合〔日教組（にっきょうそ）〕は激しく抵抗した。

1959年　**安保改定阻止国民会議**の結成

☆日本社会党・総評を中心に共産党も参加，反対闘争を展開。

皇太子明仁（あきひと）（のちの上皇）が正田（しょうだ）美智子（現在の上皇后）と結婚

三井三池（みいけ）炭鉱争議〔三池争議〕の開始（〜60年）⇒“総資本対総労働の対決”

☆282日間にわたるストライキの末に組合側が敗北。階級闘争意識にもとづく大争議の時代が終了したことを象徴。

1960年　**日米相互協力及び安全保障条約〔新安保条約〕**の締結

☆**岸信介首相が訪米，ワシントンで調印**（10カ条）。

①**アメリカの日本防衛義務**を明記

☆防衛範囲を日本及び“極東”にまで拡大。

②**在日米軍の重大行動に関する事前協議制**の確認

☆発議権はアメリカにあるが，2024年現在実施はなし。

③**日本及び在日米軍基地への攻撃に対する共同行動**

☆“安保巻き込まれ論”の発生。

④相互の防衛力強化と経済協力促進

⑤**条約期限は10年間とする**（自動延長により継続）

☆以後どちらかの通告で１年以内に条約は失効。

日米地位協定の締結

☆防衛分担金を廃止したが，1978年以降は“思いやり予算”を設定。

民主社会党（のち民社党）の成立

☆日本社会党から右派が分裂。

岸内閣が新安保の批准を**衆議院で強行採決**

☆“安保改定阻止”に加え，“民主主義擁護（ようご）・岸内閣打倒”をスローガン

とする労働者・学生・市民らの大規模な運動が巻き起こり，連日にわたりデモが国会を包囲。労働者の全国的ストなども繰り返された（＝**60年安保闘争**）。

ハガチー事件によりアイゼンハワー大統領の訪日（ほうにち）中止

全学連〔全日本学生自治会総連合〕の国会乱入

☆東大生樺美智子（かんばみちこ）が死亡。

新安保批准は参議院で承認を得ないまま自然成立

☆条約の発効を見届け，岸内閣は総辞職した。

---

⑤第一次池田勇人（はやと）内閣（1960年，自由民主党）

もと大蔵官僚“経済の池田”が組閣。革新勢力との正面からの対立を避けて**「寛容（かんよう）と忍耐（にんたい）」**「政経分離」を唱え，憲法改正を政治課題とせず，“政治の季節から経済の季節へ”移行。また，初の女性閣僚として中山マサを厚相（こうしょう）に登用した。

1960年　日本社会党委員長浅沼稲次郎暗殺事件

---

⑥第二次池田勇人内閣（1960年～63年，自由民主党）

1960年　**「国民所得倍増計画」**の発表⇒**高度経済成長政策**の開始

☆1967年にはGNP〔国民総生産〕の倍増を達成。

1961年　**農業基本法**の制定

☆農業の近代化と構造改善をはかり一応の成果（農業生産の多様化・大規模農家の拡大）を得たが，専業農家は大幅に減少した。

☆兼業農家も「三ちゃん農業」化した。

国民皆（かい）保険・国民皆年金制度の実現

1962年　新産業都市建設促進法の施行

☆太平洋ベルトへの工業の集中を避ける目的。

第１次全国総合開発計画〔全総〕の決定

☆15カ所の新産業都市，６カ所の工業整備特別地域を指定し，産業と人口の大都市への集中を緩和（かんわ）し，地域間格差を是正（ぜせい）しようとした。

日中準政府間貿易〔LT貿易〕の開始

---

⑦第三次池田勇人内閣（1963年～64年，自由民主党）

1964年　**東海道新幹線**（東京～新大阪間）の開通

☆国鉄の財政はこの年から単年度で赤字となった。

夏季オリンピック東京大会開催

☆アジア初のオリンピック開催。

---

⑧第一次佐藤栄作内閣（1964年～67年，自由民主党）

経済成長の順調な持続に支えられ，戦後最長レベルの７年８カ月におよぶ長期政権。池田内閣がほとんど行わなかった外交的懸案に積極的に取り組んだ。

☆また，「所得倍増」を掲げた前内閣との差異を明確にするため「社会開発」をスローガンとした。

1964年　**公明党**（こうめいとう）の結成

☆新興宗教団体の**創価学会**（そうかがっかい）による。

1965年　**ベトナム戦争**の本格化⇒アメリカによる**北爆**（ほくばく）開始

☆1973年のベトナム和平協定まで続き，アメリカが敗北。

☆佐藤内閣はアメリカのアジア政策に協力。韓国・台湾・南ベトナムとの結合・連携を強化。

☆ベ平連〔ベトナムに平和を！市民連合〕の結成など反戦運動が高まる。

☆沖縄や日本本土はアメリカ軍の前線基地となり，「基地の島」沖縄では**祖国復帰運動**が続き，戦争の激化とともにその返還問題が改めて浮上した。

日韓基本条約⇒当時の韓国大統領は**朴正熙**（パクチョンヒ）（両国ともに強行採決）

☆椎名悦三郎（しいなえつさぶろう）外相と外務部長官李東元が東京で調印。**日本は大韓民国を「朝鮮にある唯一の合法的な政府」と確認。**

☆基本条約とともに，漁業，請求権･経済協力，在日韓国人の法的地位，文化協力の４協定が結ばれた。

名神高速道路の全通

☆モータリゼーションの象徴。

---

⑨第二次佐藤栄作内閣(1967年～70年，自由民主党)

1967年　**非核三原則**の表明

☆「(核兵器を)“**もたず・つくらず・もち込ませず**”」

東京都知事に革新系の**美濃部亮吉**(りょうきち)が当選

☆京都府・大阪府など“**革新自治体**”“革新首長”が誕生。

☆公害の規制や老人医療の無料化などの社会福祉政策で一定の成果を上げる。

佐藤・ジョンソン会談

☆日米共同コミュニケを発表。

1968年　米原子力空母エンタープライズが佐世保(長崎県)に寄港

☆従来の革新政党を批判する新左翼を中心に，激しい反対運動が展開される。

小笠原返還協定の締結

GNP〔国民総生産〕が自由世界第2位となる

大学紛争〔学園紛争〕が盛んになる

☆全共闘(ぜんきょうとう)〔全学共闘会議〕運動の展開。

1969年　**佐藤・ニクソン会談**

☆「**核抜き・本土並み**」の72年返還の約束で沖縄の祖国復帰をうたう，日米共同声明を発表。

---

⑩第三次佐藤栄作内閣(1970年～72年，自由民主党)

1970年　**大阪で日本万国博覧会開催**

新日米安全保障条約の自動延長⇒70年安保闘争

米の減反(げんたん)政策開始

1971年　沖縄返還協定の調印

中華人民共和国，国際連合に加盟⇒台湾の中華民国は国連代表権を失う

アメリカ大統領ニクソン，北京(ペキン)訪問計画発表〔第１次ニクソン=ショック〕

☆キッシンジャー大統領補佐官が訪中。

ドル=ショック〔第２次ニクソン=ショック〕

☆「**新経済政策**」(**金・ドル交換停止**，10％の臨時輸入課徴金(かちょうきん)賦課，90日間の賃金・物価の凍結)を発表。

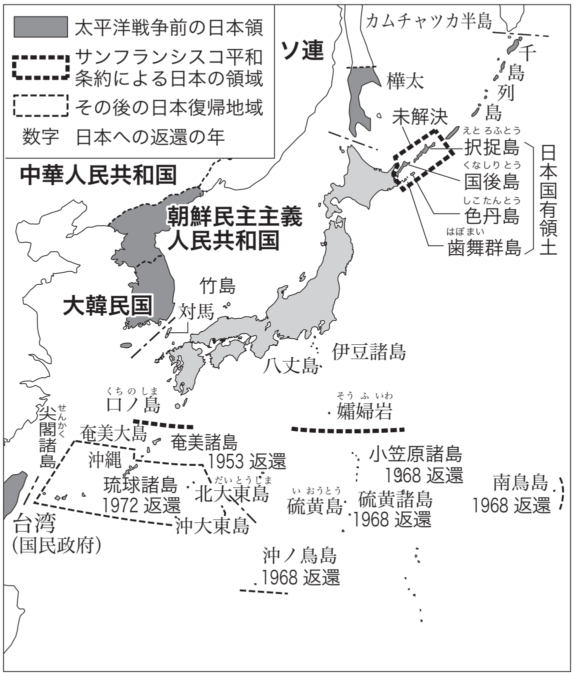
☆10カ国蔵相会議〔スミソニアン会議〕で，**１ドル＝308円〔スミソニアン=レート〕への円切り上げ**が決定。

1972年　冬季オリンピック札幌大会開催

アメリカ大統領ニクソン，中国を訪問

沖縄返還協定の発効（５月15日）

☆米軍専用施設のほとんどが復帰後も返還されず，沖縄県民の不満と不安は強く残った。その面積は沖縄県総面積の約８％，また全国の専用施設面積の約70％にも達している。



２　戦後の経済成長

外国技術の積極的導入・外資提携による“**技術革新**”が起き，あいつぐ**設備投資**により生産量が激増。

☆**終身雇用制・年功序列型賃金・企業別労働組合による労資協調**の３点を特徴とする**日本的経営**が確立。

1950年～特需景気（～53年）

日本輸出銀行・日本開発銀行の設置

1951年　鉱工業生産が戦前の水準を上回る

☆綿織物などの軽工業が中心。

1952年　IMF〔国際通貨基金〕・IBRD〔世界銀行・国際復興開発銀行〕に加盟

日本輸出入銀行の設置

企業合理化促進法の制定

☆企業の設備投資に対して税制上の優遇措置がとられた。

1955年～神武景気（～57年）⇒高度経済成長のスタート

戦前のGNP〔国民総生産〕を超える

日本生産性本部の設置

「春闘」方式スタート

GATT〔関税と貿易に関する一般協定〕に加盟

☆ドルを基軸通貨（金１オンス＝35ドルで金兌換を保障）とし，自由・無差別・多国間交渉主義を原則とするIMF・GATT体制（**ブレトン＝ウッズ体制**）に組み込まれた。

1956年　「経済白書」に“もはや戦後ではない”と記載

☆前年の総理府の世論調査によると国民の７割が「食べる心配」がなくなったと答えており，食糧不足もほぼ解消されていた。

1957年～なべ底不況（1958年まで）

1958年～岩戸景気　（1961年まで）

☆**“三種の神器”（白黒テレビ・電気洗濯機・電気冷蔵庫）**の登場。

1960年　第二次岸信介内閣により「貿易為替自由化計画大綱」が作成される

☆以後，**貿易の自由化**が進行。

第二次池田勇人内閣により，**高度経済成長政策**がスタート

☆**“所得倍増”**がスローガン。

1962年　LT貿易〔日中準政府間貿易〕の開始
☆廖承志（りょうしょうし）・高碕達之助の頭文字をとり命名。第二次池田勇人内閣の“政経分離”政策による。
オリンピック景気（～64年）

1963年　GATT12条国から11条国（国際収支を理由に輸入制限をできない＝貿易の自由化を原則とする）に移行。
中小企業近代化促進法・中小企業基本法の公布

1964年　IMF14条国から８条国（国際収支を理由に為替管理を行えない＝為替の自由化を原則とする）に移行。
OECD〔経済協力開発機構〕に加盟，資本の自由化を義務付けられる。

1965年　40年不況
☆翌年，戦後初の赤字国債発行。

1966年　いざなぎ景気〔ベトナム特需〕（～70年）
☆“新三種の神器〔３Ｃ〕”（カー・クーラー・カラーテレビ）の登場。

1968年　西ドイツを抜き，アメリカに次ぐGNP資本主義国第２位の経済大国となる。
☆「消費は美徳」とする消費革命がおき，核家族化した人々に中流意識も発生。

1970年　八幡（やはた）製鉄と富士製鉄が合併
☆新日本製鐵（せいてつ）となる。

1972年　列島改造ブーム（～73年）
流通革命
☆中内㓛（なかうちいさお）が設立したスーパーマーケットのダイエーが，老舗（しにせ）百貨店の三越を抜き，売上高で１位となる。

３　高度経済成長政策（1960年～）

①重化学工業を中心に**技術革新**と**設備投資**が進み，石油化学工業・電子工業などの新産業部門が急成長。

②石炭エネルギーから石油エネルギーへの転換が進行⇒**エネルギー革命**

☆**石油化学コンビナート**の造成。

③新幹線・高速自動車道など，大量高速輸送網の建設。

④第一次産業から第二・第三次産業への大規模な労働力移行が進行して**産業構造が高度化**，国内市場を拡大しつつ輸出競争力を飛躍的に高める。

⑤アメリカなどの要望に沿い貿易の自由化・資本の自由化を進め，**開放経済体制**に移行。

☆1960年代後半から**貿易黒字**を続け，70年代半ば以降，深刻な**貿易摩擦問題**を引き起こす。

４　国内における高度経済成長の問題点

①公害問題

大衆消費社会が形成されていく過程で，生産面の技術革新はあっても，それにともなう有害な副産物への対処技術はいまだ有していなかった。

A　**四大公害裁判**⇒1973年までに，すべて原告側が勝訴

あ　**水俣病（熊本県水俣市）**⇒有機水銀が原因

い　**イタイイタイ病（富山県神通川下流域）**⇒カドミウムが原因

う　**第二〔新潟〕水俣病（新潟県阿賀野川下流域）**⇒有機水銀が原因

え　**四日市ぜんそく（三重県四日市市）**⇒亜硫酸(ありゅうさん)ガスが原因

B　典型(てんけい)七公害

騒音，振動，悪臭，大気汚染，水質汚濁(おだく)，土壌汚染，地盤沈下(じばんちんか)

1967年　**公害対策基本法**の制定

☆企業利潤(りじゅん)を第一とした上での環境保全との調和論。

1970年　公害対策基本法を全面改正

☆第１条の「経済調和条項」を削除。

1971年　**環境庁**の設置

☆2001年から**環境省**として再編。

1993年　**環境基本法**の制定

1997年　環境アセスメント法〔環境影響評価法〕の制定

2000年　循環型社会形成推進基本法の制定

---

②人口問題

A　**都市の過密問題**・ドーナツ化現象・スプロール現象

☆核家族の住むニュータウンの建設が各地で計画された。

B　**農村の過疎問題・兼業農家の増加**⇒農業の停滞と食料自給率の低下

---

③その他

交通渋滞問題，交通事故の急増〔交通戦争〕，巨大企業と中小企業との企業間格差の問題化，過労死問題，高等教育の大衆化と受験戦争など。

５　国際社会の展開〔冷戦Ⅱ〕

1956年　日ソ共同宣言により日本が国際連合に加盟

スターリン批判

☆ソ連のフルシチョフによる。同年にコミンフォルムも解散。

1957年　IAEA〔国際原子力機関〕の設置

ソ連，世界初の人工衛星スプートニク打ち上げに成功

1958年　EEC〔ヨーロッパ経済共同体〕の成立

1959年　初の米ソ首脳会談（アイゼンハワー大統領とフルシチョフ首相）

キューバ革命

1960年　日米相互協力及び安全保障条約〔新安保〕の締結

アフリカの年

☆17カ国が独立。

中ソ対立の表面化

1961年　東ドイツによるベルリンの壁構築

第１回非同盟諸国会議

☆ユーゴスラヴィアの首都ベオグラードにて。

1962年　**キューバ危機**

☆ケネディ大統領・フルシチョフ第一書記による米ソ直接衝突の危機。

1963年　部分的核実験停止条約〔PTBT〕の締結

1964年　トンキン湾事件

☆アメリカのジョンソン大統領による。

1965年　ベトナム戦争本格化（～73年）

日韓基本条約の締結

1966年　プロレタリア文化大革命始まる（～76年）

☆中華人民共和国における権力闘争。

1967年　EC〔ヨーロッパ共同体〕の成立

ASEAN〔東南アジア諸国連合〕の成立

1968年　核兵器拡散防止条約〔NPT〕の締結

1969年　アメリカのアポロ11号が月面に着陸

中ソ国境紛争

1971年　中華人民共和国，国際連合に加盟
☆台湾の中華民国は国連代表権を失う。
アメリカ大統領ニクソン，北京訪問計画を発表（第１次ニクソン＝ショック）
ドル＝ショック（第２次ニクソン＝ショック）
1972年　ニクソン，中華人民共和国を訪問
日中共同声明の締結

６　戦後の内閣Ⅴ

①第一次田中角栄内閣（1972年，自由民主党）

首相就任前から「**日本列島改造論**」を唱え，就任後は「決断と実行」を掲げた“今太閤”“コンピュータ付きブルドーザー”。

☆いわゆる列島改造ブームが起き，多大なインフレをともなう好景気となる。ドル＝ショック緩和をはかる政府は金融緩和を行ったが，その行き過ぎから地価が高騰し始めた。

1972年　日中共同声明（田中角栄首相と周恩来首相が北京で調印）

☆ソ連と軍事衝突を起こすほど中ソ関係が悪化していた当時，**日中国交正常化**には大きな意味があった。

①日本は戦争責任を認め，反省する態度を表明する。

②「戦争状態の終結」という表現はとらず，「両国間の不正常な状態を終わらせる」という表現をとる。

③**中華人民共和国が中国の唯一の合法政府であることを承認。**

☆日本は台湾〔従来の中華民国〕と断交

④中華人民共和国政府は対日賠償請求権を放棄する。

⑤日中両国はアジア・太平洋地域での**覇権**を認めない。

---

②第二次田中角栄内閣（1972年～74年，自由民主党）

1973年　変動為替相場制（かわせ）への移行

☆1976年に国際的に認知される（キングストン体制へ）。

第四次中東戦争の勃発

第一次石油危機〔オイルショック〕

☆OAPEC（オアペック）〔アラブ石油輸出国機構〕による「石油戦略」（＝石油輸出の制限・価格の４倍引上げ）。

☆資本主義国に大打撃，日本でも**“狂乱物価”**が国民生活を直撃。

田中角栄首相，スタグフレーション状態の中，**金脈問題**で失脚。

---

③三木武夫内閣（1974年～76年，自由民主党）

土地利権にからむ金脈問題で退陣した田中角栄内閣にかわり，「クリーンな政治」を売りとして組閣。

☆**ロッキード事件**の発覚と田中前首相の逮捕により自民党の内部対立が激化し，総選挙で結党以来初の過半数割れを起こし退陣した。⇒いわゆる“三木おろし”

1974年　GNP，戦後初のマイナス成長

☆ドル＝ショックとオイル＝ショックにより高度経済成長は終焉，翌年から２～５％程度の**低成長〔安定成長〕時代**に突入。

☆企業は省エネ・人員整理などの“**減量経営**”やオフィス・工場のオートメーション化（OA化・FA化）で対処。

1975年　第１回先進国首脳会議〔サミット〕

☆フランスのパリ郊外ランブイエにて。

1976年　ロッキード事件，問題化

☆前首相田中角栄・元運輸政務次官佐藤孝行・大物右翼児玉誉士夫らを逮捕。

新自由クラブの結成⇒河野洋平ら

☆自民党は分裂状態となる

「防衛計画の大綱」決定

☆防衛費をGNP１％枠内に留めることとする。

---

④福田赳夫内閣（1976年～78年，自由民主党）

“保革伯仲”状態が到来するなかで「内需拡大」を掲げて貿易黒字・円高不況に対処したが，これを機に野党側から自民党に接近する党も現れた。

1978年　日中平和友好条約（園田直外相と黄華外交部長が北京で調印）

☆アジア・太平洋地域における“覇権反対”の意思を表明。この条約は第三国との関係に影響を与えない。

ガイドライン〔日米防衛協力のための指針〕を決定

---

⑤第一次大平正芳内閣（1978年～79年，自由民主党）

自民党総裁選で福田首相を破り組閣。“保革伯仲”状態が続くなかで第二次石油危機に対処し，財政再建をめざした。

1979年　イスラム革命〔イラン革命〕の勃発

第二次石油危機

☆1978年から続いていたが，この年に原油価格が３倍に引上げられた。

元号法の制定⇒一世一元の制の法律化

☆戦後の改革により法的根拠が失われていた。

第１回東京サミット（第５回サミット）

---

⑥第二次大平正芳内閣（1979年～80年，自由民主党）

1980年　大型間接税である一般消費税導入に失敗⇒衆議院を解散

大平首相，初の衆参同日選挙の期間中に急死

☆“弔い合戦”となった選挙は自民党の勝利に終わり，安定多数を回復した。

---

⑦鈴木善幸内閣（1980年～82年，自由民主党）

超緊縮財政による「増税なき財政再建」をめざしたが，税収不足・貿易摩擦問題により景気は低迷した。

1981年　**第２次臨時行政調査会〔臨調〕**の発足

☆会長は**土光敏夫**。

---

⑧第一次中曽根康弘内閣（1982年～83年，自由民主党）

「戦後政治の総決算」を唱え，行財政改革に乗り出す。経済力を背景に政治大国化をめざし，西側の安全保障体制への傾斜を強めた。

☆日米韓関係の緊密化や防衛費の増額をはかる一方，「新保守主義」の世界的潮流のなかで臨調路線にもとづく行政・税制・教育改革を推進した。

1983年　参議院議員選挙に初の比例代表制採用

---

⑨**第二次中曽根康弘内閣（1983年～86年，自由民主党・新自由クラブ）**

1985年　NTT〔日本電信電話株式会社〕（もと日本電信電話公社）・JT〔日本たばこ産業〕株式会社（もと日本専売公社）の設立

男女雇用機会均等法の制定（翌年施行）

プラザ合意⇒五カ国蔵相・中央銀行総裁会議による

☆ニューヨークのプラザホテルにおける，Ｇ５〔米英仏独日〕の合意。**“双子の赤字〔財政・貿易赤字〕”に悩むアメリカに対し，ドル切下げ断行を決定，日本は円高不況に突入。**

中曽根康弘首相以下全閣僚，初の靖国神社公式参拝

☆ナショナリズムの喚起をめざしたが，国内のみでなく中国・韓国からも“軍国主義復活”との非難を浴びる。

1986年　第２回東京サミット（第12回サミット）

---

⑩**第三次中曽根康弘内閣（1986年～87年，自由民主党）**

1986年　新自由クラブ解党，自民党に復党

土井たか子，日本社会党委員長に就任

1987年　防衛費，対GNP１％枠を突破

ルーブル合意⇒Ｇ７〔日米独仏英伊加〕による

☆これ以上のドル下落は好ましくないとして，為替相場の安定をはかる。

バブル景気のスタート（～91年）

☆企業や金融機関でだぶついた資金が，国内外の不動産市場や株式市場に流入したことが主たる要因となった。

JR７社（もと日本国有鉄道）の設立

☆国鉄の分割民営化。

大型間接税である売上税（うりあげぜい）の導入に失敗

---

⑪竹下登（のぼる）内閣（1987年～89年，自由民主党）

1988年　アメリカ，スーパー301条を制定⇒翌年，日本に適用

☆不公正貿易の障壁除去の交渉が決裂した場合，アメリカが一方的に関税を引き上げることができるというもの。

リクルート事件が問題化

☆リクルートコスモス社の未公開株譲渡事件。

消費税の導入を柱とする税制改革関連法案が可決

1989年　昭和天皇崩御，**平成**と改元⇒皇太子明仁（あきひと）が即位

税率３％で消費税スタート

日本，**ODA〔政府開発援助〕**負担額が世界最大規模となる

日米構造協議の開始（～90年）

☆貿易・通商摩擦問題の根幹にある，日米双方の社会・経済システムの改革についての協議。1993年からは日米包括（ほうかつ）経済協議へ。

---

⑫宇野宗佑（そうすけ）内閣（1989年，自由民主党）

1989年　参議院議員選挙で与野党逆転

☆宇野首相個人の女性スキャンダルもあり，２カ月余りで失脚。

---

⑬第一次海部俊樹（かいふとしき）内閣（1989年～90年，自由民主党）

1989年　**日本労働組合総連合会〔連合〕**結成

☆労資協調路線をとる民間の労働組合が1987年に結集し，総評がそこへ合流。社会党系労働組合の全国組織。

全国労働組合総連合〔全労連〕結成

☆連合を右派的と批判する総評の反主流派が結成，共産党系労働組合の全国組織。

全国労働組合連絡協議会〔全労協〕結成

☆連合・全労連に行かない・行けない，中間派労働組合の連絡・共闘組織。

マルタ会談により東西冷戦終結

ベルリンの壁崩壊

---

⑭第二次海部俊樹内閣（1990年〜91年，自由民主党）

1990年　東西ドイツ統一

1991年　**湾岸戦争**勃発

☆日本はアメリカを中心とする対イラクの多国籍軍などに130億ドルの戦費支援を行う。

バブル経済の崩壊

☆異常な株価・地価高騰時代の終焉（しゅうえん），以後**平成不況**とよばれる**複合不況**に悩むこととなる。

---

⑮宮沢喜一（きいち）内閣（1991年〜93年，自由民主党）

1991年　**ソ連の解体**

1992年　**東京佐川急便事件**が問題化

日本新党の成立⇒細川護熙（もりひろ）ら

PKO〔国連平和維持活動〕協力法の制定

自衛隊カンボジア派遣

1993年　ゼネコン汚職事件が問題化

第３回東京サミット（第19回サミット）

自民党分裂，新党さきがけ・新生党の結成

7　55年体制崩壊後の内閣

①細川護熙(もりひろ)内閣（1993年～94年，日本新党）

1993年　55年体制の崩壊

☆総選挙で自民党が大敗，保守新党が躍進して**非自民８党派連立内閣**が成立。

GATTウルグアイラウンド〔新多角的貿易交渉〕妥結(だけつ)

☆コメ市場の部分的開放が決定（1999年に関税化）。

1994年　政治改革関連４法案成立

☆衆議院に**小選挙区比例代表並立制**導入を決定。

国民福祉税導入に失敗，政治資金疑惑もあり総辞職

---

②羽田孜(つとむ)内閣（1994年，新生党）

予算を成立させるが，社会党の連立拒否などにより総辞職。

---

③村山富市(とみいち)内閣（1994年～96年，日本社会党）

自社さ（自民党・日本社会党・新党さきがけ）連立内閣。

☆公約放棄などから国民の政治不信が一層高まり，1995年の統一地方選挙では東京都・大阪府で無党派の知事が当選した。

1994年　新進党の結成

1995年　阪神・淡路大震災

地下鉄サリン事件

☆オウム真理教代表の麻原彰晃(あさはらしょうこう)逮捕。

---

④橋本龍太郎①②内閣（1996年～98年，自由民主党）

自社さ連立内閣から自民党単独内閣へ。

1996年　金融ビックバン
薬害エイズ事件
社会民主党の結成⇒日本社会党を改称
民主党の結成
☆鳩山由紀夫・菅直人(かんなおと)ら。

1997年　消費税５％となる
ガイドライン〔日米防衛協力のための指針〕改定＝新ガイドライン
アイヌ文化振興法〔アイヌ新法〕の成立
地球温暖化防止京都会議〔COP３〕
☆**京都議定書**の締結。
アジア通貨危機⇒日本国内でも金融不安高まる

1998年　**冬季オリンピック長野大会**開催
自民党が参院選で過半数割れを起こし橋本内閣退陣

---

⑤小渕恵三(おぶちけいぞう)内閣（1998年～2000年，自由民主党）

自民党単独のち自自公（自民党・自由党・公明党）連立内閣に改造。

1999年　情報公開法
新ガイドライン関連法（**周辺事態法**など）
男女雇用機会均等法改正
男女共同参画(さんかく)社会基本法
国旗・国歌法
通信傍受(ぼうじゅ)法
新農業基本法〔食料・農業・農村基本法〕

---

⑥森喜朗（よしろう）①②内閣（2000年～01年，自由民主党）

自公保（自民党・公明党・保守党）連立内閣。

2000年　朝鮮半島で初の南北首脳会談開催

☆韓国の金大中大統領と北朝鮮の金正日総書記。

2000円札の発行

九州・沖縄サミット開催

介護保険制度スタート

2001年　中央省庁の再編（１府12省庁）

---

⑦小泉純一郎①②③内閣（2001年～06年，自由民主党）

「聖域なき構造改革」をかかげ自公保連立で組閣（のち保守党が自民党に合流）。大胆な規制緩和政策など，小さな政府をめざす広範な新自由主義改革を強力に推進した。

2001年　アメリカ同時多発テロ

テロ対策特別措置法

2002年　日朝平壌宣言

☆小泉首相が訪朝，金正日総書記と会談し拉致被害者５名が帰国。

不況の深刻化

2003年　イラク戦争

イラク復興支援特別措置法

民主党と自由党（小沢一郎党首）が合併

景気拡大の始まり（～08年）

2005年　愛知万博〔愛・地球博〕開催

郵政民営化法

2006年　小泉首相が終戦記念日に靖国神社参拝

---

⑧第一次安倍晋三内閣（2006年～07年，自由民主党）

自公連立政権。

2006年　**改正教育基本法**

2007年　**防衛省**発足(ほっそく)⇒防衛庁を格上げ

　　　　国民投票法

　　　　参議院選挙敗北後，首相の体調悪化により突如の政権投げ出し。

---

⑨福田康夫内閣（2007年～08年，自由民主党）

自公連立政権。

2008年　後期高齢者医療制度開始⇒75歳以上が対象

　　　　北海道・洞爺湖(とうやこ)サミット開催

　　　　内閣改造後，またしても突如の政権投げ出し。

---

⑩麻生太郎(あそうたろう)内閣（2008年～09年，自由民主党）

自公連立政権。

2008年　アメリカ発の世界金融危機⇒リーマン＝ショック

2009年　裁判員制度スタート

　　　　衆議院総選挙で自公ともに歴史的敗北，民主党圧勝

---

⑪鳩山由紀夫内閣（2009年～10年，民主党）

民社国連立政権。

民主党が政権交代を成し遂げたが，各種の課題が山積みで退陣。

---

⑫菅直人内閣（2010年～11年，民主党）

民国連立政権。

2011年　東日本大震災

東京電力福島第一原発事故

---

⑬野田佳彦内閣（2011年～12年，民主党）

民国連立政権。

2012年　消費税８％のち10％へのアップが決定。

---

⑭安倍晋三②③④内閣（2012年～20年，自由民主党）

自公連立政権。

2013年　インフレ政策「アベノミクス」スタート

国家安全保障会議〔日本版NSC〕設置

特定秘密保護法

2014年　消費税８％となる

2015年　「安保法案」制定

TPP〔環太平洋経済連携協定〕大筋合意

2016年　マイナンバー制度〔個人番号制度〕開始

伊勢志摩サミット開催

８　世界の激動

1973年　**第四次中東戦争⇒第一次石油危機**

1975年　**第１回主要先進国首脳会議〔サミット〕**

1977年　200海里（カイリ）漁業専管水域の設定

1978年　**日中平和友好条約**の締結

　　　　ガイドライン〔日米防衛協力のための指針〕を決定

1979年　米中国交正常化

　　　　イスラム革命〔イラン革命〕⇒**第二次石油危機**

　　　　ソ連，アフガニスタン侵攻

　　　　☆ブレジネフ書記長による。

　　　　スリーマイル島原発事故

1980年　イラン・イラク戦争開始（～88年）

　　　　西側諸国によるモスクワ五輪ボイコット

1984年　東側諸国によるロサンゼルス五輪ボイコット

1985年　**ソ連**で**ゴルバチョフ**が書記長就任

　　　　☆**ペレストロイカ〔改革〕**・グラスノスチ〔情報公開〕。

　　　　プラザ合意

1986年　**チェルノブイリ原発事故**

1987年　ルーブル合意

　　　　INF〔中距離核兵器〕全廃条約の締結

1988年　ソ連がアフガニスタン撤兵を表明

1989年　天安門事件

　　　　ベルリンの壁崩壊

　　　　東欧（とうおう）革命

　　　　マルタ会談により冷戦終結

　　　　☆ブッシュ大統領とゴルバチョフ書記長による。

1990年　東西ドイツの統一

　　　　イラクがクウェートに侵攻

1991年　**湾岸戦争**

　　　　南北朝鮮が国連に同時加盟

　　　　ソ連邦の解体⇒CIS〔独立国家共同体〕へ

1993年　**EU〔ヨーロッパ連合〕**の成立

1996年　日米安全保障共同宣言発表

☆日米安保の再定義。

包括的核実験禁止条約（ほうかつてき）〔CTBT〕国連で採択

1997年　**アジア通貨危機**⇒タイのバーツなど暴落

ガイドライン〔日米防衛協力のための指針〕を改定⇒新ガイドライン

2001年　**米同時多発テロ**⇒アフガン戦争へ

☆日本はテロ対策特別措置法を制定。

2003年　イラク戦争

☆日本はイラク復興支援特別措置法を制定。

2006年　北朝鮮，核実験を初めて実施

2008年　**アメリカ発の世界金融危機**

〈***Note***〉

補講：戦中・戦後の文化

1　文化の特色

戦時体制下においては，軍や政府当局の厳しい統制や国家主義的気運の高揚によりマルクス主義が衰退，転向者が続出しプロレタリア文学が壊滅（かいめつ）した反面，日本の伝統的文化・思想への回帰がみられた。また，従軍を体験した芸術家が**戦争文学**や戦争記録画を多数制作した。

1945年の敗戦により軍国主義体制における**従来の価値観が否定**され，**個人主義・民主主義の風潮**が広まり，大衆文化は活気を取り戻したが，急激な**アメリカ文化の流入**は，国民にとまどいをもたらすことも多かった。

２　学問・ジャーナリズム

①戦時体制下の思想弾圧⇒“昭和ファシズム”

A　社会民主主義者・共産主義者による，国家社会主義などへの“**転向**”が相次ぐ。

1932年　日本国家社会党結成

1933年　日本共産党最高指導者らによる転向宣言

B　思想弾圧事件

1933年　滝川事件〔京大事件〕

1935年　天皇機関説問題〔国体明徴(めいちょう)運動〕

1936年　コム＝アカデミー事件

☆政府による左翼弾圧事件。**講座派**の学者を検挙。

1937年　矢内原(やないはら)事件

☆政府の大陸政策を批判した**東大教授矢内原忠雄**が，著書発禁・自主退職に追い込まれる。

第一次人民戦線事件

☆政府による左翼弾圧事件。山川均・鈴木茂三郎(もさぶろう)ら**労農派**を検挙。「日本無産党」は結社禁止処分となる。

1938年　第二次人民戦線事件

☆政府による左翼弾圧事件。大内兵衛・美濃部亮吉(りょうきち)・有沢広巳(ひろみ)ら**労農派の学者**を検挙。

河合事件

☆ファシズム批判を行った**東大教授河合栄治郎(えいじろう)**が，著書発禁・休職に追い込まれる。

1940年　**津田事件**

☆記紀神話の合理的な文献批判を行った**早大教授津田左右吉(そうきち)**が，『神代史(しんだいし)の研究』などの著書発禁・辞職に追い込まれる。

1942年　横浜事件

大日本言論報国会の設立

☆会長は徳富蘇峰。

②戦後の文化機関

1949年　日本学術会議の設置

1950年　文化財保護法

1968年　文化庁の設置

---

③戦後の学問研究

丸山真男(まさお)**(政治学)，大塚久雄(経済史学)，川島武宜**(たけよし)**(法社会学)**，石母田正(いしもだしょう)(歴史学)ら。

---

④ノーベル賞

1949年　湯川秀樹　（物理学賞）⇒中間子理論

1965年　朝永振一郎（ともながしんいちろう）（物理学賞）

1968年　川端康成　（文学賞）

1973年　江崎玲於奈（えさきれおな）（物理学賞）

1974年　佐藤栄作　（平和賞）

1981年　福井謙一　（化学賞）

1987年　利根川進（すすむ）　（生理学・医学賞）

1994年　大江健三郎（文学賞）

2000年　白川英樹（ひでき）　（化学賞）

2001年　野依良治（のよりりょうじ）　（化学賞）

2002年　小柴昌俊（こしばまさとし）　（物理学賞）

　　　　田中耕一　（化学賞）

2008年　小林誠（まこと）・益川敏英（ますかわとしひで）　（物理学賞）

　　　　南部（なんぶ）陽一郎（物理学賞）※米国籍

　　　　下村脩（しもむらおさむ）　（化学賞）

2010年　鈴木章（あきら）・根岸英一　（化学賞）

2012年　山中伸弥（しんや）　（生理学・医学賞）⇒iPS細胞

2014年　赤崎勇（あかさきいさむ）・天野浩（あまのひろし）　（物理学賞）

　　　　中村修二　（物理学賞）※米国籍

2015年　梶田隆章（たかあき）　（物理学賞）

　　　　大村智（さとし）　（生理学・医学賞）

2016年　大隅良典　（生理学・医学賞）

2017年　カズオ・イシグロ　（文学賞）※英国籍

2018年　本庶佑（ほんじょたすく）　（生理学・医学賞）

2019年　吉野章　（化学賞）

2021年　真鍋淑郎　（物理学賞）※米国籍

2024年　日本原水爆被害者団体協議会〔被団協〕（平和賞）

3　文学

①戦争文学⇒戦中

1942年，日本文学報国会(会長は徳富蘇峰)が結成される。

A　**火野葦平**　『**麦と兵隊**』

B　**石川達三**　『**生きてゐる兵隊**』⇒発売禁止となる

---

②転向文学⇒戦中

社会主義やプロレタリア文学からの転向の体験を描く。

A　中野重治　『村の家』

B　島木健作　『生活の探求』

---

③無頼派〔新戯作派〕⇒戦後

A　**坂口安吾**　『**白痴**』，**評論**『**堕落論**』

B　**太宰治**　『**斜陽**』『**人間失格**』

C　織田作之助　『夫婦善哉』

---

④第一次戦後派

A　**野間宏**　『**真空地帯**』

B　梅崎春生　『桜島』

---

⑤第二次戦後派

A　**大岡昇平**　『**俘虜記**』『野火』

B　安部公房　『壁』『砂の女』

C　**三島由紀夫**　『**仮面の告白**』『金閣寺』

---

⑥**その他**⇒**中間小説**の流行

A　**石原慎太郎**　**『太陽の季節』**

B　松本清張（せいちょう）　『点と線』『砂の器（うつわ）』⇒社会派推理小説

C　**大江健三郎**　『飼育』『死者の奢（おご）り』

D　司馬遼太郎（しばりょうたろう）　『竜馬がゆく』『坂の上の雲』

E　木下順二　戯曲『夕鶴』

F　野坂昭如（のさかあきゆき）　『火垂（ほた）るの墓』

G　石牟礼（いしむれ）道子　『苦海浄土（くがいじょうど）』

H　有吉佐和子　『恍惚（こうこつ）の人』

I　山崎豊子（とよこ）　『白い巨塔』『不毛（ふもう）地帯』

４　戦後の放送・映画・芸能・スポーツなど

①放送

1951年　民間ラジオ放送の開始

1953年　テレビ放送の開始⇒NHK〔日本放送協会〕による

☆日常生活に欠かせないものとなり，映画産業の衰退を招く。

1960年　カラーテレビ放送の開始

---

②映画

A　溝口健二　『西鶴(さいかく)一代女』『雨月(うげつ)物語』

B　**黒澤明(くろさわあきら)**　**『羅生門(らしょうもん)』(ベネチア国際映画祭グランプリ)**

『影武者(かげむしゃ)』(カンヌ国際映画祭グランプリ)

C　小津安二郎(おづやすじろう)　『東京物語』

D　今井正(ただし)　『青い山脈』『ひめゆりの塔』

E　稲垣浩　『無法松の一生』(ベネチア国際映画祭グランプリ)

F　今村昌平(しょうへい)　『楢山節考(ならやまぶしこう)』(カンヌ国際映画祭グランプリ)

『うなぎ』(カンヌ国際映画祭グランプリ)

G　北野武(たけし)　『HANA-BI』(ベネチア国際映画祭グランプリ)

---

③歌謡曲

A　**並木路子(なみきみちこ)**　**『リンゴの唄』**

B　笠置(かさぎ)シズ子　『東京ブギウギ』

C　**美空(みそら)ひばり**　『悲しき口笛』

---

④その他の著名人

古橋広之進(ひろのしん)(水泳“フジヤマのトビウオ”)，**力道山(りきどうざん)**(プロレス)，**手塚治虫(おさむ)**(漫画・アニメーション)，石原裕次郎(俳優)，植村直己(なおみ)(冒険家)，大鵬(たいほう)(大相撲)，長嶋茂雄・王貞治(おうさだはる)(プロ野球)，小沢征爾(せいじ)(指揮者)，野茂英雄(のもひでお)(メジャーリーグ)など。

---

⑤スポーツ国際大会

1964年　東京オリンピック(夏季)

1972年　**札幌オリンピック(冬季)**

1998年　**長野オリンピック(冬季)**

2002年　ワールドカップ日韓大会

2021年　東京オリンピック(夏季)

---

⑥国際博覧会

1970年　大阪万国博覧会

1975年　沖縄海洋博覧会

1985年　筑波科学技術博覧会

2005年　**愛知万国博覧会**

2025年　**大阪・関西万国博覧会**

第28講　確認問題

1　日ソ共同宣言が結ばれ，日本が国際連合に加盟した年は？

①1951年　②1955年　③1956年　④1960年

2　1960年に安保を改訂した首相とは？

①鳩山一郎　②石橋湛山　③岸信介　④池田勇人

3　アジア初の東京オリンピックが開催された年は？

①1940年　②1955年　③1964年　④1970年

4　戦後最長レベルの７年８カ月におよぶ長期政権を担った首相とは？

①吉田茂　②鳩山一郎　③池田勇人　④佐藤栄作

5　次のうち，「非核三原則」と関係のない言葉を一つ選べ。

①打たず　②もたず　③つくらず　④もち込ませず

6　1956年に“もはや戦後ではない”と記述したものとは？

①『日本国憲法』　②『経済白書』　③『官報』　④『サンデー毎日』

7　次のうち，「新三種の神器〔３Ｃ〕」と関係のない用語を一つ選べ。

①カー　②クーラー　③コーラ　④カラーテレビ

8　1960年ごろの「エネルギー革命」により新たに主役となったエネルギーとは？

①石炭　②石油　③原子力　④太陽光

9　イタイイタイ病の原因物質とは？

①有機水銀　②カドミウム　③亜硫酸ガス　④ヒ素

10　1976年のロッキード事件で有罪判決を受けた前首相とは？

①佐藤栄作　②田中角栄　③三木武夫　④福田赳夫

11　1981年，第２次臨時行政調査会の会長となった人物とは？

①御木本幸吉　②松下幸之助　③中内㓛　④土光敏夫

12　原発事故と関係のない地名とは？

①トンキン湾　②スリーマイル島　③チェルノブイリ　④福島

解答

1	③	2	③	3	③	4	④	5	①
6	②	7	③	8	②	9	②	10	②
11	④	12	①						

〈Memo〉

Ⓒ RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。